秋　田　市

秋田新都市開発整備事業関係
埋蔵文化財発掘調査報告書

地方遺跡
台B遺跡

1987.3　秋田市教育委員会

序

秋田新都市開発整備事業に係る御所野丘陵部の埋蔵文化財につきましては昭和56年度から対処し、すでに22ヵ所の遺跡の調査を終了し、本年度は2ヵ所の遺跡の発掘調査を実施いたしました。

今回の調査におきましては、地方遺跡より縄文時代晩期の土坑墓が560基も検出され、墓の中からは勾玉、小玉、腕輪などの服飾品が多数出土し、当時の葬制を解明する上で重要な資料と思われます。

調査の実施にあたっては、県・関係機関の指導をはじめ、地元関係者等多くの方々の積極的なご協力をいただき深く感謝申し上げる次第です。

本報告書が文化財保護のため、さらには研究資料として広く活用されれば幸甚に存じます。

昭和62年3月

秋田市教育委員会
教育長　高　泉　宏　作

例　　言

1．本報告書は秋田市上北手猿田字堤ノ沢（地方遺跡）、上北手猿田字寺ノ沢（台Ｂ遺跡）に所在する各遺跡の発掘調査報告書である。

2．本報告書は調査員及び調査補佐員の協力を得て石郷岡誠一が編集したものである。

3．本報告書の執筆は地方遺跡―石郷岡誠一、西谷隆、台Ｂ遺跡―石郷岡誠一、西谷隆が担当し、菅原が補筆した。前記以外は菅原が担当した。

4．発掘調査、整理作業の過程で下記の各氏より指導、助言を賜わった。

小林　達雄（國學院大學）、林　謙作（北海道大学）、富樫　泰時（秋田県文化課）、高橋龍三郎（早稲田大学）

5．各遺跡の平面図、土層断面図中のＰは土器（片）、Ｓは石（礫）を示し、石器実測図の石鏃、石匙等の外形図にはアスファルト付着物の箇所を示した。

6．発掘調査による出土遺物、実測図、写真、その他の記録は秋田市教育委員会が保管する。

目　　次

序

例言

調査の概要…… 1

調査に至るまでの経過…… 1

調査期間と体制…… 1

調査の方法と経過…… 2

遺跡の位置と地形・地質…… 9

地方遺跡

遺跡の概観…… 14

遺構と遺物…… 14

縄文時代中期…… 14

縄文時代晩期…… 43

まとめ…… 276

台B遺跡

遺跡の概観…… 283

遺構と遺物…… 285

まとめ…… 288

調査の概要

調査に至るまでの経過

秋田市南東部地域は、昭和56年６月の秋田空港の開港、東北横断自動車道秋田線秋田インターチェンジ開設予定等、空陸両面の交通の要衝に位置する所である。このような状況の中で南東部地域における御所野地区については特に広大な台地であることから、いち速く開発可能性等についての各調査が実施され、県市総合計画においても産業、住宅団地が一体となった総合的ニュータウン＝臨空港新都市として具体的に位置づけられた。

昭和55年に御所野台地全体の分布調査を実施し、約30ヵ所の遺物散布地を確認した。昭和56年度は開発計画地域内の西部工業団地造成に先だち、**下堤Ｄ遺跡**（秋田市「下堤Ｄ遺跡発掘調査報告書」1982年３月、秋田市教育委員会）の発掘調査を行った。昭和57年度は今後の開発計画に対処するため55年の分布調査に基づき、３ヵ月間で遺跡の範囲確認調査を実施し、その結果、台地上に24ヵ所の遺跡を確認したのである。開発計画地内の３ヵ所の未確認地区を加えると27ヵ所の遺跡（下堤Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ遺跡、坂ノ上Ａ、Ｂ遺跡を除く）が存在している（第１図　御所野丘陵部における遺跡及び周辺遺跡）。範囲確認調査の結果に基づき関係機関と協議を重ね、引き続き年度別に計画的な発掘調査を実施することとし、昭和57年度は**下堤Ｇ遺跡、野畑遺跡、湯ノ沢Ｂ遺跡、坂ノ上Ｃ、Ｄ遺跡**（秋田市「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1983年３月、秋田市教育委員会）、昭和58年度は**坂ノ上Ｅ遺跡、湯ノ沢Ａ遺跡、湯ノ沢Ｃ遺跡、湯ノ沢Ｆ遺跡、湯ノ沢Ｇ遺跡、湯ノ沢Ｈ遺跡、野形遺跡**（秋田市「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1984年３月、秋田市教育委員会）、昭和59年度は**下堤Ｅ遺跡、下堤Ｆ遺跡、坂ノ上Ｆ遺跡、狸崎Ａ遺跡、湯ノ沢Ｄ遺跡、深田沢遺跡**（秋田市「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1985年３月、秋田市教育委員会）、昭和60年度は**地蔵田Ｂ遺跡、台Ａ遺跡、湯ノ沢Ｉ遺跡**、58年度に調査した**湯ノ沢Ｆ遺跡**の北西部（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1986年３月、秋田市教育委員会）の発掘調査を行った。

昭和61年度は**地方（じかた）遺跡、台Ｂ遺跡**と**下堤Ｃ遺跡**の一部の発掘調査を実施した。

調査期間と体制

調 査 期 間　昭和61年４月24日～12月９日

調査主体者　地域振興整備公団

調査担当者　秋田市・秋田市教育委員会

調　査　員　菅原俊行、石郷岡誠一、西谷　隆、安田忠市（秋田市教育委員会文化振興課）

派遣調査員　谷地　薫（秋田県埋蔵文化財センター）

調査補佐員　船木佳久子、佐々木久和

調査協力員　五十嵐芳郎（秋田考古学協会会員）、石川恵美子（明治大学大学院）

調査作業員　鈴木銀一、鈴木長治、鈴木末蔵、鈴木一美、三浦竹治、三浦　馨、三浦吉男、秋本与

次郎、堀井藤男、水野金光、佐々木多治郎、鈴木茂治、伊藤金二、加賀谷新之助、加賀谷金一郎、鈴木銀三郎、堀野兼雄、堀野健一、佐々木東吉、鈴木藤一、嵯峨隆二、渡部兼治、佐々木小一郎、藤沢啓治、渡部金次郎、鈴木慶子、鈴木ツヤ、鈴木ウメノ鈴木鈴子、鈴木博子、三浦千枝子、三浦初枝、三浦トミエ、三浦タキ、三浦ナツ、三浦トキ子、佐々木フミ、佐々木久子、工藤キクエ、熊谷文子、宮田トキ子、高島綾子伊藤ヒメ子、伊藤ツギ、長谷部ヤエ子、会場京子、渡部アイ子、渡部ヤネ子、渡部キヨ、渡辺フミ、佐々木ヨシ、佐々木縫子、高橋ヨシ子、高橋ミエ、堀野京子、矢倉アキ、加賀谷ヒデ、杉沢フミ、杉沢チエ子、藤沢ミサ子、藤沢トクエ、鹿子沢ミサ、安藤チヨ、鈴木ヒデ、鈴木ヒデ子、鈴木カネエ、持主チエ、嵯峨キミ、鎌田ツヤ、小玉澪子、佐藤アツ子、鈴木シワ、伊藤礼子、堀野ツタヨ、藤沢フサ

整理作業員　三浦秋子、堀井律子、堀井幸子、伊藤秀子、佐々木信子、岡千恵子、鈴木弘子、竹田加寿子、渡辺真実、米澤由紀子、佐々木睦子、和田正己、今野　歩、後藤進栄、麻生博英

事　務　員　伊藤茂子、奥村典子、信太　緑

調査の方法と経過

調査区は各遺跡ごとに任意の原点を決めて東西南北(磁北)に基準線を作り、調査区全体に大グリッド(40m×40m)を設定し、さらにその中に小グリッド(4m×4m)を設定し、単位グリッドとした。大グリッドは(1～n)、小グリッドは東西(X軸)に数字(1～10)、南北(Y軸)にアルファベット(A～J)を配し、その組み合せで遺跡番号、大グリッド番号、小グリッドの順に呼称することとした。

発掘調査は、地方遺跡(4/4～5/5)、台B遺跡(4/4～5/5)、下堤C遺跡(3/3～5/5)の日程で実施した。

地方遺跡は小阿地（坂ノ上A、B遺跡）とともに昔から土器、石器の採集できる所として知られ鐘野目久米蔵氏[(注1)]らによって収集されている。これらによると縄文時代晩期全般の遺物が見られ、遺跡の広さ等から集落の存在も予想された。調査結果は縄文時代晩期の他に中期末葉の集落、晩期の土壙墓群が検出された。

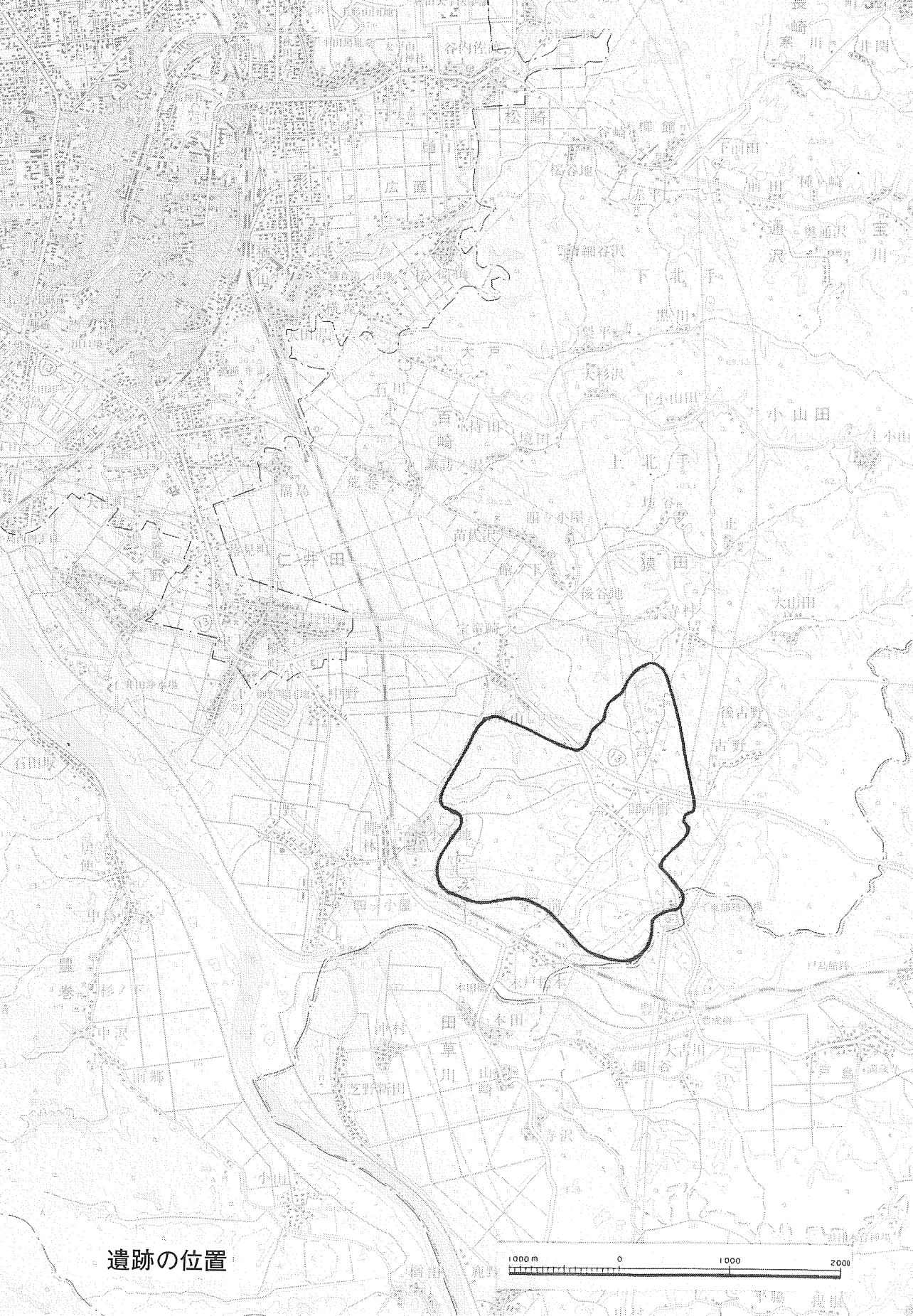
台B遺跡は未範囲確認地域内（佐々木造園、中北手地区）にあった遺跡で、この地区は広範囲であったが遺跡はこの台B遺跡のみの確認で、遺跡の規模も小さく、沢を隔てた向い側の地方遺跡の縄文時代中期末葉と同時期の住居跡が検出された。

下堤C遺跡は昭和47年7月、下堤遺跡では初めて検出された平安時代の住居跡を確認した地区であり、この住居跡を中心にA地区（下堤A遺跡）の隣接地まで表土除去作業を行い、本調査は来年の4月から実施することにしたものである。

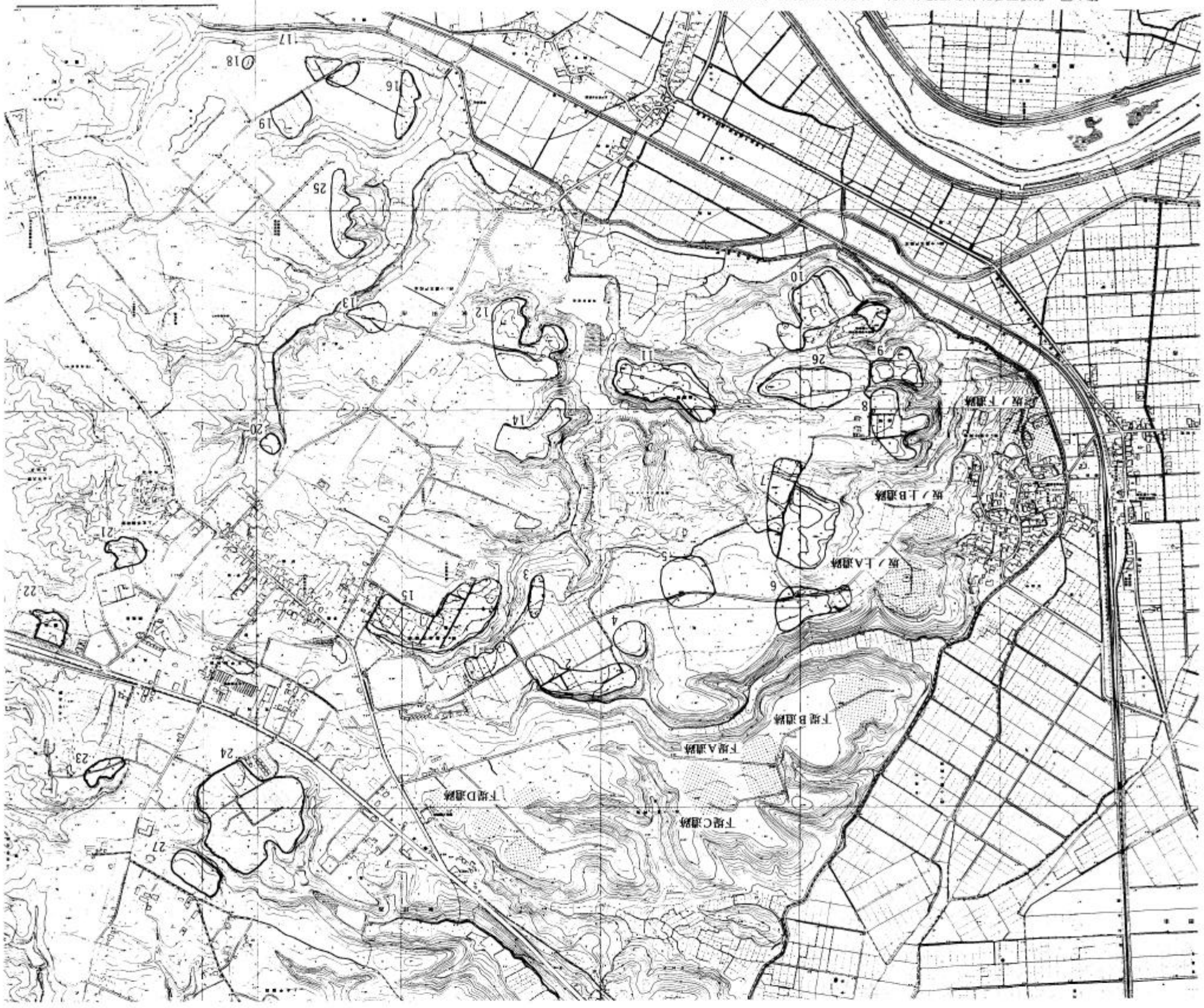
(註)「鐘野目久米蔵コレクション図録」考古図録第2集　1977年1月　秋田県立博物館

昭和61年度来跡来所者　（順不同、敬称略）

桜田　隆、児玉　準（秋田県埋蔵文化財センター）、冨樫泰時（秋田県文化課）、榎　清（秋田市議会議員）、安斎正人（東京大学）、熊谷太郎（秋田市立商業高校）、高塚秀治（東京工業大学）、鶴丸俊明（札幌学院大学）、山口義伸、成田滋彦（青森県埋蔵文化財調査センター）、上山春平（京都国立博物館）、八賀　晋（三重大学）、永嶋正春、阿部義平（国立歴史民俗博物館）、長崎潤一（早稲田大学）、菅谷文則、蘇　哲（奈良県立橿原考古学研究所）、椙山林繼、小林達雄（国学院大学）、羽賀憲二、上野秀一（札幌市教育委員会）、舘野　孝（東京都埋蔵文化財センター）、本田嘉之（法政大学）、高島芳弘（八戸市博物館）、清藤一順（市原市文化財センター）、高谷好一（京都大学）、横山英介（北海道大学）、稲田孝司（岡山大学）、進藤秋輝（多賀城跡調査研究所）、佐藤庄一（山形県文化課）、加藤　稔（山形県立博物館）、安蒜政雄（明治大学）、佐藤由美（浜松市）、小野忠一（秋田市立四ツ小屋小学校）、杉沢文治（秋田姓氏家系研究会）、歴史を学ぶ会（東部公民館）、家庭婦人学級（南部公民館）、港婦人学級（土崎公民館）、御野場婦人会、秋田市文化財保護協会、秋田考古学協会



遺跡の位置



第1図　御所野丘陵部発掘調査遺跡、範囲確認遺跡及び周辺遺跡

御所野丘陵部　遺跡一覧表

			範囲確認調査			発掘調査遺跡		
遺跡番号	遺跡名	所在地	時代	面積㎡	地目	調査年度	調査面積㎡	内容
1	下堤E	秋田市四ツ小屋小阿地字下堤	縄文	5,625	畑	59	3.340	縄文（中期）集落
2	下堤F	〃　〃	〃	14,375	〃	59	2,950	縄文（前、中期）集落
3	下堤G	〃　〃	旧石器、縄文（中）	5,000	山林原野	57	1,550	旧石器、縄文（前、中期）集落
4	坂ノ上C	〃　四ツ小屋小阿地字坂ノ上	縄文	6,000	〃	57	1,000	縄文（中、晩期）
5	坂上D	〃　〃	〃	14,060	〃	57	1,500	縄文（中、晩期）
6	坂ノ上E	〃　〃	〃	15,000	〃	58	5,000	縄文（中期）集落、9～10c製鉄炉
7	坂ノ上F	〃　〃	〃	37,810	〃	59	18,800	縄文（中期）集落、弥生住居跡
8	狸崎A	〃　四ツ小屋小阿地字狸崎	縄文（晩）	13,750	畑、山林原野	59	1,910	縄文（前、晩期）土坑墓、弥生住居跡
9	狸崎B	〃　〃	縄文	11,250	原野			
10	地蔵田A	〃　四ツ小屋末戸松本字地蔵田	旧石器、縄文、平安	30,000	畑			
11	地蔵田B	〃　〃	縄文（中晩）、弥生	25,000	山林原野	60	12,000	旧石器、縄文（中期）集落、弥生集落棚木跡
12	湯ノ沢A	〃　四ツ小屋末戸松本字湯ノ沢	縄文	21,555	〃	58	3,000	縄文（中期）弥生住居跡
13	湯ノ沢B	〃　〃	縄文（前、中）	5,000	〃	57	2,340	縄文（中期）集落、平安住居跡
14	湯ノ沢C	〃　〃	縄文（中晩）弥生	11,565	〃	58	4,100	縄文（中期）集落
15	湯ノ沢D	〃　〃	縄文（中）	35,000	畑	59	3,220	縄文（中期）集落
16	湯ノ沢E	〃　〃	縄文	7,500	〃	58	1,920	縄文（後期）
17	湯ノ沢F	〃　〃	縄文、土師、須恵	5,310	〃	58・60	4,400	弥生、土坑、平安墓（40基）
18	湯ノ沢G	〃　〃	縄文（後）	1,300	原野	58	400	縄文（後期）
19	湯ノ沢H	〃　〃	縄文	5,940	畑	58	720	縄文（前、中、晩期）住居跡
20	野畑	〃　上北手御所野字野畑	縄文（中）	1,875	山林	57	640	縄文（中期）集落
21	野形	〃　〃	土師、須恵	5,940	山林原野	58	980	平安住居跡、窯跡
22	深田沢	〃　上北手古野字深田沢	縄文、平安	6,875	畑	59	3,320	平安建物跡、住居跡
23	台A	〃　上北手古野字台	〃	8,440	〃	60	2,000	縄文（中期）集落
24	地方	〃　上北手猿田字堤ノ沢	縄文（晩）	54,670	畑、原野	61	11,500	縄文（中期）集落、（晩期）土坑墓
25	湯ノ沢I	〃　四ツ小屋末戸松本字湯ノ沢			苗圃	60	5,700	弥生
26	秋大農場	〃　四ツ小屋小阿地字狸崎			畑、原野			
27	台B	〃　上北手猿田字寺ノ沢			山林原野	61	1,150	縄文（中期）

遺跡の位置と地形・地質

位　　置

秋田市街から国道13号線を南下し、仁井田、横山を過ぎ、坂を登ると標高約40m 前後の広大な台地が開ける。これは奥羽本線四ツ小屋駅方面からもよく見える平坦な台地であり、御所野台地、末戸台と呼ばれている。この台地が秋田新都市開発整備事業計画地域である。

各遺跡の位置については第１図、「御所野丘陵部発掘調査遺跡、範囲確認調査遺跡及び周辺遺跡」を参照されたい。

地形・地質

遺跡の存在する地形は、大別して和田丘陵と末戸台台地に分けられる。和田丘陵は平坦面をあまり持たない。しかし、定高性を持った標高60～150m のかなり開析を受けた老年期地形を示し、地形は第３系鮮新統に属する青色砂質シルト岩（笹岡層）と青灰色塊状泥岩（天徳寺層）、それに中新統に属する暗灰色泥岩（船川層）などからなっている。末戸台台地は標高25～50m 強で、その表面は大変平坦である。この台地は和田丘陵と接して数段の段丘を識別できる。これらは内藤の区分からすると、上位から標高45～50m 強の椿台段丘、標高40m 強の上野台段丘Ⅰ、標高35m 強の上野台段丘Ⅱ、標高25m 強の宝竜崎段丘の４段階に分けられる。（第２図）

椿台段丘

岩見川右岸末戸台台地では45～50m 強の座高をもつ、いわゆる椿台面をその堆積面とする椿台層が厚い礫（最大径10cm前後）、砂、粘土の互層で構成されている。ただ基底高度はわからない。岩相は最上部に１～２m 褐色の粘土質火山灰層があり、次に礫、砂、粘土の互層で、砂礫の部分でしばしばクロス・ラミナ（斜交葉理）がみられ、砂土あるいはシルトは水平な細かい層理をなすことが多い。層厚をみると、礫層はうすく、砂、粘土層が厚い。その下部は第３系の泥岩（船川層）や砂質シルト（笹岡層）となっている。内藤はこの椿台面を関東の下末吉面に対比している。地方遺跡は、ここの椿台段丘に位置する。

上野台段丘Ⅰ

末戸台台地で椿台段丘の南側に標高40m 強でついている段丘が上野台段丘Ⅰと呼ばれている。表層の１～２m の粘土質火山炭層を除くと、段丘堆積物は最大径20～30cmの礫層であり、厚さは５m 程度で、その下部は第３系となっている。台B 遺跡は、この上野台段丘Ⅰに位置する。

上野台段丘Ⅱ

末戸台台地では上野台段丘Ⅰとの比高が５m 強である。段丘堆積物の岩相は、上野台段丘Ⅰとほぼ同様で、層厚は５m 前後である。内藤によれば、厚い礫層の下部は椿台層に当るとしている。

段丘堆積物の特徴は、上野台Ⅰ・Ⅱ面では最大径30cm前後の亜円礫を主体とする。ほぼ一様な礫層をもち、河川堆積物で、厚さも加味すると岩見川などによる河成の浸食段丘面と考えられる。椿台、上野台Ⅰ、Ⅱ面の各面をおおっている層厚１～２m のシルト分を含んだ粘土質火山灰層は、男

鹿半島の寒風山が起源と一応考えられている。この粘土質火山灰層の表面細粒物質の風化状態をみていくと、椿台、上野台Ⅰ、Ⅱ面では黒色土の下の細粒物質のうち、上部50～100cmが明褐色を呈し、下部は灰色で、境は漸移する。また、土壌面を見ると、椿台、上野台Ⅰ、Ⅱ面をおおう土壌はいわゆる高岡２統に属していると考えられ、比較的大きい円礫を混入していて、黒色土層を厚く堆積させている。この層中には火山ガラスを混入しており、火山灰が関係しているものと推定される。(註２)

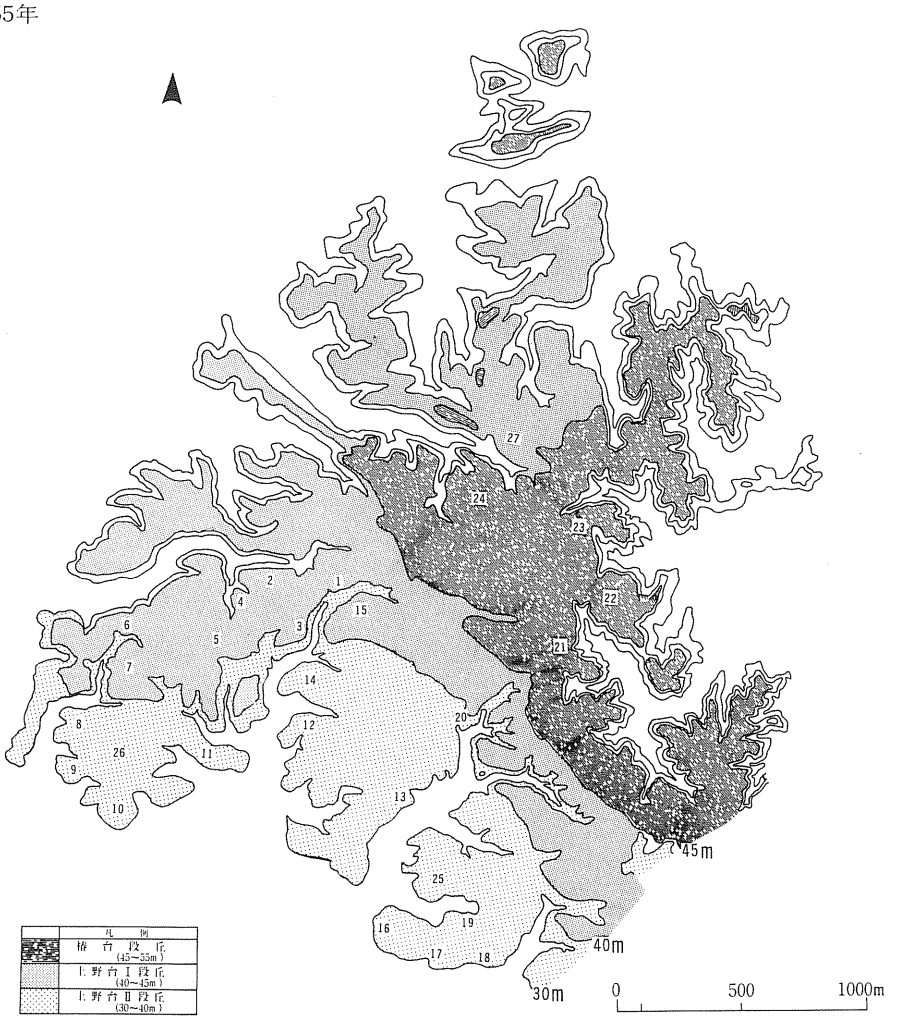
(註１)「秋田県岩見川流域およびその周辺の段丘について」 内藤博夫　1965年　第４紀研究第４巻第１号

(註２)「地形、表層地質・土壌、秋田」 経済企画庁土地分類基本調査　1966年

「八郎潟の研究」 秋田県教育委員会　1965年

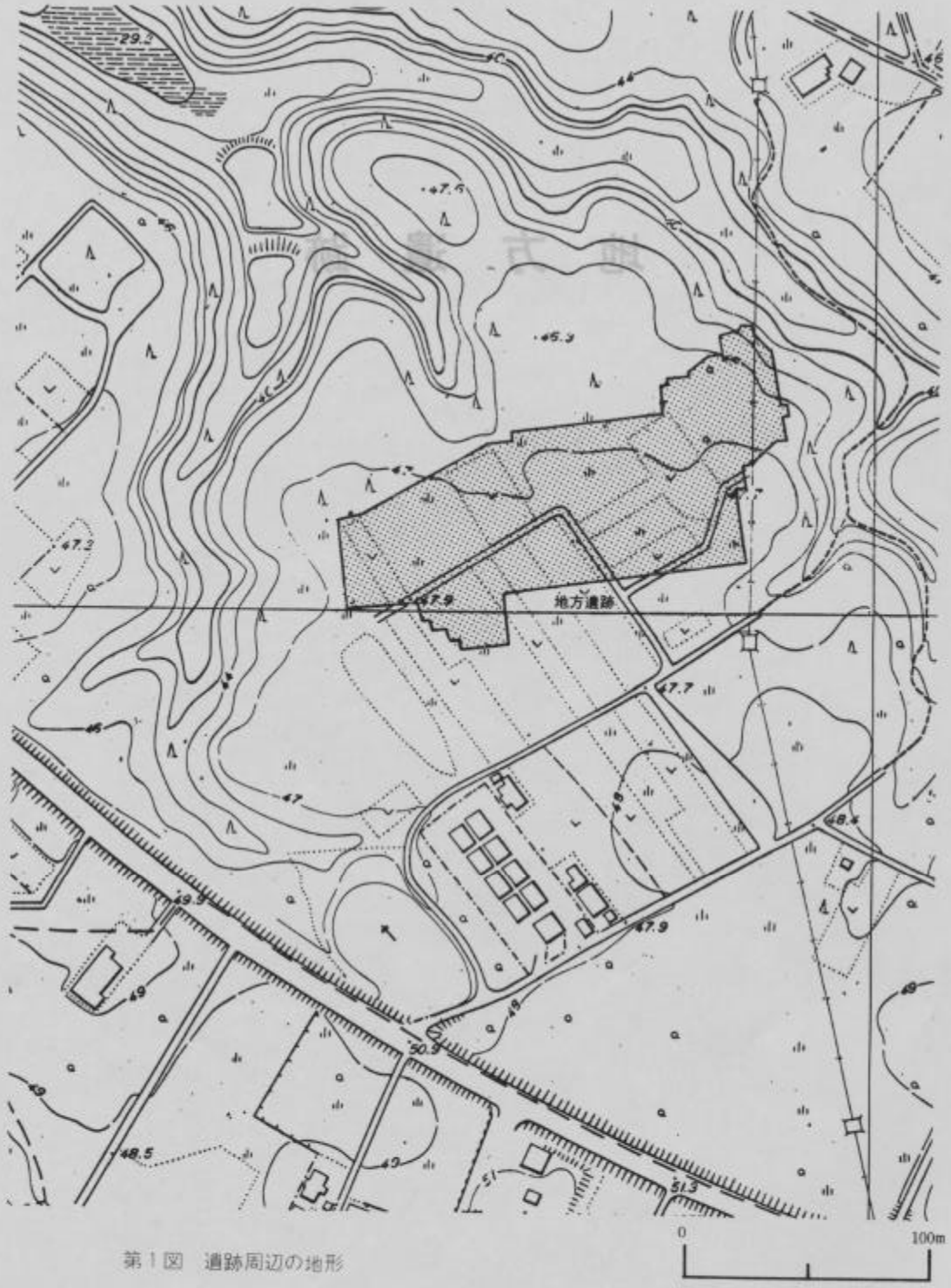
「火山活動と地形」 村山馨　大明堂

「秋田県男鹿半島一の目潟の火山拠出物について」 林　宏　地質学雑誌第61巻第717号　1955年

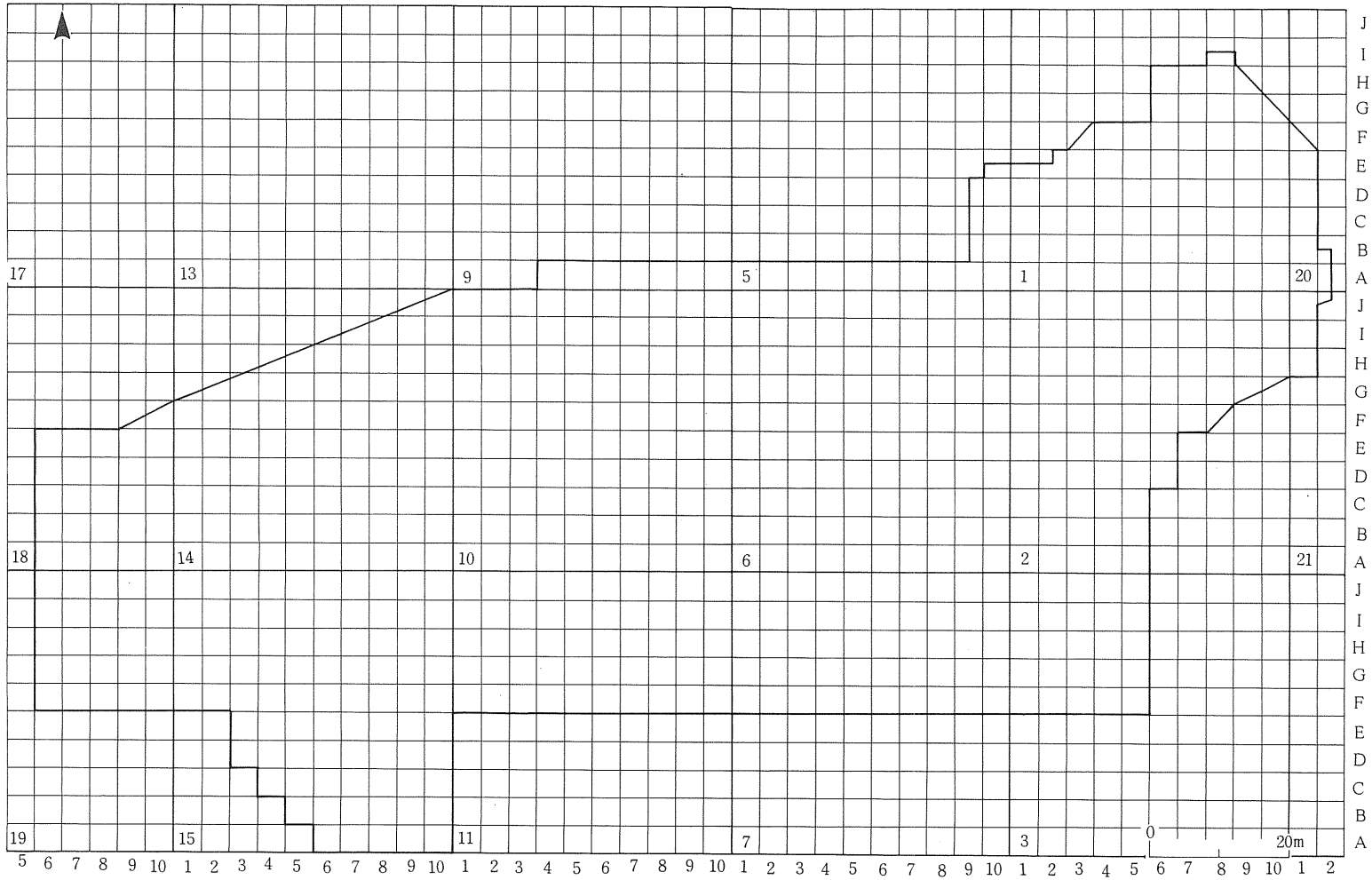


第２図　段丘及び遺跡の位置

地　方　遺　跡



第1図　遺跡周辺の地形


17
13
9
5
1
20
18
14
10
6
2
21
19
15
11
7
3
0
20m
J I H G F E D C B A
5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2

第2図　グリッド配置図

遺跡の概観

遺跡は、国道13号線を大曲方向に南下し、御所野三叉路から500ｍ進んだ東側に位置する。遺跡の立地する台地は、標高46ｍ程の広大な台地で、北からは大きな沢が２本入り込んでいる。

調査の結果、縄文時代中期の竪穴住居跡、晩期の竪穴住居跡、土坑墓などが検出された。また主な出土遺物には、土器・石器の他に土偶・土面などの土製品、勾玉・小玉などの石製品がある。

遺跡の東約400ｍの所には、縄文時代中期の台Ａ遺跡がある。

遺構と遺物

縄文時代中期

１号住居跡（第３図）

調査区の東端北側で検出された。

プランは長軸6.0ｍ、短軸5.5ｍの楕円形を呈する。確認面からの深さは10cmで、壁は斜めに立ち上がる。西側はゆるく傾斜しており、北西の壁は削平され検出できなかった。ピットは19個検出されており、主柱穴は住居内を周る深さ21cm以上のピットである。炉は南西側に位置しており、新旧二時期認められた。Ⅰ期－Ⅱ期の炉を作るときに全て壊され埋設土器の抜き取り痕跡だけが下部から検出された。Ⅱ期－石囲い土器埋設部、石組掘り込み部、掘り込み部からなる。石囲い土器埋設部には深鉢形土器を正立して据えており、周辺および石組掘り込み部は熱を受けて赤変している。掘り込みは壁に接しており両側にピットがみられる。Ⅱ期の埋設土器は、Ⅰ期よりも位置を外側に替えており、同時に炉も拡張され、それに伴い住居を一回り大きくしたと思われる。床面は堅く良好である。

出土遺物

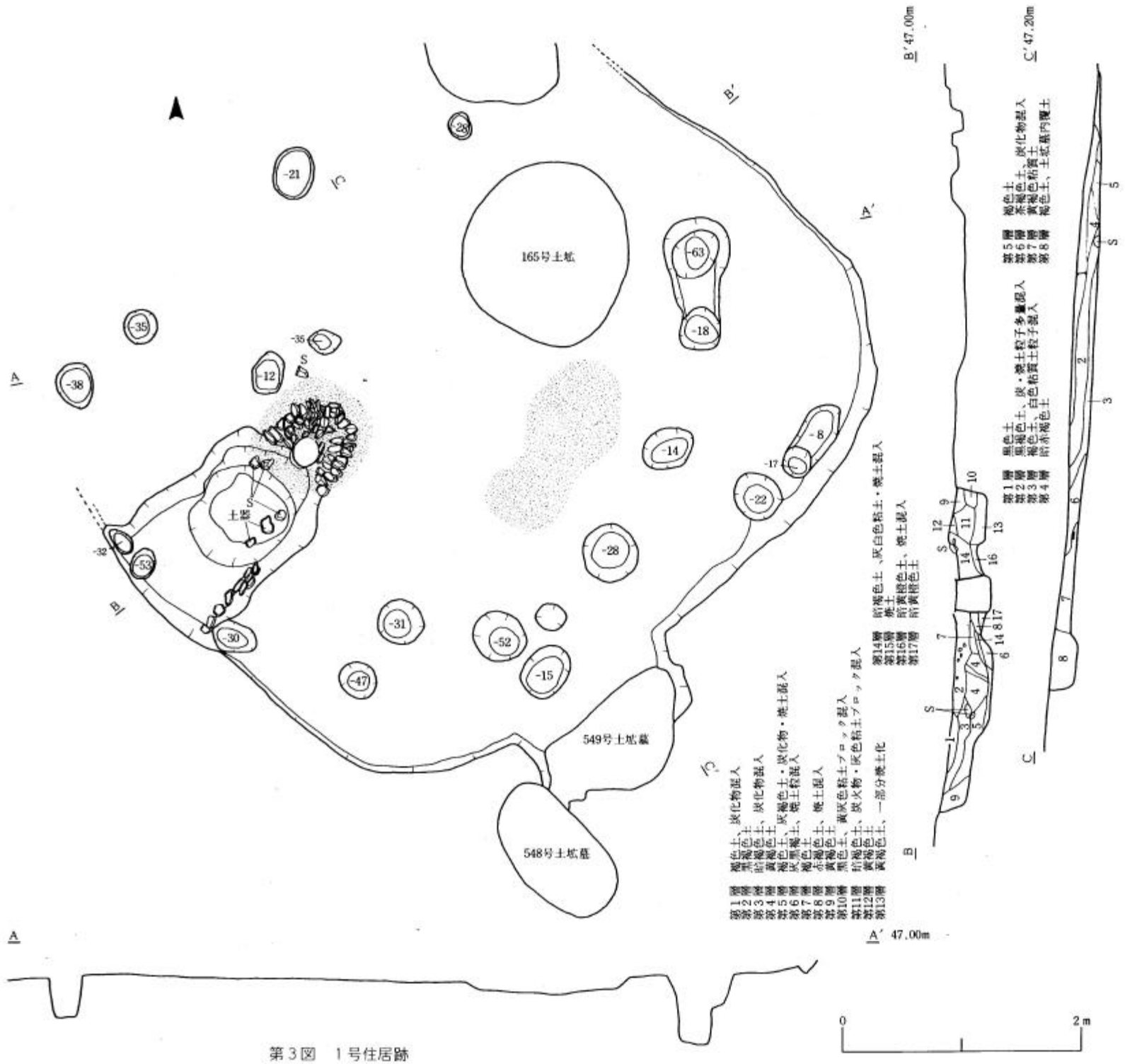
土器（第17・20・21図）

１・２はⅡ期炉の埋設土器である。胴部が膨らむ深鉢形土器で口縁下に沈線区画による磨消し帯によってＪ字状に文様が展開する。15～42は覆土から出土した。沈線区画の磨消し帯によって文様が施され、区画内に刺突を有するものもある。32は波状口縁で頂部に耳状の突起がある。口縁に沿って隆線が付され、下方は沈線と円形刺突文で文様が描かれる。

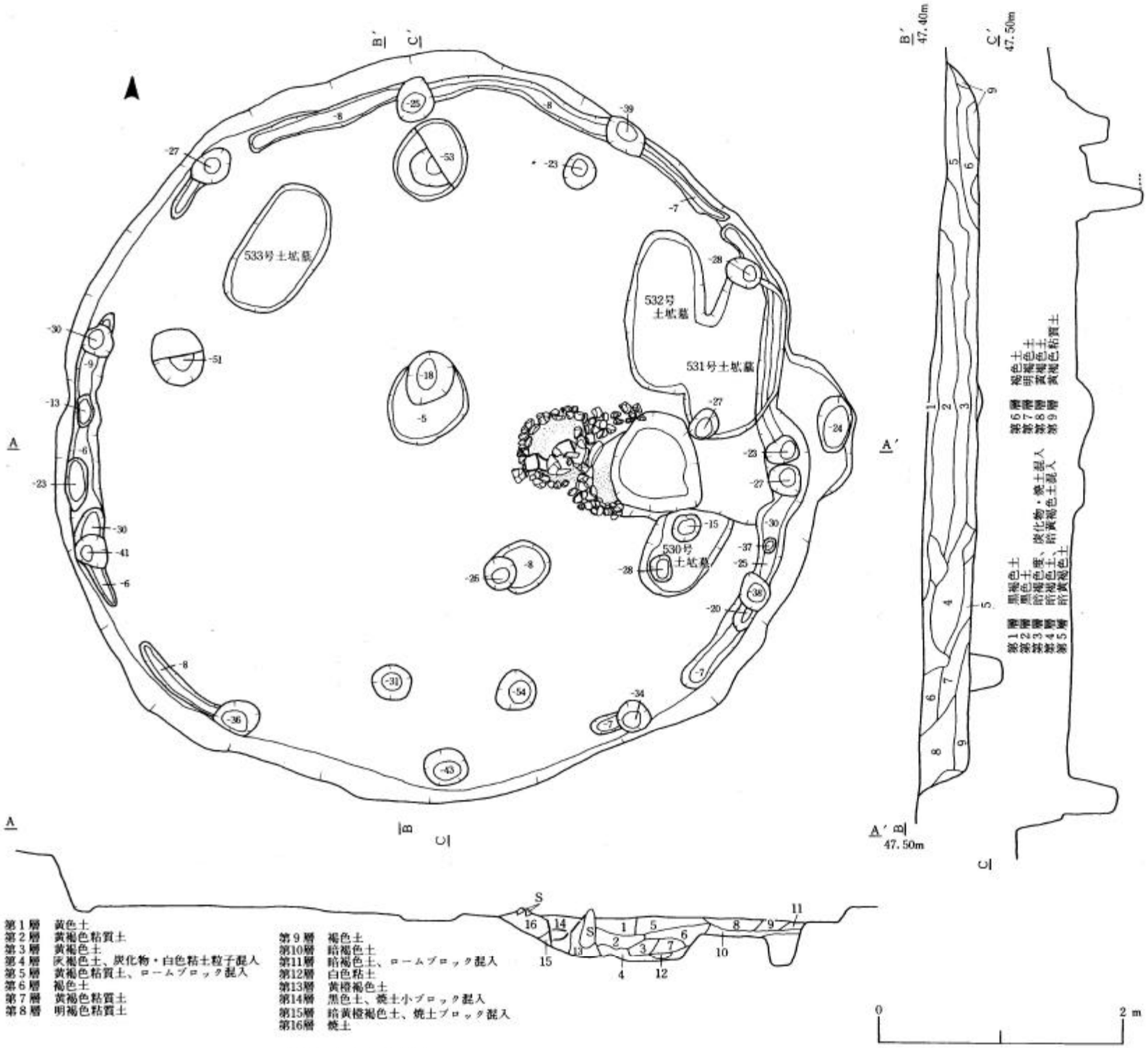
２号住居跡（第４図）

調査区の東端で検出された。

プランは径6.1ｍの円形を呈する。確認面からの深さは43cmで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁直下には幅30cm、深さ40～50cmの周溝が認められる。ピットは大小29個検出されており、周溝上に深さ23cm以上の柱穴が等間隔に並び、主柱穴は床面上の深さ27cm以上のピット４個が考えられ、四角形に配置されている。炉は東側に位置しており、新旧二時期認められた。Ⅰ期－Ⅱ期の炉を作るときに壊され、埋設土器の抜き取り痕跡だけが下部から検出された。Ⅱ期－Ⅰ期と同位置にあるが埋設土器の位置を東に若干替えている。石囲い土器埋設部、石組掘り込み部、掘り込み部からなり、


165号土坑
549号土坑墓
548号土坑墓
土塚
A
A'
B
B'
C
C'
A' 47.00m
B' 47.00m
C' 47.20m
第1層 褐色土、炭化物混入
第2層 黒褐色土
第3層 暗褐色土、炭化物混入
第4層 黄褐色土
第5層 褐色土、灰褐色土・炭化物・焼土混入
第6層 灰黒褐土、焼土粒混入
第7層 褐色土
第8層 赤褐色土、焼土混入
第9層 黄褐色土
第10層 黒色土、黄灰色粘土ブロック混入
第11層 暗褐色土、炭火物・灰色粘土ブロック混入
第12層 黄褐色土
第13層 黄褐色土、一部分焼土化
第14層 暗褐色土、灰白色粘土・焼土混入
第15層 焼土
第16層 暗黄橙色土、焼土混入
第17層 暗黄橙色土
第1層 黒色土
第2層 黒褐色土、炭・焼土粒子多量混入
第3層 褐色土、白色粘質土粒子混入
第4層 暗赤褐色土
第5層 褐色土
第6層 赤褐色土、炭化物混入
第7層 黄褐色粘質土
第8層 褐色土、土坑墓内覆土
0
2m

第3図　1号住居跡


533号土坑墓
532号土坑墓
531号土坑墓
530号土坑墓
B′ 47.40m
C′ 47.50m
A′ 47.50m
第1層　黄色土
第2層　黄褐色粘質土
第3層　黄褐色土
第4層　灰褐色土、炭化物・白色粘土粒子混入
第5層　黄褐色粘質土、ロームブロック混入
第6層　褐色土
第7層　黄褐色粘質土
第8層　明褐色粘質土
第9層　褐色土
第10層　暗褐色土
第11層　暗褐色土、ロームブロック混入
第12層　白色粘土
第13層　黄橙褐色土
第14層　黒色土、焼土小ブロック混入
第15層　暗黄橙褐色土、焼土ブロック混入
第16層　焼土
0
2 m

第4図　2号住居跡

石囲い土器埋設部には深鉢形土器を正立して据えており、周辺および石組掘り込み部は熱を受けて赤変している。特に石組掘り込み部は堅く、焼け面を形成している。掘り込み部は東壁下の周溝に接している。床面は平坦で堅く良好である。

本住居跡は、Ⅱ期炉の拡張に伴い一回り大きく拡張したものと思われる。床面の一部は晩期の土坑墓によって壊されている。

出土遺物

土器（第17・21図）

３はⅡ期炉の埋設土器である。口縁部、底部は欠損し、器表面は剝落が著しく、二次火熱を受け赤変している。地文はＲＬの単節斜縄文（縦回転）である。43～46は覆土から出土した。43・44は細い隆帯で区画した中に刺突文が施される。45はヘラ状工具による細い沈線で文様が描かれる。

石器（第23・24図）

１は縦型石匙、２は削器、６は側縁部に加工が施された刀状の石器である。７は磨石、８は石皿である。

３号住居跡（第５図）

調査区の東側で検出された。

プランは径3.3ｍの円形を呈する。確認面からの深さは15cmで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。ピットは13個検出されているが主柱穴については不明である。炉は新旧三期の作り替えがみとめられる。Ⅰ期－中央やや北にあり最も古い。土器埋設部と掘り込み部からなる。深鉢形土器を正立に据えており、周辺は火熱を受け赤変している。Ⅱ期－南側に位置し、土器埋設部と掘り込み部からなる。深鉢形土器を正立に据えているが、Ⅲ期の埋設土器に半分壊されている。周辺および掘り込み部は火熱を受け赤変している。Ⅲ期－Ⅱ期炉と基本的に同じであるが、埋設土器を北西に移行している。床面は平坦で堅く良好である。住居跡北壁は晩期の土坑墓に壊されている。

出土遺物

土器（第17・18・21図）

４～６は炉埋設土器である。４はＲＬの単節斜縄文（縦回転）である。５は沈線区画の磨消し帯を有し、地文はＬＲの単節斜縄文（縦回転）である。６は口縁部が外反し胴部が膨らむ深鉢形土器である。沈線区画の磨消し帯で文様を描き、地文はＬＲの単節斜縄文（縦回転）である。47・48は覆土から出土した。48は縦に「Ｓ」字状結節が走る。

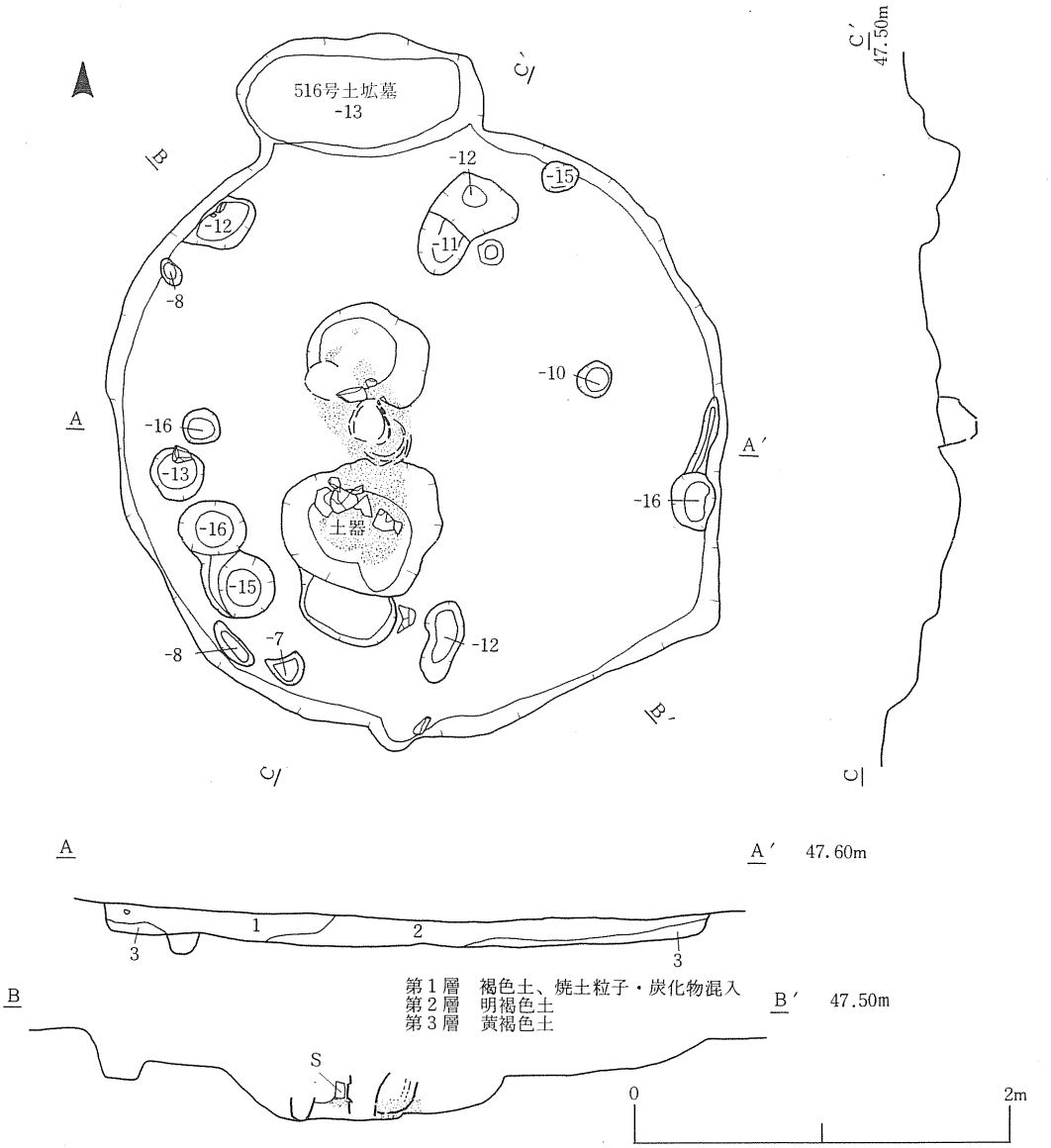
石器（第23・24図）

３は磨製石斧、９は石皿片である。

４号住居跡（第６図）

調査区の東側で検出された。

プランは長軸2.5m、短軸2.2mの楕円形を呈する。確認面からの深さは14cmで、壁はほぼ垂直に



第5図　3号住居跡

立ち上がる。ピットは13個検出されているが主柱穴は不明である。炉は新旧二期認められた。Ⅰ期一中央東側に作られた古い炉である。土器埋設部と掘り込み部からなる。廃棄後に貼り床されている。Ⅱ期一南側に作られている。土器埋設部と掘り込み部からなるが、埋設土器は抜き取られており認められない。周辺は火熱を受け赤変している。床面は平坦で良好である。

出土遺物

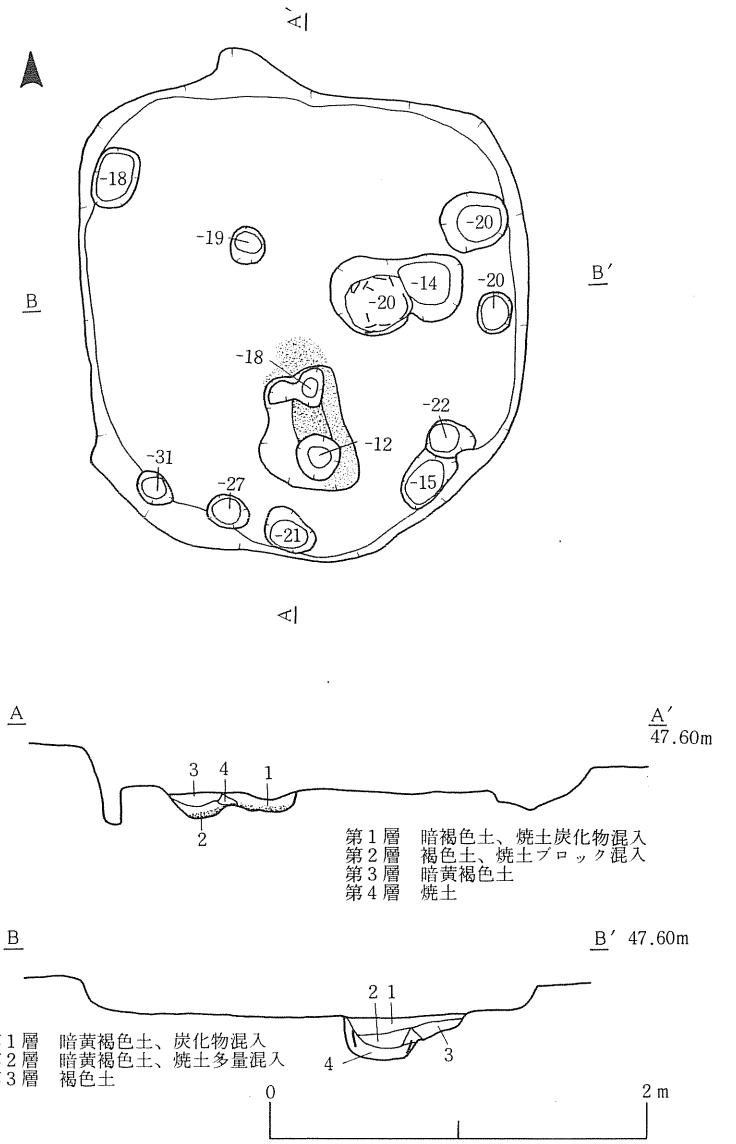
土器（第21図）

49は小破片である。竹管状工具による刺突文が施されている。

5号住居跡（第7図）

調査区東側で検出された。

プランは長軸3.5m、短軸3.2mの楕円形を呈する。確認面からの深さは4cmであるが、壁はほぼ垂直に立ち上がる。床面積の半分近くは晩期の土坑墓に壊されており、ピット数・炉の形態等の詳細は不明である。把握できるピットは13個認められるが、主柱穴は不明である。炉は石囲い炉と思われる。埋設土器は認められなかった。周辺は火熱で赤変している。床面は平坦である。



第6図　4号住居跡

出土遺物

土器（第21図）

50・51は覆土から出土した。沈線区画の磨り消し帯を有する土器片である。

石器（第24図）

10は磨石である。

6号住居跡（第8図）

調査区東側で検出された。

プランは長軸2.6m、短軸2.4mの楕円形を呈する。確認面からの深さは14cmで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。ピットは壁沿いに9個検出されているが、主柱穴については不明である。炉は中央西側に作られており、土器埋設部と掘り込み部からなる。土器埋設部には深鉢形土器を正立に据えており、周辺および掘り込み部は火熱を受け赤変している。床面は平坦で堅く、良好である。

出土遺物

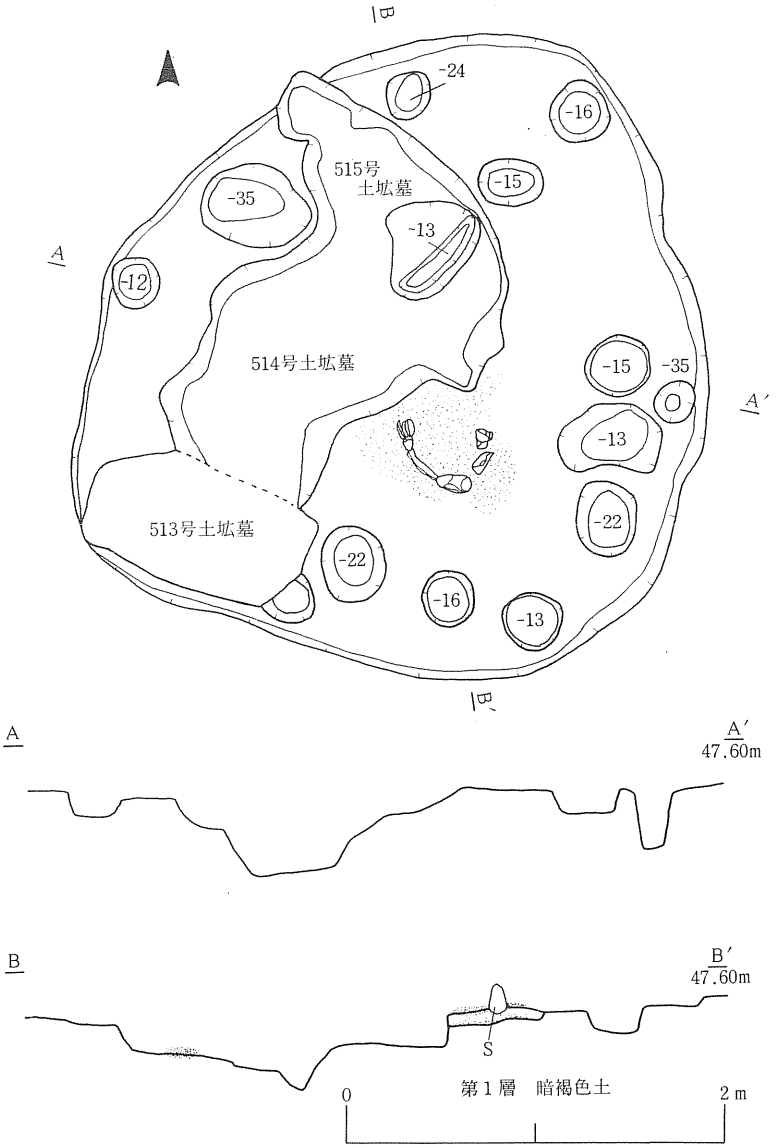
土器（第18・21図）

7は炉埋設土器で、口縁部が外反し、胴部が膨らむ深鉢形土器である。口縁部は磨消し無文帯で胴部には沈線区画の磨消し帯でJ字状の文様が展開される。地文はRLの単節斜縄文（縦回転）である。52～58は覆土から出土した。口縁部は磨消し無文帯で、沈線で区画されている。

7号住居跡（第9図）

調査区東側で検出された。風倒木痕、晩期の土坑墓によって一部壊されている。

現存するプランは、長軸7.9m、短軸6.0mの楕円形を呈する。確認面からの深さは1～2cmと非常に浅い。ピットは6個検出されているが主柱穴は不明である。炉は北側に作られており、土器埋設部と掘り込み部からなり、間には礫が組まれている。周辺は火熱で赤変している。土器埋設部には深鉢形土器が正立に据えられている。床面は平坦で良好である。



第7図　5号住居跡

出土遺物

石器（第24図）

11は磨石、12はくぼみ石である。

8号住居跡（第10図）

調査区の東側で検出された。

プランは長軸3.3m、短軸2.5mの楕円形を呈する。北東部は晩期の土坑墓によって壊されている。確認面からの深さは16cmで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。ピットは9個検出されており、四隅にある深さ25cm以上のものが主柱穴と思われる。炉は南側に作られており、石囲い土器埋設部と掘り込み部からなる。深鉢形土器が正立に据えられており、周辺は火熱で赤変している。床面は平坦で堅く良好である。

出土遺物

土器（第18・22図）

8は口縁部が外反し、胴部が膨らむ深鉢形土器である。隆線と磨消し帯で文様を横方向に展開させる。地文はLRの単節斜縄文（縦回転）である。59～80は覆土から出土した。沈線区画の磨消し帯を有するが、中には刺突文の施されるものもある。

石器（第23図）

4は縦型の石匙、5は削器である。

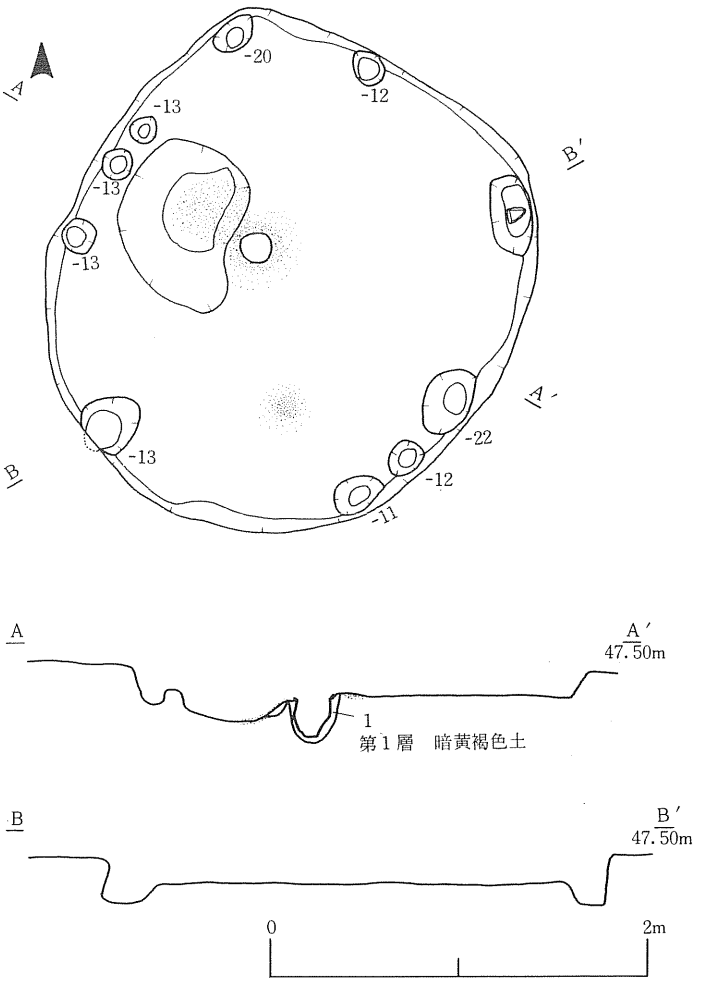
土製品（第25図）

1は三角形土製品、2は双口の土製品である。

9号住居跡（第11図）

調査区東側で検出された。

プランは長軸2.8m、短軸2.5mの楕円形を呈する。東南・北西部は晩期の土坑墓によって壊されている。確認面からの深さは2cmと浅く、大部分削平されている。ピットは7個検出されているが主柱穴は不明である。炉は北側に作られており、土器埋設部と掘り込み部からなる。掘り込み部は北壁に接している。埋設土器は抜き取られており認められなかった。周辺は火熱を受け赤変している。床面は平坦で堅く良好である。



第8図　6号住居跡

10号住居跡（第12図）

調査区東側で検出された。

壁は晩期の土坑墓、削平によって壊されておりプラン、規模は不明である。ピット・炉が検出されており、その配置から推定すると径約3.7mの円形を呈すると思われる。ピットは6個検出されている。炉は中央よりやや東南に作られており、土器埋設部と、掘り込み部からなる。土器埋設部には深鉢形土器を正立に据えている。周辺は火熱を受け赤変している。

出土遺物

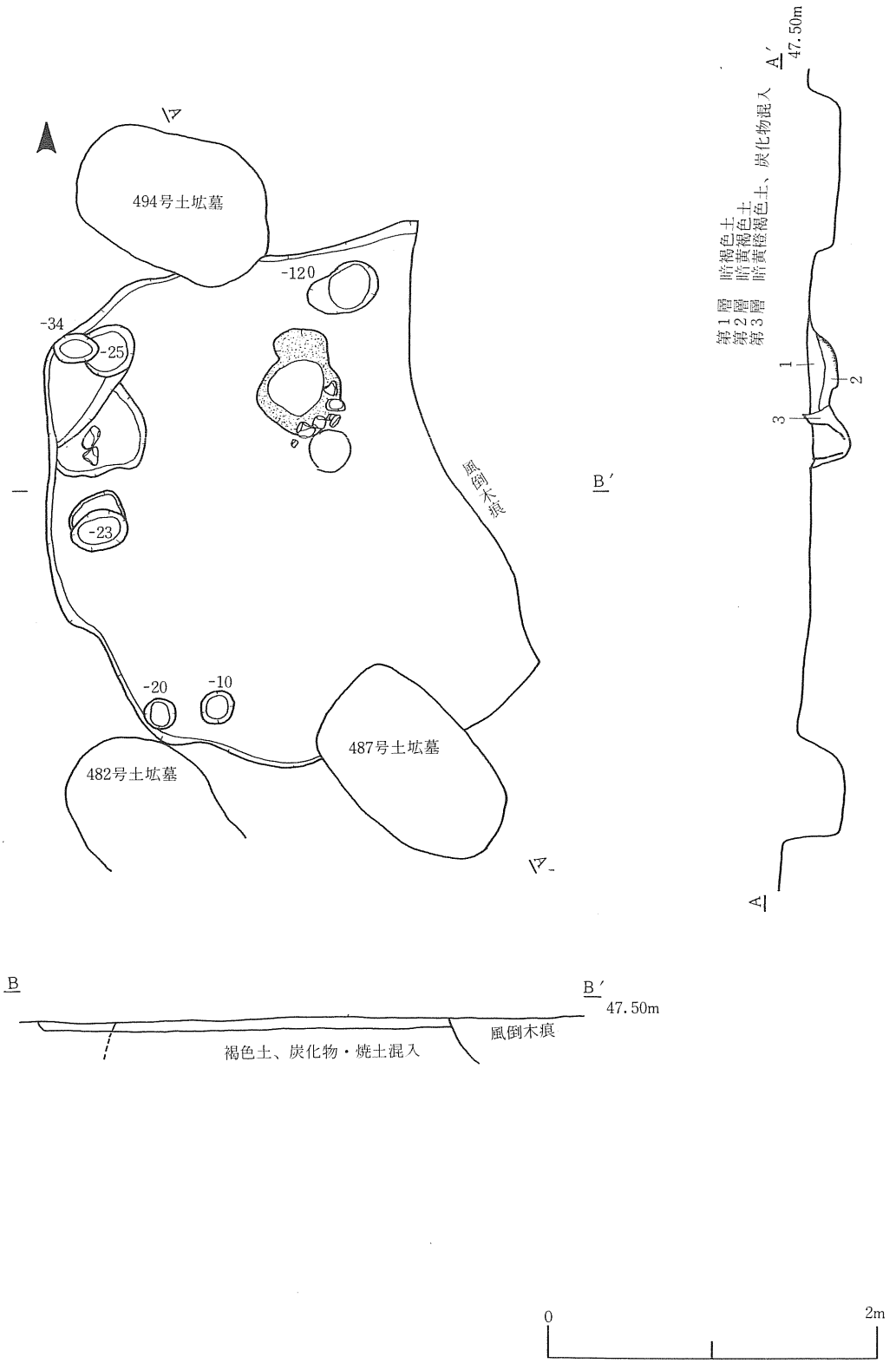
土器（第18図）

9は炉埋設土器である。深鉢形土器の胴部であり、熱を受け赤変している。地文はＲＬの単節斜縄文（縦回転）である。

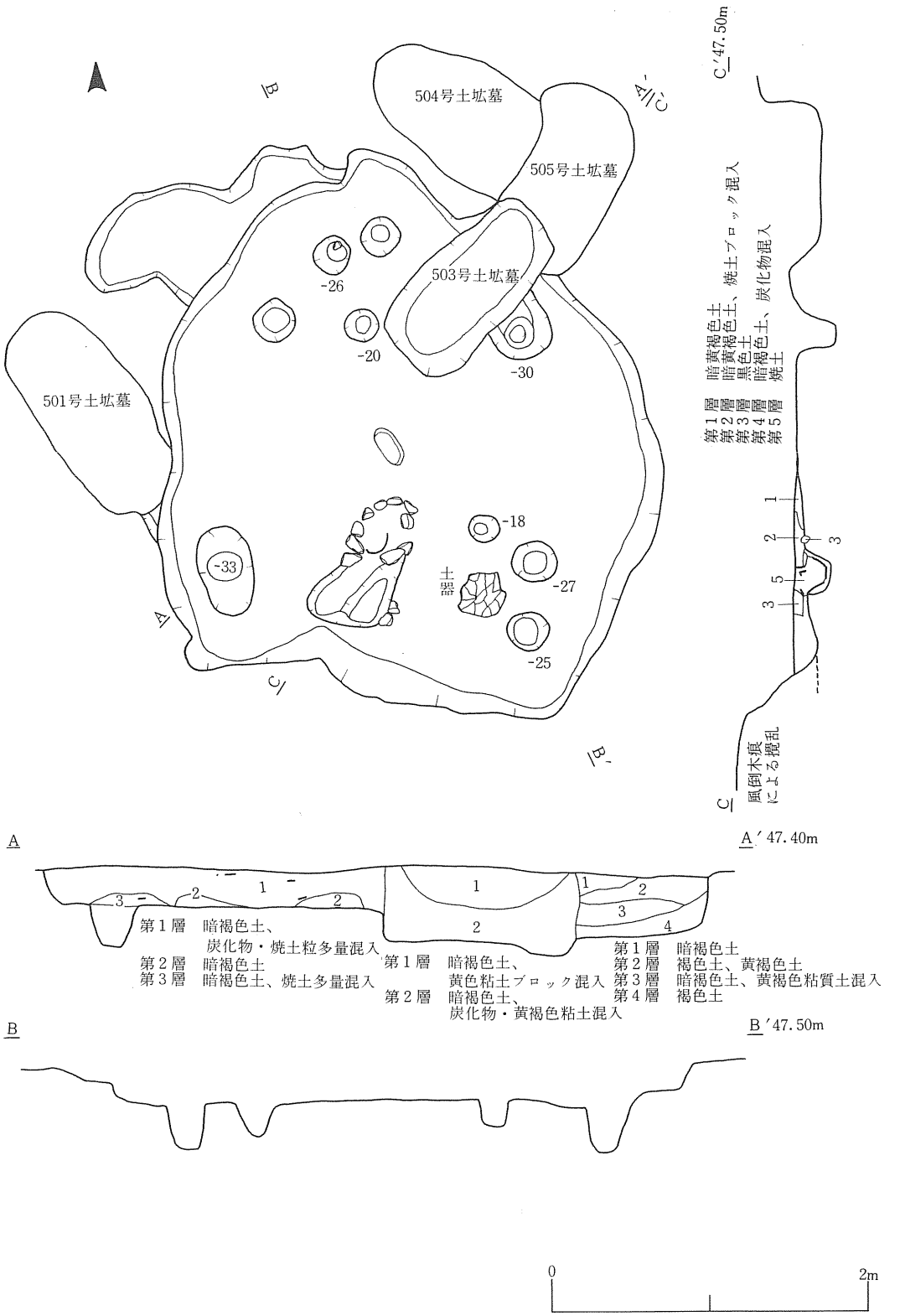
11号住居跡（第16図）

調査区東側で検出された。

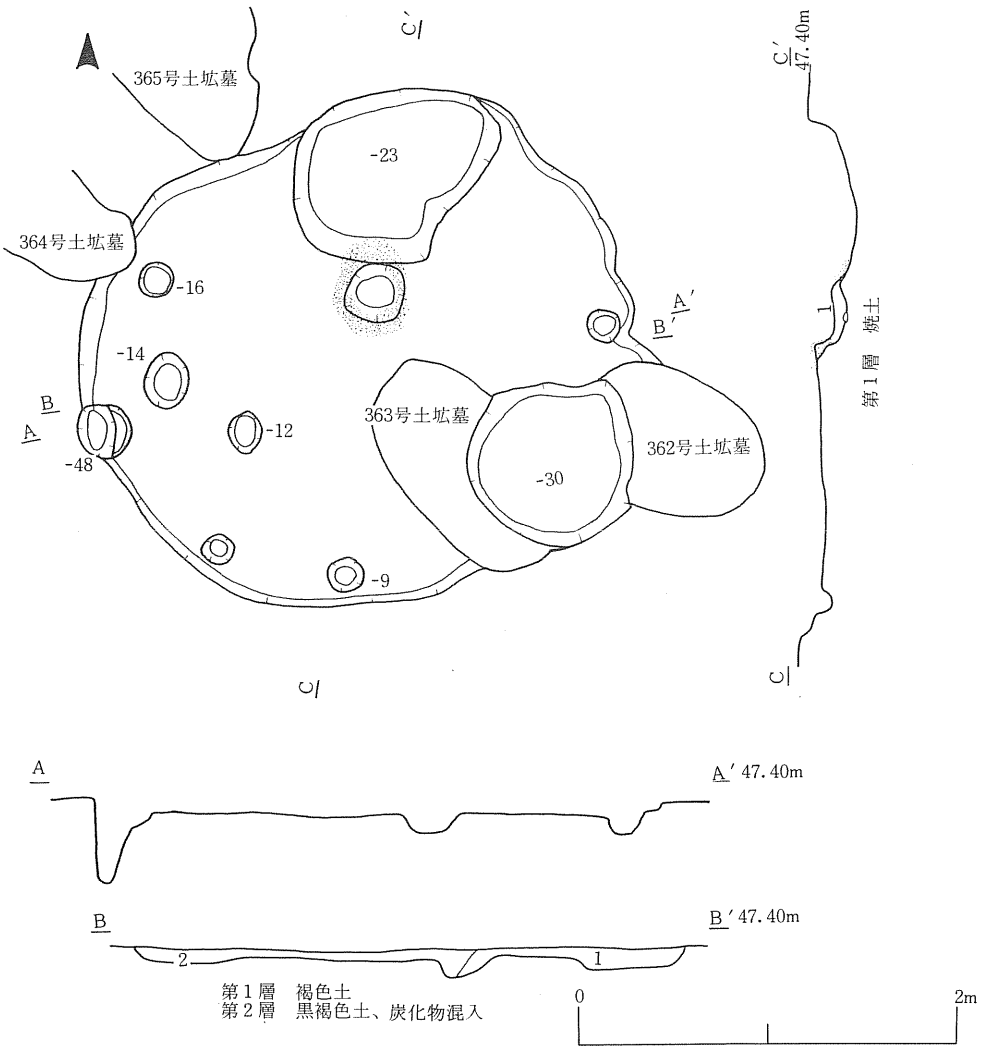
晩期の土坑墓、削平によって壊されており、プラン、規模は不明である。ピット、炉が検出されており、その配置から推定すると径約2.9mの円形を呈すると思われる。ピットは5個検出されて


494号土坑墓
-120
-34
-25
-23
-20
-10
482号土坑墓
487号土坑墓
風倒木痕
A
A′
47.50m
第1層 暗褐色土
第2層 暗黄褐色土
第3層 暗黄橙褐色土、炭化物混入
1
2
3
B
B′
47.50m
風倒木痕
褐色土、炭化物・焼土混入
0
2m

第9図　7号住居跡


504号土坑墓
505号土坑墓
503号土坑墓
501号土坑墓
-26
-20
-30
-18
-27
-25
-33
土器
A
A′
B
B′
C
C′
C′47.50m
第1層 暗黄褐色土
第2層 暗黄褐色土、焼土ブロック混入
第3層 黒色土
第4層 暗褐色土、炭化物混入
第5層 焼土
風倒木痕による攪乱
A′47.40m
第1層 暗褐色土、
炭化物・焼土粒多量混入
第2層 暗褐色土
第3層 暗褐色土、焼土多量混入
第1層 暗褐色土、
黄色粘土ブロック混入
第2層 暗褐色土、
炭化物・黄褐色粘土混入
第1層 暗褐色土
第2層 褐色土、黄褐色土
第3層 暗褐色土、黄褐色粘質土混入
第4層 褐色土
B′47.50m
0
2m

第10図　8号住居跡



第11図　9号住居跡

いる。炉は土器埋設部と堀り込み部からなるが、土器埋設部は土坑墓によって壊されている。

12号住居跡（第13図）

調査区の東側で検出された。

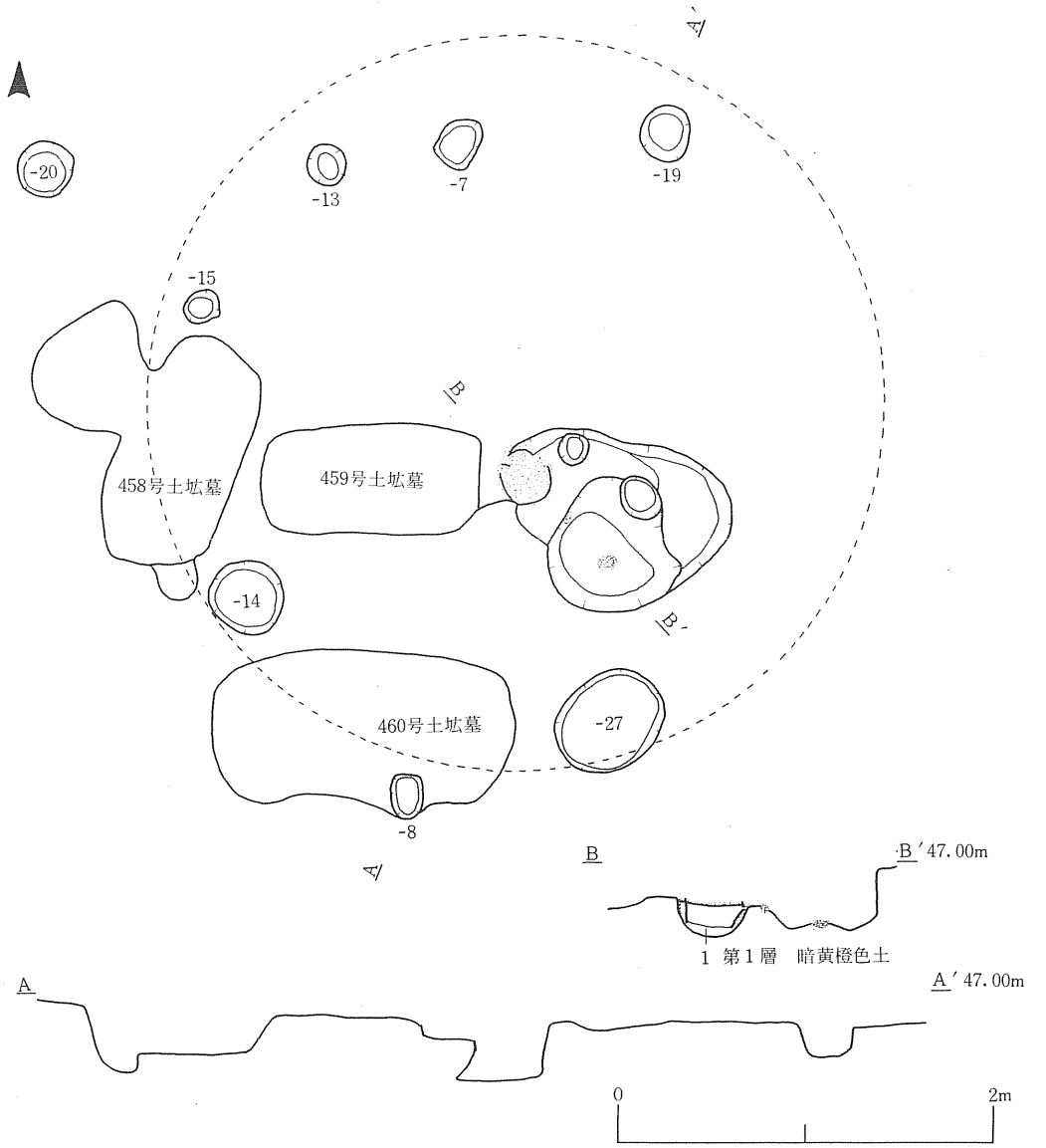
晩期の土坑墓、削平により壊されており、プラン、規模は不明である。わずかに住居跡にともなうピット3個と炉が検出された。炉は土器埋設部と小さな掘り込み部からなる。土器埋設部には小形の深鉢形土器の破片が認められた。

13号住居跡（第14図）

調査区の東側で検出された。

晩期の土坑墓によって壁、床面は大部分壊されている。

プランは径3.3mの円形を呈する。確認面からの深さは6cmで壁はほぼ垂直に立ち上がる。ピットは9個検出されており壁沿いに周るものが多い。主柱穴は不明である。炉は中央より北側に作ら



第12図　10号住居跡

れており、石囲い土器埋設部と掘り込み部からなる。土器埋設部には深鉢形土器を正立に据えている。周辺、および掘り込み部は火熱を受け赤変している。床面は平坦で堅く良好である。

出土遺物

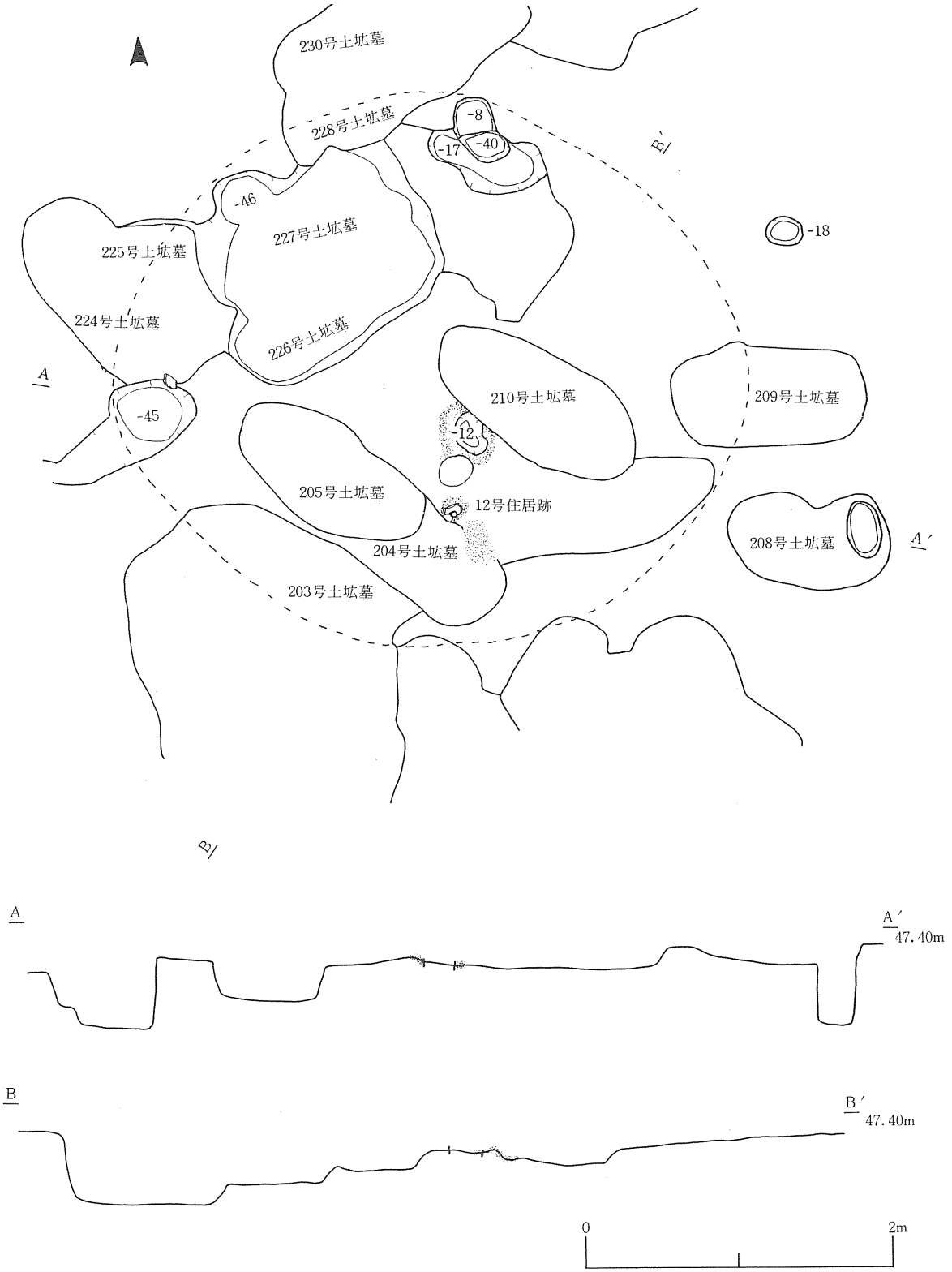
土器（第18図）

11は炉埋設土器である。波状口縁をなし、口縁部が外反し、胴部が膨らむ深鉢形土器である。沈線区画の磨消し帯をＪ字状に展開させる。地文はＲＬの単節斜縄文（縦回転）である。

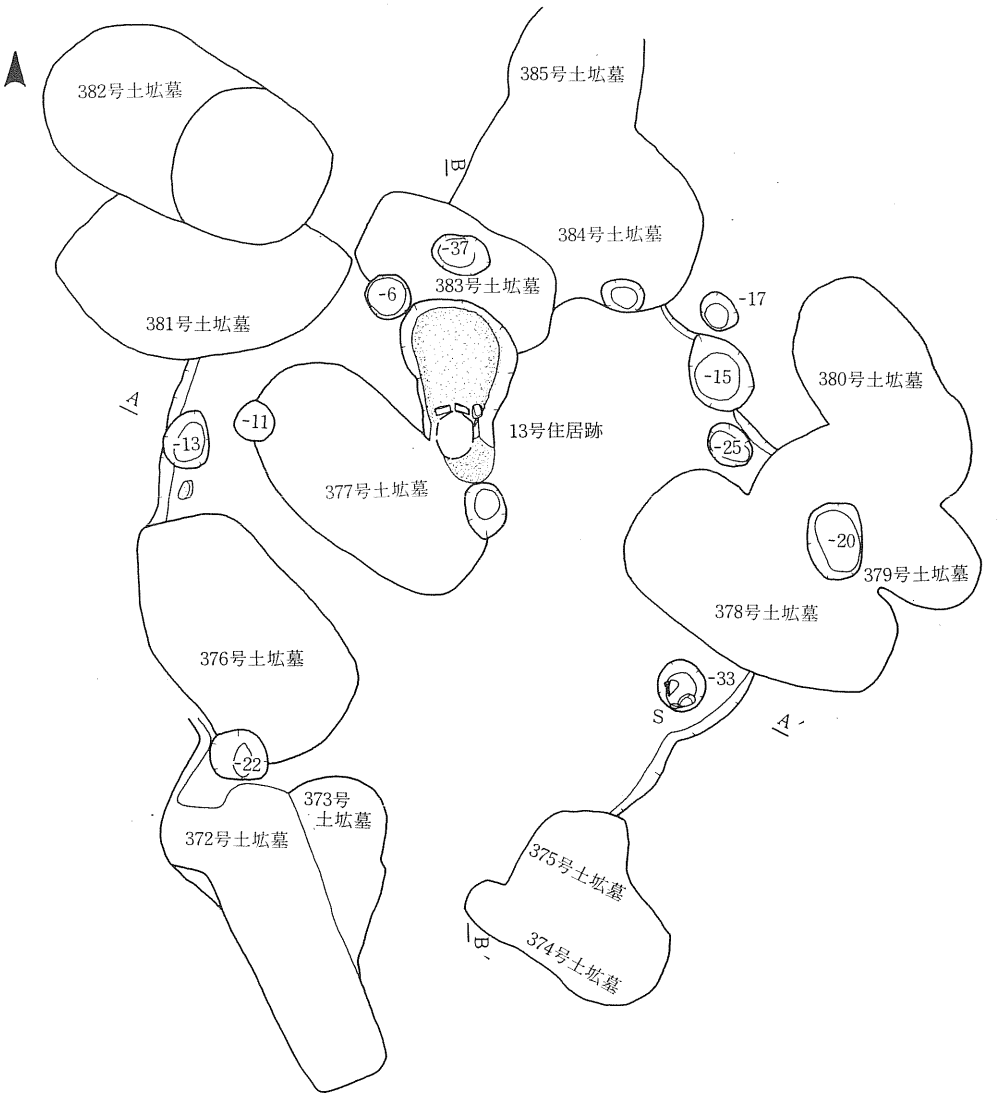
石器（第24図）

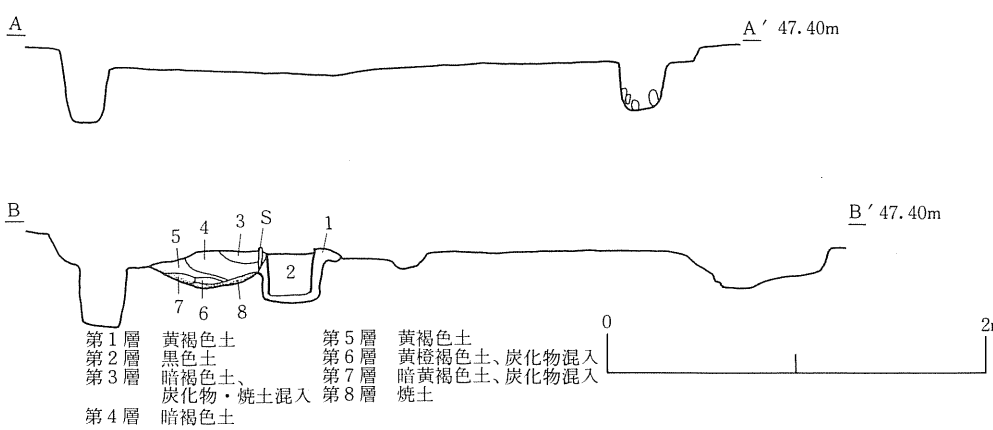
13はくぼみ石である。

14号住居跡（第15図）

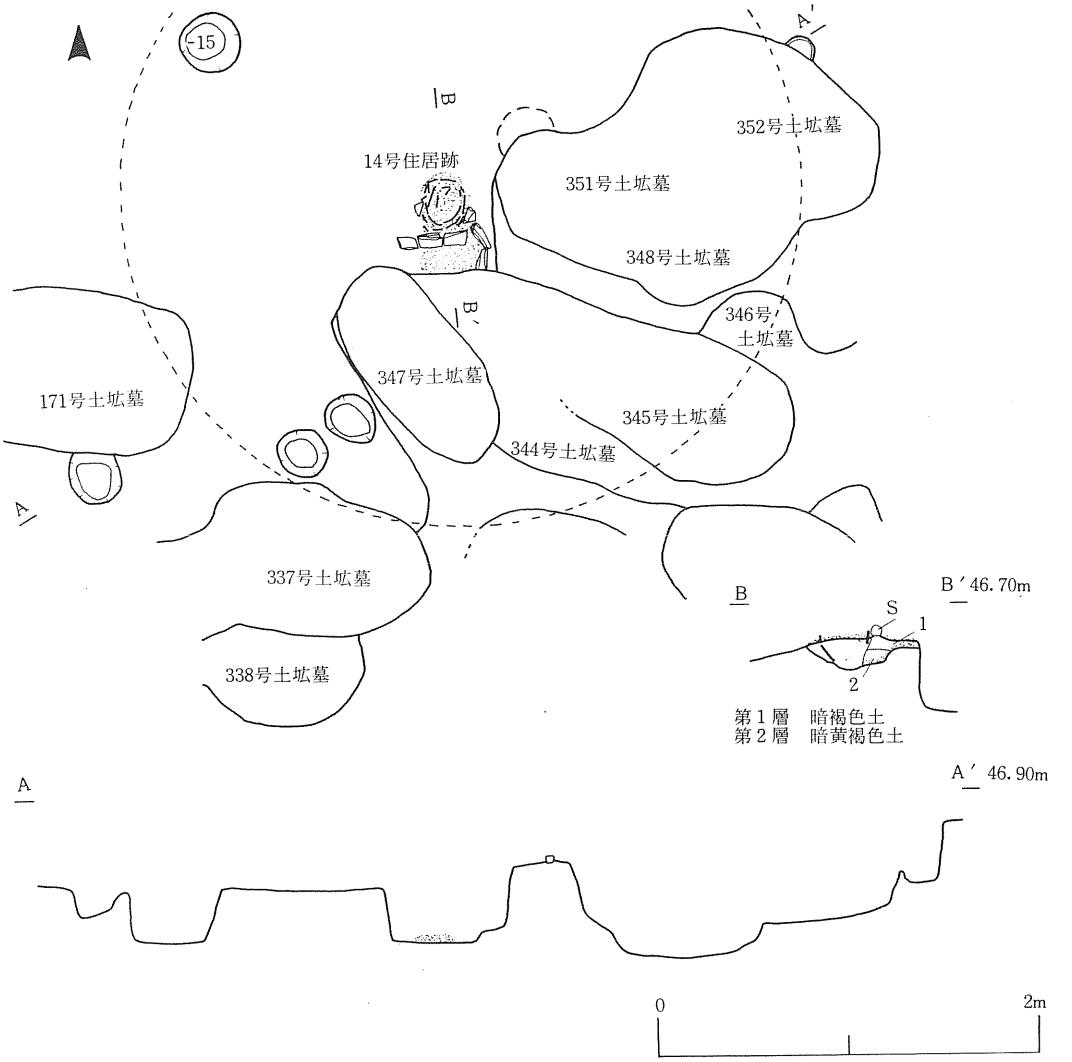

230号土坑墓
228号土坑墓
-8
-17
-40
B′
-46
227号土坑墓
-18
225号土坑墓
224号土坑墓
226号土坑墓
A
-45
210号土坑墓
209号土坑墓
-12
205号土坑墓
12号住居跡
204号土坑墓
208号土坑墓
A′
203号土坑墓
B
A
A′
47.40m
B
B′
47.40m
0
2m

第13図　12号住居跡


382号土坑墓
385号土坑墓
B
384号土坑墓
-37
383号土坑墓
-6
-17
381号土坑墓
-15
380号土坑墓
A
-11
13号住居跡
-13
-25
377号土坑墓
-20
379号土坑墓
378号土坑墓
376号土坑墓
-33
S
A'
-22
373号
土坑墓
372号土坑墓
375号土坑墓
B'
374号土坑墓


A
A' 47.40m
B
B' 47.40m
5
4
3
S
1
2
7
6
8
0
2m
第1層　黄褐色土
第2層　黒色土
第3層　暗褐色土、
炭化物・焼土混入
第4層　暗褐色土
第5層　黄褐色土
第6層　黄橙褐色土、炭化物混入
第7層　暗黄褐色土、炭化物混入
第8層　焼土

第14図　13号住居跡



第15図　14号住居跡

調査区の東側で検出された。

晩期の土坑墓、削平によって壊されており炉の一部と住居跡に伴うピット3個が認められた。プラン、規模は不明である。炉は二期検出されているが新旧関係については不明である。Ⅰ期―北東部に位置する。埋設土器と焼土が認められるが、埋設土器は深鉢形土器を正立に据えている。Ⅱ期―中央部に位置する。石囲い土器埋設部と石組部からなる。埋設土器は壊われており破片が多い。

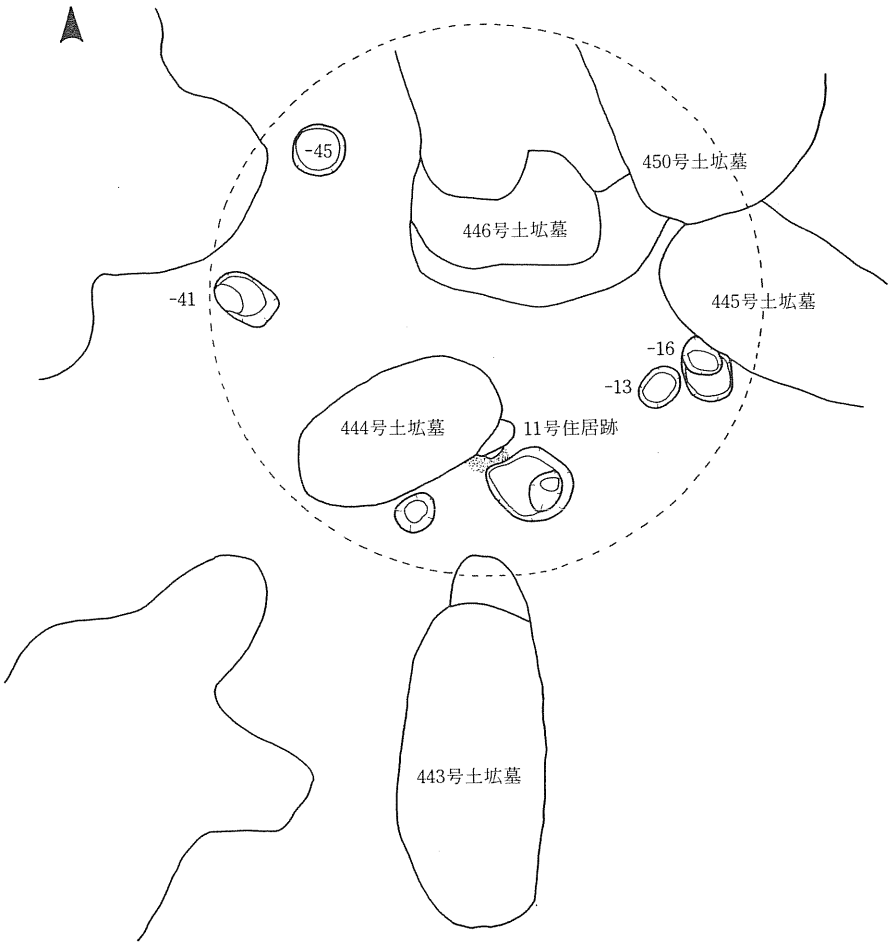
出土遺物

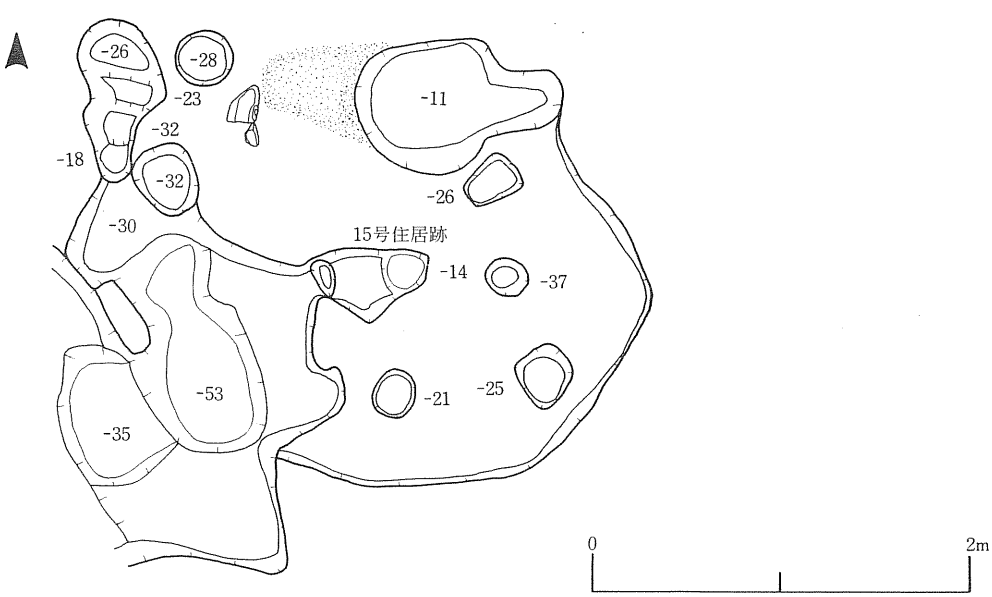
土器（第18図）

10はⅠ期炉の埋設土器である。深鉢形土器の胴部であり、沈線区画の磨消し帯で文様を横に展開させている。

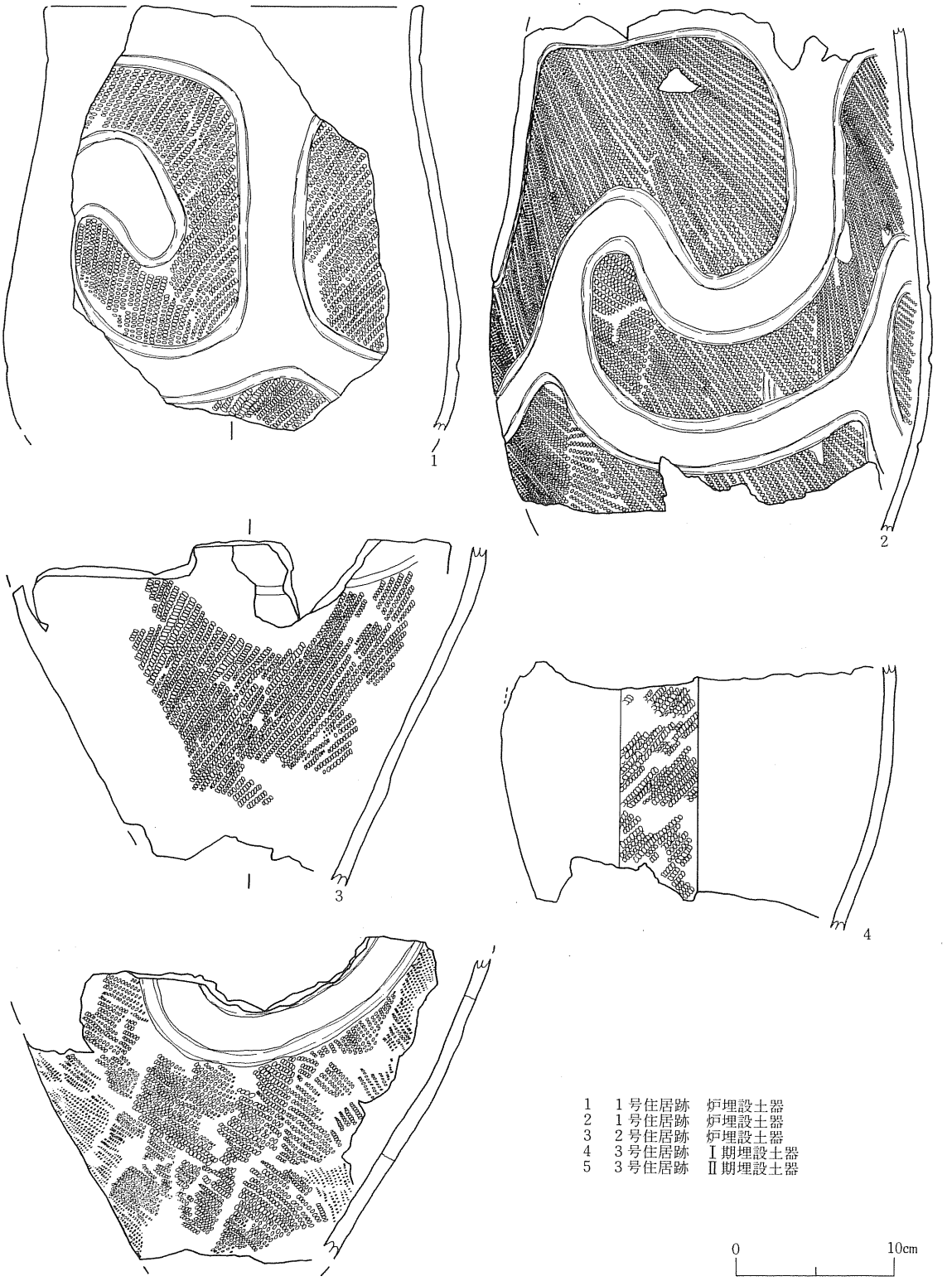
15号住居跡（第16図）

調査区東側で検出された。攪乱によって大部分壊されている。

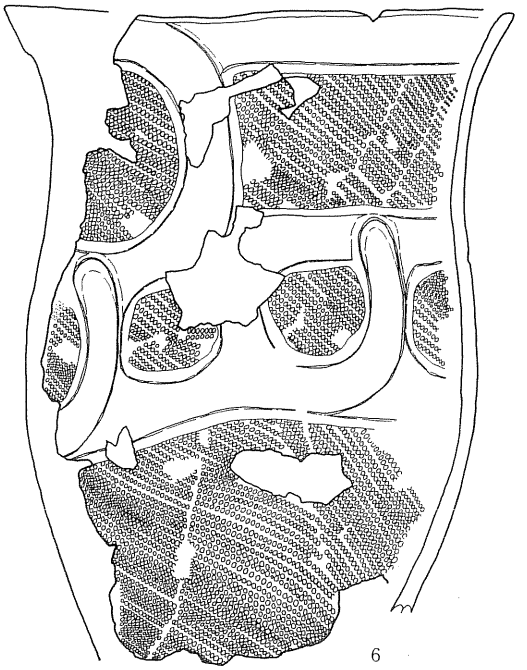


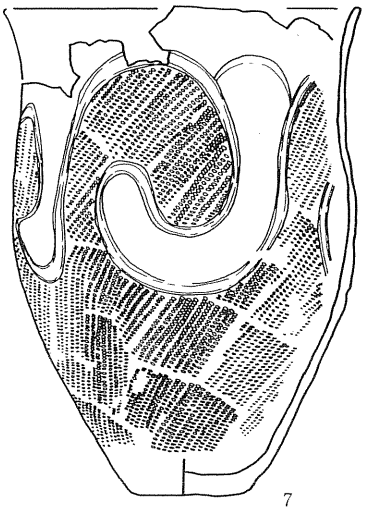


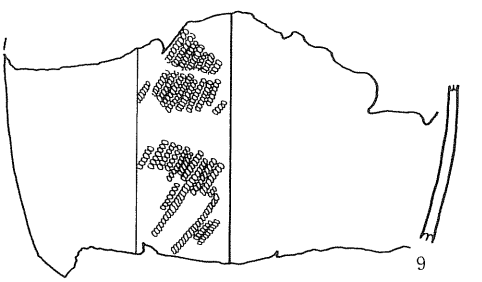
第16図　11号、15号住居跡

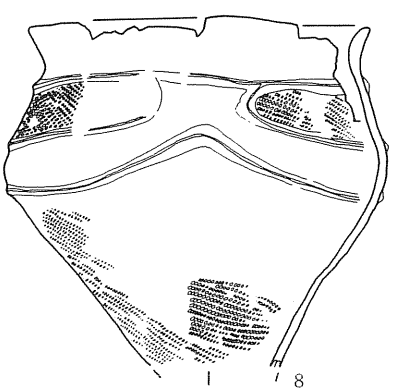


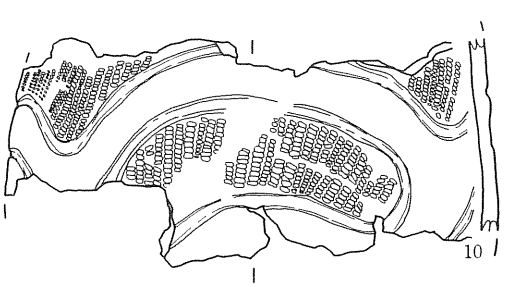
第17図　遺構内出土土器

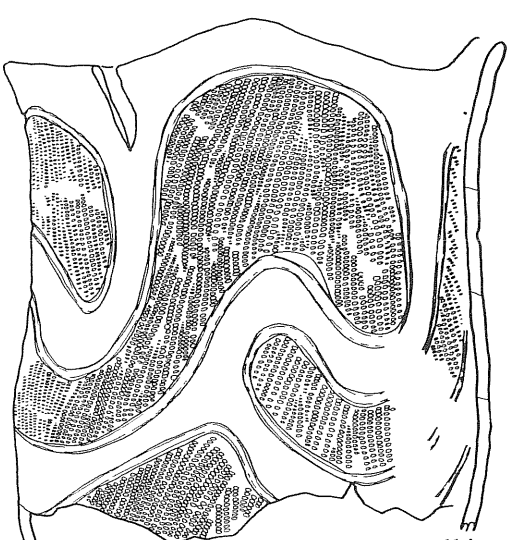








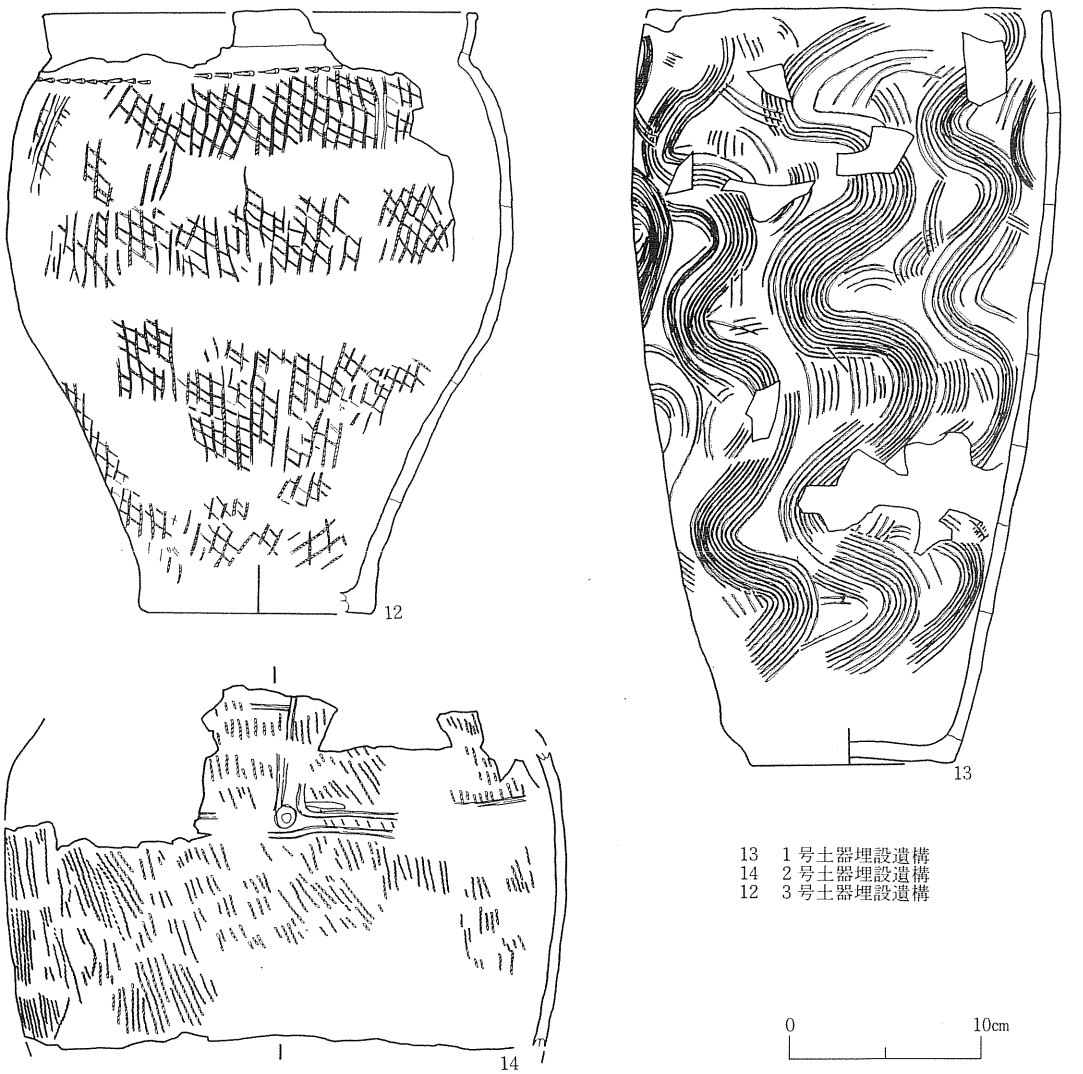




6　3号住居跡　Ⅲ期埋設土器
7　6号住居跡　炉埋設土器
8　8号住居跡　炉埋設土器
9　10号住居跡　炉埋設土器
10　14号住居跡　炉埋設土器
11　13号住居跡　炉埋設土器

0　10cm

第18図　遺構内出土土器



第19図　遺構内出土土器

プランは長軸2.9m、短軸2.3mの楕円形を呈する。北側に焼土が認められるが炉かどうか不明である。床面は凹凸があり、軟弱で不良である。

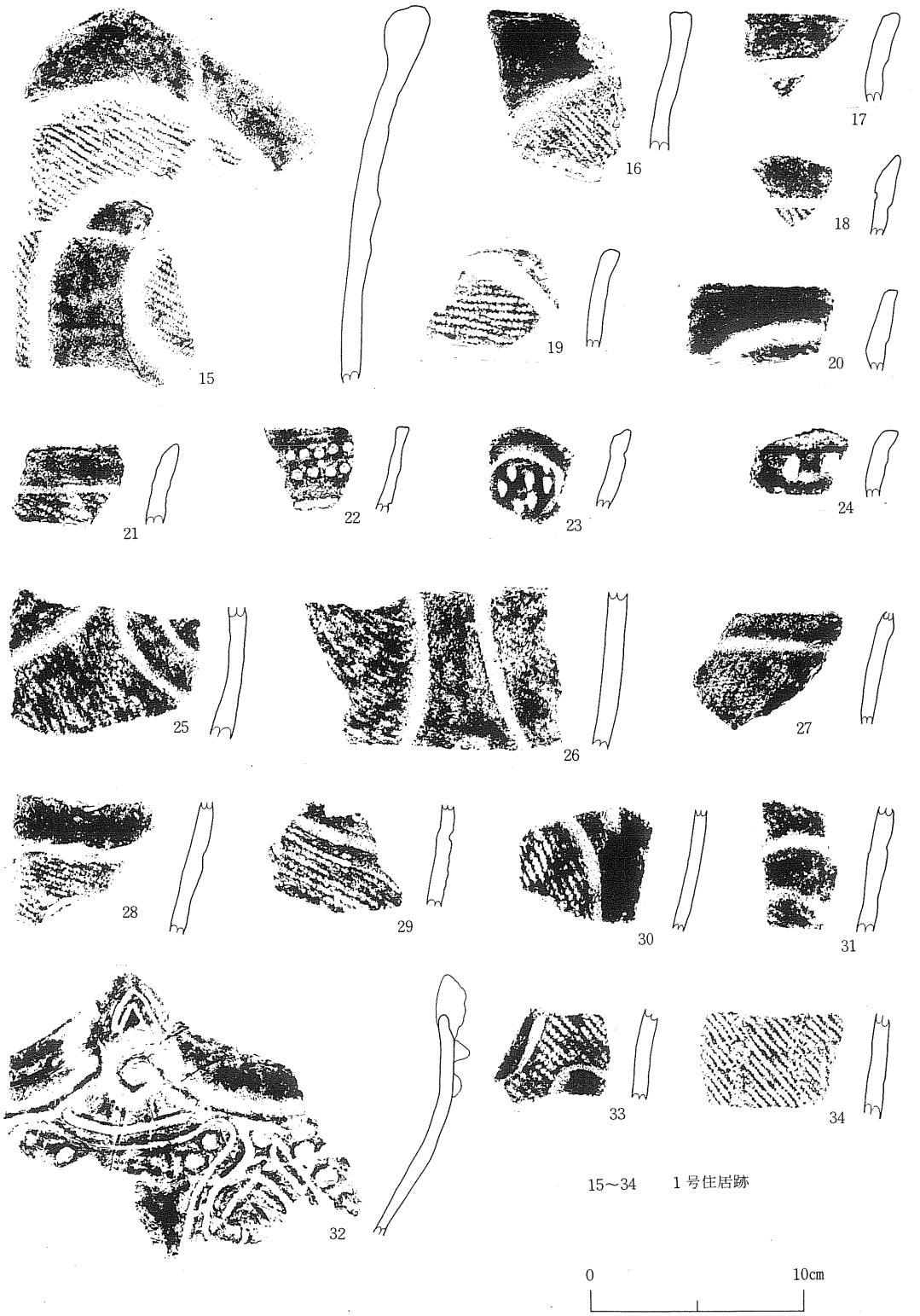
土器埋設遺構

1号土器埋設遺構

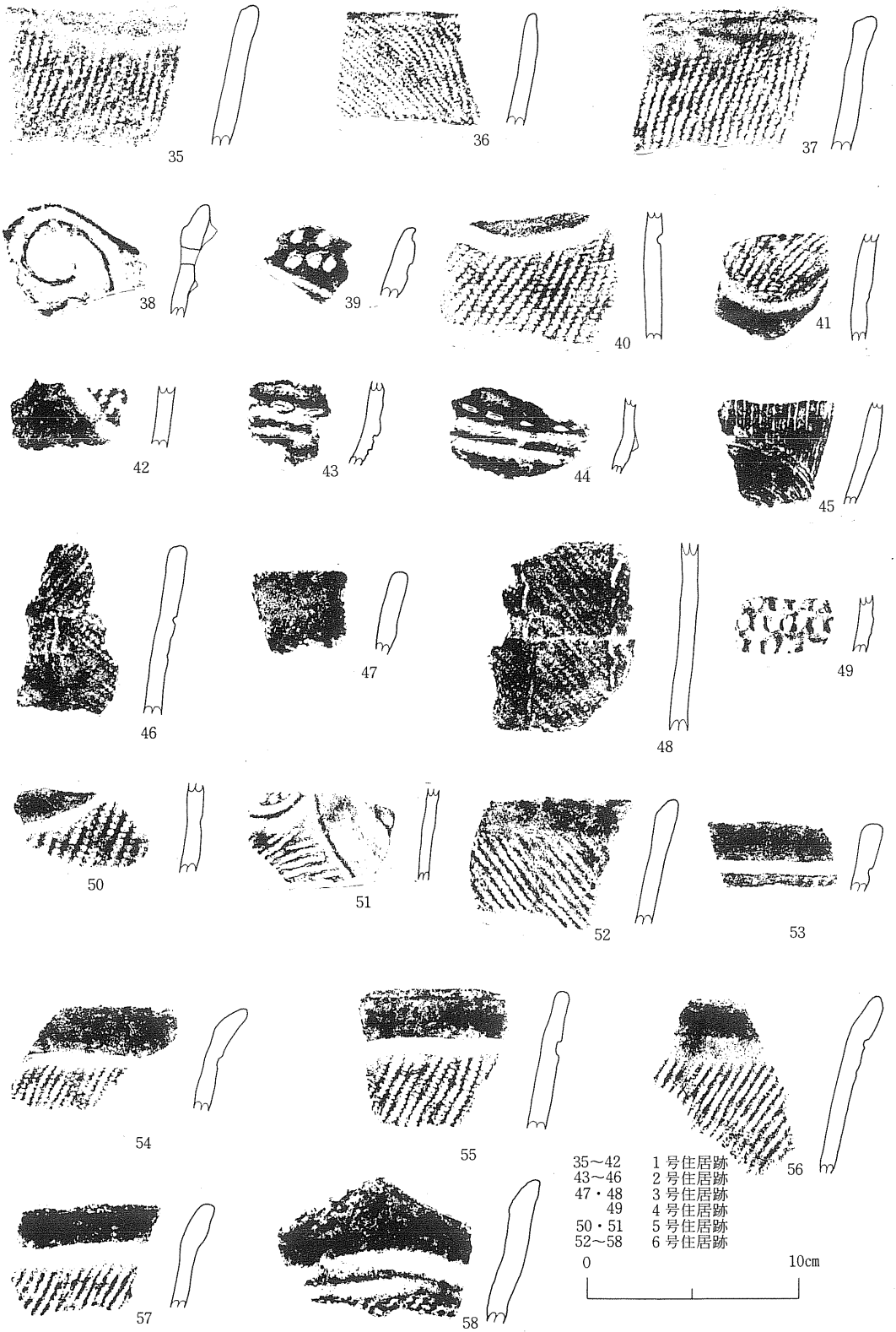
調査区東側の2—10—Jグリッドの地山ローム面で検出された。掘り方平面形は楕円形を呈し、長径34cmを計り、深さは34cm程掘り込まれている。13は埋設土器で、口径26cm、器高40cmを計る深鉢形土器である。平縁で、口縁部がわずかに内反する。櫛目状工具により流水文が施されている。

2号土器埋設遺構

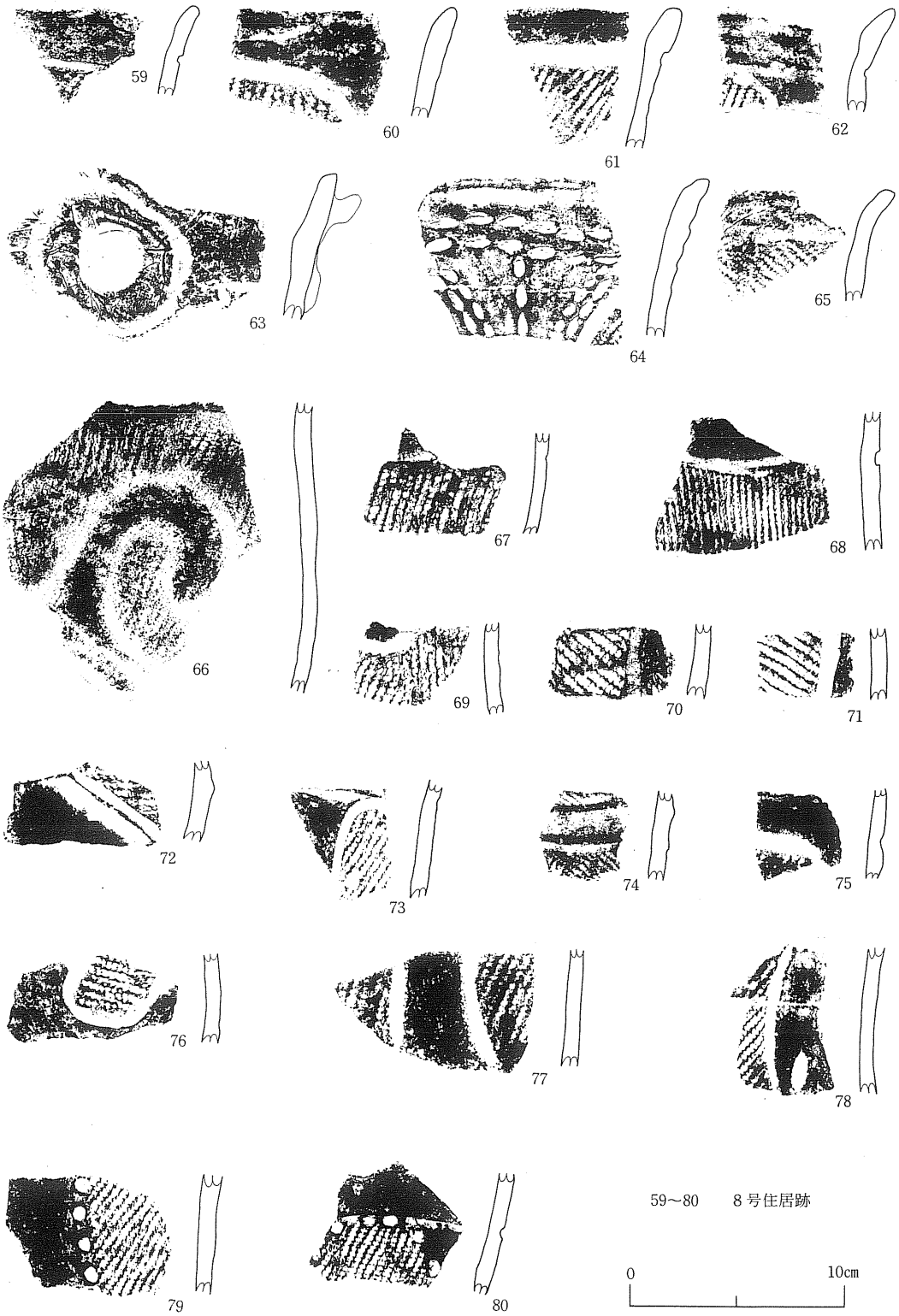
調査区東側の2—6—Fグリッドの地山ローム面で検出された。掘り方平面形は、円形を呈し、径26cmを計る。14は埋設土器で、深鉢土器の胴部である。中央部に円形の貼り付文を有し、沈線で区画される。地文は撚糸文である。



第20図　遺構内出土土器



第21図　遺構内出土土器



第22図　遺構内出土土器

3号土器埋設遺構

調査区東側の2－6－Fグリッドの地山ローム面で検出された。2号土器埋設遺構に隣接している。掘り方平面形は、径26cmのほぼ円形を呈する。12は埋設土器で、推定口径23cm、器高32cmを計る深鉢形土器である。平縁で、口縁部が「く」の字状に外反し、胴部が膨らむ。頸部に刺突文を施し、体部には綱目状撚糸文が施されている。

出土土器

遺構内外出土の土器は中期末葉～後期初頭のもので、Ⅰ群土器を中期末葉、Ⅱ群土器を後期初頭とし、器形、文様から類別した。

Ⅰ群土器（第17・18・20～22・27図）

中期末葉の土器を一括した。磨消し縄文が主体をなし、列点文、刺突文などもみられる。深鉢形土器がほとんどである。

1類土器（1～3・5～7・10・11・15～21・25～31・33・40～42・50～63・65～78・81～87・90・91）

沈線区画の磨消し帯によって、曲線的な文様を施す土器群である。「J」・逆「C」字状文などが展開される。

2類土器（8・38）

隆線と磨消し帯によって、曲線的な文様を施しており、さらに沈線に刺突文が施される土器群である。

4類土器（43・44・49）

隆線と磨消し帯によって文様を構成し、隆線に沿って、竹管状工具によって刺突文を施す土器群である。

5類土器（45）

ヘラ状工具により、細い集合沈線が施されている土器である。

6類土器（46・48）

地文の縄文に横・縦の「S」字状結節が施される土器群である。

Ⅱ群土器（第19・20図）

後期初頭と思われる土器を本群とした。

1類土器（12）

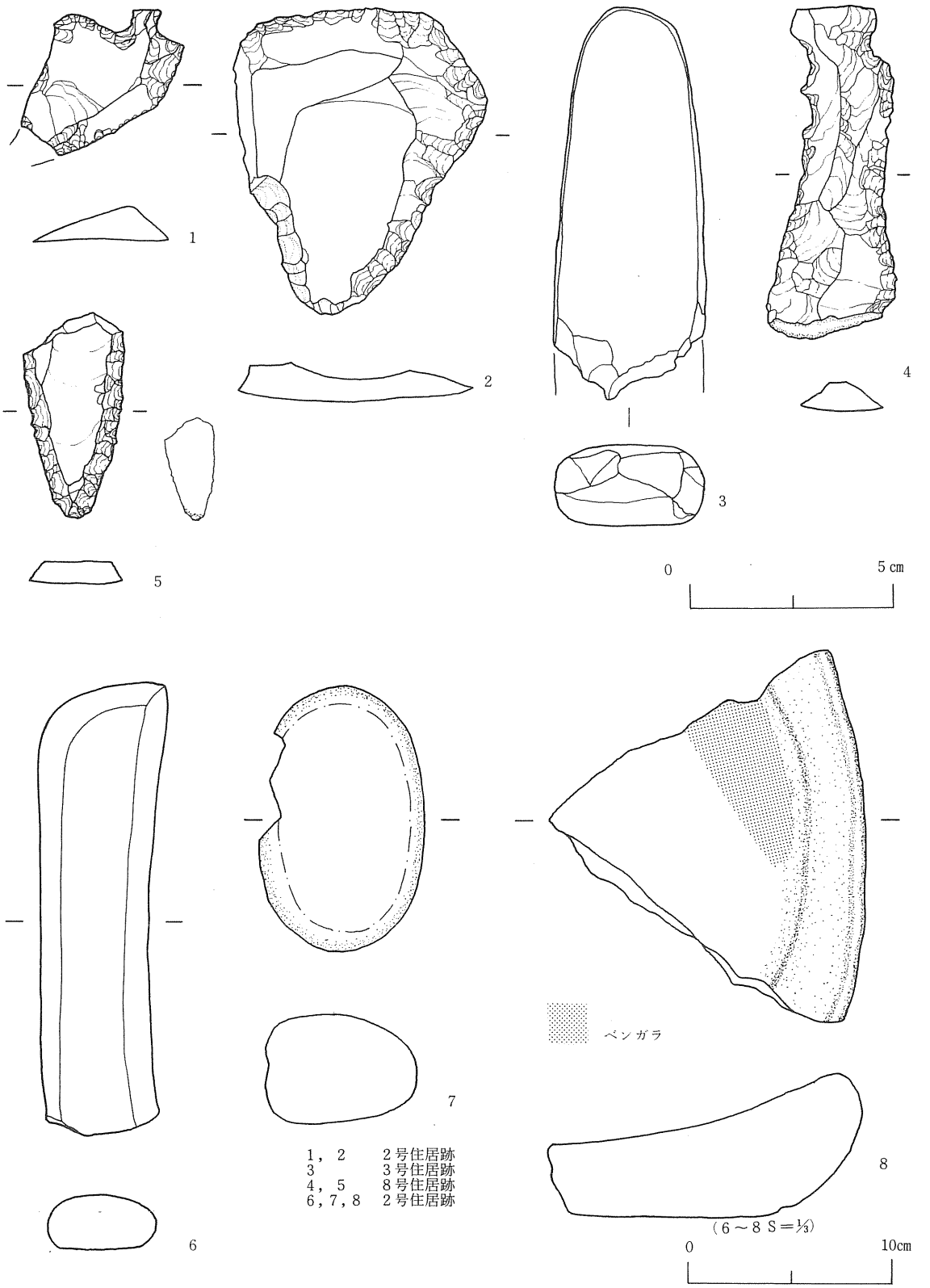
頸部に刺突文を施し、体部には綱目状撚糸文が施される土器である。

2類土器（13）

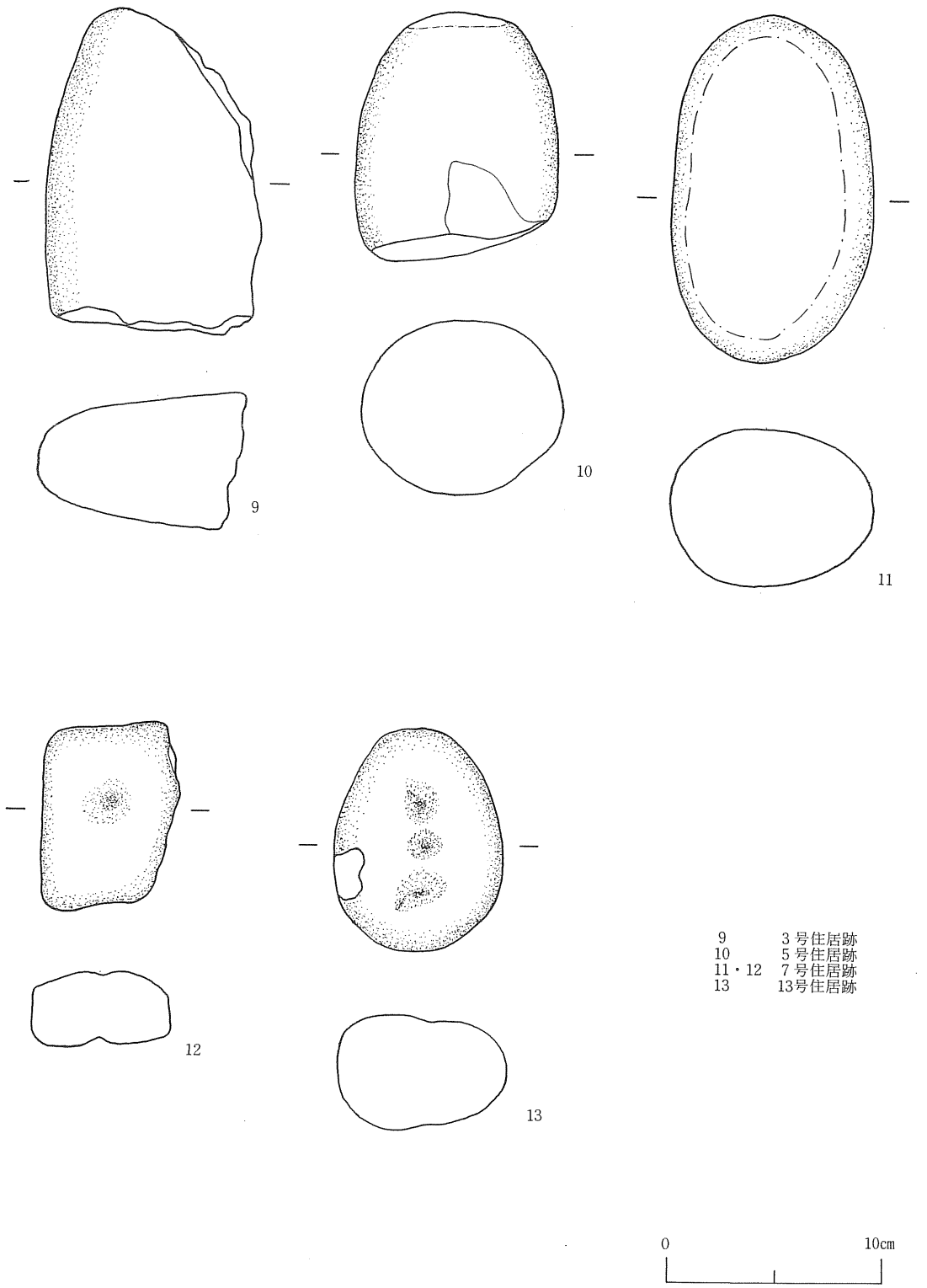
櫛状工具により、器全面に流水文が施される土器である。

3類土器（14）

胴部上半中央部に円形の貼り付け文を施し、そこを中心に沈線文で区画されている。地文は撚糸



第23図　遺構内出土石器

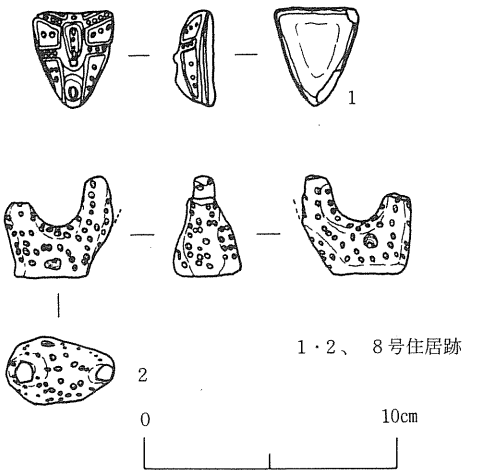


第24図　遺構内出土石器

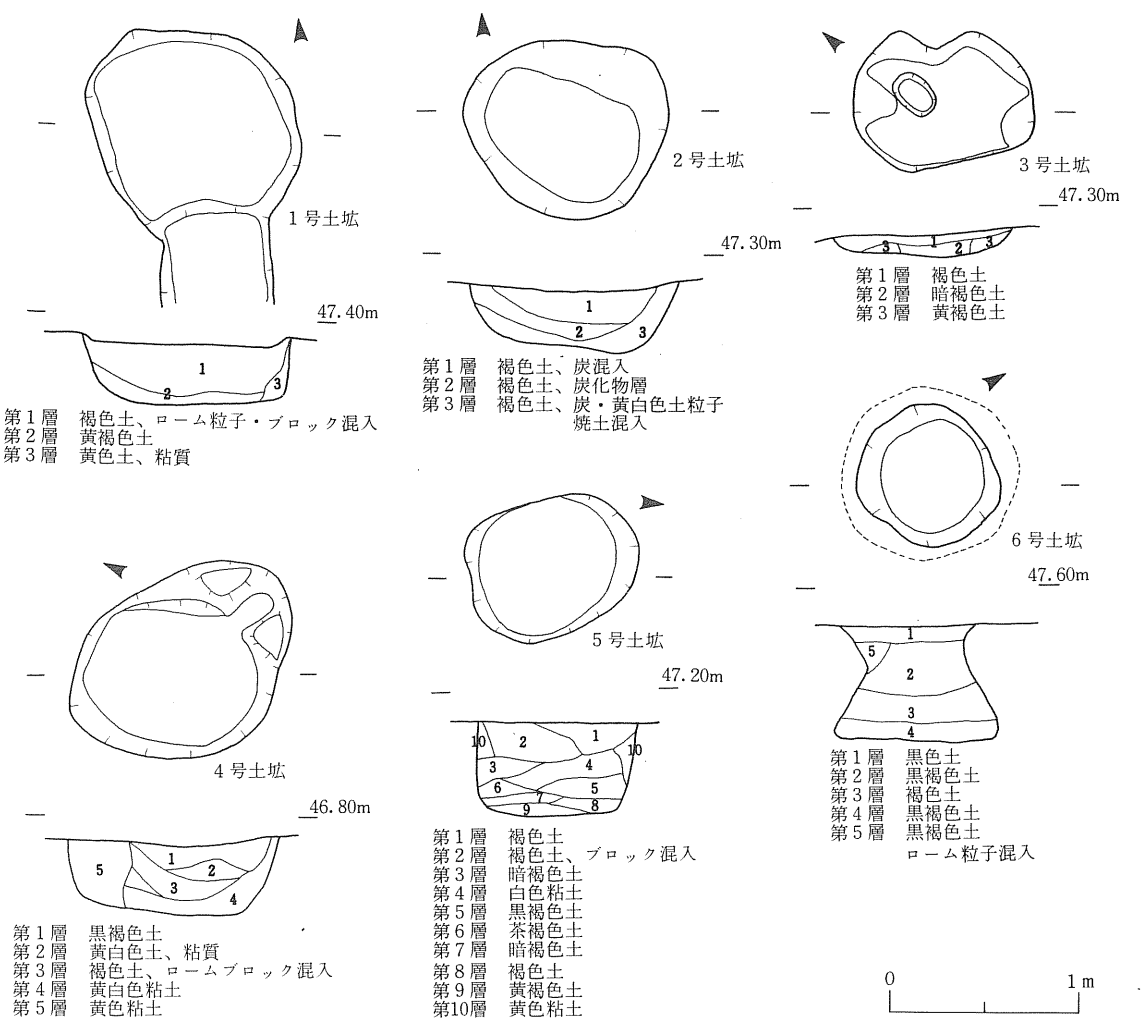
文である。

4類土器（32）

波状口縁をなし、口縁に沿って隆線が施され、下部に細い沈線と円形刺突文で文様が施されている。



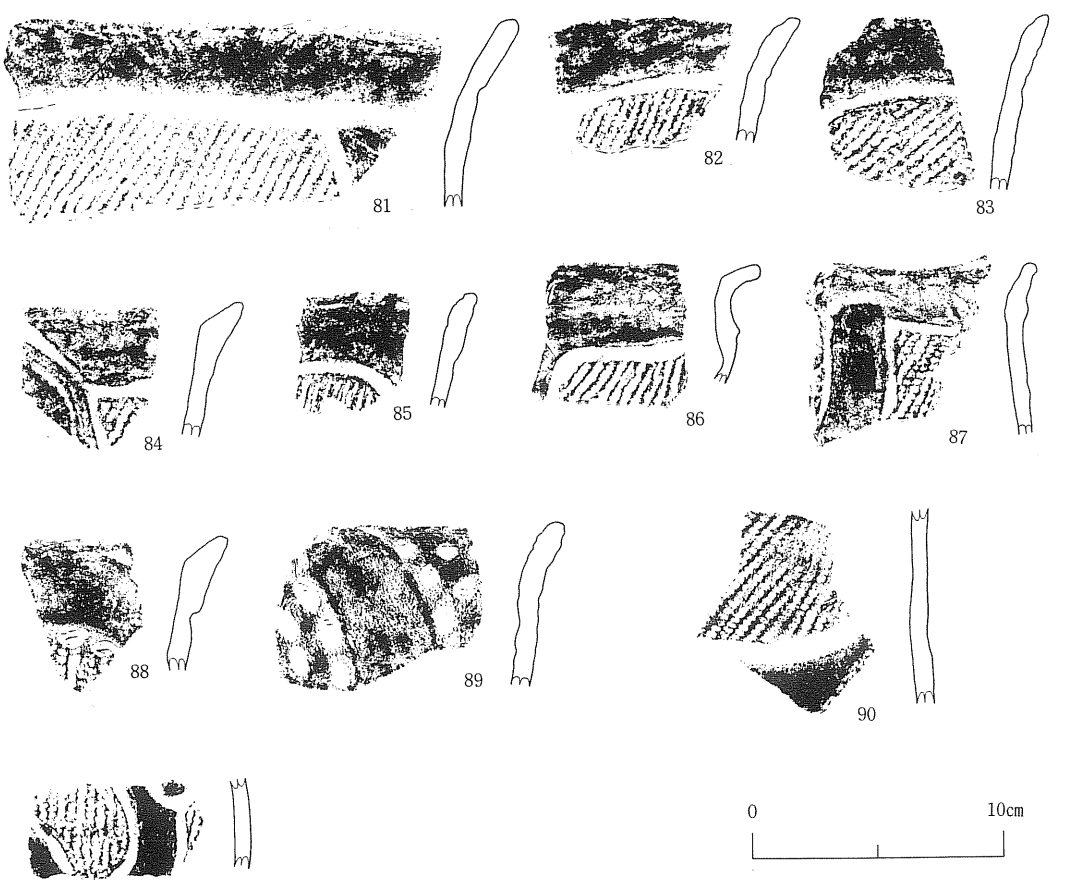
第25図　遺構内出土土製品



第26図　土坑

縄文時代中期土坑一覧表

番　号	規　模（cm）			平面形	断面形	出　土　遺　物	備　　考
	長軸	短軸	深さ				
1号土坑	104	92	32	楕円形	鍋　底　状		晩期土坑墓に切られている
2号土坑	102	96	30	楕円形	鍋　底　状		
3号土坑	99	61	10	楕円形	皿　　状		
4号土坑	128	98	38	楕円形	鍋　底　状		
5号土坑	90	72	50	楕円形	ビーカー状		
6号土坑	径70	―	60	円　形	フラスコ状	中期末、大木10式、土器片	



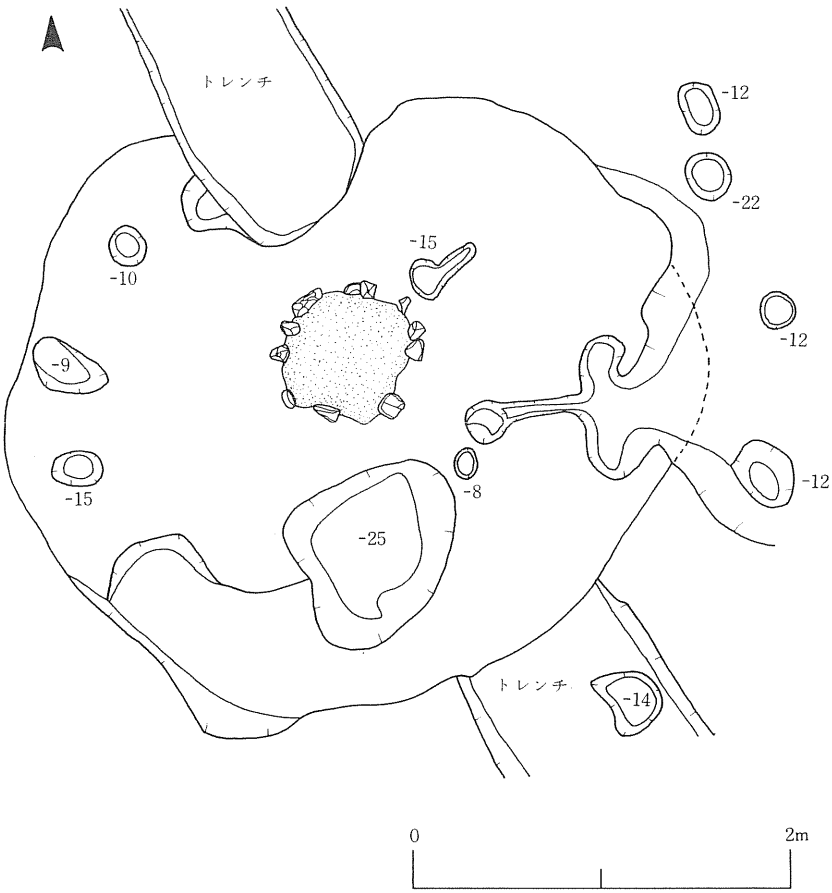
第27図　遺構外出土土器

縄文時代晩期

1号住居跡（第28図）

調査区の西側で検出された。北西・南東部は範囲確認調査トレンチによって壊されている。

プランは径約3.5mの円形を呈する。黒土上に作られており、壁は削平されており不明である。ピットは6個検出されているが、主柱穴は不明である。炉は中央部に位置にした石囲い炉で、埋設土器はない。炉内は火熱を受け赤変している。床面は全体に厚さ5cm程に粘土で貼り床されており、平坦で堅くしまり良好である。

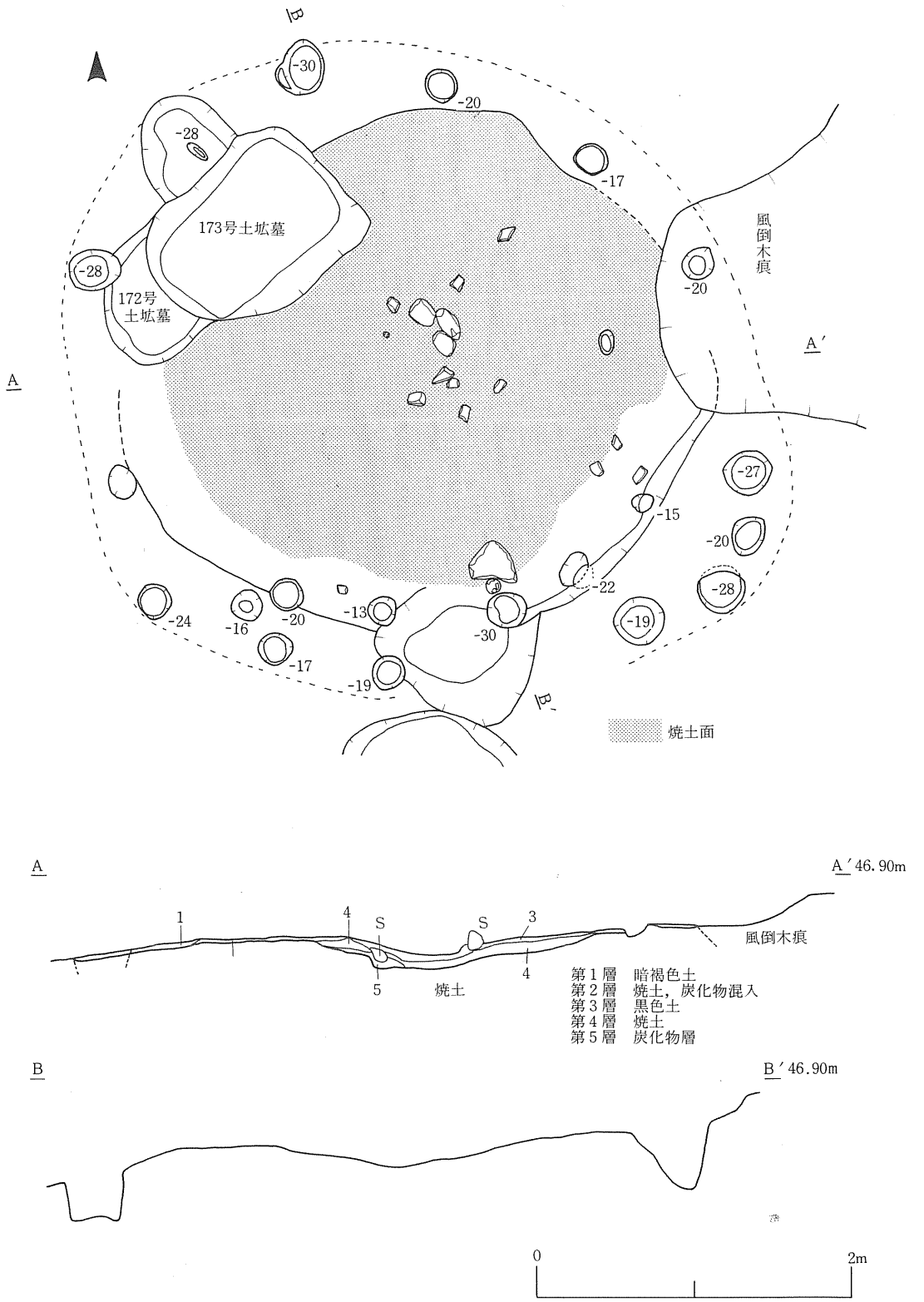


第28図　1号住居跡

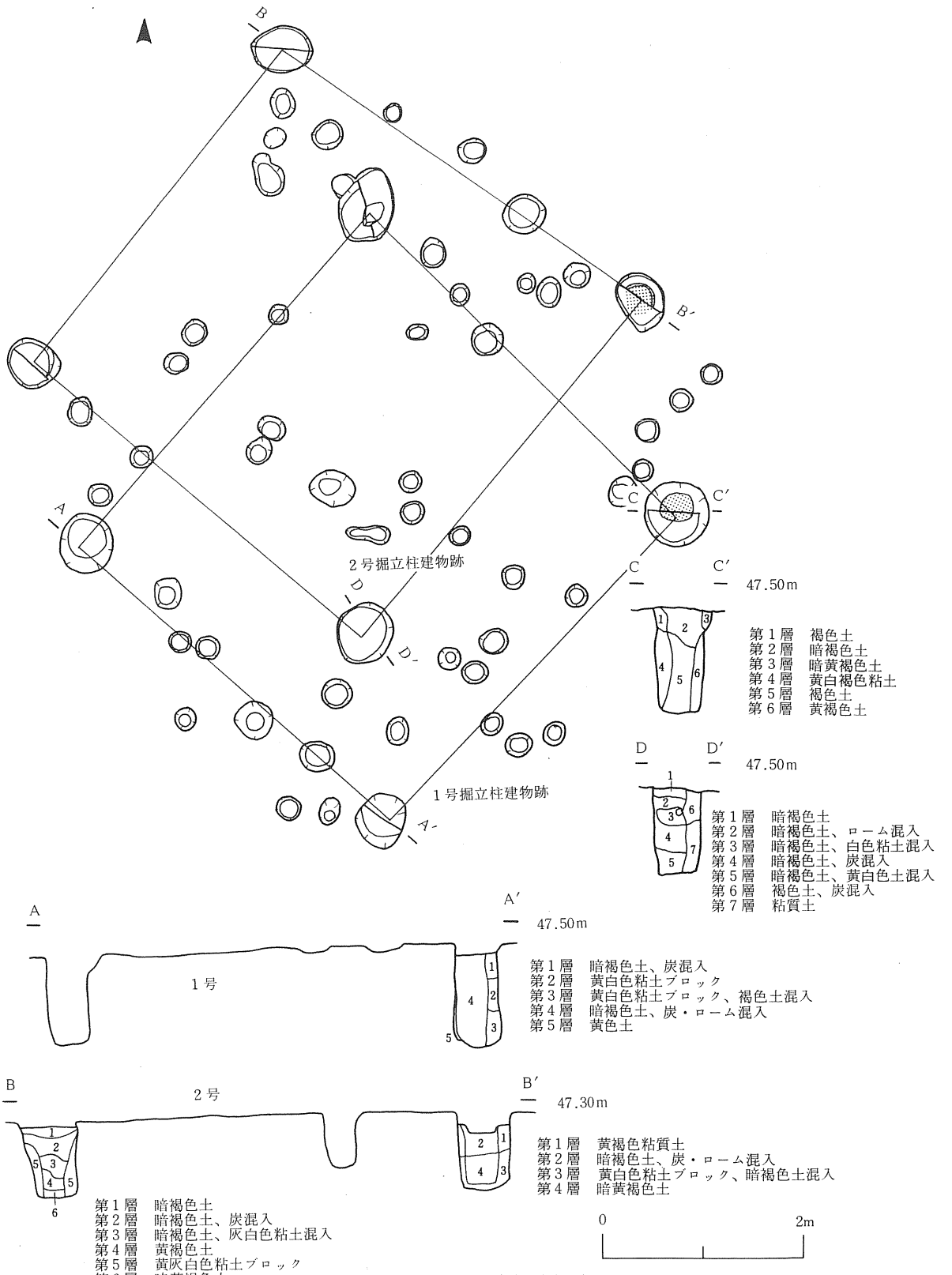
2号住居跡（第29図）

調査区の東側、北西部で検出された。東側は風倒木痕、北西部は土坑墓によって壊されている。

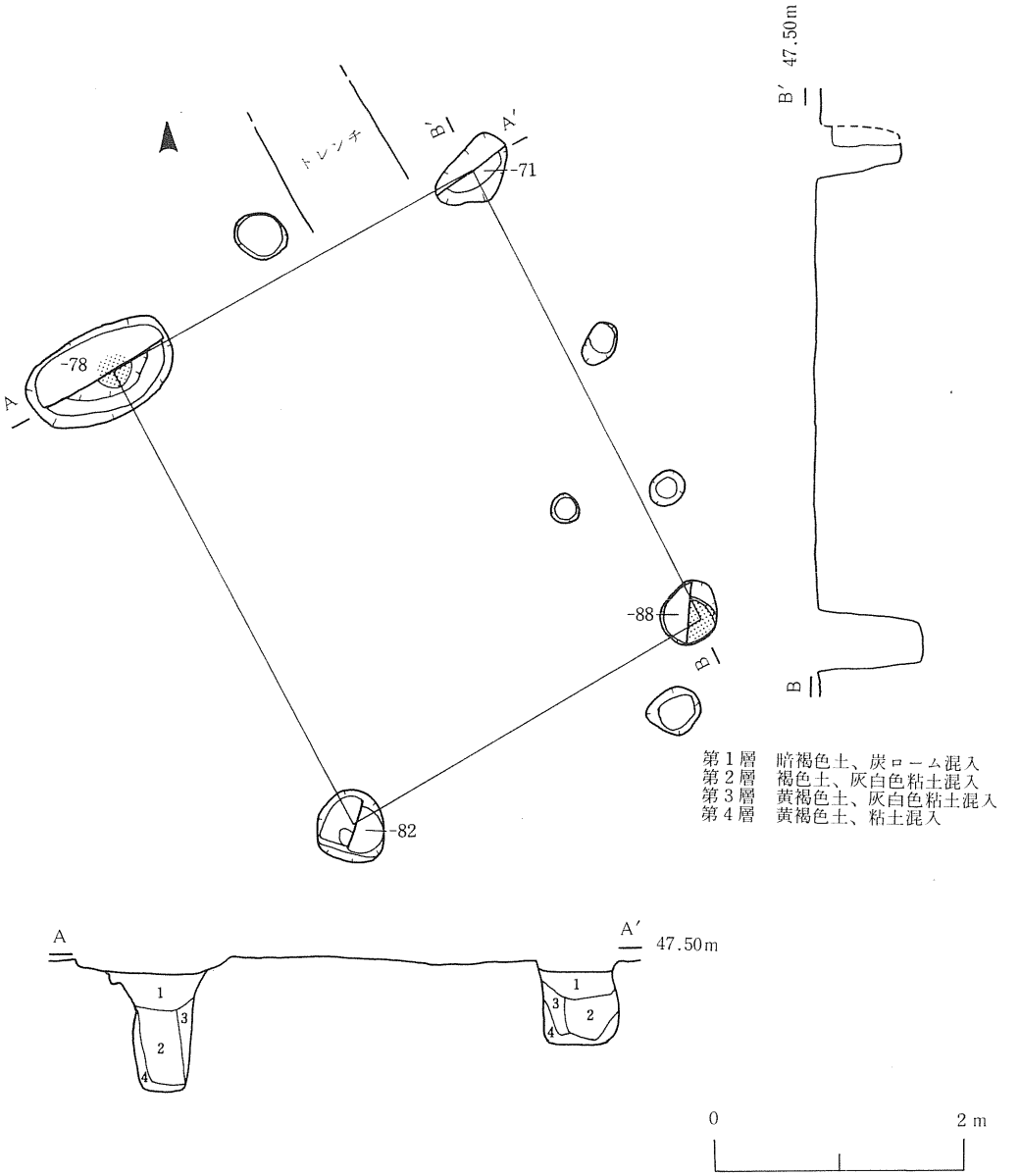
プランは径約4.1mの円形を呈する。壁は大部分が西に傾斜する斜面のため削平を受け検出できなかった。ピットは19個検出されており、深さ17cm以上の柱穴が周っている。東南側は二列に周っている。（柱穴の配列からみると拡張があったように思える。）床面は中央部に貼り床をしており、全体的に焼けているが、中央部には広範囲に赤黒色の焼土がサンドイッチ状に堆積し、堅く焼面を形成している。炉は中央部に位置する石囲い炉であるが、礫は二次的に移動しており不規則である。炉付近は若干落ち込んでおり、下部に住居跡よりも古い土坑が検出された。南東部で柱穴が二列に周ることや、焼面がサンドイッチ状に堆積することなどを考えると、本住居跡は同位置での作り替えが行われ、拡張されたものと考えられる。


B
-30
-20
-28
-17
173号土坑墓
風倒木痕
-28
172号土坑墓
-20
A
A′
-27
-15
-20
-22
-28
-24
-16
-20
-13
-30
-19
-17
-19
B′
焼土面
A
A′46.90m
1
4
S
S
3
風倒木痕
5
焼土
4
第1層　暗褐色土
第2層　焼土，炭化物混入
第3層　黒色土
第4層　焼土
第5層　炭化物層
B
B′46.90m
0
2m

第29図　2号住居跡



第30図　1・2号掘立柱建物跡



第31図　3号掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡（第30図）

調査区の西側で検出された。地山ロームまで削平されており、確認面はロームである。東西1間（4.3m）×南北1間（4.2m）の掘立柱建物跡である。建物方向は北で39°東に偏している。柱穴の掘り方規模は約48～64cmで、深さ1.0～1.1mである。東の掘り方には明瞭に、幅25cmの柱痕跡が、また北側の掘り方上面には根固め用の礫が認められる。2号掘立柱建物跡と重複関係にあるが新旧関係は不明である。

2号掘立柱建物跡（第30図）

調査区の西側で検出された。地山ロームまで削平がおよび、確認面はロームである。1間（4.3m）×1間（4.1m）の掘立柱建物跡である。建物方向は北で30°東に偏している。柱穴の掘り方規模は

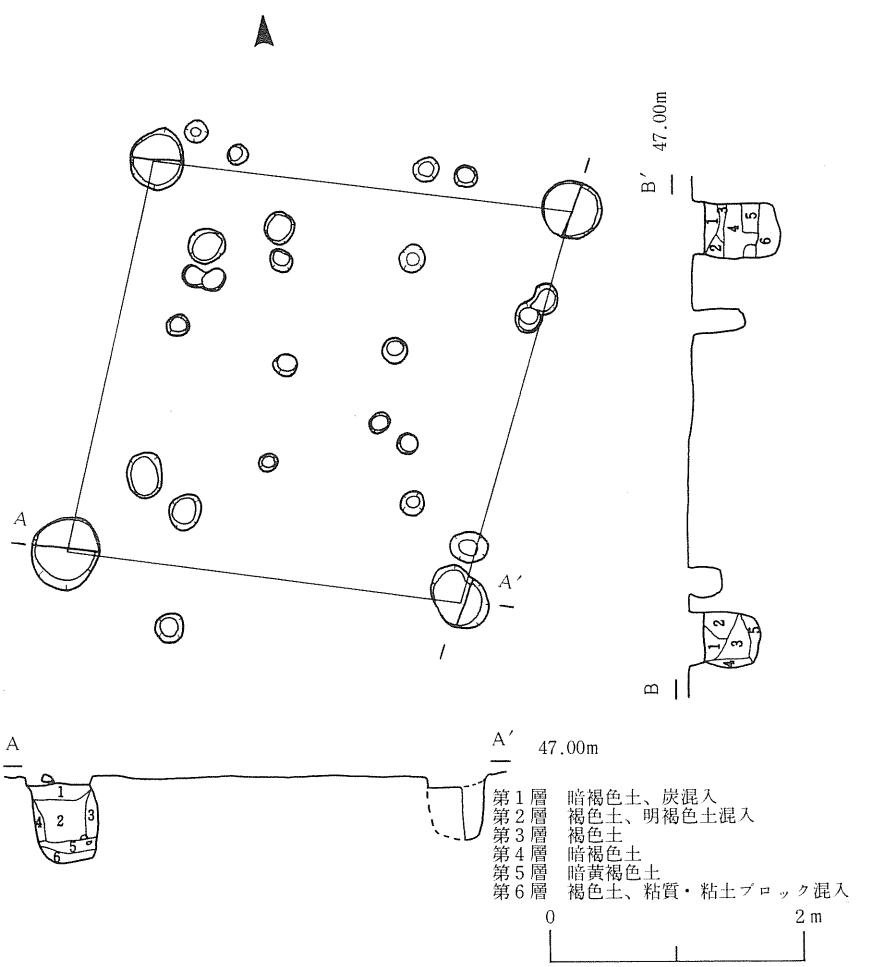
径54～60cmの円形で深さは80～90cmである。北・東の柱穴には径25～30cmの柱痕跡が明瞭に認められる。１号掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係については不明である。

３号掘立柱建物跡（第31図）

調査区の西側で検出された。地山ローム面で確認された。東西１間（3.3m）×南北１間(4.1m）の掘立柱建物跡である。建物方向は北で60°東に偏している。柱穴の掘り方規模は、北西の掘り方が長径62cmと大きいが他は平均して長径22～36cmの楕円形を呈し、深さは70～110cmである。北西・南東の柱穴には径約32cmの柱痕跡が認められる。

４号掘立柱建物跡（第32図）

調査区の西北部で検出された。地山ローム面まで削平されており、確認面はロームである。東西１間（3.3m）×南北１間（4.1m）の掘立柱建物跡である。建物方向は北で16°東に偏している。柱穴の掘り方規模は径42～50cmの円形を呈し、深さは58～70cmである。南西の柱穴には径30cmの柱痕跡が認められる。



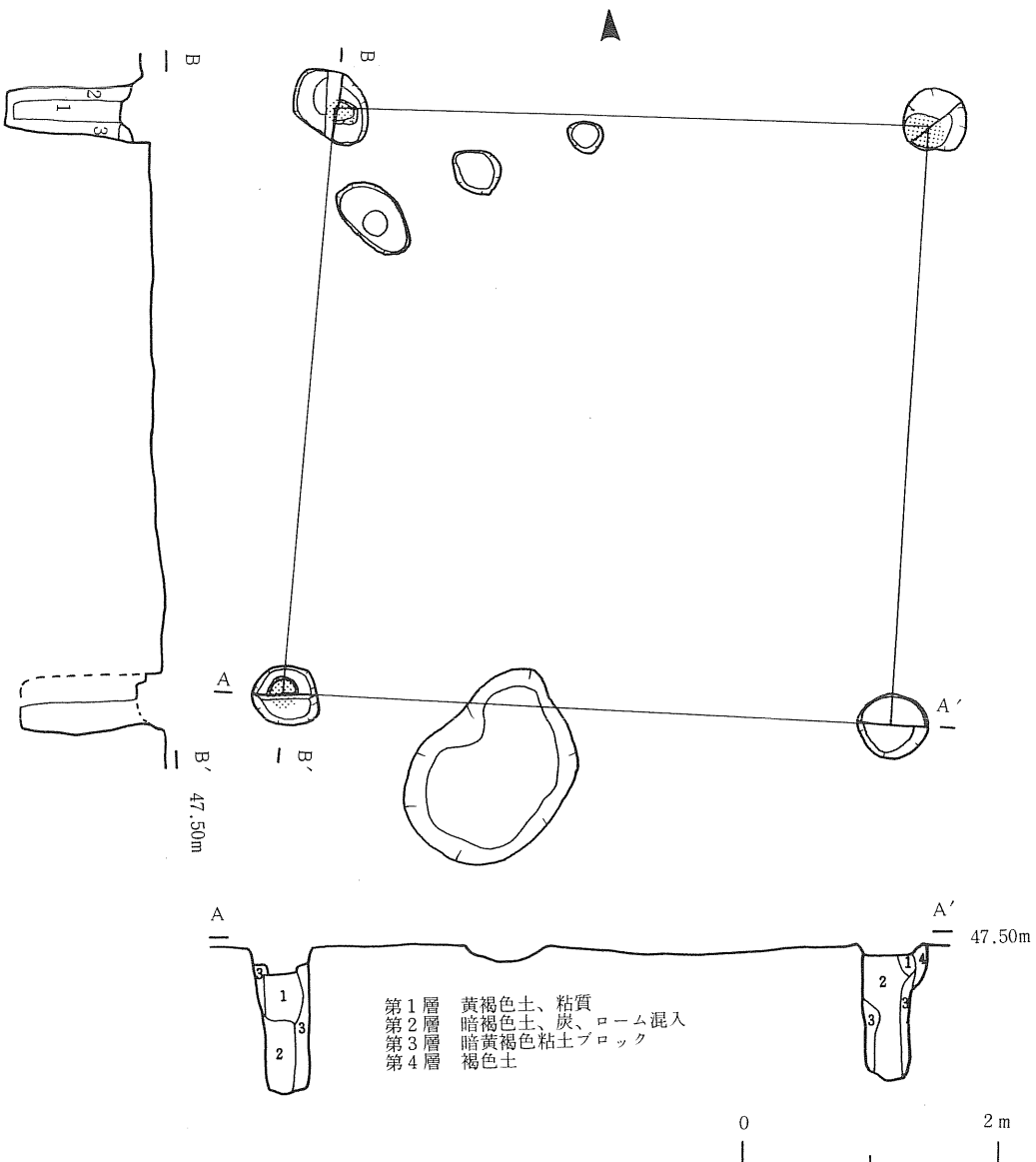
第32図　４号掘立柱建物跡

5号掘立柱建物跡（第33図）

調査区の西側で検出された。畑の耕作による攪乱で削平されており、確認面はロームである。東西1間（4.7m）×南北1間（4.7m）の掘立柱建物跡である。建物方向は北で3°30′東に偏している。柱穴の掘り方規模は径50～55cmの円形を呈し、深さは1.1mである。それぞれの柱穴には径約25cmの柱痕跡が認められる。

1号炉（図版11）

調査区中央よりやや東寄りの6－6－Eグリッドで検出した。確認面はⅢ層の褐色土である。径44cm程で、こぶし大の礫を組んだ炉である。炉内は焼土が厚く堆積している。



第33図　5号掘立柱建物跡・1・2

2号炉（図版11）

調査区中央より東側、６－７－Ｆグリッドで検出した。確認面はⅢ層の褐色土である。径64cm程で、こぶし大の礫を組んだ炉である。北東部の礫は攪乱のためみられない。炉内には焼土が厚く堆積している。

3号炉（図版12）

調査区中央付近の６－４－Ｆグリッドで検出した。確認面はⅢ層下部の褐色土である。径48cm程で、こぶし大の礫を組んだ炉である。北・南の礫は攪乱のためみられない。炉内には焼土が厚く堆積している。

1号土器埋設遺構（第81図）

調査区中央付近６－３－Ｆグリッドで検出した。確認面はローム直上の茶褐色土である。径40cm深さ48cmの掘り方を掘り、土器を埋設している。埋設されている土器は小型壺形土器と、蓋として使用された鉢形土器で、合せ口になっている。小型壺形土器は口径4.6cm、器高13.8cmを計る。全面に赤色顔料が塗布されている。３単位の土器で底部の４ヶ所には突起状の足がつく。頸部に２条の隆線がまわり、その３ヶ所に「８」の字状の突起がつき、間には連続刻目文が施される。鉢形土器は、口径12.8cm、器高12cmを計る。小波状口縁をなし口縁部には羊歯状文が残り、咬み合う部分は曲線的な形状となり連続する。

この土器埋設遺構は、明確な掘り方を掘り埋納されていることや、土器が合せ口になっていることなどからいわゆる土器棺墓と思われる。

土坑墓（第34～79図）

調査区の西・東側で総数559基の土坑墓を検出した。ほとんどが複雑に重複しており、特に東側では密集して検出されている。詳細については表としてまとめた。

土坑墓出土遺物

9号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：10は鉢形土器、11～13は浅鉢形土器である。いずれも覆土から出土した。10～12は口縁部に平行沈線文がまわる。11には連続刻目文がみられる。13は体部破片で磨消し縄文が施される。また「χ」字状文が展開する。

13号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：１は円盤状石製品である。扁平な礫を打ち欠いて円形に加工している。

15号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：２は有茎の石鏃である。基部の両面にアスファルトが付着している。

17号土坑墓出土遺物（第85図）

石製品：１は両面から穿孔された勾玉、２は半分欠損する小玉である。

18号土坑墓出土遺物（第93図）

土 坑 墓 一 覧 表

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
1	132	62	118	50	15	不整形			N－35°－E		
2	145	75	132	59	26	楕円形			N－82°－W		
3	136	△ 45	124	△ 42	15	楕円形			N－46°－W		
4	120	45	105	36	12	楕円形			N－19°－E		
5	120	52	110	48	23	楕円形			N－43°－W		
6	130	105	116	92	10	不整形			N－31°－E		
7	120	70	112	51	13	楕円形			N－3°－E		
8	125	89	117	73	12	不整形			N－37°－E		
9	134	75	125	62	16	楕円形			N－35.5°－W	第82図10～13	
10	142	△ 65	131	△ 44	31	楕円形			N－43°－W		
11	130	68	116	55	25	楕円形	北西部	西	N－69°－W		
12	167	79	100.5	52	40	楕円形			N－69°－W		
13	120	64	95	54	24	楕円形			N－24°－W	第93図1	
14	120	75	103	56	28	楕円形			N－76°－W		
15	130	49	112	37	20	楕円形			N－82°－W	第93図2	
16	97	57	64	46	30	楕円形			N－57°－W		
17	150	△ 60	128	△ 40	13	楕円形			N－77.5°－W	第85図1・2	
18	110	67	91	43	56	楕円形			N－31°－E	第93図3	
19	184	△ 85	167	△ 65	31	楕円形			N－57°－W	第85図3	
20	117	55	113	42	44	楕円形			N－89°－W		
21	△ 120	87	△ 115	64	17	楕円形			N－42°－E		
22	184	79	163	68	36	隅丸長方形	北部	北	N－4°－W		
23	111	△ 42	104	42	15	楕円形			N－19°－E		
24	113	64	94	50	27	楕円形			N－6°－W		
25	△ 70	55	△ 65	52	18	円　形			N－58°－W		
26	163	100	120	63	25	楕円形			N－38°－W		
27	148	75	125	57	25	楕円形			N－46°－W	第82図14	
28	132	52	123	43	8	楕円形			N－55°－W	第93図4	
29	130	62	120	52	15	楕円形			N－39°－W		
30	140	△ 55	130	△ 50	22	楕円形	北西部	西	N－78°－W		
31	124	55	120	36	28	楕円形	南西部	西	N－112°－W	第82図15・16	
32	149	68	135	56	25	楕円形			N－64°－W		
33											攪乱で削平のため詳細不明

△　推定の"規模"もしくは"以上"を示す

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
34											攪乱で削平のため詳細不明
35	180	117	159	90	35	楕円形	北西部	西北	N－45.5°－W		
36	180	△ 95	165	△ 75	11	楕円形	北西部中央寄り	西	N－73°－W		
37	155	80	128	61	28	楕円形			N－85.5°－W	第93図8	
38	117	62	97	44	21	楕円形			N－47°－W		
39	110	73	98	65	5	隅丸長方形			N－46°－W		
40	150	82	140	78	8	楕円形			N－36°－W	第93図5～7	
41	172	84	158	60	35	楕円形			N－62°－W	第80図1	
42	113	74	80	47	34	楕円形			N－50°－E	第85図4・5	
43	143	78	118	63	17	楕円形			N－57°－W		
44	98	45	92	39	10	楕円形			N－81°－E		
45	128	72	96	32	28	楕円形			N－72°－W		
46	147	72	137	64	9	楕円形			N－58°－E	第82図17	
47	135	73	116	63	15	楕円形			N－64°－E	第82図18・19	
48	106	74	98	60	10	楕円形			N－72°－E		
49	160	75	150	68	10	隅丸長方形			N－61°－W		
50	125	75	116	67	16	楕円形			N－57°－E		
51	120	60	117	55	24	楕円形			N－68°－W		
52	128	87	115	65	18	楕円形	北西部	西北	N－57°－W		
53	122	88	110	63	12	楕円形			N－56°－W		
54	160	70	150	55	27	楕円形			N－50.5°－W		
55	△ 118	60	95	40	23	楕円形	南西部	西	N－102.5°－W		
56	132	50	115	40	18	隅丸長方形			N－47°－W		
57	150	50	130	42	25	楕円形	北東部		N－48°－E		
58	115	68	100	53	21	楕円形			N－18.5°－E		
59	125	72	115	62	9	楕円形			N－1°－W		
60	95	60	80	55	8	楕円形			N－10°－W		
61	△ 125	75	△ 110	63	8	楕円形			N－10°－E		
62	128	83	112	72	16	楕円形			N－30°－W		
63	75	53	58	43	19	楕円形			N－71°－W		
64	147	67	122	48	14	楕円形			N－39°－W		
65	144	83	119	76	20	楕円形			N－36.5°－W	第85図6～22	
66	105	70	92	39	30	楕円形			N－87°－W	第85図23～25	

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
67	100	47	86	36	4	楕円形			N－32.5°－W		
68	86	45	75	39	18	楕円形	北西～中央部	西北	N－38°－W		
69	98	55	89	47	5	楕円形					
70	108	53	100	38	25	楕円形	北西部	東北	N－54°－E		
71	157	74	140	57	20	楕円形			N－103°－W (N－77°－E)		
72	100	62	92	50	13	楕円形			N－82°－E		
73	124	89	116	68	41	楕円形	北西部		N－51°－E		
74	△140	△ 50	△130	△ 50	14	楕円形			N－43°－W	第85図26	
75	143	62	122	47	60	楕円形	西部(やや中央寄り)	西	N－82°－W		
76	78	65	61	53	25	楕円形			N－70°－W		
77	177	95	150	74	23	楕円形			N－56°－W		
78	167	92	137	68	33	楕円形			N－48°－W		
79	164	110	138	67	55	楕円形	北西部	北西	N－42°－W	第80図2 第85図27・28	
80	124	58	112	50	6	楕円形			N－58.5°－E	第82図20	79号土坑墓より新しい。
81	107	45	98	38	9	楕円形			N－44°－W		
82	125	67	114	60	9	楕円形			N－59°－W		
83	116	75	105	65	24	楕円形			N－61°－W		
84	150	84	135	74	37	楕円形			N－56°－W		
85	140	70	130	65	5	不整形			N－88°－E		
86	171	87	145	60	47	楕円形	北西部	北	N－11°－W	第80図3、第82図21～28、第93図9	
87	147	84	108	46	43	楕円形			N－28°－W		
88	137	70	110	45	22	楕円形			N－40.5°－W		
89	135	83	98	43	29	楕円形			N－40°－W		
90	155	73	143	65	37	楕円形	西部	西	N－80.5°－W	第80図4 第82図29～34	
91	140	90	112	48	33	楕円形			N－32.5°－W		
92	137	57	126	52	14	楕円形			N－73°－E		
93	140	64	130	56	20	楕円形			N－22°－E		
94	138	83	125	66	12	楕円形			N－48°－E		
95	125	60	115	51	13	楕円形			N－42°－W	第82図35～37	
96	172	83	155	60	20	楕円形			N－75°－W	第83図38	
97	170	77	162	70	9	楕円形			N－34°－W		
98	145	73	137	65	10	楕円形			N－50°－W		
99	135	75	122	60	25	楕円形			N－90°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
100	134	67	96	48	50	楕円形			N－13.5°－E	第83図39～41	
101	135	70	102	60	35	楕円形			N－80°－W		
102	70	60	63	50	20	不整形			N－36°－W		
103	163	△72	147	△70	13	不整形			N	第83図42～44	東側攪乱
104	128	60	108	45	25	楕円形	中央部	西北	N－62°－W		
105	93	60	80	47	33	楕円形			N－63.5°－W	第95図36	
106	134	63	125	48	19	楕円形			N－73°－W	第83図45、第85図29	
107	149	64	115	35	25	楕円形			N－47°－W		
108	170	95	155	77	45	楕円形			N－55°－W		
109	△80	47	△80	35	25	楕円形			N－19°－W		
110	150	△75	127	60	25	楕円形			N－61°－W		
111	120	57	100	40	42	楕円形			N－15°－E		
112	110	50	95	38	40	楕円形			N－66°－W		113号墓を切っている
113	△95	△67	△90	△55	15	楕円形			N－68°－W	第85図30	
114	△70	△60	△62	△50	21	楕円形	南部	南西	N－153°－W		
115	139	65	△130	55	40	楕円形	南西部	南西	N－134°－W		
116	△43	75	△50	62	50	楕円形			N－46°－W		108号墓に切られている。
117	△70	△40	△70	△40	38	楕円形			N－22°－E		
118	△110	70	△110	60	18	楕円形			N－50°－W		
119	△80	△63	△85	△58	38	楕円形			N－69°－W		
120	△122	75	92	50	46	楕円形			N－50°－E		121号墓を切っている。
121	△165	110	△145	100	39	楕円形			N－51°－E		122号墓を切っている。
122	100	70	80	50	23	楕円形			N－82°－E		
123	146	68	135	50	30	楕円形			N－47°－W		
124	137	83	125	62	27	楕円形	北西～中央部	西北	N－60°－W		
125	△120	75	△100	63	15	楕円形			N－47°－W		旧→新
126	112	68	95	53	43	楕円形	北部	北	N－0.5°－E		125→126→127
127	△50	△50	△40	43	17	楕円形			N－57°－W		
128	114	53	107	34	54	楕円形			N－62.5－W		
129	146	73	127	64	54	楕円形			N－69°－W		
130	120	70	113	60	56	楕円形	北西部	西北	N－49°－W	第86図31～33	
131	△120	60	△110	50	30	楕円形	北西部	北西	N－46°－W		130号墓に切られている。
132	127	57	102	35	30	楕円形			N－76°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
133	110	61	94	56	14	楕円形			N－67°－W		
134	142	62	△55	△53	16	楕円形			N－35°－E		135号墓に切られている。
135	143	78	74	53	27	楕円形	北西部	西北	N－50°－W	第86図34～42	
136	△80	60	73	50	26	楕円形			N－12°－E		135号墓に切られている。
137	104	55	85	42	23	楕円形			N－72°－W		
138	142	61	80	35	44	楕円形			N－58°－W	第93図10	
139	98	51	80	34	27	楕円形			N－49°－E		
140	133	79	108	45	35	楕円形	北西部	西北	N－57.5°－W		
141	134	76	117	68	38	楕円形	西部	西	N－78.5°－W		
142	100	74	△80	69	11	楕円形			N－90°－E		旧→新
143	82	61	73	40	23	楕円形			N－81°－W		144→143→142
144	118	60	108	53	8	楕円形			N－1.5°－W		
145	105	△50	87	△38	18	楕円形			N－30°－W	第86図43	旧→新
146	△40	63	△35	50	18	楕円形			N－3°－W		148→147
147	155	63	140	40	25	楕円形	北西部	西北	N－61.5°－W	第86図44・45	146→145
148	△53	△60	△43	50	20	楕円形			N－31°－E		
149	188	86	159	66	39	楕円形			N－67°－W	第86図46	
150	80	73	75	45	31	楕円形			N－96°－W		(N－84°－E)
151	△100	△47	△90	△42	8	楕円形			N－61°－W	第86図47～53	旧 151
152	△75	66	△69	53	15	楕円形			N－78°－W	第86図54～57	↓ 153
153	165	74	142	52	27	楕円形	北部	北	N－11°－W		↓ 152
154	△125	55	120	42	25	楕円形	北西部	西	N－77°－W		↓ 新 154
155	△107	55	△113	43	10	楕円形	東部	東	N－97°－E		
156	△120	70	△120	55	7	楕円形			N－17°－W		
157	120	50	107	42	15	楕円形			N－73.5°－W		
158	113	67	103	54	32	楕円形			N－20°－W		
159	116	60	106	50	25	楕円形			N－46.5°－W	第93図11	
160	△75	65	65	60	32	円形			N－32°－W		161号墓を切っている。
161	△130	75	△110	65	30	楕円形	北西部	北	N－21°－W	第80図5	
162	△130	△85	△125	75	18				N－150°－W	第86図58～64、第87図65～78	旧 166
163	△120	△35	△115	△28	14	楕円形	北部	北	N－14.5°－W		↓ 163
164	163	△70	132	75	30	楕円形			N－15°－W	第83図46、第87図79、第93図12	↓ 164 ↓ 162
165	86	△45	70	△35	25	楕円形			N－29°－W		↓ 新 165

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
166	△64	65	△58	49	38	楕円形			N－4°－W		
167	145	80	142	68	45	隅丸長方形	北西部	西北	N－46°－W		
168	△123	98	△110	88	37	楕円形	北東部	北	N－34°－E		167号墓に切られている。
169	△135	82	115	67	25	隅丸長方形			N－64.5°－W		
170	115	55	92	△40	29	楕円形			N－12°－W		169号墓を切っている。
171	130	86	112	68	29	楕円形			N－80°－W		
172	△47	73	△40	60	12	楕円形			N－51°－E		
173	127	100	115	68	63	隅丸長方形			N－43°－E		172号墓を切っている
174	158	74	138	57	18	楕円形			N－94°－W		
175	127	72	114	65	12	楕円形			N－4°－E		
176	94	△60	82	△50	14	楕円形			N－63°－W		177号墓が最も新しい。
177	133	△65	95	57	20	楕円形	北西部	西北	N－51.5°－W	第93図13	
178	△24	59	△15	48	10	楕円形			N－51.5°－W		
179	106	65	932	46	21	楕円形			N－10°－W		
180	△90	60	△80	44	18	楕円形			N－69°－W		
181	130	100	86	60	31	楕円形			N－18°－E		
182	128	56	105	45	23	楕円形			N－78.5°－W		
183	119	53	92	37	26	楕円形			N－52°－W		
184	△143	70	△135	60	15	楕円形			N－51.5°－W	第83図47	旧 184 186 188 ↓↘↓↘↓ 183 185 187 ↓ 新 189
185	115	53	43	27	27	楕円形			N－81°－W		
186	△93	57	△75	50	11	楕円形	北西部	西北	N－47°－W	第87図80～82	
187	163	64	135	51	22	楕円形			N－78.5°－W		
188	△78	△50	△70	△43	13	楕円形			N－41°－W		
189	150	70	135	58	33	楕円形			N－34°－W		
190	150	75	140	64	17	楕円形			N－51°－W		
191	140	65	125	54	14	楕円形			N－82°－W		
192	△130	75	△110	60	16	楕円形			N－41°－W		
193	85	60	73	49	35	楕円形	中央部	北	N－22.5°－W	第87図83	
194	148	58	130	35	21	楕円形			N－51°－W		
195	125	△60	115	△60	18	楕円形	南西部	西	N－112.5°－W		
196	△130	△60	△120	△55	21	楕円形	北西部	西北	N－57°－W	第83図48	
197	113	95	100	65	45	楕円形			N－38°－W		196号墓に切られている。
198	125	△55	105	△50	12	楕円形			N－63°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
199	120	60	110	52	15	楕円形			N－69°－W	第93図14・15	
200	△ 45	65	△ 40	38	45	楕円形				第83図49・50	197号墓に切られている。
201	△ 120	83	△ 127	75	40	隅丸長方形					
202	148	93	139	88	45	楕円形	北西部	西北	N－66°－W	第93図16	
203	180	△ 70	160	△ 60	27	楕円形	北西部	西北	N－50.5°－W	第93図17	
204	△ 73	75	△ 66	55	20	楕円形			N－47.5°－W	第93図18	205号墓に切られている。
205	133	66	112	50	44	楕円形			N－525°－W		
206	△ 100	75	△ 93	60	23	楕円形			N－65°－W		
207	98	82	87	55	32	隅丸方形			N－48°－W	第87図84～86	
208	107	58	93	43	14	楕円形			N－80°－W		
209	125	65	106	55	12	楕円形			N－92°－W (N－88°－E)		
210	148	65	130	51	20	楕円形			N－58°－W	第94図19	
211	141	43	106	37	12	楕円形			N－78°－W		
212	97	66	80	50	16	楕円形			N－70°－W	第87図87	
213	△ 130	80	115	50	42	楕円形			N－19°－E		
214	160	△ 70	140	△ 65	54	楕円形	南東部	東	N－108°－E		
215	138	75	122	55	29	楕円形			N－40°－W	第87図88・89	
216	△ 140	45	△ 130	30	41	隅丸長方形			N－41°－W	第87図90	
217	173	△ 67	165	△ 60	43	楕円形			N－45.5°－W	第87図91	
218	137	△ 60	130	60	32	楕円形			N－45°－W		
219	140	65	125	45	50	楕円形			N－100°－W (N－80°－E)		
220	145	△ 75	125	△ 70	28	楕円形			N－79°－W		
221	△ 100	△ 61	△ 100	△ 58	28	楕円形			N－108°－W (N－72°－E)		
222		53		47	28				N－70°－W		
223	115	50	90	△ 45	45	楕円形			N－57°－E		
224	147	65	114	50	31	楕円形			N－44°－W		
225	△ 100	△ 60	△ 100	△ 50	13	楕円形			N－86°－E (N－94°－W)		
226	155	△ 60	142	△ 60	40	楕円形	北東部	北東	N－49°－E		227号墓に切られている。
227	150	73	125	70	40	楕円形			N－56°－E	第83図51・52	
228	△ 55	△ 60	△ 50	△ 45	20	楕円形			N－43°－E		
229	205	85	180	73	48	楕円形	中央部	北西	N－49°－W		上部構造に石積の可能性
230	120	63	95	△ 40	35	楕円形			N－57°－E		
231	△ 90	45	82	30	25	楕円形			N－48°－E	第83図53	

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
232	123	50	117	38	8	楕円形			N－62°－W	第94図20	
233	△120	55	△113	40	19	楕円形			N－46°－E		
234	△100	△60	△100	△50	30	楕円形			N－30°－E		
235	130	△70	115	△65	30	楕円形	北西部	西北	N－58°－W		
236	△115	62	△110	43	50	楕円形	南西部	南西	N－155°－W		
237	190	73	175	60	45	楕円形			N－58°－W	第88図、第89図120～126	234・235号墓を切っている。
238	△65	55	△65	42	37	楕円形			N－1°－W		旧 239 ↓ ↘ ↓ 238 240 ↓ 新 237
239	115	62	100	50	45	楕円形	北西部	西北	N－68.5°－W		
240	135	△60	115	△50	30	楕円形			N－28°－W		
241	△98	△65	△95	△60	10	楕円形			N－29°－W	第89図127～129	
242	123	80	104	67	54	楕円形			N－18°－W		
243	145	60	130	43	7	楕円形	北西部	北西	N－28°－W		
244	193	90	182	78	53	楕円形	北西部	西北	N－66°－W		
245	125	△60	97	△45	20	楕円形			N－68°－W		
246	153	72	137	60	41	楕円形	北西部	北西	N－23.5°－W		
247	△155	△50	△150	△50	18	楕円形			N－66°－W	第94図21	
248	125	77	103	53	34	楕円形	北西部	西	N－84.5°－W		
249	△65	65	△50	45	25	楕円形			N－65°－W		
250	138	85	120	56	37	楕円形	西部	西	N－90°－W		
251	118	74	102	60	32	楕円形	中央～北西部	西北	N－68°－W		旧 → 新
252	130	△70	110	△40	25	楕円形			N－64°－W		252→251
253	145	△40	15	△30	25	楕円形			N－70°－W		253↗
254	△100	75	△98	57	35	楕円形			N－74°－W	第89図130	
255	159	72	138	45	25	楕円形	北西部	北西	N－50°－W		
256	139	67	130	58	38	楕円形	中央部	西北	N－70°－W		
257	130	50	117	35	40	楕円形			N－72°－W		
258	130	65	115	52	34	楕円形			N－86.5°－W		
259	180	78	125	53	40	隅丸長方形			N－86.5°－W		
260	107	95	90	73	37	楕円形			N		
261	146	60	127	48	45	楕円形			N－91°－W		
262	△105	△50	△100	△40	36	楕円形	西部	西	N－82.5°－W		
263	110	65	83	40	40	楕円形			N－107°－W		
264	△120	75	△105	60	40	楕円形	西部	西	N－105°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
265	115	△ 45	85	△ 40	55	楕円形			N－22.5°－W		
266	124	△ 60	106	45	57	楕円形	北西部	北西	N－30.5°－W		
267	△ 80	△ 80	△ 80	△ 65	43	楕円形			N－42°－E		
268	100	60	68	47	50	楕円形			N－36°－W		
269	△ 70	55	55	47	47	楕円形			N－35°－W		
270	△ 195	△ 80	△ 185	△ 75	50	楕円形	北西部	西北	N－69°－W		
271		68		52	45	楕円形			N－22°－W		
272	105	△ 60	95	△ 65	44	楕円形			N－28°－W		
273	80	△ 30	65	△ 25	24	楕円形	西部	西北	N－78°－W		
274	108	△ 65	100	△ 55	42	楕円形			N－60°－E		
275	140	80	135	60	55	楕円形	西部	西	N－81°－W		
276	158	90	135	75	55	楕円形			N－24°－W		
277	△ 182	77	△ 175	62	△ 45	楕円形			N－68°－W	第80図 6 － 7	
278	120	△ 50	115	△ 45	8	楕円形			N－69°－W		
279	△ 140	60	△ 130	50	20	楕円形	北西部	西北	N－68.5°－W		
280	△ 130	△ 55	△ 125	△ 40	20	楕円形			N－10°－E	第89図131	283・284号墓に切られている。
281	110	58	100	45	30	楕円形			N－32°－W		
282	100	△ 50	70	△ 40	40	隅丸長方形			N－45°－E		
283	△ 50		△ 45			楕円形			N－28°－W		
284		63		50	28				N－54°－E		
285	134	63	117	46	28	楕円形			N－37°－W	第83図54～58	
286	115	△ 45	96	△ 37	33	楕円形			N－98°－W		287号墓に切られている。
287	100	70	82	42	51	楕円形			N－82°－W		
288											
289	136	73	122	64	13	楕円形			N－16°－W	第83図59	
290	△ 85	70	△ 70	45	41	楕円形			N－1°－W		
291	145	70	120	45	47	楕円形	西部	西	N－91°－W		
292		80		55	30				N－75°－W		
293	106	85	80	65	35	楕円形			N－10°－W		
294	△ 100	△ 85	△ 85	△ 70	42	円　形			N－31°－W		
295	156	△ 70	124	△ 60	30	楕円形	中央部	北西	N－32°－W		
296	103	62			38	楕円形			N－29°－W		
297	90	△ 54	75	△ 50	27	楕円形			N－65°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
298	135	78	115	67	50	楕円形	北西部	北西	N－34°－W		
299	130	△ 60	110	△ 50	36	楕円形	北西部	西北	N－54°－W		
300	122	72	114	50	59	楕円形	北西部	北西	N－37°－W	第89図132勾玉	
301	160	△ 60	120	△ 60	39	楕円形	中央部	西北	N－59°－W		
302											
303	△ 80	△ 35	△ 75	△ 20	14	楕円形	北西部	北	N－20°－W	第89図134	
304	143	74	116	60	50	楕円形	北部	北	N－5°－E		303、305を切っている。
305	155	△ 110	137	103	27	楕円形			N－92°－W		304に切られている。
306	130	58	115	42	37	楕円形	北西部	西北	N－62°－W		
307	110	85	88	68	35	楕円形			N－27°－E		308に切られている。
308	126	56	109	42	37	楕円形			N－58°－E		
309	120	△ 90	100	△ 80	35	楕円形			N－64°－E		
310	130	△ 36	115	△ 27	30	楕円形			N－64°－W		311に切られている。
311	△ 110	90	△ 90	67	40	楕円形	中央～西部	西北	N－46°－W		309を切っている。
312	132	57	118	△ 30	30	楕円形			N－26°－E		310を切っている。
313	170	70	160	45	38	楕円形			N－52.5°－W		
314	128	△ 55	113	△ 50	50	楕円形	北西部	北	N－38°－W		
315	△ 85	73	△ 80	50	46	楕円形			N－48°－W		
316	92	60	75	38	46	楕円形			N－48°－W	第94図22	
317	105	68	80	45	35	楕円形			N－40°－W		
318	△ 100	63	△ 80	45	40	楕円形	北東部	北	N－24°－E	第89図135	
319	134	73	120	55	45	楕円形	北西部	西	N－63°－W		
320	△ 100	60	△ 95	50	14	楕円形			N－13.5°－E		
321	△ 116	54	△ 95	45	30	楕円形			N－65°－W		
322	102	58	84	50	27	楕円形	南西部	西	N－117°－W	第89図137	
323	143	△ 60	125	△ 55	33	楕円形			N－70°－E		
324	103	45	95	37	55	楕円形	北東部	北	N－38°－W		
325	△ 17	△ 72	△ 10	△ 63	39	楕円形			N－95°－W		
326	△ 70	80	△ 70	66	22				N－87°－W	第83図60・61	
327	130	67	120	48	50	楕円形			N－114°－W	第89図138～140	
328	130	67	120	54	24				N－24°－W	第83図62	
329	115	△ 55	100	△ 40	50	楕円形	北西部	北	N－12°－W	第95図37	
330	△ 70	68	△ 75	50	51	楕円形	西部	西	N－89°－W	第89図141	329が330を切っている。

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
331	155	75	125	60	59	楕円形			N－31°－W	第83図63～65	
332	△ 60	68	△ 55	45	49	楕円形			N－89°－W	第94図26	
333	150	△ 50	115	△ 35	59	楕円形			N－30°－E		
334	130	80	115	60	32	楕円形			N－64°－W	第83図66	
335	△ 80	△ 55	△ 75	42	25	楕円形			N－74°－W		
336	120	60	105	45	45	楕円形			N－82°－W		335、337を切っている。
337	120	76	105	50	30	楕円形	北西部	西	N－73.5°－W		335を切っている。
338	175	△ 80	153	△ 74	45	楕円形			N－22°－E		
339	△ 50	60	△ 40	42	△ 10	楕円形			N－79°－W		
340	163		145		49	楕円形			N－35°－E		
341	135		115		52	楕円形			N－30°－W		
342	160		155			楕円形	西部	西	N－82°－W		
343	110	△ 80	100	△ 70	59	楕円形	北西部	西北	N－63°－W		
344	△ 100	△ 20	△ 100	△ 15	28		北西部	西北	N－57.5°－W	腕輪	
345	194	68	180	53	40	楕円形			N－63°－W	腕輪	
346	△ 100	△ 60	△ 85	△ 40		楕円形			N－3°－W		
347	115	53	98	40	40	楕円形	北西部	北	N－35°－W		
348	157	△ 80	130	△ 80	50	楕円形			N－6°－E		
349	160	△ 65	145	△ 65	38	楕円形			N－75°－W		
350	165		153		△ 20	楕円形			N－83°－W		
351	140	62	135	45	50	楕円形			N－90°－W		
352	135	△ 50	117	△ 50	42	楕円形			N－51°－W		
353	153	97	140	75	34	楕円形			N－23°－E	第90図142～145	
354	130	76	117	65	45	楕円形			N－67°－W		
355	140	△ 60	123	△ 55	30	楕円形			N－53°－W		
356	105	70	87	50	31	楕円形			N－48°－E		
357	△ 80	△ 50	△ 65	△ 45	22						
358	120	63	112	58	27	楕円形			N－4°－E		
359	△ 70	70	△ 60	58	20	楕円形	北東部	北	N－11°－E		358に切られている。
360	132	69	118	58	10	楕円形			N－67°－W	第90図146～151	
361	043	63	132	55	14	楕円形			N－54°－W		
362	103	75	92	65	17	楕円形			N－64°－W		
363	125	72	116	64	20	楕円形			N－61°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
364	110	55	90	38	12	楕円形			N－51°－W		
365	145	78	134	65	13	楕円形			N－27°－W		
366	173	82	157	68	22	楕円形	北部	北	N－3.5°－E		
367	122	78	102	60	23	楕円形			N－2°－W	小玉6点	368を切っている
368	109	67	95	52	18	楕円形			N－60°－W		
369	△110	80	△105	65	34	楕円形			N－39°－W		
370	△110	70	△ 95	50	36	楕円形	北西部	北西	N－33°－W	第94図23	
371	125	70	105	50	20	楕円形			N－41°－W		
372	163	47	155	37	17	隅丸長方形			N－26°－W		373号墓を切っている。
373	△ 50	△ 45	△ 50	△ 45	20	楕円形			N－21°－E		
374	98	65	84	48	16	楕円形			N－45°－W		
375	88	55	74	32	22				N－34°－E		
376	141	85	130	65	12	楕円形			N－35°－W		
377	158	79	137	68	11	楕円形			N－47°－W		
378	154	78	140	60	14	楕円形			N－56°－W		379を切っている。
379	126	△ 55	110	△ 55	12	楕円形			N－50°－W		
380	131	65	116	50	25	楕円形			N－32°－W		379を切っている。
381	158	△ 70	143	△ 65	20	楕円形			N－92°－W		382に切られている。
382	160	87	145	72	41	楕円形			N－61°－W	第84図67～70	
383	112	△ 65	106	△ 55	13	楕円形			N－59°－W		
384	133	△ 85	120	△ 85	14	楕円形	北西部	西北	N－51°－W	第90図152～155 管玉状	
385	△ 90	70	△ 80	63	14	楕円形			N－12°－E		
386	122	65	112	55	12	楕円形			N－60°－W		
387	116	58	108	45	20	楕円形			N－31°－W		
388	96	65	77	50	34	楕円形			N－62.5°－W		
389	125	74	112	60	20	楕円形			N－29°－W		
390	115	88	105	80	15	楕円形			N－28°－W	第90図156～161 小玉	
391	133	52	115	35	30	楕円形	北西部	西北	N－52.5°－W		
392	115	△ 65	105	△ 60	30	隅丸長方形			N－47°－W		
393	△150	75	△150	55	35	楕円形	北西部	西北	N－63°－W	第90図162	394を切っている。
394	△110	△ 80	△100	△ 70	28				N－47°－E		
395	122	104	100	60	40	楕円形			N－39°－W		397、394を切っている。
396	△110	80	△110	63	53	楕円形	中央部	西北	N－57°－W		小口状の掘り込み有り

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
397	△120	85	120	70	52	楕円形			N－59°－W	第90図163	小口状の掘り込み有り
398	173	58	145	44	25	楕円形			N－53°－E		399を切っている。
399	110	73	93	60	28	楕円形			N－60°－W		
400	137	60	109	45	30	楕円形			N－58°－W	第84図71	
401	132	90	125	60	31	楕円形			N－106°－W		
402	136	86	121	65	14	楕円形			N－48°－W	第84図72	
403	173	60	150	43	45	楕円形			N－60°－W		404に切られている。
404	△100	70	△75	50	20	楕円形			N－36°－E		
405	△115	80	△108	67	15	楕円形			N－23°－W	第84図73	406に切られている。
406	143	68	125	50	34	楕円形			N－67°－W		407に切られている。
407	△70	70	△58	45	30	楕円形			N－9°－E		408に切られている。
408	135	103	118	98	10	楕円形			N－55°－W		
409	154	100	144	83	27	楕円形			N－0.5°－E		410に切られている。
410	107	80	83	68	20	楕円形			N－43°－E		
411	123	118	97	105	50	円形			N－43°－W	第90図164・165 第94図24・25	
412	△95	△50	△90	△50	13	楕円形			N－22°－E		411に切られている。
413	120	80	116	67	25	楕円形			N－82°－E		414を切っている。
414	150	90	140	80	15	楕円形			N－67°－E		415に切られている。
415	91	62	77	52	40	楕円形			N－3°－E	第84図74	
416							北西部				
417	151	84	139	60	40	楕円形			N－56°－W		417が419、418を切っている。
418										第90図166～169	
419	140	△33	124	△25	35	楕円形			N－38°－W		
420	△95	64	85	45	28	楕円形			N－37°－E		
421	140	80	130	48	19	楕円形			N－65°－W		420を切っている。 旧　新 423→421→422
422	△80	75	△80	60	17	楕円形			N－12°－E		
423	△140	65	△125	45	10	楕円形			N－72°－W		
424	90	66	80	43	14	楕円形			N－32°－E	第91図170	
425	113	75	91	45	43	楕円形			N－16°－W		
426	△70	△65	△60	△60	24				N－18.5°－W		
427	139	97	116	86	24	楕円形			N－108°－W		
428	150	60	130	46	35	楕円形	南西部	西南	N－126.5°－W	第91図171～173	
429	135	65	125	52	14	楕円形			N－83°－W		430を切っている。

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
430	113	72	98	54	33	楕円形			N－90°－E		432が433を切っている。
431	△ 80	50	△ 70	37	10	楕円形			N－9°－W		
432	125	80	103	68	18	楕円形			N－42°－W		
433	140	68	118	57	37	楕円形			N－50°－E		
434	100	55	80	37	9	楕円形			N－111°－W	第91図174	
435	192	76	180	53	15	楕円形			N－82°－E (N－108°－W)		
436	106	87	88	74	16	楕円形			N－75°－E (N－115°－W)		
437	128	60	119	43	25	楕円形			N－85°－E	第91図175	
438	113	65	95	47	20	楕円形			N－47°－W		
439	167	75	140	60	25	楕円形			N－31°－W		
440	△ 40	80	△ 20	45	25	楕円形			N－59°－W		
441	167	96	160	68	33	楕円形	南西部	西南	N－123.5°－W		
442	△ 95	62	△ 90	45	25	楕円形			N－39°－W		
443	170	75	150	59	12	楕円形			N－1°－E		
444	113	62	100	52	30	楕円形			N－64°－E		
445	138	80	116	55	15	楕円形	北西部	西北	N－58°－W		
446	100	62	85	50	23	楕円形			N－83°－W	第91図176・177	
447	△ 120	47	△ 110	30	25	楕円形			N－12°－W		
448	130	62	100	40	27	楕円形			N－77°－W		
449	△ 140	60	△ 130	48	12	楕円形	北西部	北西	N－28°－W		
450	135	93	107	72	25	楕円形			N－33°－E	第91図178	
451	138	75	133	65	24	楕円形			N－47°－W		
452	△ 50	65	△ 50	50	5	楕円形			N－56°－W		451に切られている。
453	△ 134	68	△ 128	62	12	楕円形			N－63°－E	第84図75・76	
454	132	△ 60	120	△ 50	34	楕円形			N－32°－E		
455	135		115		34	楕円形			N－67°－E		
456	175	85	165	65	15	楕円形			N－59°－W		
457	△ 50	82	△ 45	74	28	楕円形			N－32°－E		
458	115	65	110	45	42	楕円形			N－22.5°－E		
459	118	58	110	50		楕円形			N－90°－W		
460	160	80	152	70	25	楕円形	西部	西	N－88°－W	第89図136、第91図179・180	
461	88	80	75	60	30	楕円形			N－89°－W		
462	97	65	90	55	18	楕円形			N－87°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
463	126	85	112	76	36	楕円形			N－60°－E		
464	140	100	123	92	41	楕円形	中央・北寄り	西北	N－68°－W		
465	140	70	125	50	30	楕円形			N－45°－W		
466	172	67	140	50	20	楕円形			N－32.5°－W		467を切っている。
467	△105	58	△100	43	30	楕円形			N－59°－E		
468	137	60	123	37	42	楕円形			N－84°－E		
469	120	57	102	45	26	楕円形	北部	北東	N－44°－E		468に切られている。
470	140	65	123	45	25	楕円形			N－84.5°－E		
471	148	80	124	70	18	楕円形			N－35°－W	第94図30、腕輪	
472	130	65	109	42	33	楕円形			N－46°－W		
473	△ 75	65	△ 70	53	37	楕円形			N－68°－E		472に切られている。
474	150	72	138	70	25	楕円形			N－67°－W		
475	124	△ 65	114	△ 65	20	楕円形			N－52°－W		474によって切られている。
476	95	47	84	32	32	楕円形			N－67°－W		
477	117	35	104	23	10	楕円形			N－64°－E		
478	85	50	75	36	10	楕円形			N－64°－E		
479	105	50	90	35	20	楕円形			N－63°－W	第94図31 第95図38	
480	102	70	94	65	10	楕円形			N－41°－E		
481	118	△ 60	106	△ 50	30	楕円形			N－59°－W	第91図181	
482	153	60	135	57	27	楕円形			N－49°－W		479を切っている。
483	143	70	124	45	35	楕円形			N－43°－W		
484	△ 93	△ 25	△ 75	△ 20	30	楕円形			N－40°－W		486に切られている。
485									N－39°－W		486に切られている。
486	135	90	115	68	32	楕円形			N－77°－W		
487	128	77	114	68	35	楕円形	北西部	北西	N－46°－W		
488	102	55	90	42	15	楕円形			N－43°－W		
489	△ 57	53	△ 40	40	8	楕円形			N－43°－W		
490	105	67	88	25	36	楕円形			N－47°－E		489を切っている。
491	120	67	112	45	38	楕円形	北西部	西北	N－52°－W		
492	115	45	105	37	7	楕円形			N－57.5°－W	第91図182	
493	140	100	127	85	38	楕円形	北西部	北西	N－41.5°－W		
494	125	81	110	70	20	楕円形			N－65°－W		
495	115	65	107	50	24	楕円形			N－99°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
496	164	64	142	54	37	楕円形	北西部	西北	N－61.5°－W		
197	120	78	100	66	28	楕円形			N－61°－E	第94図32	
498	98	46	93	35	13	楕円形			N－48°－W		
499	97	74	80	60	23	楕円形			N－56°－W		
500	130	60	110	45	34	楕円形	北西部	西北	N－55°－W		
501	142	65	118	40	27	楕円形	北西部	北西	N－36.5°－W		
502	133	70	124	55	20	楕円形			N－61°－E		
503	122	60	108	48	50	楕円形			N－44°－E		旧　新 511→510→509
504	△110	72	△100	53	23	楕円形			N－48°－W		
505	△ 85	63	△ 70	40	40	楕円形			N－29°－E		
506	△ 80	△ 55	△ 75	△ 45	10	楕円形			N－23°－W		507によって切られている。
507	110	63	92	50	31	楕円形			N－42°－W	第91図183	
508	111	65	94	43	25	楕円形			N－73°－E		
509	128	80	100	55	25	楕円形			N－22°－W		
510	92	△ 55	80	△ 45	9	楕円形			N－80°－E		509に切られている。
511	137	63	117	45	26	楕円形			N－63°－W	第84図77	
512	128	66	110	40	38	楕円形			N－104°－W	第91図184～188	
513	120	66	93	41	66	楕円形			N－75°－W		
514	△100	55	△ 90	35	30	楕円形			N－48°－E		
515	135	65	130	48	20	楕円形			N－38°－W		
516	136	62	114	50	13	楕円形			N－92°－W (N－88°－E)		
517	127	53	111	35	21	楕円形			N－40°－W		
518	△120	△ 60	△110	△ 55	22	楕円形	北西部	西北	N－74°－W		
519	△ 55	△ 75	△ 55	△ 61	22	楕円形			N－10°－W		
520	112	75	99	39	33	楕円形			N－54°－E		
521	132	60	103	35	27	楕円形			N－77°－W		
522	139	72	130	59	10	楕円形			N－71W		
523	82	66	66	42	30	楕円形			N－70°－W		
524	161	△ 70	135	△ 65	22	楕円形			N－4°－E	第91図189	
525	162	60	160	56	60	楕円形			N－83°－W	第91図190	底面に7～10cmの周溝が検出
526	△ 30	△ 65	△ 25	△ 60	16				N－29°－E		525に切られている。
527	66	63	155	50	13	楕円形			N－65.5°－W		519に切られている。
528	106	60	90	52	34	楕円形			N－80°－W		

土坑墓番号	坑口部(cm)		坑底部(cm)		深さ(cm)	平面形	ベンガラの有無と散布場所	頭位	長軸方向	出土遺物	備考等
	長軸	短軸	長軸	短軸							
529	△140	58	△125	48	16	楕円形			N－1°－E		
530	100	57	91	45	13	楕円形			N－30°－E		
531	139	72	130	65	18	楕円形			N－12°－E		
532	133	64	120	50	17	楕円形			N		
533	117	61	107	53	8	楕円形			N－32°－E		
534	108	70	97	60	8	楕円形			N－60°－W		535に切りれている。
535	150	57	137	43	15	楕円形			N－18°－E	第92図191・192	
536	124	90	100	68	20	楕円形			N－66°－W		
537	176	75	160	65	15	楕円形			N－36°－W		
538	△50	57	△40	51	17	楕円形			N－90°－W		537に切られている。
539	124	82	112	72	23	楕円形			N－73°－W	第92図193～201	
540	99	52	91	45	20	楕円形			N－49°－W		
541	110	70	90	42	60	楕円形			N－18°－E		
542	111	56	95	33	7	楕円形			N－62°－E	第95図39	
543	130	60	100	50	46	楕円形			N－65°－E		542に切られている
544	105	65	90	55	19	楕円形			N－59°－E	第94図29	
545	98	60	93	49	8	楕円形			N－37°－E		
546	150	67	142	58	16	楕円形			N－44°－W		
547	112	65	104	55	14	楕円形			N－50°－W		
548	123	67	110	48	30	楕円形			N－40°－W		
549	133	80	116	67	20	楕円形			N－50°－E		
550	160	75	140	63	35	楕円形	南西部		N－109°－W		
551											
552	108	△50	70	△50	20	楕円形			N－68°－W		
553	△40	60	△40	42	10	楕円形	北西部	西北	N－52°－W		
554	122	△75	110	△65	19	楕円形	北東部	北東	N－21°－E		
555	140	50	132	35	12	楕円形			N－46°－E		496によって切られている。
556	△90								N－30°－W		
557	120	△80	97	78	26	楕円形	北西部	西北	N－71°－W	第92図202、203	
558	△93	△60	△85	△50	35	楕円形	中央部	北西	N－29°－W	第92図204、第94図32・33	
559	100	△35	75	△45	35	楕円形			N－34°－W		317に切られている。
560											
561											

石器： 3は有茎の石鏃である。基部の先端は欠損する。

19号土坑墓出土遺物（第85図）

石製品：底部から出土した。3は長さ4cm、幅1.9cmの勾玉状の石製品で、両面からの穿孔である。

27号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：覆土から出土した鉢形土器片である。小波状口縁をなし2条の平行沈線文がまわる。

28号土坑墓出土遺物（第93図）

石器： 4は覆土から出土した、有茎の石鏃である。

31号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：15・16は覆土から出土した鉢形土器片である。16は2～3条の平行沈線文がまわる。

37号土坑墓出土遺物（第93図）

石器： 8は覆土から出土した円盤状石製品である。扁平な礫を両面から打ち欠いて作っている。

40号土坑墓出土遺物（第93図）

石器： 5～7は覆土から出土した。有茎の石鏃で、5は片面、7は両面にアスファルトが付着している。

41号土坑墓出土遺物（第80図）

土器： 1は深鉢形土器である。口縁部に2個一対の突起を有し、小波状口縁を呈する。連続刻目文がみられ、下方に細い沈線文がまわっている。

42号土坑墓出土遺物（第85図）

石製品： 4・5は底部から出土した小玉である。

46号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：17は覆土から出土した浅鉢形土器片である。口縁部に貼り付を施し、小波状口縁をなす。1条の沈線がまわり、体部には雲形文が施されている。

47号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：18・19は覆土から出土した浅鉢形土器片である。18は平行沈線文がまわっている。

65号土坑墓出土遺物（85図）

石製品： 6～22は径7～8mm程の小玉である。

66号土坑墓出土遺物（第85図）

石製品：23は勾玉、24・25は小玉である。

74号土坑墓出土遺物（第85図）

土製品：26は径1.9cmの鼓状を呈する耳飾りである。全面にベンガラが塗布されている。

79号土坑墓出土遺物（第80・85図）

土器： 2は口径19.2cm、器高22.8cmを計る深鉢形土器である。地文の縄文はＬＲ（横回転）の単

節斜縄文である。

土製品：27・28は径12～13cmの鼓状を呈する耳飾りである。

80号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：20は鉢形土器片である。口縁部に２条の沈線がまわる。

86号土坑墓出土遺物（第80・82・93図）

土器：３は壺形土器である。頸部は磨消し無文帯である。体部にはＲＬ（縦回転）の単節斜縄文が施されている。21～28は覆土から出土した。小波状、平縁口縁をなす土器で、平行沈線文、連続刻目文が施されている。

石器：９は細長い有茎の石鏃である。基部先端は欠損する。

90号土坑墓出土遺物（第80・82図）

土器：４は深鉢形土器である。地文は結束のない羽状縄文で、ＬＲ・ＲＬ（横回転）である。29～34は覆土から出土した土器片である。平行沈線間に連続刻目文のみられるものや、体部に雲形文を施すものがある。

95号土坑墓出土遺物（第82図）

土器：覆土から出土した土器片である。35は平行沈線文が主体である。36・37は沈線間に連続刻目文を施している。

96号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：38は覆土から出土した浅鉢形土器片である。口縁部に刺突文を施し、体部に沈線・三叉文などがみられる。

100号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：39・41は覆土から出土した浅鉢形土器片である。沈線間に連続刻目文を施すものや、沈線と雲形文のものがある。

102号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：42・44は覆土から出土した。42は口縁部に末端の咬み合う羊歯状文が施される鉢形土器である。43・44は小波状口縁をなし、沈線文を主体に文様が構成される。

105号土坑墓出土遺物（第95図）

石器：扁平な河原石を利用した両面利用のくぼみ石である。

106号土坑墓出土遺物（第83・85図）

土器：45は覆土から出土した鉢形土器片である。

石製品：29は径9.5mmの両面から穿孔した小玉である。

113号土坑墓出土遺物（第85図）

土製品：30は径1.4mmの鼓状を呈する耳飾りである。全面にベンガラが塗布されている。

130号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：31～33は径８～９㎜の小玉である。

135号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：34～42は径７㎜～1.1cmの小玉である。

138号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：10は覆土から出土した無茎の石鏃である。

145号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：43は径7.5㎜の小玉である。

147号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：45は径９㎜～１cmの小玉である。

149号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：46は径1.7cmの小玉である。

151号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：47は長さ２cmの勾玉、48～53は９㎜～１cmの小玉である。

142号土坑墓出土遺物（第86図）

石製品：54～57は８㎜～１cmの小玉である。

159号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：11は茎部の先端が欠損する有茎石鏃である。

161号土坑墓出土遺物（第80図）

土器：５は口径7.4cmの深鉢形土器である。地文はＲＬ（横回転）の単節斜縄文である。

162号土坑墓出土遺物（第86・87図）

石製品：58～78は径６～８㎜の小玉である。

164号土坑墓出土遺物（第83・87・93図）

土器：46は鉢形土器片である。口縁部に２条の平行沈線文がまわる。

石製品：79は長さ2.3cmの勾玉である。両面から穿孔されている。

石器：12は両面にきれいに剝離を施した四脚状の石器である。

177号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：長さ28cmの小形の有茎石鏃である。

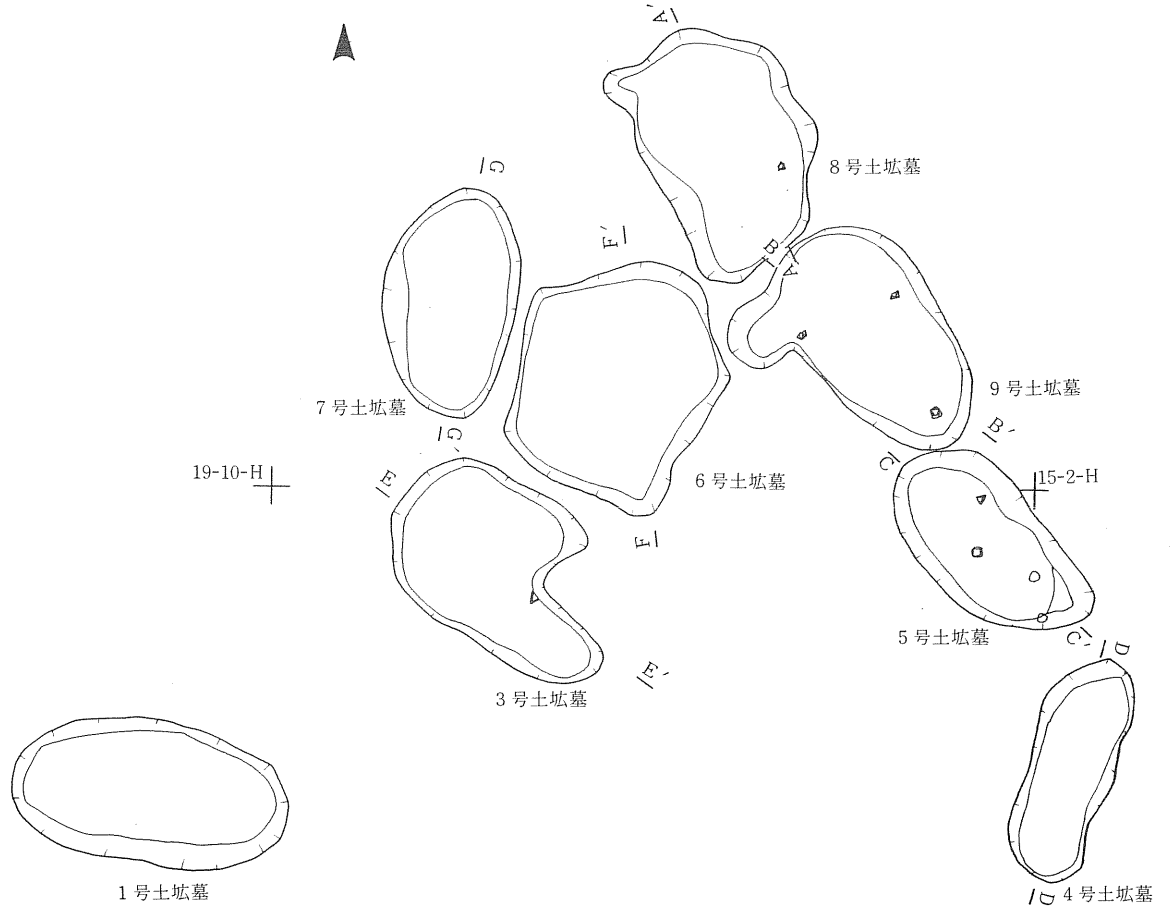
184号土坑墓出土遺物（第83図）

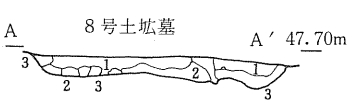
土器：47は浅鉢形土器片である。口縁部に２条の平行沈線文をまわし、体部には雲形文を施してる。

186号土坑墓出土遺物（第87図）

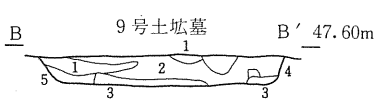
石製品：80～82は径８㎜前後の小玉である。

193号土坑墓出土遺物（第87図）

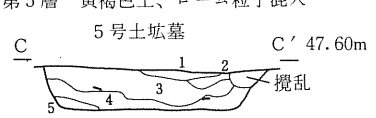




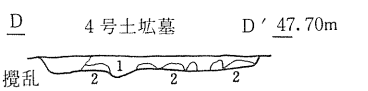
第１層　暗褐色土、ローム粒子混入
第２層　褐色土、ローム混入
第３層　黄褐色土、ローム・暗褐色土混入



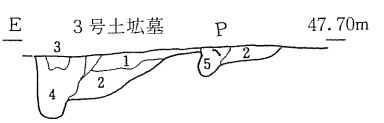
第１層　黒褐色土、ロームブロック多量混入
第２層　黒褐色土、ローム粒子混入
第３層　黄褐色土、ロームブロック混入
第４層　暗褐色土、ローム粒子混入
第５層　黄褐色土、ローム粒子混入



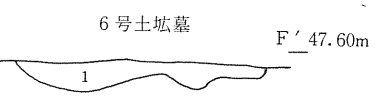
第１層　黒褐色土、ローム粒子混入
第２層　暗褐色土、ローム混入
第３層　黒褐色土、ローム粒子混入
第４層　黒褐色土、ロームブロック混入
第５層　黄褐色土、黒色土混入



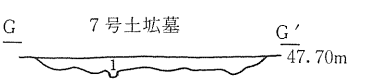
第１層　暗褐色土、粘質・ローム粒子混入
第２層　褐色土、暗褐色土混入



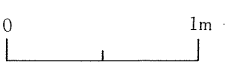
第１層　暗褐色土、ロームブロック混入
第２層　黄褐色土、暗褐色土混入
第３層　褐色土、ロームブロック混入
第４層　黄褐色土
第５層　黒褐色土、ロームブロック混入



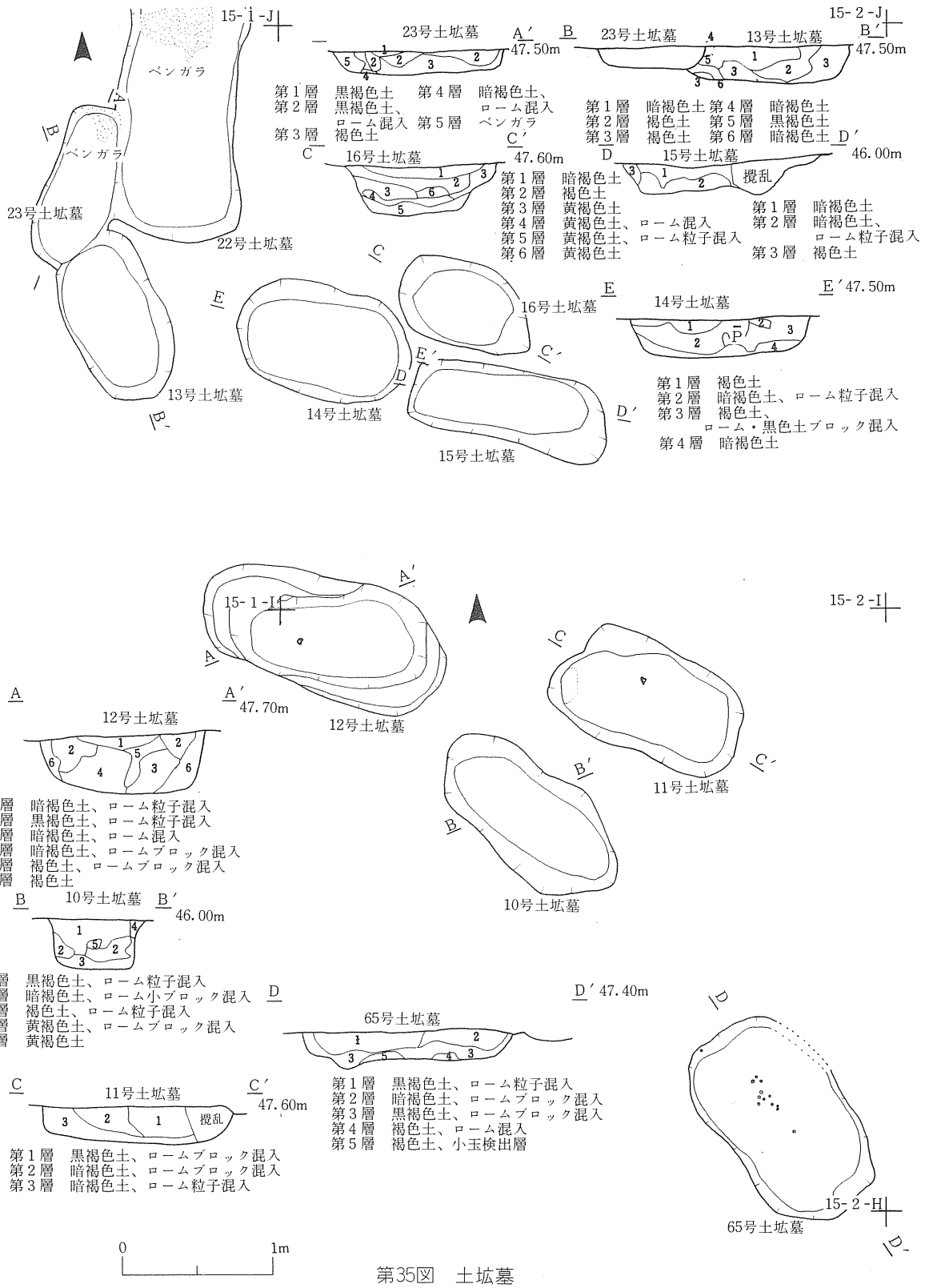
第１層　褐色土、ロームブロック多量混入



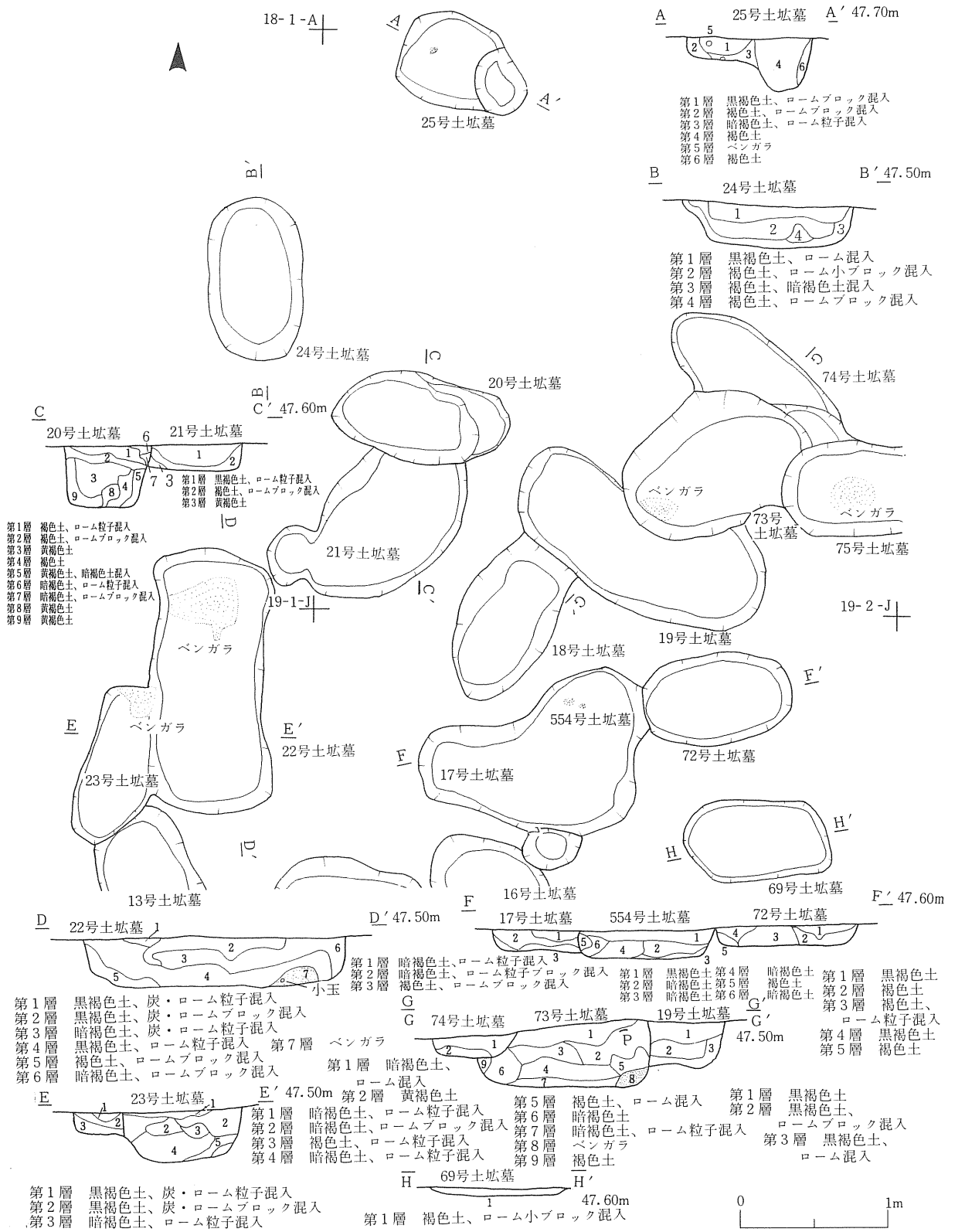
第１層　暗褐色土、ローム混入



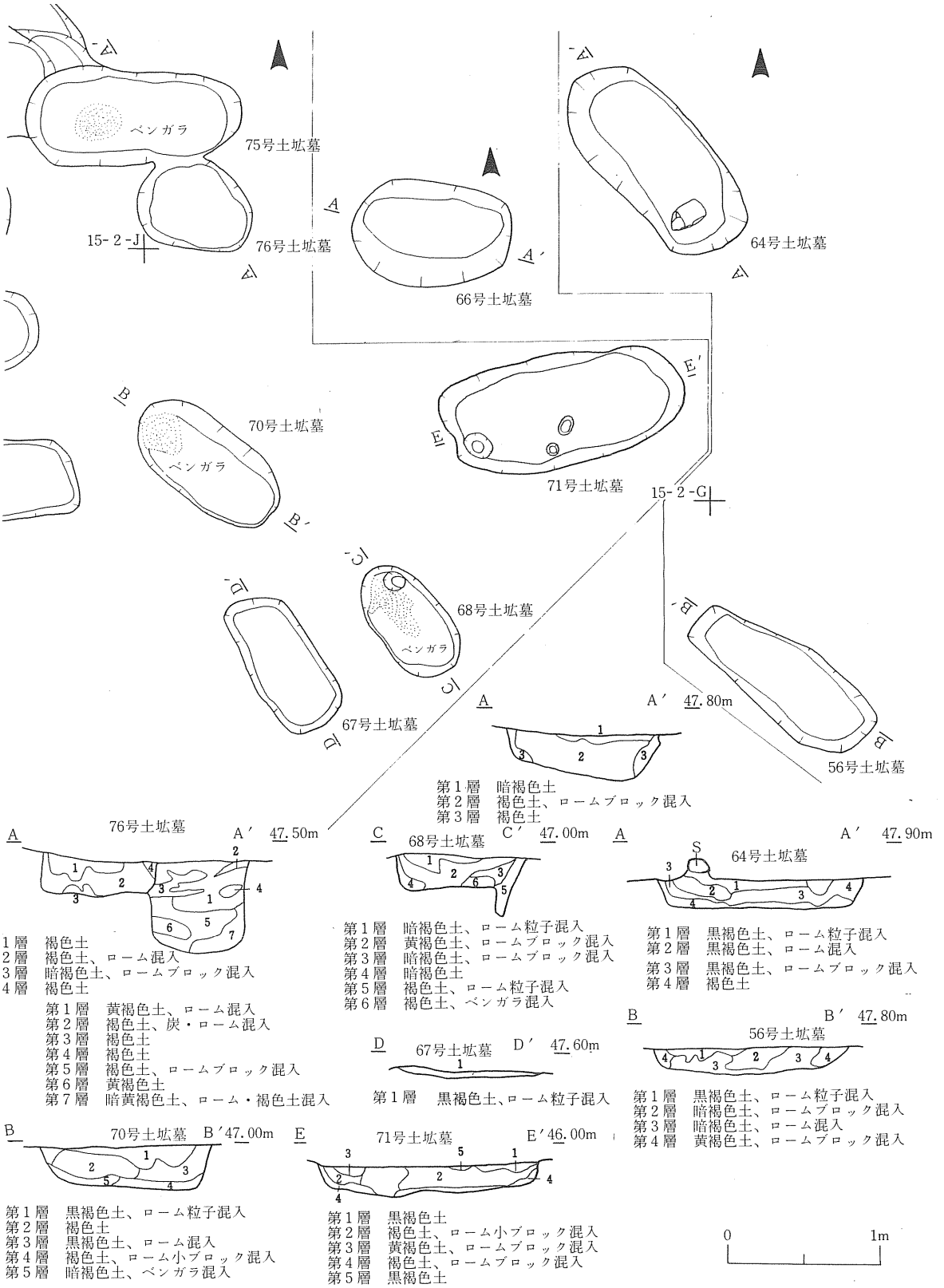
第34図　土坑墓


15-1-J
ベンガラ
ベンガラ
23号土拡墓
22号土拡墓
13号土拡墓
23号土拡墓
A′
47.50m
第1層　黒褐色土　第4層　暗褐色土、ローム混入
第2層　黒褐色土、ローム混入　第5層　ベンガラ
第3層　褐色土
15-2-J
23号土拡墓
13号土拡墓
B′
47.50m
第1層　暗褐色土　第4層　暗褐色土
第2層　褐色土　第5層　黒褐色土
第3層　褐色土　第6層　暗褐色土
16号土拡墓
C′
47.60m
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　黄褐色土、ローム混入
第5層　黄褐色土、ローム粒子混入
第6層　黄褐色土
15号土拡墓
D′
46.00m
撹乱
第1層　暗褐色土
第2層　暗褐色土、ローム粒子混入
第3層　褐色土
16号土拡墓
14号土拡墓
15号土拡墓
14号土拡墓
E′47.50m
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、ローム粒子混入
第3層　褐色土、ローム・黒色土ブロック混入
第4層　暗褐色土
15-1-I
A′
47.70m
12号土拡墓
15-2-I
11号土拡墓
10号土拡墓
12号土拡墓
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土、ローム粒子混入
第3層　暗褐色土、ローム混入
第4層　暗褐色土、ロームブロック混入
第5層　褐色土、ロームブロック混入
第6層　褐色土
10号土拡墓
B′
46.00m
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　褐色土、ローム粒子混入
第4層　黄褐色土、ロームブロック混入
第5層　黄褐色土
D′47.40m
65号土拡墓
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　黒褐色土、ロームブロック混入
第4層　褐色土、ローム混入
第5層　褐色土、小玉検出層
11号土拡墓
C′
47.60m
撹乱
第1層　黒褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土、ローム粒子混入
15-2-H
65号土拡墓
0
1m

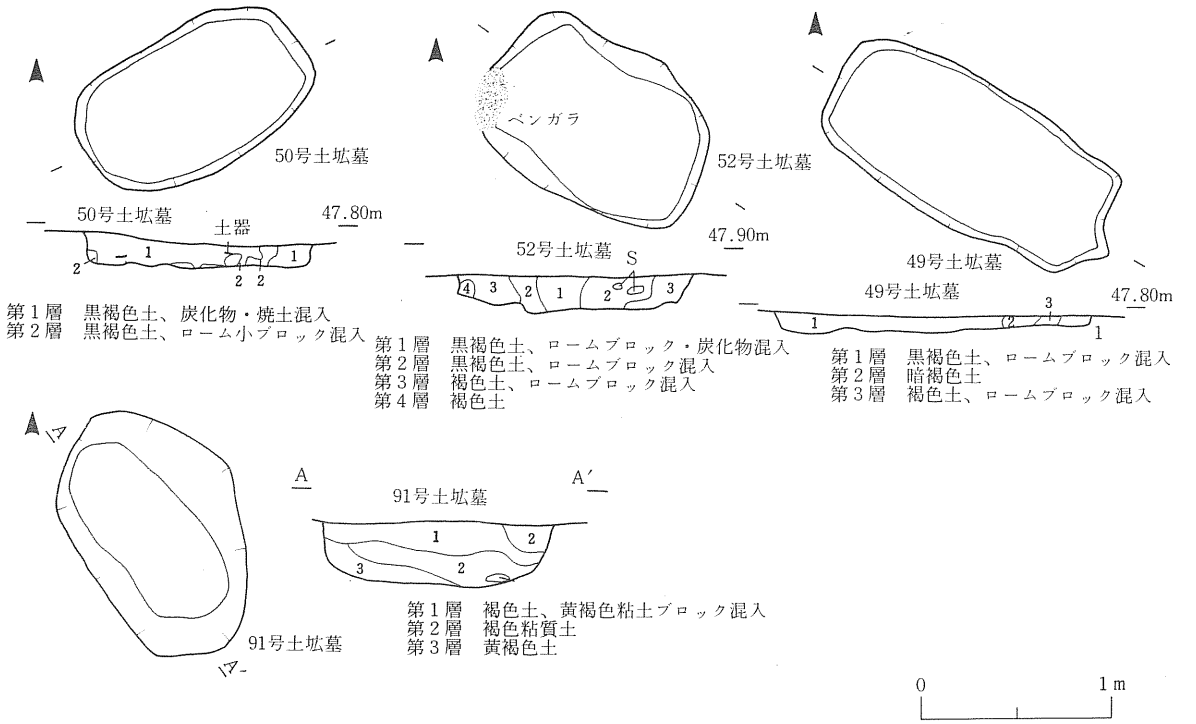
第35図　土拡墓


18-1-A
25号土坑墓
A
A′
25号土坑墓 A′ 47.70m
第1層 黒褐色土、ロームブロック混入
第2層 褐色土、ロームブロック混入
第3層 暗褐色土、ローム粒子混入
第4層 褐色土
第5層 ベンガラ
第6層 褐色土
B
B′ 47.50m
24号土坑墓
第1層 黒褐色土、ローム混入
第2層 褐色土、ローム小ブロック混入
第3層 褐色土、暗褐色土混入
第4層 褐色土、ロームブロック混入
24号土坑墓
20号土坑墓
C′ 47.60m
C
20号土坑墓 21号土坑墓
第1層 黒褐色土、ローム粒子混入
第2層 褐色土、ロームブロック混入
第3層 黄褐色土
第1層 褐色土、ローム粒子混入
第2層 褐色土、ロームブロック混入
第3層 黄褐色土
第4層 褐色土
第5層 黄褐色土、暗褐色土混入
第6層 暗褐色土、ローム粒子混入
第7層 暗褐色土、ロームブロック混入
第8層 黄褐色土
第9層 黄褐色土
21号土坑墓
74号土坑墓
ベンガラ
73号土坑墓
75号土坑墓
19-1-J
19-2-J
19号土坑墓
18号土坑墓
E
E′
ベンガラ
22号土坑墓
23号土坑墓
13号土坑墓
554号土坑墓
17号土坑墓
72号土坑墓
F
F′
16号土坑墓
H
H′
69号土坑墓
D
D′ 47.50m
22号土坑墓
第1層 黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第2層 黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第3層 暗褐色土、炭・ローム粒子混入
第4層 黒褐色土、ローム粒子混入
第5層 褐色土、ロームブロック混入
第6層 暗褐色土、ロームブロック混入
第7層 ベンガラ
小玉
第1層 暗褐色土、ローム粒子混入
第2層 暗褐色土、ローム粒子ブロック混入
第3層 褐色土、ロームブロック混入
F′ 47.60m
17号土坑墓 554号土坑墓 72号土坑墓
第1層 黒褐色土 第4層 暗褐色土
第2層 暗褐色土 第5層 褐色土
第3層 暗褐色土 第6層 暗褐色土
第1層 黒褐色土
第2層 褐色土
第3層 褐色土、ローム粒子混入
第4層 黒褐色土
第5層 褐色土
G
G′
74号土坑墓 73号土坑墓 19号土坑墓
47.50m
第1層 暗褐色土、ローム混入
第2層 黄褐色土
第5層 褐色土、ローム混入
第6層 暗褐色土
第7層 暗褐色土、ローム粒子混入
第8層 ベンガラ
第9層 褐色土
第1層 黒褐色土
第2層 黒褐色土、ロームブロック混入
第3層 黒褐色土、ローム混入
E
E′ 47.50m
23号土坑墓
第1層 暗褐色土、ローム粒子混入
第2層 暗褐色土、ロームブロック混入
第3層 褐色土、ローム粒子混入
第4層 暗褐色土、ローム粒子混入
第1層 黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第2層 黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第3層 暗褐色土、ローム粒子混入
H
H′
69号土坑墓
47.60m
第1層 褐色土、ローム小ブロック混入
0
1m

第36図　土坑墓


75号土坑墓
ベンガラ
76号土坑墓
15-2-J
66号土坑墓
64号土坑墓
70号土坑墓
ベンガラ
71号土坑墓
15-2-G
68号土坑墓
ベンガラ
67号土坑墓
56号土坑墓
A A′ 47.80m
第1層 暗褐色土
第2層 褐色土、ロームブロック混入
第3層 褐色土
76号土坑墓 A A′ 47.50m
第1層 褐色土
第2層 褐色土、ローム混入
第3層 暗褐色土、ロームブロック混入
第4層 褐色土
第1層 黄褐色土、ローム混入
第2層 褐色土、炭・ローム混入
第3層 褐色土
第4層 褐色土
第5層 褐色土、ロームブロック混入
第6層 黄褐色土
第7層 暗黄褐色土、ローム・褐色土混入
68号土坑墓 C C′ 47.00m
第1層 暗褐色土、ローム粒子混入
第2層 黄褐色土、ロームブロック混入
第3層 暗褐色土、ロームブロック混入
第4層 暗褐色土
第5層 褐色土、ローム粒子混入
第6層 褐色土、ベンガラ混入
64号土坑墓 A A′ 47.90m
第1層 黒褐色土、ローム粒子混入
第2層 黒褐色土、ローム混入
第3層 黒褐色土、ロームブロック混入
第4層 褐色土
67号土坑墓 D D′ 47.60m
第1層 黒褐色土、ローム粒子混入
56号土坑墓 B B′ 47.80m
第1層 黒褐色土、ローム粒子混入
第2層 暗褐色土、ロームブロック混入
第3層 暗褐色土、ローム混入
第4層 黄褐色土、ロームブロック混入
70号土坑墓 B B′ 47.00m
第1層 黒褐色土、ローム粒子混入
第2層 褐色土
第3層 黒褐色土、ローム混入
第4層 褐色土、ローム小ブロック混入
第5層 暗褐色土、ベンガラ混入
71号土坑墓 E E′ 46.00m
第1層 黒褐色土
第2層 褐色土、ローム小ブロック混入
第3層 黄褐色土、ロームブロック混入
第4層 褐色土、ロームブロック混入
第5層 黒褐色土
0 1m

第37図　土坑墓



第38図　土坑墓

石製品：83は径７mmの小玉である。

196号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：48は浅鉢形土器片である。頸部に幅の広い沈線がまわり、他は無文である。

199号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：14・15は有茎の石鏃である。14は基部先端が欠損する。

200号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：49・50は鉢形土器片である。口縁部に２条の沈線がまわっている。

202号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：16は基部先端が欠損する石鏃と思われる。二段からなる特異な石器である。

203号土坑墓出土遺物（第93図）

石器：17は基部先端が欠損する有茎石鏃である。基部にアスファルトが付着している。

204号土坑墓出土遺物（第93図）

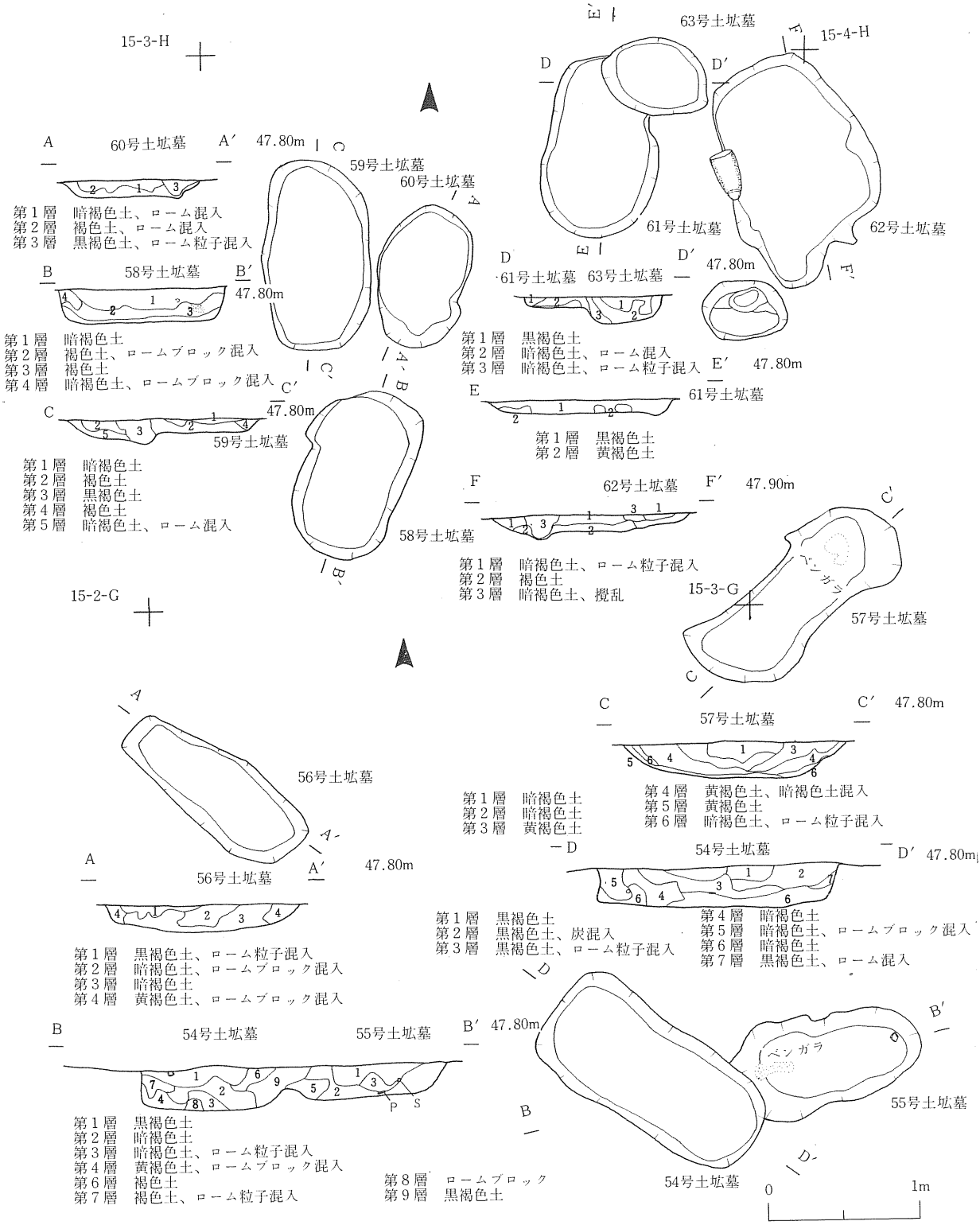
石器：18は長さ３cmの小形の有茎石鏃である。

207号土坑墓出土遺物（第87図）

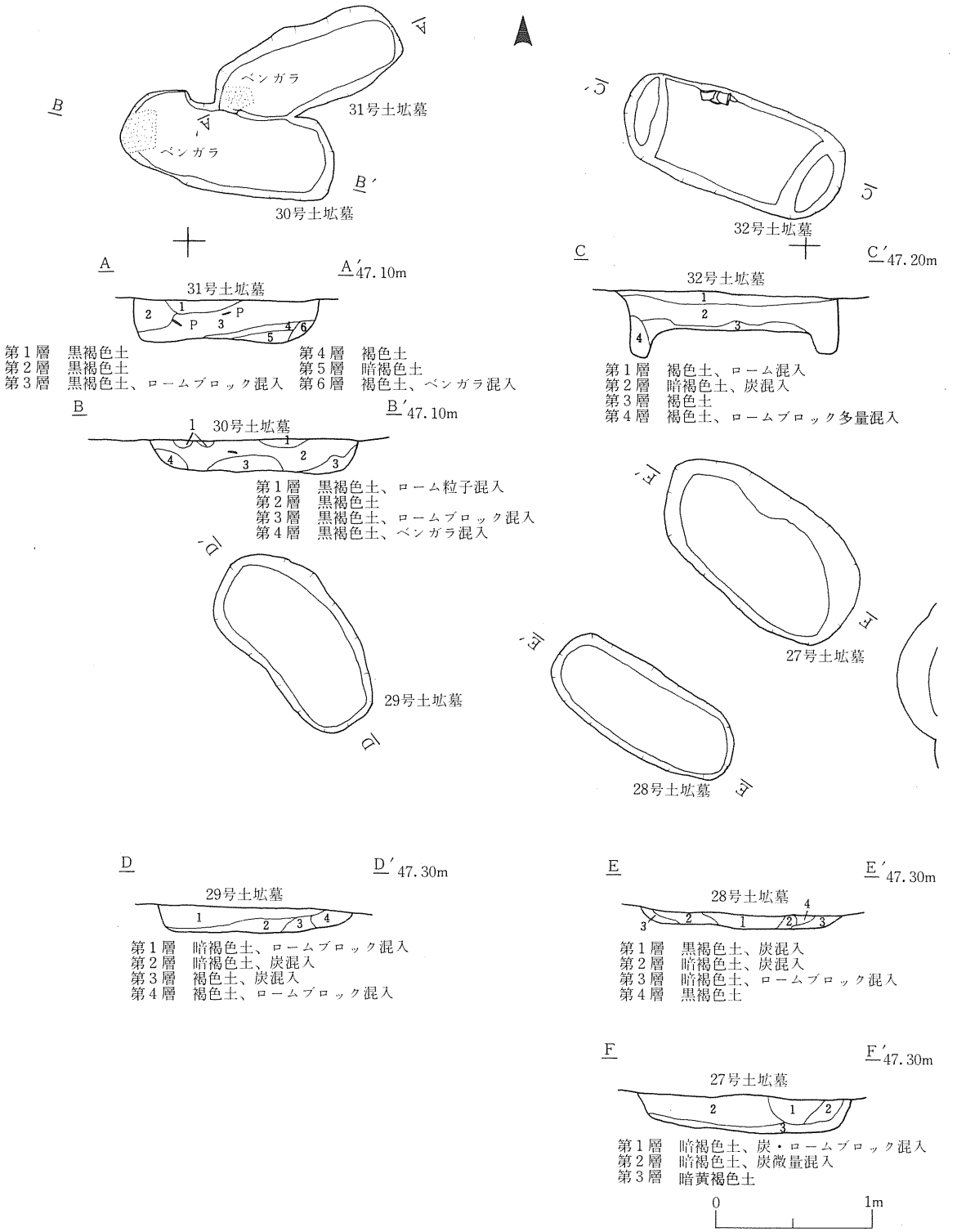
石製品：84～86は径1.1cm～1.3cmの小玉である。

210号土坑墓出土遺物（第94図）

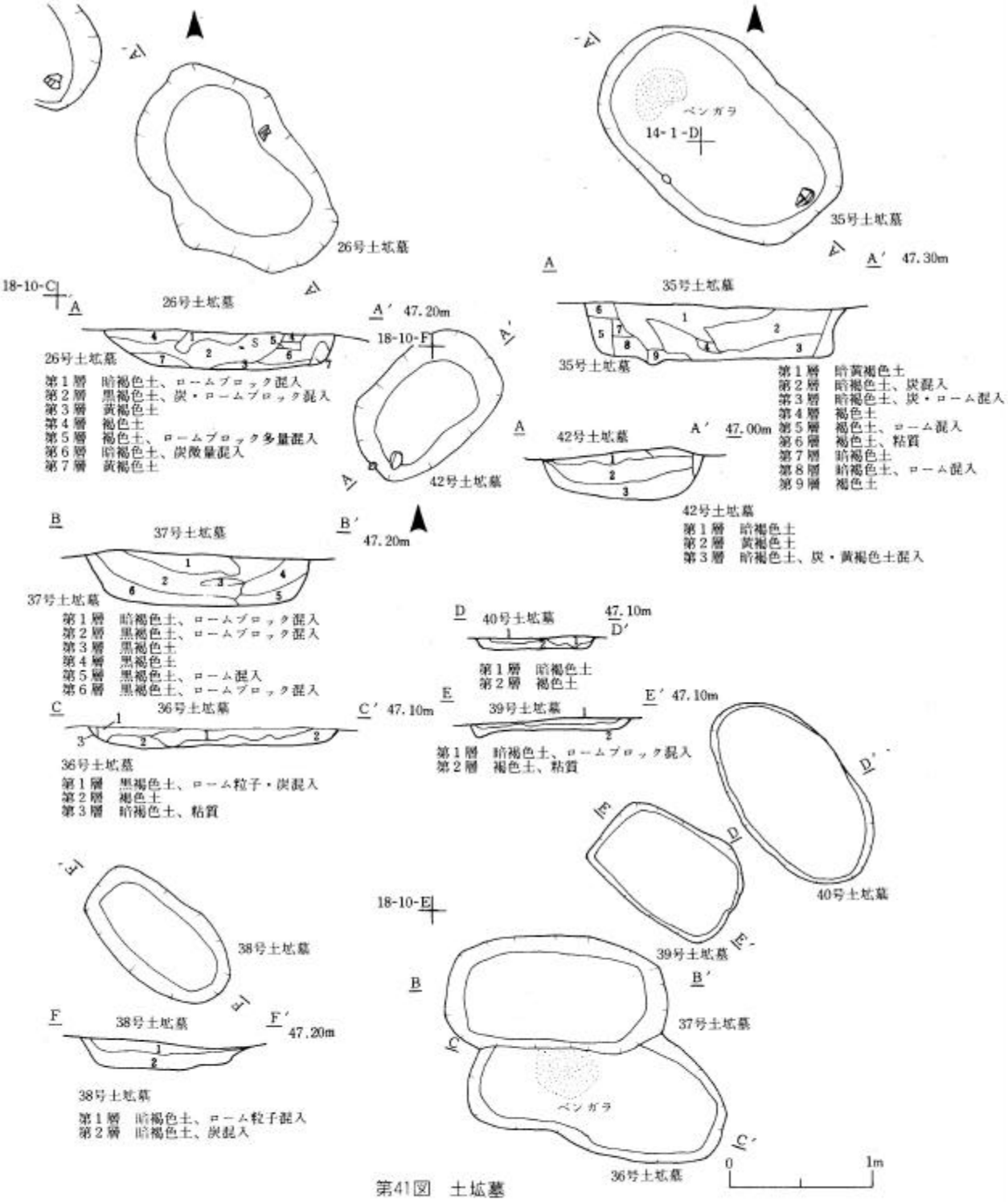
石器：19は長さ4.9cmの有茎の石鏃である。先端部がわずかに欠損する。


15-3-H
60号土坑墓
A
A′
47.80m
第1層　暗褐色土、ローム混入
第2層　褐色土、ローム混入
第3層　黒褐色土、ローム粒子混入
59号土坑墓
60号土坑墓
58号土坑墓
B
B′
47.80m
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土
第4層　暗褐色土、ロームブロック混入
C
C′
47.80m
59号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　褐色土
第5層　暗褐色土、ローム混入
58号土坑墓
15-2-G
63号土坑墓
15-4-H
D
D′
61号土坑墓
62号土坑墓
61号土坑墓　63号土坑墓
47.80m
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土、ローム混入
第3層　暗褐色土、ローム粒子混入
E
E′
47.80m
61号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土
F
F′
47.90m
62号土坑墓
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土、攪乱
15-3-G
57号土坑墓
ベンガラ
C
C′
47.80m
57号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　黄褐色土、暗褐色土混入
第5層　黄褐色土
第6層　暗褐色土、ローム粒子混入
56号土坑墓
A
A′
47.80m
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土
第4層　黄褐色土、ロームブロック混入
D
D′
47.80m
54号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土、炭混入
第3層　黒褐色土、ローム粒子混入
第4層　暗褐色土
第5層　暗褐色土、ロームブロック混入
第6層　暗褐色土
第7層　黒褐色土、ローム混入
B
B′
47.80m
54号土坑墓
55号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　暗褐色土、ローム粒子混入
第4層　黄褐色土、ロームブロック混入
第6層　褐色土
第7層　褐色土、ローム粒子混入
第8層　ロームブロック
第9層　黒褐色土
P
S
ベンガラ
55号土坑墓
54号土坑墓
0
1m

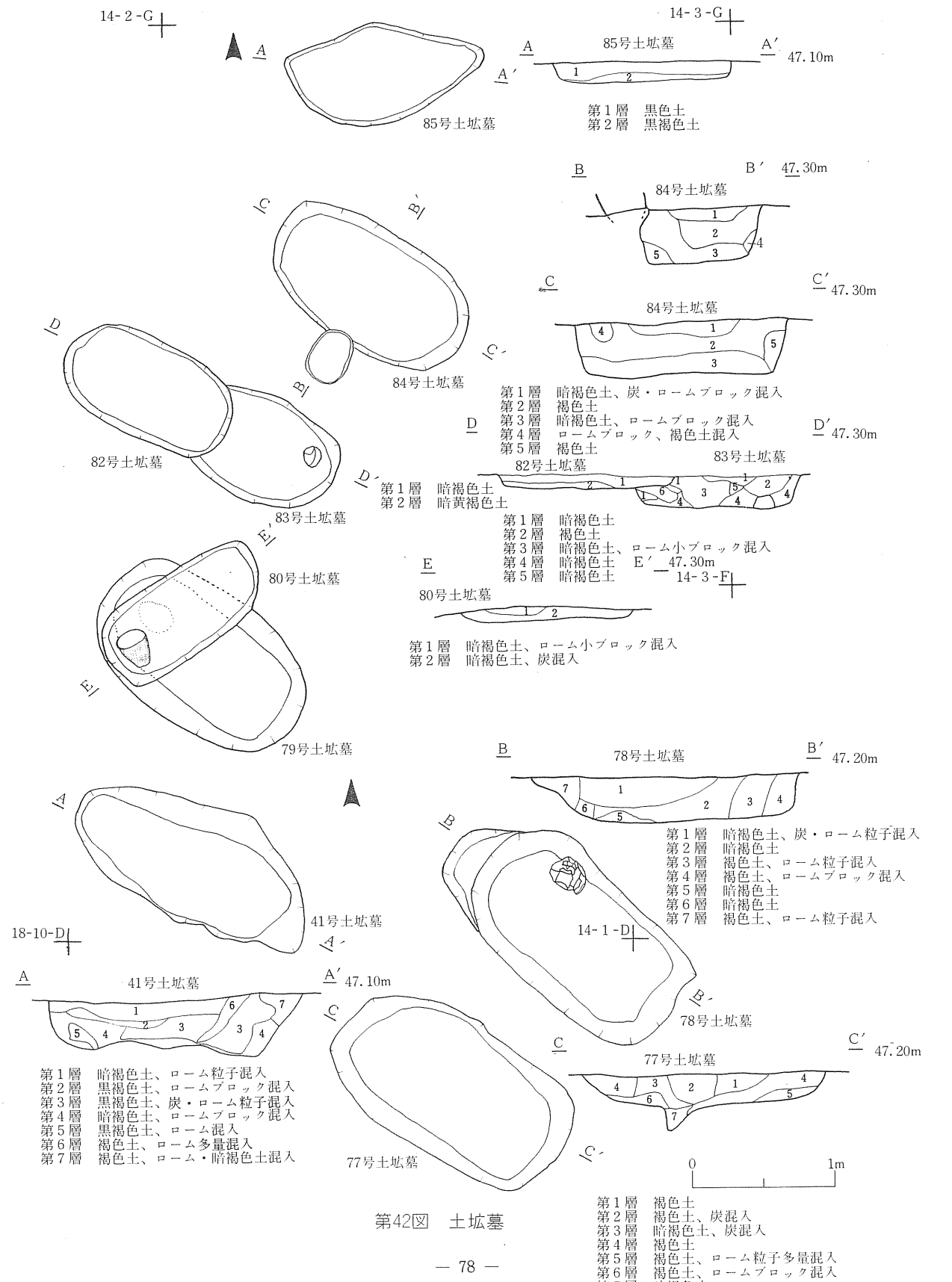
第39図　土坑墓


ベンガラ
31号土坑墓
ベンガラ
30号土坑墓
32号土坑墓
A
A′ 47.10m
31号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土
第3層　黒褐色土、ロームブロック混入
第4層　褐色土
第5層　暗褐色土
第6層　褐色土、ベンガラ混入
C
C′ 47.20m
32号土坑墓
第1層　褐色土、ローム混入
第2層　暗褐色土、炭混入
第3層　褐色土
第4層　褐色土、ロームブロック多量混入
B
B′ 47.10m
30号土坑墓
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土
第3層　黒褐色土、ロームブロック混入
第4層　黒褐色土、ベンガラ混入
29号土坑墓
27号土坑墓
28号土坑墓
D
D′ 47.30m
29号土坑墓
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、炭混入
第3層　褐色土、炭混入
第4層　褐色土、ロームブロック混入
E
E′ 47.30m
28号土坑墓
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、炭混入
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
第4層　黒褐色土
F
F′ 47.30m
27号土坑墓
第1層　暗褐色土、炭・ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、炭微量混入
第3層　暗黄褐色土
0
1m

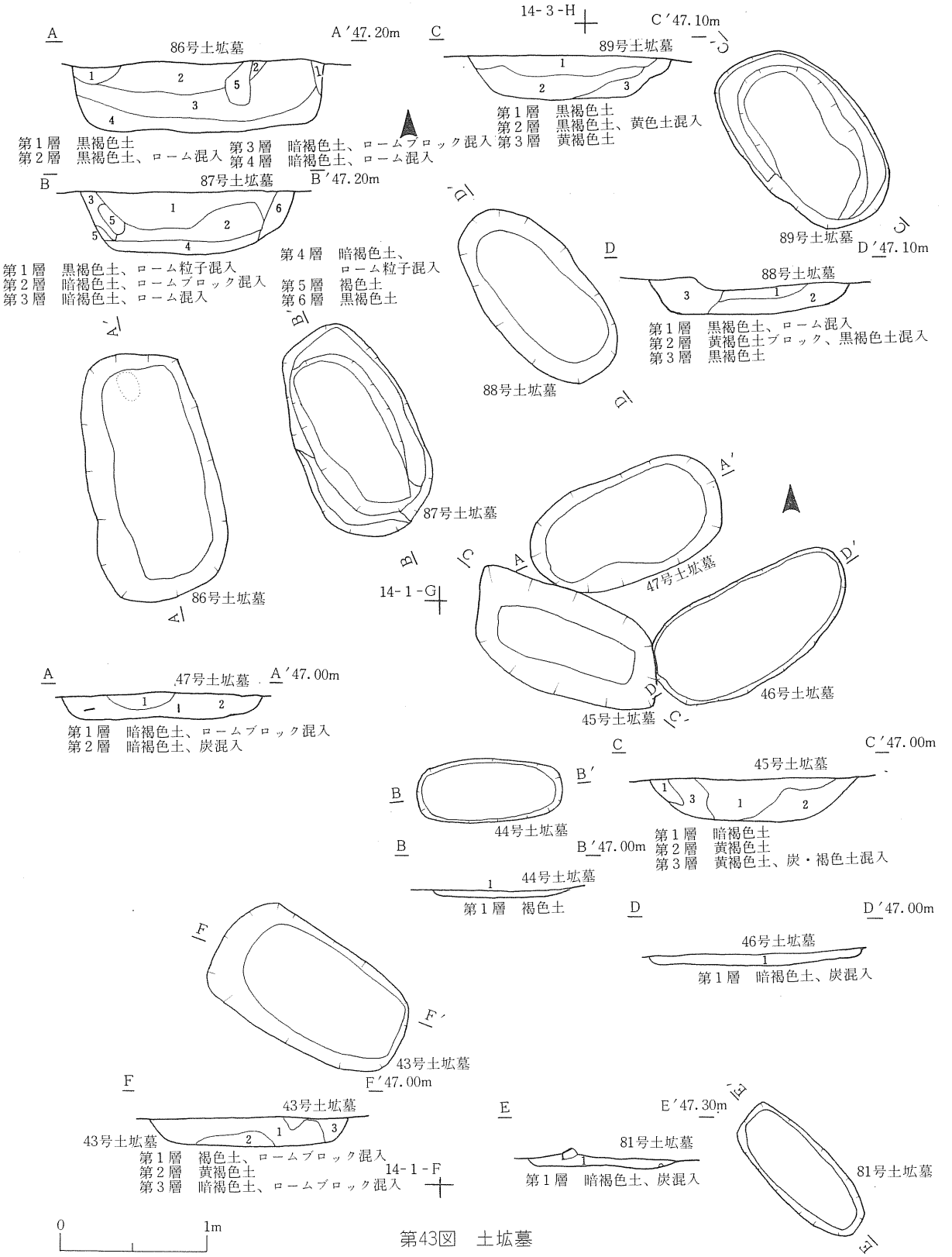
第40図　土坑墓


26号土坑墓
18-10-C
A
A′ 47.20m
18-10-F
26号土坑墓
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第3層　黄褐色土
第4層　褐色土
第5層　褐色土、ロームブロック多量混入
第6層　暗褐色土、炭微量混入
第7層　黄褐色土
42号土坑墓
ベンガラ
14-1-D
35号土坑墓
A′ 47.30m
35号土坑墓
第1層　暗黄褐色土
第2層　暗褐色土、炭混入
第3層　暗褐色土、炭・ローム混入
第4層　褐色土
第5層　褐色土、ローム混入
第6層　褐色土、粘質
第7層　暗褐色土
第8層　暗褐色土、ローム混入
第9層　褐色土
42号土坑墓
A′ 47.00m
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　暗褐色土、炭・黄褐色土混入
B
B′ 47.20m
37号土坑墓
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　黒褐色土、ロームブロック混入
第3層　黒褐色土
第4層　黒褐色土
第5層　黒褐色土、ローム混入
第6層　黒褐色土、ロームブロック混入
C
C′ 47.10m
36号土坑墓
第1層　黒褐色土、ローム粒子・炭混入
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土、粘質
D
D′
47.10m
40号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
E
E′ 47.10m
39号土坑墓
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、粘質
38号土坑墓
F
F′ 47.20m
38号土坑墓
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、炭混入
18-10-E
ベンガラ
0
1m

第41図　土坑墓

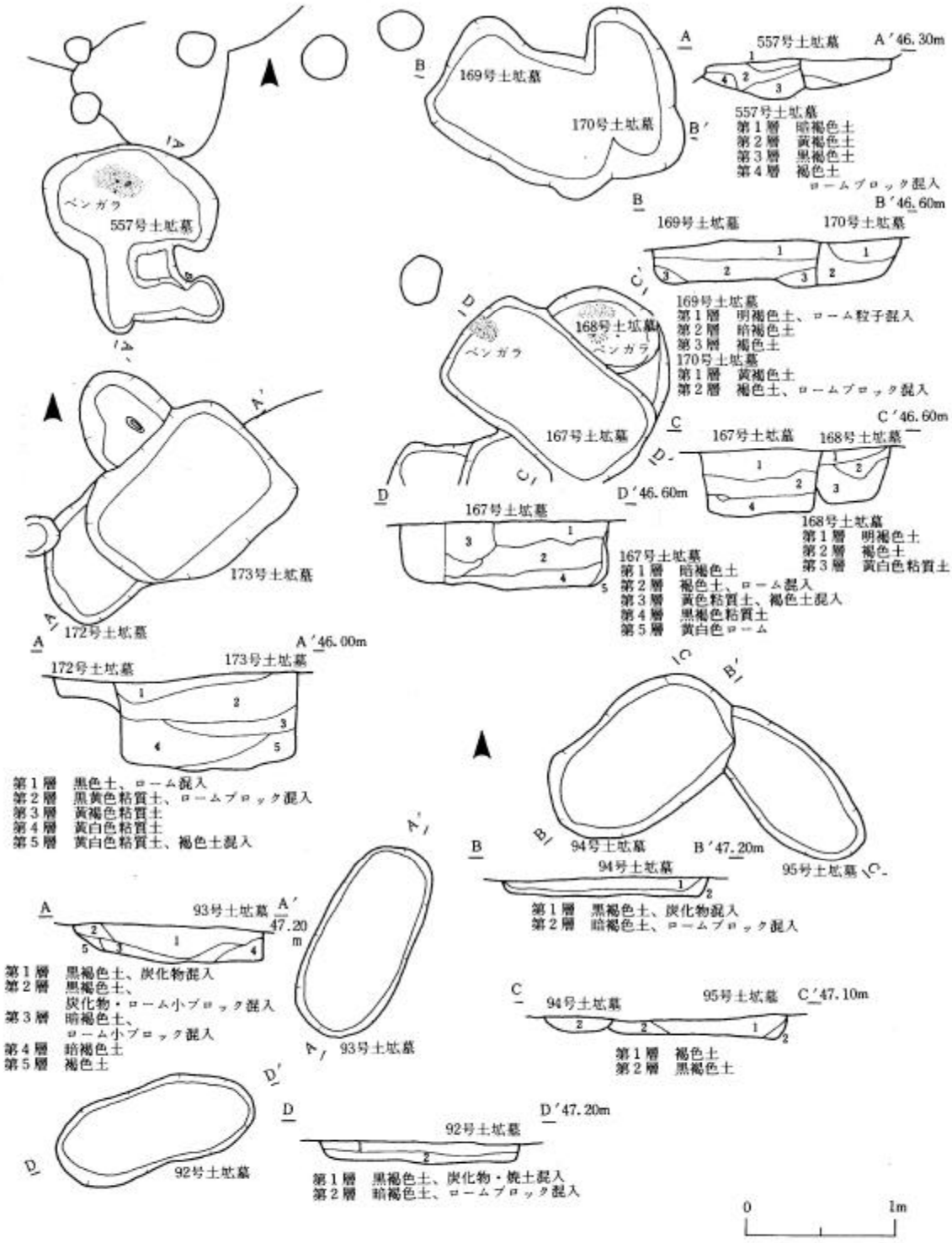

14-2-G
14-3-G
A
A′
85号土拡墓
47.10m
第1層　黒色土
第2層　黒褐色土
B
B′
47.30m
84号土拡墓
C
C′
47.30m
第1層　暗褐色土、炭・ロームブロック混入
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
第4層　ロームブロック、褐色土混入
第5層　褐色土
D
D′
47.30m
82号土拡墓
83号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　暗黄褐色土
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第4層　暗褐色土
第5層　暗褐色土
E
E′
47.30m
14-3-F
80号土拡墓
第1層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　暗褐色土、炭混入
79号土拡墓
78号土拡墓
47.20m
第1層　暗褐色土、炭・ローム粒子混入
第2層　暗褐色土
第3層　褐色土、ローム粒子混入
第4層　褐色土、ロームブロック混入
第5層　暗褐色土
第6層　暗褐色土
第7層　褐色土、ローム粒子混入
18-10-D
41号土拡墓
14-1-D
78号土拡墓
41号土拡墓
47.10m
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土、ロームブロック混入
第3層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第4層　暗褐色土、ロームブロック混入
第5層　黒褐色土、ローム混入
第6層　褐色土、ローム多量混入
第7層　褐色土、ローム・暗褐色土混入
77号土拡墓
77号土拡墓
47.20m
0
1m
第1層　褐色土
第2層　褐色土、炭混入
第3層　暗褐色土、炭混入
第4層　褐色土
第5層　褐色土、ローム粒子多量混入
第6層　褐色土、ロームブロック混入
第7層　暗褐色土

第42図　土拡墓

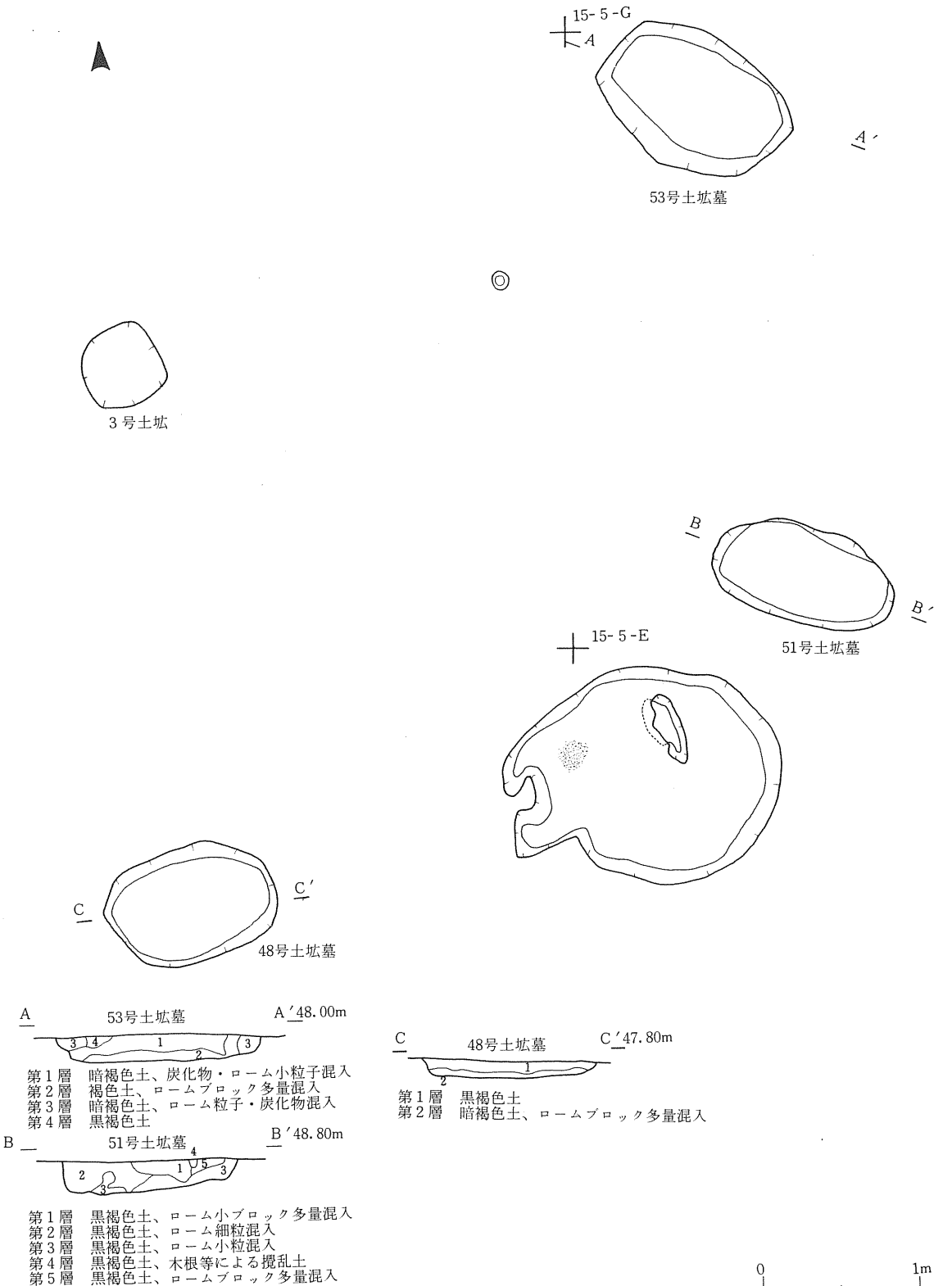


A
A′47.20m
86号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土、ローム混入
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
第4層　暗褐色土、ローム混入
B
B′47.20m
87号土坑墓
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土、ローム混入
第4層　暗褐色土、ローム粒子混入
第5層　褐色土
第6層　黒褐色土
C
C′47.10m
14-3-H
89号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土、黄色土混入
第3層　黄褐色土
D
D′47.10m
88号土坑墓
第1層　黒褐色土、ローム混入
第2層　黄褐色土ブロック、黒褐色土混入
第3層　黒褐色土
86号土坑墓
87号土坑墓
14-1-G
47号土坑墓
46号土坑墓
45号土坑墓
A
A′47.00m
47号土坑墓
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、炭混入
B
B′
44号土坑墓
B
B′47.00m
44号土坑墓
第1層　褐色土
C
C′47.00m
45号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、炭・褐色土混入
D
D′47.00m
46号土坑墓
第1層　暗褐色土、炭混入
F
F′
43号土坑墓
F
F′47.00m
43号土坑墓
43号土坑墓
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　黄褐色土
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
14-1-F
E
E′47.30m
81号土坑墓
第1層　暗褐色土、炭混入
81号土坑墓
0
1m

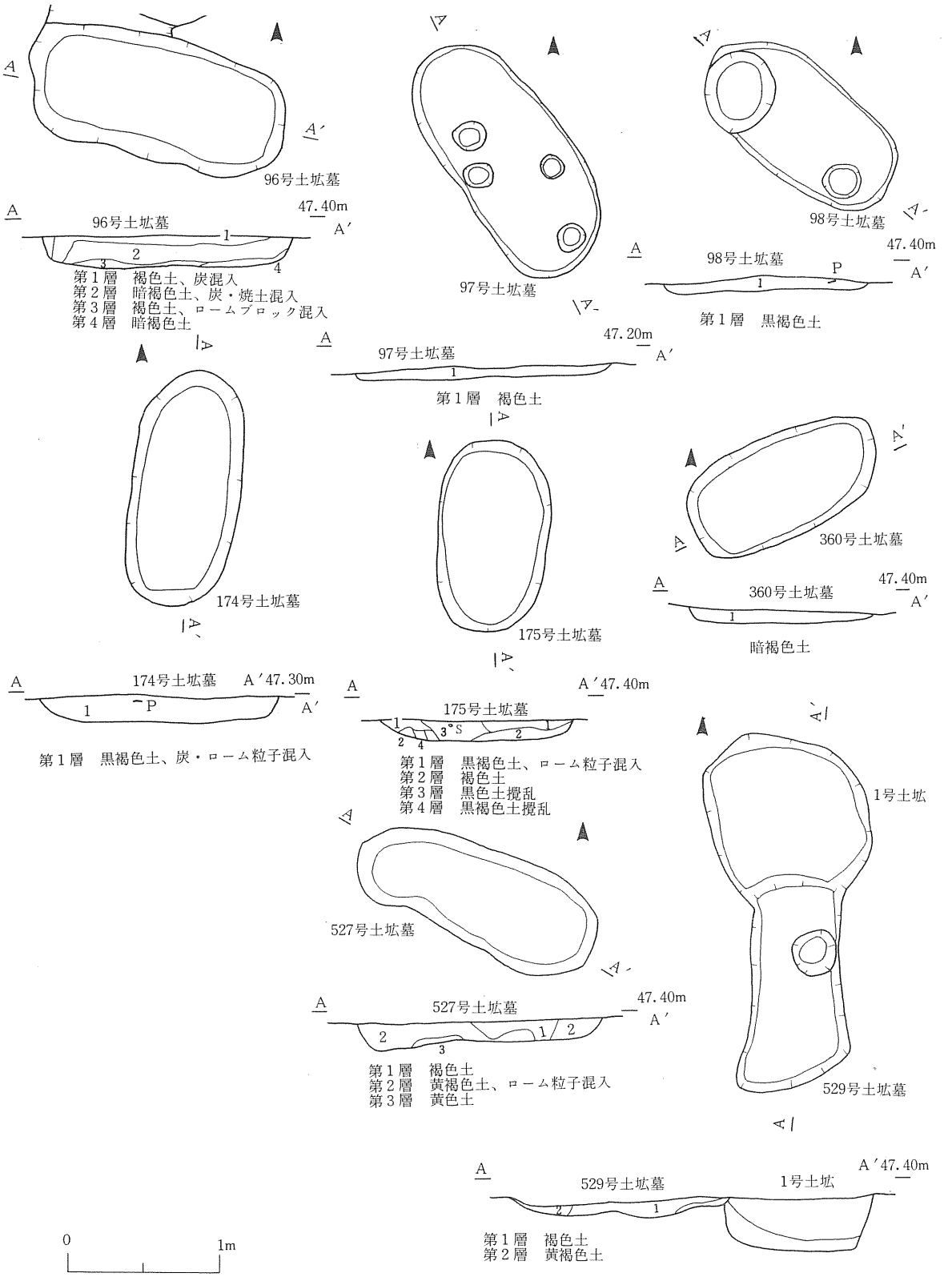
第43図　土坑墓


557号土壙墓
ベンガラ
169号土壙墓
170号土壙墓
557号土壙墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　褐色土
ロームブロック混入
A′46.30m
B′46.60m
169号土壙墓
第1層　明褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土
第3層　褐色土
170号土壙墓
第1層　黄褐色土
第2層　褐色土、ロームブロック混入
168号土壙墓
ベンガラ
167号土壙墓
C′46.60m
D′46.60m
168号土壙墓
第1層　明褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄白色粘質土
167号土壙墓
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土、ローム混入
第3層　黄色粘質土、褐色土混入
第4層　黒褐色粘質土
第5層　黄白色ローム
173号土壙墓
172号土壙墓
A′46.00m
172号土壙墓
173号土壙墓
第1層　黒色土、ローム混入
第2層　黒黄色粘質土、ロームブロック混入
第3層　黄褐色粘質土
第4層　黄白色粘質土
第5層　黄白色粘質土、褐色土混入
94号土壙墓
95号土壙墓
B′47.20m
94号土壙墓
第1層　黒褐色土、炭化物混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
93号土壙墓
A′47.20m
第1層　黒褐色土、炭化物混入
第2層　黒褐色土、炭化物・ローム小ブロック混入
第3層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第4層　暗褐色土
第5層　褐色土
93号土壙墓
94号土壙墓
95号土壙墓
C′47.10m
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土
92号土壙墓
D′47.20m
92号土壙墓
第1層　黒褐色土、炭化物・焼土混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
0
1m

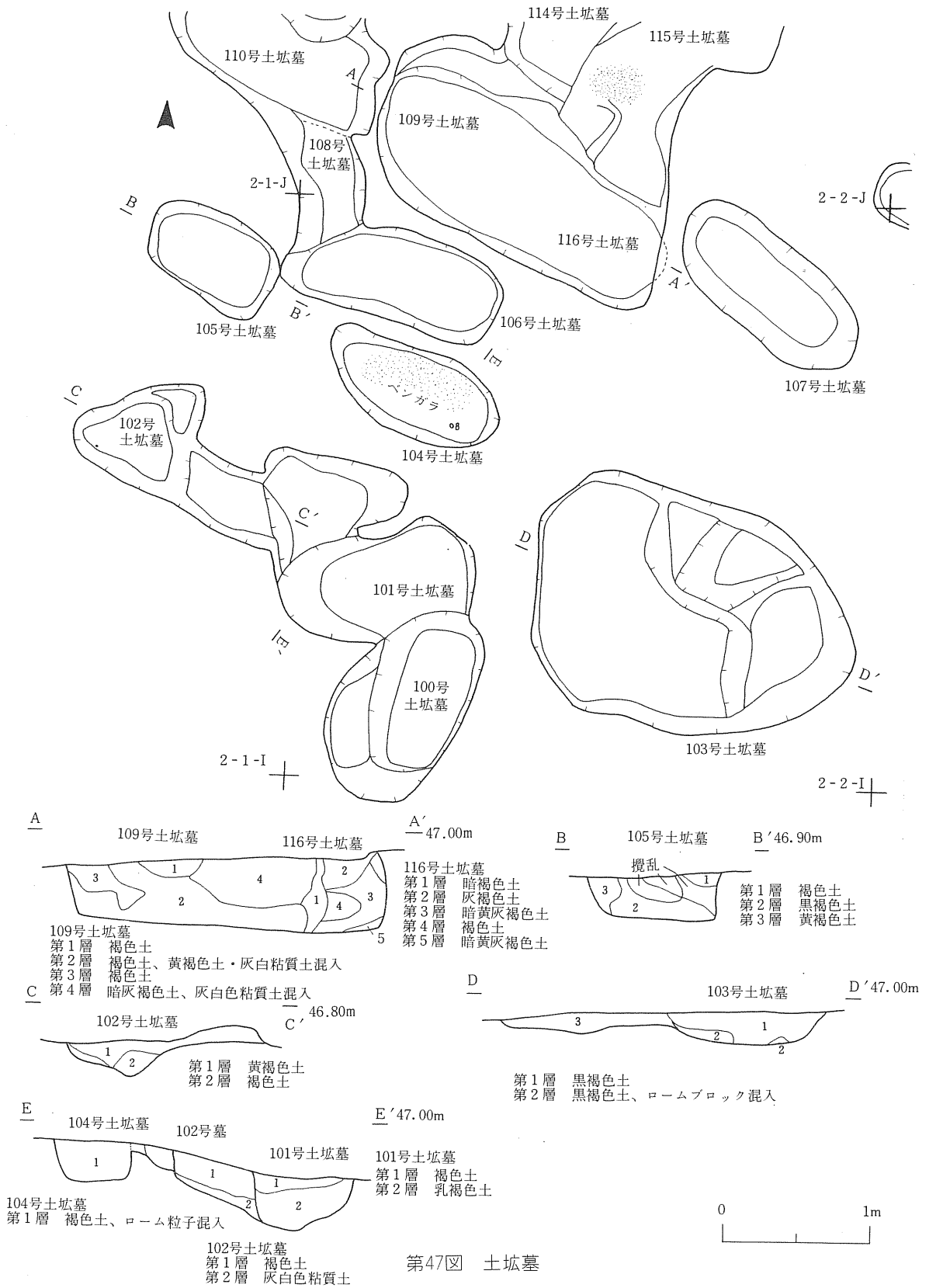
第44図　土壙墓


15- 5 -G
A
A′
53号土坑墓
3 号土坑
B
B′
51号土坑墓
15- 5 -E
C
C′
48号土坑墓
A
53号土坑墓
A′48.00m
第１層　暗褐色土、炭化物・ローム小粒子混入
第２層　褐色土、ロームブロック多量混入
第３層　暗褐色土、ローム粒子・炭化物混入
第４層　黒褐色土
B
51号土坑墓
B′48.80m
第１層　黒褐色土、ローム小ブロック多量混入
第２層　黒褐色土、ローム細粒混入
第３層　黒褐色土、ローム小粒混入
第４層　黒褐色土、木根等による攪乱土
第５層　黒褐色土、ロームブロック多量混入
C
48号土坑墓
C′47.80m
第１層　黒褐色土
第２層　暗褐色土、ロームブロック多量混入
0
1m

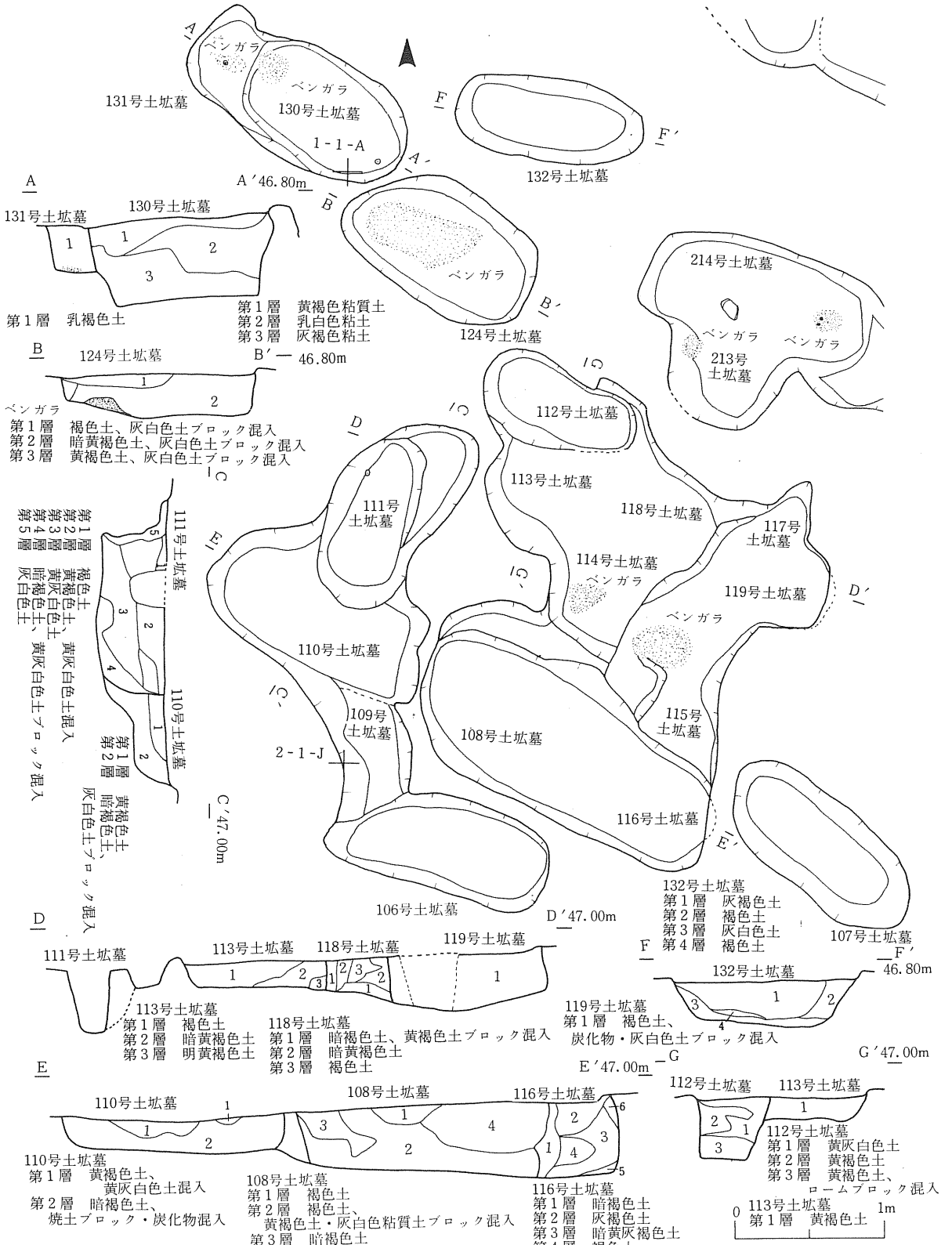
第45図　土坑墓


96号土坑墓
96号土坑墓
47.40m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、炭・焼土混入
第3層　褐色土、ロームブロック混入
第4層　暗褐色土
97号土坑墓
97号土坑墓
47.20m
第1層　褐色土
98号土坑墓
98号土坑墓
47.40m
第1層　黒褐色土
174号土坑墓
174号土坑墓
A′47.30m
第1層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
175号土坑墓
175号土坑墓
A′47.40m
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
第3層　黒色土攪乱
第4層　黒褐色土攪乱
360号土坑墓
360号土坑墓
47.40m
暗褐色土
527号土坑墓
527号土坑墓
47.40m
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土、ローム粒子混入
第3層　黄色土
1号土坑
529号土坑墓
529号土坑墓
1号土坑
A′47.40m
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
0
1m

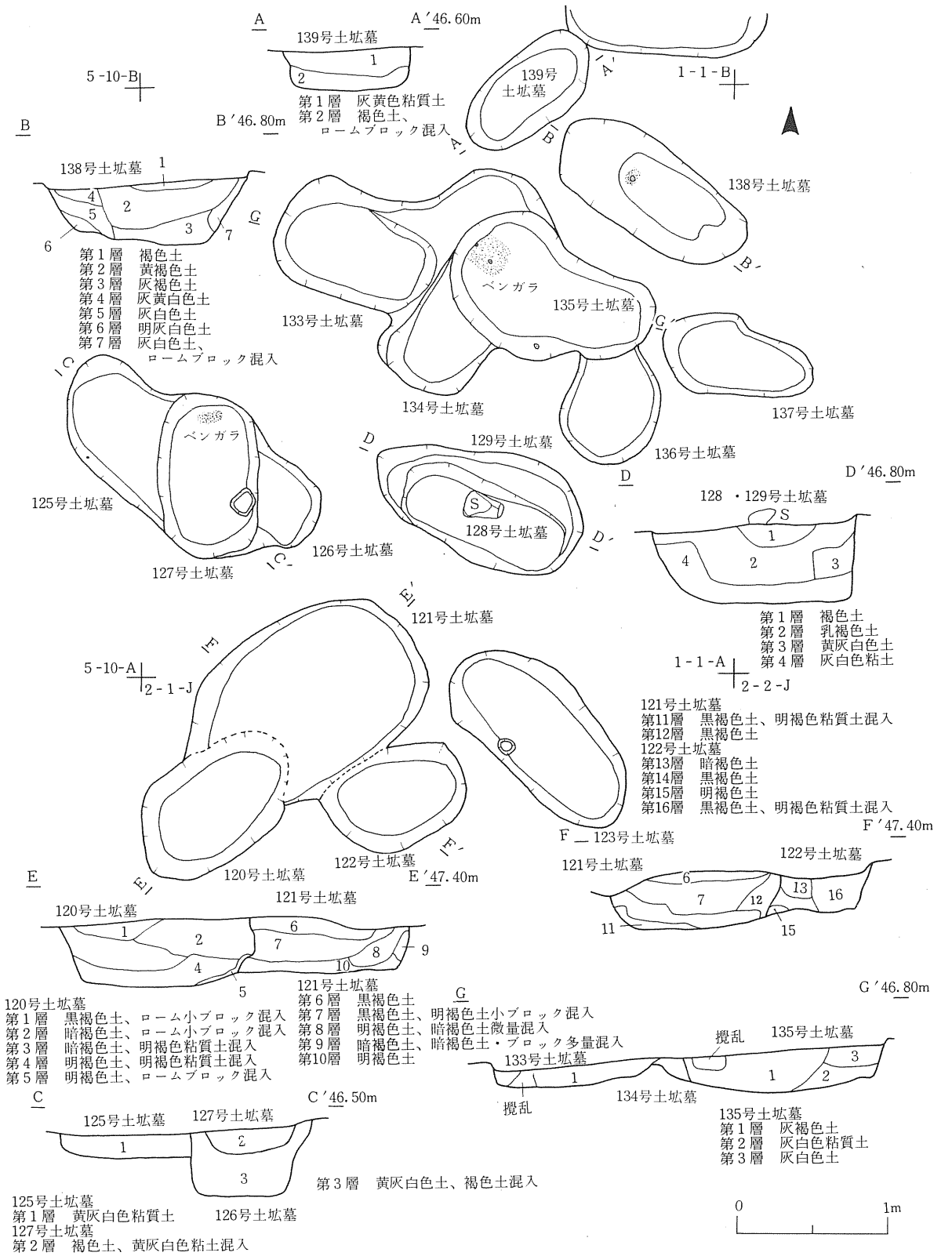
第46図　土坑墓


114号土坑墓
115号土坑墓
110号土坑墓
109号土坑墓
108号
土坑墓
2-1-J
2-2-J
116号土坑墓
105号土坑墓
106号土坑墓
107号土坑墓
ベンガラ
104号土坑墓
102号
土坑墓
101号土坑墓
100号
土坑墓
103号土坑墓
2-1-I
2-2-I
109号土坑墓
116号土坑墓
47.00m
116号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　灰褐色土
第3層　暗黄灰褐色土
第4層　褐色土
第5層　暗黄灰褐色土
109号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　褐色土、黄褐色土・灰白粘質土混入
第3層　褐色土
第4層　暗灰褐色土、灰白色粘質土混入
105号土坑墓
46.90m
撹乱
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土
第3層　黄褐色土
102号土坑墓
46.80m
第1層　黄褐色土
第2層　褐色土
103号土坑墓
47.00m
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土、ロームブロック混入
104号土坑墓
102号墓
101号土坑墓
47.00m
101号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　乳褐色土
104号土坑墓
第1層　褐色土、ローム粒子混入
102号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　灰白色粘質土
0
1m

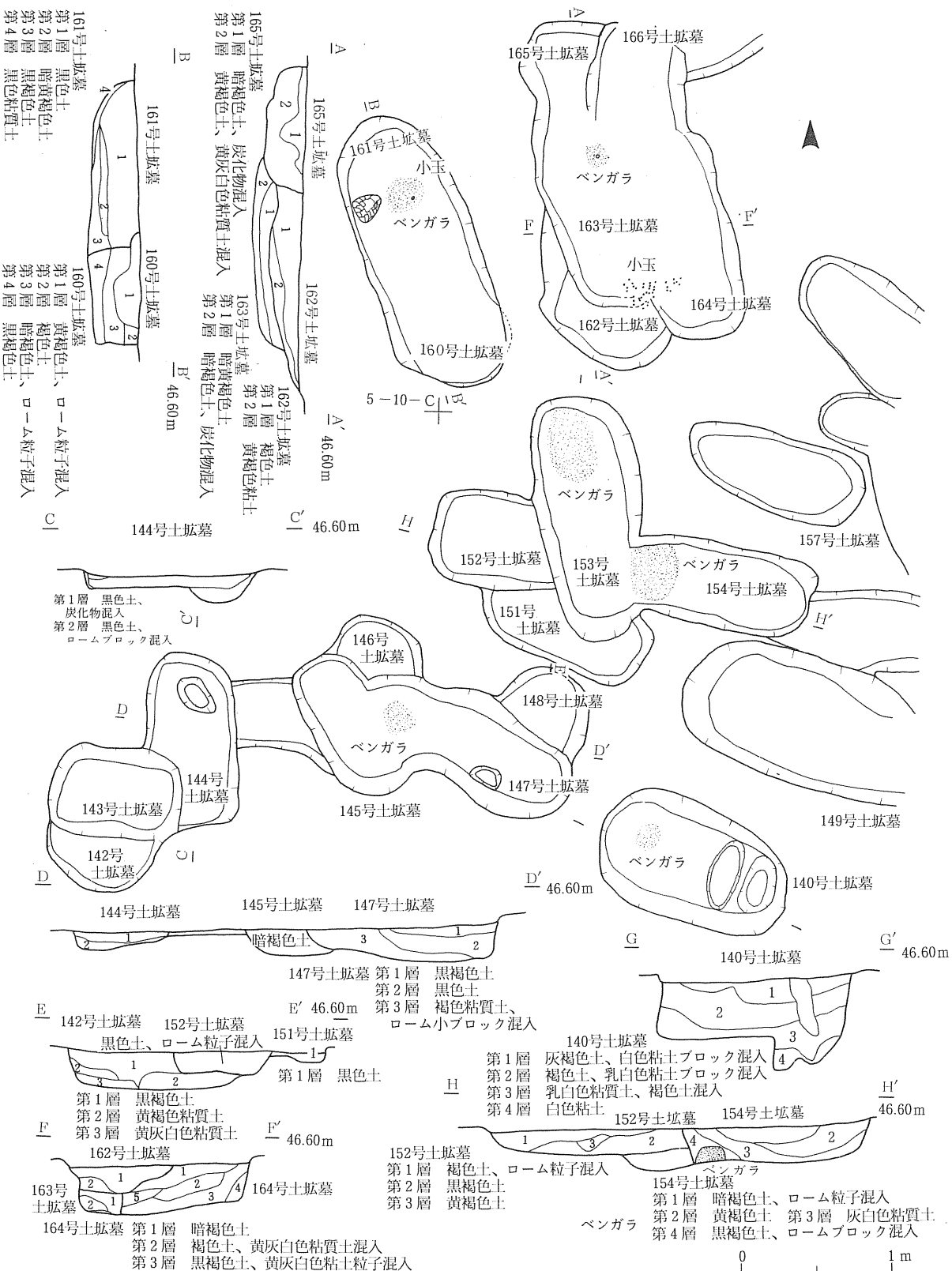
第47図　土坑墓


131号土坑墓
130号土坑墓
ベンガラ
1-1-A
A′46.80m
132号土坑墓
124号土坑墓
214号土坑墓
213号土坑墓
112号土坑墓
113号土坑墓
118号土坑墓
117号土坑墓
114号土坑墓
119号土坑墓
111号土坑墓
110号土坑墓
109号土坑墓
108号土坑墓
115号土坑墓
116号土坑墓
107号土坑墓
106号土坑墓
2-1-J
D′47.00m
C′47.00m
第1層　乳褐色土
第1層　黄褐色粘質土
第2層　乳白色粘土
第3層　灰褐色粘土
B′46.80m
第1層　褐色土、灰白色土ブロック混入
第2層　暗黄褐色土、灰白色土ブロック混入
第3層　黄褐色土、灰白色土ブロック混入
111号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土、
第3層　黄灰白色土
第4層　暗褐色土、
第5層　灰白色土
黄灰白色土混入
黄灰白色土ブロック混入
110号土坑墓
第1層　黄褐色土
第2層　暗褐色土、
灰白色土ブロック混入
132号土坑墓
第1層　灰褐色土
第2層　褐色土
第3層　灰白色土
第4層　褐色土
F′46.80m
113号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　暗黄褐色土
第3層　明黄褐色土
118号土坑墓
第1層　暗褐色土、黄褐色土ブロック混入
第2層　暗黄褐色土
第3層　褐色土
119号土坑墓
第1層　褐色土、
炭化物・灰白色土ブロック混入
E′47.00m
G′47.00m
110号土坑墓
第1層　黄褐色土、
黄灰白色土混入
第2層　暗褐色土、
焼土ブロック・炭化物混入
108号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　褐色土、
黄褐色土・灰白色粘質土ブロック混入
第3層　暗褐色土
第4層　暗灰褐色土、灰白色粘土ブロック混入
116号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　灰褐色土
第3層　暗黄灰褐色土
第4層　褐色土
第5層　暗黄灰褐色土、ロームブロック混入
第6層　黄褐色土
112号土坑墓
第1層　黄灰白色土
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、
ロームブロック混入
113号土坑墓
第1層　黄褐色土
0　1m

第48図　土坑墓


A
A′46.60m
139号土坑墓
1
2
第1層　灰黄色粘質土
第2層　褐色土、
ロームブロック混入
5-10-B
1-1-B
139号
土坑墓
A′
A
B
B′46.80m
B
138号土坑墓
138号土坑墓
1
4
2
5
3
7
6
G
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　灰褐色土
第4層　灰黄白色土
第5層　灰白色土
第6層　明灰白色土
第7層　灰白色土、
ロームブロック混入
ベンガラ
135号土坑墓
133号土坑墓
G′
137号土坑墓
134号土坑墓
136号土坑墓
C
ベンガラ
125号土坑墓
D
129号土坑墓
D
D′46.80m
128・129号土坑墓
S
S
128号土坑墓
D′
1
4
2
3
126号土坑墓
127号土坑墓
C′
第1層　褐色土
第2層　乳褐色土
第3層　黄灰白色土
第4層　灰白色粘土
121号土坑墓
E′
E
5-10-A
2-1-J
1-1-A
2-2-J
121号土坑墓
第11層　黒褐色土、明褐色粘質土混入
第12層　黒褐色土
122号土坑墓
第13層　暗褐色土
第14層　黒褐色土
第15層　明褐色土
第16層　黒褐色土、明褐色粘質土混入
F′47.40m
F
123号土坑墓
122号土坑墓
E′47.40m
E
120号土坑墓
E′
121号土坑墓
122号土坑墓
121号土坑墓
6
7
12
13
16
11
15
120号土坑墓
1
2
6
7
8
9
4
10
5
121号土坑墓
第6層　黒褐色土
第7層　黒褐色土、明褐色土小ブロック混入
第8層　明褐色土、暗褐色土微量混入
第9層　暗褐色土、暗褐色土・ブロック多量混入
第10層　明褐色土
G
G′46.80m
120号土坑墓
第1層　黒褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　暗褐色土、明褐色粘質土混入
第4層　明褐色土、明褐色粘質土混入
第5層　明褐色土、ロームブロック混入
攪乱
135号土坑墓
3
133号土坑墓
1
1
2
攪乱
134号土坑墓
135号土坑墓
第1層　灰褐色土
第2層　灰白色粘質土
第3層　灰白色土
C
C′46.50m
125号土坑墓
127号土坑墓
1
2
3
第3層　黄灰白色土、褐色土混入
125号土坑墓
第1層　黄灰白色粘質土
126号土坑墓
127号土坑墓
第2層　褐色土、黄灰白色粘土混入
0
1m

第49図　土坑墓


166号土拡墓
165号土拡墓
ベンガラ
163号土拡墓
小玉
164号土拡墓
162号土拡墓
161号土拡墓
小玉
ベンガラ
160号土拡墓
5－10－C
161号土拡墓
第1層　黒色土
第2層　暗黄褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　黒色粘質土
160号土拡墓
第1層　黄褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土、ローム粒子混入
第4層　黒褐色土
165号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭化物混入
第2層　黄褐色土、黄灰白色粘質土混入
163号土拡墓
第1層　暗黄褐色土
第2層　暗褐色土、炭化物混入
162号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色粘土
46.60m
144号土拡墓
第1層　黒色土、炭化物混入
第2層　黒色土、ロームブロック混入
ベンガラ
152号土拡墓
153号土拡墓
154号土拡墓
151号土拡墓
157号土拡墓
146号土拡墓
148号土拡墓
147号土拡墓
145号土拡墓
143号土拡墓
144号土拡墓
142号土拡墓
149号土拡墓
140号土拡墓
46.60m
144号土拡墓
145号土拡墓
147号土拡墓
暗褐色土
147号土拡墓　第1層　黒褐色土
第2層　黒色土
第3層　褐色粘質土、ローム小ブロック混入
46.60m
142号土拡墓
152号土拡墓
黒色土、ローム粒子混入
151号土拡墓
第1層　黒色土
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色粘質土
第3層　黄灰白色粘質土
46.60m
162号土拡墓
163号土拡墓
164号土拡墓
164号土拡墓　第1層　暗褐色土
第2層　褐色土、黄灰白色粘質土混入
第3層　黒褐色土、黄灰白色粘土粒子混入
第4層　黒褐色土、黄褐色土粒子混入
第5層　黄灰白色粘質土
140号土拡墓
第1層　灰褐色土、白色粘土ブロック混入
第2層　褐色土、乳白色粘土ブロック混入
第3層　乳白色粘質土、褐色土混入
第4層　白色粘土
46.60m
152号土拡墓
154号土拡墓
152号土拡墓
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土
第3層　黄褐色土
ベンガラ
154号土拡墓
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土　第3層　灰白色粘質土
第4層　黒褐色土、ロームブロック混入
ベンガラ
0
1 m

第50図　土拡墓

212号土坑墓出土遺物（第87図）

石製品：87は長さ4.1cmの勾玉である。両面から穿孔されている。

215号土坑墓出土遺物（第87図）

石製品：88・89は径９mm前後の小玉である。

216号土坑墓出土遺物（第87図）

石製品：90は径８mmの小玉である。

217号土坑墓出土遺物（第87図）

石製品：91は長さ1.8cmの勾玉である。片両からの穿孔である。

227号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：51は鉢形、52は浅鉢形土器片である。沈線文が主体である。

231号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：53は鉢形土器片である。山形口縁をなし、口縁部は無文帯である。体部には平行沈線文がまわる。

232号土坑墓出土遺物（第94図）

石器：20は基部が欠損する有茎の石鏃である。

237号土坑墓出土遺物（第88・89図）

石製品：92～126は９mm～1.4cmの小玉である。

241号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：127～129は８mm～１cmの小玉である。

247号土坑墓出土遺物（第94図）

石器：21は全長10.3cmの石槍である。

254号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：130は長さ2.4cmの勾玉である。両面から穿孔されている。

277号土坑墓出土遺物（第80図）

土器：６・７は深鉢形土器である。６は２個一対の突起が波状にめぐる。口縁部は平行沈線文がまわり、沈線間に連続刻目文が施される。７は小波状口縁をなし、口縁部に４条の平行沈線がまわる。

280号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：131は長さ1.6cmの小玉である。

285号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：54～58は浅鉢形土器片である。平行沈線文が主体をなし、56・57は体部に雲形文が施される。

289号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：59は鉢形土器片である。口縁部に２条の平行沈線文がまわる。

300号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：長さ2.7cmの勾玉である。両面から穿孔されている。

301号土坑暮出土遺物（第89図）

石製品：133は径1.7cmの小玉である。

303号土坑出土遺物（第89図）

石製品：134は径７mmの小玉である。

316号土坑墓出土遺物（第94図）

石器：22は長さ7.8cmの磨製石斧である。

318号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：135は径９mmの小玉である。

322号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：137は長さ2.6cmの玉である。

326号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：60は鉢形、61は浅鉢形土器片である。61は沈線により文様が施されている。

327号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：138～140は径８mm前後の小玉である。

328号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：62は深鉢形土器片である。単節斜縄文である。

329号土坑墓出土遺物（第95図）

石器：37は磨石である。

330号土坑墓出土遺物（第89図）

石製品：141は長さ２cmの勾玉である。

331号土坑墓出土遺物（第83図）

土器：63は壺形、64・65は鉢形土器片である。63は頸部、64は口縁部に平行沈線がまわる。65は口縁部に刺突文が施され、体部は沈線によって文様が施されてる。

332号土坑墓出土遺物（第94図）

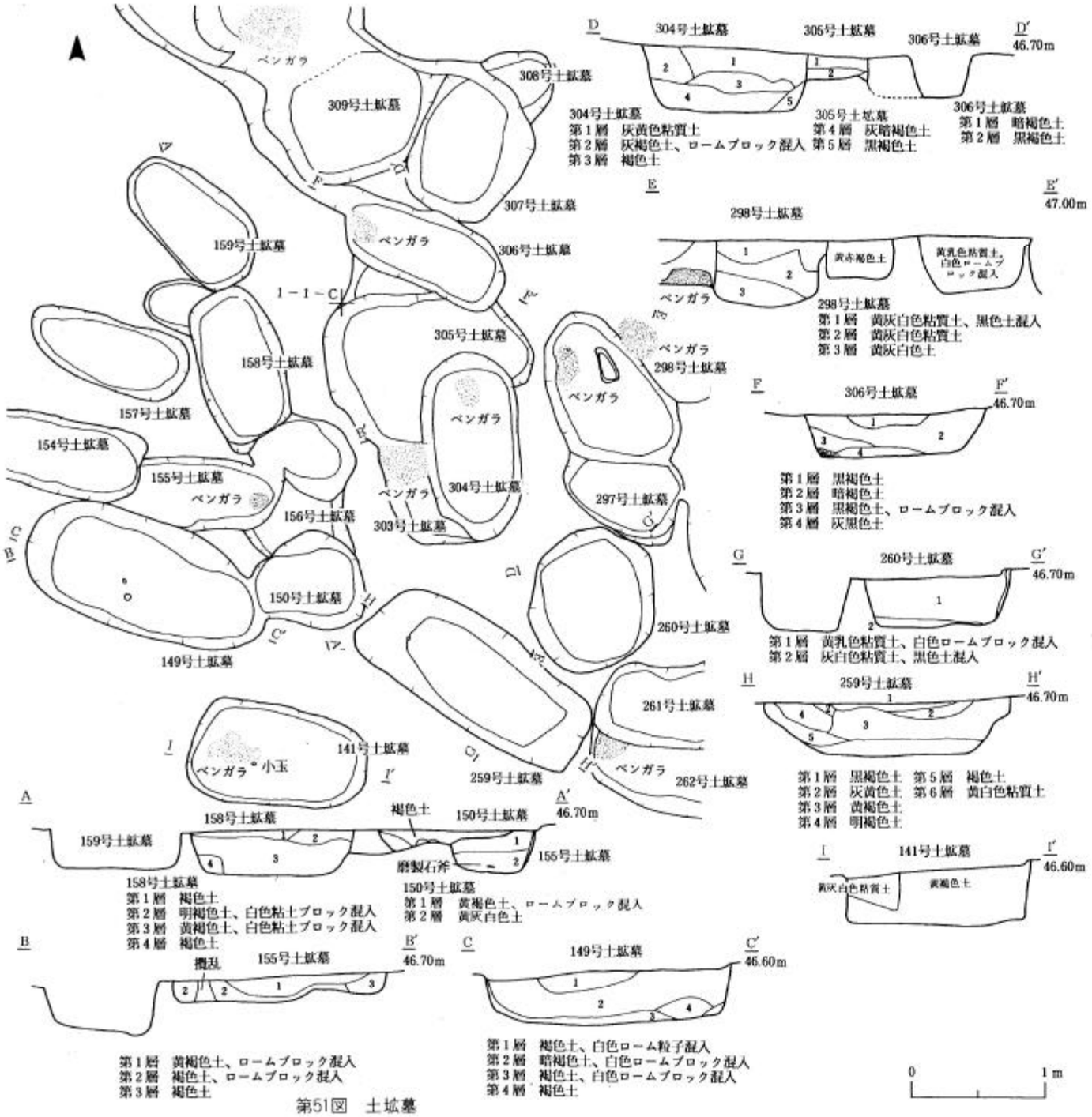
石器：26は縦型の石匙である。ツマミ部の一部にアスファルトが付着している。

334号土坑墓出土遺物（第83図）

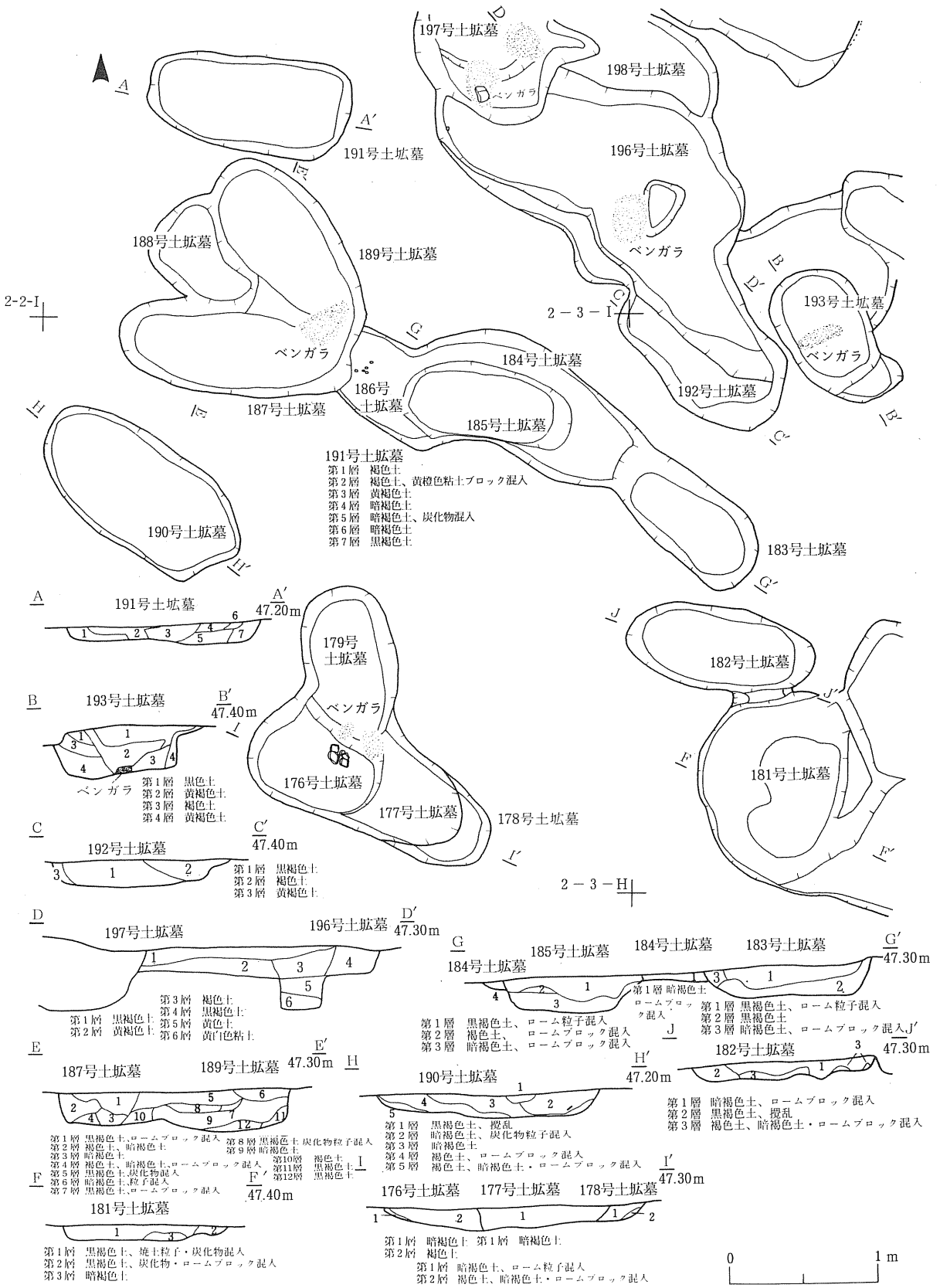
土器：66は鉢形土器片である。小波状口線をなし、口縁部と体部に２条の平行沈線がまわり、その間に矢羽根状の沈線が施される。

344・345号土坑墓出土遺物（図版39）

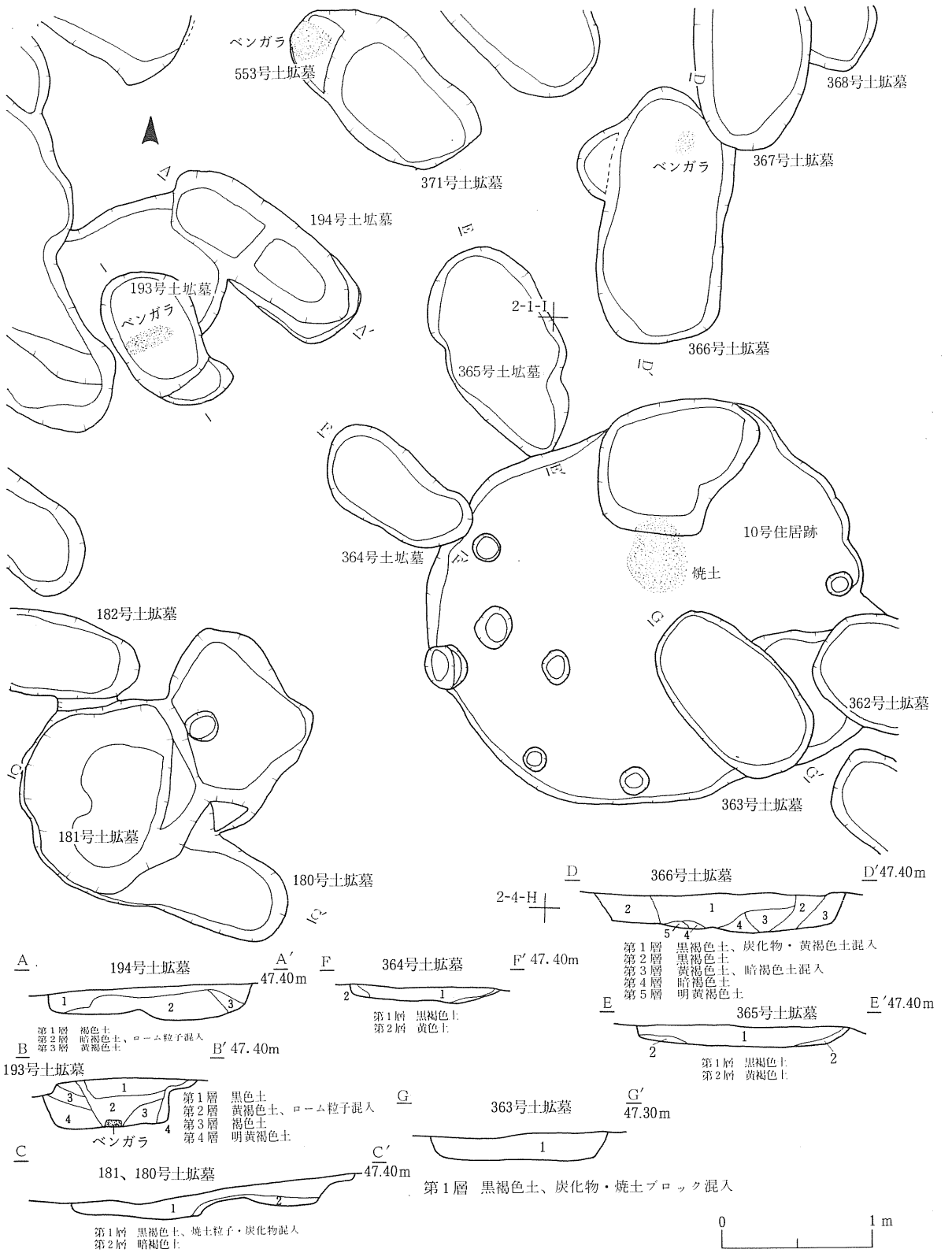
木製品：木製の楕円形を呈する腕輪である。全面に赤色顔料が塗布されている。


ベンガラ
309号土拡墓
308号土拡墓
307号土拡墓
306号土拡墓
305号土拡墓
304号土拡墓
303号土拡墓
298号土拡墓
297号土拡墓
260号土拡墓
261号土拡墓
262号土拡墓
259号土拡墓
159号土拡墓
158号土拡墓
157号土拡墓
154号土拡墓
155号土拡墓
156号土拡墓
150号土拡墓
149号土拡墓
141号土拡墓
小玉
1－1－C
304号土拡墓
第1層　灰黄色粘質土
第2層　灰褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土
305号土拡墓
第4層　灰暗褐色土
第5層　黒褐色土
306号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　黒褐色土
298号土拡墓
第1層　黄灰白色粘質土、黒色土混入
第2層　黄灰白色粘質土
第3層　黄灰白色土
306号土拡墓
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　黒褐色土、ロームブロック混入
第4層　灰黒色土
260号土拡墓
第1層　黄乳色粘質土、白色ロームブロック混入
第2層　灰白色粘質土、黒色土混入
259号土拡墓
第1層　黒褐色土
第2層　灰黄色土
第3層　黄褐色土
第4層　明褐色土
第5層　褐色土
第6層　黄白色粘質土
141号土拡墓
158号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　明褐色土、白色粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土、白色粘土ブロック混入
第4層　褐色土
150号土拡墓
第1層　黄褐色土、ロームブロック混入
第2層　黄灰白色土
155号土拡墓
第1層　黄褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土
149号土拡墓
第1層　褐色土、白色ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、白色ロームブロック混入
第3層　褐色土、白色ロームブロック混入
第4層　褐色土
0
1 m

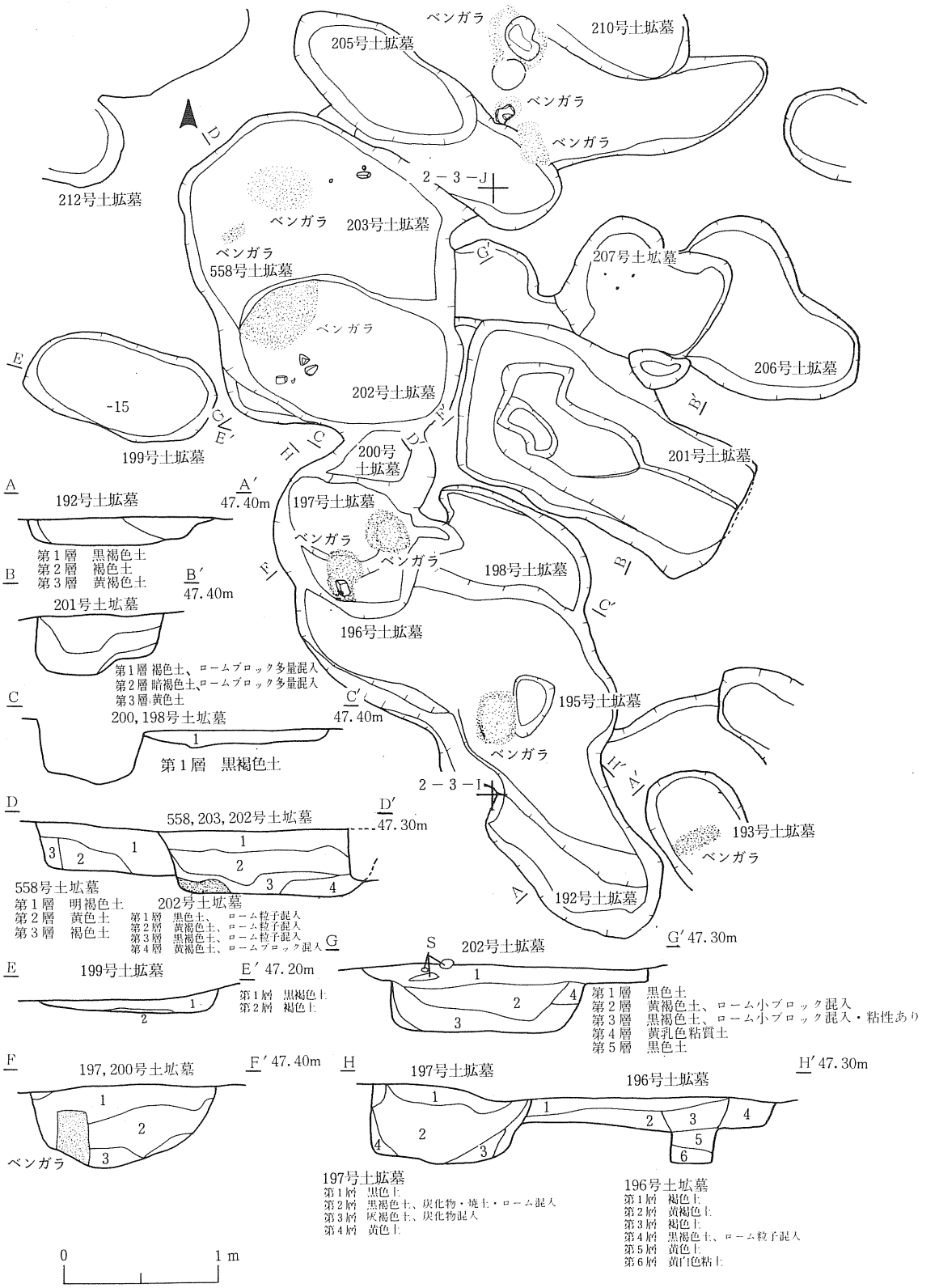
第51図　土拡墓


197号土拡墓
198号土拡墓
ベンガラ
191号土拡墓
196号土拡墓
188号土拡墓
189号土拡墓
ベンガラ
193号土拡墓
ベンガラ
2-2-I
2－3－I
ベンガラ
184号土拡墓
186号土拡墓
192号土拡墓
187号土拡墓
185号土拡墓
191号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　褐色土、黄橙色粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土
第4層　暗褐色土
第5層　暗褐色土、炭化物混入
第6層　暗褐色土
第7層　黒褐色土
190号土拡墓
183号土拡墓
191号土拡墓
47.20m
179号土拡墓
182号土拡墓
193号土拡墓
47.40m
ベンガラ
第1層　黒色土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色土
第4層　黄褐色土
176号土拡墓
181号土拡墓
177号土拡墓
178号土拡墓
192号土拡墓
47.40m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
2－3－H
197号土拡墓
196号土拡墓
47.30m
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色土
第4層　黒褐色土
第5層　黄色土
第6層　黄白色粘土
185号土拡墓
184号土拡墓
183号土拡墓
47.30m
184号土拡墓
第1層　暗褐色土
ロームブロック混入
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
182号土拡墓
47.30m
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　黒褐色土、攪乱
第3層　褐色土、暗褐色土・ロームブロック混入
187号土拡墓
189号土拡墓
47.30m
第1層　黒褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、暗褐色土
第3層　暗褐色土
第4層　褐色土、暗褐色土、ロームブロック混入
第5層　黒褐色土、炭化物混入
第6層　暗褐色土、粒子混入
第7層　黒褐色土、ロームブロック混入
第8層　黒褐色土、炭化物粒子混入
第9層　暗褐色土
第10層　褐色土
第11層　黒褐色土
第12層　黒褐色土
47.40m
181号土拡墓
第1層　黒褐色土、焼土粒子・炭化物混入
第2層　黒褐色土、炭化物・ロームブロック混入
第3層　暗褐色土
190号土拡墓
47.20m
第1層　黒褐色土、攪乱
第2層　暗褐色土、炭化物粒子混入
第3層　暗褐色土
第4層　褐色土、ロームブロック混入
第5層　褐色土、暗褐色土・ロームブロック混入
47.30m
176号土拡墓
177号土拡墓
178号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
第1層　暗褐色土
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土、暗褐色土・ロームブロック混入
0
1 m

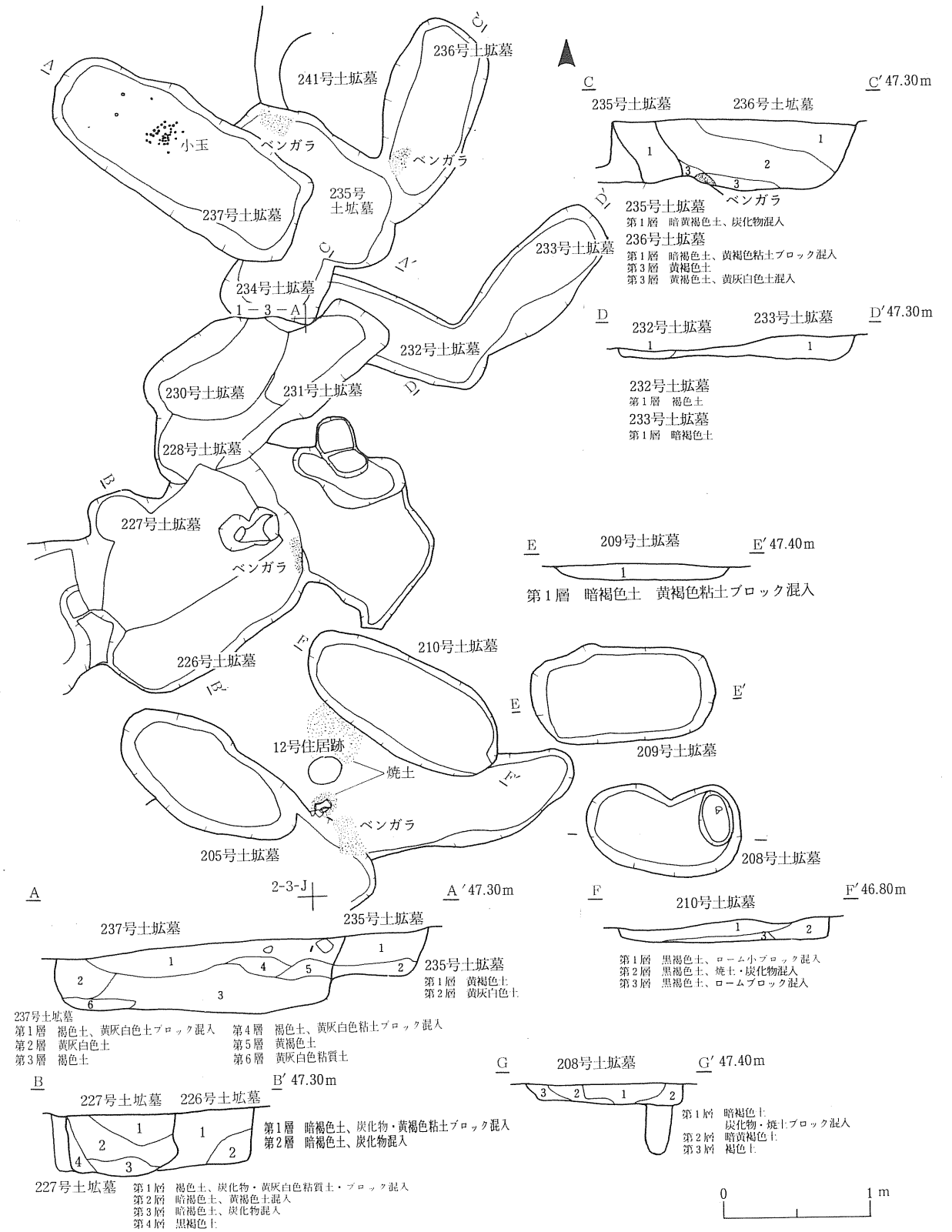
第52図　土拡墓


ベンガラ
553号土拡墓
368号土拡墓
367号土拡墓
ベンガラ
371号土拡墓
194号土拡墓
193号土拡墓
ベンガラ
2-1-I
365号土拡墓
366号土拡墓
364号土拡墓
10号住居跡
焼土
182号土拡墓
362号土拡墓
363号土拡墓
181号土拡墓
180号土拡墓
2-4-H
D
366号土拡墓
D′47.40m
第1層　黒褐色土、炭化物・黄褐色土混入
第2層　黒褐色土
第3層　黄褐色土、暗褐色土混入
第4層　暗褐色土
第5層　明黄褐色土
A
194号土拡墓
A′
47.40m
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、ローム粒子混入
第3層　黄褐色土
B′47.40m
F
364号土拡墓
F′47.40m
第1層　黒褐色土
第2層　黄色土
E
365号土拡墓
E′47.40m
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土
193号土拡墓
第1層　黒色土
第2層　黄褐色土、ローム粒子混入
第3層　褐色土
第4層　明黄褐色土
ベンガラ
G
363号土拡墓
G′
47.30m
第1層　黒褐色土、炭化物・焼土ブロック混入
C
181、180号土拡墓
C′
47.40m
第1層　黒褐色土、焼土粒子・炭化物混入
第2層　暗褐色土
0
1m

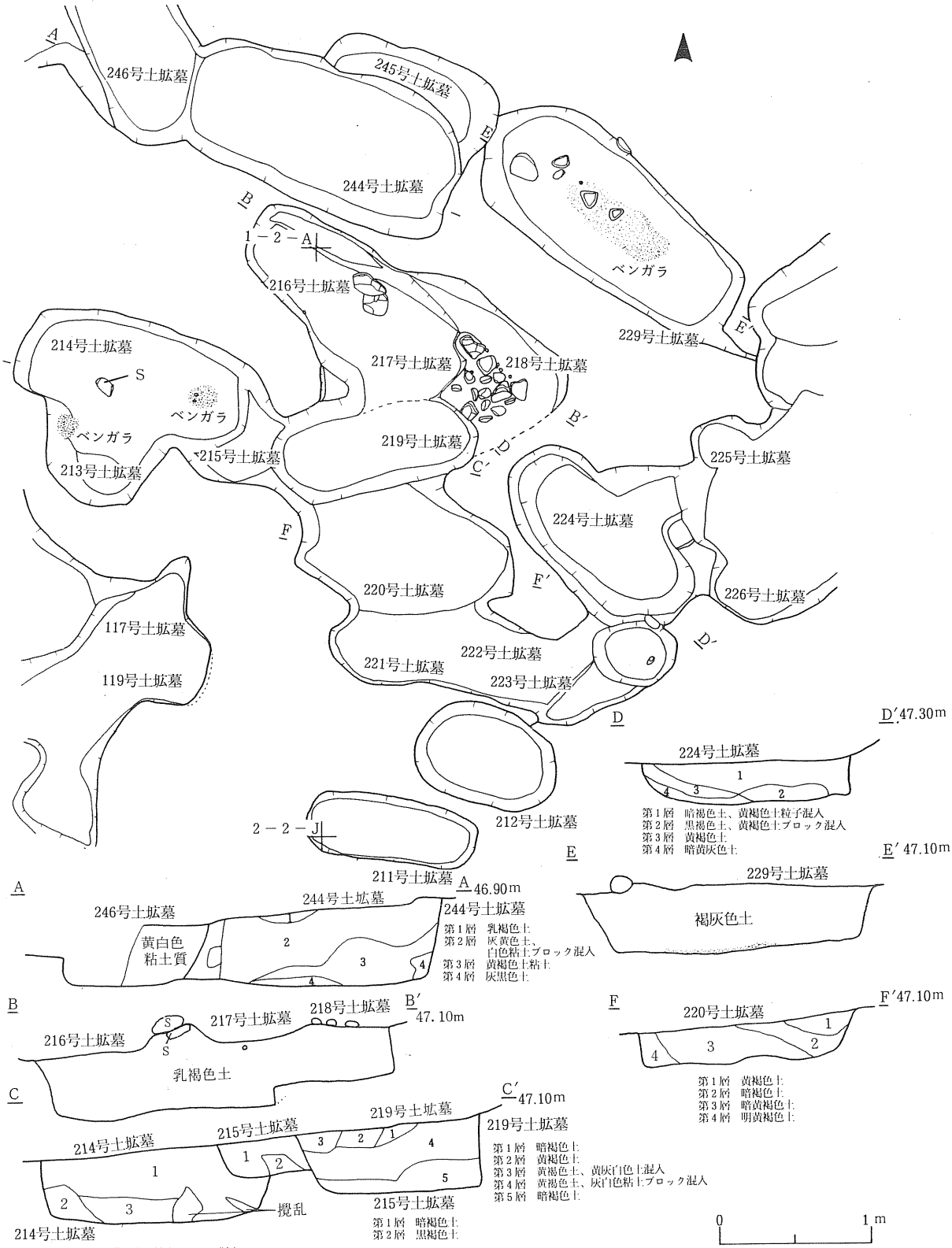
第53図　土拡墓


ベンガラ
210号土拡墓
205号土拡墓
ベンガラ
ベンガラ
212号土拡墓
2－3－J
ベンガラ
203号土拡墓
ベンガラ
558号土拡墓
207号土拡墓
ベンガラ
206号土拡墓
202号土拡墓
-15
199号土拡墓
200号
土拡墓
201号土拡墓
192号土拡墓
A
A′
47.40m
197号土拡墓
ベンガラ
ベンガラ
198号土拡墓
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
B
B′
47.40m
201号土拡墓
196号土拡墓
第1層 褐色土、ロームブロック多量混入
第2層 暗褐色土、ロームブロック多量混入
第3層 黄色土
C
C′
47.40m
200，198号土拡墓
第1層　黒褐色土
195号土拡墓
ベンガラ
2－3－I
D
D′
47.30m
558，203，202号土拡墓
193号土拡墓
ベンガラ
558号土拡墓
第1層　明褐色土
第2層　黄色土
第3層　褐色土
202号土拡墓
第1層　黒色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土、ローム粒子混入
第3層　黒褐色土、ローム粒子混入
第4層　黄褐色土、ロームブロック混入
192号土拡墓
G
G′47.30m
S
202号土拡墓
第1層　黒色土
第2層　黄褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　黒褐色土、ローム小ブロック混入・粘性あり
第4層　黄乳色粘質土
第5層　黒色土
E
199号土拡墓
E′47.20m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土
F
197，200号土拡墓
F′47.40m
ベンガラ
H
H′47.30m
197号土拡墓
196号土拡墓
197号土拡墓
第1層　黒色土
第2層　黒褐色土、炭化物・焼土・ローム混入
第3層　灰褐色土、炭化物混入
第4層　黄色土
196号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色土
第4層　黒褐色土、ローム粒子混入
第5層　黄色土
第6層　黄白色粘土
0
1 m

第54図　土拡墓


236号土拡墓
241号土拡墓
小玉
ベンガラ
ベンガラ
235号
土拡墓
237号土拡墓
233号土拡墓
234号土拡墓
1－3－A
232号土拡墓
230号土拡墓
231号土拡墓
228号土拡墓
227号土拡墓
ベンガラ
226号土拡墓
210号土拡墓
12号住居跡
焼土
ベンガラ
205号土拡墓
2-3-J
C
C′47.30m
235号土拡墓
236号土拡墓
ベンガラ
235号土拡墓
第1層　暗黄褐色土、炭化物混入
236号土拡墓
第1層　暗褐色土、黄褐色粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、黄灰白色土混入
D
D′47.30m
232号土拡墓
233号土拡墓
232号土拡墓
第1層　褐色土
233号土拡墓
第1層　暗褐色土
E
209号土拡墓
E′47.40m
第1層　暗褐色土　黄褐色粘土ブロック混入
E
E′
209号土拡墓
208号土拡墓
A
A′47.30m
237号土拡墓
235号土拡墓
235号土拡墓
第1層　黄褐色土
第2層　黄灰白色土
237号土拡墓
第1層　褐色土、黄灰白色土ブロック混入
第2層　黄灰白色土
第3層　褐色土
第4層　褐色土、黄灰白色粘土ブロック混入
第5層　黄褐色土
第6層　黄灰白色粘質土
F
F′46.80m
210号土拡墓
第1層　黒褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　黒褐色土、焼土・炭化物混入
第3層　黒褐色土、ロームブロック混入
B
B′47.30m
227号土拡墓
226号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭化物・黄褐色粘土ブロック混入
第2層　暗褐色土、炭化物混入
227号土拡墓
第1層　褐色土、炭化物・黄灰白色粘質土・ブロック混入
第2層　暗褐色土、黄褐色土混入
第3層　暗褐色土、炭化物混入
第4層　黒褐色土
G
208号土拡墓
G′47.40m
第1層　暗褐色土
炭化物・焼土ブロック混入
第2層　暗黄褐色土
第3層　褐色土
0
1 m

第55図　土拡墓


246号土拡墓
245号土拡墓
244号土拡墓
ベンガラ
229号土拡墓
1－2－A
216号土拡墓
214号土拡墓
S
ベンガラ
ベンガラ
213号土拡墓
215号土拡墓
217号土拡墓
218号土拡墓
219号土拡墓
225号土拡墓
224号土拡墓
220号土拡墓
226号土拡墓
117号土拡墓
119号土拡墓
221号土拡墓
222号土拡墓
223号土拡墓
212号土拡墓
2－2－J
211号土拡墓
A
B
B′
C
C′
D
D′
E
E′
F
F′
D′47.30m
224号土拡墓
1
2
3
4
第1層　暗褐色土、黄褐色土粒子混入
第2層　黒褐色土、黄褐色土ブロック混入
第3層　黄褐色土
第4層　暗黄灰色土
E′47.10m
229号土拡墓
褐灰色土
A
A′46.90m
246号土拡墓
244号土拡墓
244号土拡墓
黄白色
粘土質
第1層　乳褐色土
第2層　灰黄色土、
白色粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土粘土
第4層　灰黒色土
B
B′
47.10m
216号土拡墓
217号土拡墓
218号土拡墓
S
乳褐色土
F
F′47.10m
220号土拡墓
第1層　黄褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　暗黄褐色土
第4層　明黄褐色土
C
C′
47.10m
214号土拡墓
215号土拡墓
219号土拡墓
219号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、黄灰白色土混入
第4層　黄褐色土、灰白色粘土ブロック混入
第5層　暗褐色土
攪乱
215号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　黒褐色土
214号土拡墓
第1層　黄褐色土、黄灰白色粘土ブロック混入
第2層　黄褐色土　第3層　暗褐色土
0
1m

第56図　土拡墓

353号土坑墓出土遺物（第90図）

石製品：142～145は径９㎜～１㎝の小玉である。

360号土坑墓出土遺物（第90図）

石製品：146～151は径８㎜～1.1㎝の小玉である。

367号土坑墓出土遺物

石製品：破片であり図示できないが、小玉６点が出土している。

370号土坑墓出土遺物（第94図）

石器：23は刃部が欠損する磨製石斧である。

382号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：67～70は鉢形土器片である。口縁部に平行沈線が施される。70は小波状口縁をなし、体部には羊歯状文がみられる。

384号土坑墓出土遺物（第90図）

石製品：152～155は長径９㎜、長さ1.4㎝の管玉状の玉である。

390号土坑墓出土遺物（第90図）

石製品：156～161は径６㎜～1.1㎝の小玉である。

393号土坑墓出土遺物（第90図）

石製品：162は長さ1.7㎝の勾玉である。

397号土坑墓出土遺物（第90図）

石製品：163は長さ3.2㎝の勾玉である。

400号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：71は浅鉢形土器片である。口縁部は磨消し無文帯である。

402号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：72は浅鉢形土器片である。口縁部に２条の平行沈線がまわり、体部も沈線で文様が施されている。

405号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：73は鉢形土器である。小波状口縁をなし、体部に突起を付し、それに連絡するようにして４条づつ平行沈線文がまわっている。

411号土坑墓出土遺物（第90・94図）

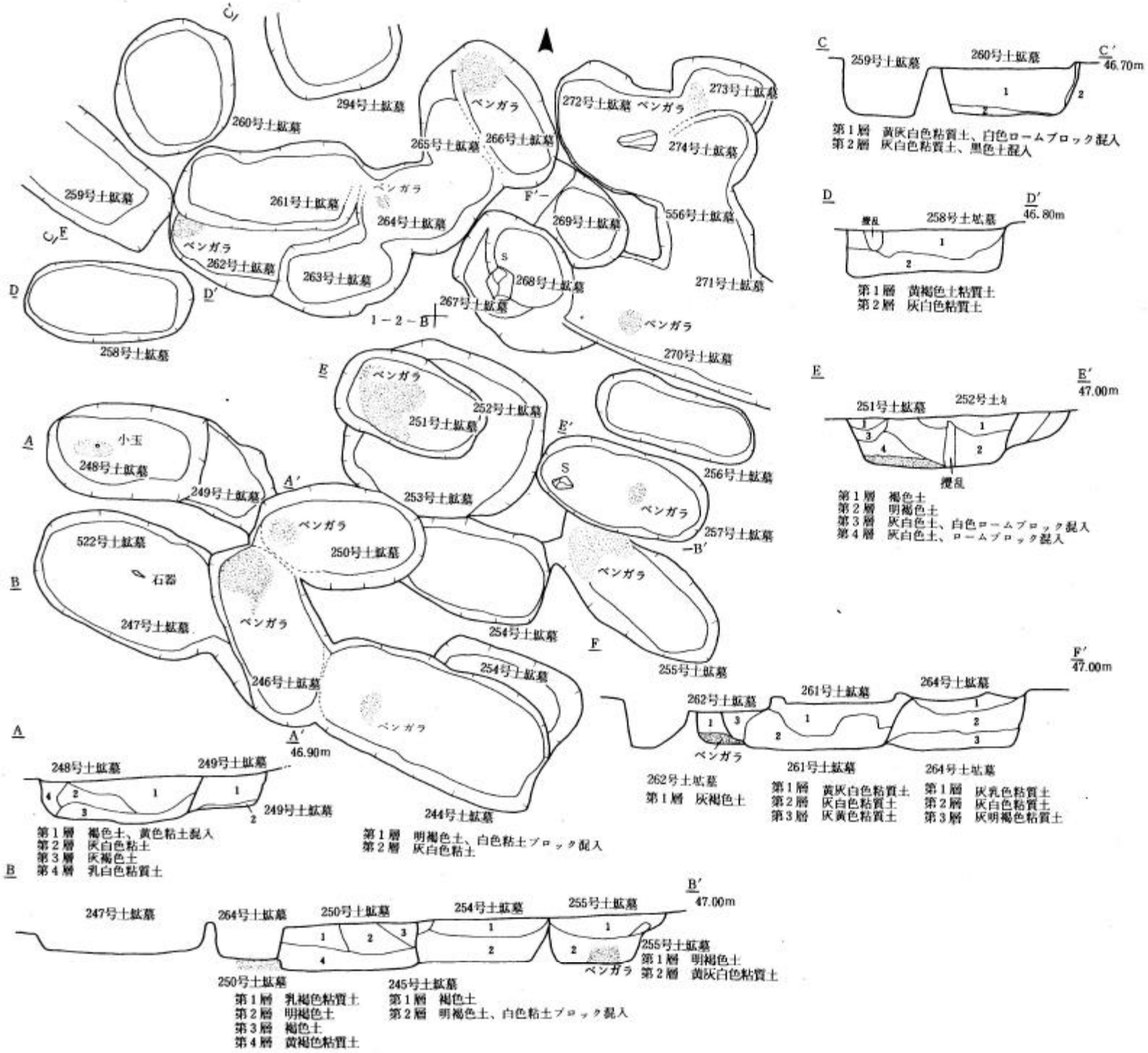
石製品：164・165は９㎜～１㎝の小玉である。

石器：24・25は有茎の石鏃である。25は基部先端が欠損している。

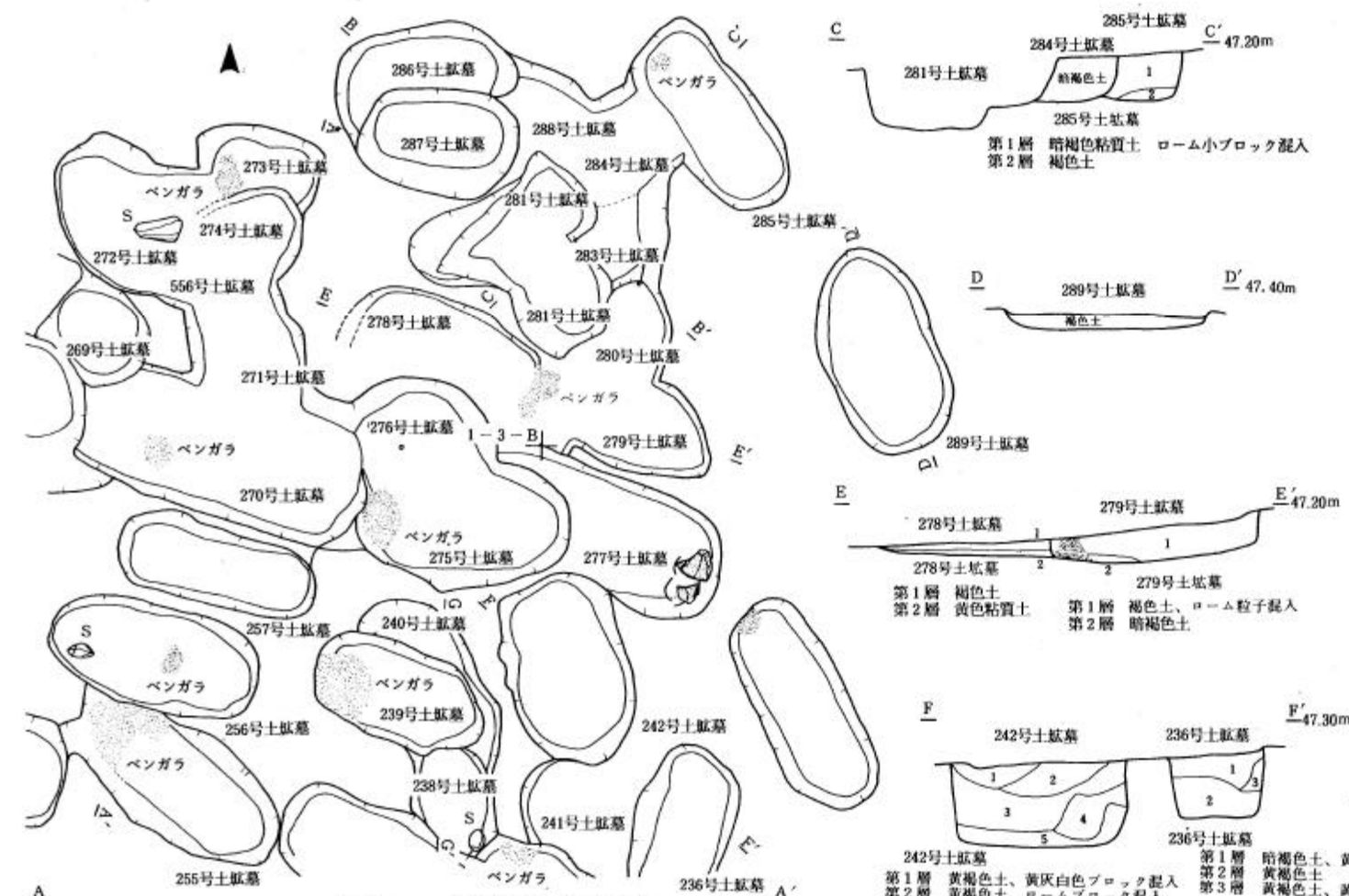
415号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：74は浅鉢形土器片である。口縁部の沈線間に連続刻目文が施されている。

418号土坑墓出土遺物（第90図）

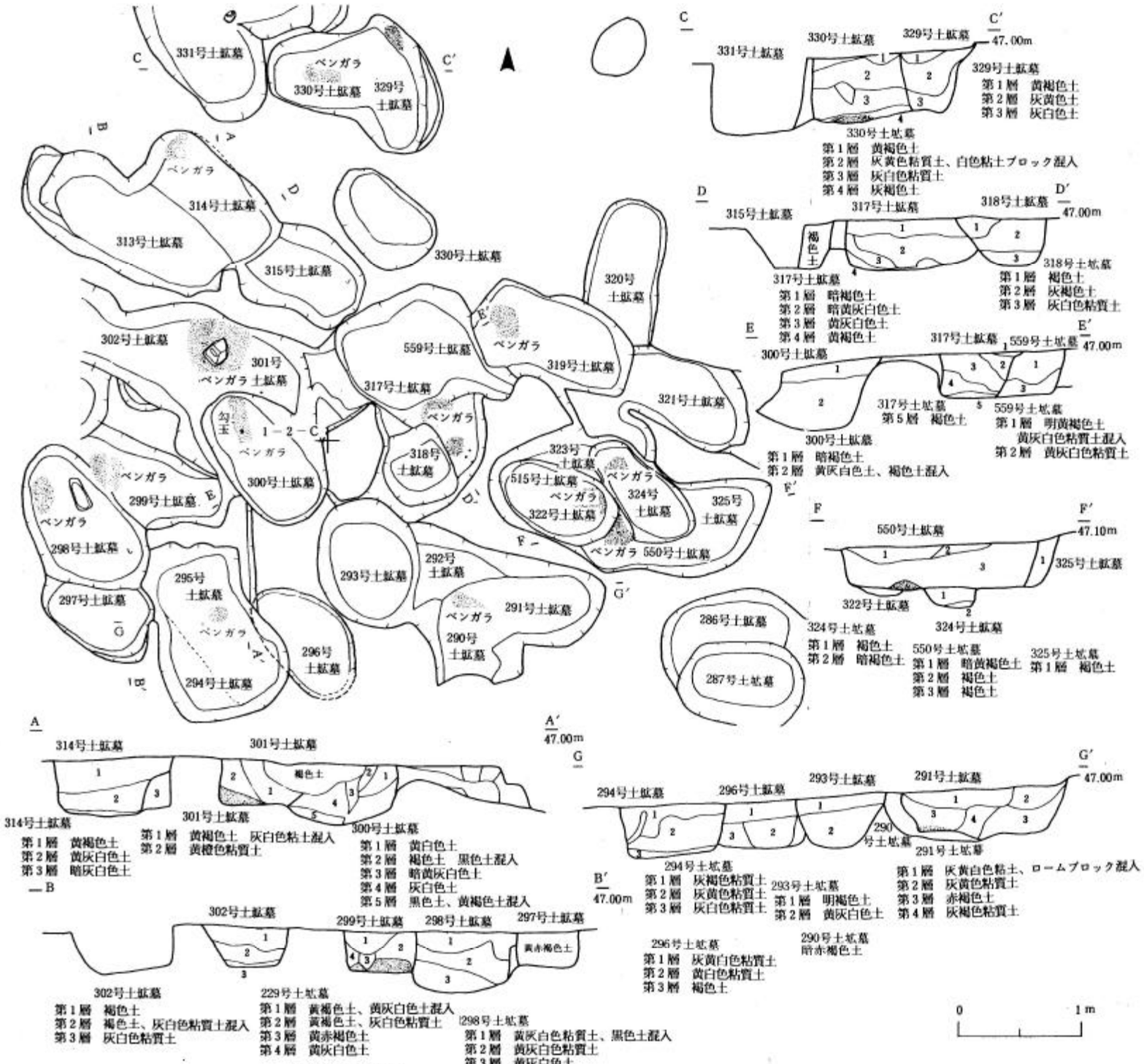

C
259号土拡墓
260号土拡墓
C′
46.70m
第1層　黄灰白色粘質土、白色ロームブロック混入
第2層　灰白色粘質土、黒色土混入
D
D′
46.80m
攪乱
258号土拡墓
第1層　黄褐色土粘質土
第2層　灰白色粘質土
E
E′
47.00m
251号土拡墓
252号土拡墓
攪乱
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
第3層　灰白色土、白色ロームブロック混入
第4層　灰白色土、ロームブロック混入
F
F′
47.00m
262号土拡墓
261号土拡墓
264号土拡墓
ベンガラ
262号土拡墓
第1層　灰褐色土
261号土拡墓
第1層　黄灰白色粘質土
第2層　灰白色粘質土
第3層　灰黄色粘質土
264号土拡墓
第1層　灰乳色粘質土
第2層　灰白色粘質土
第3層　灰明褐色粘質土
A
A′
46.90m
248号土拡墓
249号土拡墓
第1層　褐色土、黄色粘土混入
第2層　灰白色粘土
第3層　灰褐色土
第4層　乳白色粘質土
244号土拡墓
第1層　明褐色土、白色粘土ブロック混入
第2層　灰白色粘土
B
B′
47.00m
247号土拡墓
264号土拡墓
250号土拡墓
254号土拡墓
255号土拡墓
255号土拡墓
第1層　明褐色土
第2層　黄灰白色粘質土
250号土拡墓
第1層　乳褐色粘質土
第2層　明褐色土
第3層　褐色土
第4層　黄褐色粘質土
245号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　明褐色土、白色粘土ブロック混入
0
1m

第57図　土坑墓


286号土拡墓
287号土拡墓
288号土拡墓
284号土拡墓
281号土拡墓
283号土拡墓
285号土拡墓
273号土拡墓
274号土拡墓
272号土拡墓
556号土拡墓
269号土拡墓
271号土拡墓
278号土拡墓
280号土拡墓
276号土拡墓
279号土拡墓
270号土拡墓
275号土拡墓
277号土拡墓
257号土拡墓
240号土拡墓
256号土拡墓
239号土拡墓
242号土拡墓
238号土拡墓
241号土拡墓
255号土拡墓
236号土拡墓
289号土拡墓
ベンガラ
S
1－3－B

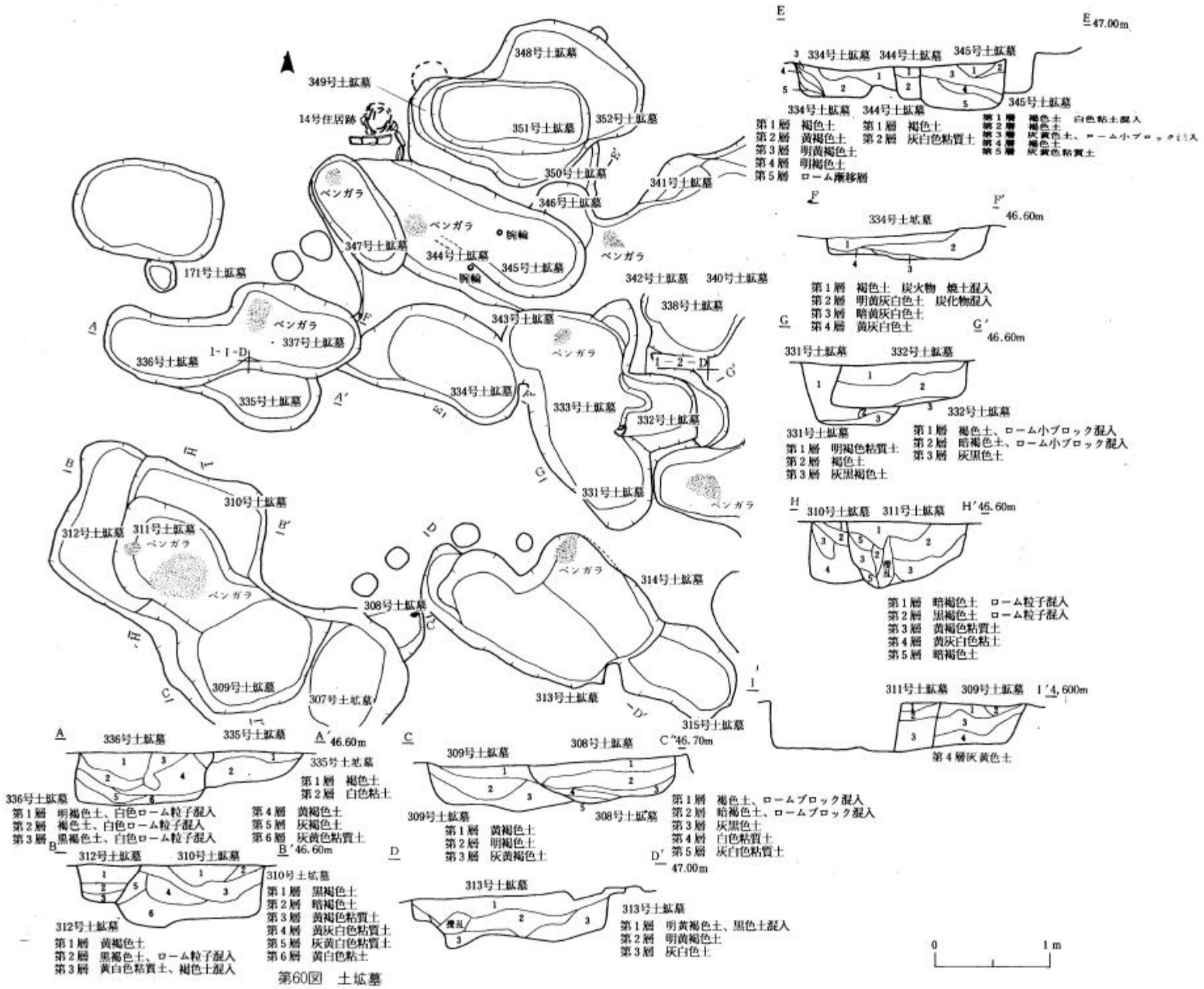
C
C′ 47.20m
285号土拡墓
284号土拡墓
281号土拡墓
暗褐色土
285号土拡墓
第1層　暗褐色粘質土　ローム小ブロック混入
第2層　褐色土
D
D′ 47.40m
289号土拡墓
褐色土
E
E′ 47.20m
279号土拡墓
278号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄色粘質土
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土
F
F′ 47.30m
242号土拡墓
236号土拡墓
242号土拡墓
第1層　黄褐色土、黄灰白色ブロック混入
第2層　黄褐色土、ロームブロック混入
第3層　黄褐色土
第4層　暗黄褐色土
第5層　黄褐色土
236号土拡墓
第1層　暗褐色土、黄褐色粘土ブロック混入
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、黄灰白色土混入
A
A′ 47.00m
273号土拡墓
270号土拡墓
274号土拡墓
257号土拡墓
256号土拡墓
255号土拡墓
ベンガラ
270号土拡墓
第1層　灰褐色土
第2層　黄灰白色粘質土、白色粘土ブロック混入
第3層　灰白褐色土
第4層　明灰褐色土
第5層　黄褐色土
第6層　赤黄色粘質土
第7層　灰白黄色粘質土
257号土拡墓
第1層　黄褐色粘質土
第2層　灰黄白色粘質土
256号土拡墓
第1層　灰黄白色粘質土
第2層　黄褐色粘質土
第3層　灰黄色粘質土
第4層　灰褐色土
第5層　黄褐色土
255号土拡墓
明褐色粘質土
B
B′ 47.20m
284号土拡墓
280号土拡墓
283号土拡墓
286号土拡墓
287号土拡墓
286号土拡墓
黄褐色土
287号土拡墓
第1層　黄褐色土
第2層　褐色土、白色粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土、ロームブロック混入
第4層　褐色土、ロームブロック混入
284号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色粘質土
283号土拡墓
第1層　明褐色土
第2層　褐色土、白色粘土小ブロック混入
第3層　暗褐色土
第4層　黄白色粘質土
G
G′ 47.30m
240号土拡墓
239号土拡墓
238号土拡墓
240号土拡墓
第1層　黄褐色土、黄灰白色粘土ブロック混入
第2層　黄灰白色土、黄褐色土混入
239号土拡墓
第1層　黄灰白色土
第2層　暗黄褐色土、灰白色粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土、灰白色粘土ブロック混入
238号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土、黄灰白色粘土ブロック混入
0
1m

第58図　土坑墓

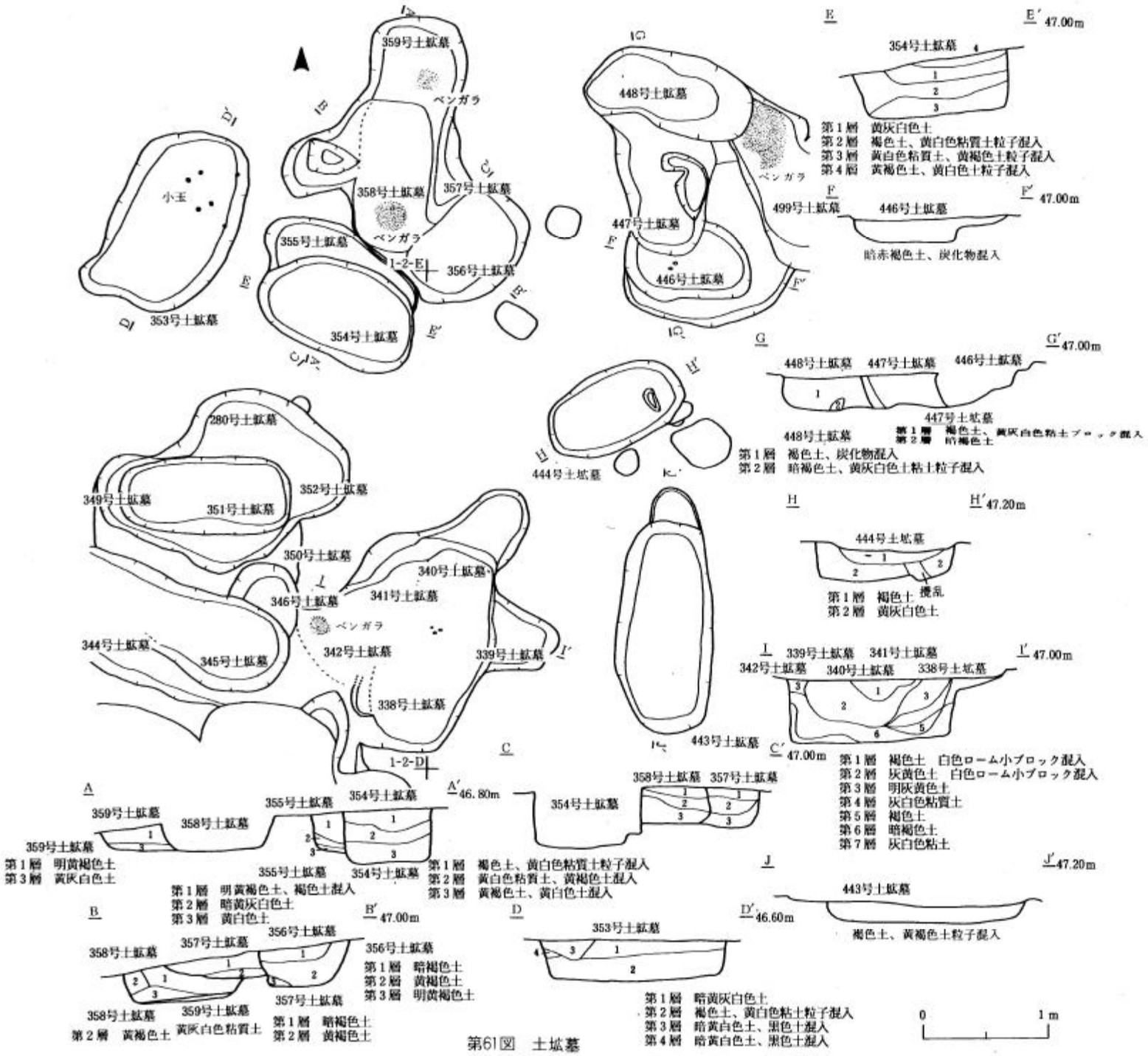


331号土拡墓
ベンガラ
330号土拡墓
329号土拡墓
314号土拡墓
313号土拡墓
315号土拡墓
330号土拡墓
302号土拡墓
301号土拡墓
ベンガラ
勾玉
1－2－C
300号土拡墓
299号土拡墓
298号土拡墓
297号土拡墓
295号土拡墓
294号土拡墓
296号土拡墓
293号土拡墓
292号土拡墓
291号土拡墓
290号土拡墓
318号土拡墓
317号土拡墓
559号土拡墓
319号土拡墓
320号土拡墓
321号土拡墓
323号土拡墓
515号土拡墓
322号土拡墓
324号土拡墓
325号土拡墓
550号土拡墓
286号土拡墓
287号土拡墓
C
C′
47.00m
第1層 黄褐色土
第2層 灰黄色土
第3層 灰白色土
第1層 黄褐色土
第2層 灰黄色粘質土、白色粘土ブロック混入
第3層 灰白色粘質土
第4層 灰褐色土
D
D′
315号土拡墓
317号土拡墓
318号土拡墓
褐色土
第1層 暗褐色土
第2層 暗黄灰白色土
第3層 黄灰白色土
第4層 黄褐色土
第1層 褐色土
第2層 灰褐色土
第3層 灰白色粘質土
E
E′
300号土拡墓
317号土拡墓
559号土拡墓
第5層 褐色土
第1層 明黄褐色土
黄灰白色粘質土混入
第2層 黄灰白色粘質土
第1層 暗褐色土
第2層 黄灰白色土、褐色土混入
F
F′
47.10m
550号土拡墓
325号土拡墓
322号土拡墓
324号土拡墓
第1層 褐色土
第2層 暗褐色土
550号土拡墓
第1層 暗黄褐色土
第2層 褐色土
第3層 褐色土
325号土拡墓
第1層 褐色土
A
A′
47.00m
314号土拡墓
301号土拡墓
第1層 黄褐色土
第2層 黄灰白色土
第3層 暗灰白色土
第1層 黄褐色土 灰白色粘土混入
第2層 黄橙色粘質土
300号土拡墓
第1層 黄白色土
第2層 褐色土 黒色土混入
第3層 暗黄灰白色土
第4層 灰白色土
第5層 黒色土、黄褐色土混入
B
B′
47.00m
302号土拡墓
299号土拡墓
298号土拡墓
297号土拡墓
黄赤褐色土
第1層 褐色土
第2層 褐色土、灰白色粘質土混入
第3層 灰白色粘質土
229号土拡墓
第1層 黄褐色土、黄灰白色土混入
第2層 黄褐色土、灰白色粘質土
第3層 黄赤褐色土
第4層 黄灰白色土
298号土拡墓
第1層 黄灰白色粘質土、黒色土混入
第2層 黄灰白色粘質土
第3層 黄灰白色土
G
G′
47.00m
294号土拡墓
296号土拡墓
293号土拡墓
291号土拡墓
290号土拡墓
291号土拡墓
第1層 灰黄白色粘土、ロームブロック混入
第2層 灰黄色粘質土
第3層 赤褐色土
第4層 灰褐色粘質土
294号土拡墓
第1層 灰褐色粘質土
第2層 灰黄色粘質土
第3層 灰白色粘質土
293号土拡墓
第1層 明褐色土
第2層 黄灰白色土
290号土拡墓
暗赤褐色土
296号土拡墓
第1層 灰黄白色粘質土
第2層 黄白色粘質土
第3層 褐色土
0
1m

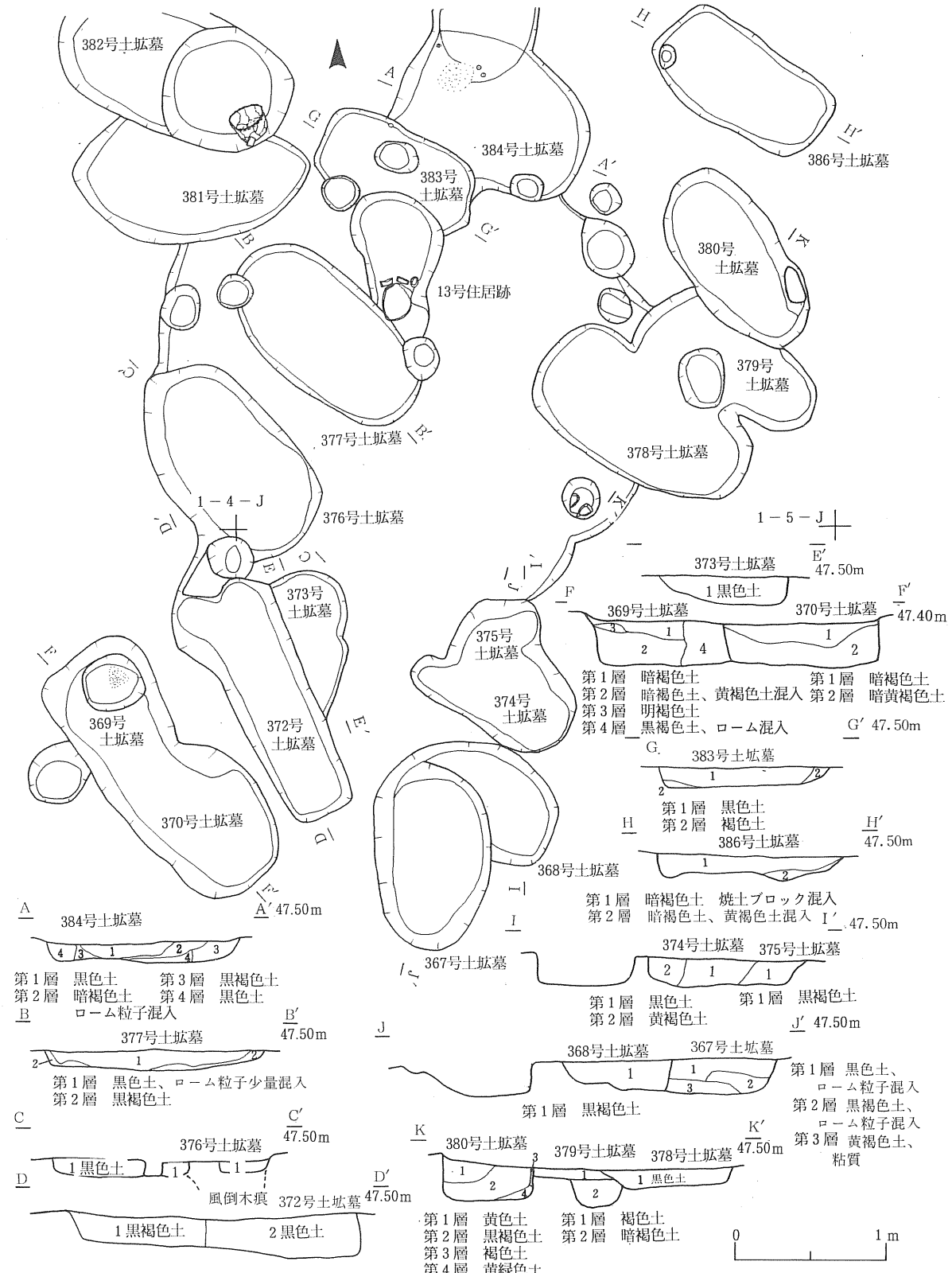
第59図 土拡墓


348号土拡墓
349号土拡墓
14号住居跡
351号土拡墓
352号土拡墓
350号土拡墓
341号土拡墓
346号土拡墓
ベンガラ
347号土拡墓
344号土拡墓
345号土拡墓
腕輪
171号土拡墓
342号土拡墓
340号土拡墓
338号土拡墓
343号土拡墓
337号土拡墓
336号土拡墓
335号土拡墓
334号土拡墓
333号土拡墓
332号土拡墓
331号土拡墓
310号土拡墓
312号土拡墓
311号土拡墓
308号土拡墓
314号土拡墓
309号土拡墓
307号土拡墓
313号土拡墓
315号土拡墓
1-1-D
1-2-D
E
E 47.00m
334号土拡墓 344号土拡墓 345号土拡墓
第1層 褐色土
第2層 黄褐色土
第3層 明黄褐色土
第4層 明褐色土
第5層 ローム漸移層
第1層 褐色土
第2層 灰白色粘質土
第1層 褐色土 白色粘土混入
第2層 褐色土
第3層 灰黄色土、ローム小ブロック混入
第4層 褐色土
第5層 灰黄色粘質土
F
F′
46.60m
334号土拡墓
第1層 褐色土 炭火物 焼土混入
第2層 明黄灰白色土 炭化物混入
第3層 暗黄灰白色土
第4層 黄灰白色土
G
G′
46.60m
331号土拡墓 332号土拡墓
331号土拡墓
第1層 明褐色粘質土
第2層 褐色土
第3層 灰黒褐色土
332号土拡墓
第1層 褐色土、ローム小ブロック混入
第2層 暗褐色土、ローム小ブロック混入
第3層 灰黒色土
H
H′46.60m
310号土拡墓 311号土拡墓
第1層 暗褐色土 ローム粒子混入
第2層 黒褐色土 ローム粒子混入
第3層 黄褐色粘質土
第4層 黄灰白色粘土
第5層 暗褐色土
I
I′4,600m
311号土拡墓 309号土拡墓
第4層灰黄色土
A
A′46.60m
336号土拡墓
第1層 明褐色土、白色ローム粒子混入
第2層 褐色土、白色ローム粒子混入
第3層 黒褐色土、白色ローム粒子混入
335号土拡墓
第1層 褐色土
第2層 白色粘土
第4層 黄褐色土
第5層 灰褐色土
第6層 灰黄色粘質土
B
B′46.60m
312号土拡墓 310号土拡墓
312号土拡墓
第1層 黄褐色土
第2層 黒褐色土、ローム粒子混入
第3層 黄白色粘質土、褐色土混入
310号土拡墓
第1層 黒褐色土
第2層 暗褐色土
第3層 黄褐色粘質土
第4層 黄灰白色粘質土
第5層 灰黄白色粘質土
第6層 黄白色粘土
C
C′46.70m
309号土拡墓 308号土拡墓
309号土拡墓
第1層 黄褐色土
第2層 明褐色土
第3層 灰黄褐色土
308号土拡墓
第1層 褐色土、ロームブロック混入
第2層 暗褐色土、ロームブロック混入
第3層 灰黒色土
第4層 白色粘質土
第5層 灰白色粘質土
D
D′
47.00m
313号土拡墓
313号土拡墓
第1層 明黄褐色土、黒色土混入
第2層 明黄褐色土
第3層 灰白色土
0
1 m

第60図　土拡墓


359号土拡墓
ベンガラ
358号土拡墓
357号土拡墓
355号土拡墓
356号土拡墓
354号土拡墓
353号土拡墓
小玉
1-2-E
448号土拡墓
447号土拡墓
446号土拡墓
499号土拡墓
E
E′ 47.00m
354号土拡墓
第1層　黄灰白色土
第2層　褐色土、黄白色粘質土粒子混入
第3層　黄白色粘質土、黄褐色土粒子混入
第4層　黄褐色土、黄白色土粒子混入
F
F′ 47.00m
446号土拡墓
暗赤褐色土、炭化物混入
G
G′ 47.00m
448号土拡墓　447号土拡墓　446号土拡墓
447号土拡墓
第1層　褐色土、黄灰白色粘土ブロック混入
第2層　暗褐色土
280号土拡墓
349号土拡墓
351号土拡墓
352号土拡墓
350号土拡墓
340号土拡墓
341号土拡墓
346号土拡墓
ベンガラ
344号土拡墓
345号土拡墓
342号土拡墓
339号土拡墓
338号土拡墓
1-2-D
444号土拡墓
第1層　褐色土、炭化物混入
第2層　暗褐色土、黄灰白色土粘土粒子混入
H
H′ 47.20m
444号土拡墓
第1層　褐色土　攪乱
第2層　黄灰白色土
443号土拡墓
I
I′ 47.00m
339号土拡墓　341号土拡墓
342号土拡墓　340号土拡墓　338号土拡墓
C
C′ 47.00m
第1層　褐色土　白色ローム小ブロック混入
第2層　灰黄色土　白色ローム小ブロック混入
第3層　明灰黄色土
第4層　灰白色粘質土
第5層　褐色土
第6層　暗褐色土
第7層　灰白色粘土
A
A′ 46.80m
359号土拡墓
358号土拡墓
355号土拡墓
354号土拡墓
第1層　明黄褐色土
第3層　黄灰白色土
第1層　明黄褐色土、褐色土混入
第2層　暗黄灰白色土
第3層　黄白色土
第1層　褐色土、黄白色粘質土粒子混入
第2層　黄白色粘質土、黄褐色土混入
第3層　黄褐色土、黄白色土混入
B
B′ 47.00m
358号土拡墓　357号土拡墓
356号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　明黄褐色土
358号土拡墓
第2層　黄褐色土
359号土拡墓
黄灰白色粘質土
357号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
D
D′ 46.60m
353号土拡墓
第1層　暗黄灰白色土
第2層　褐色土、黄白色粘土粒子混入
第3層　暗黄白色土、黒色土混入
第4層　暗黄白色土、黒色土混入
J
J′ 47.20m
443号土拡墓
褐色土、黄褐色土粒子混入
0
1 m

第61図　土拡墓


382号土拡墓
381号土拡墓
384号土拡墓
383号土拡墓
386号土拡墓
380号土拡墓
13号住居跡
379号土拡墓
378号土拡墓
377号土拡墓
376号土拡墓
1－4－J
1－5－J
373号土拡墓
375号土拡墓
374号土拡墓
369号土拡墓
372号土拡墓
370号土拡墓
368号土拡墓
367号土拡墓
A
A′ 47.50m
384号土拡墓
第1層 黒色土
第2層 暗褐色土
第3層 黒褐色土
第4層 黒色土
ローム粒子混入
B
B′ 47.50m
377号土拡墓
第1層 黒色土、ローム粒子少量混入
第2層 黒褐色土
C
C′ 47.50m
376号土拡墓
1黒色土
風倒木痕
D
D′ 47.50m
372号土拡墓
1黒褐色土
2黒色土
E
E′ 47.50m
373号土拡墓
1黒色土
F
F′ 47.40m
369号土拡墓
370号土拡墓
第1層 暗褐色土
第2層 暗褐色土、黄褐色土混入
第3層 明褐色土
第4層 黒褐色土、ローム混入
第1層 暗褐色土
第2層 暗黄褐色土
G
G′ 47.50m
383号土拡墓
第1層 黒色土
第2層 褐色土
H
H′ 47.50m
386号土拡墓
第1層 暗褐色土 焼土ブロック混入
第2層 暗褐色土、黄褐色土混入
I
I′ 47.50m
374号土拡墓
375号土拡墓
第1層 黒色土
第2層 黄褐色土
第1層 黒褐色土
J
J′ 47.50m
368号土拡墓
367号土拡墓
第1層 黒褐色土
第1層 黒色土、ローム粒子混入
第2層 黒褐色土、ローム粒子混入
第3層 黄褐色土、粘質
K
K′ 47.50m
380号土拡墓
379号土拡墓
378号土拡墓
1黒色土
第1層 黄色土
第2層 黒褐色土
第3層 褐色土
第4層 黄緑色土
第1層 褐色土
第2層 暗褐色土
0
1m

第62図　土拡墓

石製品：166～169は８㎜前後の小玉である。

424号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：170は径1.6㎝の小玉である。

428号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：171は長さ2.3㎝の勾玉である。172・173は径８㎜の小玉である。

434号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：174は径８㎜の小玉である。

437号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：175は径８㎜の小玉である。

446号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：176・177は径９㎜～１㎝の小玉である。

450号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：178は径９㎜の小玉である。

453号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：75・76は浅鉢形土器である。沈線を主体に文様を施している。

460号土坑墓出土遺物（第89・91図）

石製品：136は長さ1.9㎝、179は長さ３㎝の勾玉である。180は径９㎜の小玉である。

471号土坑墓出土遺物（図版47）

木製品：木製の楕円形の腕輪であり赤色顔料が塗布されている。

石器：30は基部の欠損する磨製石斧である。

479号土坑墓出土遺物（第94・95図）

石器：31は基部の欠損する磨製石斧、38は両面使用のくぼみ石である。

481号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：181は径1.1㎝の小玉である。

492号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：182は長さ2.6㎝の勾玉である。

497号土坑墓出土遺物（第94図）

石器：32は有茎の石鏃である。基部先端が欠損する。

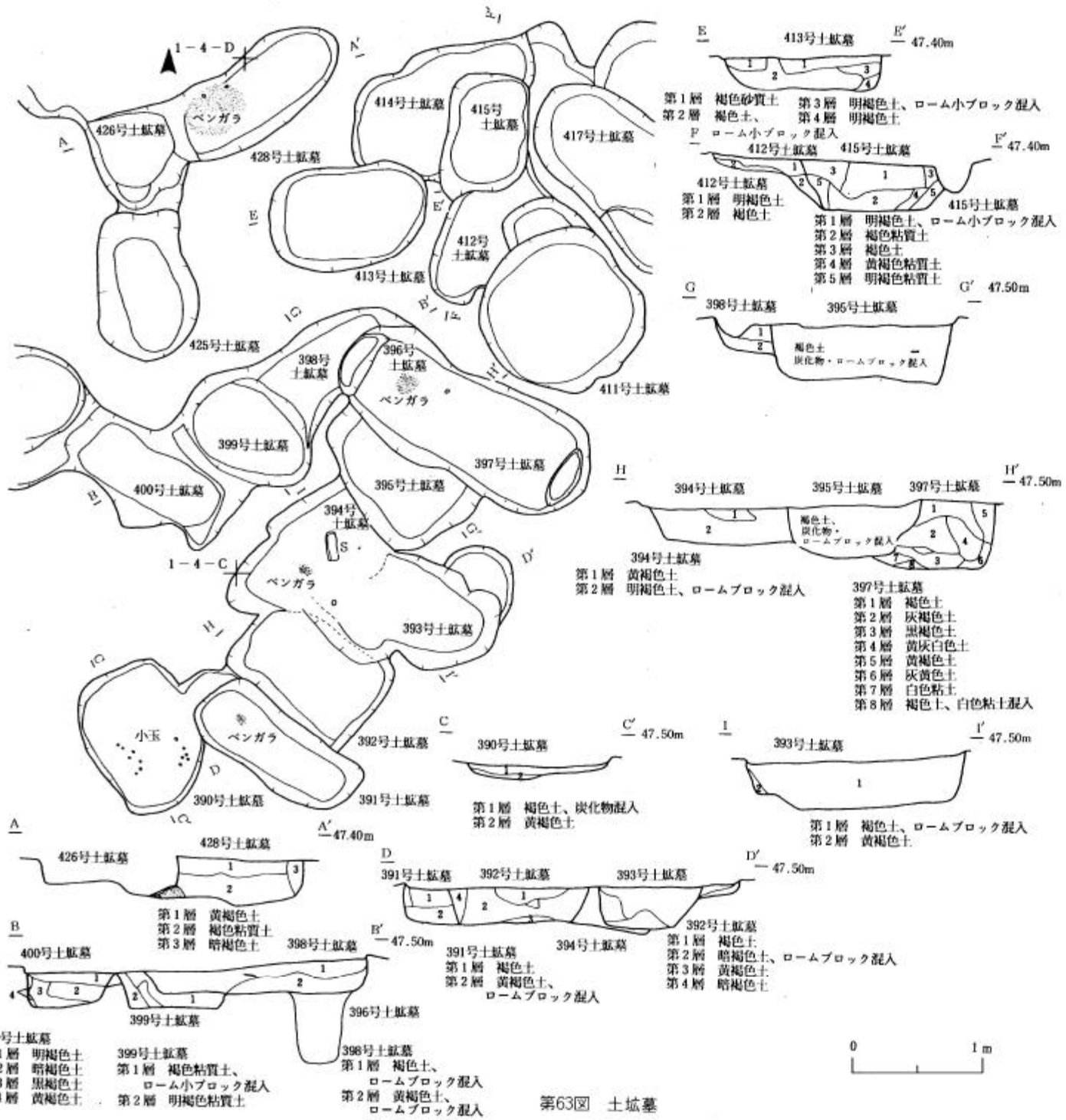
507号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：183は長さ1.9㎝の勾玉である。

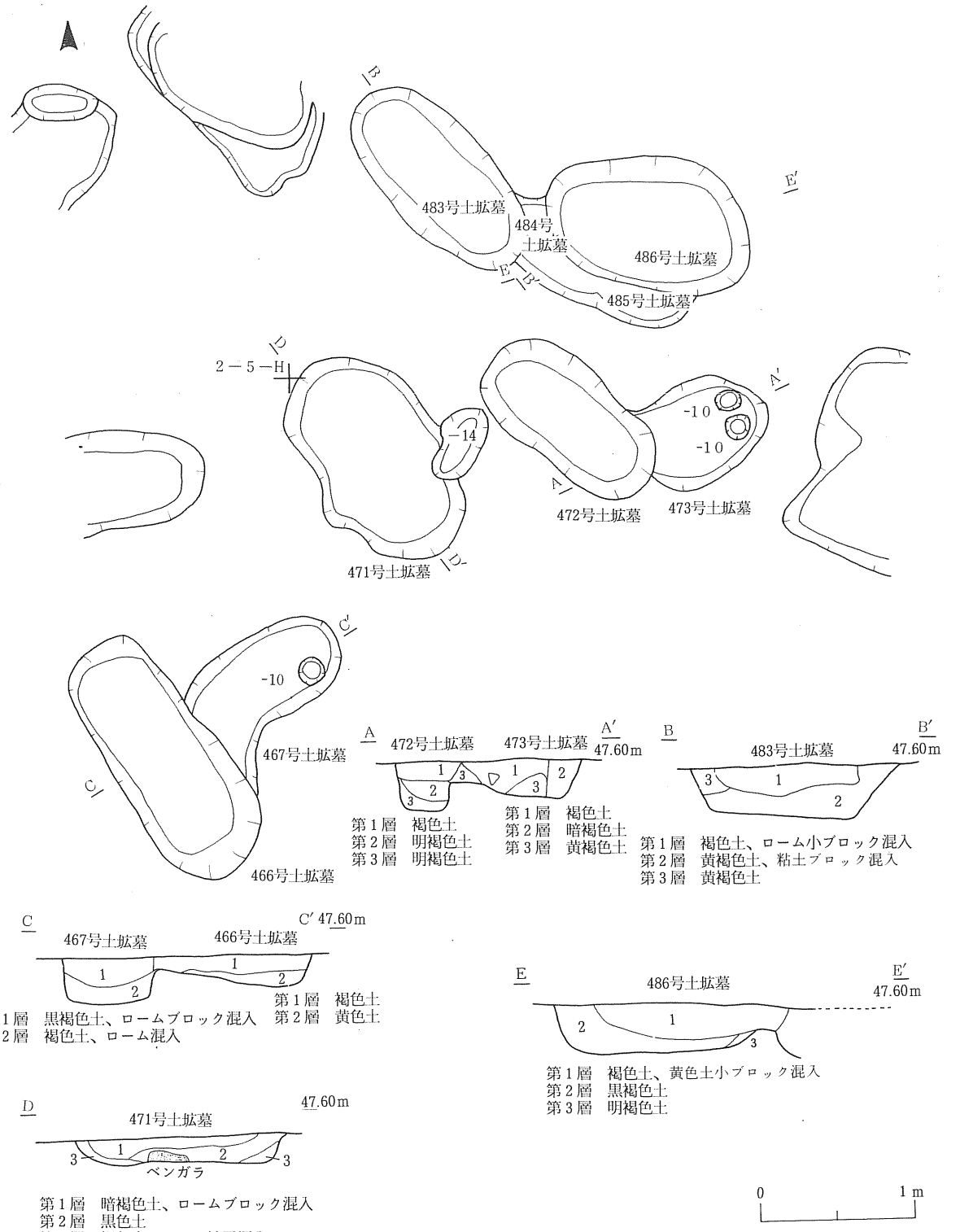
511号土坑墓出土遺物（第84図）

土器：77は鉢形土器片である。口縁部に３条の平行沈線がある。

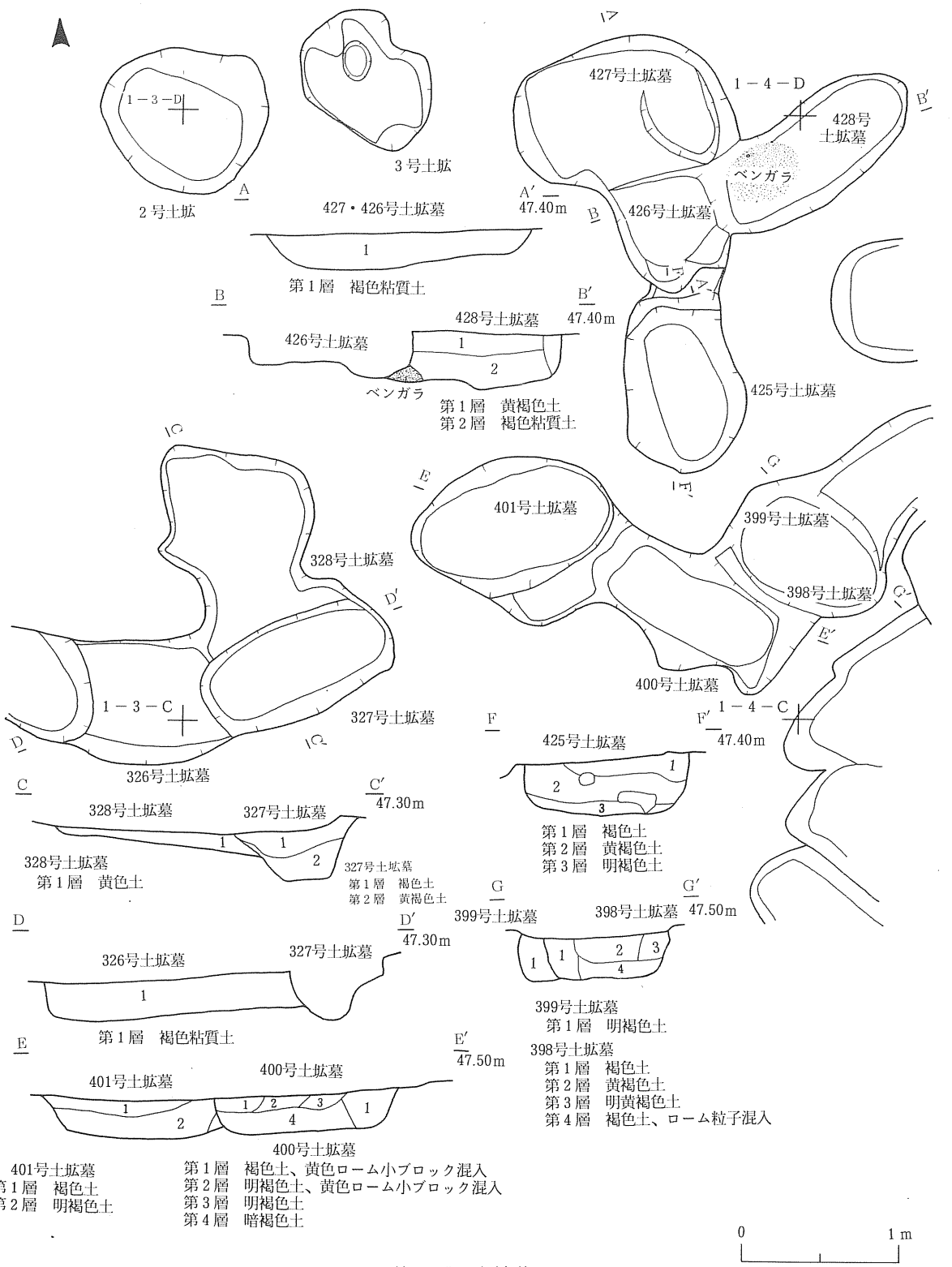
512号土坑墓出土遺物（第91図）


1－4－D
426号土拡墓
ベンガラ
428号土拡墓
414号土拡墓
415号土拡墓
417号土拡墓
413号土拡墓
412号土拡墓
425号土拡墓
398号土拡墓
396号土拡墓
411号土拡墓
399号土拡墓
397号土拡墓
400号土拡墓
395号土拡墓
394号土拡墓
1－4－C
393号土拡墓
小玉
392号土拡墓
390号土拡墓
391号土拡墓
E
E′
413号土拡墓
47.40m
第1層　褐色砂質土
第2層　褐色土、
第3層　明褐色土、ローム小ブロック混入
第4層　明褐色土
F　ローム小ブロック混入
F′
412号土拡墓
415号土拡墓
47.40m
412号土拡墓
第1層　明褐色土
第2層　褐色土
415号土拡墓
第1層　明褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　褐色粘質土
第3層　褐色土
第4層　黄褐色粘質土
第5層　明褐色粘質土
G
G′
47.50m
398号土拡墓
395号土拡墓
褐色土
炭化物・ロームブロック混入
H
H′
47.50m
394号土拡墓
395号土拡墓
397号土拡墓
褐色土、
炭化物・
ロームブロック混入
394号土拡墓
第1層　黄褐色土
第2層　明褐色土、ロームブロック混入
397号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　灰褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　黄灰白色土
第5層　黄褐色土
第6層　灰黄色土
第7層　白色粘土
第8層　褐色土、白色粘土混入
C
C′
47.50m
390号土拡墓
第1層　褐色土、炭化物混入
第2層　黄褐色土
I
I′
47.50m
393号土拡墓
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　黄褐色土
A
A′
47.40m
426号土拡墓
428号土拡墓
第1層　黄褐色土
第2層　褐色粘質土
第3層　暗褐色土
D
D′
47.50m
391号土拡墓
392号土拡墓
393号土拡墓
392号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　黄褐色土
第4層　暗褐色土
391号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土、
ロームブロック混入
394号土拡墓
B
B′
47.50m
400号土拡墓
398号土拡墓
399号土拡墓
396号土拡墓
400号土拡墓
第1層　明褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　黄褐色土
399号土拡墓
第1層　褐色粘質土、
ローム小ブロック混入
第2層　明褐色粘質土
398号土拡墓
第1層　褐色土、
ロームブロック混入
第2層　黄褐色土、
ロームブロック混入
0
1m

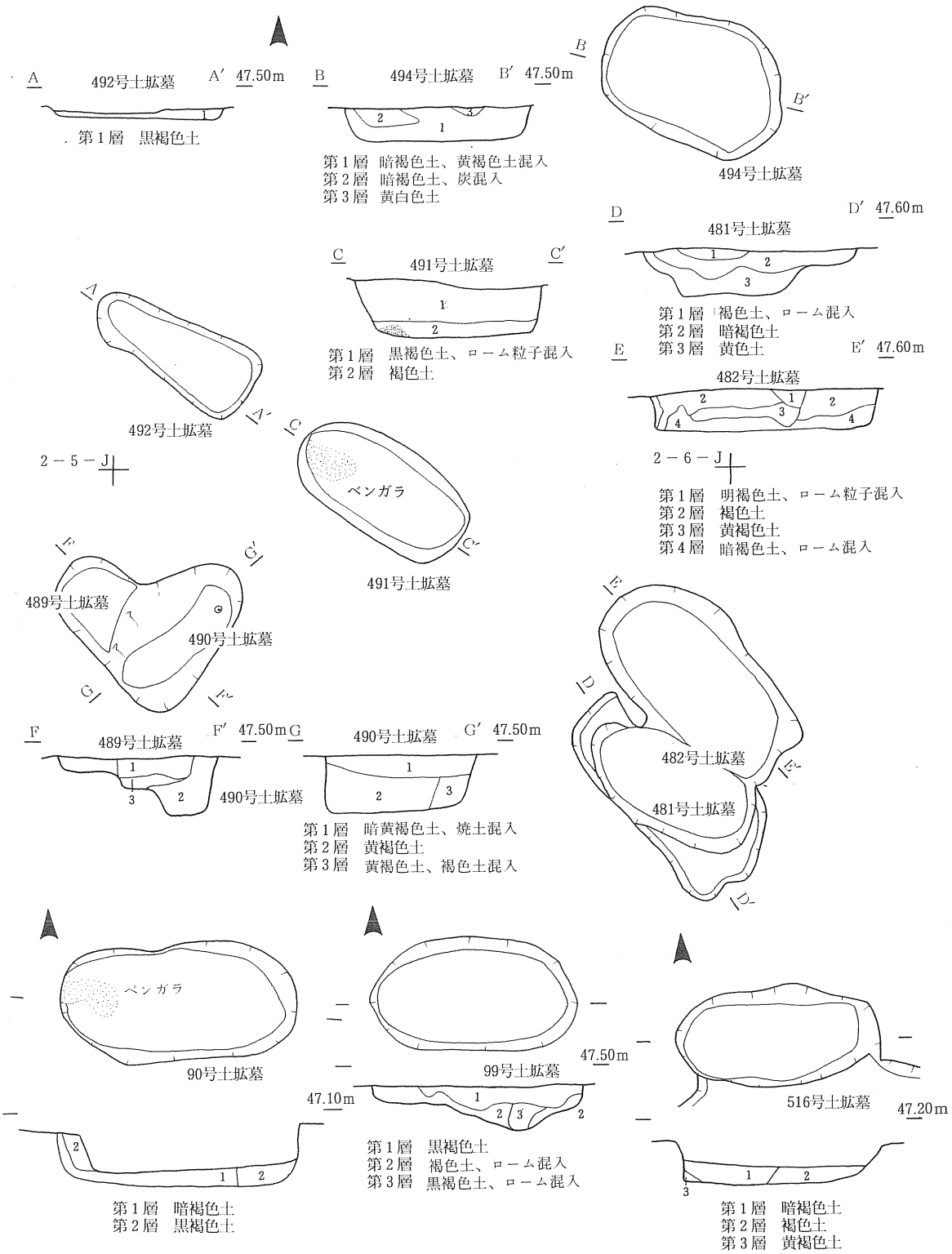
第63図　土坑墓


483号土拡墓
484号土拡墓
486号土拡墓
485号土拡墓
2－5－H
471号土拡墓
472号土拡墓
473号土拡墓
-14
-10
-10
467号土拡墓
466号土拡墓
A
A′
47.60m
472号土拡墓
473号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
第3層　明褐色土
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
B
B′
47.60m
483号土拡墓
第1層　褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　黄褐色土、粘土ブロック混入
第3層　黄褐色土
C
C′ 47.60m
467号土拡墓
466号土拡墓
第1層　黒褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、ローム混入
第1層　褐色土
第2層　黄色土
E
E′
47.60m
486号土拡墓
第1層　褐色土、黄色土小ブロック混入
第2層　黒褐色土
第3層　明褐色土
D
47.60m
471号土拡墓
ベンガラ
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　黒色土
第3層　褐色土、ローム粒子混入
0
1 m

第64図　土拡墓


1－3－D
2号土拡
A
3号土拡
427・426号土拡墓
1
第1層　褐色粘質土
B
B′
47.40m
428号土拡墓
426号土拡墓
1
2
ベンガラ
第1層　黄褐色土
第2層　褐色粘質土
427号土拡墓
1－4－D
428号
土拡墓
ベンガラ
426号土拡墓
A′
47.40m
425号土拡墓
401号土拡墓
399号土拡墓
398号土拡墓
400号土拡墓
1－4－C
F
F′
47.40m
425号土拡墓
1
2
3
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　明褐色土
328号土拡墓
327号土拡墓
1－3－C
326号土拡墓
C
C′
47.30m
328号土拡墓
327号土拡墓
1
1
2
328号土拡墓
第1層　黄色土
327号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
D
D′
47.30m
326号土拡墓
327号土拡墓
1
第1層　褐色粘質土
G
G′
47.50m
399号土拡墓
398号土拡墓
1
1
2
3
4
399号土拡墓
第1層　明褐色土
398号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　明黄褐色土
第4層　褐色土、ローム粒子混入
E
E′
47.50m
401号土拡墓
400号土拡墓
1
2
1
2
3
4
1
400号土拡墓
第1層　褐色土、黄色ローム小ブロック混入
第2層　明褐色土、黄色ローム小ブロック混入
第3層　明褐色土
第4層　暗褐色土
401号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
0
1 m

第65図　土拡墓


A
492号土拡墓
A′ 47.50m
第1層　黒褐色土
B
494号土拡墓
B′ 47.50m
第1層　暗褐色土、黄褐色土混入
第2層　暗褐色土、炭混入
第3層　黄白色土
494号土拡墓
C
491号土拡墓
C′
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
D
481号土拡墓
D′ 47.60m
第1層　褐色土、ローム混入
第2層　暗褐色土
第3層　黄色土
E
482号土拡墓
E′ 47.60m
第1層　明褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　暗褐色土、ローム混入
492号土拡墓
2－5－J
2－6－J
ベンガラ
491号土拡墓
489号土拡墓
490号土拡墓
F
489号土拡墓
F′ 47.50m
490号土拡墓
G
490号土拡墓
G′ 47.50m
第1層　暗黄褐色土、焼土混入
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、褐色土混入
482号土拡墓
481号土拡墓
ベンガラ
90号土拡墓
47.10m
第1層　暗褐色土
第2層　黒褐色土
99号土拡墓
47.50m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土、ローム混入
第3層　黒褐色土、ローム混入
516号土拡墓
47.20m
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
0
1m

第66図　土坑墓

石製品：184～188は径９㎜～1.1㎝の小玉である。

524号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：189は長さ1.8㎝の勾玉である。

525号土坑墓出土遺物（第91図）

石製品：190は長さ2.1㎝の勾玉である。

535号土坑墓出土遺物（第92図）

石製品：191・192は経1.2㎝の小玉である。

539号土坑墓出土遺物（第92図）

石製品：193～201は径６㎜～９㎜の小玉である。

542号土坑墓出土遺物（第95図）

石器：39は石皿の破片である。

544号土坑墓出土遺物（第94図）

石器：29は有茎の石鏃である。基部先端が欠損する。

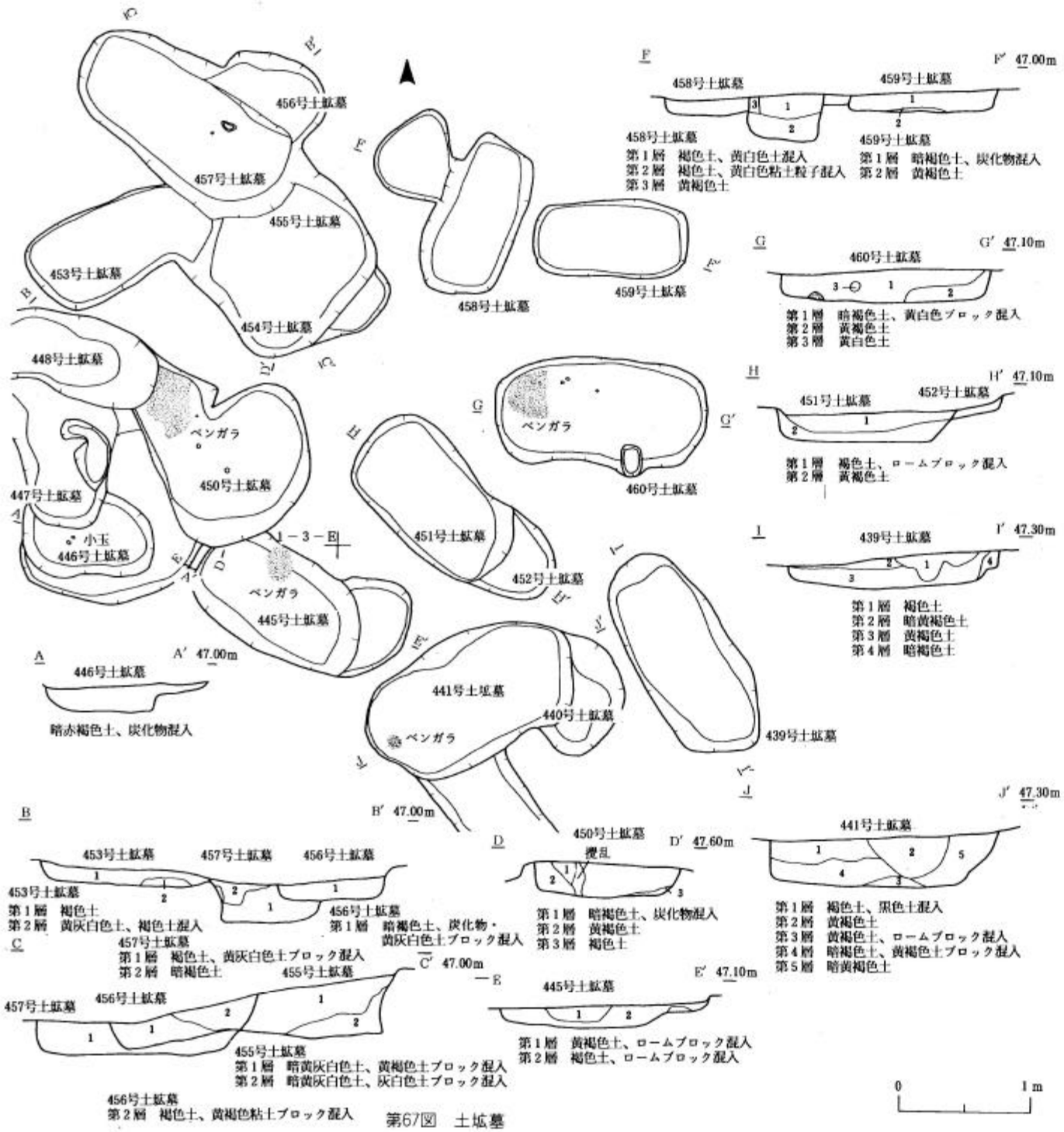
557号土坑墓出土遺物（第92図）

石製品：202は長さ2.8㎝、203は長さ2.1㎝を計る勾玉である。

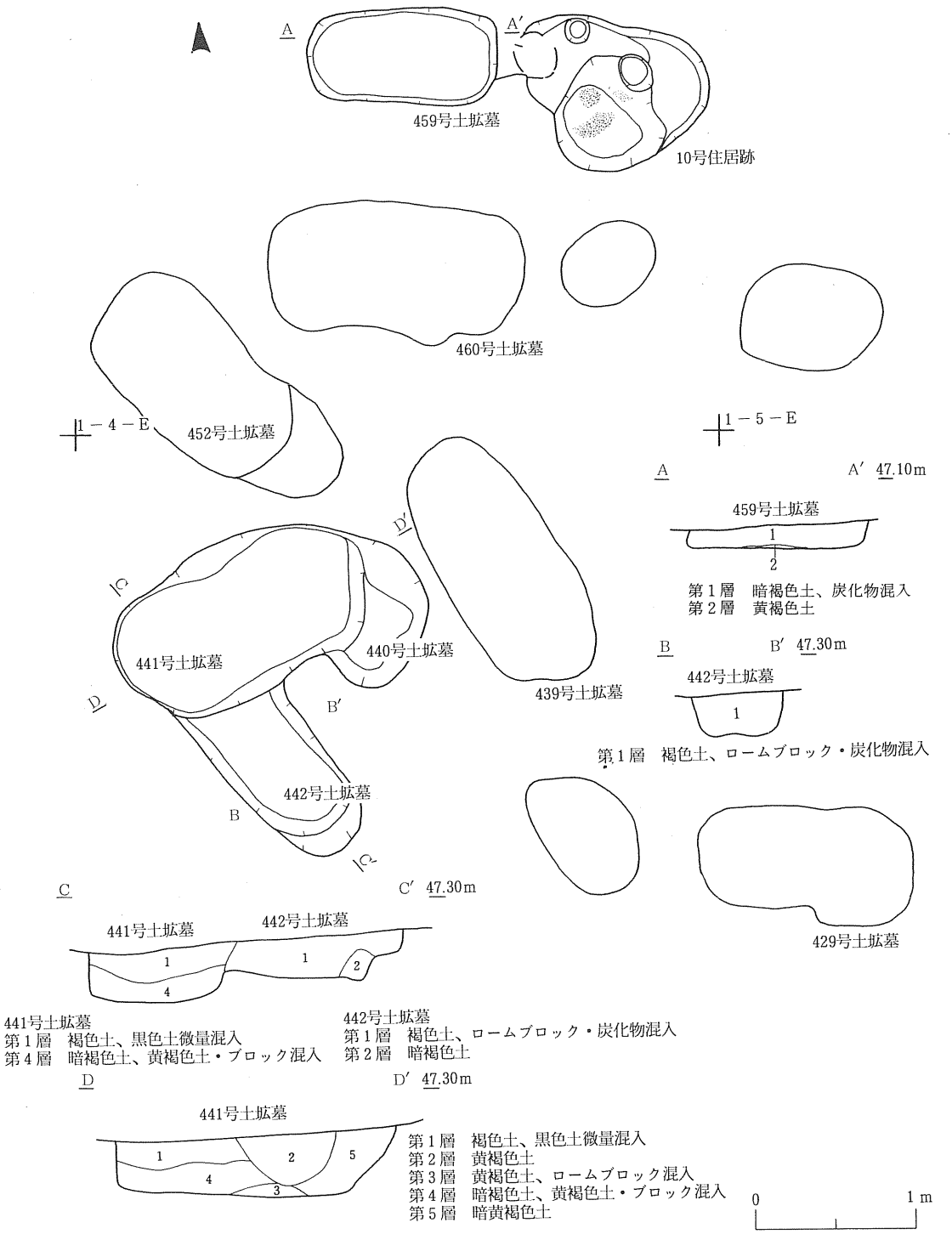
558号土坑墓出土遺物（第92図）

石製品：204は長さ2.1㎝の勾玉である。

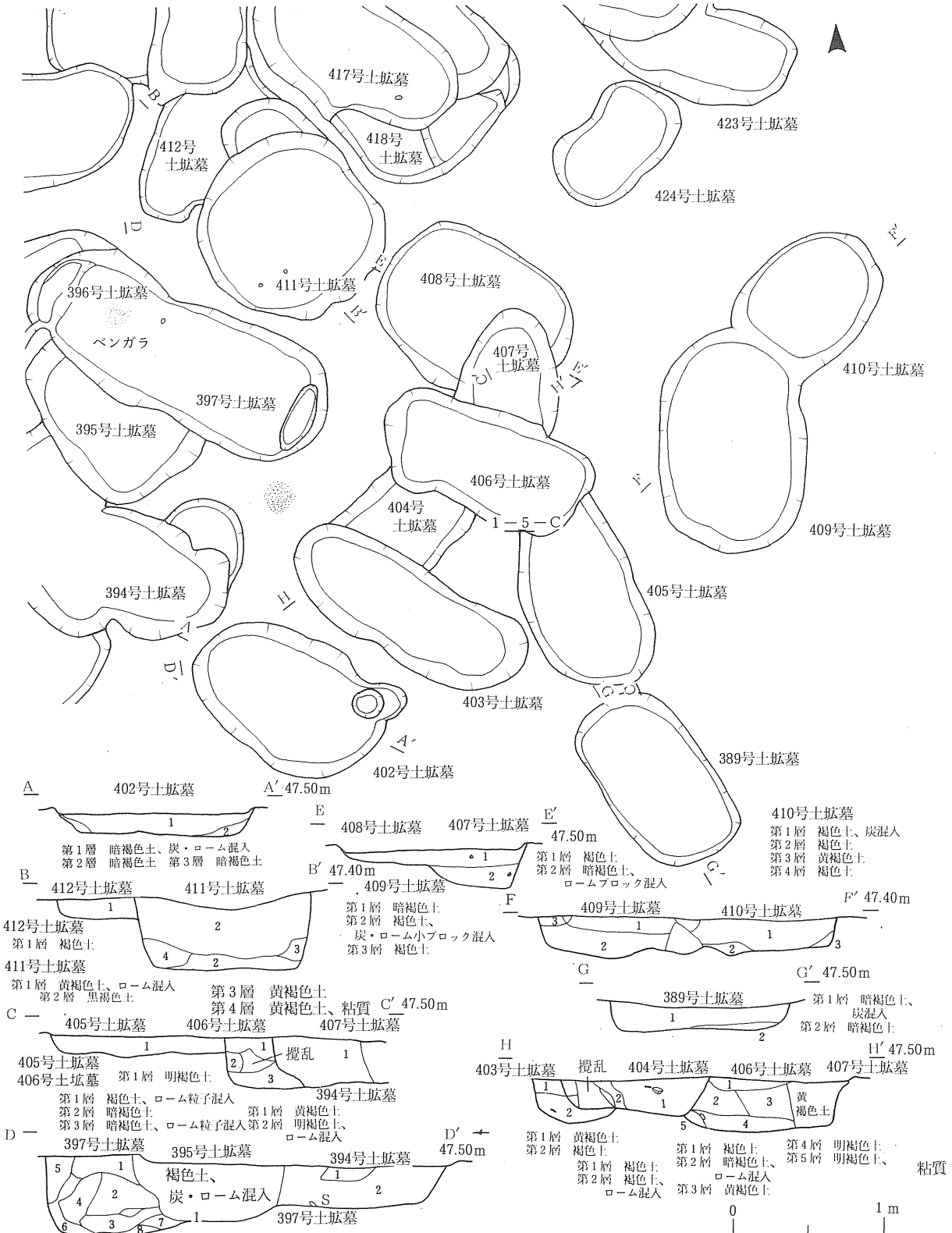
石器：32・33は有茎の石鏃である。32は両端部、33は基部が欠損している。


456号土拡墓
457号土拡墓
455号土拡墓
453号土拡墓
454号土拡墓
448号土拡墓
458号土拡墓
459号土拡墓
460号土拡墓
ベンガラ
450号土拡墓
447号土拡墓
小玉
446号土拡墓
J－3－El
451号土拡墓
452号土拡墓
445号土拡墓
441号土拡墓
440号土拡墓
439号土拡墓
F
F′ 47.00m
458号土拡墓
459号土拡墓
第1層 褐色土、黄白色土混入
第2層 褐色土、黄白色粘土粒子混入
第3層 黄褐色土
第1層 暗褐色土、炭化物混入
第2層 黄褐色土
G
G′ 47.10m
460号土拡墓
第1層 暗褐色土、黄白色ブロック混入
第2層 黄褐色土
第3層 黄白色土
H
H′ 47.10m
451号土拡墓
452号土拡墓
第1層 褐色土、ロームブロック混入
第2層 黄褐色土
I
I′ 47.30m
439号土拡墓
第1層 褐色土
第2層 暗黄褐色土
第3層 黄褐色土
第4層 暗褐色土
A
A′ 47.00m
446号土拡墓
暗赤褐色土、炭化物混入
B
B′ 47.00m
D
D′ 47.60m
450号土拡墓
攪乱
第1層 暗褐色土、炭化物混入
第2層 黄褐色土
第3層 褐色土
J
J′ 47.30m
441号土拡墓
第1層 褐色土、黒色土混入
第2層 黄褐色土
第3層 黄褐色土、ロームブロック混入
第4層 暗褐色土、黄褐色土ブロック混入
第5層 暗黄褐色土
453号土拡墓
457号土拡墓
456号土拡墓
453号土拡墓
第1層 褐色土
第2層 黄灰白色土、褐色土混入
456号土拡墓
第1層 暗褐色土、炭化物・黄灰白色土ブロック混入
457号土拡墓
第1層 褐色土、黄灰白色土ブロック混入
第2層 暗褐色土
C
C′ 47.00m
E
E′ 47.10m
445号土拡墓
第1層 黄褐色土、ロームブロック混入
第2層 褐色土、ロームブロック混入
457号土拡墓
456号土拡墓
455号土拡墓
455号土拡墓
第1層 暗黄灰白色土、黄褐色土ブロック混入
第2層 暗黄灰白色土、灰白色土ブロック混入
456号土拡墓
第2層 褐色土、黄褐色粘土ブロック混入
0
1 m

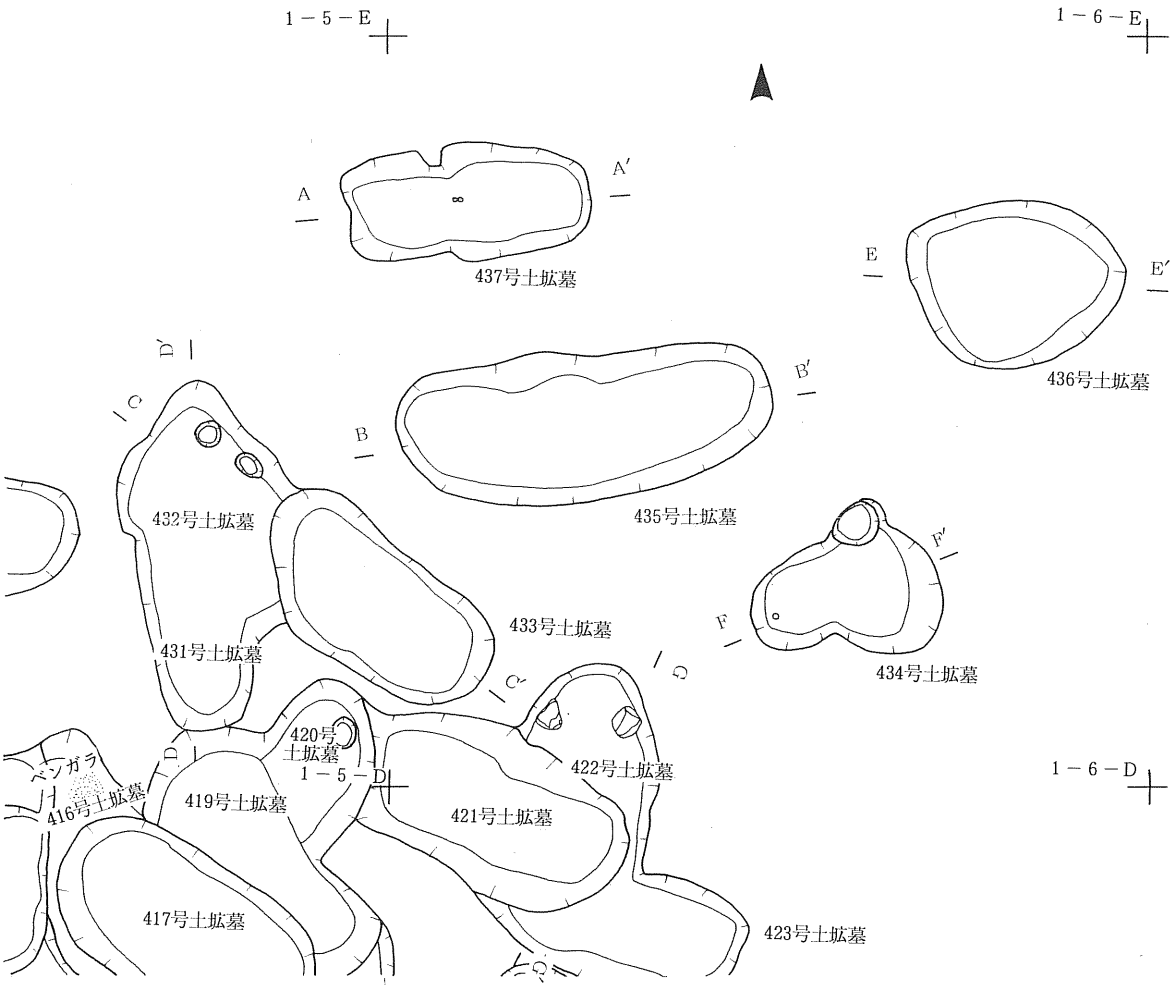
第67図 土拡墓

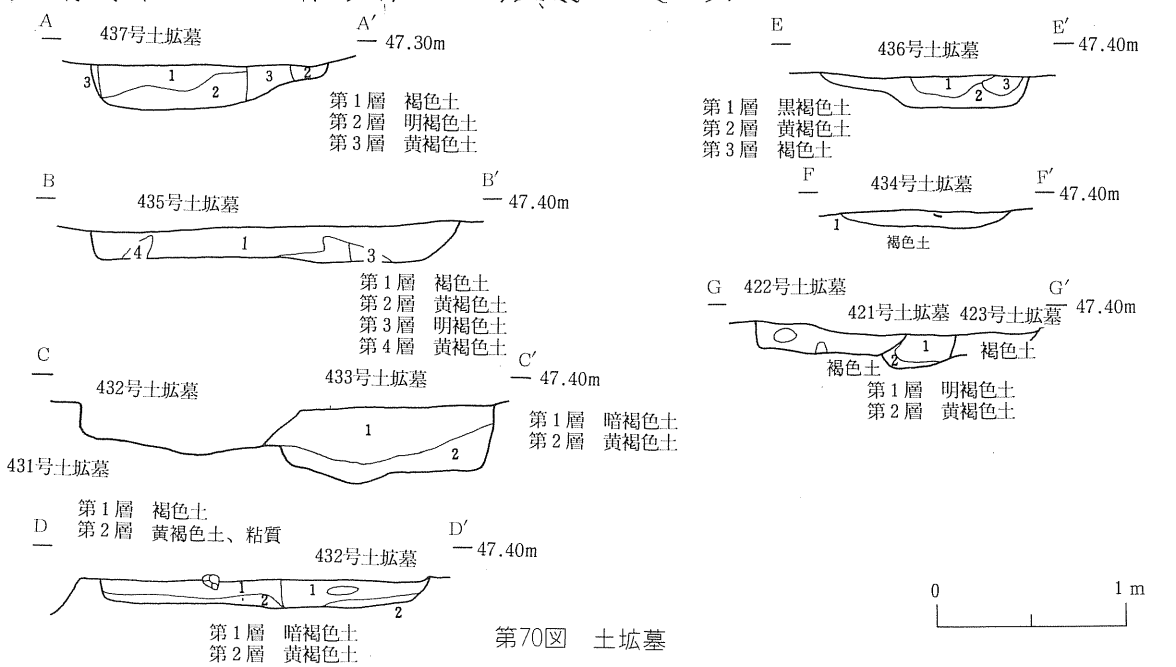

A
A′
459号土拡墓
10号住居跡
460号土拡墓
1－4－E
452号土拡墓
1－5－E
A
A′ 47.10m
459号土拡墓
1
2
第1層　暗褐色土、炭化物混入
第2層　黄褐色土
B
B′ 47.30m
442号土拡墓
1
第1層　褐色土、ロームブロック・炭化物混入
D′
C
441号土拡墓
440号土拡墓
439号土拡墓
D
B′
442号土拡墓
B
C
C′ 47.30m
441号土拡墓
442号土拡墓
1
1
2
4
429号土拡墓
441号土拡墓
第1層　褐色土、黒色土微量混入
第4層　暗褐色土、黄褐色土・ブロック混入
442号土拡墓
第1層　褐色土、ロームブロック・炭化物混入
第2層　暗褐色土
D
D′ 47.30m
441号土拡墓
1
2
5
4
3
第1層　褐色土、黒色土微量混入
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、ロームブロック混入
第4層　暗褐色土、黄褐色土・ブロック混入
第5層　暗黄褐色土
0
1 m

第68図　土拡墓

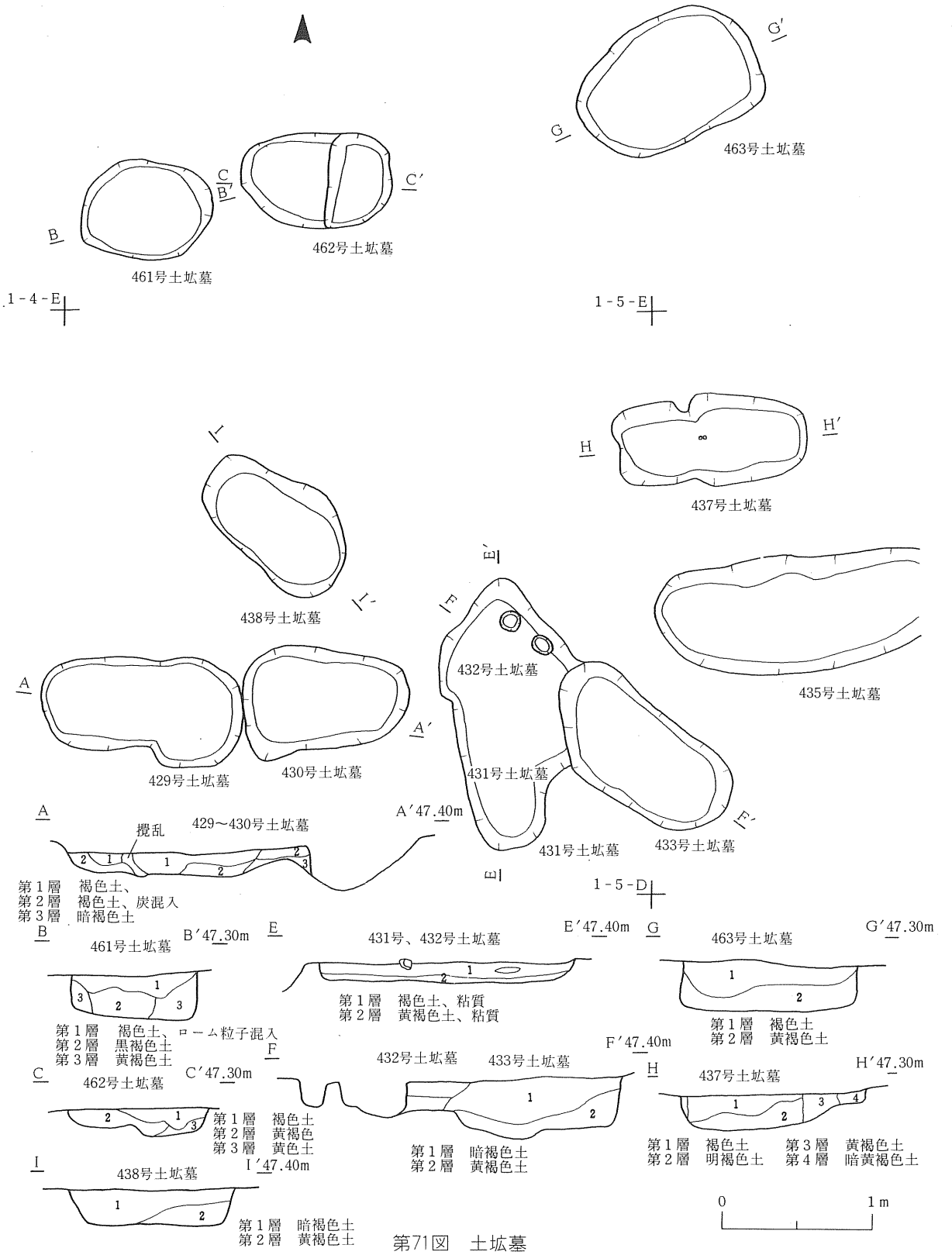

417号土拡墓
418号土拡墓
412号土拡墓
423号土拡墓
424号土拡墓
411号土拡墓
408号土拡墓
396号土拡墓
ベンガラ
407号土拡墓
397号土拡墓
395号土拡墓
410号土拡墓
406号土拡墓
404号土拡墓
1－5－C
409号土拡墓
405号土拡墓
394号土拡墓
403号土拡墓
389号土拡墓
402号土拡墓
A
A′ 47.50m
402号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭・ローム混入
第2層　暗褐色土　第3層　暗褐色土
E
408号土拡墓　407号土拡墓
E′ 47.50m
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
410号土拡墓
第1層　褐色土、炭混入
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　褐色土
B
B′ 47.40m
412号土拡墓　411号土拡墓
409号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土、炭・ローム小ブロック混入
第3層　褐色土
412号土拡墓
第1層　褐色土
411号土拡墓
第1層　黄褐色土、ローム混入
第2層　黒褐色土
F
409号土拡墓　410号土拡墓
F′ 47.40m
G
G′ 47.50m
389号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　黄褐色土、粘質
C
C′ 47.50m
405号土拡墓　406号土拡墓　407号土拡墓
撹乱
405号土拡墓
406号土拡墓
第1層　明褐色土
394号土拡墓
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土
第3層　暗褐色土、ローム粒子混入
第1層　黄褐色土
第2層　明褐色土、ローム混入
H
H′ 47.50m
403号土拡墓　撹乱　404号土拡墓　406号土拡墓　407号土拡墓
黄褐色土
第1層　黄褐色土
第2層　褐色土
第1層　褐色土
第2層　褐色土、ローム混入
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、ローム混入
第3層　黄褐色土
第4層　明褐色土
第5層　明褐色土、粘質
D
D′ 47.50m
397号土拡墓　395号土拡墓　394号土拡墓
褐色土、炭・ローム混入
S
397号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　乳褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　乳黄色土
第5層　黄褐色土
第6層　乳黄色土
第7層　白色粘土
第8層　褐色土、白色土混入
0　1 m

第69図　土坑墓

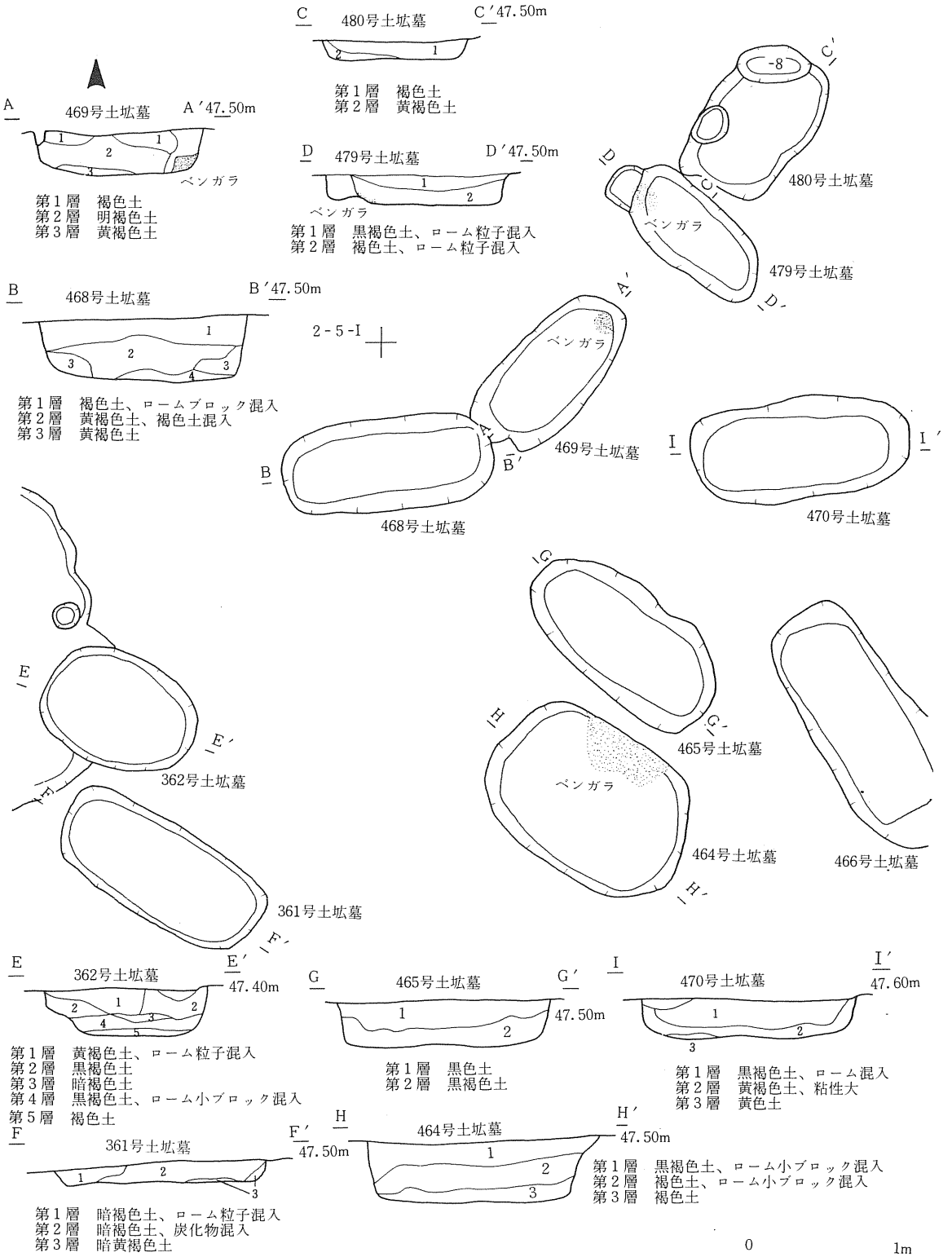

1－5－E
1－6－E
A
A′
437号土拡墓
E
E′
436号土拡墓
B
B′
435号土拡墓
D
D′
C
C′
432号土拡墓
431号土拡墓
433号土拡墓
F
F′
434号土拡墓
G
G′
420号
土拡墓
1－5－D
ベンガラ
416号土拡墓
419号土拡墓
421号土拡墓
422号土拡墓
1－6－D
417号土拡墓
423号土拡墓


A
437号土拡墓
A′
47.30m
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
第3層　黄褐色土
E
436号土拡墓
E′
47.40m
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色土
B
435号土拡墓
B′
47.40m
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　明褐色土
第4層　黄褐色土
F
434号土拡墓
F′
47.40m
褐色土
G
422号土拡墓
G′
421号土拡墓
423号土拡墓
47.40m
褐色土
褐色土
第1層　明褐色土
第2層　黄褐色土
C
432号土拡墓
433号土拡墓
C′
47.40m
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
431号土拡墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土、粘質
D
D′
432号土拡墓
47.40m
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
0
1 m

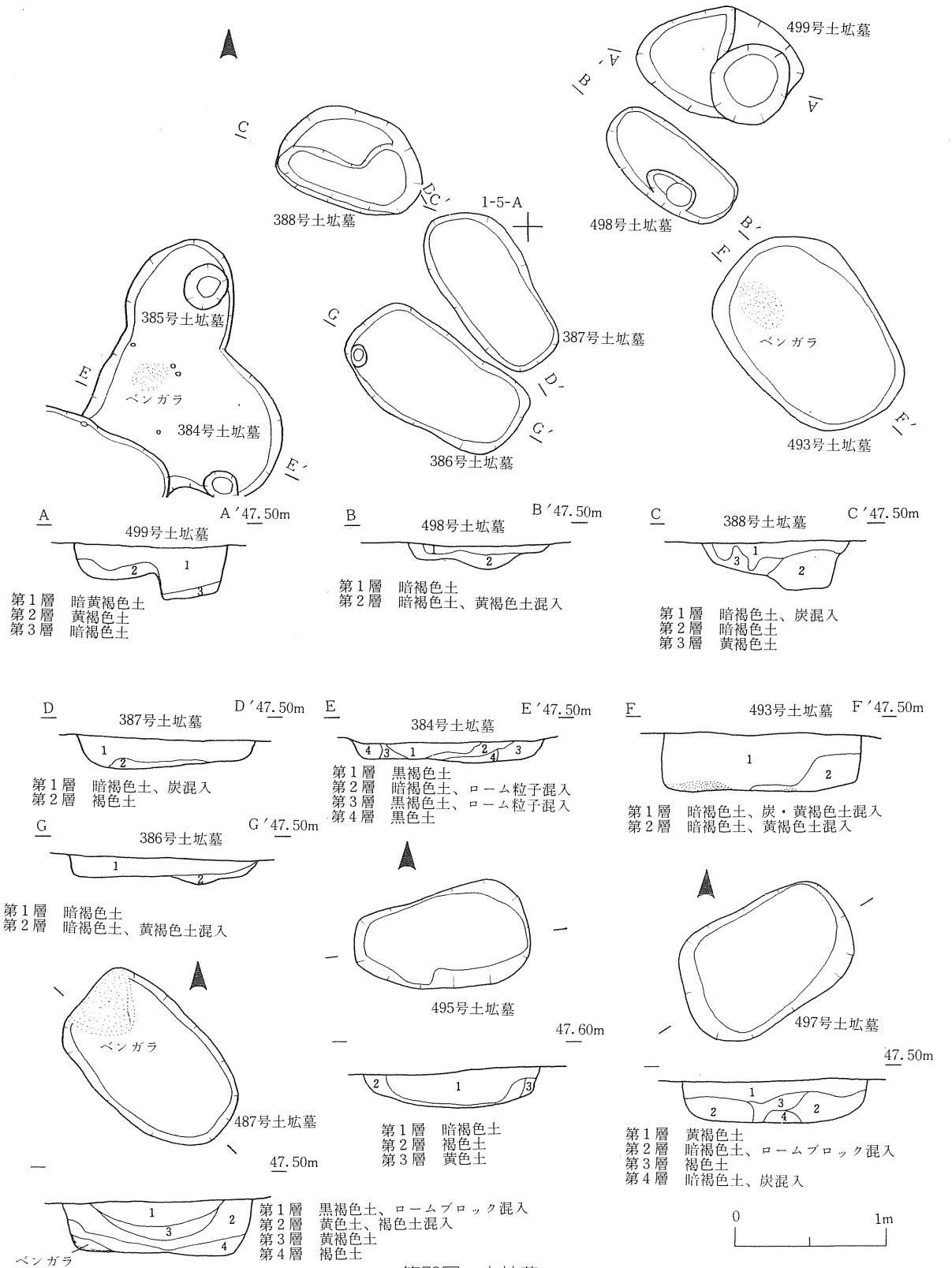
第70図　土拡墓


461号土坑墓
462号土坑墓
463号土坑墓
1-4-E
1-5-E
437号土坑墓
438号土坑墓
435号土坑墓
429号土坑墓
430号土坑墓
432号土坑墓
431号土坑墓
433号土坑墓
A′47.40m
429～430号土坑墓
撹乱
第1層　褐色土、
第2層　褐色土、炭混入
第3層　暗褐色土
1-5-D
B′47.30m
461号土坑墓
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土
第3層　黄褐色土
E′47.40m
431号、432号土坑墓
第1層　褐色土、粘質
第2層　黄褐色土、粘質
G′47.30m
463号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
C′47.30m
462号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色
第3層　黄色土
F′47.40m
432号土坑墓
433号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
H′47.30m
437号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　暗黄褐色土
I′47.40m
438号土坑墓
第1層　暗褐色土
第2層　黄褐色土
0
1m

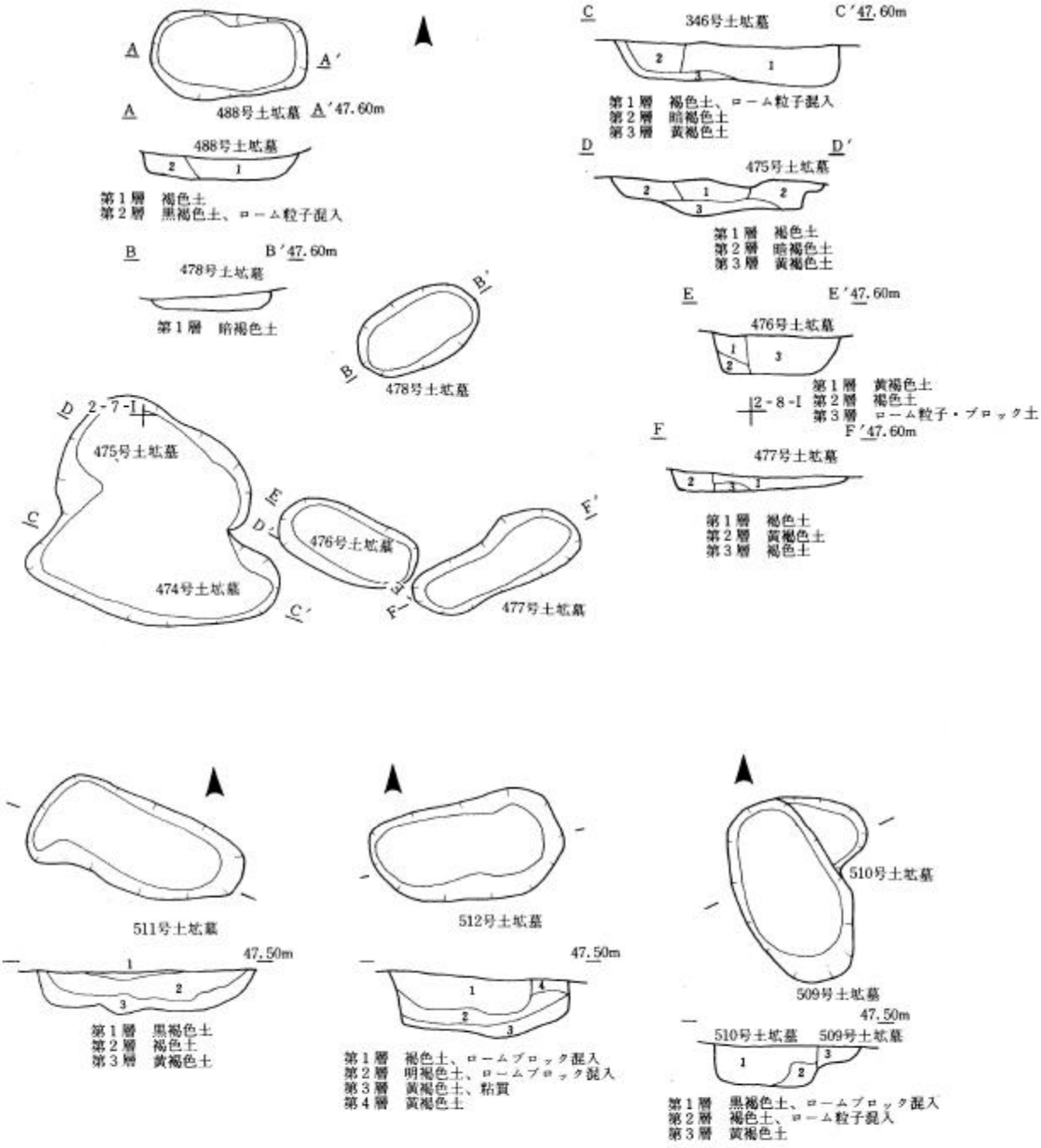
第71図　土坑墓


C
480号土拡墓
C′47.50m
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
A
469号土拡墓
A′47.50m
ベンガラ
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
第3層　黄褐色土
D
479号土拡墓
D′47.50m
ベンガラ
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土、ローム粒子混入
480号土拡墓
ベンガラ
479号土拡墓
B
468号土拡墓
B′47.50m
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　黄褐色土、褐色土混入
第3層　黄褐色土
2-5-I
ベンガラ
469号土拡墓
468号土拡墓
I
I′
470号土拡墓
E
E′
362号土拡墓
361号土拡墓
F
F′
G
G′
465号土拡墓
H
H′
ベンガラ
464号土拡墓
466号土拡墓
E
362号土拡墓
E′
47.40m
第1層　黄褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土
第3層　暗褐色土
第4層　黒褐色土、ローム小ブロック混入
第5層　褐色土
G
465号土拡墓
G′
47.50m
第1層　黒色土
第2層　黒褐色土
I
470号土拡墓
I′
47.60m
第1層　黒褐色土、ローム混入
第2層　黄褐色土、粘性大
第3層　黄色土
F
361号土拡墓
F′
47.50m
第1層　暗褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土、炭化物混入
第3層　暗黄褐色土
H
464号土拡墓
H′
47.50m
第1層　黒褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　褐色土
0
1m

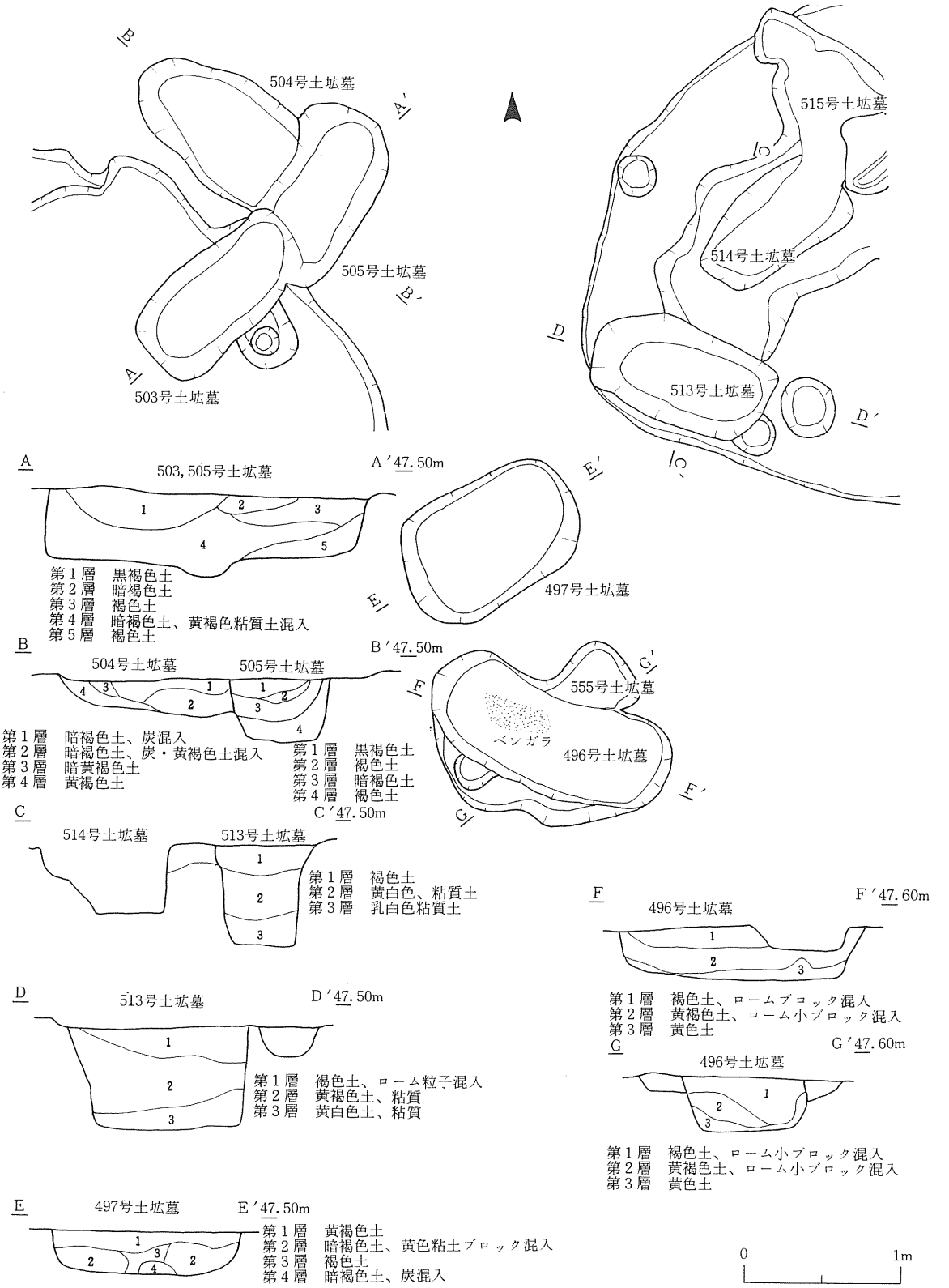
第72図　土拡墓


499号土拡墓
388号土拡墓
498号土拡墓
1-5-A
385号土拡墓
387号土拡墓
ベンガラ
384号土拡墓
386号土拡墓
493号土拡墓
A
A′47.50m
499号土拡墓
第1層　暗黄褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　暗褐色土
B
B′47.50m
498号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　暗褐色土、黄褐色土混入
C
C′47.50m
388号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
D
D′47.50m
387号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　褐色土
E
E′47.50m
384号土拡墓
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土、ローム粒子混入
第3層　黒褐色土、ローム粒子混入
第4層　黒色土
F
F′47.50m
493号土拡墓
第1層　暗褐色土、炭・黄褐色土混入
第2層　暗褐色土、黄褐色土混入
G
G′47.50m
386号土拡墓
第1層　暗褐色土
第2層　暗褐色土、黄褐色土混入
ベンガラ
487号土拡墓
47.50m
第1層　黒褐色土、ロームブロック混入
第2層　黄色土、褐色土混入
第3層　黄褐色土
第4層　褐色土
ベンガラ
495号土拡墓
47.60m
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄色土
497号土拡墓
47.50m
第1層　黄褐色土
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土
第4層　暗褐色土、炭混入
0
1m

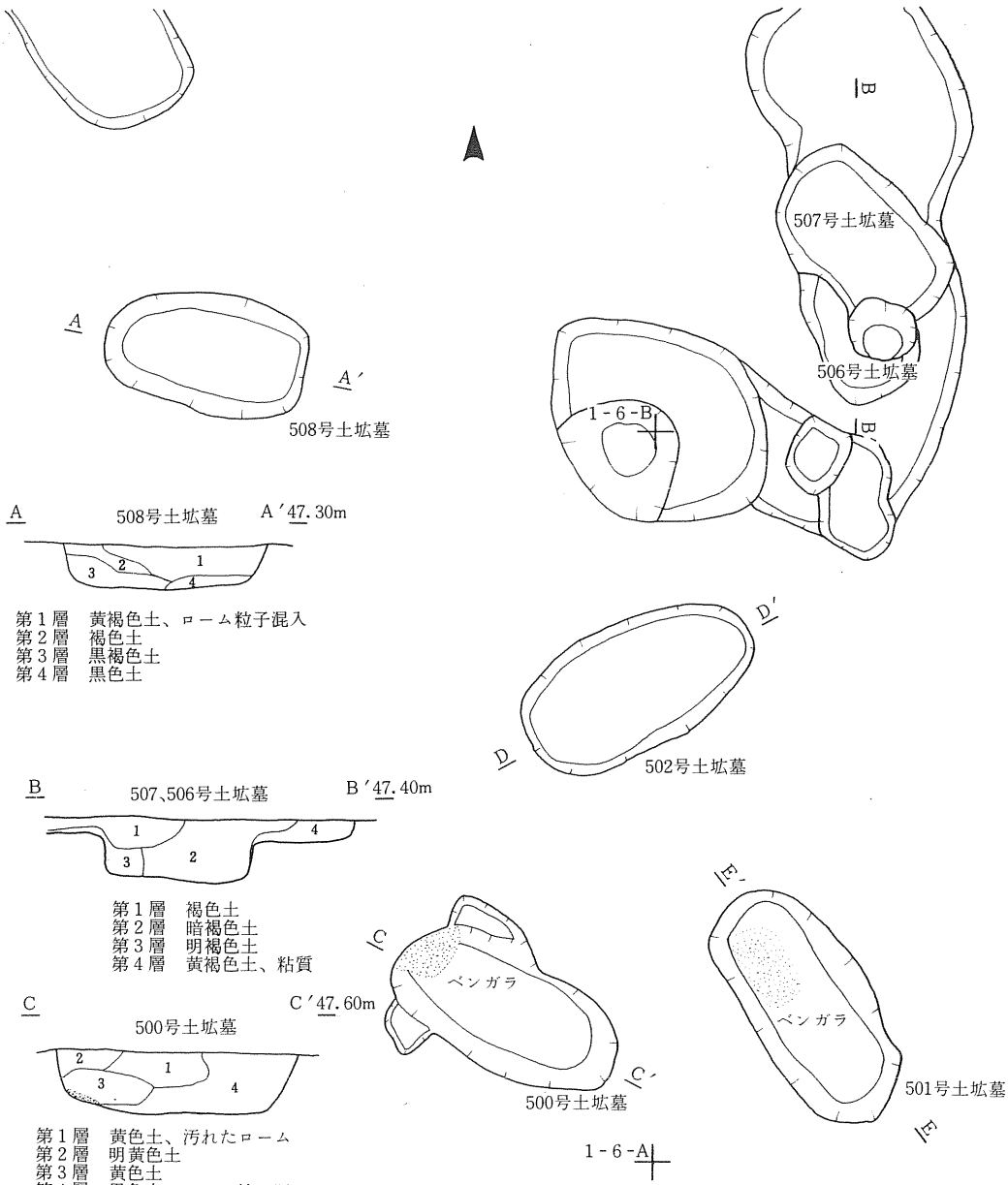
第73図　土拡墓


A
A′
488号土坑墓
A′47.60m
488号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土、ローム粒子混入
B
B′47.60m
478号土坑墓
第1層　暗褐色土
478号土坑墓
2-7-I
475号土坑墓
474号土坑墓
476号土坑墓
477号土坑墓
C
346号土坑墓
C′47.60m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
D
D′
475号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
E
E′47.60m
476号土坑墓
第1層　黄褐色土
第2層　褐色土
第3層　ローム粒子・ブロック土
2-8-I
F
F′47.60m
477号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色土
511号土坑墓
47.50m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
512号土坑墓
47.50m
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　明褐色土、ロームブロック混入
第3層　黄褐色土、粘質
第4層　黄褐色土
510号土坑墓
509号土坑墓
47.50m
510号土坑墓　509号土坑墓
第1層　黒褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、ローム粒子混入
第3層　黄褐色土
0
1m

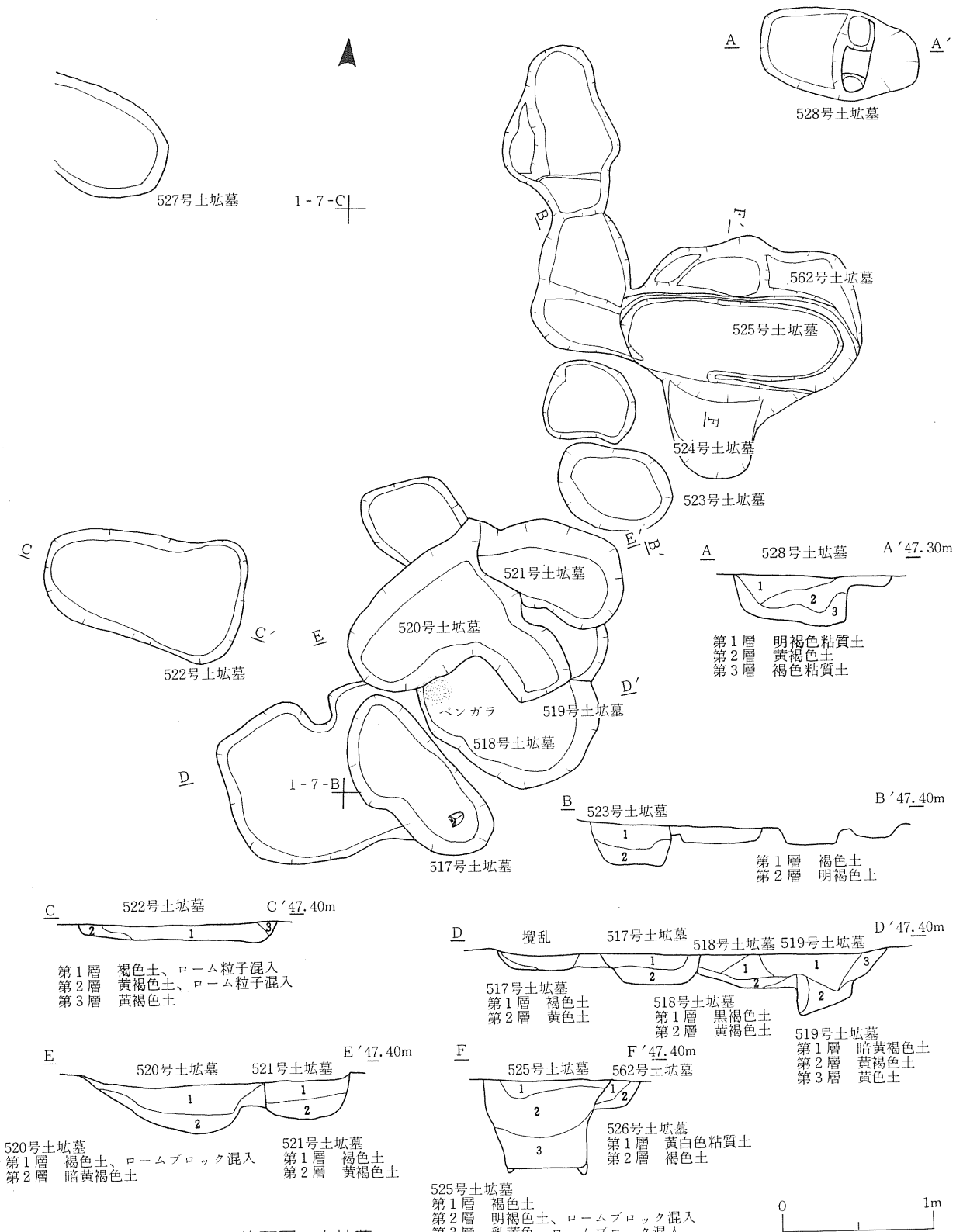
第74図　土坑墓


504号土坑墓
505号土坑墓
503号土坑墓
515号土坑墓
514号土坑墓
513号土坑墓
497号土坑墓
555号土坑墓
ベンガラ
496号土坑墓
A
503, 505号土坑墓
A′47.50m
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　褐色土
第4層　暗褐色土、黄褐色粘質土混入
第5層　褐色土
B
504号土坑墓
505号土坑墓
B′47.50m
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、炭・黄褐色土混入
第3層　暗黄褐色土
第4層　黄褐色土
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土
第4層　褐色土
C
514号土坑墓
513号土坑墓
C′47.50m
第1層　褐色土
第2層　黄白色、粘質土
第3層　乳白色粘質土
D
513号土坑墓
D′47.50m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土、粘質
第3層　黄白色土、粘質
E
497号土坑墓
E′47.50m
第1層　黄褐色土
第2層　暗褐色土、黄色粘土ブロック混入
第3層　褐色土
第4層　暗褐色土、炭混入
F
496号土坑墓
F′47.60m
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　黄褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　黄色土
G
496号土坑墓
G′47.60m
第1層　褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　黄褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　黄色土
0
1m

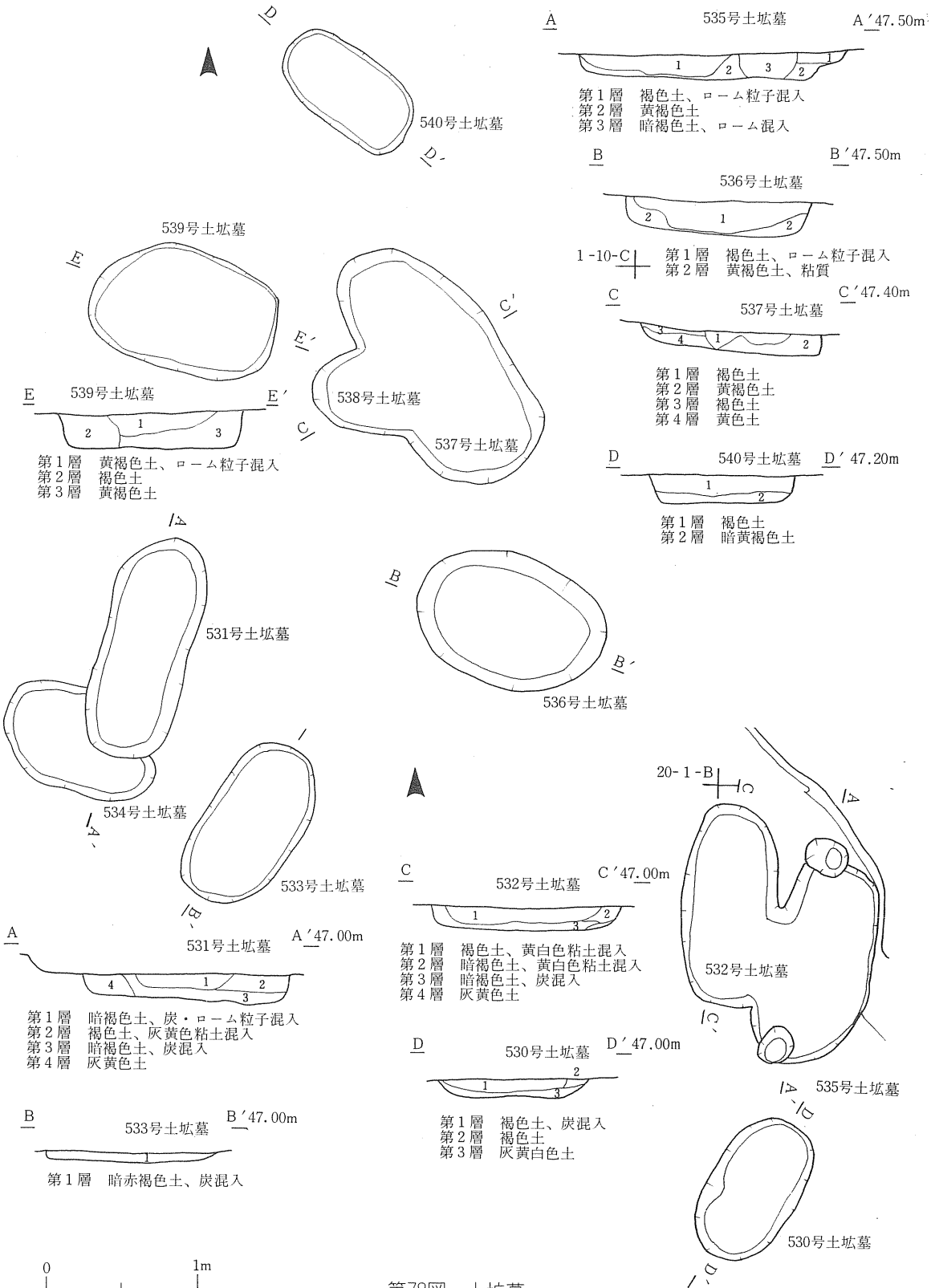
第75図　土坑墓


507号土坑墓
506号土坑墓
508号土坑墓
502号土坑墓
500号土坑墓
501号土坑墓
ベンガラ
1-6-B
1-6-A
A
A′
B
B′
C
C′
D
D′
E
E′
508号土坑墓
A′47.30m
第1層　黄褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
第3層　黒褐色土
第4層　黒色土
507、506号土坑墓
B′47.40m
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土
第3層　明褐色土
第4層　黄褐色土、粘質
500号土坑墓
C′47.60m
第1層　黄色土、汚れたローム
第2層　明黄色土
第3層　黄色土
第4層　黒色土、ローム粒子混入
502号土坑墓
D′4760m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土
第3層　黄色土
第4層　褐色土
501号土坑墓
E′47.60m
第1層　暗褐色土、炭・焼土混入
第2層　暗褐色土、黄褐色粘質土ブロック混入
第3層　褐色土
0
1m

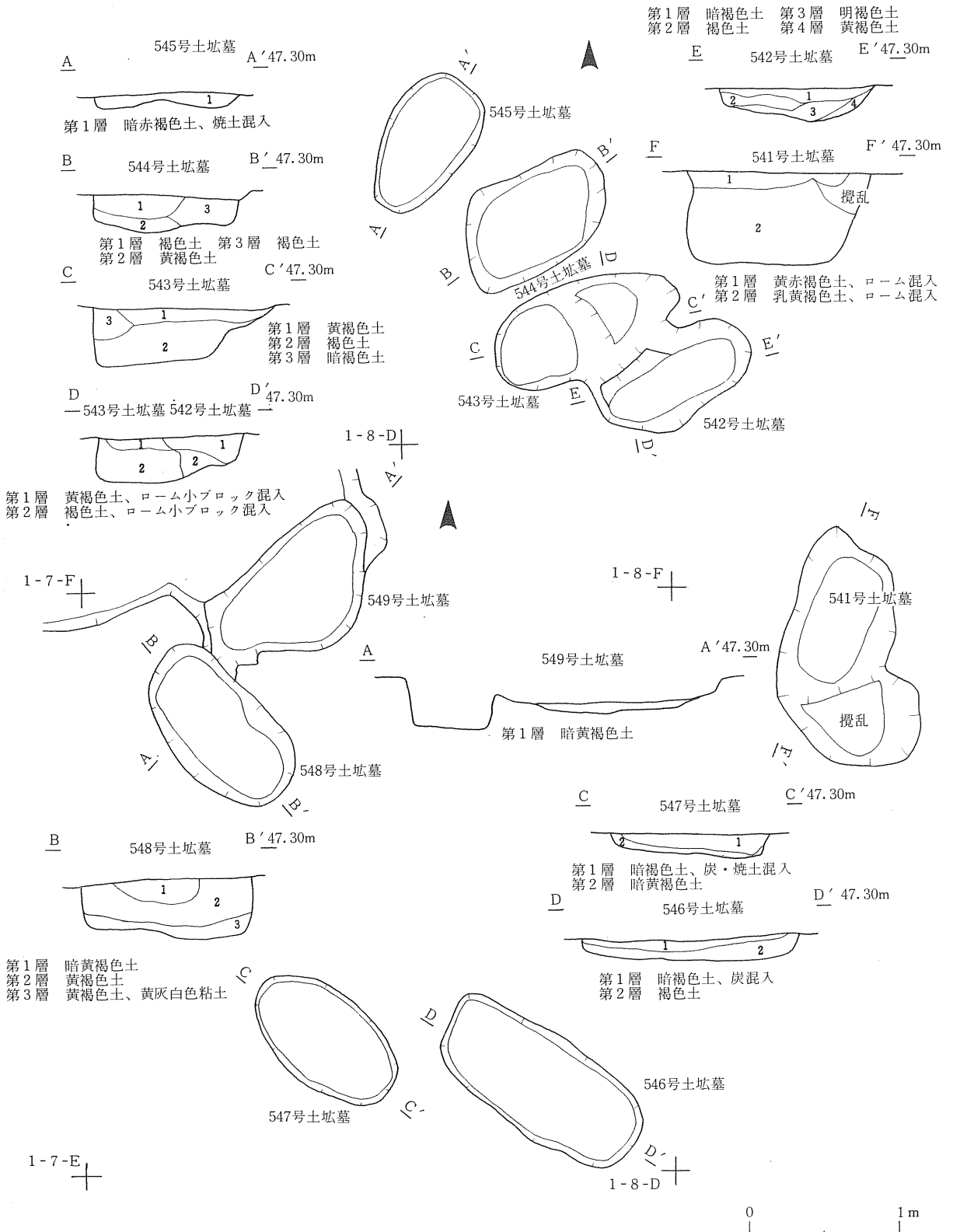
第76図　土坑墓


A
A′
528号土坑墓
527号土坑墓
1-7-C
B
B′
F
F′
562号土坑墓
525号土坑墓
524号土坑墓
523号土坑墓
E′
C
C′
E
521号土坑墓
520号土坑墓
522号土坑墓
ベンガラ
519号土坑墓
518号土坑墓
D′
D
1-7-B
517号土坑墓
A
528号土坑墓
A′47.30m
第1層　明褐色粘質土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色粘質土
B
523号土坑墓
B′47.40m
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
C
522号土坑墓
C′47.40m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土、ローム粒子混入
第3層　黄褐色土
D
撹乱
517号土坑墓
518号土坑墓
519号土坑墓
D′47.40m
517号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄色土
518号土坑墓
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土
519号土坑墓
第1層　暗黄褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　黄色土
E
520号土坑墓
521号土坑墓
E′47.40m
520号土坑墓
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗黄褐色土
521号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
F
525号土坑墓
562号土坑墓
F′47.40m
526号土坑墓
第1層　黄白色粘質土
第2層　褐色土
525号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　明褐色土、ロームブロック混入
第3層　乳黄色、ロームブロック混入
0
1m

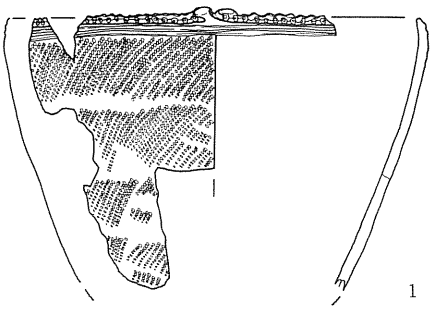
第77図　土坑墓

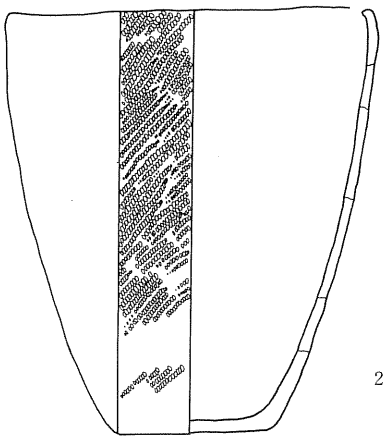

540号土坑墓
535号土坑墓
A
A′47.50m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土
第3層　暗褐色土、ローム混入
B
B′47.50m
536号土坑墓
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土、粘質
1-10-C
C
C′47.40m
537号土坑墓
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　褐色土
第4層　黄色土
D
540号土坑墓
D′47.20m
第1層　褐色土
第2層　暗黄褐色土
539号土坑墓
E
E′
538号土坑墓
537号土坑墓
第1層　黄褐色土、ローム粒子混入
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
531号土坑墓
534号土坑墓
533号土坑墓
536号土坑墓
A′47.00m
第1層　暗褐色土、炭・ローム粒子混入
第2層　褐色土、灰黄色粘土混入
第3層　暗褐色土、炭混入
第4層　灰黄色土
B′47.00m
第1層　暗赤褐色土、炭混入
20-1-B
532号土坑墓
C′47.00m
第1層　褐色土、黄白色粘土混入
第2層　暗褐色土、黄白色粘土混入
第3層　暗褐色土、炭混入
第4層　灰黄色土
530号土坑墓
D′47.00m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　褐色土
第3層　灰黄白色土
535号土坑墓
530号土坑墓
0
1m

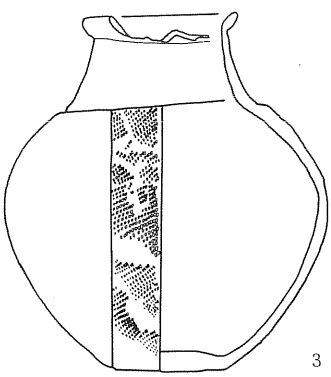
第78図　土坑墓

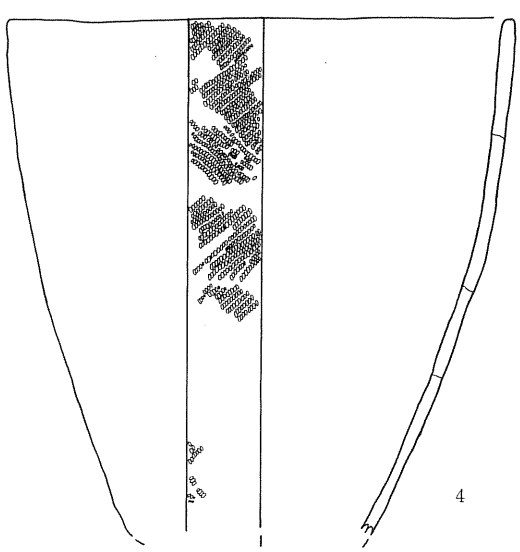

545号土坑墓
A
A′47.30m
第1層　暗赤褐色土、焼土混入
544号土坑墓
B
B′47.30m
第1層　褐色土　第3層　褐色土
第2層　黄褐色土
543号土坑墓
C
C′47.30m
第1層　黄褐色土
第2層　褐色土
第3層　暗褐色土
D
D′47.30m
543号土坑墓 542号土坑墓
第1層　黄褐色土、ローム小ブロック混入
第2層　褐色土、ローム小ブロック混入
第1層　暗褐色土　第3層　明褐色土
第2層　褐色土　第4層　黄褐色土
E
E′47.30m
542号土坑墓
F
F′47.30m
541号土坑墓
撹乱
第1層　黄赤褐色土、ローム混入
第2層　乳黄褐色土、ローム混入
544号土坑墓
543号土坑墓
542号土坑墓
1-8-D
1-7-F
1-8-F
549号土坑墓
548号土坑墓
541号土坑墓
撹乱
第1層　暗黄褐色土
547号土坑墓
C′47.30m
第1層　暗褐色土、炭・焼土混入
第2層　暗黄褐色土
546号土坑墓
D′47.30m
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　褐色土
548号土坑墓
B′47.30m
第1層　暗黄褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　黄褐色土、黄灰白色粘土
547号土坑墓
546号土坑墓
1-7-E
1-8-D
0
1m

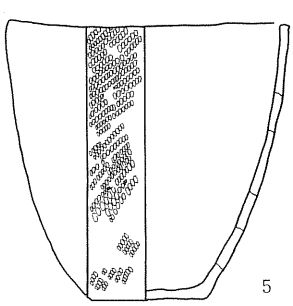
第79図　土坑墓

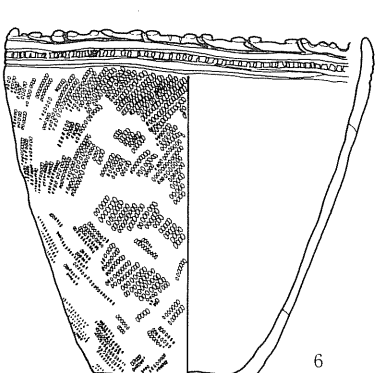


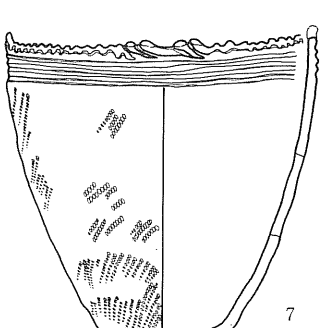












1　41号土坑墓
2　79号土坑墓
3　86号土坑墓
4　90号土坑墓
5　161号土坑墓
6・7　277号土坑墓

0　10cm

第80図　遺構内出土土器

土坑（第96～114図）

土坑は調査区域全域で検出された。ここでは攪乱穴、規模、掘り方の不明瞭なものを除き、１号～168号までを図示した。詳細については表としてまとめた。

土坑出土遺物

28号土坑出土遺物（第120図）

石器：40は先端・基部が欠損する石鏃である。石質は頁岩である。

30号土坑出土遺物（第120図）

石器：41は有茎の石鏃である。石質は頁岩である。

37号土坑出土遺物（第115・120図）

土器：78～88は覆土から出土した。78～80・83は深鉢形土器、その他は浅鉢形土器である。78・83は小波状口縁、79・80は口縁部に２個一対の突起がみられ、体部には沈線文を施している。81・82は口縁部に連続刻目文がある。84～88は口縁部に１～２条の沈線を施している。80～88の体部には雲形文が施される。

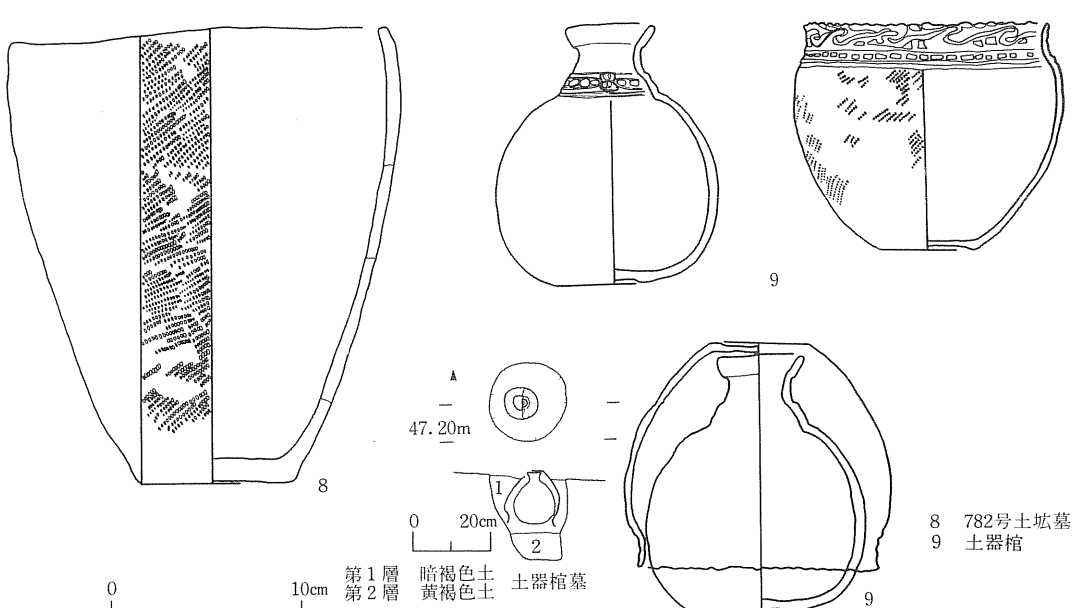
石器：42・43は有茎の石鏃である。石質は頁岩である。44は磨石である。

40号土坑出土遺物（第115図）

土器：89・90は壺形土器の破片である。

47号土坑出土遺物（第115図）

土器：91は地文が縄文だけの深鉢形土器片である。



第81図　遺構内出土土器　（模式図）

10〜13　9号土拡墓
14　27号土拡墓
15、16　31号土拡墓
17　46号土拡墓
18、19　47号土拡墓
20　80号土拡墓
21〜28　86号土拡墓
29〜34　90号土拡墓
35〜37　95号土拡墓

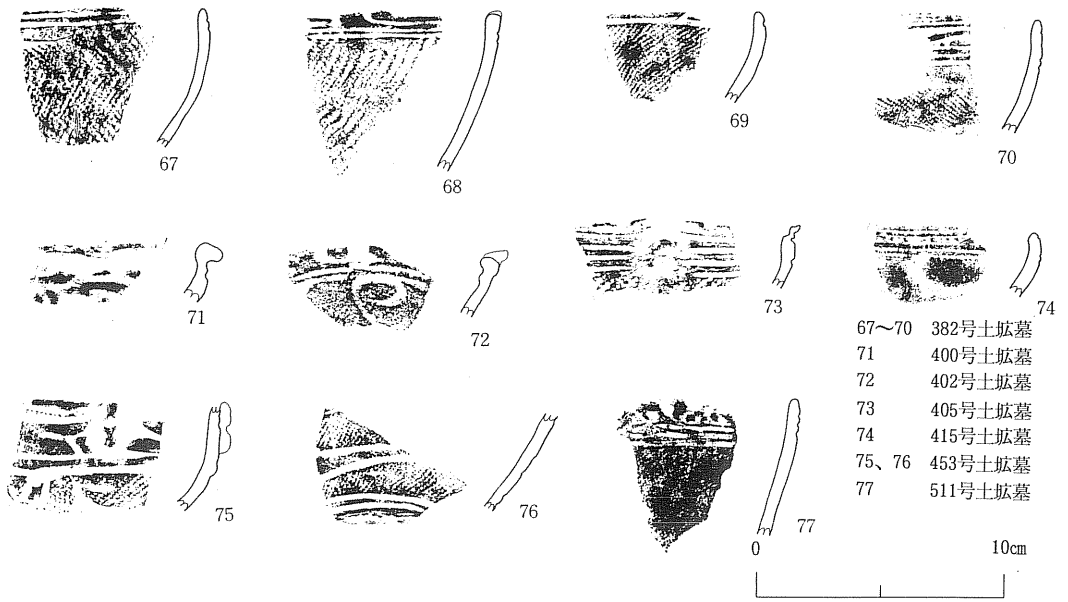
0　10cm

第82図　遺構内出土器

38	96号土拡墓	48	196号土拡墓	60、61	326号土拡墓
39～41	100号土拡墓	49、50	200号土拡墓	62	328号土拡墓
42～44	103号土拡墓	51、52	227号土拡墓	63～65	331号土拡墓
45	106号土拡墓	53	231号土拡墓	66	334号土拡墓
46	164号土拡墓	54～58	285号土拡墓		
47	184号土拡墓	59	289号土拡墓		

0　10cm

第83図　遺構内出土土器



第84図　遺構内出土器

48号土坑出土遺物（第115・120図）

土器：100は鉢形土器である。口縁に突起を付し、頸部に連続刻目文がまわる。その下に2条の沈線を施している。101・102は浅鉢形土器である。口縁部・体部に2～3条の沈線をめぐらし、その間に磨消し手法を用いた雲形文が施されている。

石器：45は大形扁平打製石斧である。基部に対して直角に刃部を作り出し、刃部は半円状を呈する。

56号土坑出土遺物（第115図）

土器：104は浅鉢形土器の体部破片である。細い2条の沈線間に雲形文が施される。

57号土坑出土遺物（第115図）

土器：104は鉢形土器である。小波状口縁をなし、2条の沈線がめぐっている。

58号土坑出土遺物（第115図）

土器：105・106は深鉢形土器である。口縁部は磨消し無文帯で、105は口縁に2個一対の小突起がつく。107は壺形土器である。3条の隆線文がめぐっている。沈線間に末端の咬み合わない羊歯状文が退化し、平行線化した形のものが施されている。

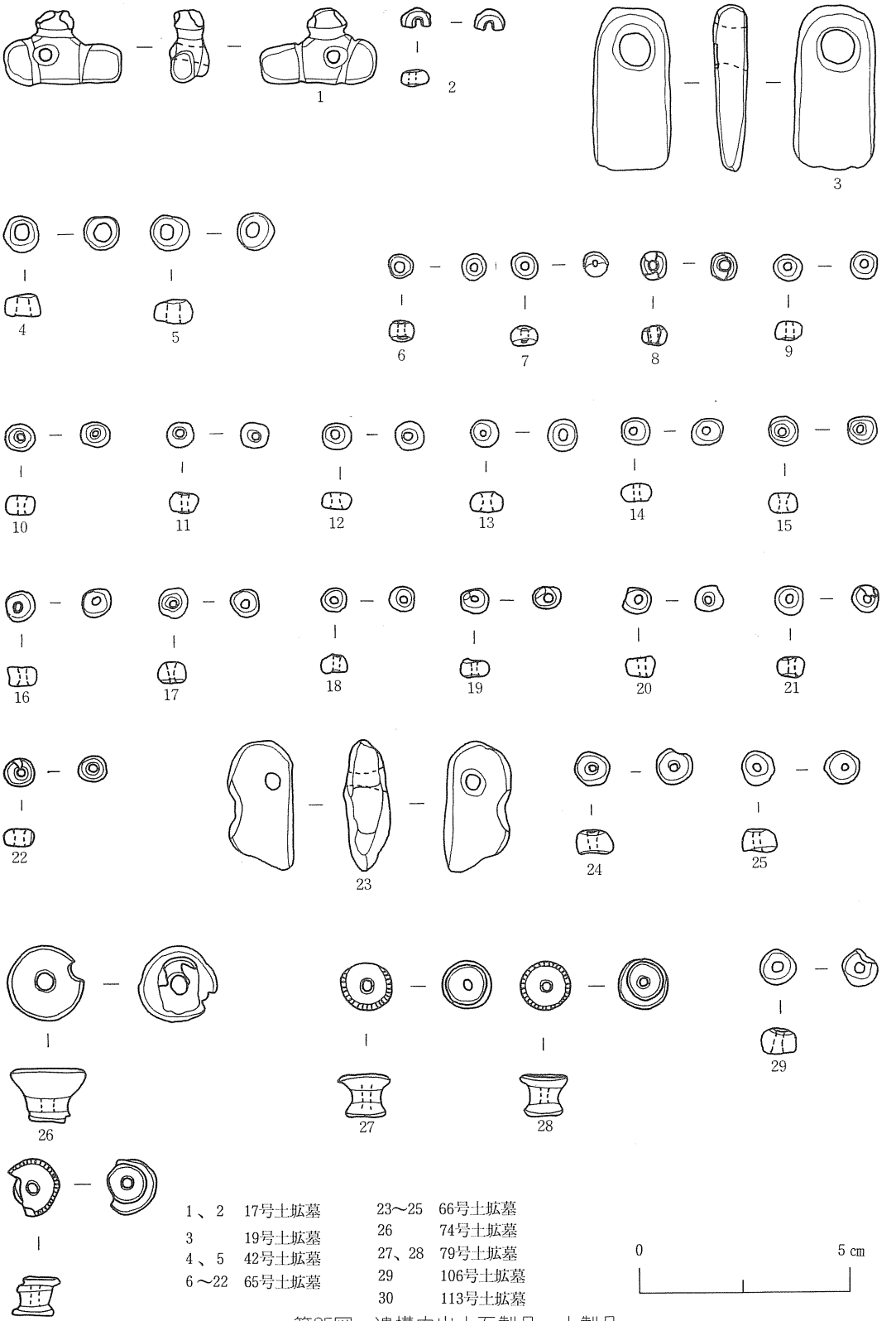
73号土坑出土遺物（第116図）

土器：110～113は鉢形土器である。平行沈線文、連続刻目文などがみられる。114～116は浅鉢形土器である。2～3条の平行沈線文を施し、間に刻目、雲形文、三叉文を施している。

75号土坑出土遺物（第116図）

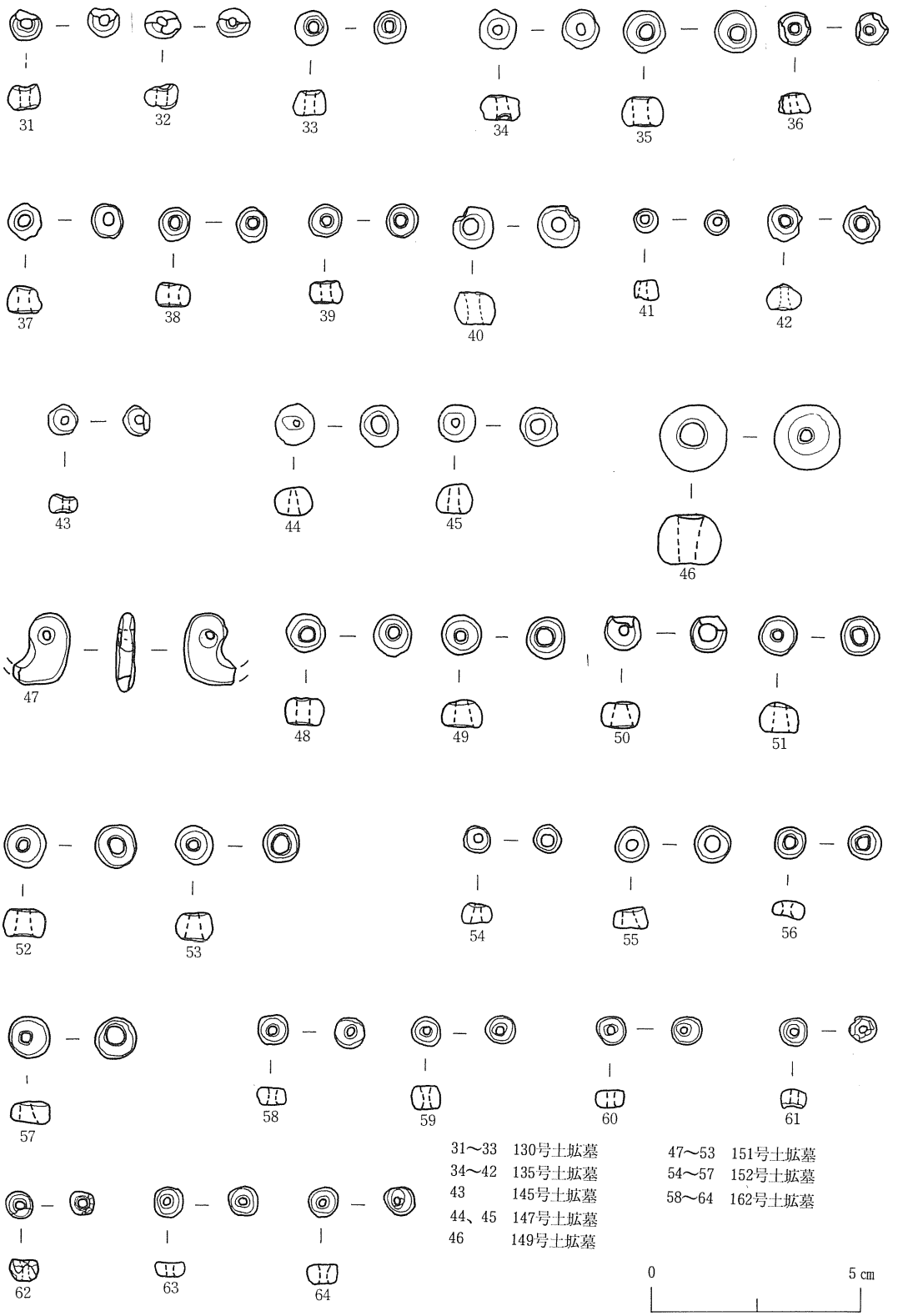
土器：117・118は浅鉢形土器である。沈線間には連続刻目文がめぐっている。

77号土坑出土遺物（第120図）

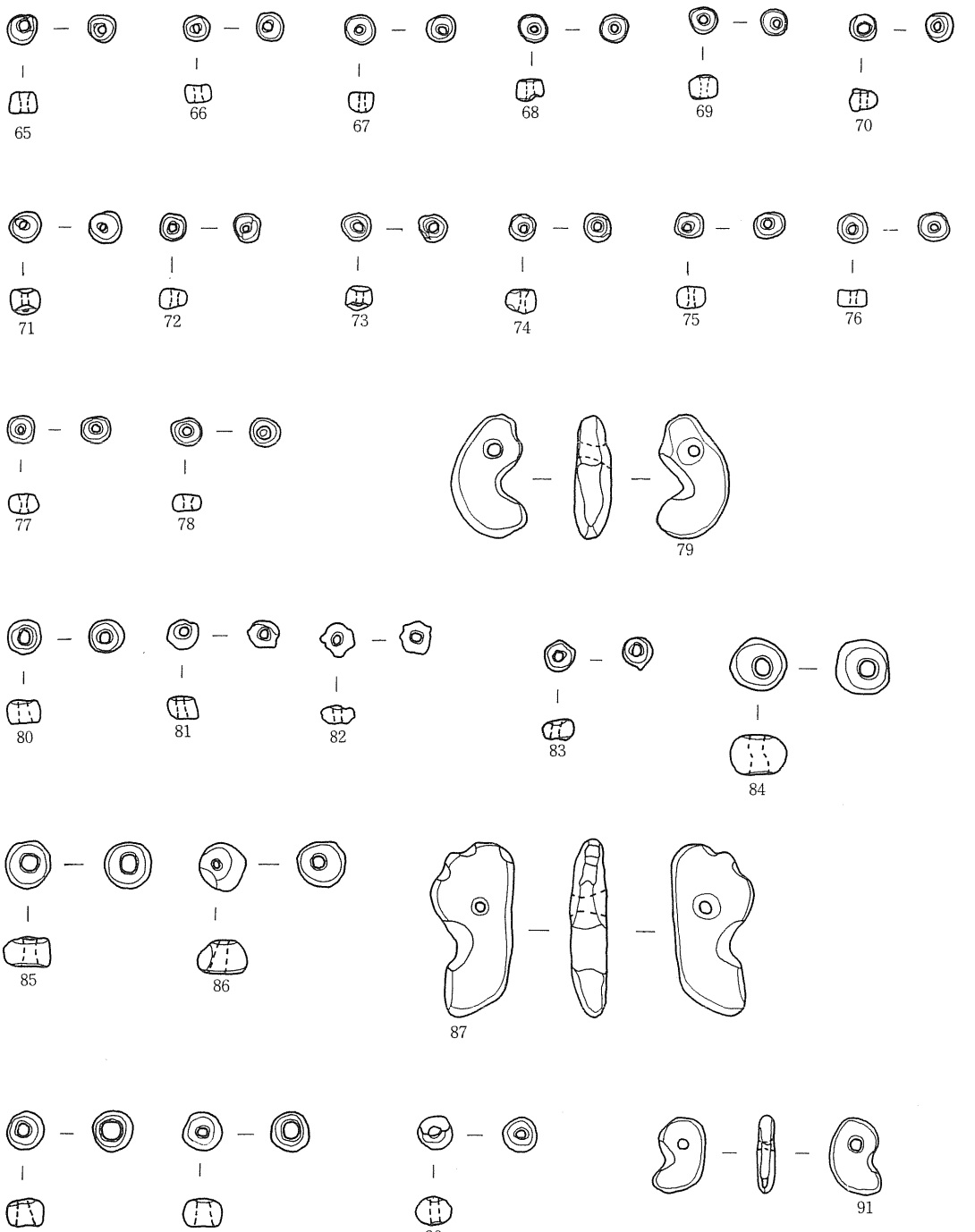


1、2　17号土拡墓
3　19号土拡墓
4、5　42号土拡墓
6～22　65号土拡墓
23～25　66号土拡墓
26　74号土拡墓
27、28　79号土拡墓
29　106号土拡墓
30　113号土拡墓

第85図　遺構内出土石製品・土製品



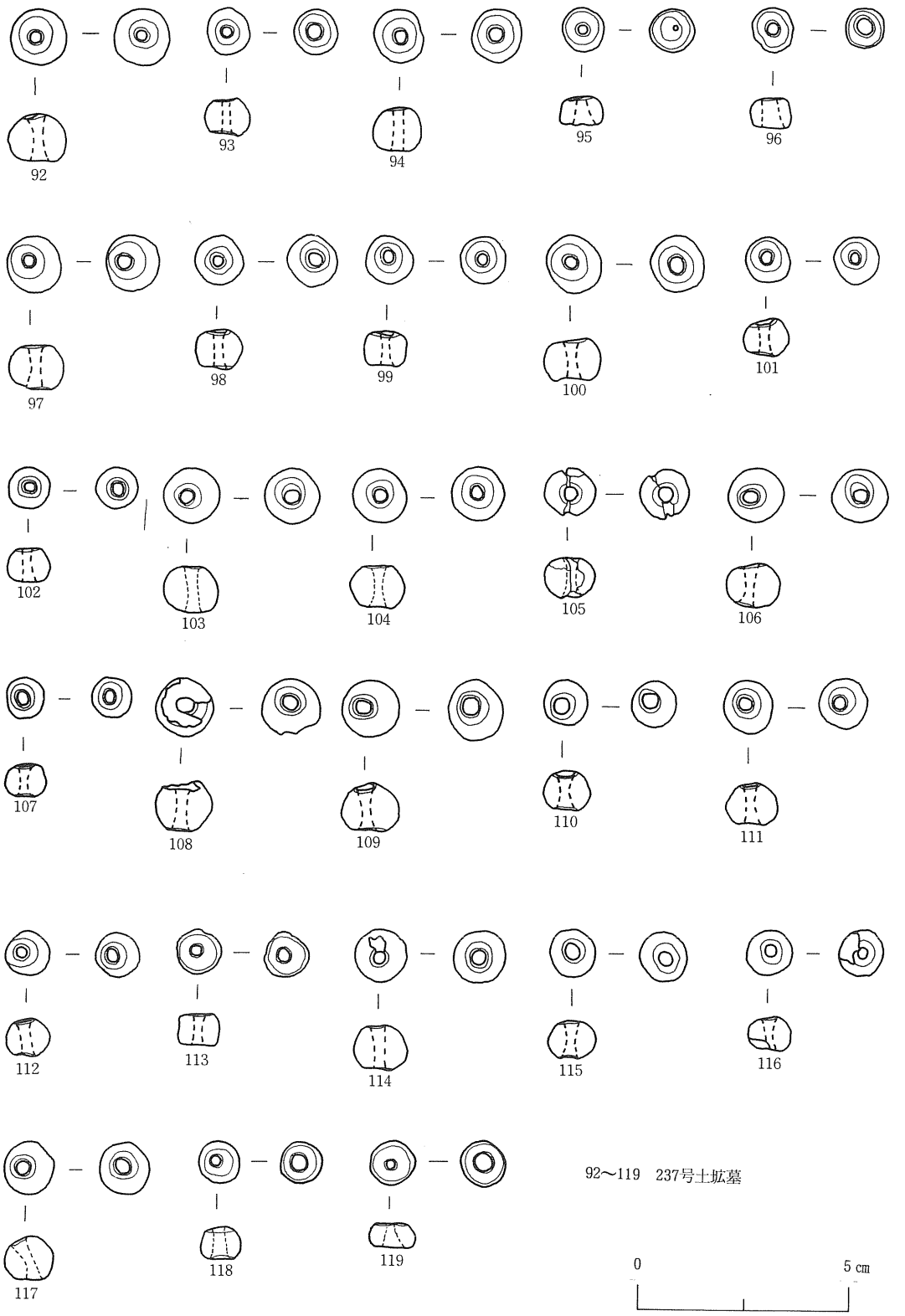
第86図　遺構内土石製品



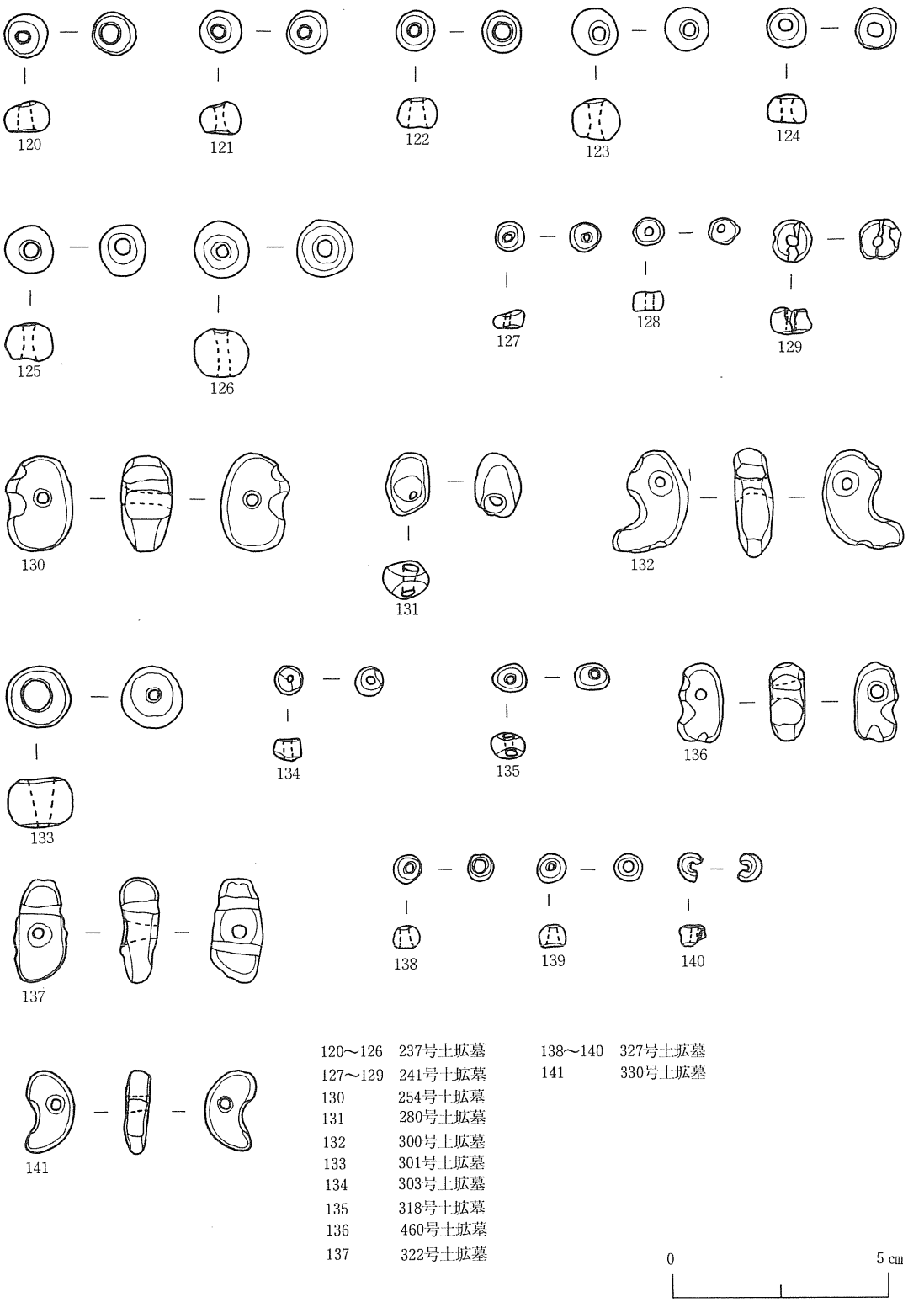
65～78	162号土拡墓	84～86	207号土拡墓
79	164号土拡墓	87	212号土拡墓
80～82	186号土拡墓	88、89	215号土拡墓
83	193号土拡墓	90	216号土拡墓
		91	217号土拡墓

0　5 cm

第87図　遺構内出土石製品

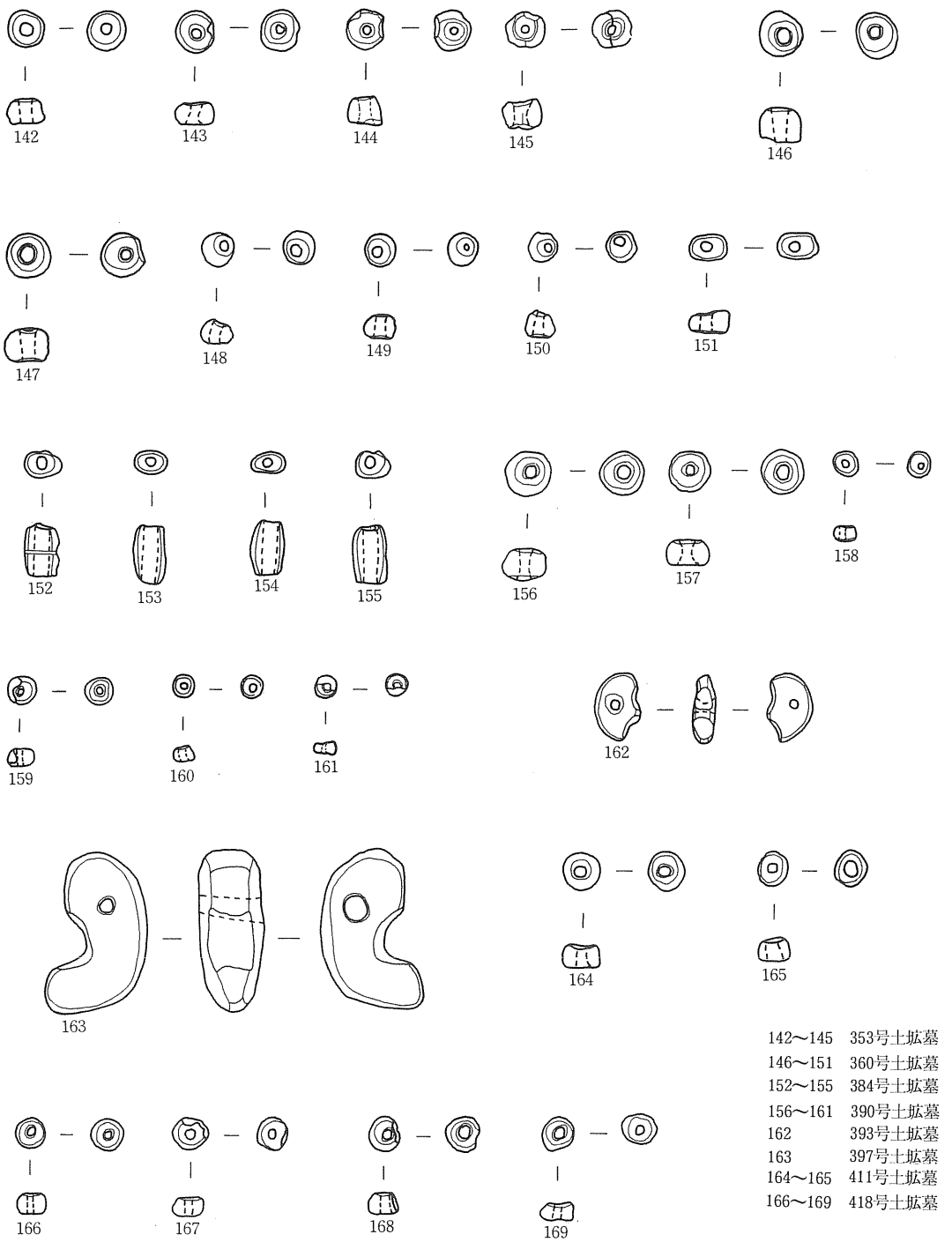


第88図　遺構内土石製品



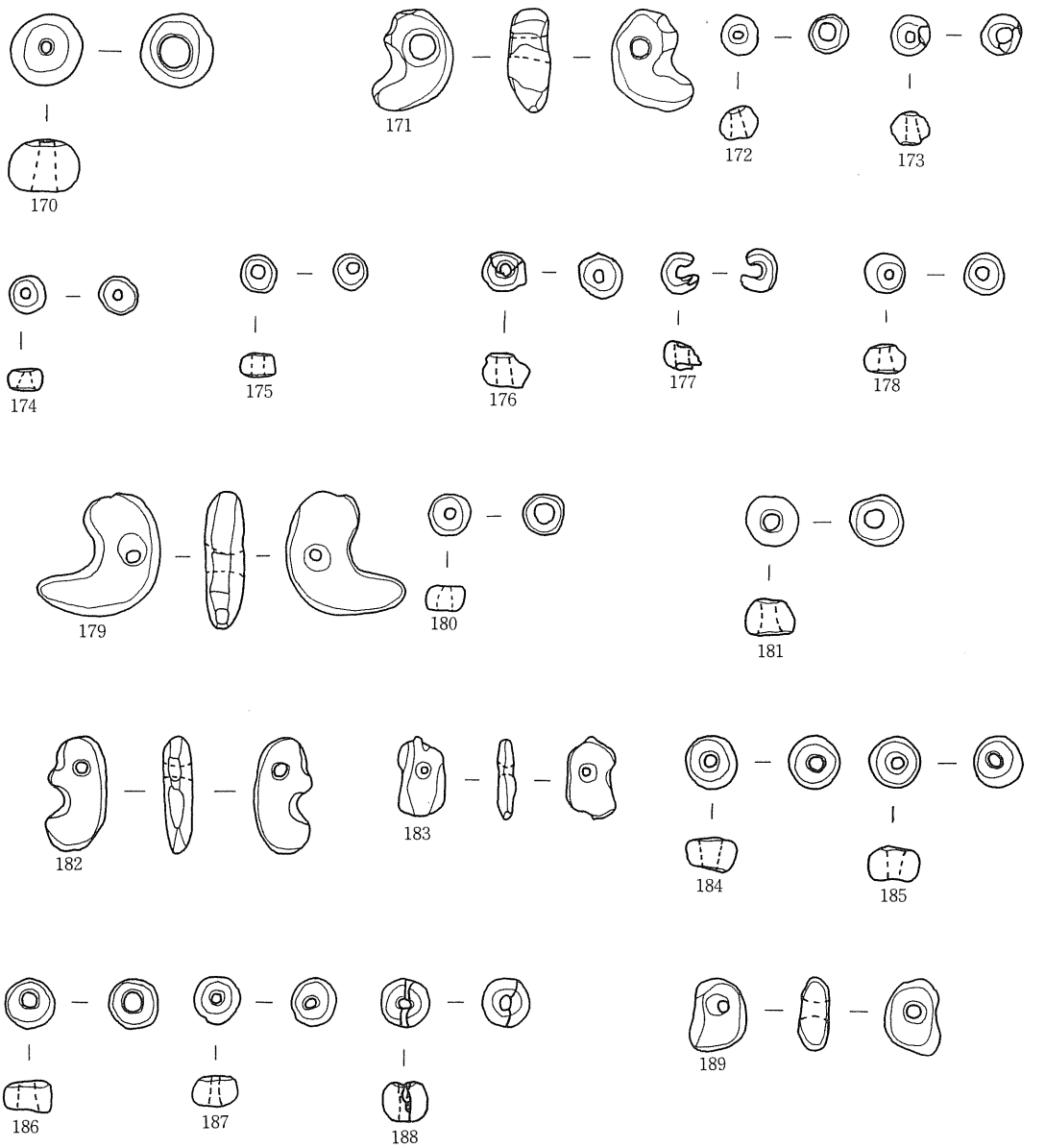
120～126	237号土拡墓	138～140	327号土拡墓
127～129	241号土拡墓	141	330号土拡墓
130	254号土拡墓		
131	280号土拡墓		
132	300号土拡墓		
133	301号土拡墓		
134	303号土拡墓		
135	318号土拡墓		
136	460号土拡墓		
137	322号土拡墓		

第89図　遺構内出土石製品



142～145　353号土坑墓
146～151　360号土坑墓
152～155　384号土坑墓
156～161　390号土坑墓
162　393号土坑墓
163　397号土坑墓
164～165　411号土坑墓
166～169　418号土坑墓

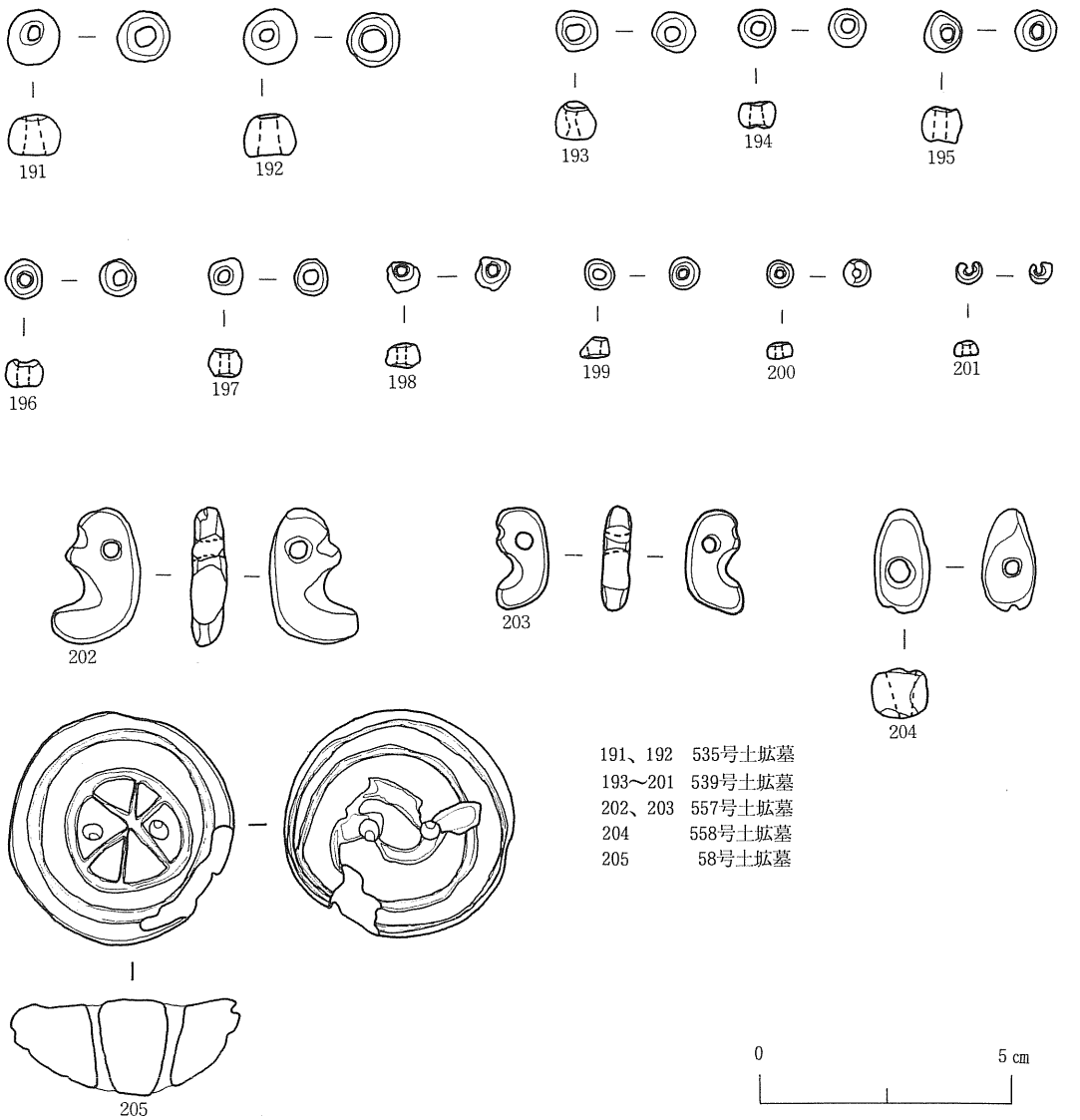
第90図　遺構内土石製品



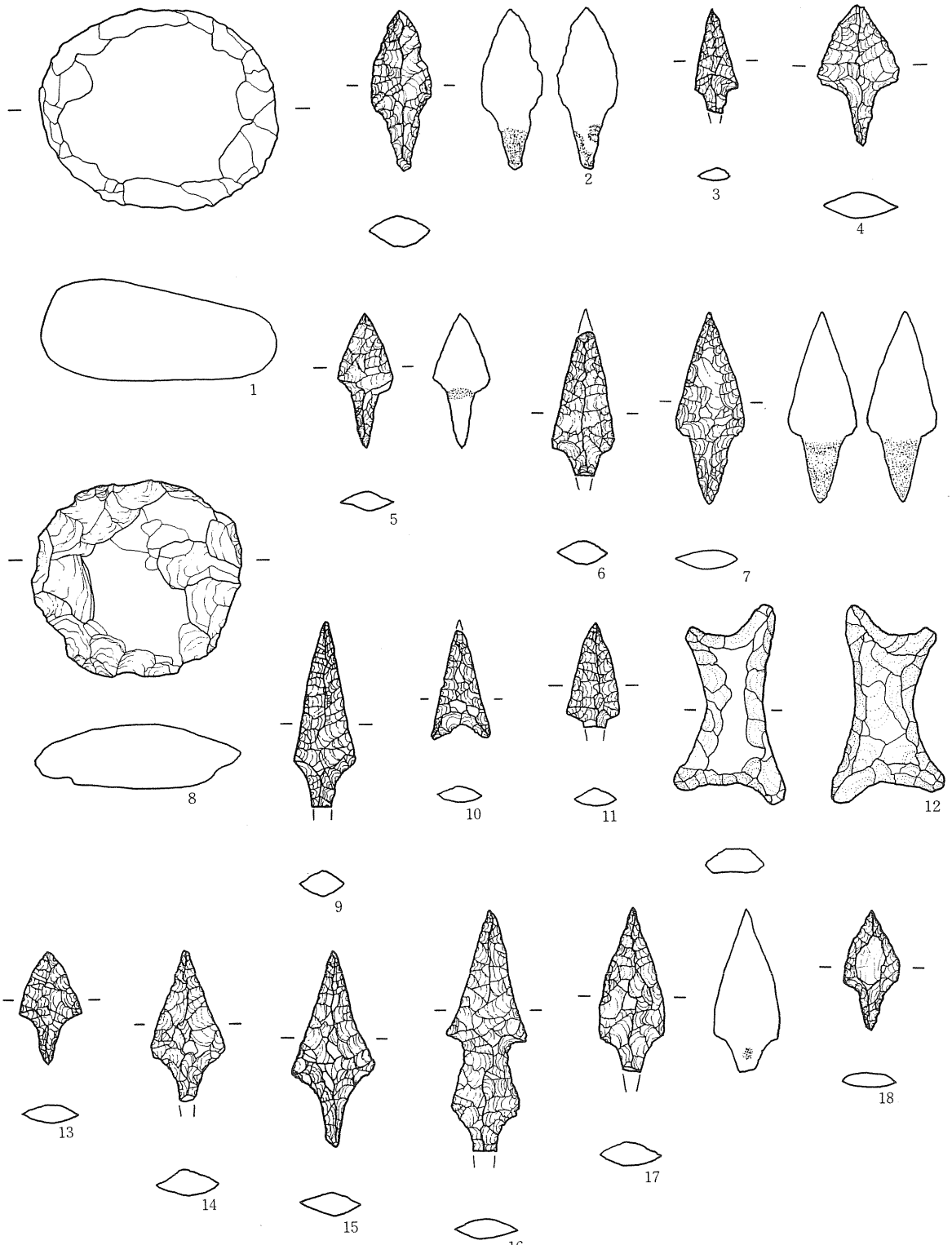
170	424号土坑墓	182	492号土坑墓
171～173	428号土坑墓	183	507号土坑墓
174	434号土坑墓	184～188	512号土坑墓
175	437号土坑墓	189	524号土坑墓
176、177	446号土坑墓	190	525号土坑墓
178	450号土坑墓		
179、180	460号土坑墓		
181	481号土坑墓		

0　5 cm

第91図　遺構内出土石製品

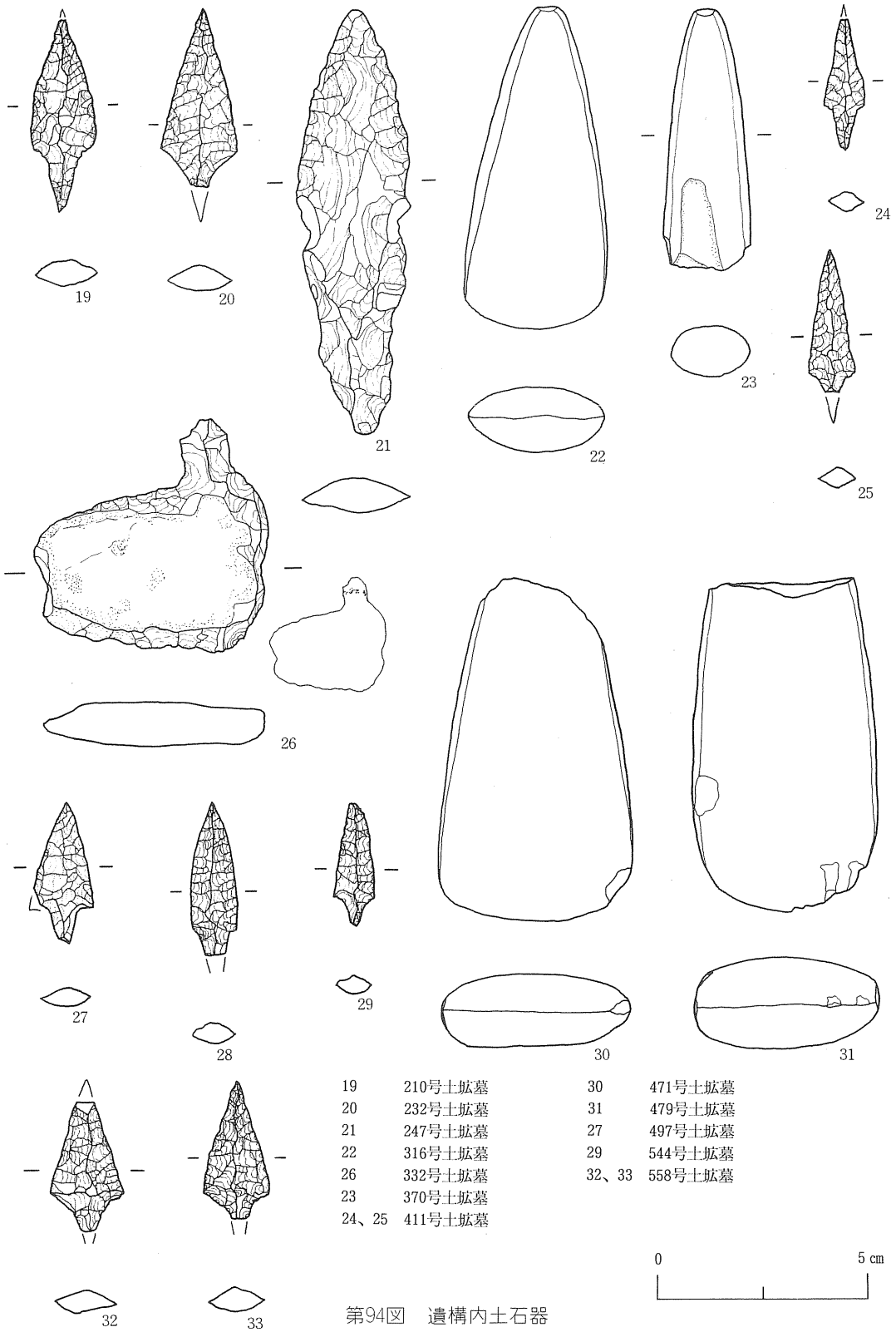


第92図　遺構内土石製品



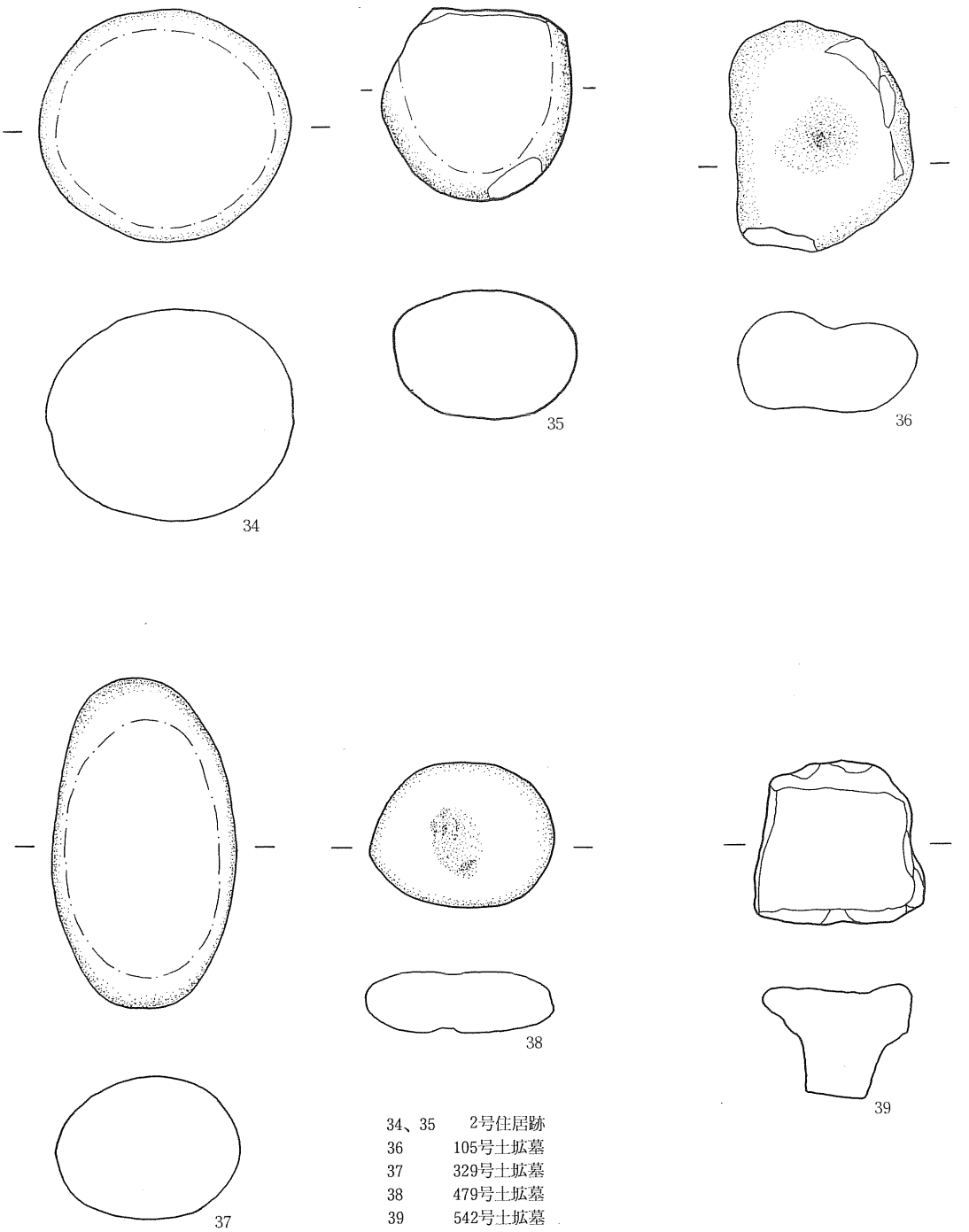
1	13号土拡墓	9	86号土拡墓
2	15号土拡墓	10	138号土拡墓
3	18号土拡墓	11	159号土拡墓
4	28号土拡墓	12	164号土拡墓
8	37号土拡墓	13	177号土拡墓
5～7	40号土拡墓	14、15	199号土拡墓
		16	202号土拡墓
		17	203号土拡墓
		18	204号土拡墓

第93図　遺構内出土石器



19	210号土拡墓	30	471号土拡墓
20	232号土拡墓	31	479号土拡墓
21	247号土拡墓	27	497号土拡墓
22	316号土拡墓	29	544号土拡墓
26	332号土拡墓	32、33	558号土拡墓
23	370号土拡墓		
24、25	411号土拡墓		

第94図　遺構内土石器



34、35　2号住居跡
36　105号土拡墓
37　329号土拡墓
38　479号土拡墓
39　542号土拡墓

0　10cm

第95図　遺構内出土石器

土 坑 一 覧 表

番号	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	備考
	長軸	短軸	深さ				
1	70	52	5	楕円形	皿状		第96図
2	56		14	円形	鍋状		第97図
3	52		12		洗面器状		第96図
4	100	74	12	楕円形	洗面器状		第96図
5	96		16	円形	洗面器状		第96図、ピット有
6	114	103	32	楕円形	鍋状		第96図
7	82		12	円形	皿状		第96図
8	100	48	18	不整形	鍋状		第96図
9	116	94	16	楕円形	皿状		第100図、溝有
10	104	93	23	楕円形	洗面器状		第100図
11	86	82	17	楕円形	洗面器状		第100図
12	108	96	28	楕円形	鍋状		第101図
13	110	75	10	楕円形	皿状		第101図
14	112		27	円形	鍋状		第101図
15	106		28	円形	鍋状		第96図
16	80		9	円形	皿状		第101図
17	148	108	14	楕円形	皿状		第108図
18	80	62	22	楕円形	鍋状		第96図
19	118	82	20	楕円形	鍋状		第114図
20	88		36	円形	鍋状		第114図
21	66	60	10	楕円形	皿状		第99図
22	96	82	10	楕円形	皿状		第99図、ピット有
23	80	72	10	楕円形	皿状		第98図
24	110		32	円形	鍋状		第98図
25	108		18	円形	鍋状		第98図、ピット有
26	118		30	円形	洗面器状		第99図、ピット有
27	70		7	円形	皿状		第99図
28	172	152	32	楕円形	洗面器状	第120図40	第99図
29	124	116	17	隅丸方形	鍋状		第101図、ピット有
30	106	98	17	不整形	皿状	第120図41	第101図
31	104		28	円形	鍋状		第114図
32	85		14	円形	洗面器状		第103図
33	110	70	17	楕円形	皿状		第103図、ピット有
34	66	58	18	不整形	鍋状		第98図、ピット有
35	106	98	28	楕円形	鍋状		第98図

番号	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	備考
	長軸	短軸	深さ				
36 A	130		54	円形	鍋状		第98図、BがAを切っている。
36 B			46				
37	172		39	円形	鍋状	第115図78～88、第120図42～44	第98図
38	132		48	円形	鍋状		第97図
39	172	116	8	楕円形	皿状		第97図、38号土坑に切られている。
40	140		33	円形	鍋状	第115図89・90	第99図
41	68		38	円形	鍋状		第101図
42	88	62	8	楕円形	皿状		第101図
43	56	46	9	楕円形	皿状		第101図
44	73		12	円形	鍋状		第103図
45	66		13	円形	皿状		第101図、ピット有
46	69		14	円形	鍋状		第103図、ピット有
47	88		26	円形	鍋状	第115図91	第101図
48	103		52	円形	ビーカー状	第115図92～99	第101図
49	55		9	円形	皿状		第102図
50	70	65	4	楕円形	皿状		第102図、ピット有
51	84		38	円形	鍋状	第115図100～103、第120図45	第103図
52	120	74	30	楕円形	鍋状		第104図
53	70	68	15	不整形	鍋状		第104図
54	58		46	円形	袋状		第104図
55	80	72	43	楕円形	鍋状		第103図
56	332	52	10	不整形	皿状	第115図104	第104図、ピット有
57	122	52	11	楕円形	皿状		第104図、ピット有
58	240	210	43	楕円形	鍋状	第115図105～109	第97図
59	60		5	円形	皿状		第99図
60	98		15	円形	皿状		第99図
61	95	88	23	楕円形	鍋状		第99図
62	128		40	円形	鍋状		第99図
63	92		30	円形	鍋状		第100図
64	82		26	円形	鍋状		第100図
65	100		14	円形	鍋状		第100図
66	96		28	円形	鍋状		第100図
67	50		12	円形	鍋状		第100図
68	78	70	14	楕円形	鍋状		第100図
69	62		17	円形	鍋状		第100図
70	114		44	円形	ビーカー状		第103図

番号	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	備考
	長軸	短軸	深さ				
71	78	68	22	楕円形	鍋状		第100図
72	47		9	円形	皿状		第100図
73	154	146	23	楕円形	洗面器状	第116図110～116	第114図、ピット有
74	60		12	円形	鍋状		第100図
75	244	192	83	楕円形	ビーカー状	第116図117・118	第103図、攪乱あり
76	83	70	18	楕円形	鍋状		第102図
77	130		36	円形	鍋状	第120図46～48	第102図
78	107		70	円形	袋状	第116図119～126、第121図55	第102図
79	49	38	8	楕円形	皿状		第102図
80	108	104	28	楕円形	鍋状	第116図127～129	第102図
81	78	70	16	楕円形	鍋状		第102図
82	70	60	30	楕円形	鍋状		第102図
83	98		10	円形	皿状		第97図
84	140	22	42	円形	鍋状	第116図130～137、第117図138～143	第102図
85	72	56	16	楕円形	洗面器状		第105図
86	93	92	22	不整形	皿状		第105図、ピット有
87	208	132	26	楕円形	鍋状		第104図、ピット有
88	190	110	18	楕円形	鍋状	第117図144～147、第120図49	第105図
89	160	99	22	楕円形	皿状		第105図
90	130		34	円形	鍋状		第105図
91 A	70	54	40	楕円形	鍋状		第105図
91 B	104	58	58	楕円形	袋状		
92	100	90	80	楕円形	袋状		第105図
93	136	84	20	楕円形	鍋状	第117図148・149	第107図
94	75		20	円形	洗面器状		第106図
95	80	65	15	楕円形	洗面器状		第106図
96	80	60	28	楕円形	鍋状		第105図、ピット有
97	110		12	円形	鍋状		第106図
98	78		22	円形	洗面器状		第111図
99	96		46	円形	鍋状	第117図150～159	第107図
100	122		22	円形	洗面器状	第121図53	第107図
101	125	98	34	楕円形	鍋状		第107図
102	112	68	15	楕円形	皿状		第106図
103	96		22	円形	洗面器状	第117図160	第106図
104	93		40	円形	鍋状		第106図
105 A	50		12	円形	洗面器状	B、第117図161	第106図
105 B	46		15	円形	洗面器状		

番号		規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	備考
		長軸	短軸	深さ				
106		78	70	20	楕円形	鍋状		第106図
107		130	118	8	楕円形	皿状		第106図、ピット有
108		64	60	20	楕円形	鍋状		第107図
109		54		16	円形	鍋状		第107図
110		102		33	円形	鍋状		第107図、ピット有
111		140	82	18	楕円形	洗面器状	第121図54	第107図
112		88	80	18	不整形	鍋状		第106図
113		108	86	6	楕円形	皿状		第106図
114		102	96	25	楕円形	鍋状		第106図
115		68		27	円形	鍋状	第121図56・57	第111図、ピット有
116		101		25	円形	鍋状		第111図、ピット有
117		66		11	円形	洗面器状	第117図162・163	第110図
118		50		12	円形	洗面器状		第110図
119		75		12	円形	洗面器状		第110図
120		58	52	22	楕円形	鍋状		第110図
121		112		36	円形	鍋状	第118図164～166、第121図60	第108図
122		96		35	円形	鍋状	第118図167～170	第108図
123		146		12	円形	皿状		第112図
124		100			円形	洗面器状		第111図
125		140	80	10	不整形	皿状		第108図
126		82		16	円形	洗面器状		第108図
127		100		20	円形	洗面器状		第108図
128		76	70	30	楕円形	鍋状		第108図
129		102	76	22	楕円形	鍋状		第109図、ピット有
130		154	100	16	楕円形	洗面器状	第118図171	第108図
131		72		20	円形	鍋状	第121図58	第108図
132		105	94	30	楕円形	鍋状		第109図
133		98	72	25	楕円形	鍋状	第118図172・173	第109図
134		97	71	17	楕円形	鍋状		第109図、ピット有
135		63		28	円形	袋状	第121図59	第110図
136	A	128	118		楕円形	鍋状	B、第118図174・175	第110図
	B	100		30	円形			
137	A	92		44	円形	鍋状		第109図
	B	74		18	円形			
138		82	72	18	楕円形	鍋状	第118図176・177	第112図、ピット有（－50cm）
139		72		25	円形	鍋状		第112図、ピット有（－50cm）
140		106	88	26	楕円形	鍋状		第112図、ピット有

番号	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	備考
	長軸	短軸	深さ				
141	86	58	12	楕円形	洗面器状		第113図、ピット有
142	70	58	20	楕円形	鍋状	第121図61	第113図、ピット有
143	82		30	円形	鍋状		第113図
144	72		18	円形	鍋状		第112図
145	103		24	円形	鍋状	第118図178・179	第111図
146	102		66	円形	ビーカー状	第118図180～183	第112図
147	60		12	円形	洗面器状		第113図
148	67		26	円形	鍋状		第111図、ピット有
149	102		22	円形	洗面器状	第118図184～189、第121図62	第109図
150	160		60	円形	ビーカー状	第118図190～192、第119図193～198	第109図
151	146	123	58	楕円形	鍋状	第119図199、第121図63	第110図
152	110	90	16	楕円形	洗面器状		第112図
153	106	84	14	楕円形	洗面器状		第109図、ピット有
154	80	70	10	楕円形	皿状	第119図200	第110図、ピット有
155	128	68	18	楕円形	皿状	第119図201・202、第121図64	第110図、ピット有
156	107	92	23	不整形	鍋状		第111図、ピット有
157	86	78	20	楕円形	鍋状		第113図
158	80	58	8	楕円形	洗面器状		第111図
159	160	156	35	楕円形	鍋状	第119図203～207	第114図
160	140		30	円形	洗面器状		第113図、ピット有
161	190	164	50	楕円形	鍋状	第120図50	第114図
162	188	162	16	楕円形	皿状		第114図
163	117	74	10	楕円形	皿状	第120図51・52	第113図
164	96		42	円形	鍋状		第113図
165	151	135	10	楕円形	皿状		第113図
166	140	118	42	楕円形	鍋状		第112図
167	156	140	28	楕円形	鍋状		
168	68		15	楕円形	鍋状	第119図208	第114図159号土坑に切られる。

石器：46は若干湾曲し、一部にアスファルトの付着痕がある。削器と考えられる。47は基部が細長い石鏃である。基部の両縁にアスファルト付着痕がみられる。48は扁平な石器で両面には多数擦痕がみられる。

78号土坑出土遺物（第116・121図）

土器：119～121は鉢形土器である。口縁部には２～３条の平行沈線文がめぐり、119・120は途中できれて、連続刻目文が３～４列みられる。120・121は小波状口縁を呈する。122は壺形土器で頸部に２条の隆線がめぐっている。123～125は浅鉢形土器である。口縁部に２条の沈線をめぐらし、間に連続刻目文が施されている。体部に沈線がめぐり、間に細かい連続刻目文が施されている。体部の幅広い磨消し帯には雲形文がみられる。

石器：55は刃部が一部欠損する磨製石斧である。

80号土坑出土遺物（第116図）

土器：127～129は鉢形土器である。小波状口縁をなし、127・128は平行沈線間に末端の咬み合わない羊歯状文が施される。129は２条平行沈線文が施される。

84号土坑出土遺物（第116・117図）

土器：130～134は鉢形土器である。134は小波状口縁をなし、口縁部に２条づつ沈線をめぐらしている。その間に末端の咬み合わない羊歯状文の退化した文様を施している。他は平行沈線文、雲形文などがみられる。135～134は浅鉢形土器である。137は末端の咬み合う羊歯状文が施されている。134は羊歯状文が退化し、平行線となり、間に連続刻目文が残っている。140～143は注口土器である。140～142は羊歯状文が施されており、141は２段に連続刻目文が施される。143は体部に磨消し帯と雲形文がみられる。

88号土坑出土遺物（第117・120図）

土器：144～147は鉢形土器である。口縁部に２～３条の平行沈線文が施される。

石器：49はくぼみ石である。

93号土坑出土遺物（第117図）

土器：148・149は浅鉢形土器である。口縁に貼り付文を施し、小波状口縁をなしている。

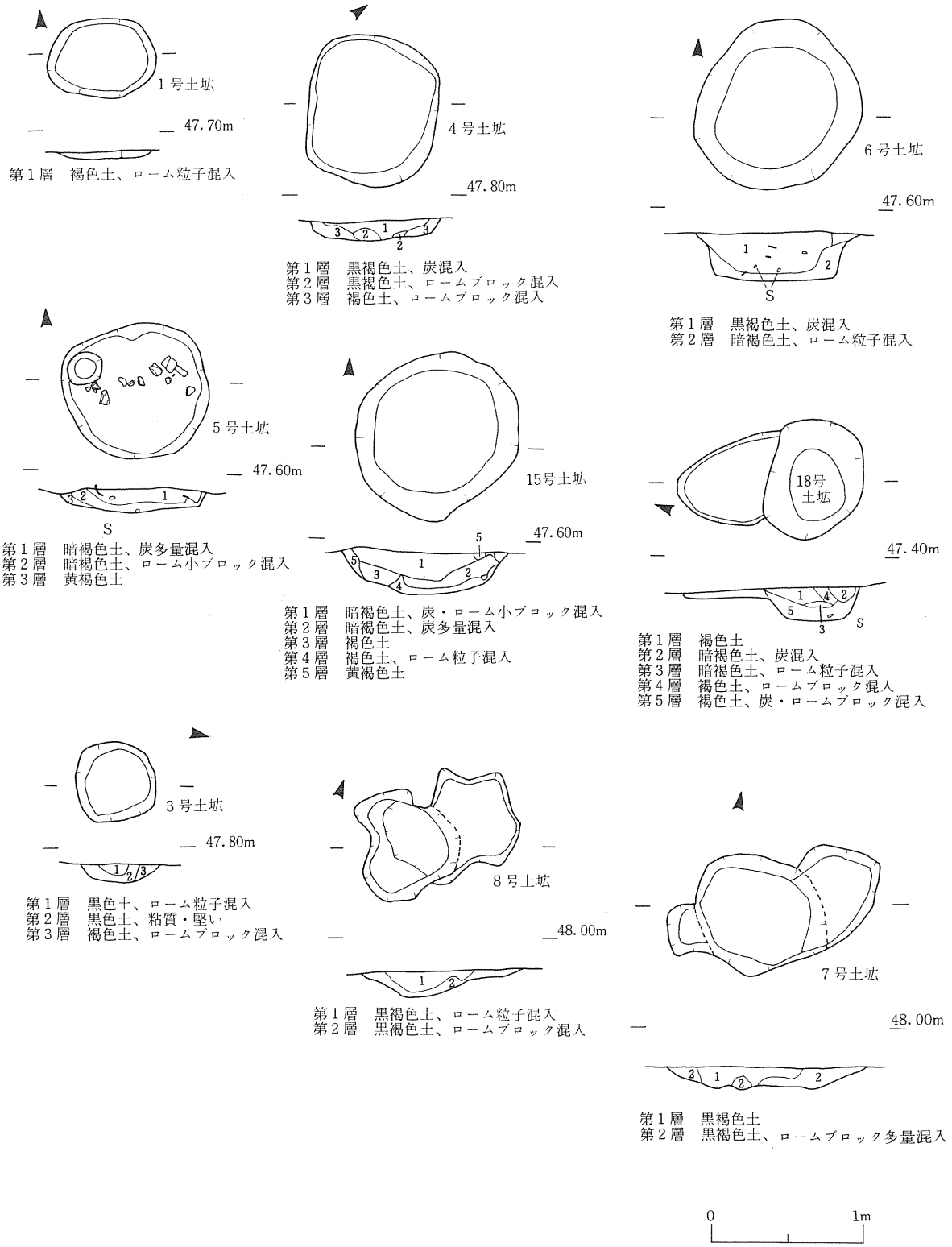
99号土坑出土遺物（第117図）

土器：152は深鉢、150・154は鉢、151は壺、153～158は浅鉢形土器である。151は頸部に２条の隆線がめぐり、上に連続刻目文を施している。隆線に「８」の字状の把手を付けている。153・154は沈線間に平行線化した末端の咬み合わない退化した羊歯状文が施されている。157・158は口縁部に連続刻目文が施されている。

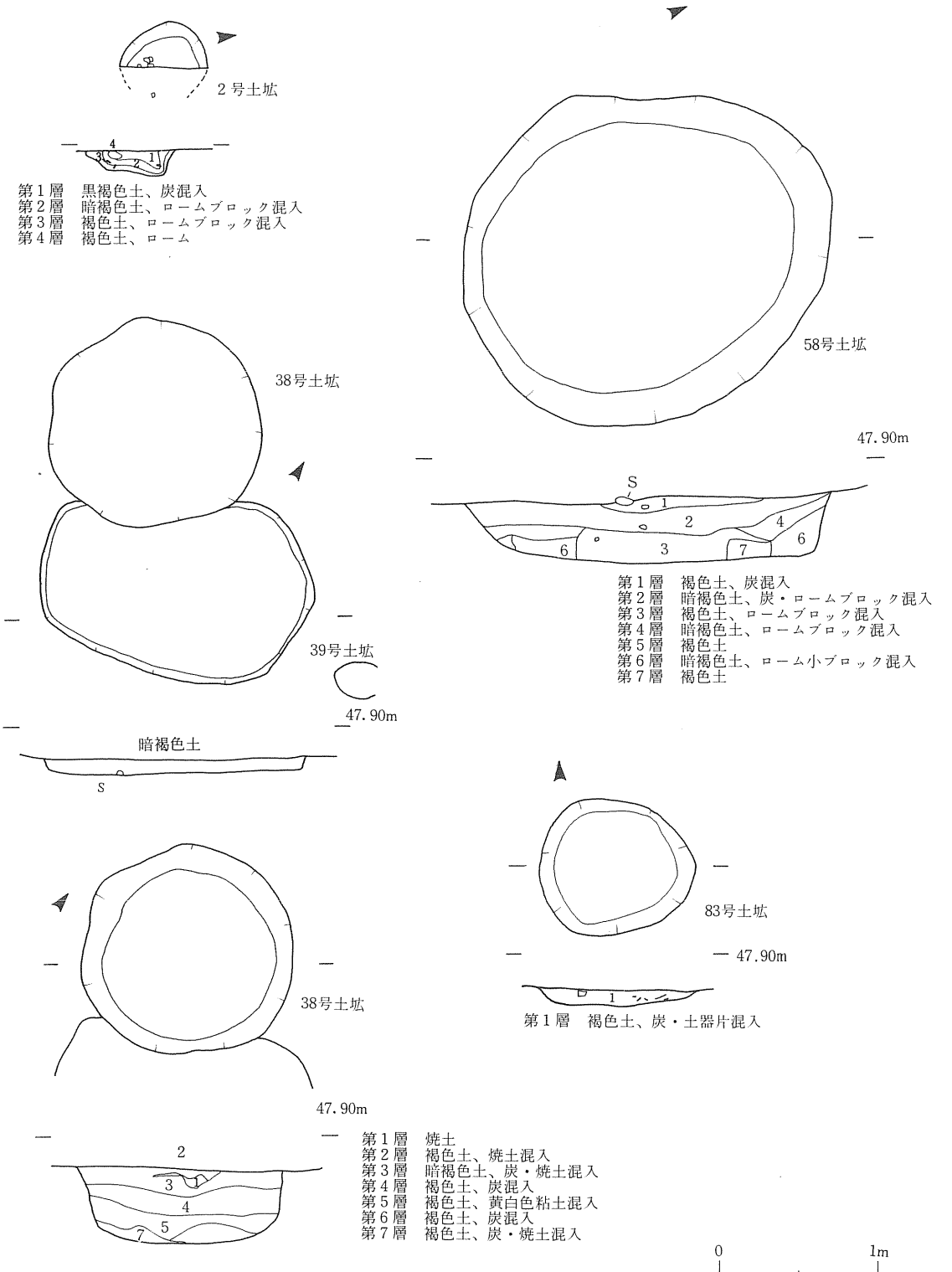
100号土坑出土遺物（第121図）

石器：53は横型の石匙である。ツマミ部両面にアスファルト付着痕跡がある。

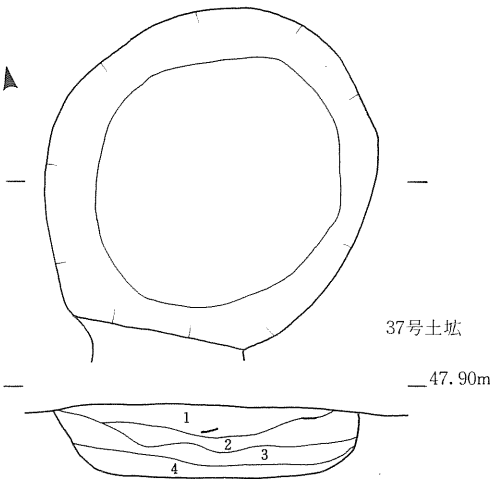
103号土坑出土遺物（第117図）


1号土坑
47.70m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
4号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　黒褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土、ロームブロック混入
6号土坑
47.60m
S
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、ローム粒子混入
5号土坑
47.60m
S
第1層　暗褐色土、炭多量混入
第2層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第3層　黄褐色土
15号土坑
47.60m
第1層　暗褐色土、炭・ローム小ブロック混入
第2層　暗褐色土、炭多量混入
第3層　褐色土
第4層　褐色土、ローム粒子混入
第5層　黄褐色土
18号土坑
47.40m
S
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、炭混入
第3層　暗褐色土、ローム粒子混入
第4層　褐色土、ロームブロック混入
第5層　褐色土、炭・ロームブロック混入
3号土坑
47.80m
第1層　黒色土、ローム粒子混入
第2層　黒色土、粘質・堅い
第3層　褐色土、ロームブロック混入
8号土坑
48.00m
第1層　黒褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土、ロームブロック混入
7号土坑
48.00m
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土、ロームブロック多量混入
0
1m

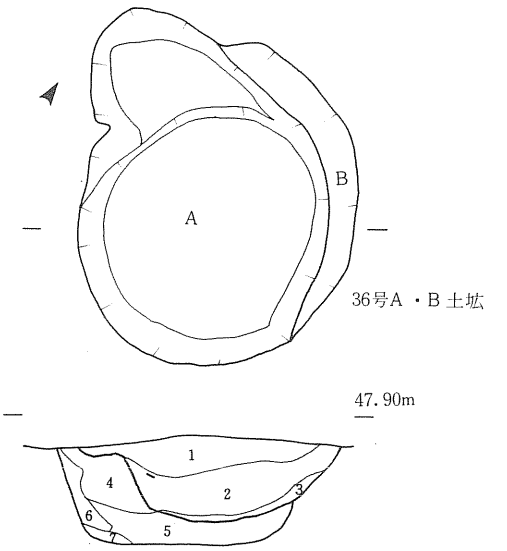
第96図　土坑


2号土坑
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土、ロームブロック混入
第4層　褐色土、ローム
58号土坑
47.90m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、炭・ロームブロック混入
第3層　褐色土、ロームブロック混入
第4層　暗褐色土、ロームブロック混入
第5層　褐色土
第6層　暗褐色土、ローム小ブロック混入
第7層　褐色土
38号土坑
39号土坑
47.90m
暗褐色土
83号土坑
47.90m
第1層　褐色土、炭・土器片混入
38号土坑
47.90m
第1層　焼土
第2層　褐色土、焼土混入
第3層　暗褐色土、炭・焼土混入
第4層　褐色土、炭混入
第5層　褐色土、黄白色粘土混入
第6層　褐色土、炭混入
第7層　褐色土、炭・焼土混入
0
1m

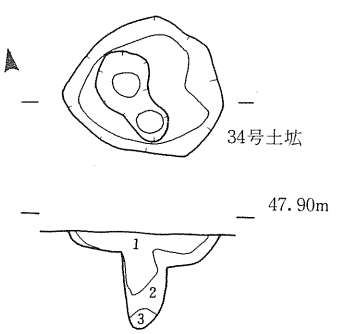
第97図　土坑



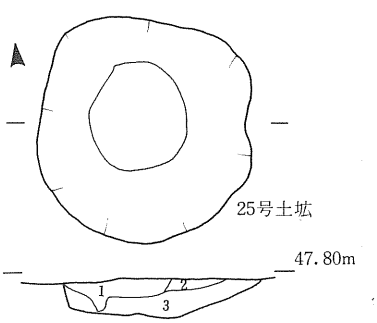
第１層　暗褐色土、炭・焼土混入
第２層　褐色土、炭・灰白色粘土混入
第３層　暗褐色土、炭・ロームブロック混入
第４層　褐色土、ロームブロック混入



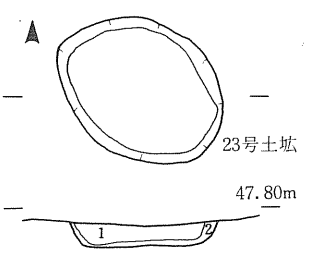
第１層　暗褐色土、炭・焼土・土器片混入
第２層　暗赤褐色土、炭・焼土・土器片混入
第３層　黒褐色土、炭混入
第４層　褐色土、ロームブロック混入
第５層　暗褐色土、炭・ローム小ブロック混入
第６層　ロームブロック
第７層　暗褐色土



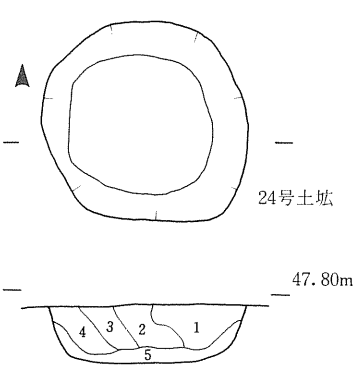
第１層　暗褐色土、ローム粒子混入
第２層　褐色土、ローム・暗褐色土混入
第３層　黒褐色土、ロームブロック混入



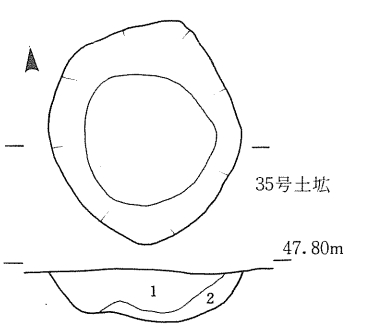
第１層　黒褐色土、炭・焼土混入
第２層　黒褐色土、
第３層　暗褐色土、ローム混入



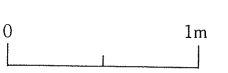
第１層　黒褐色土、炭少量混入
第２層　暗褐色土



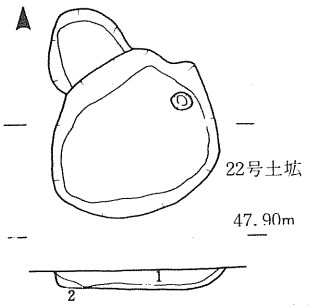
第１層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第２層　黒褐色土、ローム粒子混入
第３層　黒褐色土、炭・ローム粒子・焼土混入
第４層　黒褐色土、焼土・ローム粒子混入
第５層　暗褐色土、ロームブロック混入



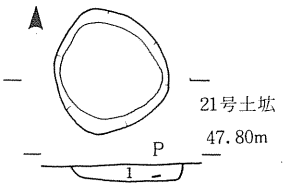
第１層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第２層　暗褐色土



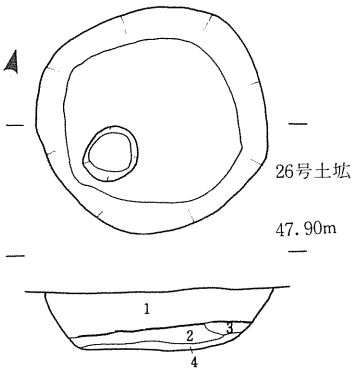
第98図　土坑



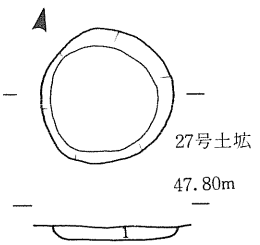
第１層　黒褐色土、ロームブロック混入
第２層　褐色土、ロームブロック混入



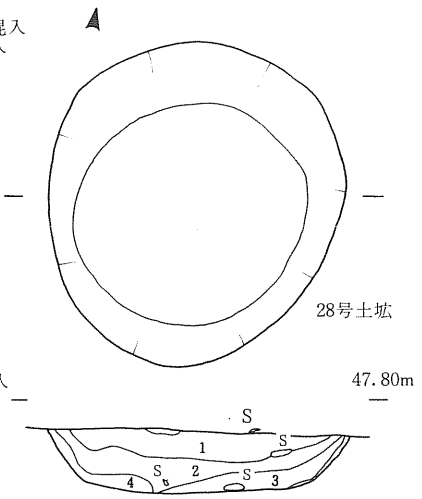
第１層　黒褐色土、ローム粒子混入



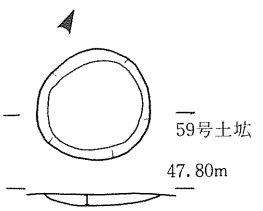
第１層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第２層　褐色土、ローム粒子混入
第３層　褐色土、ロームブロック混入
第４層　暗褐色土、ロームブロック混入



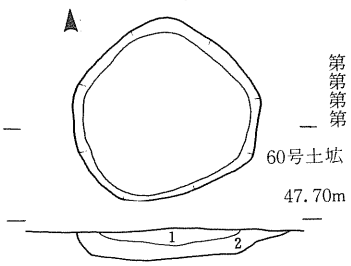
第１層　黒褐色土、ロームブロック混入



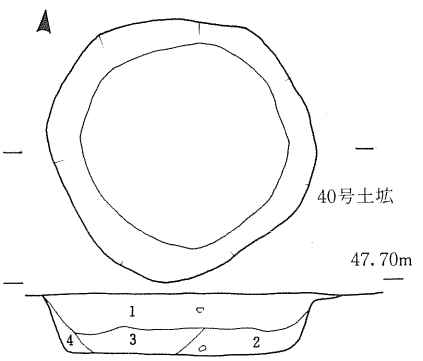
第１層　黒褐色土、炭・焼土混入
第２層　黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第３層　黒褐色土、ロームブロック混入
第４層　暗褐色土、ロームブロック混入



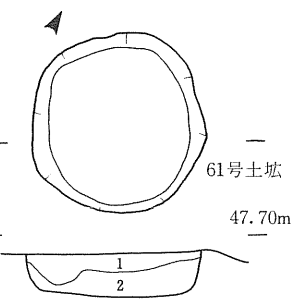
第１層　褐色土、ローム粒子混入



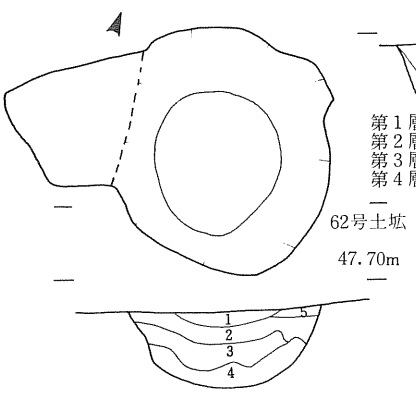
第１層　褐色土、ローム粒子混入
第２層　黒褐色土、ローム粒子混入



第１層　褐色土、ローム粒子混入
第２層　黒褐色土、粘質
第３層　暗褐色土、粘質・ロームブロック混入
第４層　黄色土、ロームブロック混入



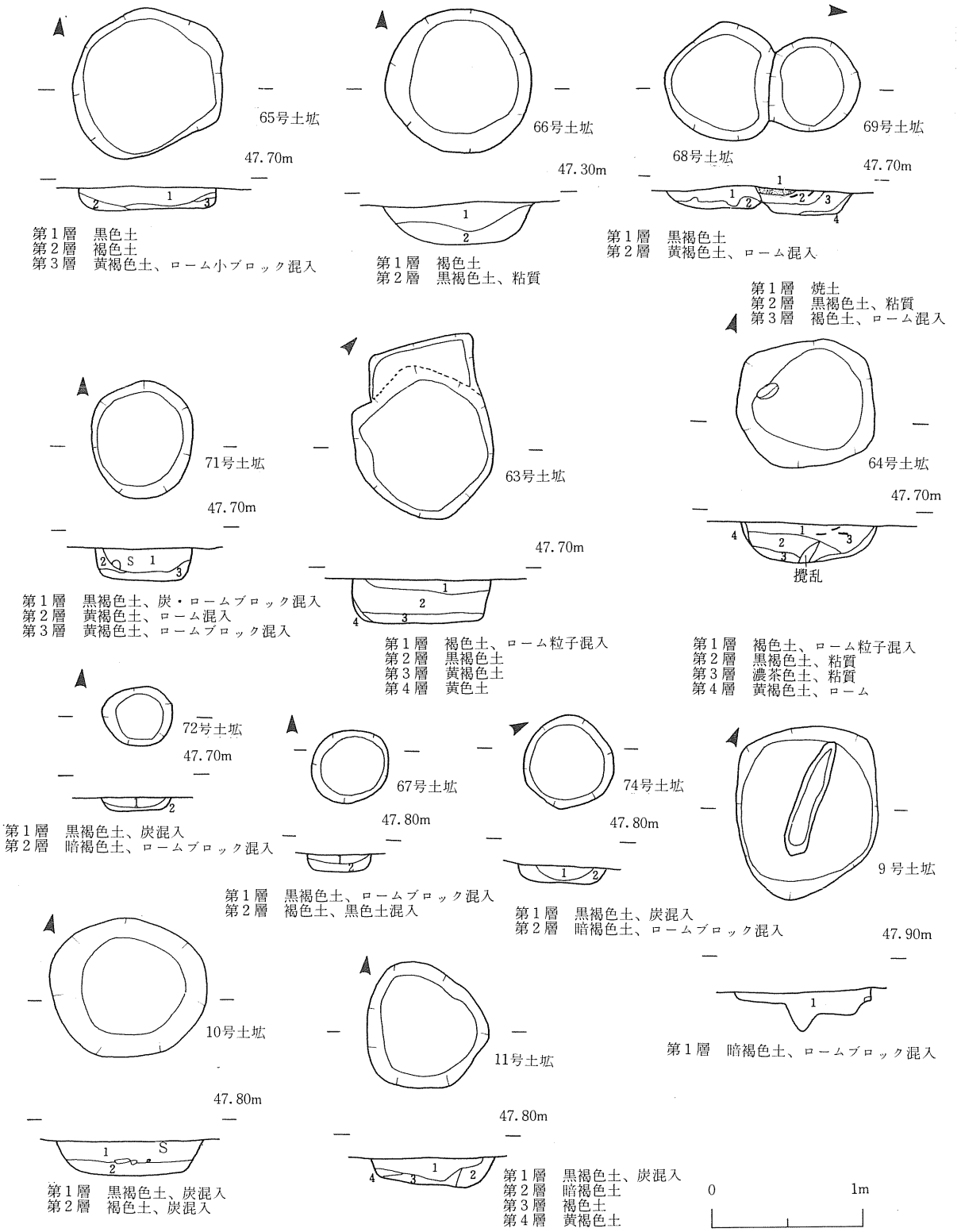
第１層　褐色土、ローム粒子混入
第２層　黒褐色土、ローム粒子混入



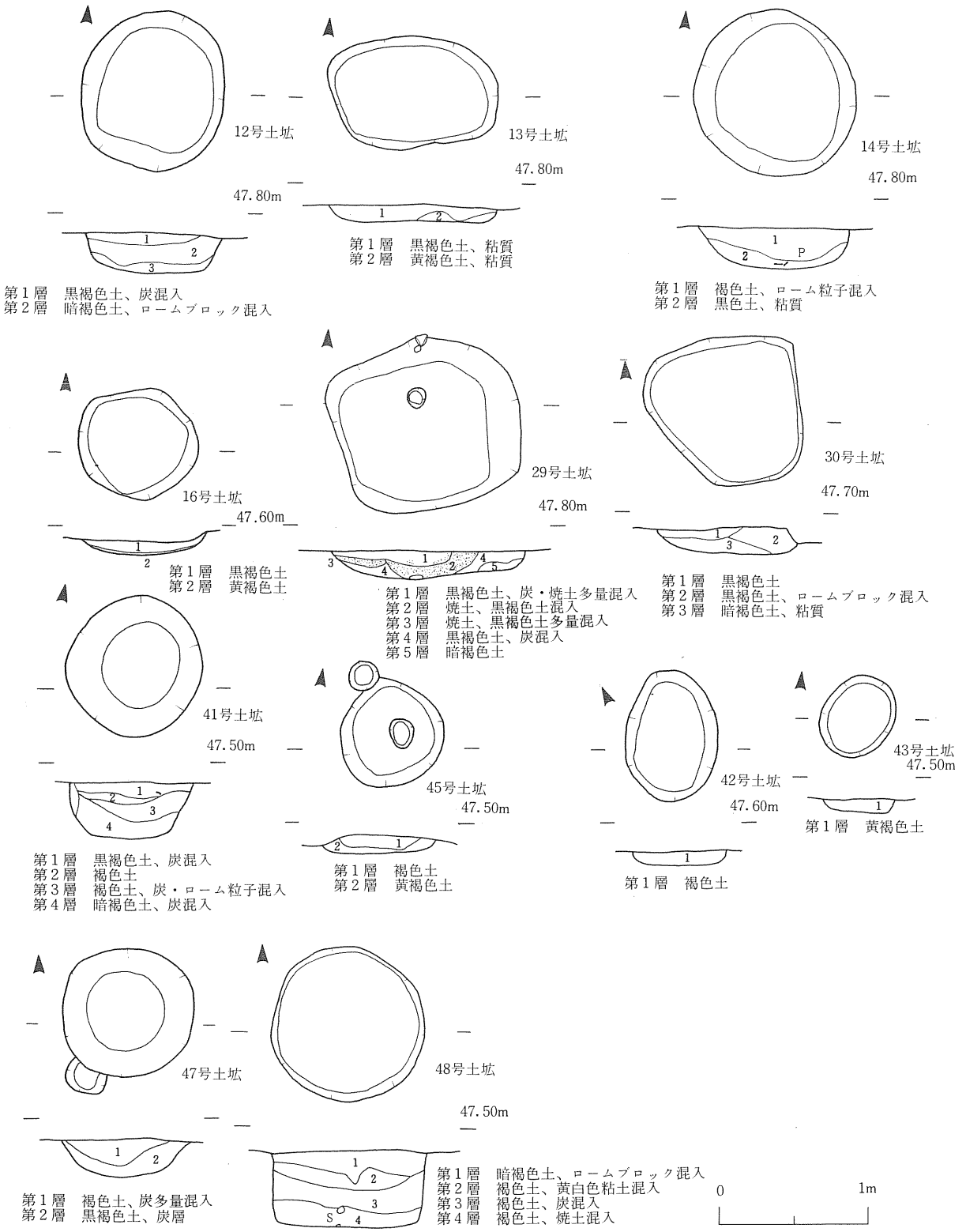
第１層　褐色土、ローム粒子混入
第２層　褐色土、粘質・ローム粒子混入
第３層　黄褐色土、粘質
第４層　黄褐色土

0　1m

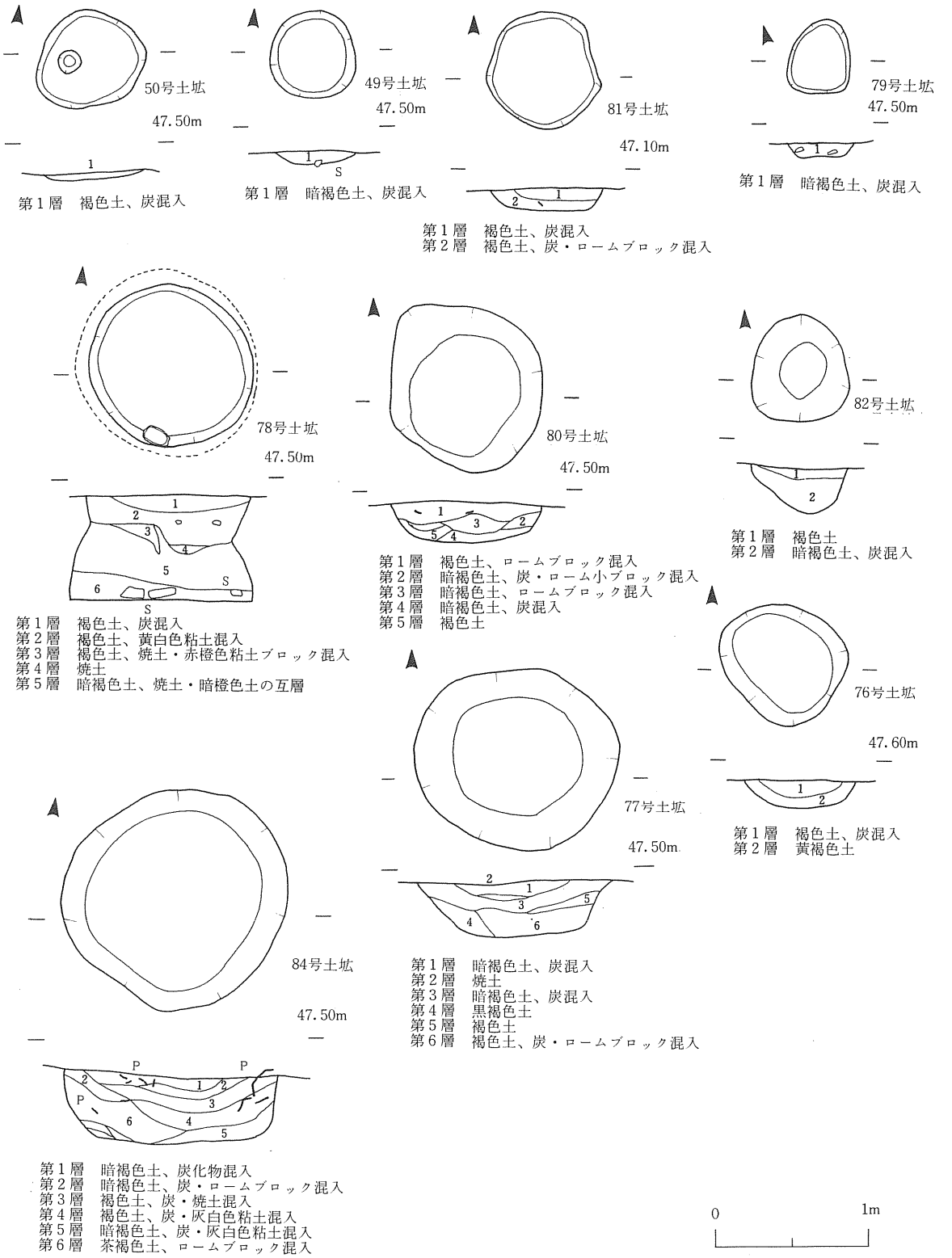
第99図　土坑


65号土坑
47.70m
第1層　黒色土
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土、ローム小ブロック混入
66号土坑
47.30m
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土、粘質
68号土坑
69号土坑
47.70m
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土、ローム混入
第1層　焼土
第2層　黒褐色土、粘質
第3層　褐色土、ローム混入
71号土坑
47.70m
第1層　黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第2層　黄褐色土、ローム混入
第3層　黄褐色土、ロームブロック混入
63号土坑
47.70m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土
第3層　黄褐色土
第4層　黄色土
64号土坑
47.70m
攪乱
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒褐色土、粘質
第3層　濃茶色土、粘質
第4層　黄褐色土、ローム
72号土坑
47.70m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
67号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、黒色土混入
74号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
9号土坑
47.90m
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
10号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　褐色土、炭混入
11号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土
第3層　褐色土
第4層　黄褐色土
0
1m

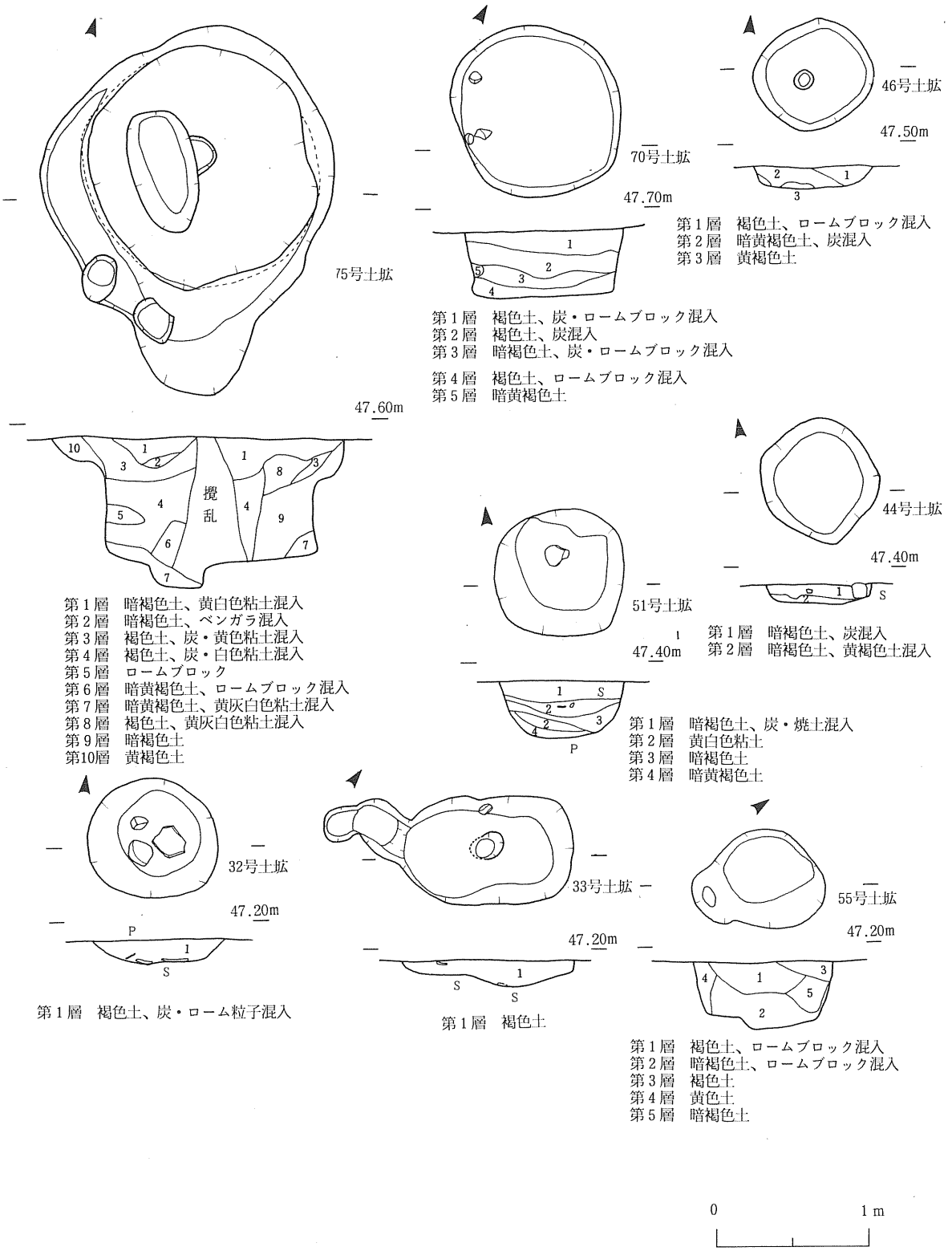
第100図　土坑


12号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
13号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、粘質
第2層　黄褐色土、粘質
14号土坑
47.80m
第1層　褐色土、ローム粒子混入
第2層　黒色土、粘質
16号土坑
47.60m
第1層　黒褐色土
第2層　黄褐色土
29号土坑
47.80m
第1層　黒褐色土、炭・焼土多量混入
第2層　焼土、黒褐色土混入
第3層　焼土、黒褐色土多量混入
第4層　黒褐色土、炭混入
第5層　暗褐色土
30号土坑
47.70m
第1層　黒褐色土
第2層　黒褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土、粘質
41号土坑
47.50m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　褐色土
第3層　褐色土、炭・ローム粒子混入
第4層　暗褐色土、炭混入
45号土坑
47.50m
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
42号土坑
47.60m
第1層　褐色土
43号土坑
47.50m
第1層　黄褐色土
47号土坑
第1層　褐色土、炭多量混入
第2層　黒褐色土、炭層
48号土坑
47.50m
第1層　暗褐色土、ロームブロック混入
第2層　褐色土、黄白色粘土混入
第3層　褐色土、炭混入
第4層　褐色土、焼土混入
0
1m

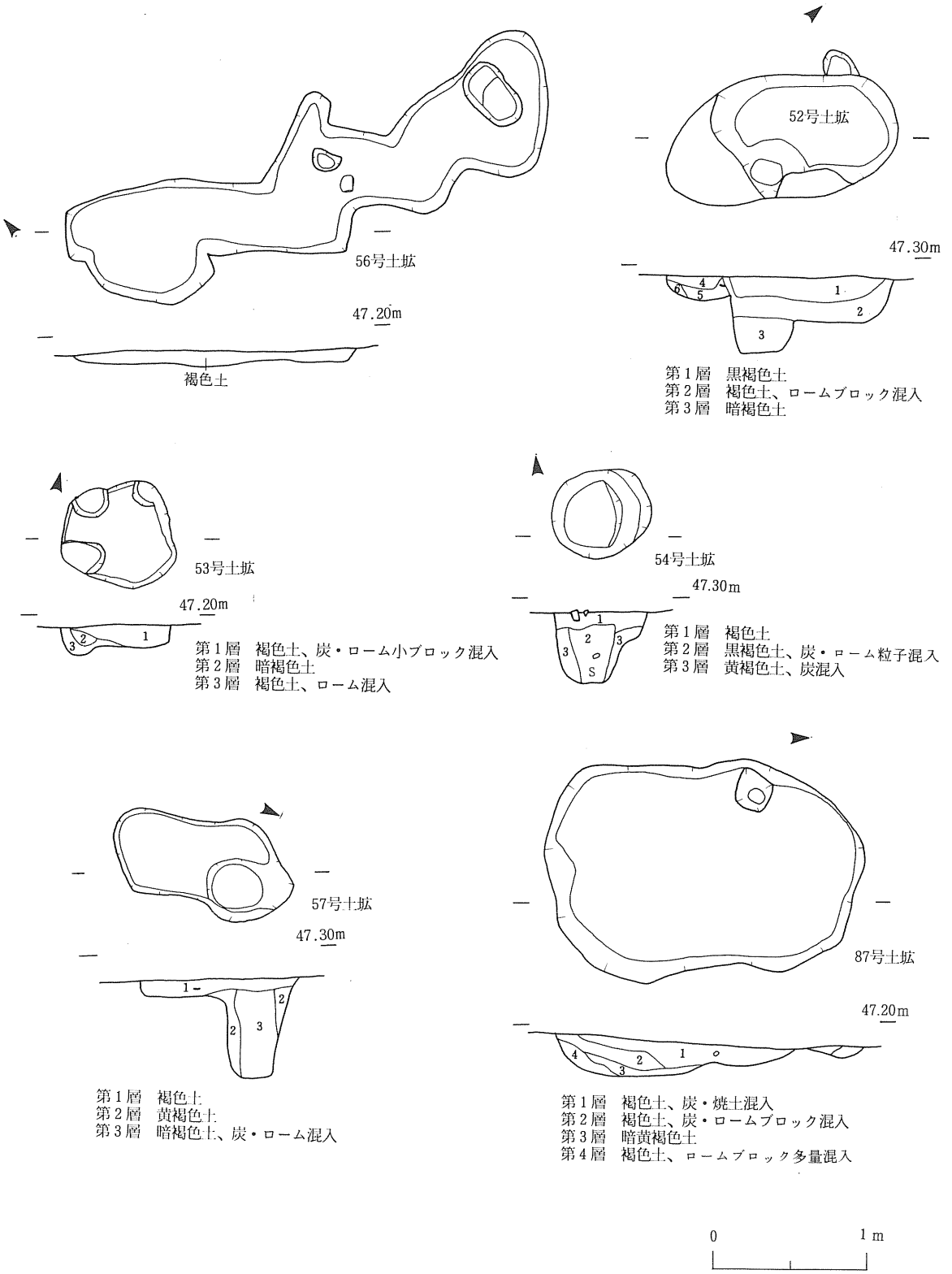
第101図　土坑


50号土坑
47.50m
第1層　褐色土、炭混入
49号土坑
47.50m
第1層　暗褐色土、炭混入
81号土坑
47.10m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　褐色土、炭・ロームブロック混入
79号土坑
47.50m
第1層　暗褐色土、炭混入
78号土坑
47.50m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　褐色土、黄白色粘土混入
第3層　褐色土、焼土・赤橙色粘土ブロック混入
第4層　焼土
第5層　暗褐色土、焼土・暗橙色土の互層
80号土坑
47.50m
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、炭・ローム小ブロック混入
第3層　暗褐色土、ロームブロック混入
第4層　暗褐色土、炭混入
第5層　褐色土
82号土坑
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、炭混入
76号土坑
47.60m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　黄褐色土
77号土坑
47.50m
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　焼土
第3層　暗褐色土、炭混入
第4層　黒褐色土
第5層　褐色土
第6層　褐色土、炭・ロームブロック混入
84号土坑
47.50m
第1層　暗褐色土、炭化物混入
第2層　暗褐色土、炭・ロームブロック混入
第3層　褐色土、炭・焼土混入
第4層　褐色土、炭・灰白色粘土混入
第5層　暗褐色土、炭・灰白色粘土混入
第6層　茶褐色土、ロームブロック混入
0
1m

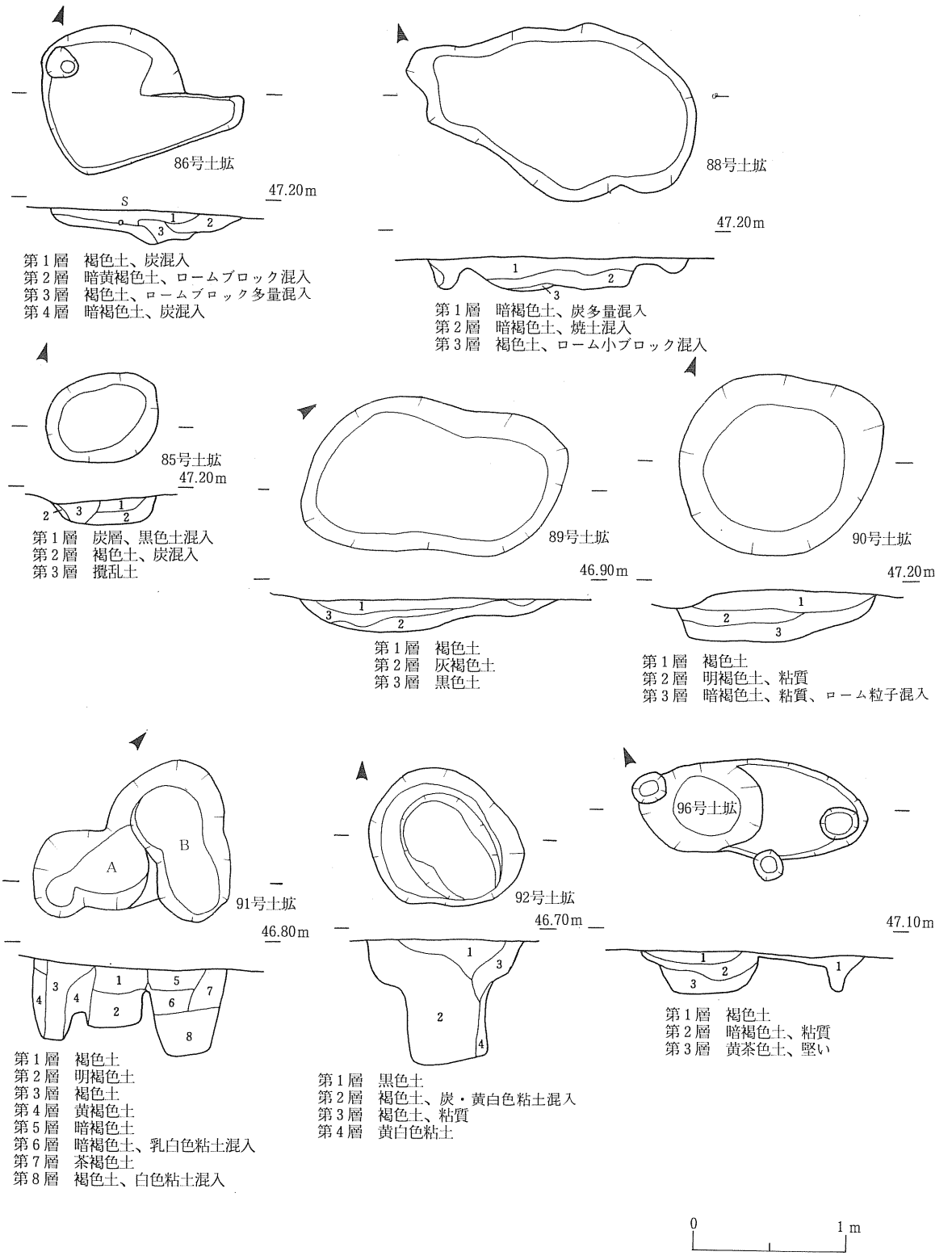
第102図　土坑


75号土拡
47.60m
撹乱
第1層　暗褐色土、黄白色粘土混入
第2層　暗褐色土、ベンガラ混入
第3層　褐色土、炭・黄色粘土混入
第4層　褐色土、炭・白色粘土混入
第5層　ロームブロック
第6層　暗黄褐色土、ロームブロック混入
第7層　暗黄褐色土、黄灰白色粘土混入
第8層　褐色土、黄灰白色粘土混入
第9層　暗褐色土
第10層　黄褐色土
70号土拡
47.70m
第1層　褐色土、炭・ロームブロック混入
第2層　褐色土、炭混入
第3層　暗褐色土、炭・ロームブロック混入
第4層　褐色土、ロームブロック混入
第5層　暗黄褐色土
46号土拡
47.50m
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗黄褐色土、炭混入
第3層　黄褐色土
51号土拡
47.40m
第1層　暗褐色土、炭・焼土混入
第2層　黄白色粘土
第3層　暗褐色土
第4層　暗黄褐色土
44号土拡
47.40m
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、黄褐色土混入
32号土拡
47.20m
第1層　褐色土、炭・ローム粒子混入
33号土拡
47.20m
第1層　褐色土
55号土拡
47.20m
第1層　褐色土、ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土
第4層　黄色土
第5層　暗褐色土
0
1 m

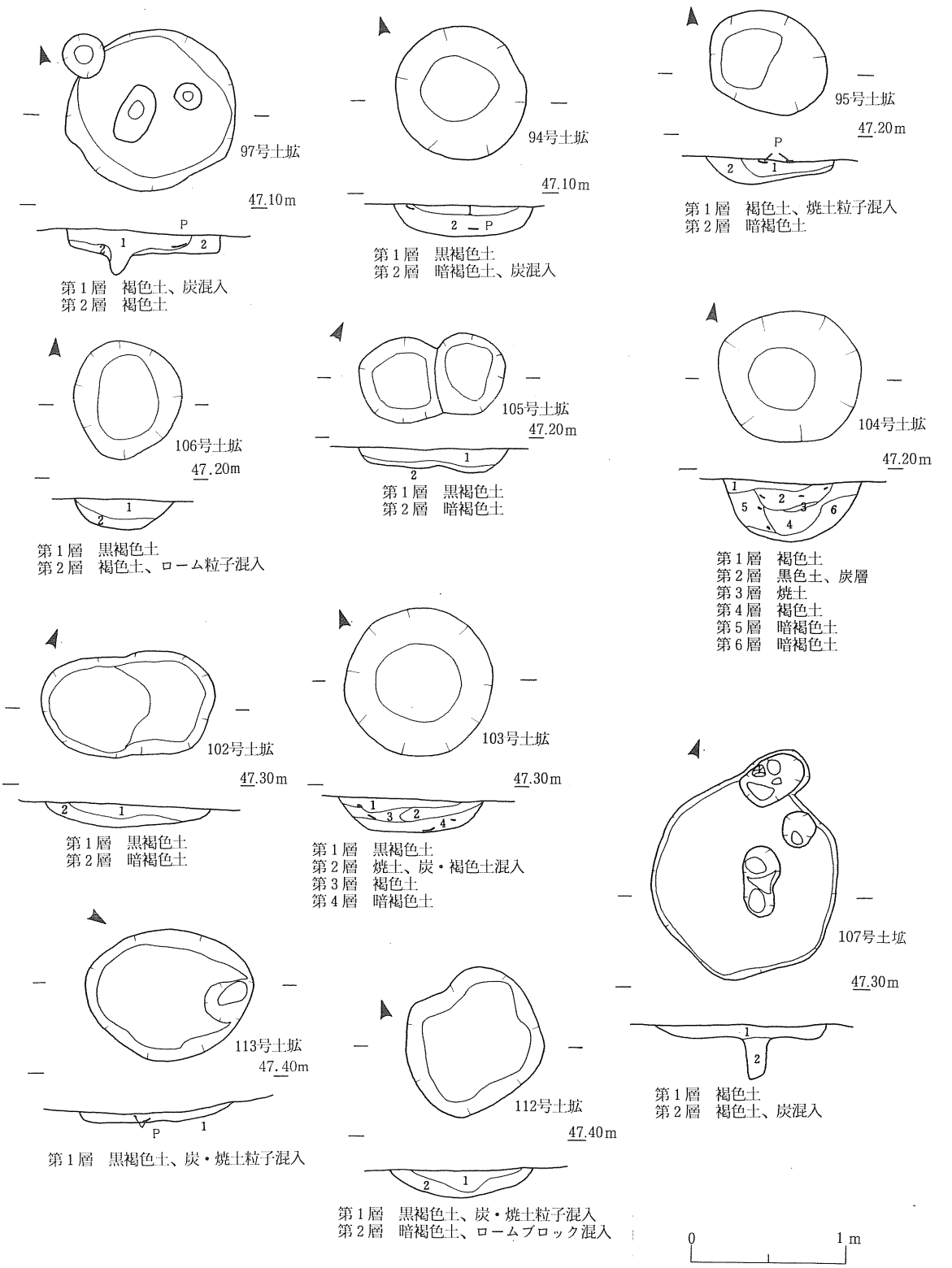
第103図　土拡


56号土坑
47.20m
褐色土
52号土坑
47.30m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土
53号土坑
47.20m
第1層　褐色土、炭・ローム小ブロック混入
第2層　暗褐色土
第3層　褐色土、ローム混入
54号土坑
47.30m
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第3層　黄褐色土、炭混入
57号土坑
47.30m
第1層　褐色土
第2層　黄褐色土
第3層　暗褐色土、炭・ローム混入
87号土坑
47.20m
第1層　褐色土、炭・焼土混入
第2層　褐色土、炭・ロームブロック混入
第3層　暗黄褐色土
第4層　褐色土、ロームブロック多量混入
0
1m

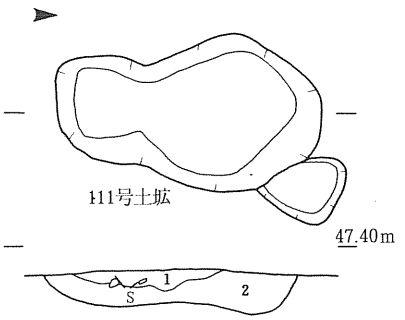
第104図　土坑


86号土坑
47.20m
S
1
2
3
第1層　褐色土、炭混入
第2層　暗黄褐色土、ロームブロック混入
第3層　褐色土、ロームブロック多量混入
第4層　暗褐色土、炭混入
88号土坑
47.20m
1
2
3
第1層　暗褐色土、炭多量混入
第2層　暗褐色土、焼土混入
第3層　褐色土、ローム小ブロック混入
85号土坑
47.20m
1
2
3
第1層　炭層、黒色土混入
第2層　褐色土、炭混入
第3層　攪乱土
89号土坑
46.90m
1
2
3
第1層　褐色土
第2層　灰褐色土
第3層　黒色土
90号土坑
47.20m
1
2
3
第1層　褐色土
第2層　明褐色土、粘質
第3層　暗褐色土、粘質、ローム粒子混入
A
B
91号土坑
46.80m
1
2
3
4
5
6
7
8
第1層　褐色土
第2層　明褐色土
第3層　褐色土
第4層　黄褐色土
第5層　暗褐色土
第6層　暗褐色土、乳白色粘土混入
第7層　茶褐色土
第8層　褐色土、白色粘土混入
92号土坑
46.70m
1
2
3
4
第1層　黒色土
第2層　褐色土、炭・黄白色粘土混入
第3層　褐色土、粘質
第4層　黄白色粘土
96号土坑
47.10m
1
2
3
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、粘質
第3層　黄茶色土、堅い
0
1 m

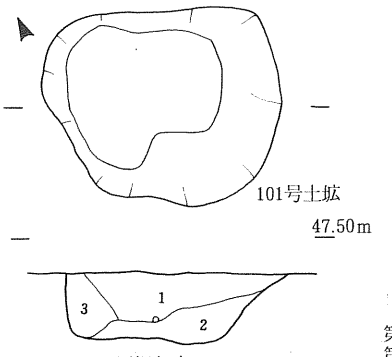
第105図　土坑


97号土坑
47.10m
P
1
2
第1層　褐色土、炭混入
第2層　褐色土
94号土坑
47.10m
2
P
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土、炭混入
95号土坑
47.20m
P
1
2
第1層　褐色土、焼土粒子混入
第2層　暗褐色土
106号土坑
47.20m
1
2
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土、ローム粒子混入
105号土坑
47.20m
1
2
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土
104号土坑
47.20m
1
2
3
4
5
6
第1層　褐色土
第2層　黒色土、炭層
第3層　焼土
第4層　褐色土
第5層　暗褐色土
第6層　暗褐色土
102号土坑
47.30m
1
2
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土
103号土坑
47.30m
1
2
3
4
第1層　黒褐色土
第2層　焼土、炭・褐色土混入
第3層　褐色土
第4層　暗褐色土
107号土坑
47.30m
1
2
第1層　褐色土
第2層　褐色土、炭混入
113号土坑
47.40m
P
1
第1層　黒褐色土、炭・焼土粒子混入
112号土坑
47.40m
1
2
第1層　黒褐色土、炭・焼土粒子混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
0
1m

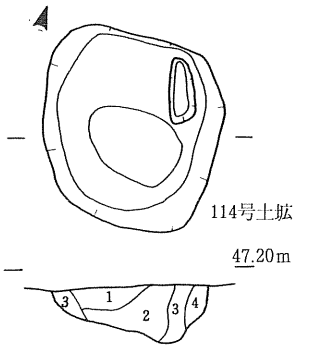
第106図　土坑



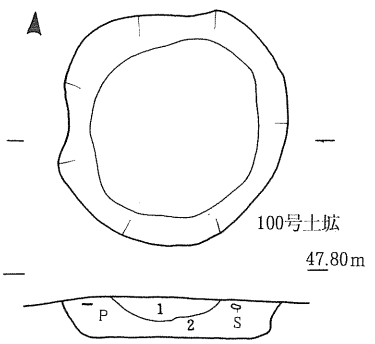
第1層　褐色土、炭・ロームブロック混入
第2層　暗褐色土、炭・焼土混入



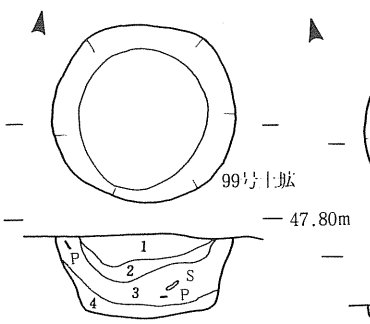
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土、灰青色土混入
第3層　黒褐色土
第4層　乳黄色粘土



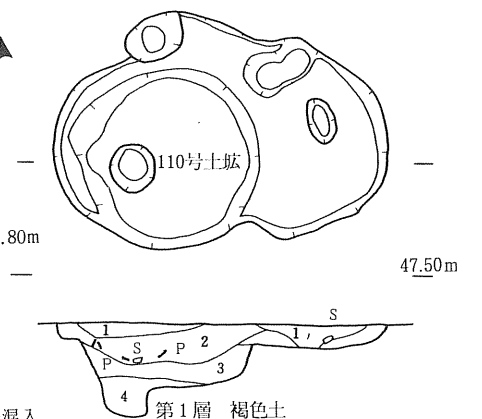
第1層　褐色土
第2層　暗褐色土、ローム粒子混入
第3層　暗黄褐色土
第4層　褐色土、炭・焼土混入



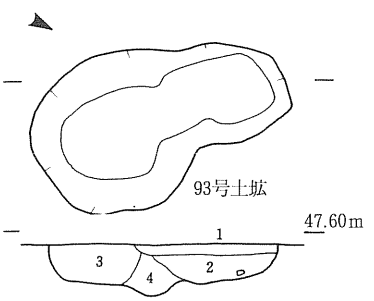
第1層　褐色土、炭混入
第2層　黒色土、炭・ローム粒子混入



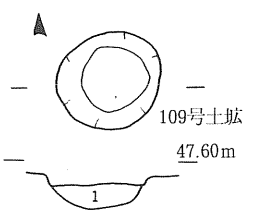
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土、ローム粒子混入
第3層　黒色土、炭混入
第4層　黒褐色土、粘質、ローム粒子混入



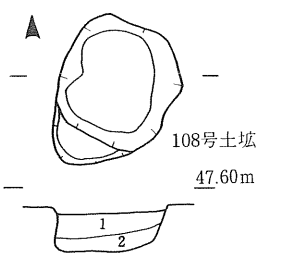
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土、土器・炭混入
第3層　暗褐色土
第4層　褐色土、黄色粘土混入



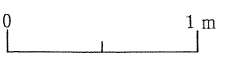
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土、土器・炭混入
第3層　黄褐色土
第4層　黄褐色土、黒色土混入



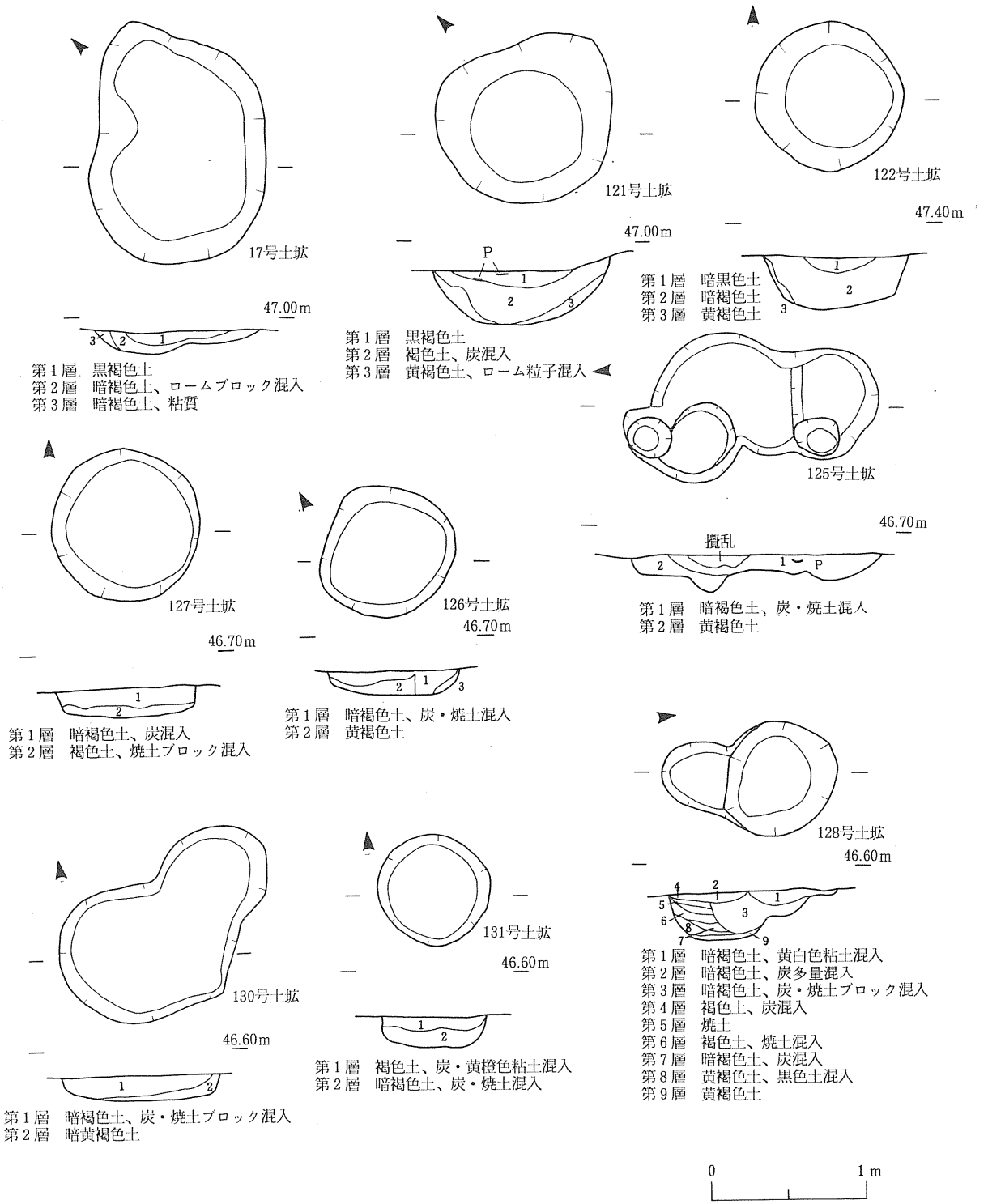
第1層　黒褐色土、炭混入



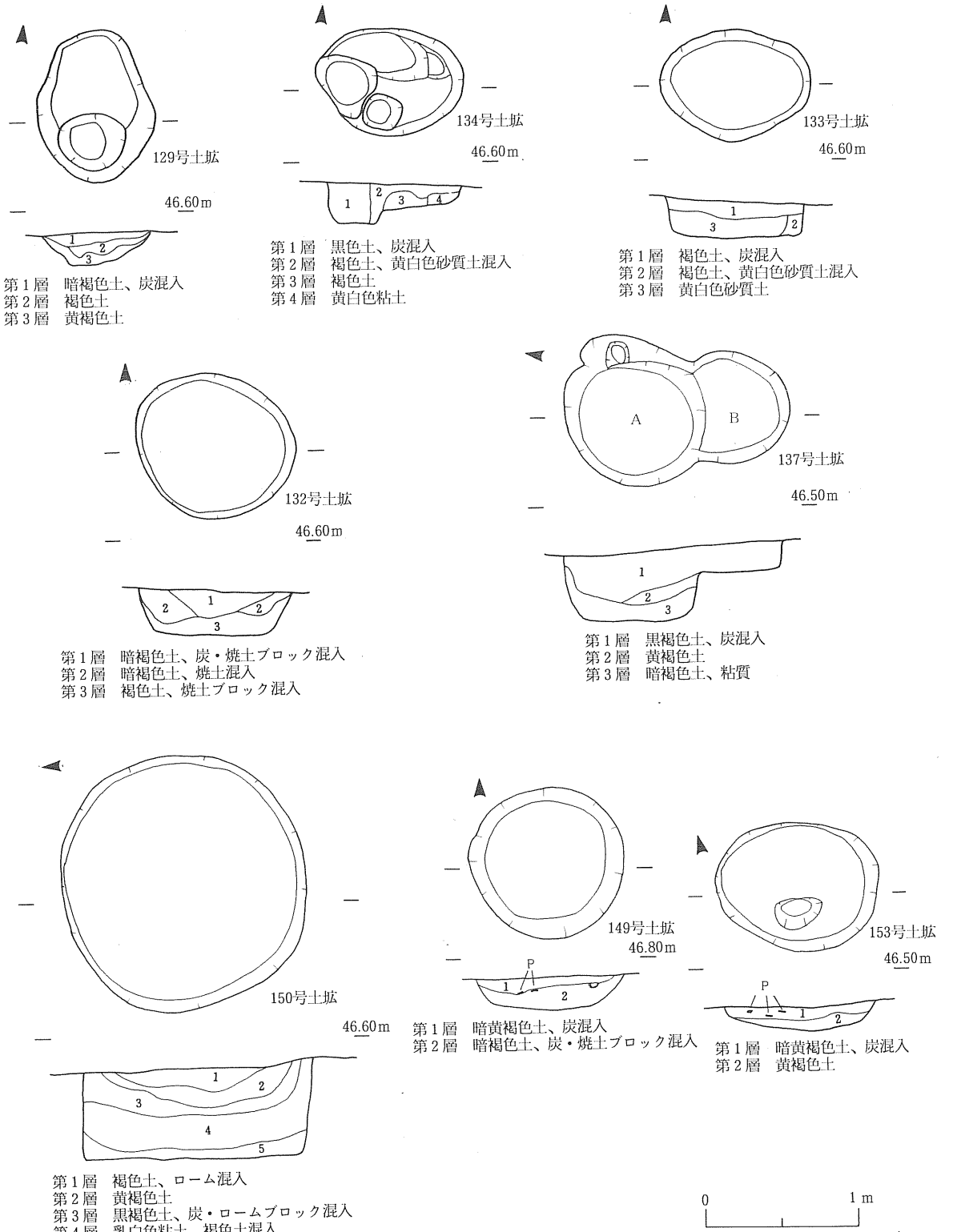
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入



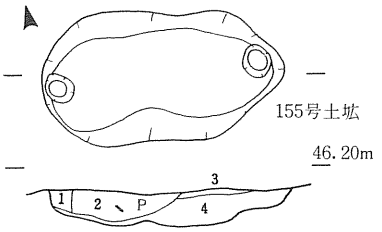
第107図　土坑


17号土拡
47.00m
第1層　黒褐色土
第2層　暗褐色土、ロームブロック混入
第3層　暗褐色土、粘質
121号土拡
47.00m
第1層　黒褐色土
第2層　褐色土、炭混入
第3層　黄褐色土、ローム粒子混入
122号土拡
47.40m
第1層　暗黒色土
第2層　暗褐色土
第3層　黄褐色土
125号土拡
46.70m
撹乱
第1層　暗褐色土、炭・焼土混入
第2層　黄褐色土
127号土拡
46.70m
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　褐色土、焼土ブロック混入
126号土拡
46.70m
第1層　暗褐色土、炭・焼土混入
第2層　黄褐色土
128号土拡
46.60m
第1層　暗褐色土、黄白色粘土混入
第2層　暗褐色土、炭多量混入
第3層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
第4層　褐色土、炭混入
第5層　焼土
第6層　褐色土、焼土混入
第7層　暗褐色土、炭混入
第8層　黄褐色土、黒色土混入
第9層　黄褐色土
130号土拡
46.60m
第1層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
第2層　暗黄褐色土
131号土拡
46.60m
第1層　褐色土、炭・黄橙色粘土混入
第2層　暗褐色土、炭・焼土混入
0
1m

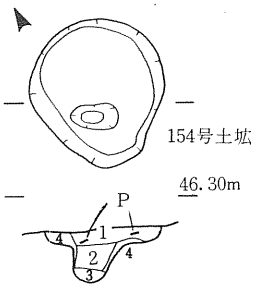
第108図　土拡


129号土拡
46.60m
第1層　暗褐色土、炭混入
第2層　褐色土
第3層　黄褐色土
134号土拡
46.60m
第1層　黒色土、炭混入
第2層　褐色土、黄白色砂質土混入
第3層　褐色土
第4層　黄白色粘土
133号土拡
46.60m
第1層　褐色土、炭混入
第2層　褐色土、黄白色砂質土混入
第3層　黄白色砂質土
132号土拡
46.60m
第1層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
第2層　暗褐色土、焼土混入
第3層　褐色土、焼土ブロック混入
137号土拡
46.50m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　黄褐色土
第3層　暗褐色土、粘質
150号土拡
46.60m
第1層　褐色土、ローム混入
第2層　黄褐色土
第3層　黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第4層　乳白色粘土、褐色土混入
第5層　黒色土、炭・焼土混入
149号土拡
46.80m
第1層　暗黄褐色土、炭混入
第2層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
153号土拡
46.50m
第1層　暗黄褐色土、炭混入
第2層　黄褐色土
0
1m

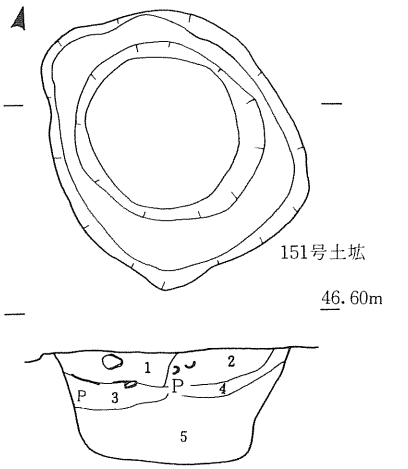
第109図　土拡



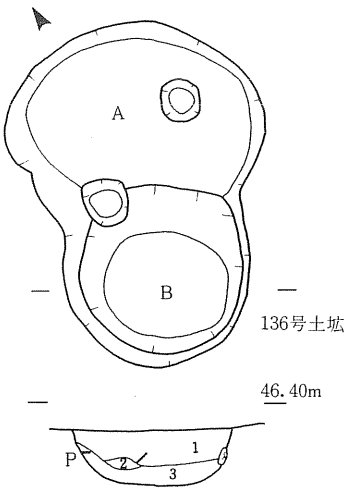
第１層　暗褐色土、炭混入
第２層　暗褐色土
第３層　褐色土
第４層　暗黄褐色土、焼土ブロック混入



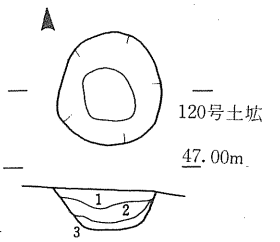
第１層　褐色土、炭混入
第２層　褐色土
第３層　黄褐色土
第４層　暗黄褐色土



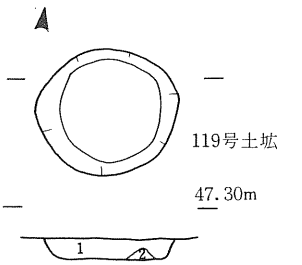
第１層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
第２層　暗褐色土
第３層　褐色土、炭・黄色粘土混入
第４層　黄褐色土
第５層　褐色土



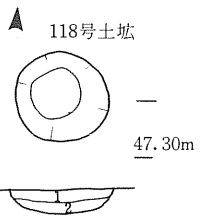
第１層　暗褐色　炭　焼土ブロック混入
第２層　焼土
第３層　黄褐色土　黄色粘土混入



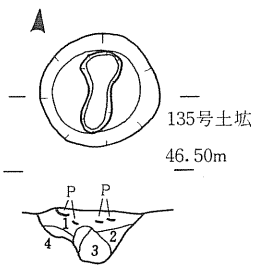
第１層　褐色土、炭・焼土ブロック混入
第２層　褐色土
第３層　暗褐色土



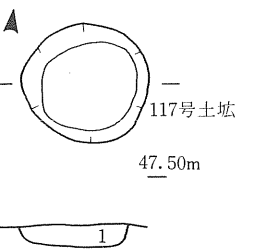
第１層　褐色土、焼土ブロック混入
第２層　黄褐色土



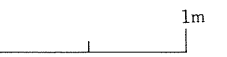
第１層　褐色土、炭混入
第２層　褐色土



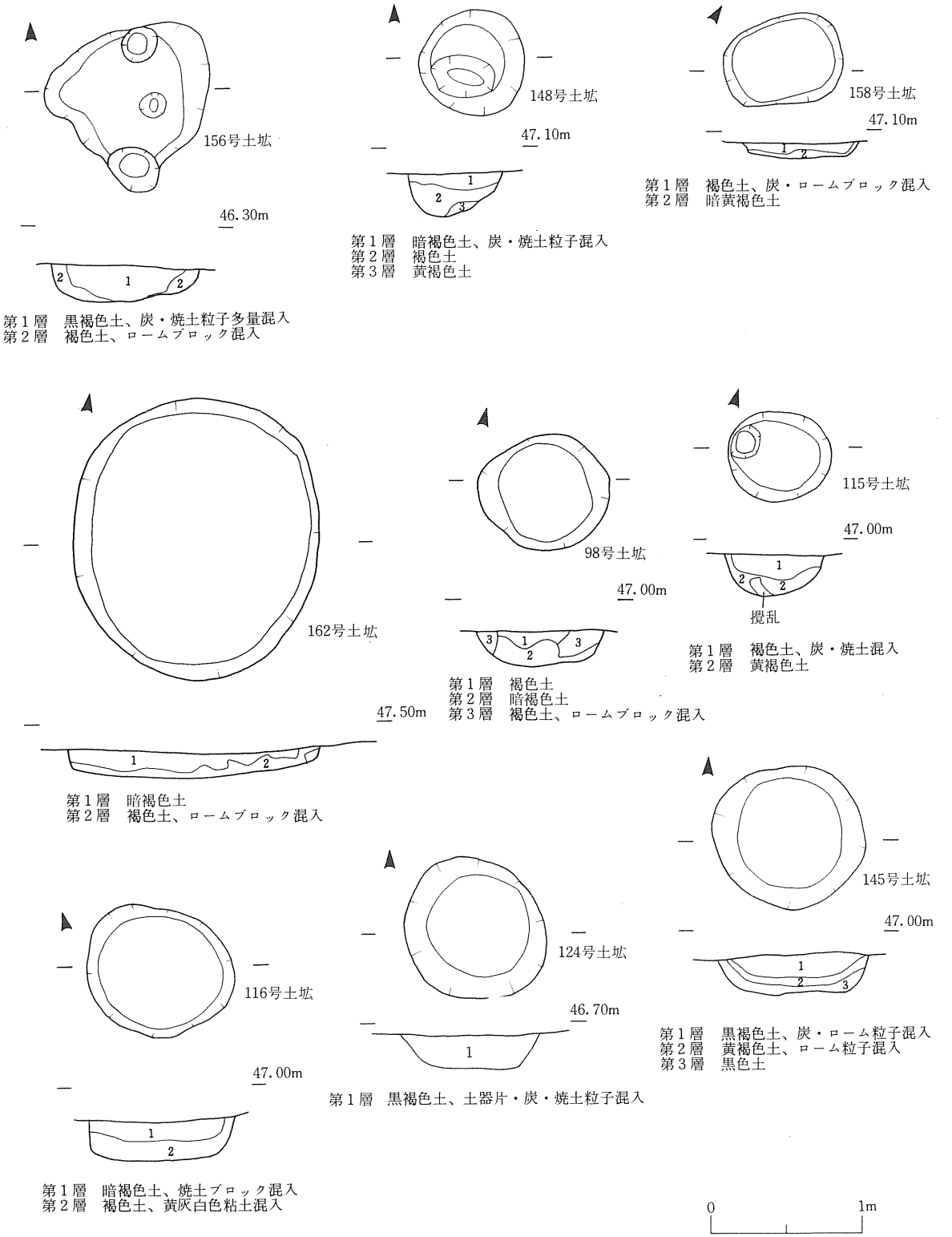
第１層　暗褐色土、炭混入
第２層　褐色土
第３層　暗褐色土
第４層　暗黄褐色土



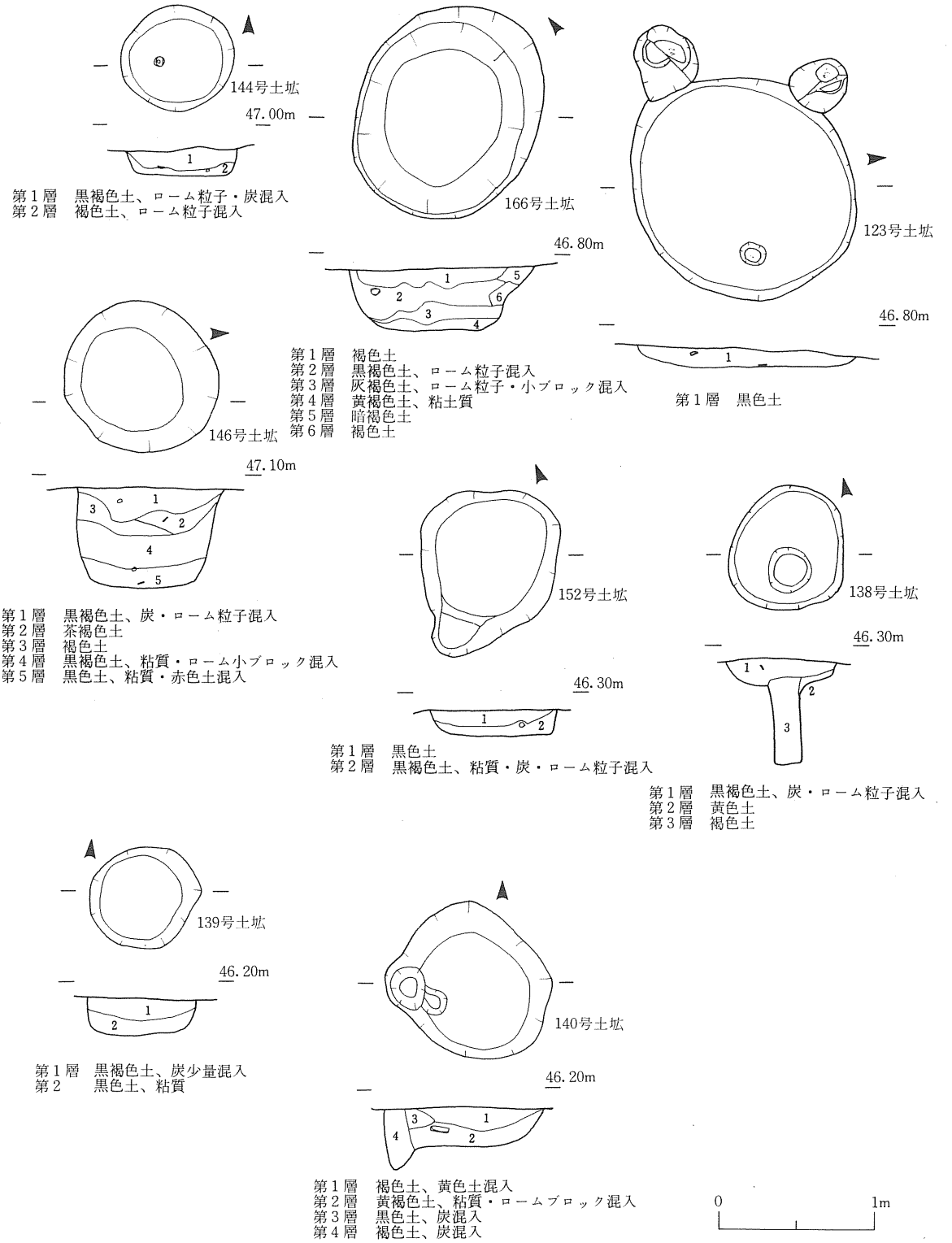
第１層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入



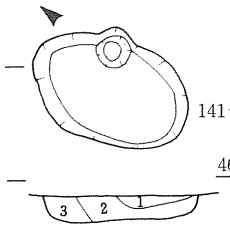
第110図　土坑


156号土坑
46.30m
第１層　黒褐色土、炭・焼土粒子多量混入
第２層　褐色土、ロームブロック混入
148号土坑
47.10m
第１層　暗褐色土、炭・焼土粒子混入
第２層　褐色土
第３層　黄褐色土
158号土坑
47.10m
第１層　褐色土、炭・ロームブロック混入
第２層　暗黄褐色土
162号土坑
47.50m
第１層　暗褐色土
第２層　褐色土、ロームブロック混入
98号土坑
47.00m
第１層　褐色土
第２層　暗褐色土
第３層　褐色土、ロームブロック混入
115号土坑
47.00m
撹乱
第１層　褐色土、炭・焼土混入
第２層　黄褐色土
116号土坑
47.00m
第１層　暗褐色土、焼土ブロック混入
第２層　褐色土、黄灰白色粘土混入
124号土坑
46.70m
第１層　黒褐色土、土器片・炭・焼土粒子混入
145号土坑
47.00m
第１層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第２層　黄褐色土、ローム粒子混入
第３層　黒色土
0
1m

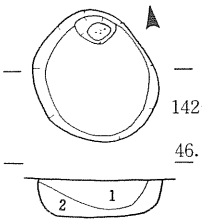
第111図　土坑


144号土坑
47.00m
第1層　黒褐色土、ローム粒子・炭混入
第2層　褐色土、ローム粒子混入
166号土坑
46.80m
第1層　褐色土
第2層　黒褐色土、ローム粒子混入
第3層　灰褐色土、ローム粒子・小ブロック混入
第4層　黄褐色土、粘土質
第5層　暗褐色土
第6層　褐色土
123号土坑
46.80m
第1層　黒色土
146号土坑
47.10m
第1層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第2層　茶褐色土
第3層　褐色土
第4層　黒褐色土、粘質・ローム小ブロック混入
第5層　黒色土、粘質・赤色土混入
152号土坑
46.30m
第1層　黒色土
第2層　黒褐色土、粘質・炭・ローム粒子混入
138号土坑
46.30m
第1層　黒褐色土、炭・ローム粒子混入
第2層　黄色土
第3層　褐色土
139号土坑
46.20m
第1層　黒褐色土、炭少量混入
第2　黒色土、粘質
140号土坑
46.20m
第1層　褐色土、黄色土混入
第2層　黄褐色土、粘質・ロームブロック混入
第3層　黒色土、炭混入
第4層　褐色土、炭混入
0
1m

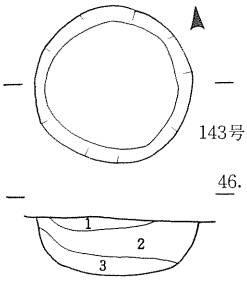
第112図　土坑



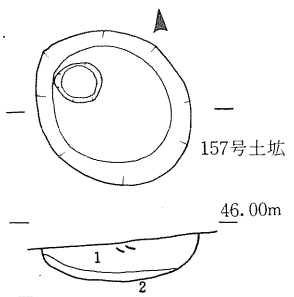
第１層　暗褐色土
第２層　黄褐色土
第３層　褐色土



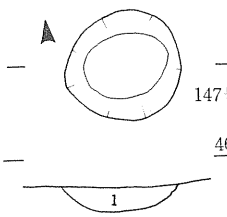
第１層　暗褐色土、炭・灰白色土混入
第２層　黒褐色土、炭混入



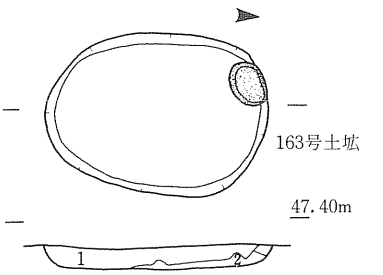
第１層　暗黄褐色土、炭混入
第２層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
第３層　暗褐色土、炭・黄白色粘土混入



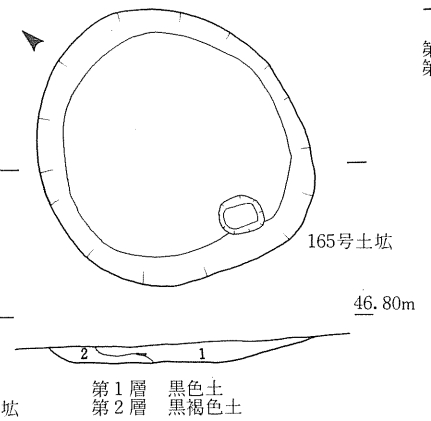
第１層　黒褐色土、炭・ロームブロック混入
第２層　暗黄褐色土



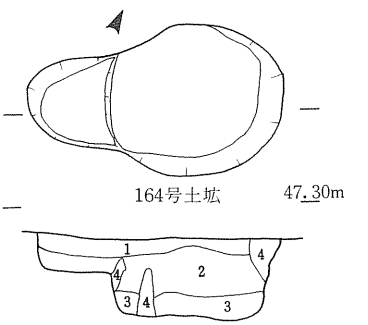
第１層　黒褐色土、炭・ロームブロック混入



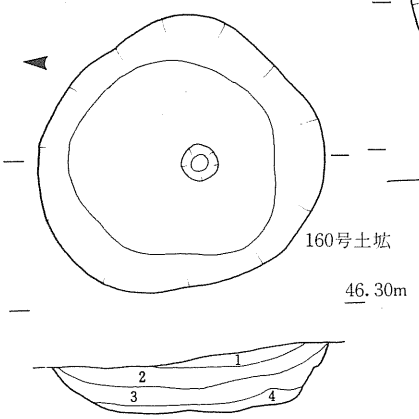
第１層　黒褐色土
第２層　褐色土、ロームブロック混入



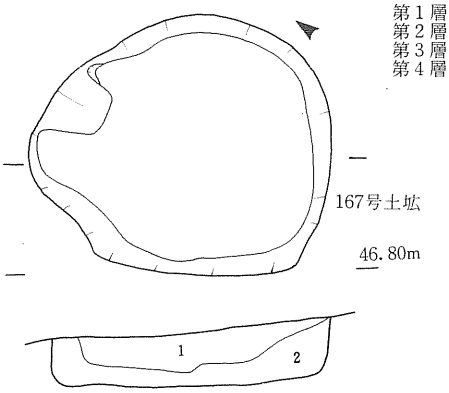
第１層　黒色土
第２層　黒褐色土



第１層　褐色土、炭混入
第２層　褐色土、ロームブロック混入
第３層　暗褐色土
第４層　黄橙色土、ロームブロック混入



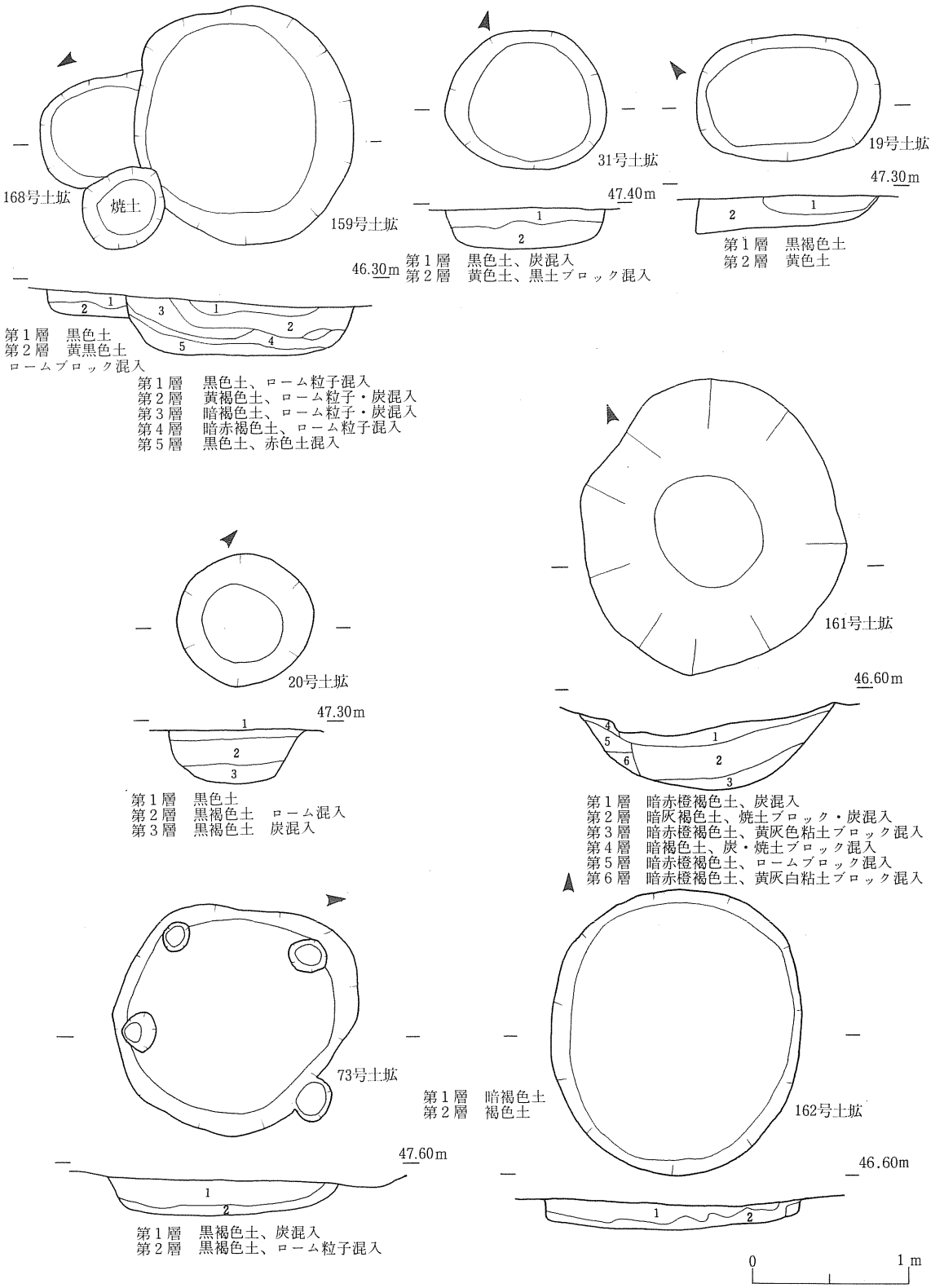
第１層　黒色土
第２層　暗褐色土、ローム粒子混入
第３層　黒褐色土
第４層　黒色土、炭混入



第１層　茶褐色土
第２層　褐色土、灰乳色土混入

0　1m

第113図　土坑


168号土拡
焼土
159号土拡
46.30m
第1層　黒色土
第2層　黄黒色土
ロームブロック混入
第1層　黒色土、ローム粒子混入
第2層　黄褐色土、ローム粒子・炭混入
第3層　暗褐色土、ローム粒子・炭混入
第4層　暗赤褐色土、ローム粒子混入
第5層　黒色土、赤色土混入
31号土拡
47.40m
第1層　黒色土、炭混入
第2層　黄色土、黒土ブロック混入
19号土拡
47.30m
第1層　黒褐色土
第2層　黄色土
20号土拡
47.30m
第1層　黒色土
第2層　黒褐色土　ローム混入
第3層　黒褐色土　炭混入
161号土拡
46.60m
第1層　暗赤橙褐色土、炭混入
第2層　暗灰褐色土、焼土ブロック・炭混入
第3層　暗赤橙褐色土、黄灰色粘土ブロック混入
第4層　暗褐色土、炭・焼土ブロック混入
第5層　暗赤橙褐色土、ロームブロック混入
第6層　暗赤橙褐色土、黄灰白粘土ブロック混入
73号土拡
47.60m
第1層　黒褐色土、炭混入
第2層　黒褐色土、ローム粒子混入
第1層　暗褐色土
第2層　褐色土
162号土拡
46.60m
0
1m

第114図　土拡

土器：160は浅鉢形土器である。沈線文と横方向にのびる大腿骨文が施されている。

105号土坑出土遺物（第117図）

土器：161は鉢形土器である。瘤状の突起を中心に沈線文が施されている。

111号土坑出土遺物（第121図）

石器：54は有茎の石鏃である。

115号土坑出土遺物（第121図）

石器：56は石剣である。両端は欠損している。57は縦型の石匙である。ツマミ部分の両面にアスファルトが付着している。

117号土坑出土遺物（第117図）

土器：162・163は鉢形土器である。区画内に連続刻目文が施されている。

121号土坑出土遺物（第118・121図）

土器：164・166は浅鉢、165は鉢形土器である。沈線を主体に文様を施している。165は工字文風になる。

石器：60は刃部の一部が欠損する磨製石斧である。

122号土坑出土遺物（第118図）

土器：167～169は鉢形土器、170は浅鉢形土器である。167は小波状口縁をなし、二条の平行沈線文がまわる。168・169は平行沈線文をまわし、164は山形口縁をなす。170は沈線間に連続刻目文を施している。

130号土坑出土遺物（第118図）

土器：171は鉢形土器である。小波状口縁をなし、2条の平行沈線文をあらわしている。

131号土坑出土遺物（第121図）

石器：58は扁平な凝灰岩を使用したくぼみ石である。

133号土坑出土遺物（第118図）

土器：172は注口土器、173は浅鉢形土器である。いずれも連続刻目文がみられる。

135号土坑出土遺物（第121図）

石器：59は磨製石斧である。

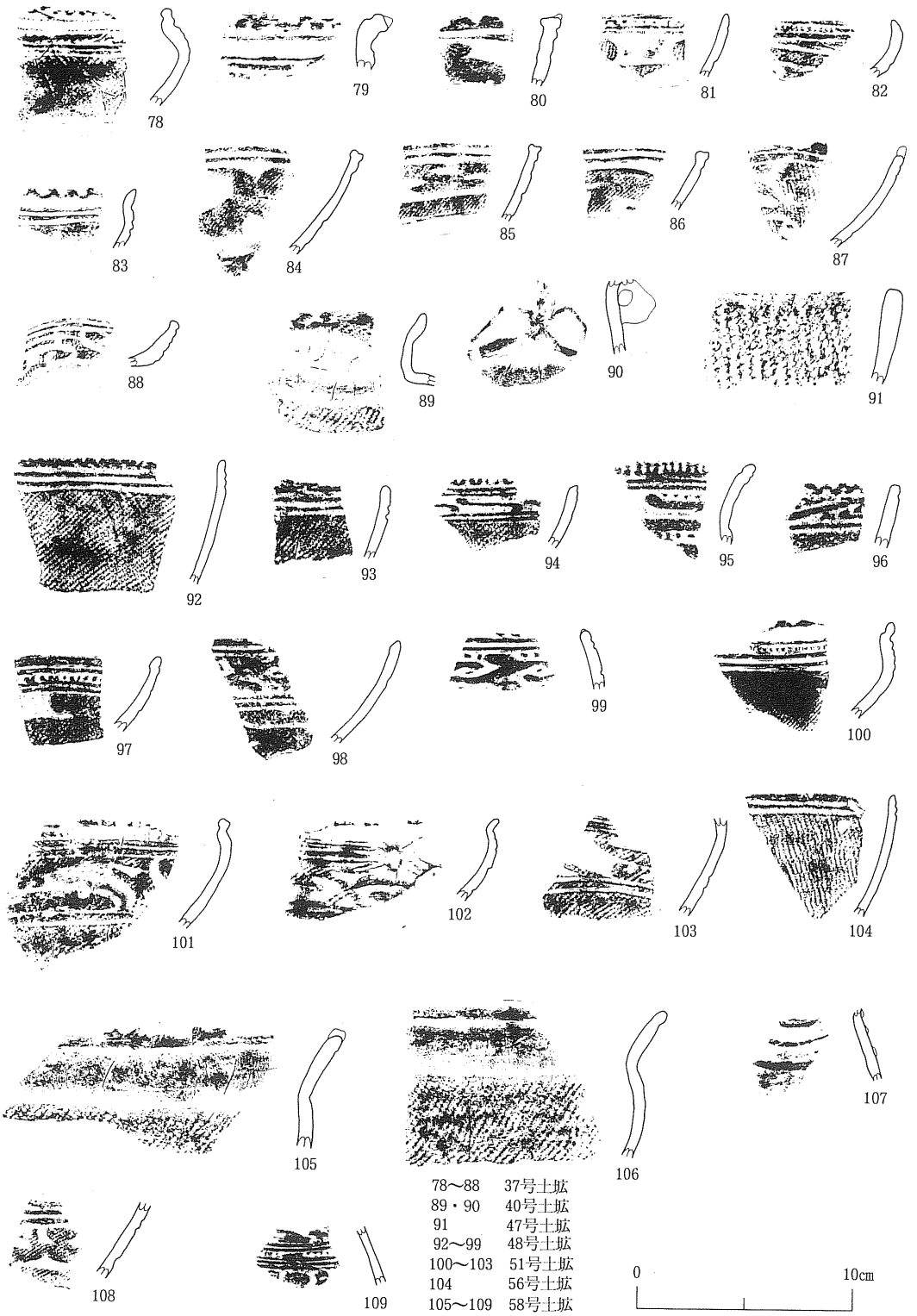
136号土坑出土遺物（第118図）

土器：174は浅鉢形土器、175は注口土器である。174は口縁部に連続刻目文、体部に雲形文が施されている。

138号土坑出土遺物（第118図）

土器：176・177は浅鉢形土器である。177は口縁に貼り付けによる小波状口縁をなし、3条の平行沈線文がまわる。体部は磨消し手法により「x」字状文などが施されている。

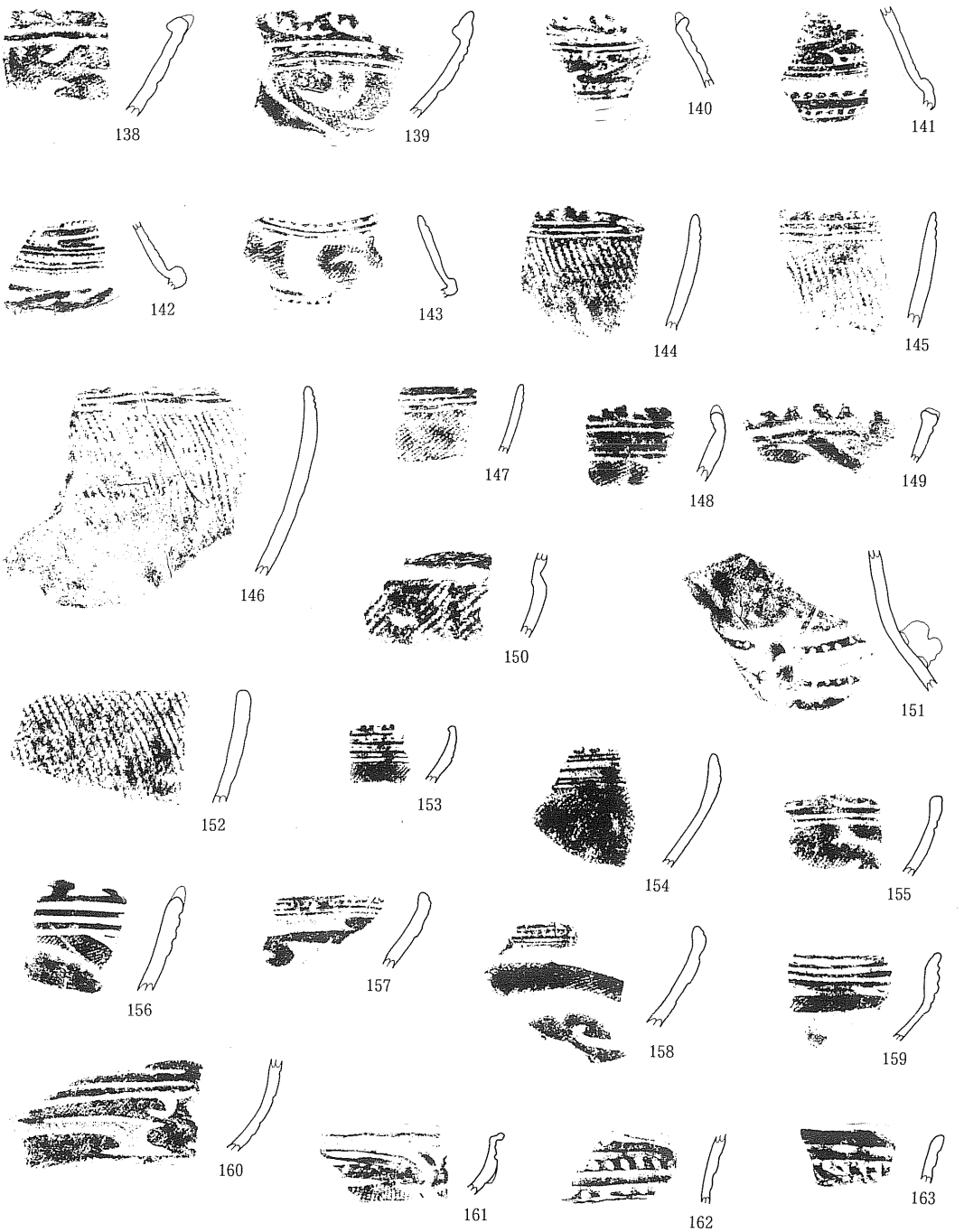
142号土坑出土遺物（第118図）



第115図　遺構内出土土器

110～116　73号土拡　　117、118　75号土拡
119～126　78号土拡　　127～129　80号土拡
130～137　84号土拡

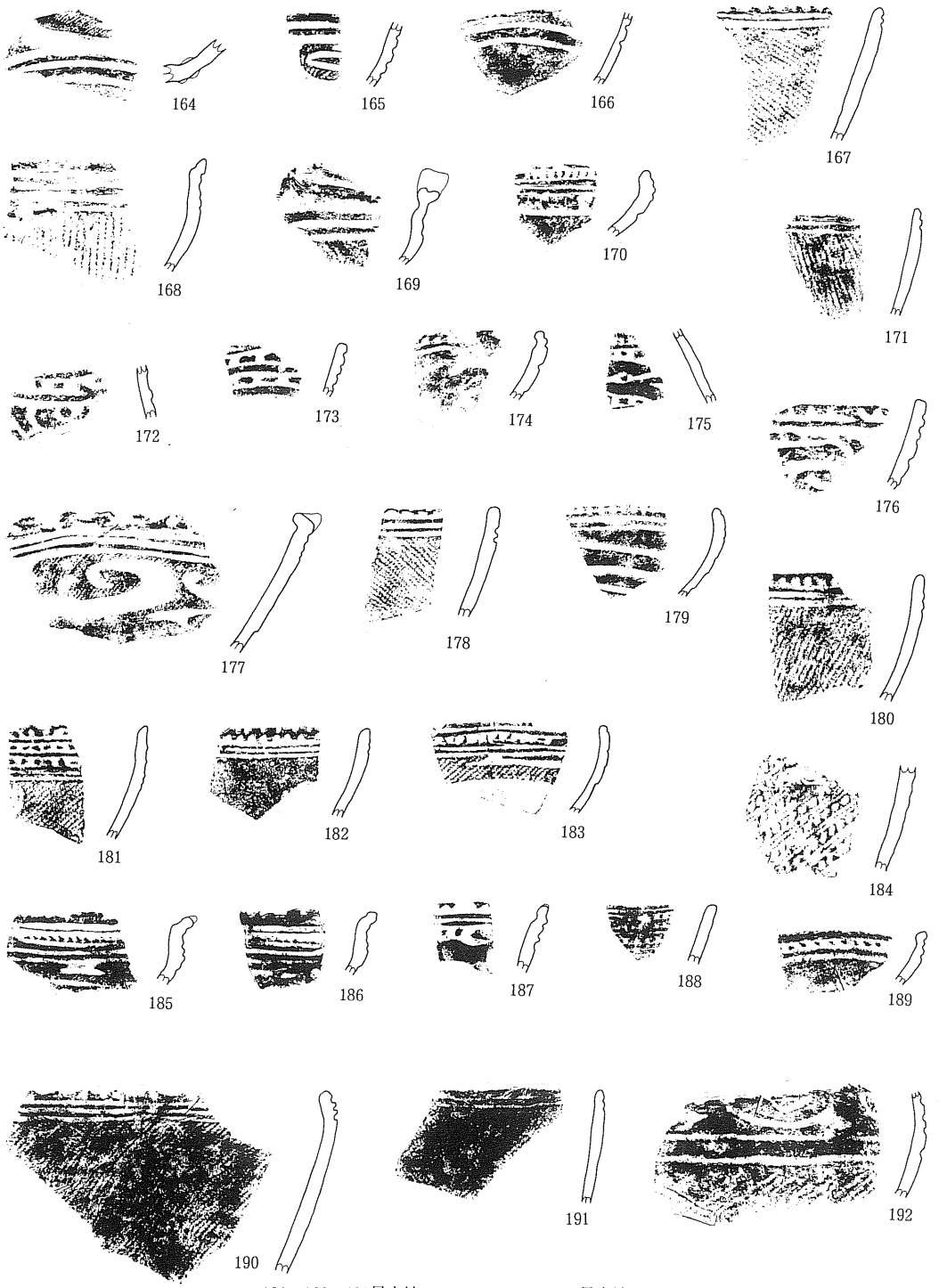
第116図　遺構内出土土器



138〜143　84号土拡　　144〜147　88号土拡
148、149　93号土拡　　150〜159　99号土拡
160　　103号土拡　　161　　105号土拡 B
162、163　117号土拡

0　10cm

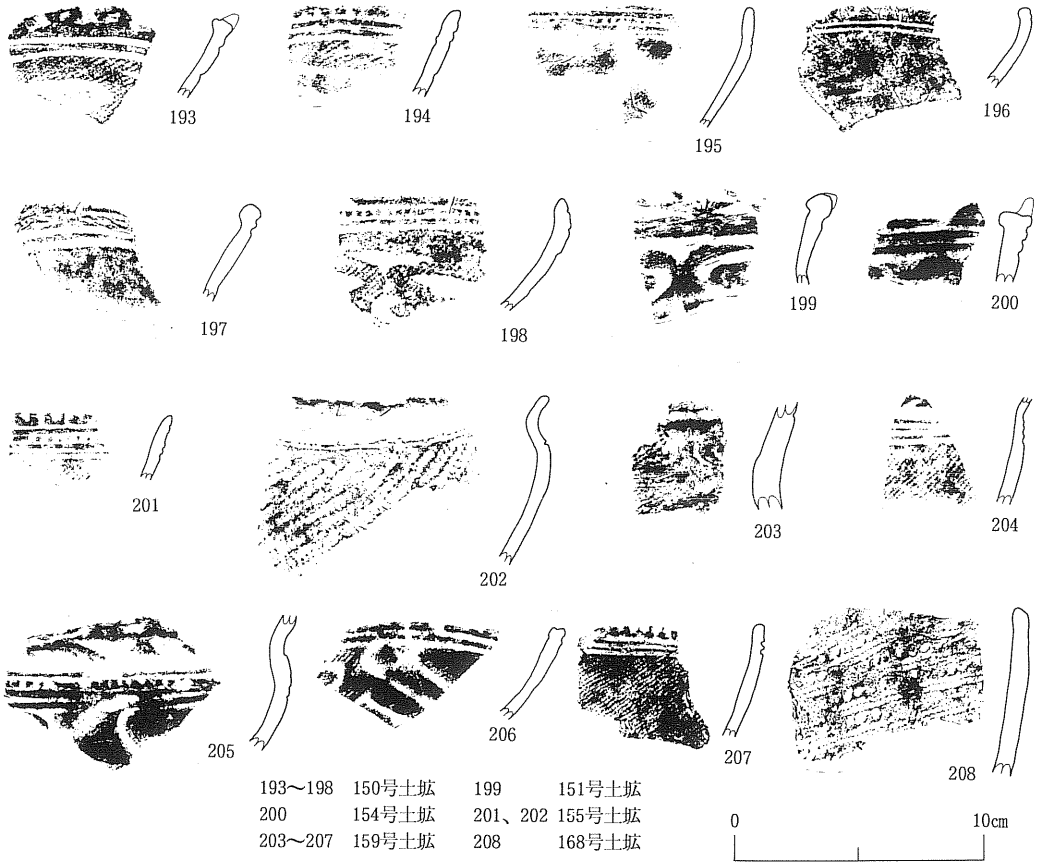
第117図　遺構内出土土器



164〜166	121号土坑	167〜170	122号土坑
171	130号土坑	172、173	133号土坑
174、175	136号土坑B	176、177	138号土坑
178、179	145号土坑	180〜183	146号土坑
184〜189	149号土坑	190〜192	150号土坑

0　10cm

第118図　遺構内出土土器



第119図　遺構内出土土器

石器：61は刃部が欠損する磨製石斧である。

145号土坑出土遺物（第121図）

土器：178は鉢形土器、179は浅鉢形土器である。178は小波状口縁をなし、2条の平行沈線文がまわる。174は口縁部に連続刻目文、体部には沈線文がみられる。

146号土坑出土遺物（第118図）

土器：180～182は鉢形土器、183は浅鉢形土器である。口縁部に連続刻目文がみられ、平行沈線文が施される。181は体部に羊歯状文が平行線化した文様がみられる。

149号土坑出土遺物（第118・121図）

土器：184～188は鉢形土器、184は浅鉢形土器である。184を除き、連続刻目文と平行沈線文を主体に文様を施している。

石器：62は有茎の石鏃である。

150号土坑出土遺物（第118・119図）

土器：191・194は鉢形土器、190・192・193・195～198は浅鉢形土器である。浅鉢形土器は、口縁部に平行沈線文、連続刻目文を施し、体部は無文、磨消し縄文により「x」字状文が施されるのが

主体を占める。

151号土坑出土遺物（第119・121図）

土器：199は浅鉢形土器である。口縁に波状文、体部には磨消し縄文による「x」字状文が施される。

石器：63は縦型石匙である。

154号土坑出土遺物（第119図）

土器：200は鉢形土器である。口縁部に平行沈線文がまわる。

155号土坑出土遺物（第119・121図）

土器：201・202は鉢形土器である。201は小波状口縁をなし、連続刻目文が施されている。202は口縁が「く」の字状に外反し、無文帯である。

石器：64は両面使用の「くぼみ石」である。

159号土坑出土遺物（第119図）

土器：203～205・206は鉢形土器である。鉢形土器は小波状口縁をなし、平行沈線文がまわる。205は体部に連続刻目文が施されている。

161号土坑出土遺物（第120図）

石器：50は刃部が欠損する磨製石斧である。

163号土坑出土遺物（第120図）

石器：51・52は有茎の石鏃である。

168号土坑出土遺物（第119図）

土器：208は深鉢形土器片である。

出土土器

地方遺跡では、遺構内外から多くの土器が出土している。特に遺構外の（6－4～10－E～J）グリッド付近は沢頭になっており、おびただしい量の土器が出土している。整理用コンテナで約600箱ほどである。ここでは、それらの中から復元、実測できた土器、拓本資料として抽出した土器について扱うこととした。土器はすべて縄文時代晩期の土器であり、土器型式から群に、器形から類に分類して述べる。

第1群土器（第136図・第163図881）

大洞B式土器を本群とした。器種には深鉢、注口土器がある。

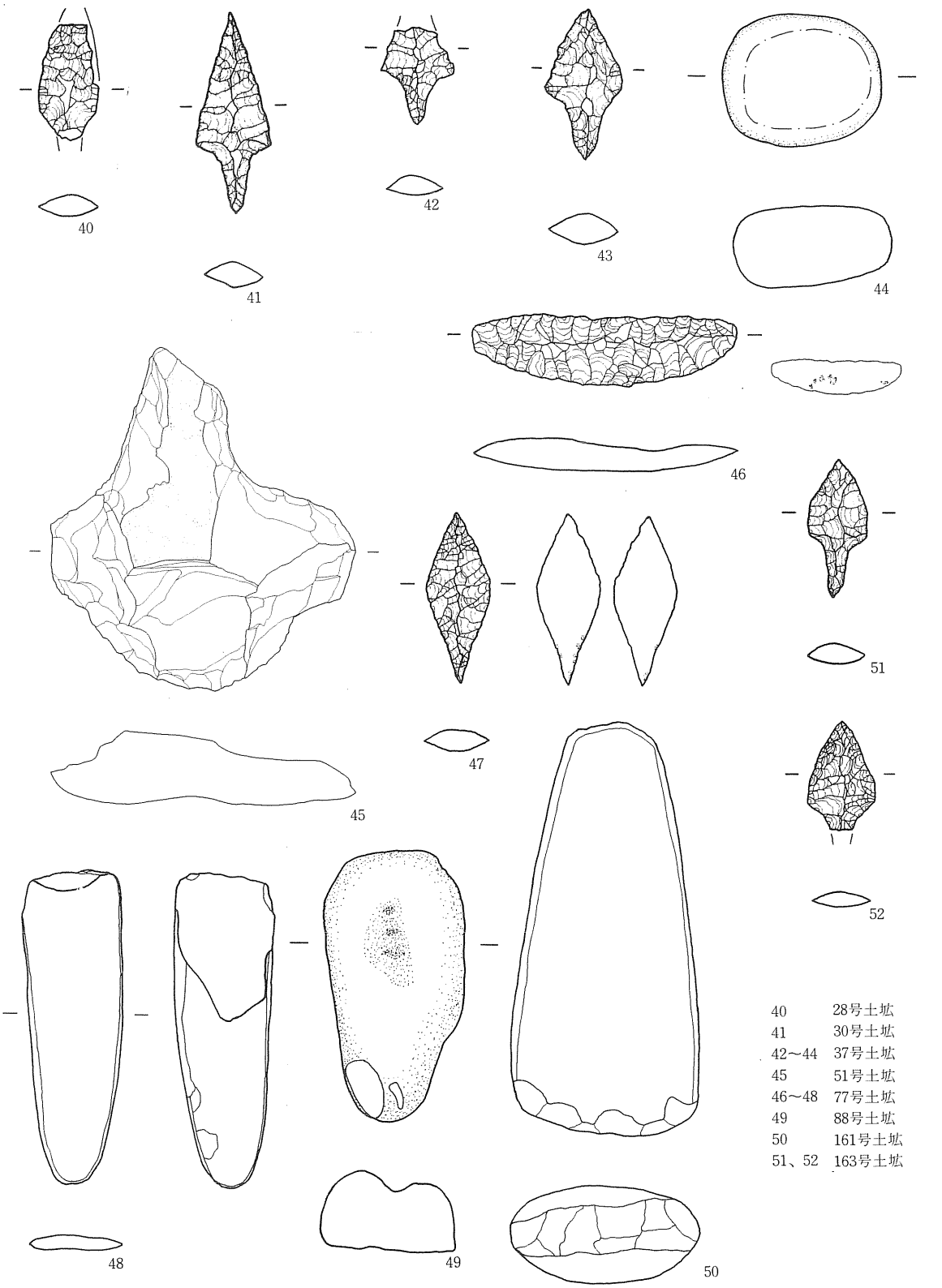
Ⅰ類土器：深鉢形土器である。その施文様からa～c類に分類できる。

a類（365・366・374）

平縁で、頸部に1～2条の沈線がめぐり、口縁部には三叉文が施される。

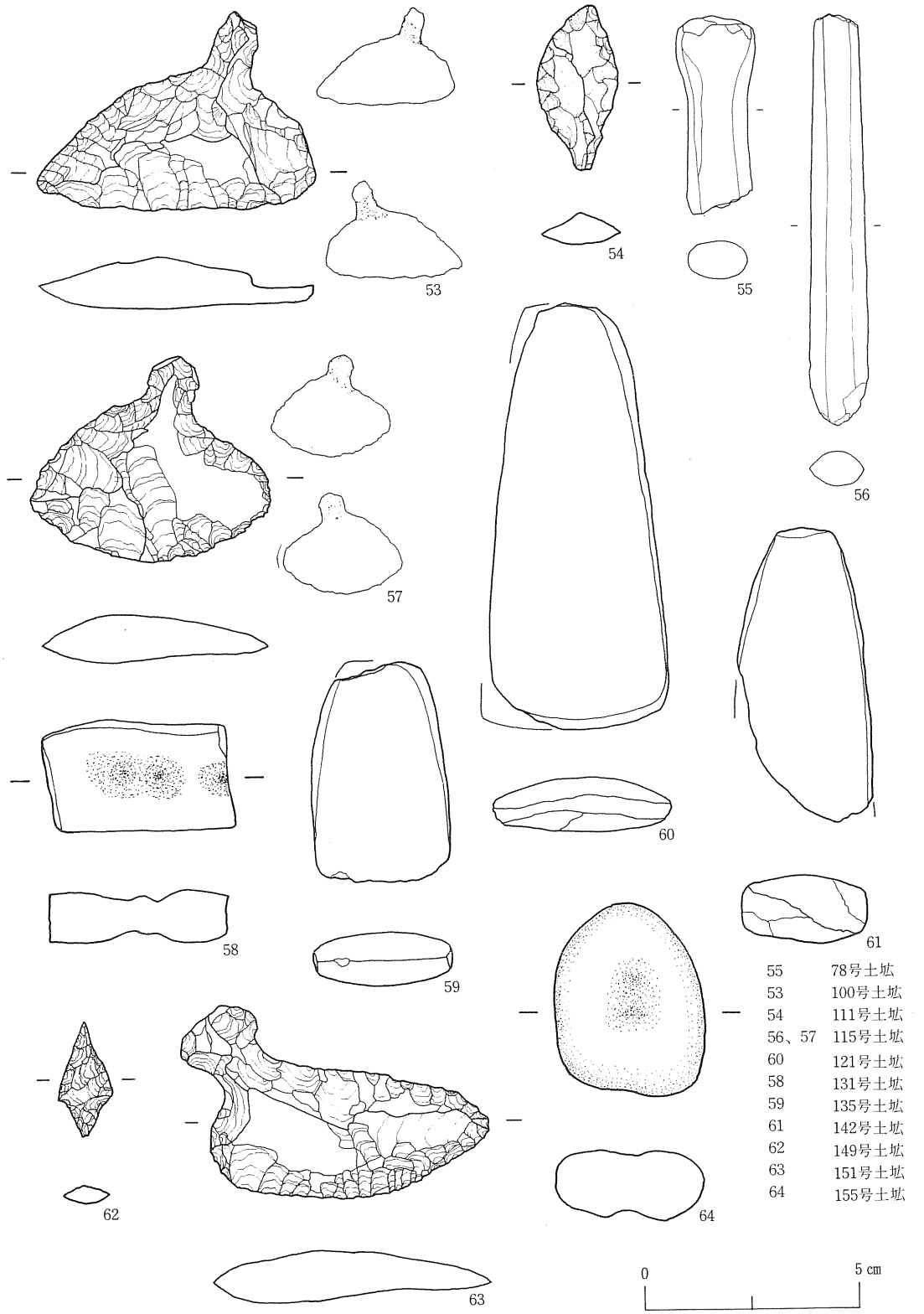
b類（367～373）

Ⅰa類と同じく平縁であり、口縁頸部に沈線がまわっているが、口縁部の三叉文が沈線となって



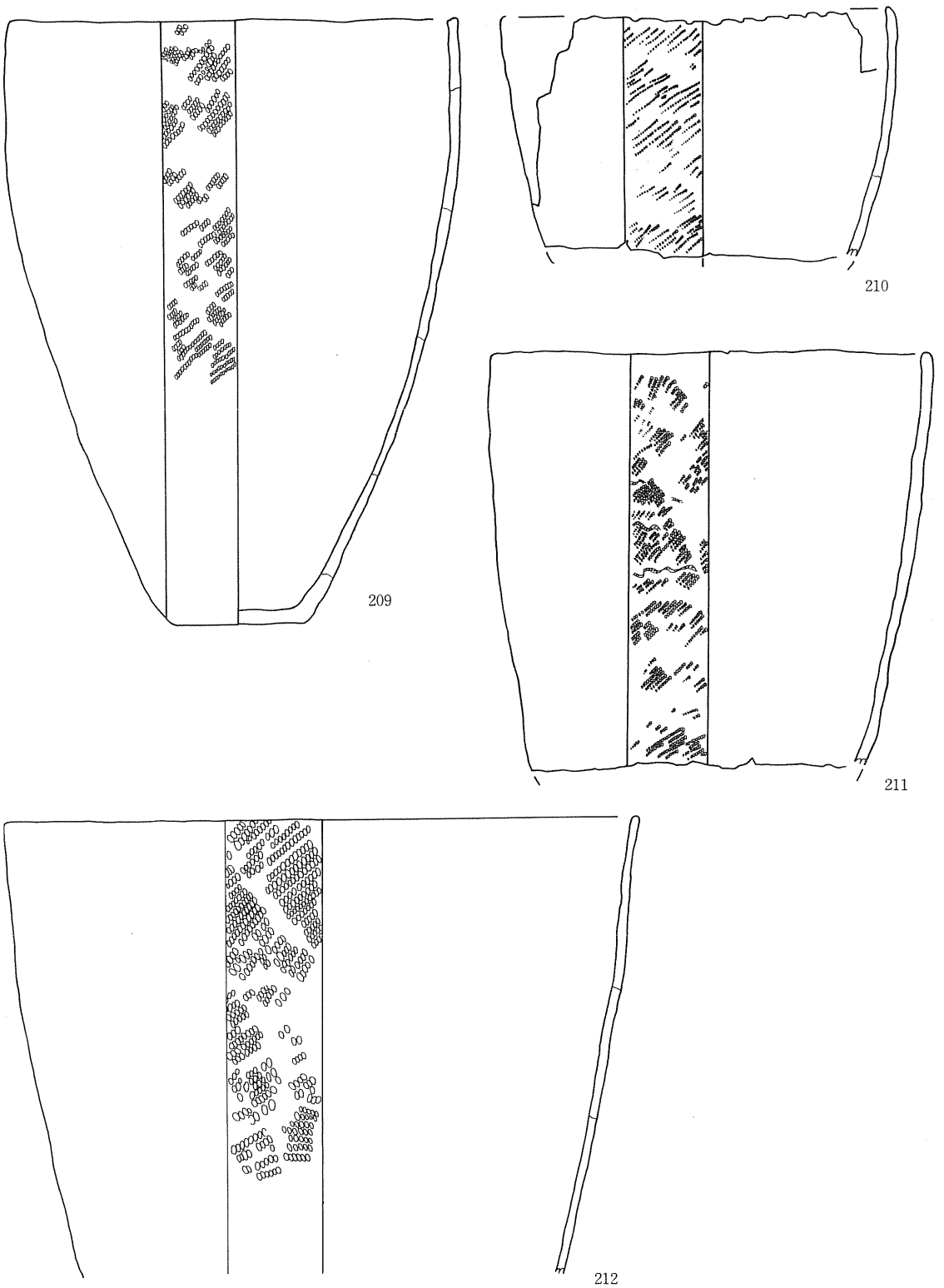
40	28号土坑
41	30号土坑
42～44	37号土坑
45	51号土坑
46～48	77号土坑
49	88号土坑
50	161号土坑
51、52	163号土坑

第120図　遺構内出土石器

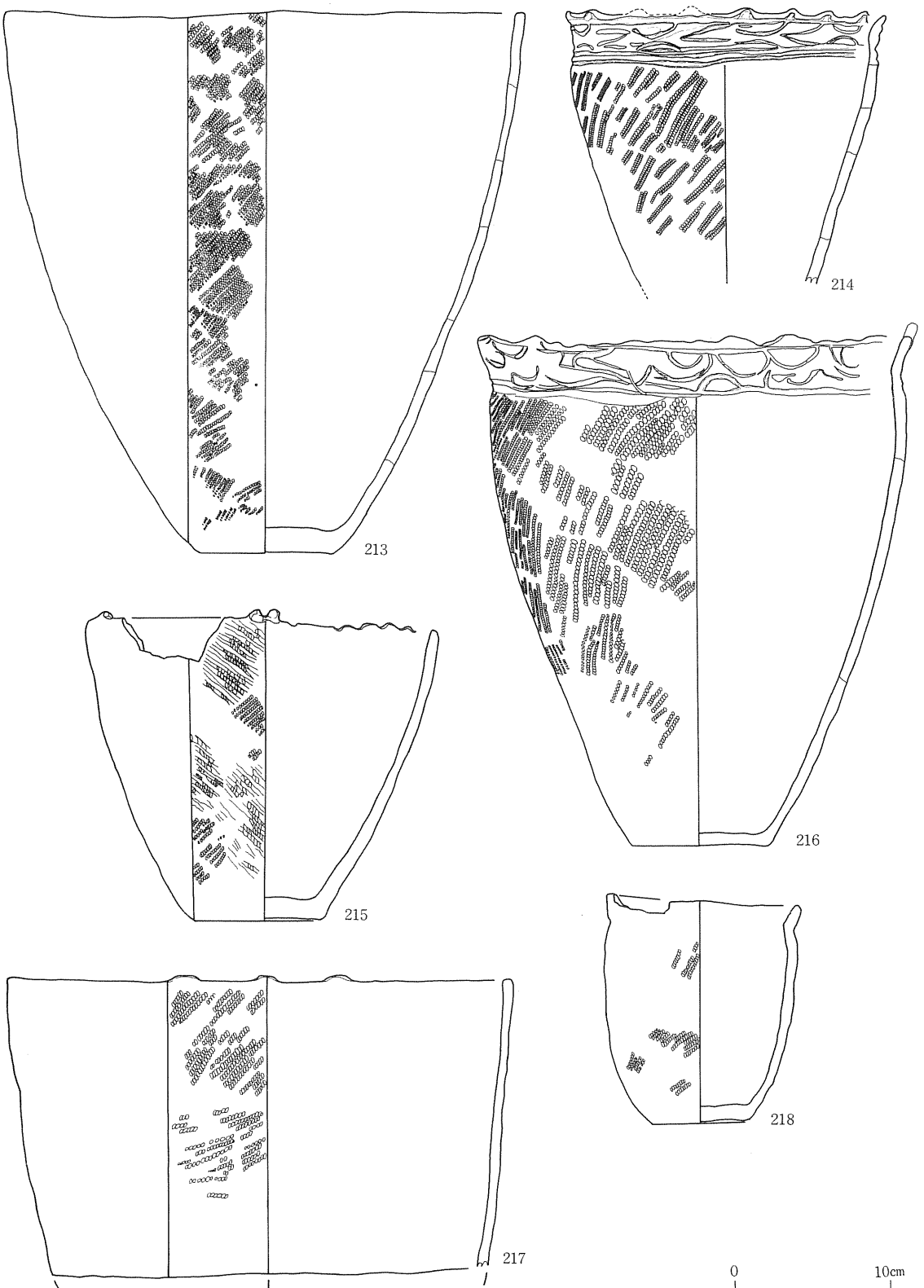


55	78号土坑
53	100号土坑
54	111号土坑
56、57	115号土坑
60	121号土坑
58	131号土坑
59	135号土坑
61	142号土坑
62	149号土坑
63	151号土坑
64	155号土坑

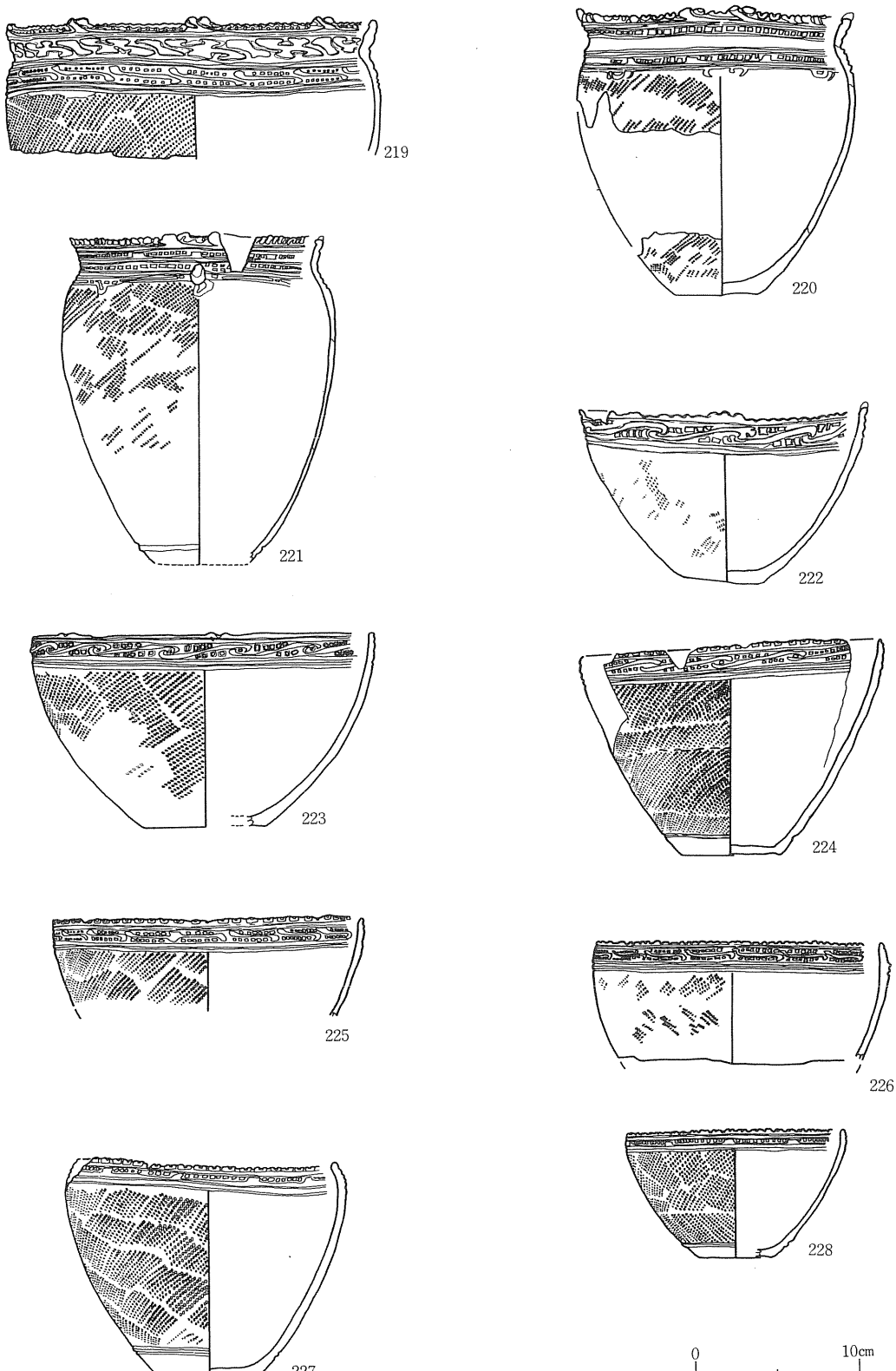
第121図　遺構内出土石器



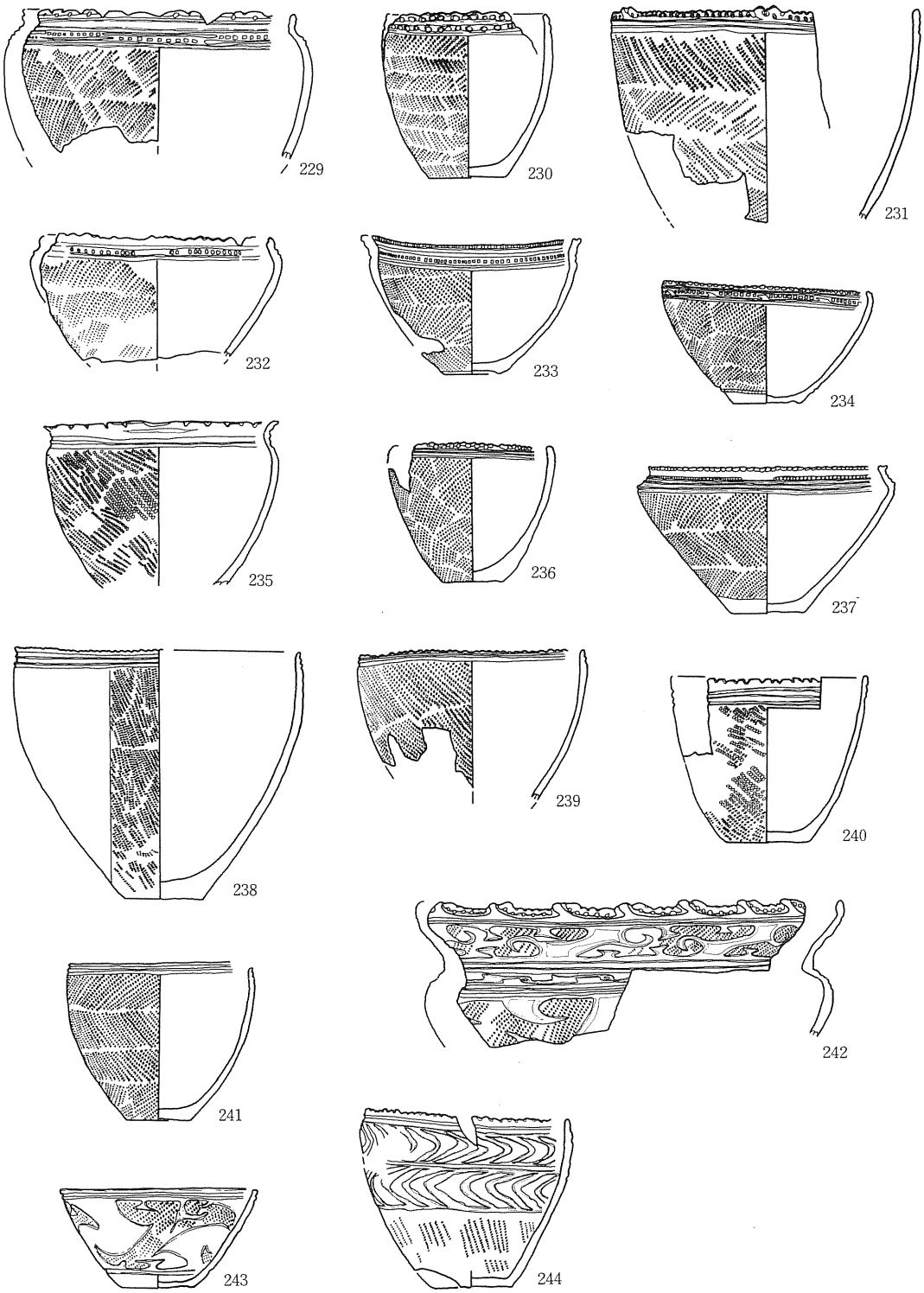
第122図　遺構外出土土器



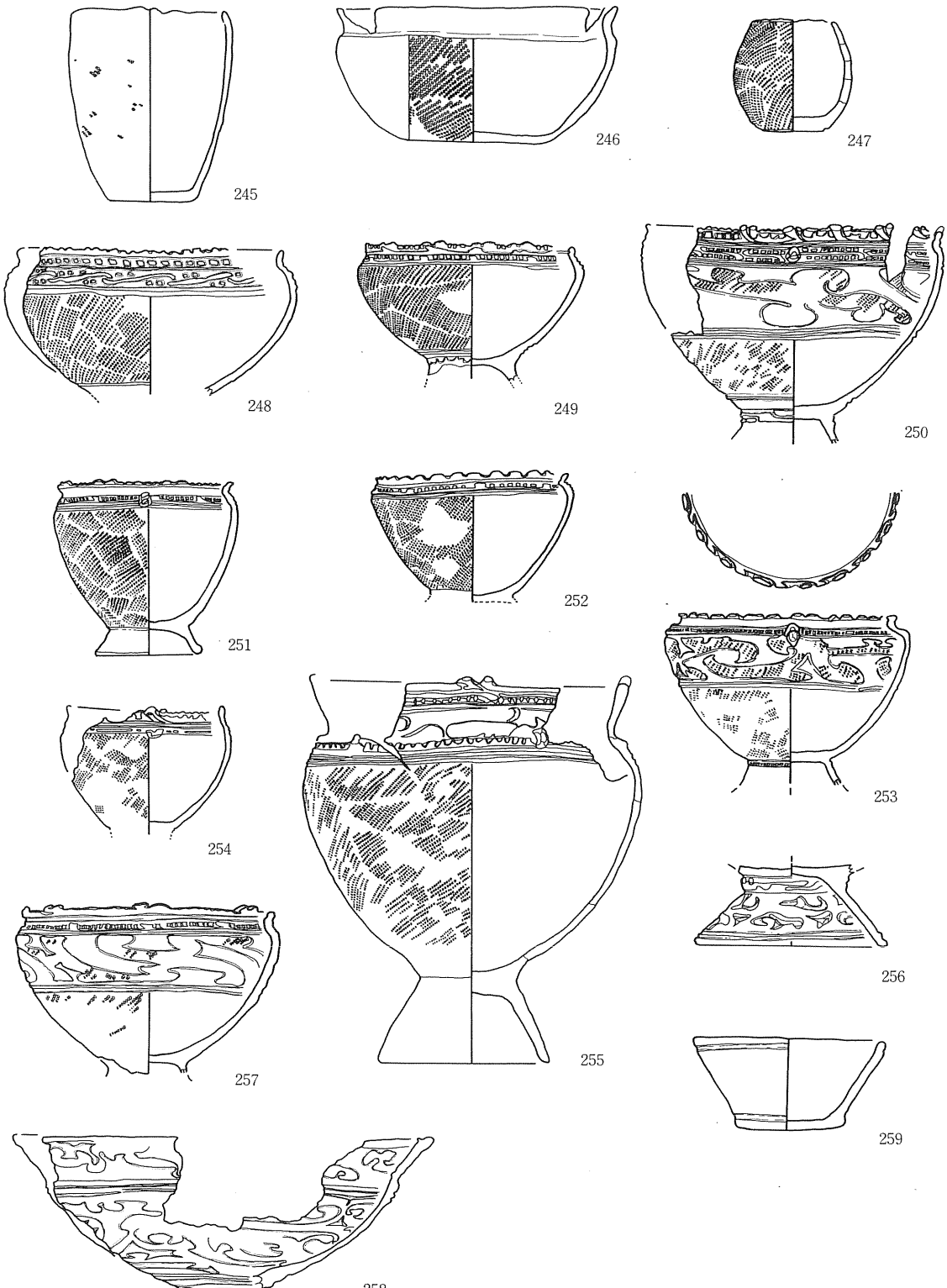
第123図　遺構外出土土器



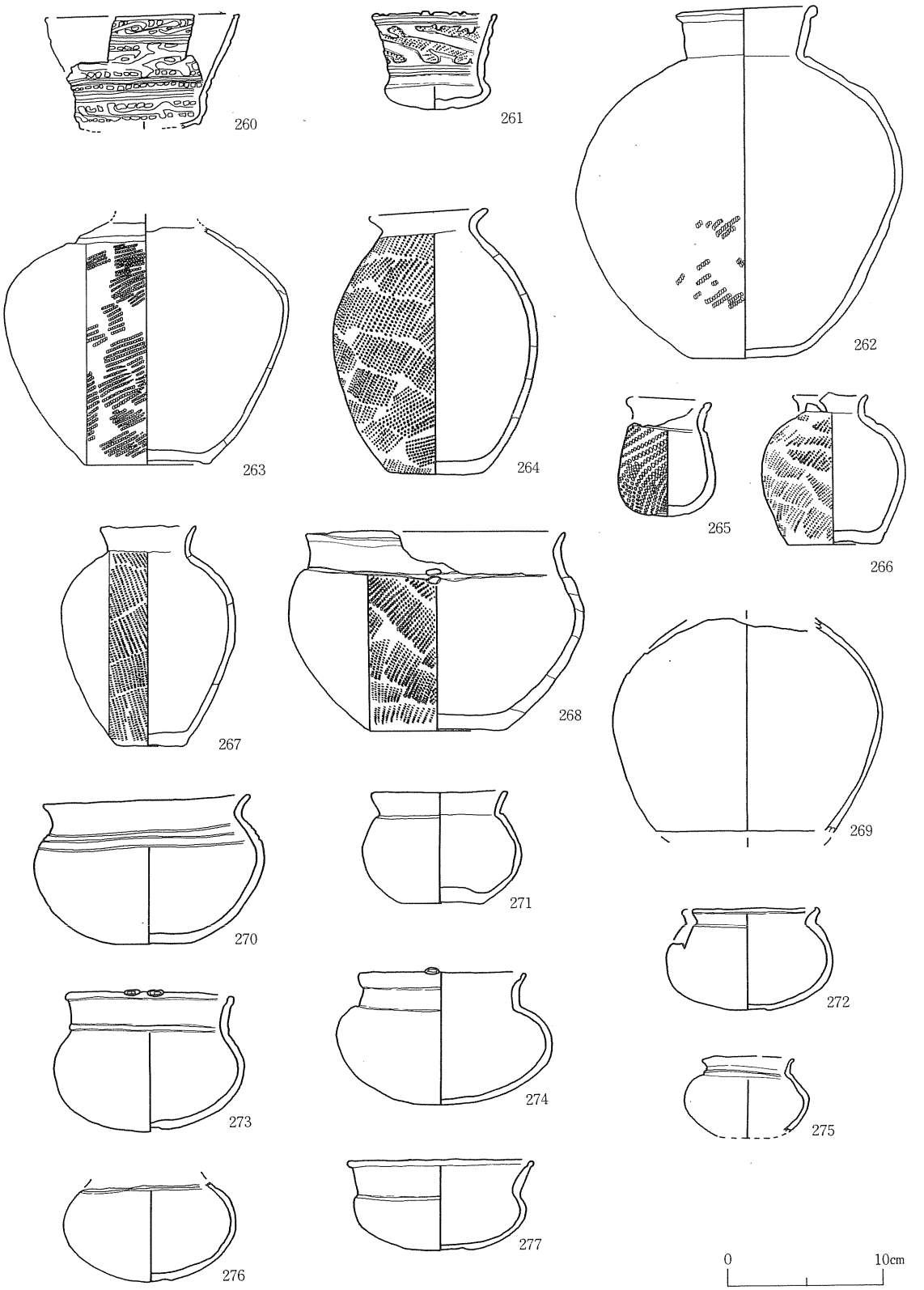
第124図　遺構外出土土器



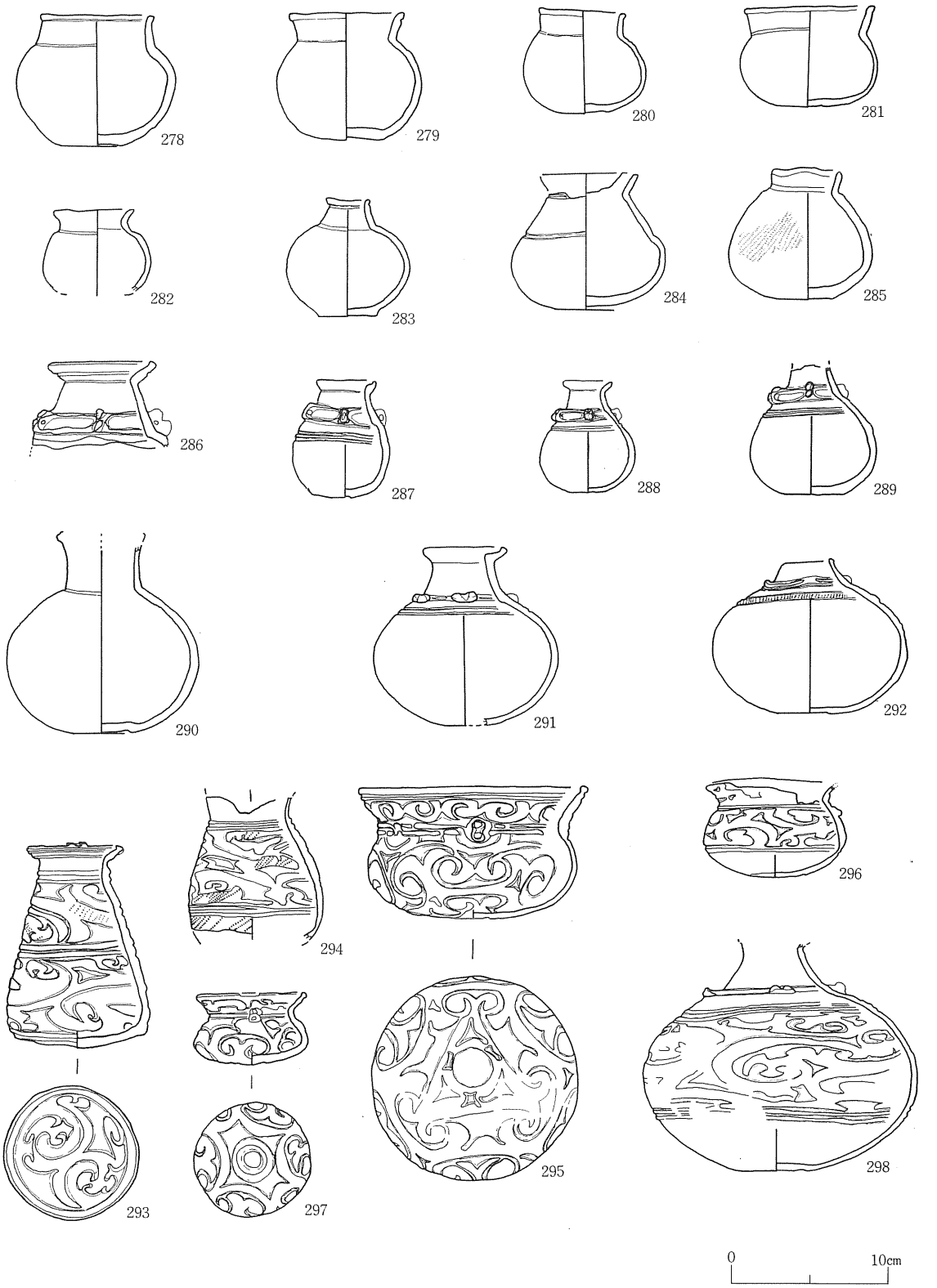
第125図　遺構外出土土器



第126図　遺構外出土土器

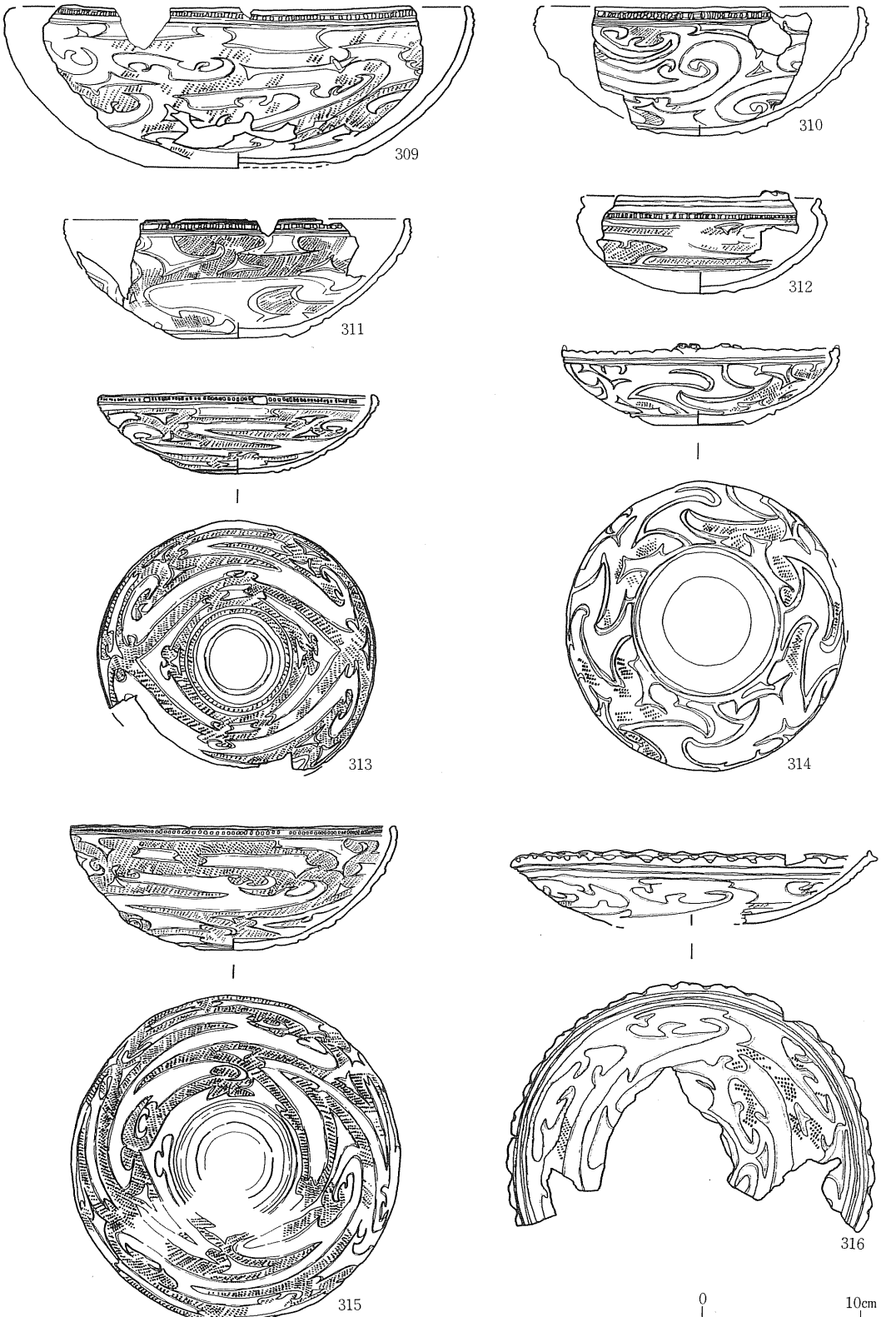


第127図　遺構外出土土器

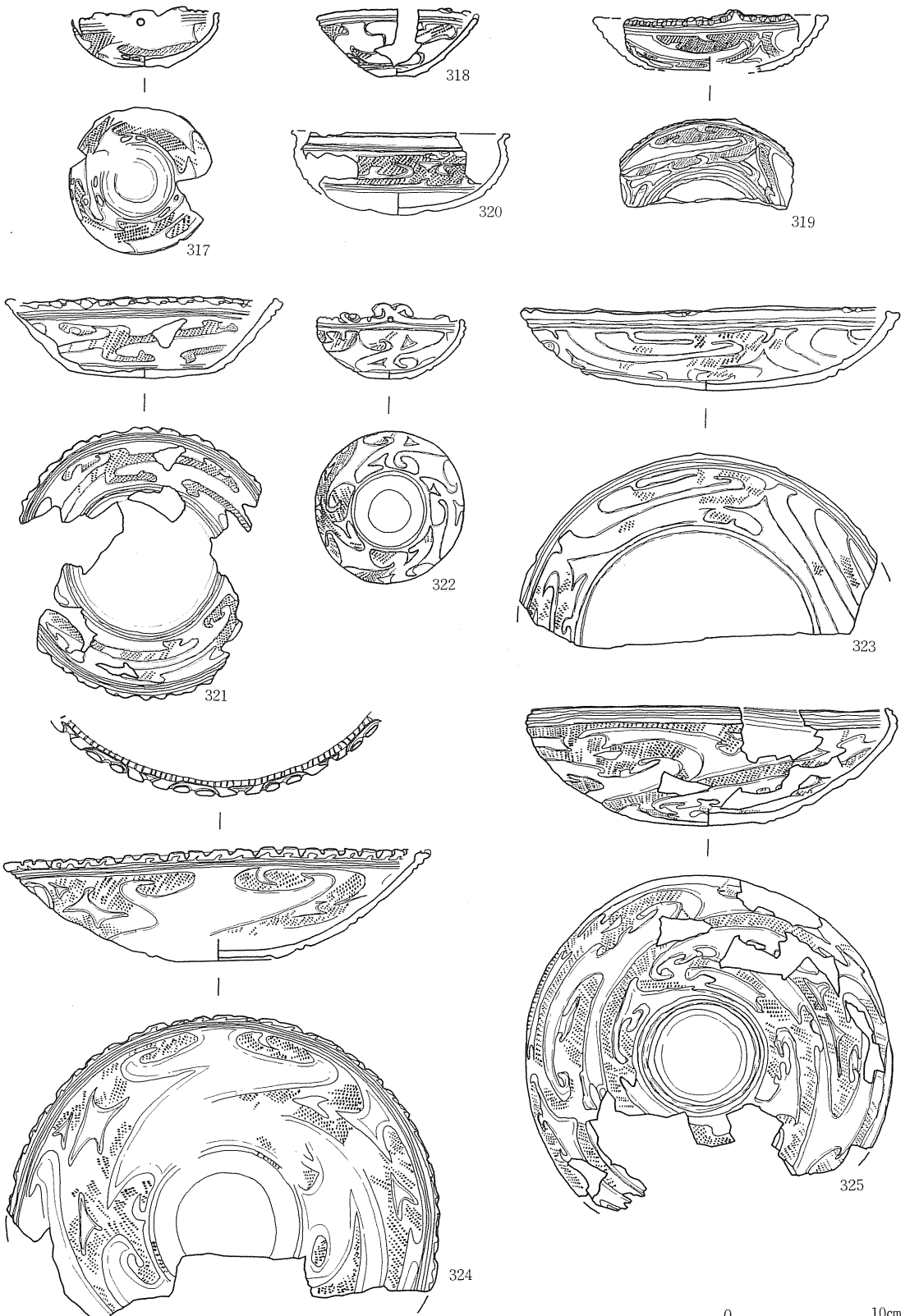


第128図　遺構外出土土器

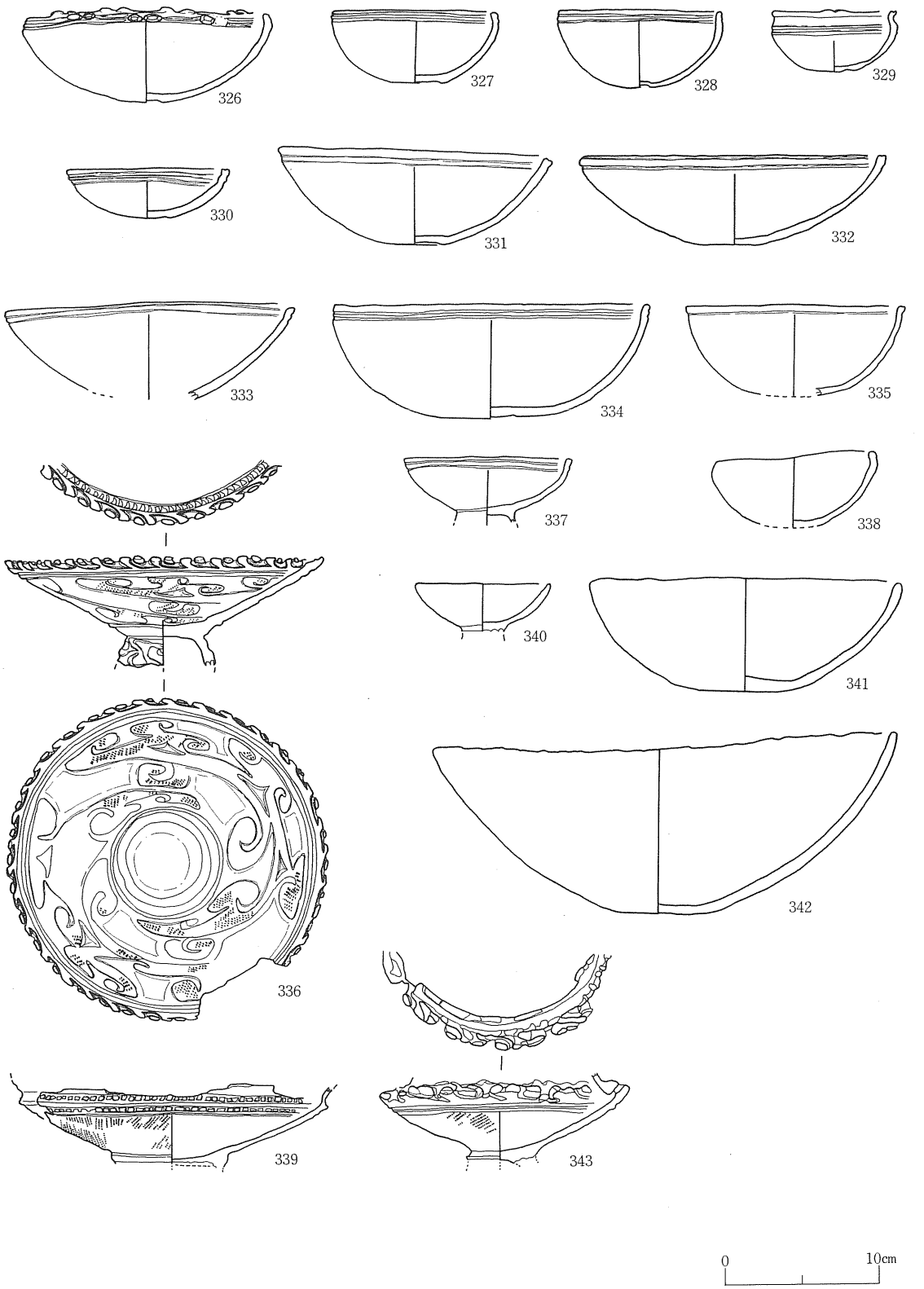
第129図　遺構外出土土器



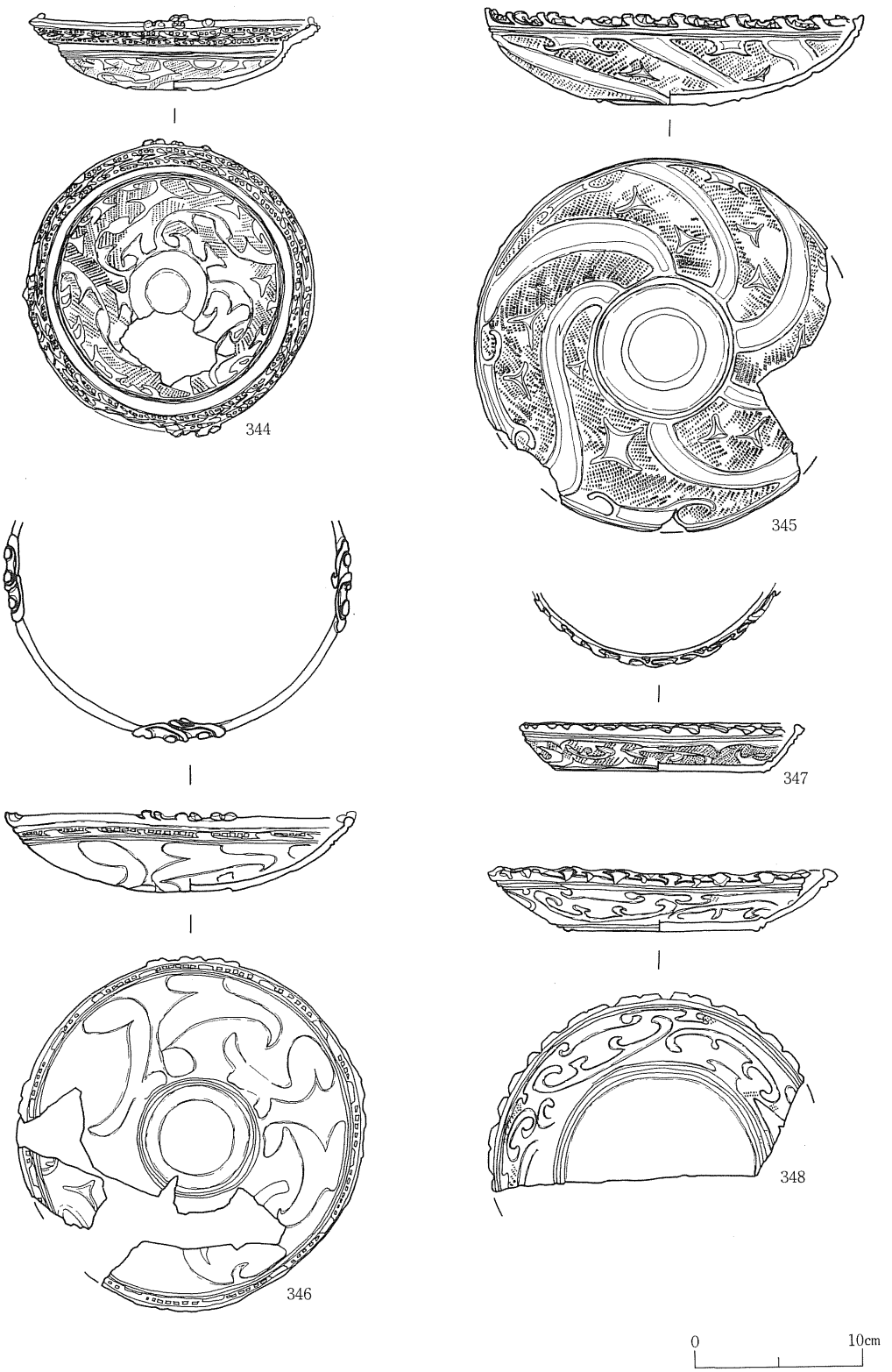
第130図　遺構外出土土器



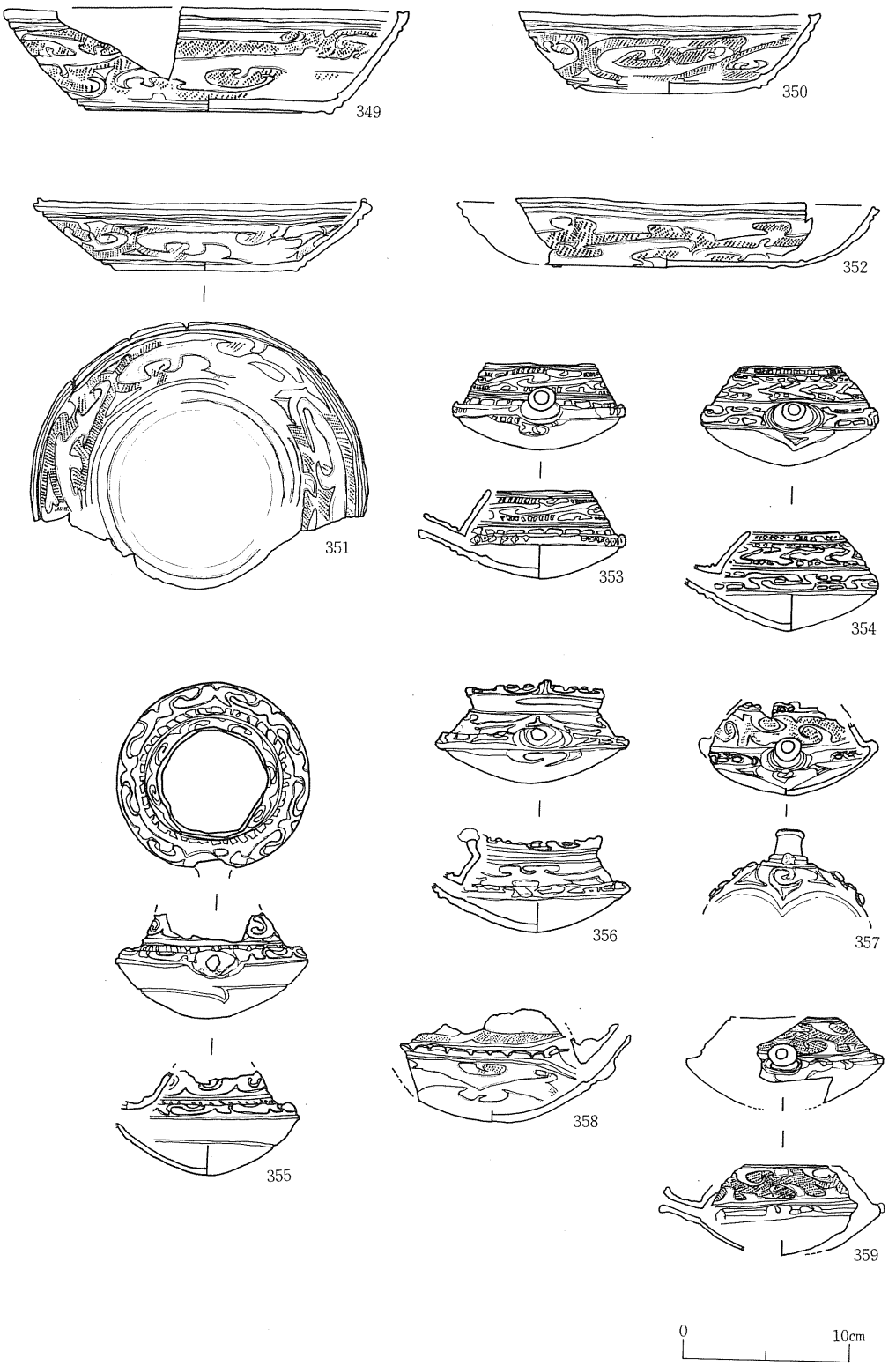
第131図　遺構外出土土器



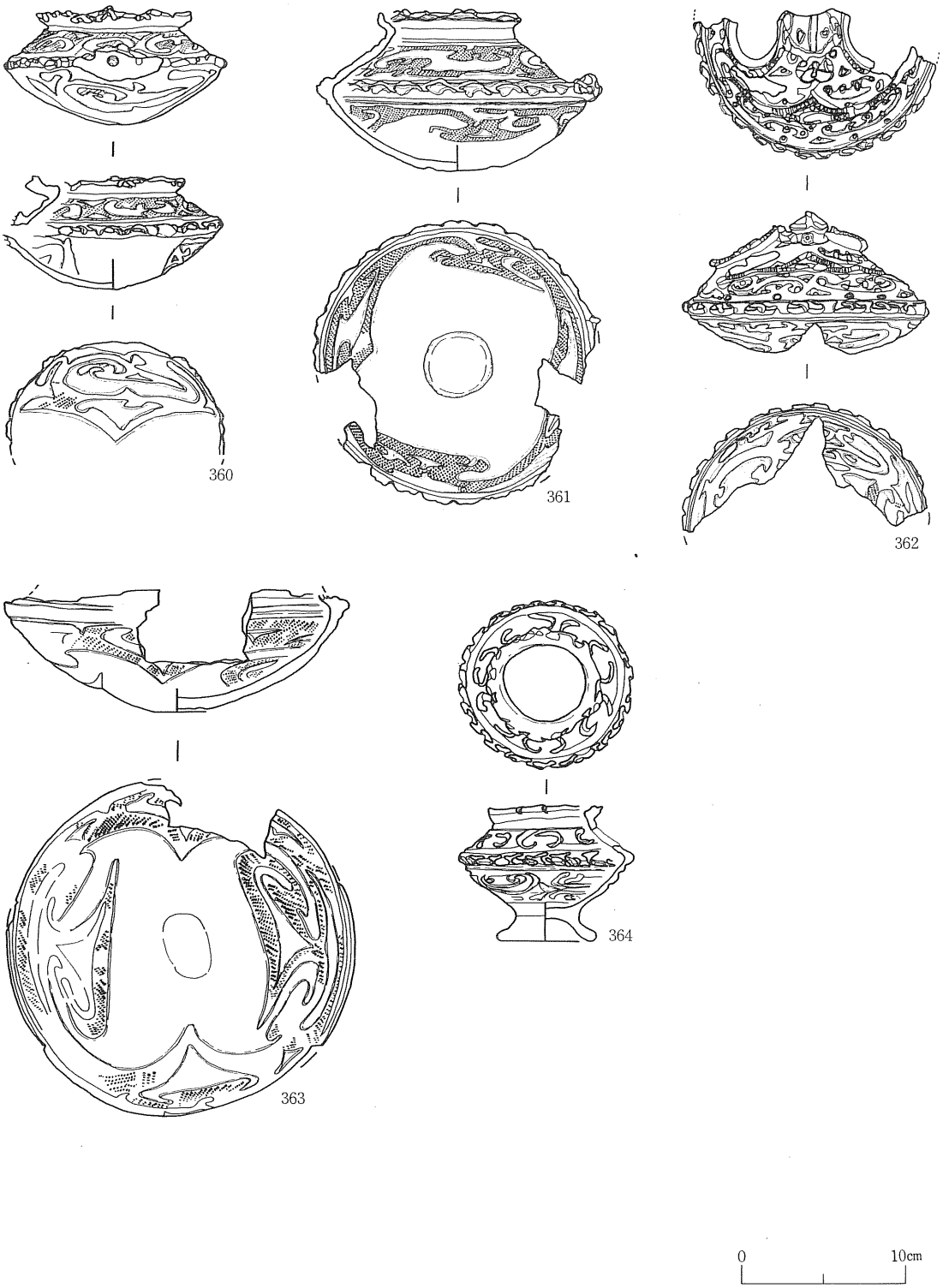
第132図　遺構外出土土器



第133図　遺構外出土土器



第134図　遺構外出土土器



第135図　遺構外出土土器

のび、入組三叉文を呈する。

c類（375～378・380・381）

平行沈線文と、入組沈線文によって文様帯が構成される。375～378などは大洞B－C式の羊歯状文の出現を想起させる。

Ⅱ類土器：注口土器を本類とした。881は沈線により、三叉文、磨消文を描いている。

第2群土器（第124図219～226・第126図248～250・第127図260・第133図344～346・第134図 353～355・第137図382～387・第140図・第141図・第142図・第143図506～512・第152図681～692・第163図882～896・第164図897～903）

大洞B－C式土器を本群とした。器種には、深鉢、鉢、台付鉢、壺、浅鉢、皿、注口土器がある。

Ⅰ類土器：深鉢形土器を本類とした。その施文様からa～c類に分類できる。

a類（382）

頸部に沈線文をめぐらし、口縁部には大きな羊歯状文が施される土器である。

b類（383～385）

口縁部に2～4条の平行沈線文をめぐらし、沈線間に大きな連続刻目文が一段ないし二段施される土器である。

c類（386・387）

口縁部に細い沈線を数条めぐらし、沈線間には平行線化した細い羊歯状文が施されている。

Ⅱ類土器：鉢形土器を本類とした。施文様からa～e類に分類できる。

a類（222～224・446～450・465～481）

口縁部に文様が施される土器群である。沈線間に末端の咬み合う羊歯状文が施される。

b類（225・226・483～501）

口縁部に文様が施される土器群である。沈線間に末端の咬み合わない羊歯状文が施される。

c類（260・437～443・445・455～459）

2～3段の羊歯状文と連続刻目文が組み合わさる土器群で、文様帯の幅が広くなる。

d類（444）

口縁部に入組三叉文が施され、胴部沈線間にc字文渦巻が施されている。

e類（460～464・506～510）

口縁部に文様が施される土器群である。羊歯状文が退化して平行線化し、連続刻目文が2～数段にわたって施される。

Ⅲ類土器：台付鉢形土器を本類とした。その施文方法からa～c類に分類できる。

a類（248）

口縁部に文様が施される。末端の咬み合う羊歯状文が施されている。

b類（250）

口縁部、体上部に文様が施される。末端の咬み合わない羊歯状文と、体上部に磨消し縄文による「x」字文が施されている。

c類（249・251・252）

口縁部に文様が施される。羊歯状文が退化し一列になり平行線化し、その間に連続刻目文が施れている。

Ⅳ類土器：浅鉢形土器を本類とした。その施文方法からa～c類に分類できる。

a類（681・682・684・685）

口縁部の沈線間に末端の咬み合う羊歯状文が施される。

b類（683・686・687）

口縁部の沈線間に末端の咬み合う羊歯状文が施され、さらに体部に磨消し縄文による雲形文が施される。

c類（689～691）

口縁部に末端の咬み合わない羊歯状文が施され、体部に磨消し縄文による雲形文が施されるものである。

Ⅴ類土器：皿形土器を本類とした。その施文方法からa ～b 類に分類できる。

a類（344）

口縁部に末端の咬み合う羊歯状文が施される。

b類（345）

磨消し帯によるクランク状の帯を口線部から底部に施し、間に三叉文、四叉文が施される。

Ⅵ類土器：壺形土器を本類とした。その施文方法からa ～b 類に分類できる。

a類（856～859）

連続刻目文と沈線によって文様が施されている。

b類（854・855）

口縁部、肩部にC字状渦巻が展開されるものである。

Ⅶ類土器：注口土器を本類とした。その施文方法からa ～d 類に分類できる。

a類（353・892・893・898）

口縁部の沈線間に咬み合う羊歯状文を施し、下部、胴部に連続刻目文を施している。

b類（354・883・884・886・888・889・900・901）

口縁部に「Z」状、胴部には上下二段の羊歯状文が施される。

c類（882・885・887・890・891・894・895・896・897）

口縁部の上部に細い咬み合わない羊歯状文中央に太い「Z」状の羊歯状文が施され、間には細かい連続刻目文が配されるものである。

d類（355）

口縁部に、C字状渦巻文が展開し体下部に連続刻目文、胴部に咬み合う羊歯状文が施される。

第3群土器(第123図215・216・217・第124図227・228、第125図230～241・243、第126図246・251～259、第127図261～277、第128図、第129図、第130図、第131図、第132図、第133図347・348、第134図349～352・356～359、第135図、第137図388～395、第138図397～409、第143図511～517、第144図、第145図、第146図、第147図、第148図、第149図、第150図640～642、第152図692～703、第153図、第160図822・823・830・833～840、第164図904～911、第165図)

大洞C_1式土器を本群とした。器種には、深鉢、鉢、台付鉢、壺、浅鉢、皿、注口土器がある。

Ⅰ類土器：深鉢形土器を本類とした。施文様からa ～e 類に分類できる。

a類（215・217）

口縁部に突起を有し、単節斜縄文のものである。

b類（388～390・393・394・396・397・406～408）

口縁部に平行沈線をめぐらし、下部は地文の単節斜縄文のものや、磨消し縄文による雲形文を施すものなどがある。

c類（398・399）

口縁部は磨消し無文帯で、頸部に2～3条の沈線がめぐるものである。

d類（395・409）

口縁部に細い沈線によってC字状文を施している。体部には隆線をめぐらし、その下部に平行沈線文・磨消し縄文が施されるものもある。

e類（216・400～405）

口縁部に細い平行沈線と連弧文を組み合わせた文様が展開するものである。

Ⅱ類土器：鉢形土器を本類とした。施文様からa ～g 類に分類できる。

a類（227・228・230・232～234・511～517・518～525）

口縁部の平行沈線間に連続刻目文が施され、体部は地文の単節斜縄文のものである。

b類（235・237・549～551・552～558・560～566）

短頸部は磨消し無文帯で、胴部にめぐらした平行沈線間に連続刻目文が施されるものである。54549～553は縦に2個一対の突起がある。

c類（526～534・535～548・567・571・609）

小波状、平縁に縁をなし、口縁に狭い間隔で、2～3条の平行沈線をめぐらすものである。539541のようにわずかに連続刻目文の施されるものもある。体部はすべて地文の単節斜縄文である。

d類（568・569・572・573・611）

頸部は磨消し無文帯で胴部に平行沈線文がめぐるものと、572のようにめぐらないものがある。

e類（574～597）

口縁部、胴部に連続刻目文をめぐらし、胴部平行沈線区画内や、体部全体に磨消し縄文による雲

形文・大腿骨文・x 字文などが施されるものである。

f 類（598～608）

頸部は磨消し無文帯で平行沈線で区画した下部には磨消し縄文による雲形文・大腿骨文などが施されるものである。

g 類（612・613～645 ）

沈線区画内に磨消し縄文による雲形文・大腿骨文・x 字文・K 字文などが施されるものである。641・643などのように山形口縁をなし、山形の区画文がみられるものもある。

Ⅲ類土器：台付鉢形土器を本類とした。施文様からa ～d 類に分類できる。

a 類（249・251・252・254）

口縁部の沈線間に連続刻目文がめぐる体部は単節斜縄文である。

b 類（255）

口縁に小さな山形突起を有し、口縁部、頸部に平行沈線文・連続刻目文をめぐらし、その間に細い沈線によって文様が施される。体部は単節斜縄文である。

c 類（253・257）

頸部の沈線間に連続刻目文がめぐり、体部中央にめぐる平行沈線文との間には磨消し縄文による横方向に流れるx 字文が展開する。

d 類（259）

胴部・体部下端に平行沈線文がめぐり、器全面に磨消し縄文による雲形文・x 字文などが展開する。

Ⅳ類土器：浅鉢形土器を本類とした施文様からａ～ｅ類に分類できる。

a 類（308）

平縁で口縁部に連続刻目文が施される。体部は地文の単節斜縄文である。

b 類（299～307・309～313・315・319・692～697・700～719・720～738）

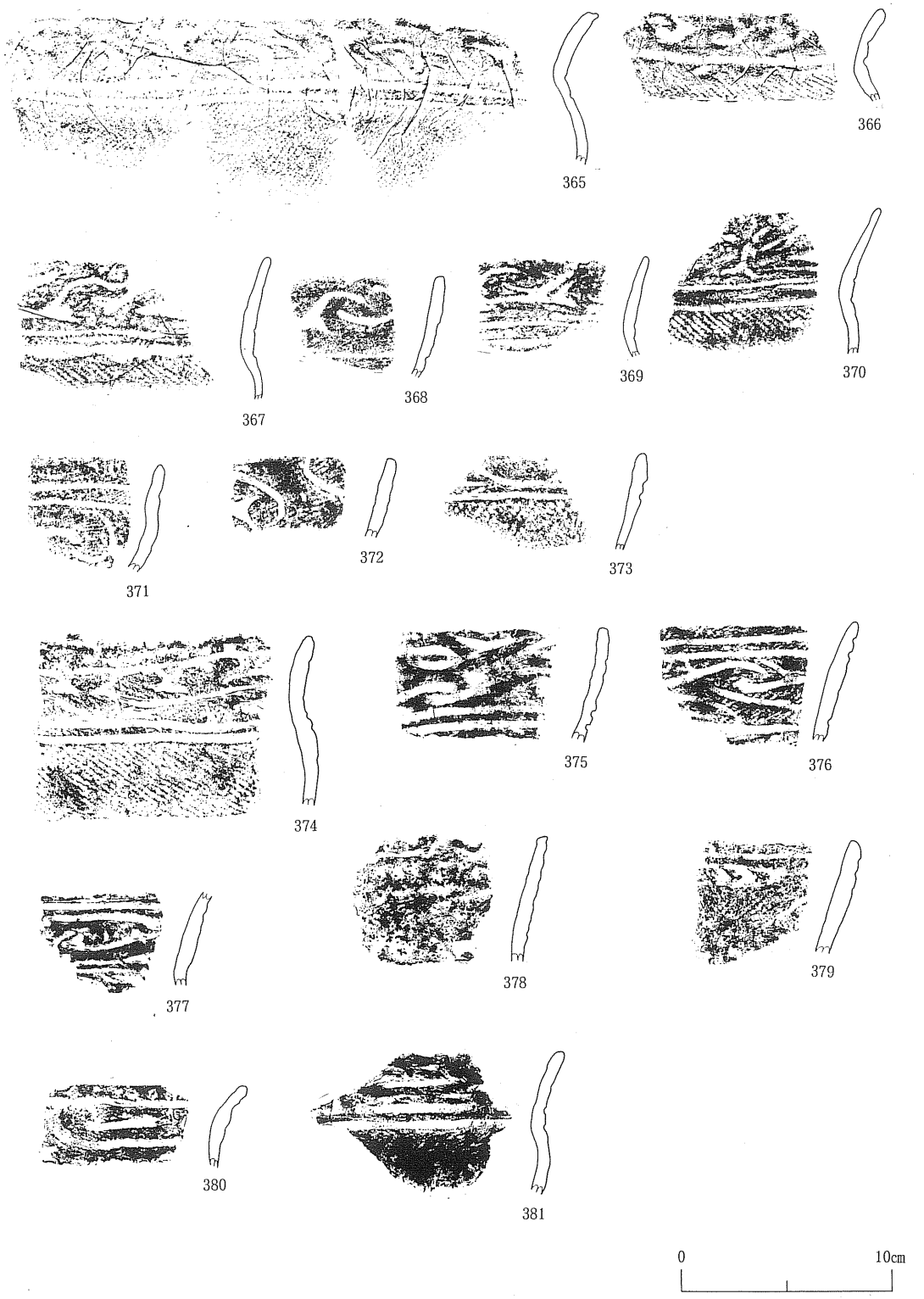
平縁のものが多いが、小波状口縁をなすものもある。口縁部には数条の平行沈線文がめぐり、沈線間には連続刻目文が施される。大腿骨文・x 字文などが展開する。

c 類（314・316・322・323・324・739～744・746～792・805）

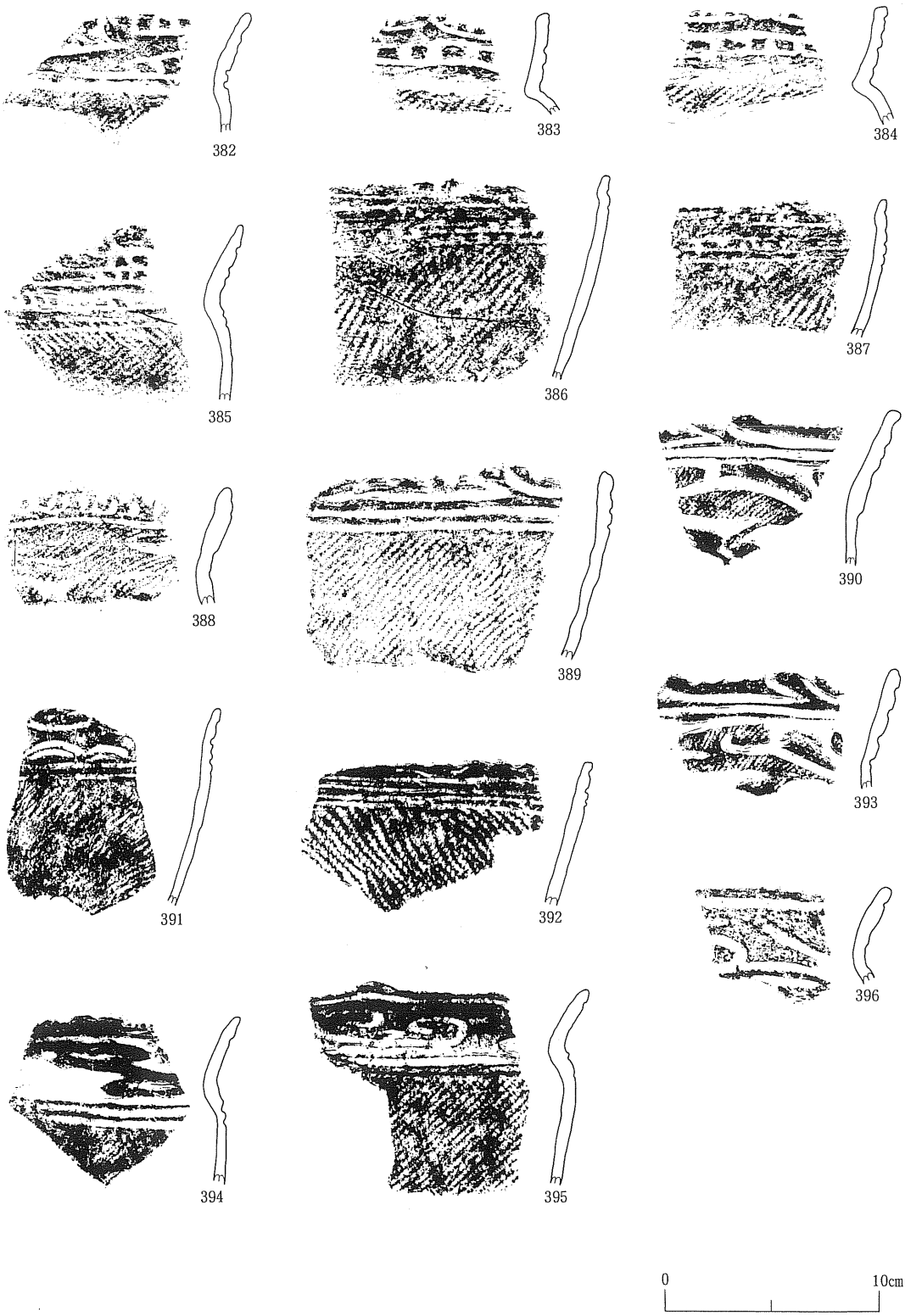
小波状口縁をなす。口縁部には２～３条の平行沈線文がめぐり、体部には磨消し縄文による雲形文・大腿骨文・x 字文などが展開する。

d 類（317・318・320・793～804・806・807）

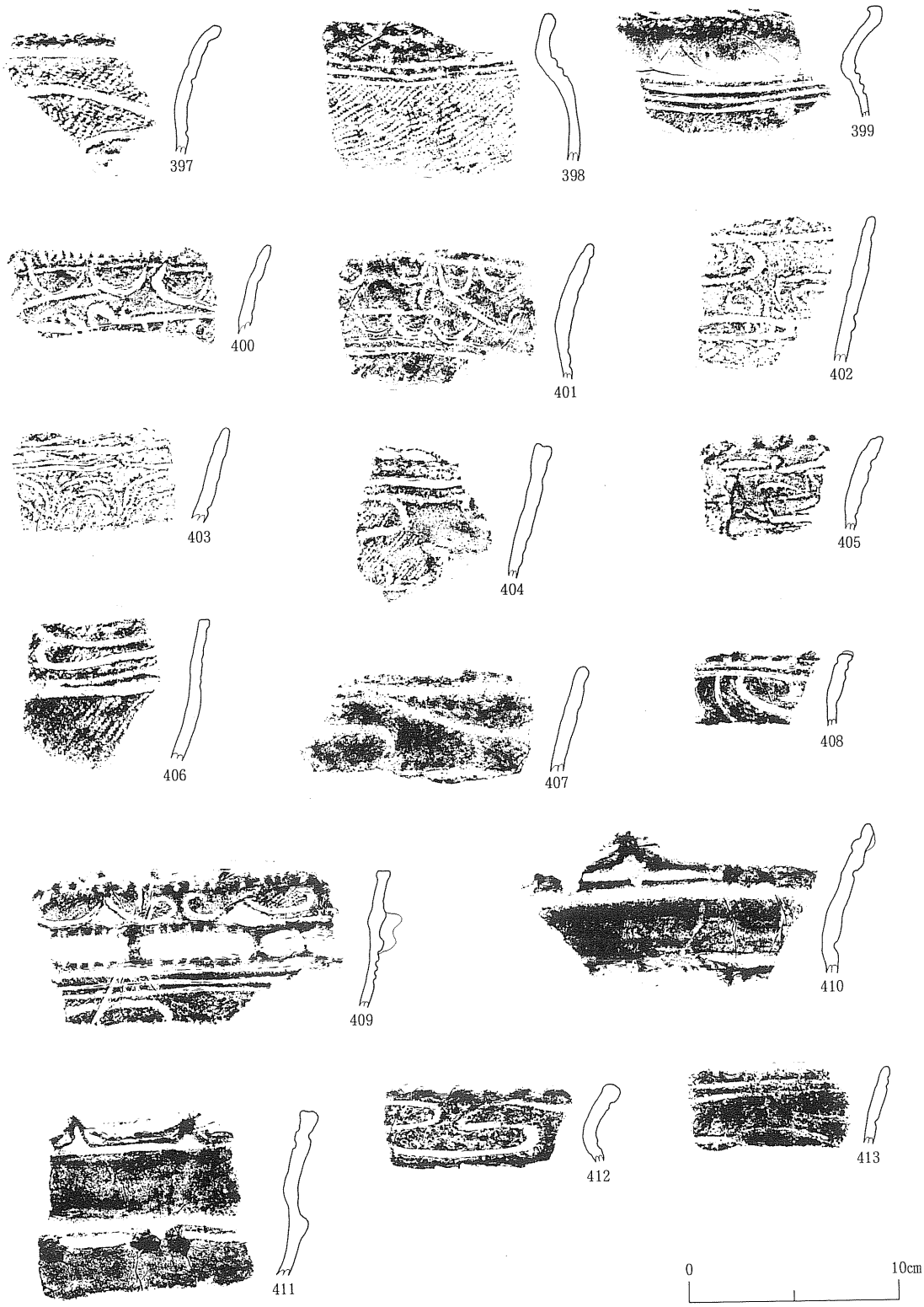
平縁である。口縁部に２～３条の平行沈線文がめぐり、体部には磨消し縄文による雲形文・大腿



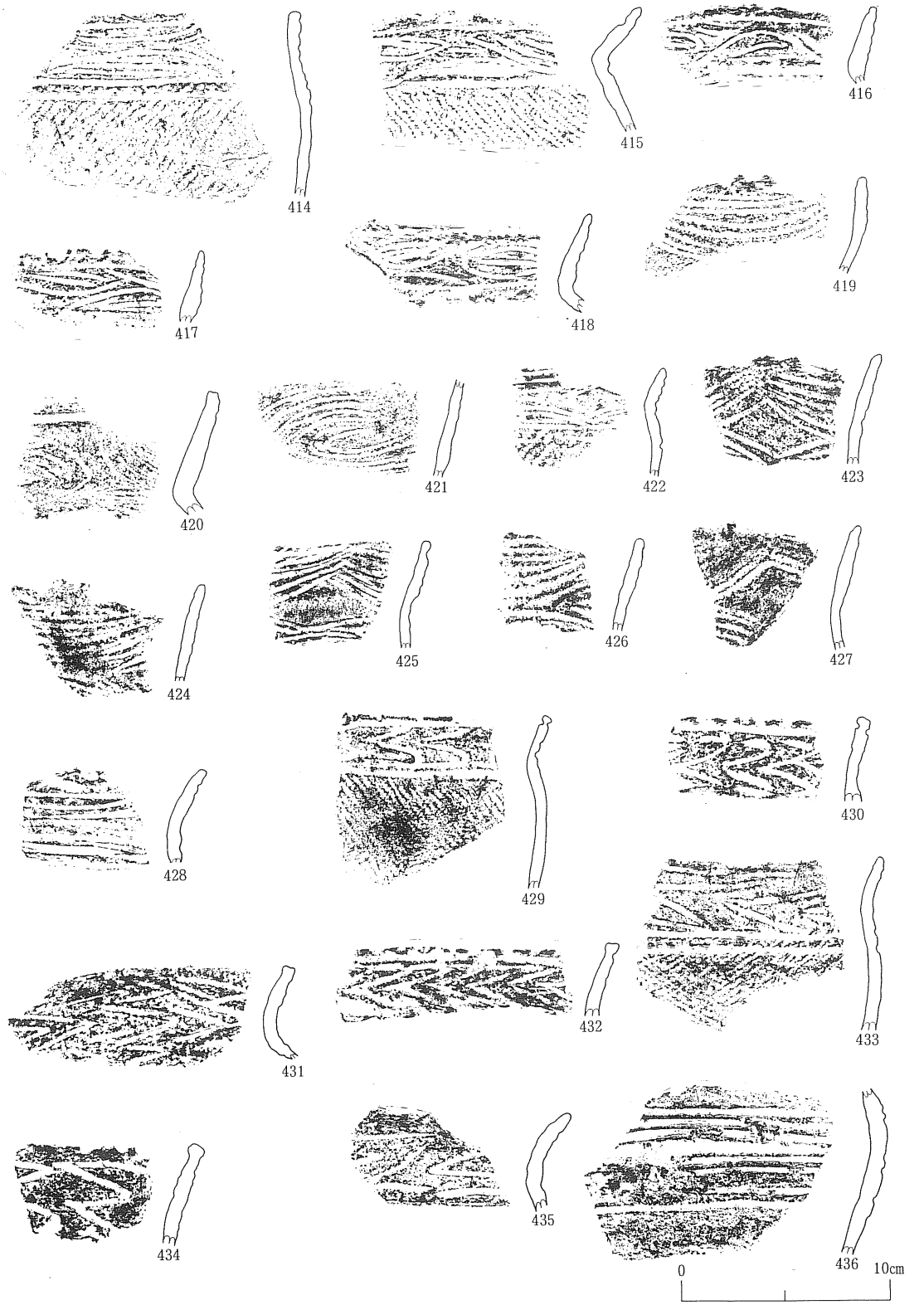
第136図　遺構外出土土器



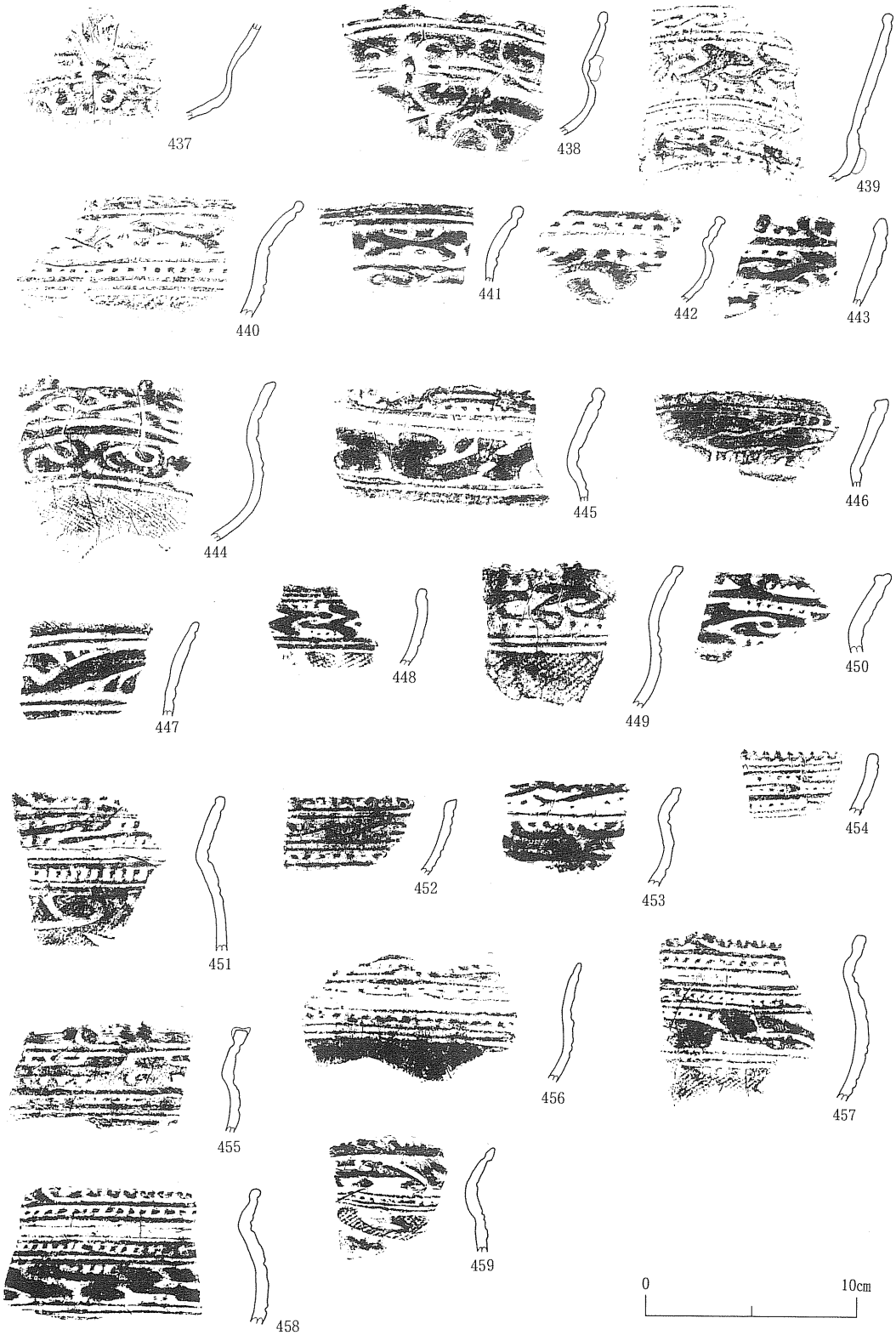
第137図　遺構外出土土器



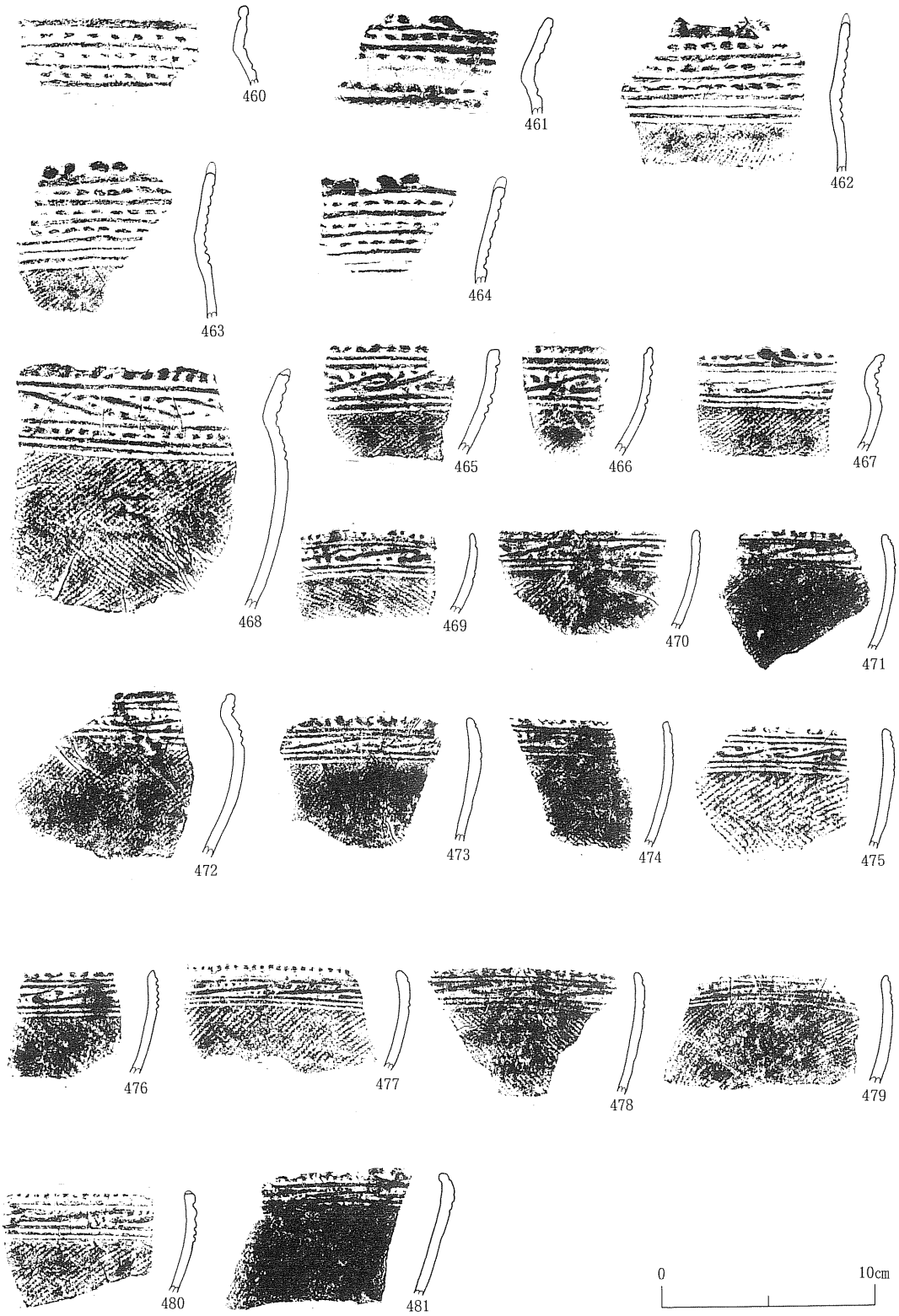
第138図　遺構外出土土器



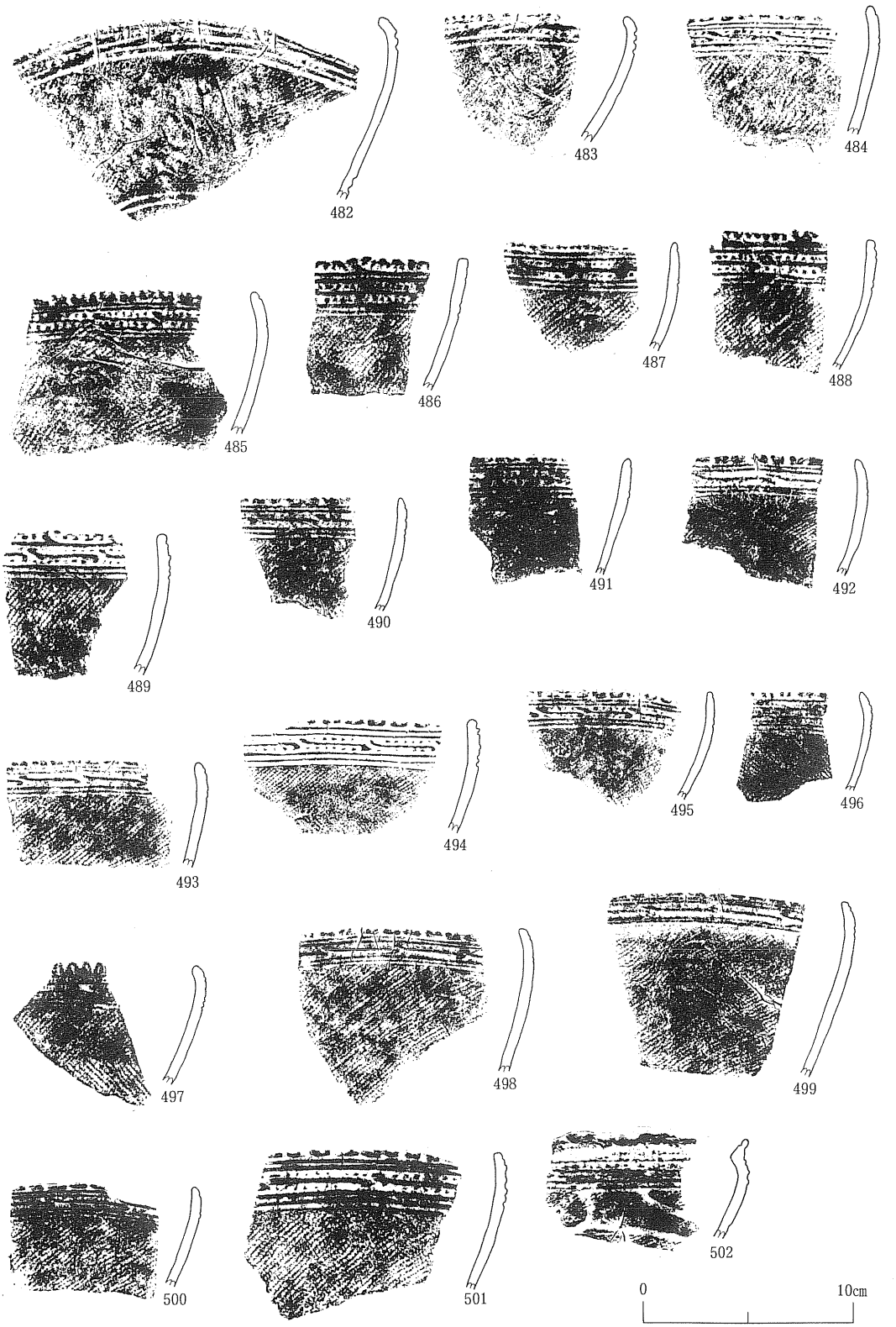
第139図　遺構外出土土器



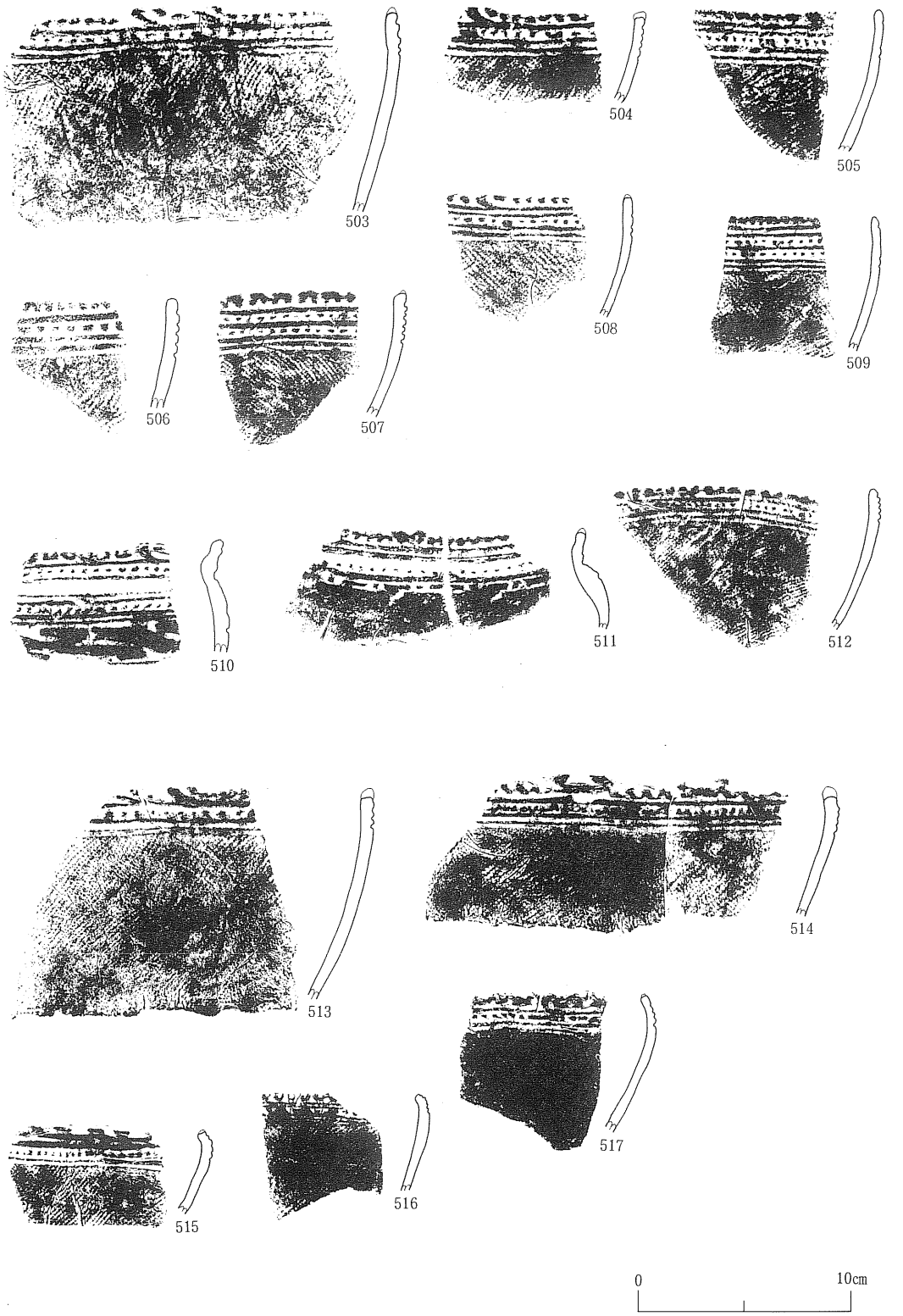
第140図　遺構外出土土器



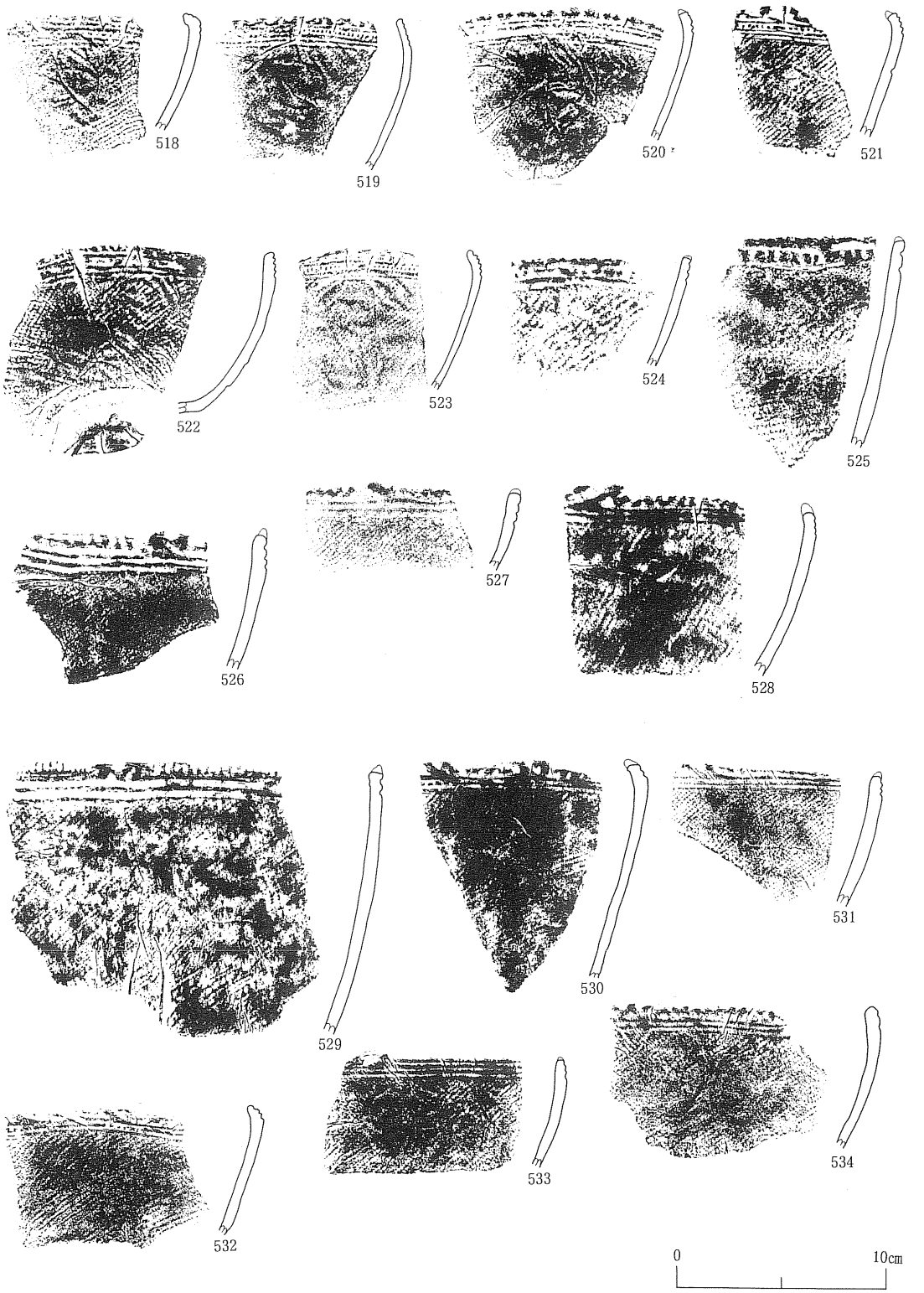
第141図　遺構外出土土器



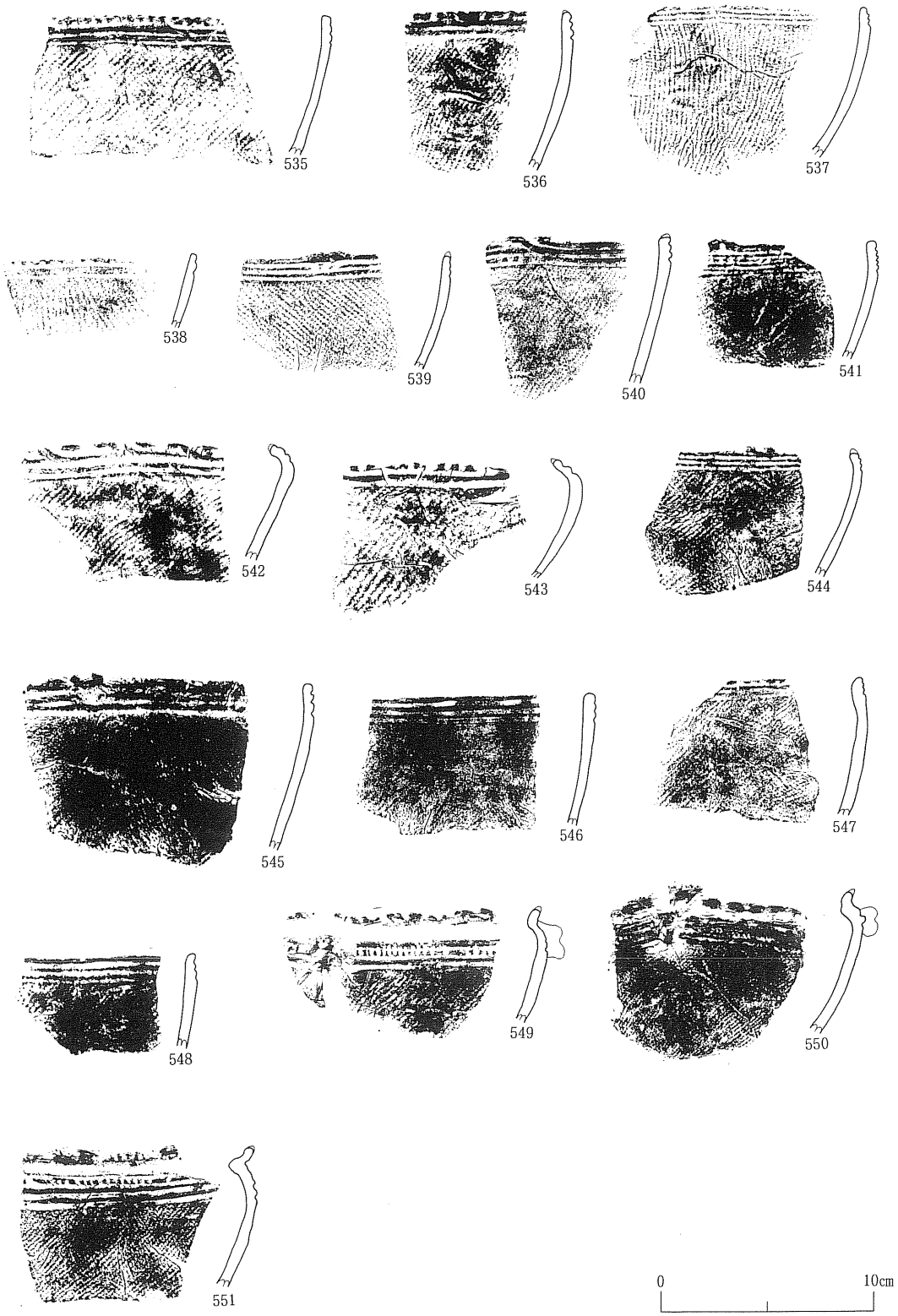
第142図　遺構外出土土器



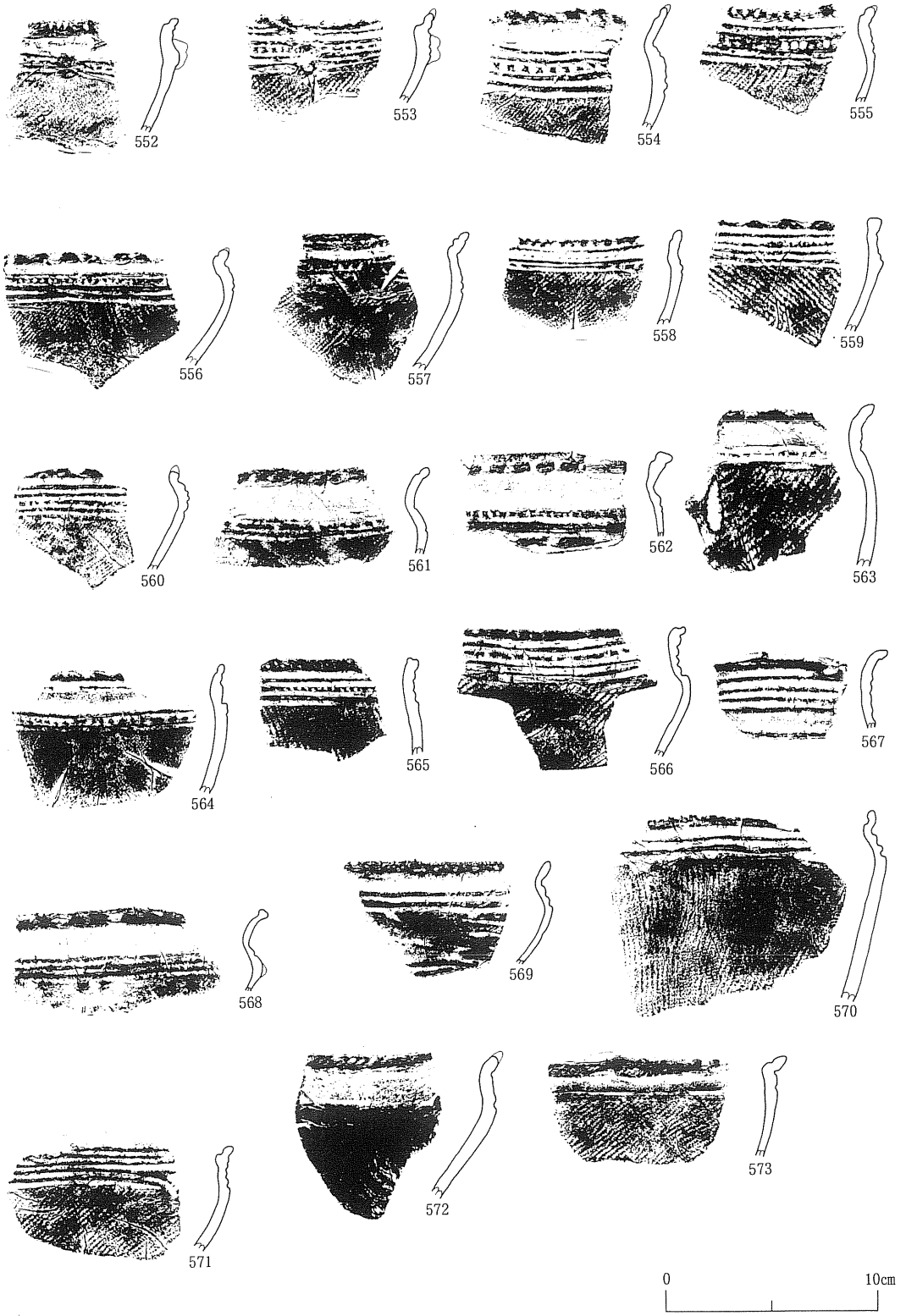
第143図　遺構外出土土器



第144図　遺構外出土土器

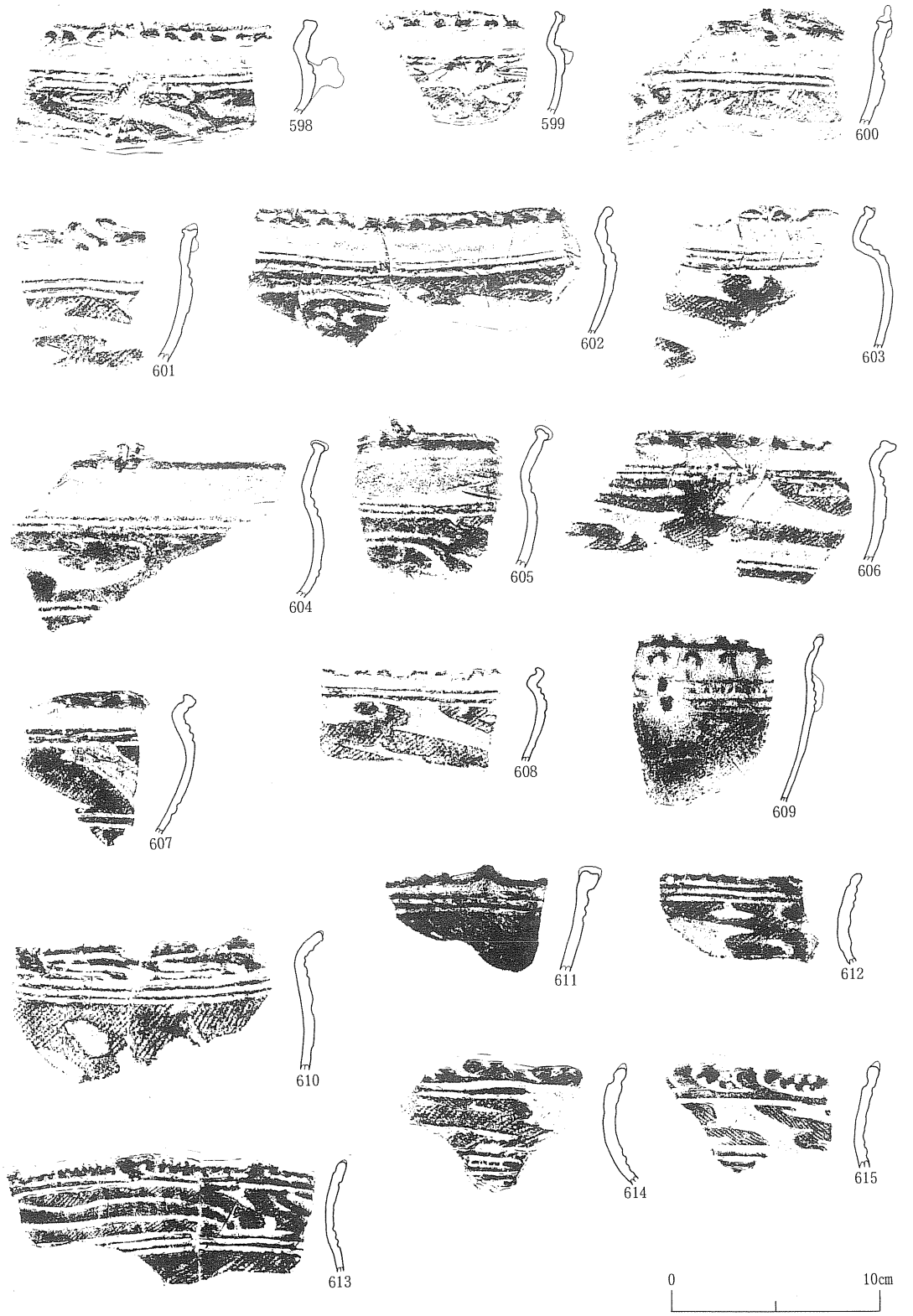


第145図　遺構外出土土器



第146図　遺構外出土土器

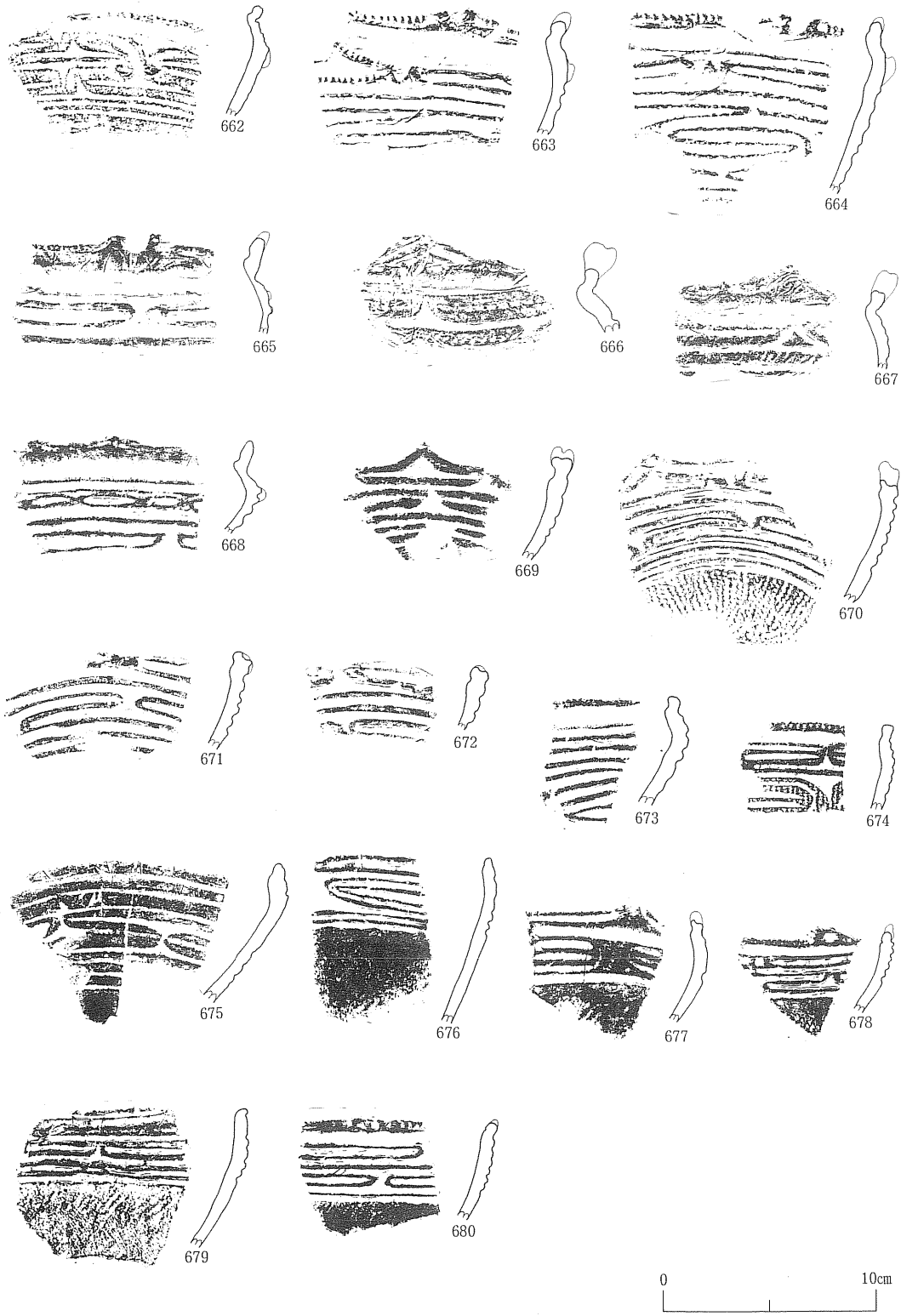
第147図　遺構外出土土器



第148図　遺構外出土土器

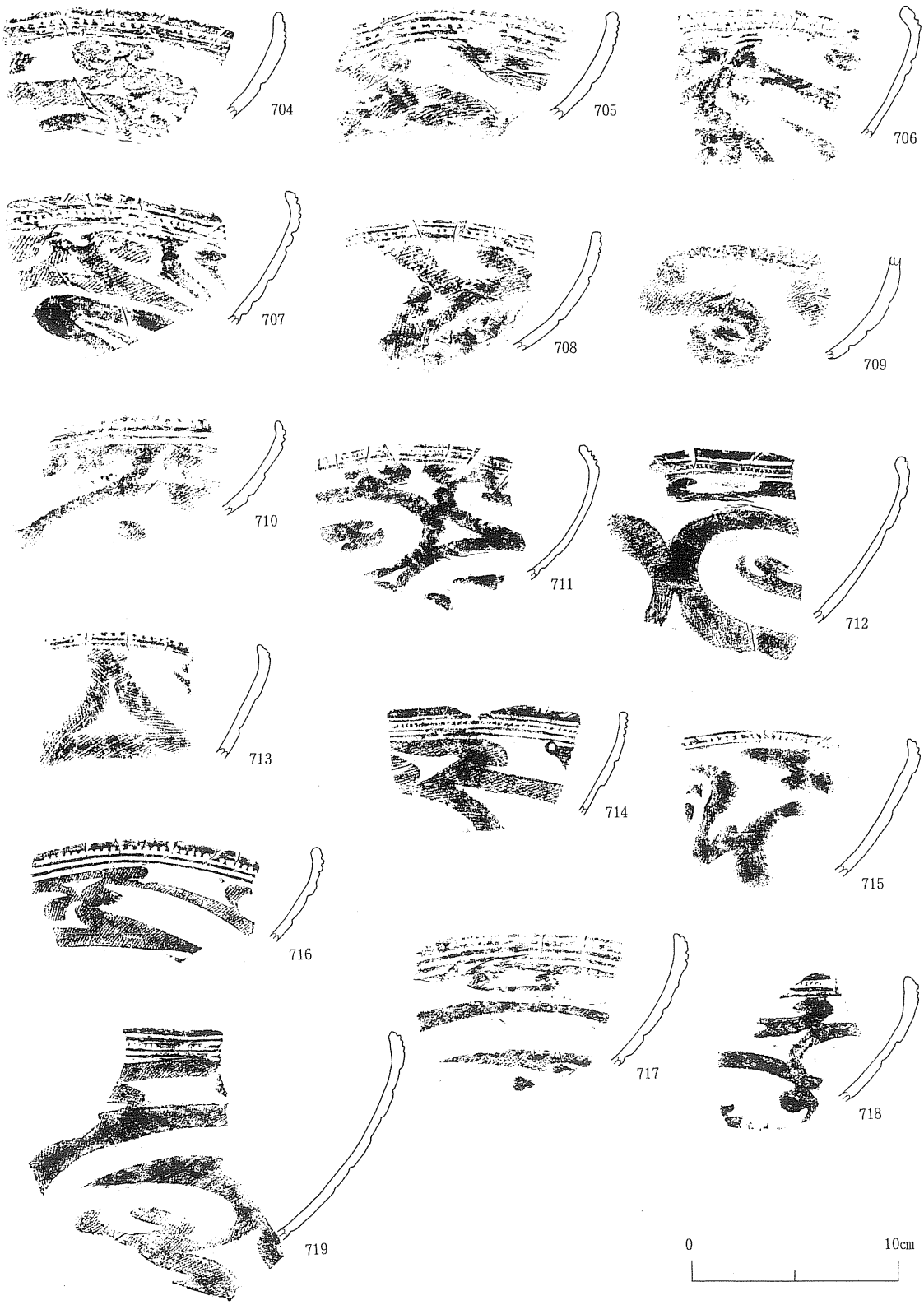
第149図　遺構外出土土器

第150図　遺構外出土土器

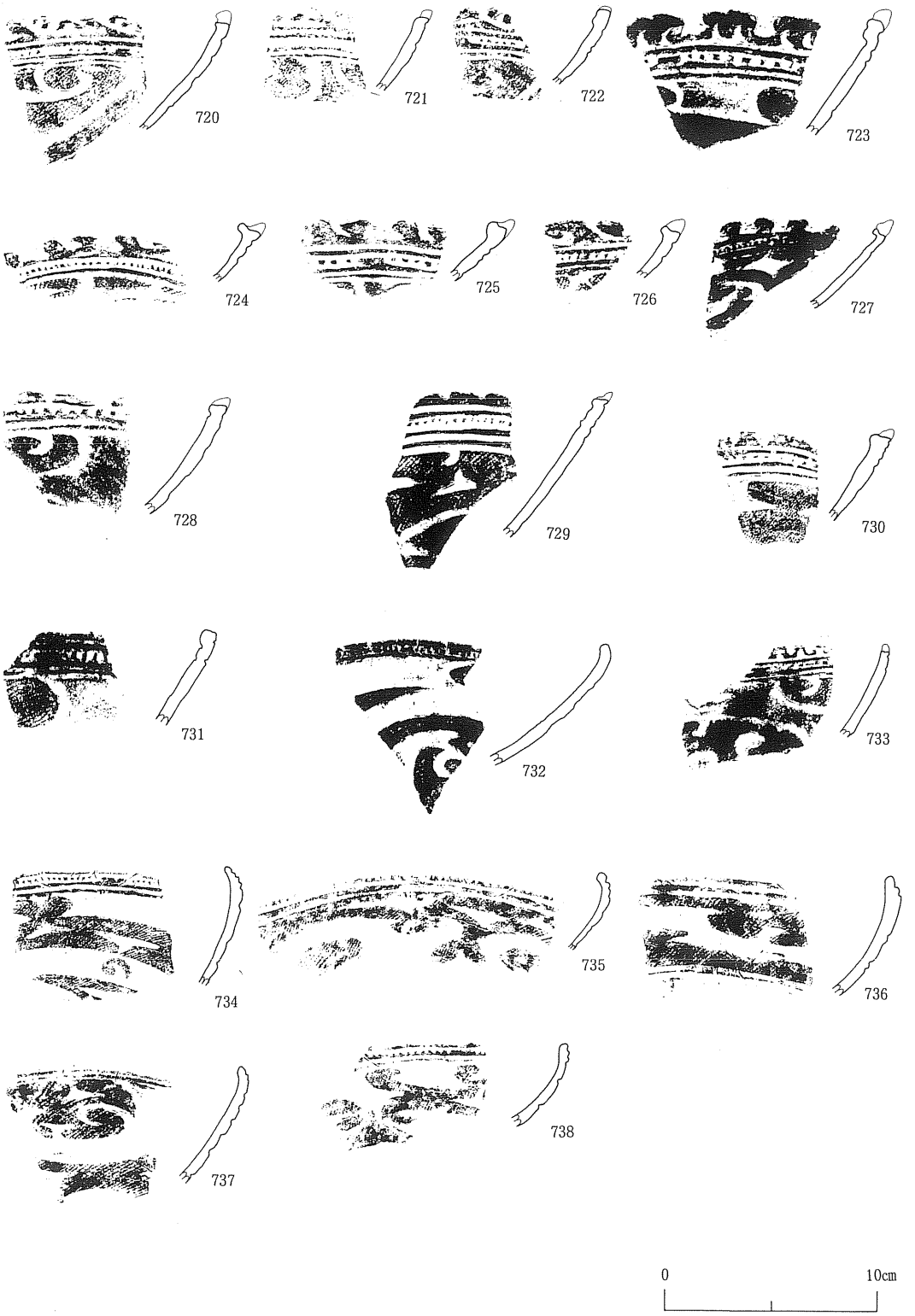


第151図　遺構外出土土器

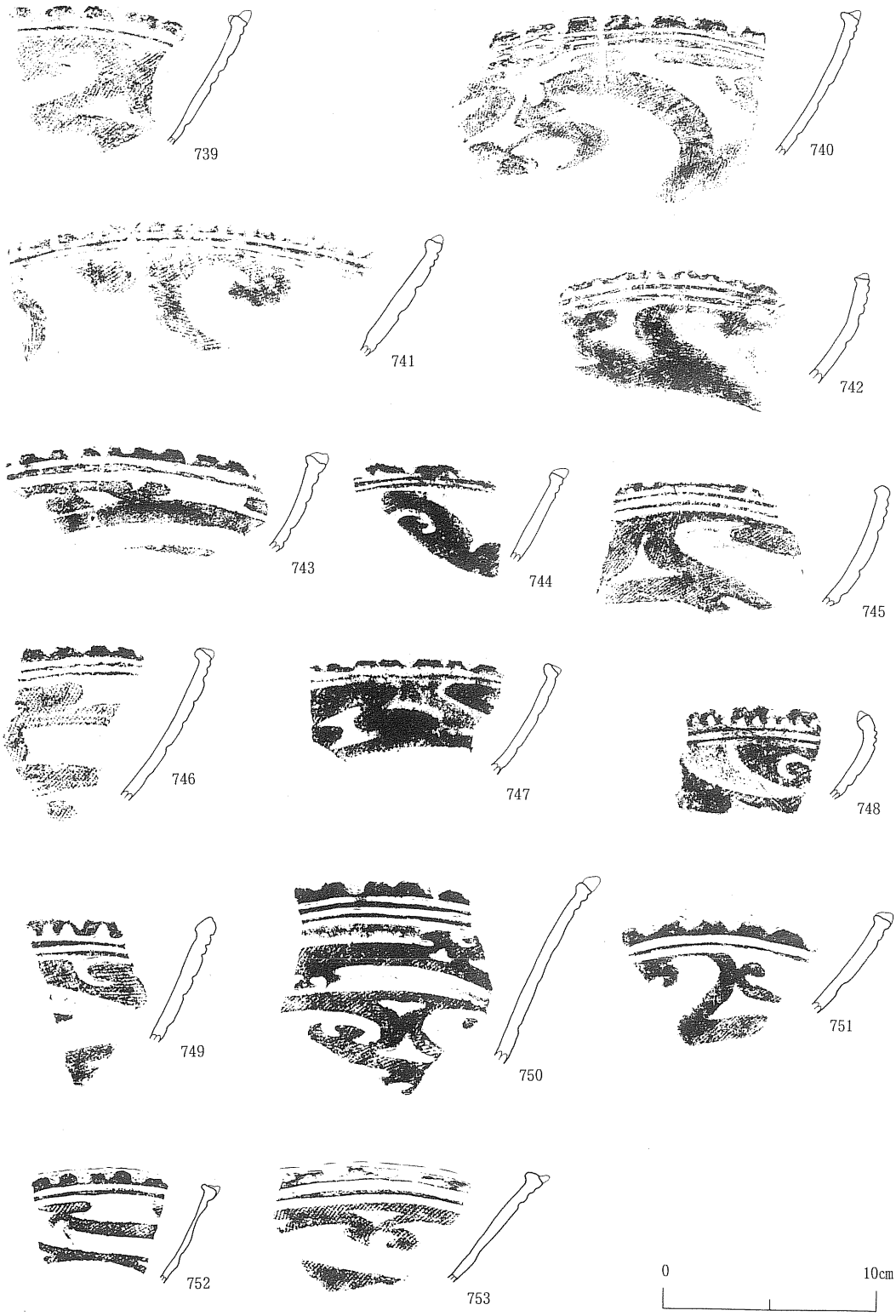
第152図　遺構外出土土器



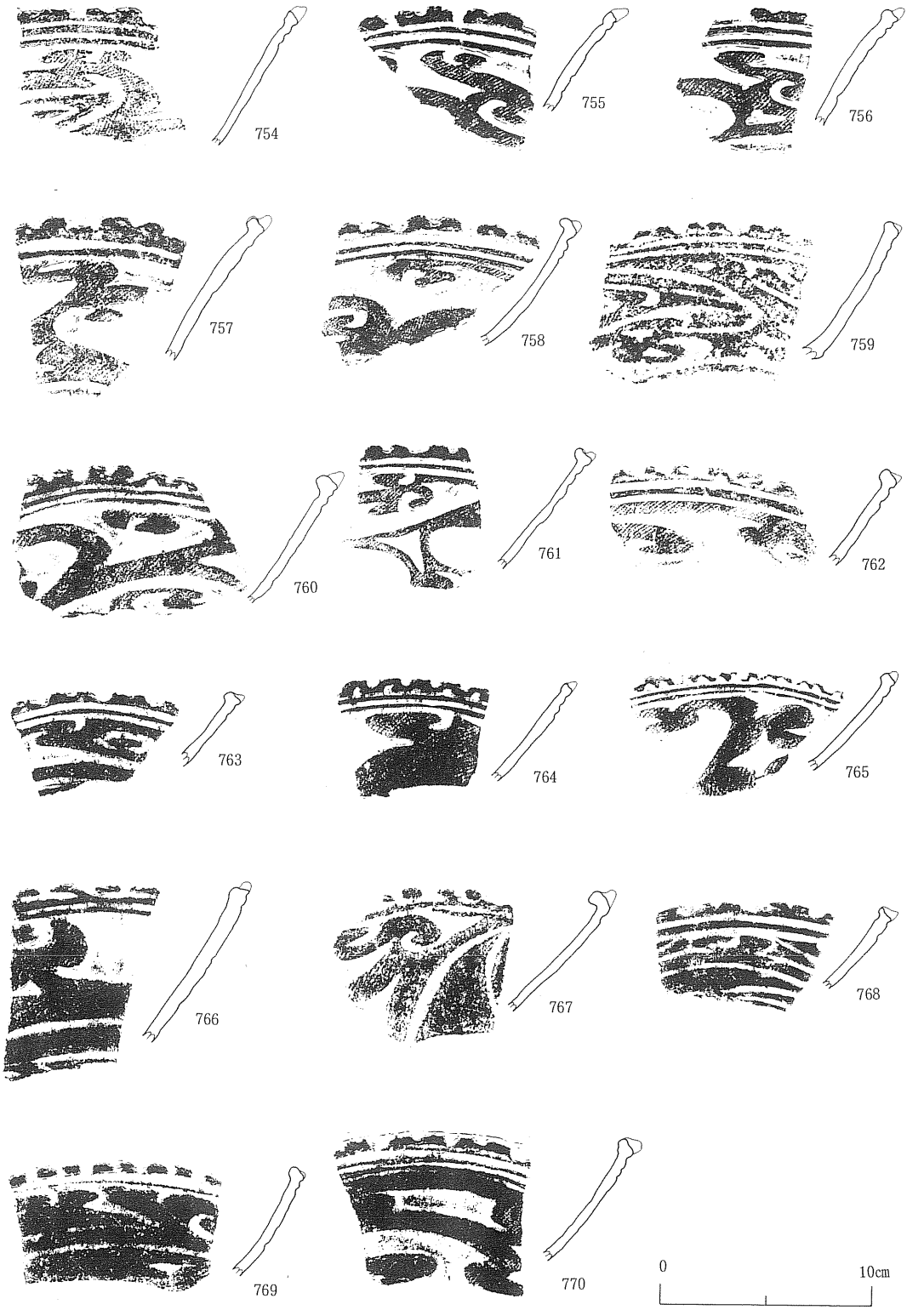
第153図　遺構外出土土器



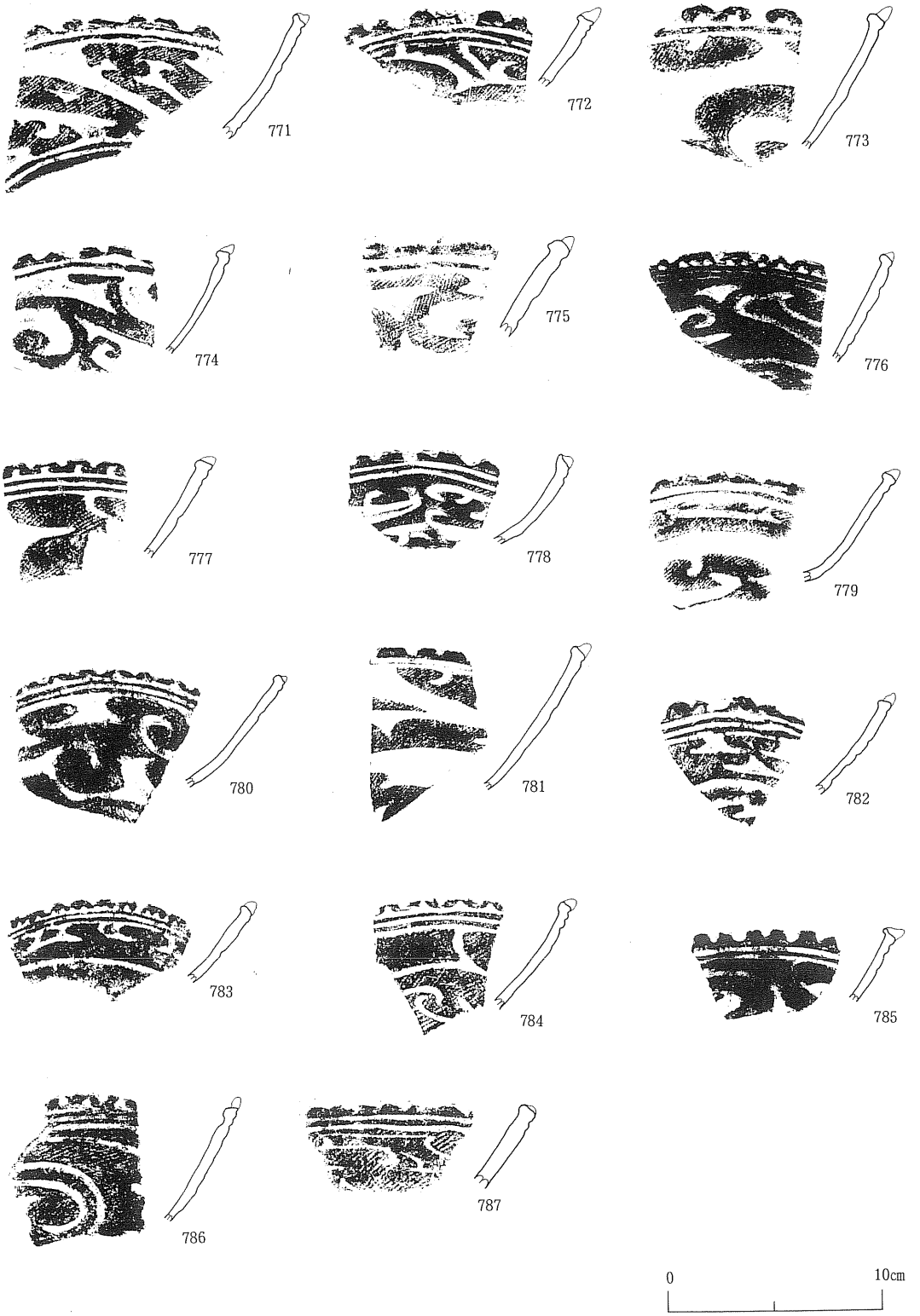
第154図　遺構外出土土器



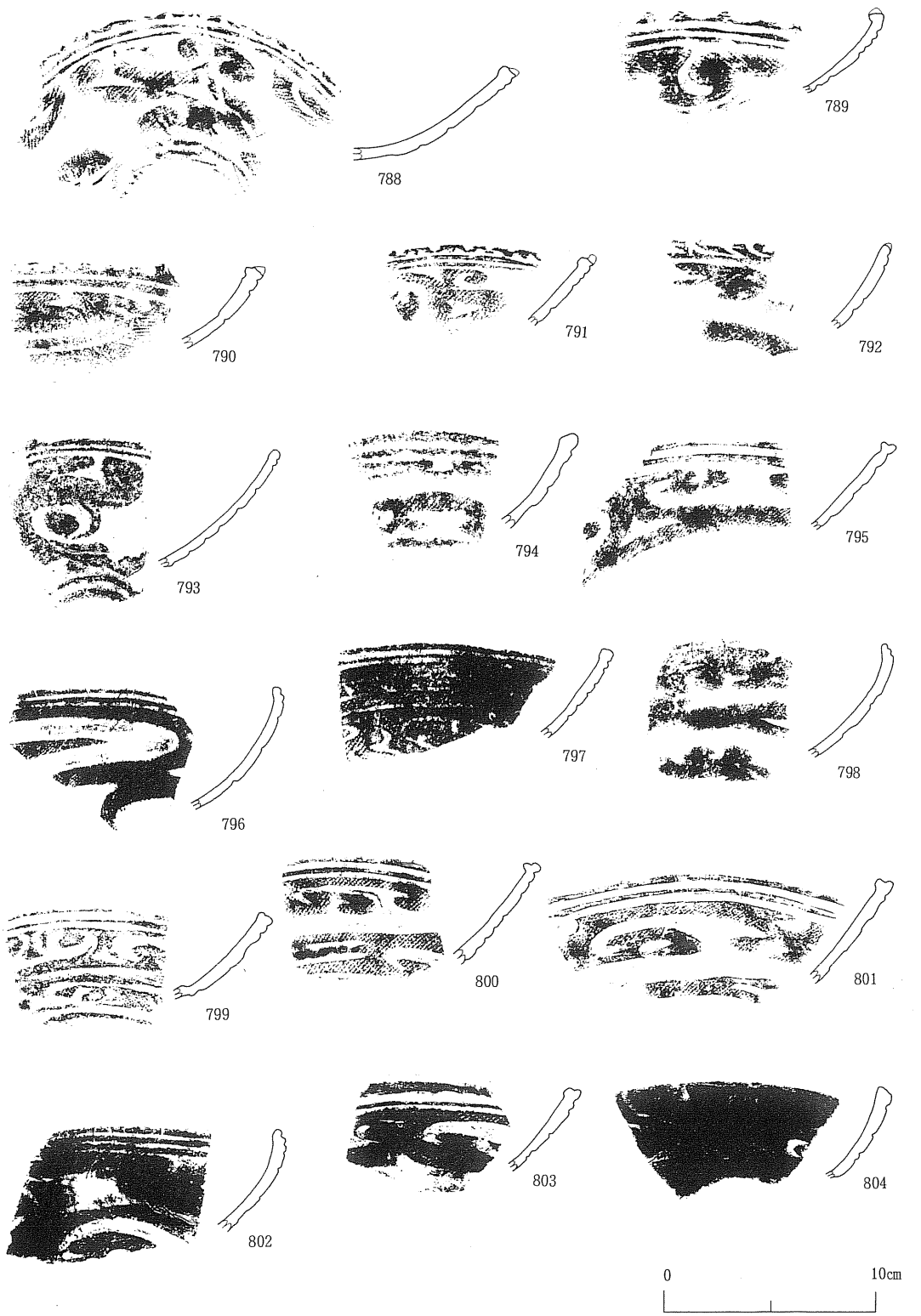
第155図　遺構外出土土器



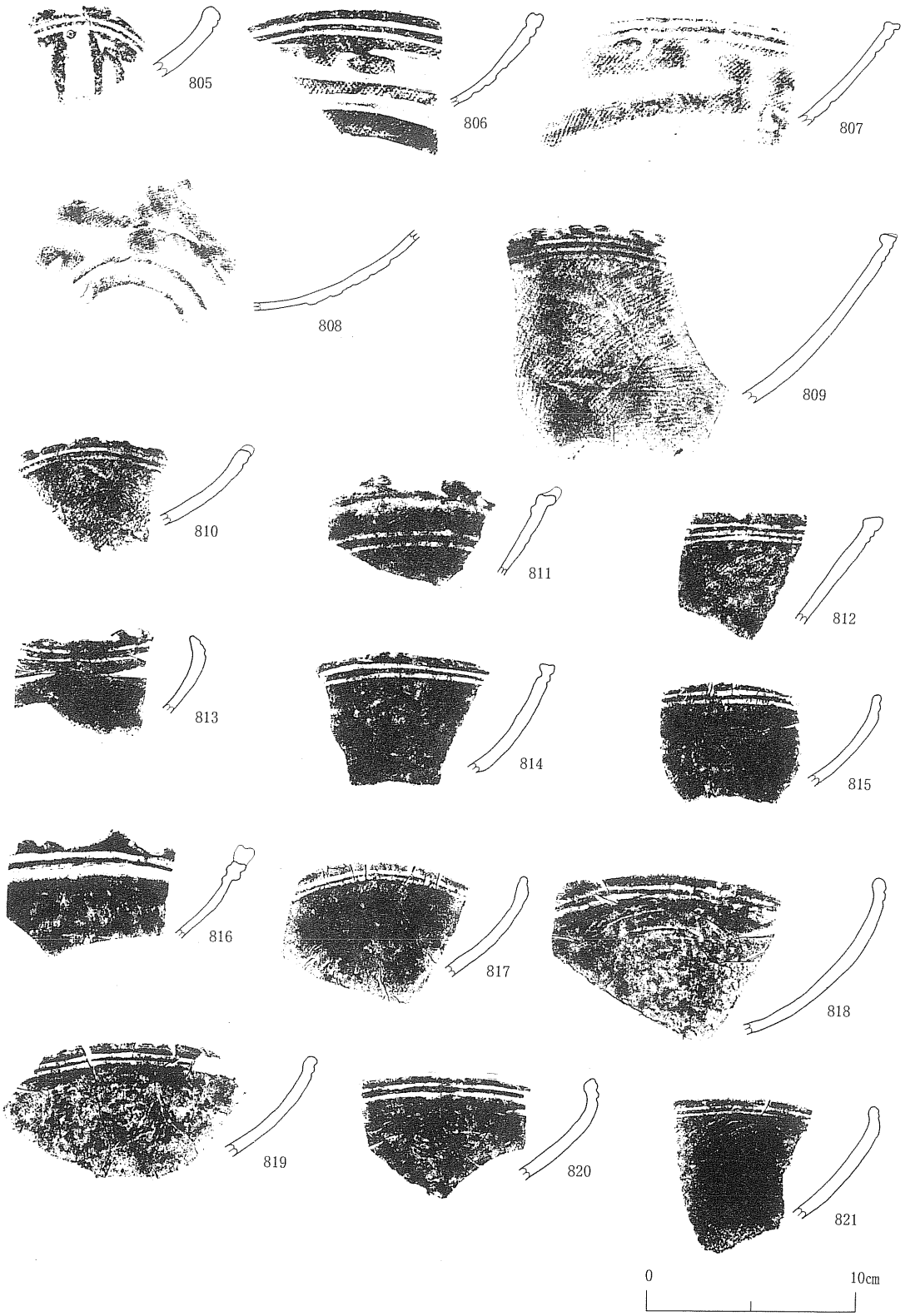
第156図　遺構外出土土器



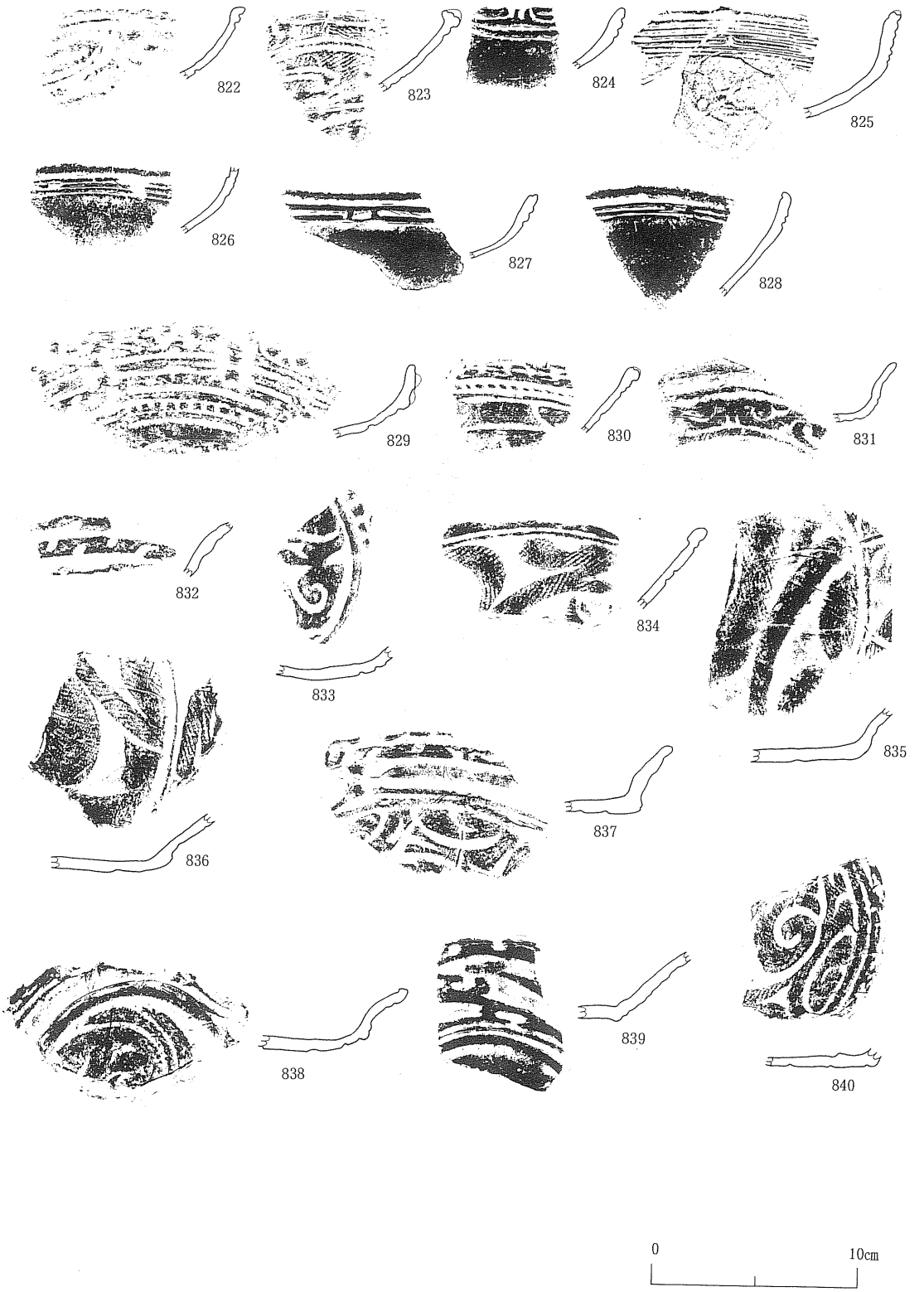
第157図　遺構外出土土器



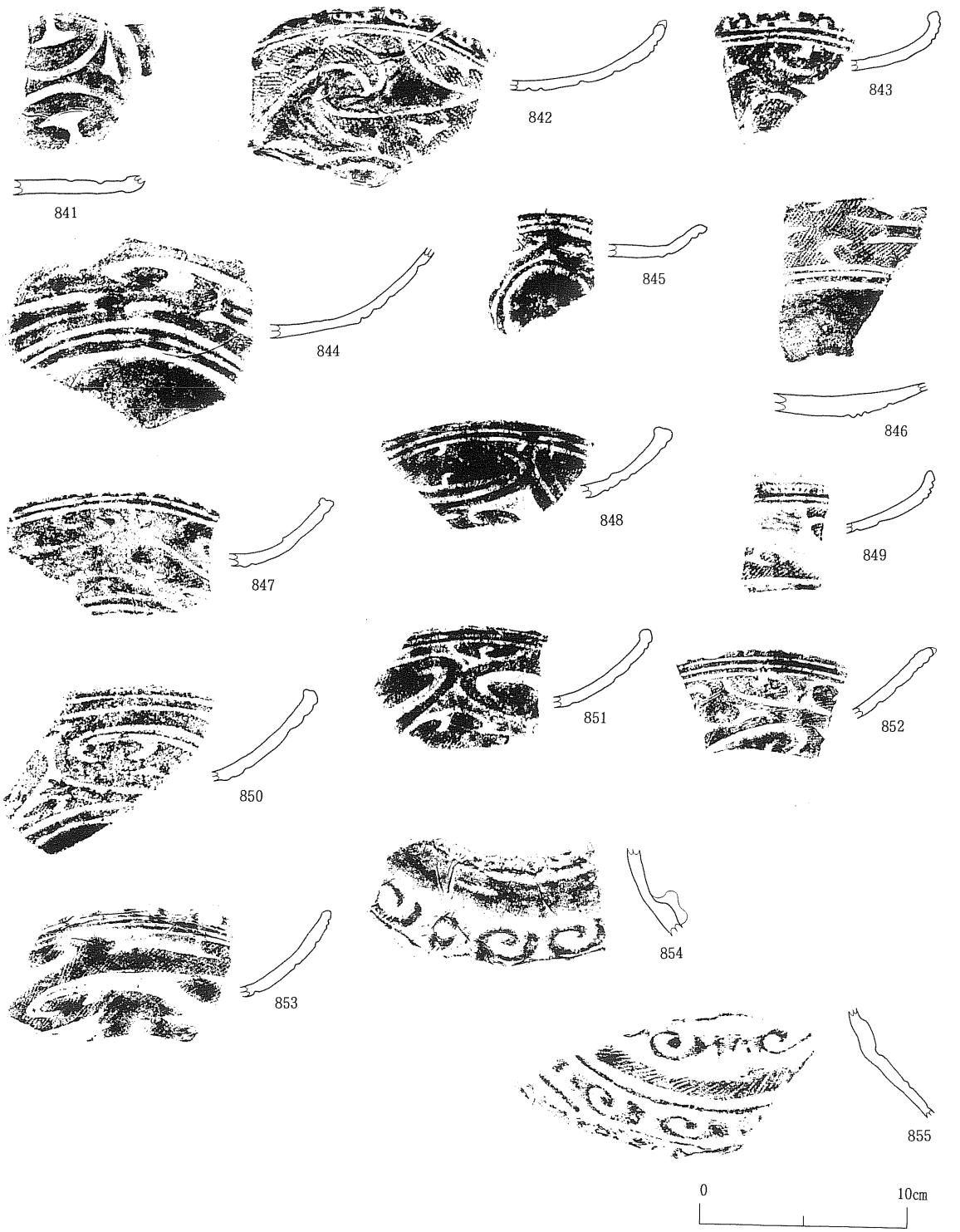
第158図　遺構外出土土器



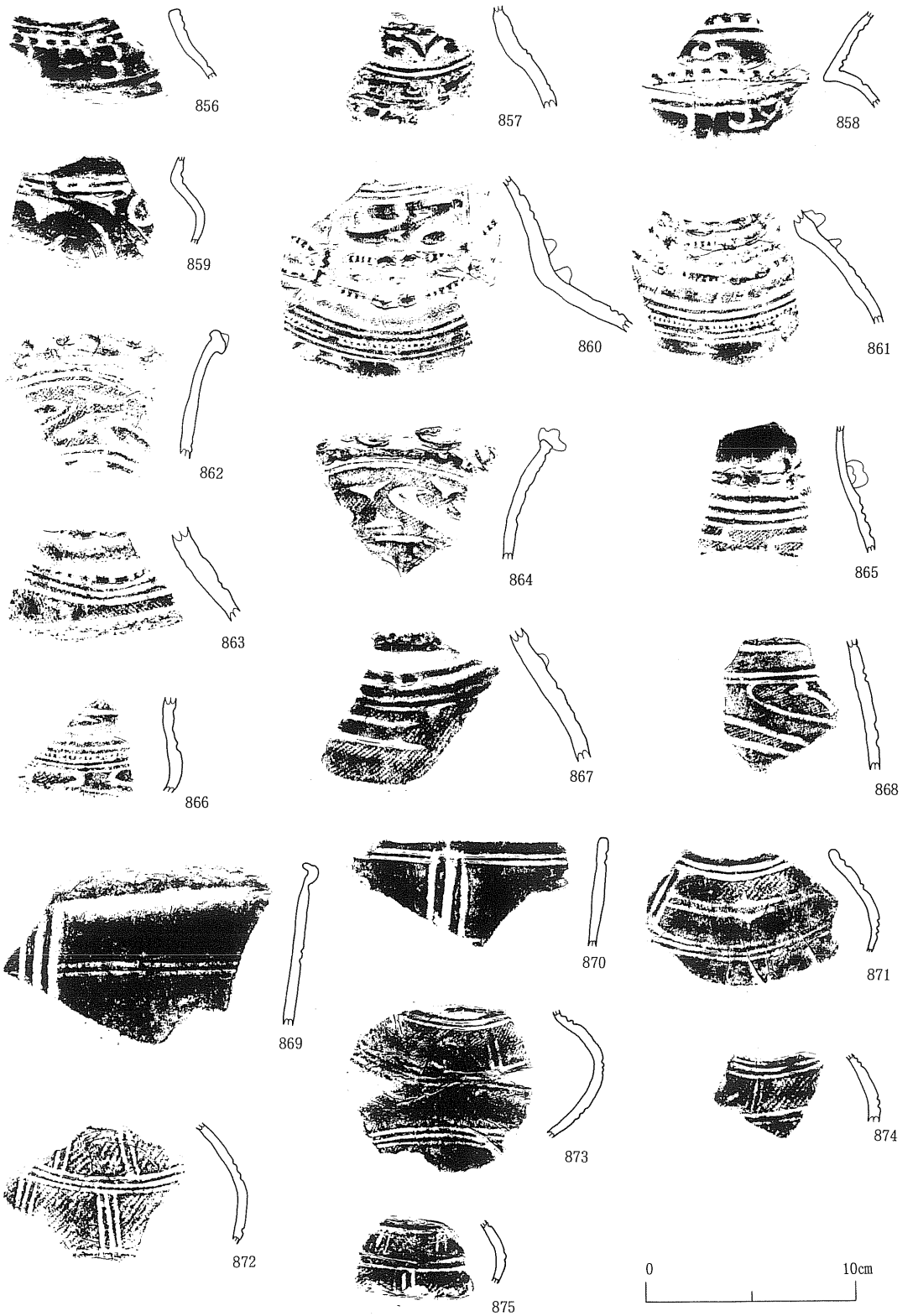
第159図　遺構外出土土器



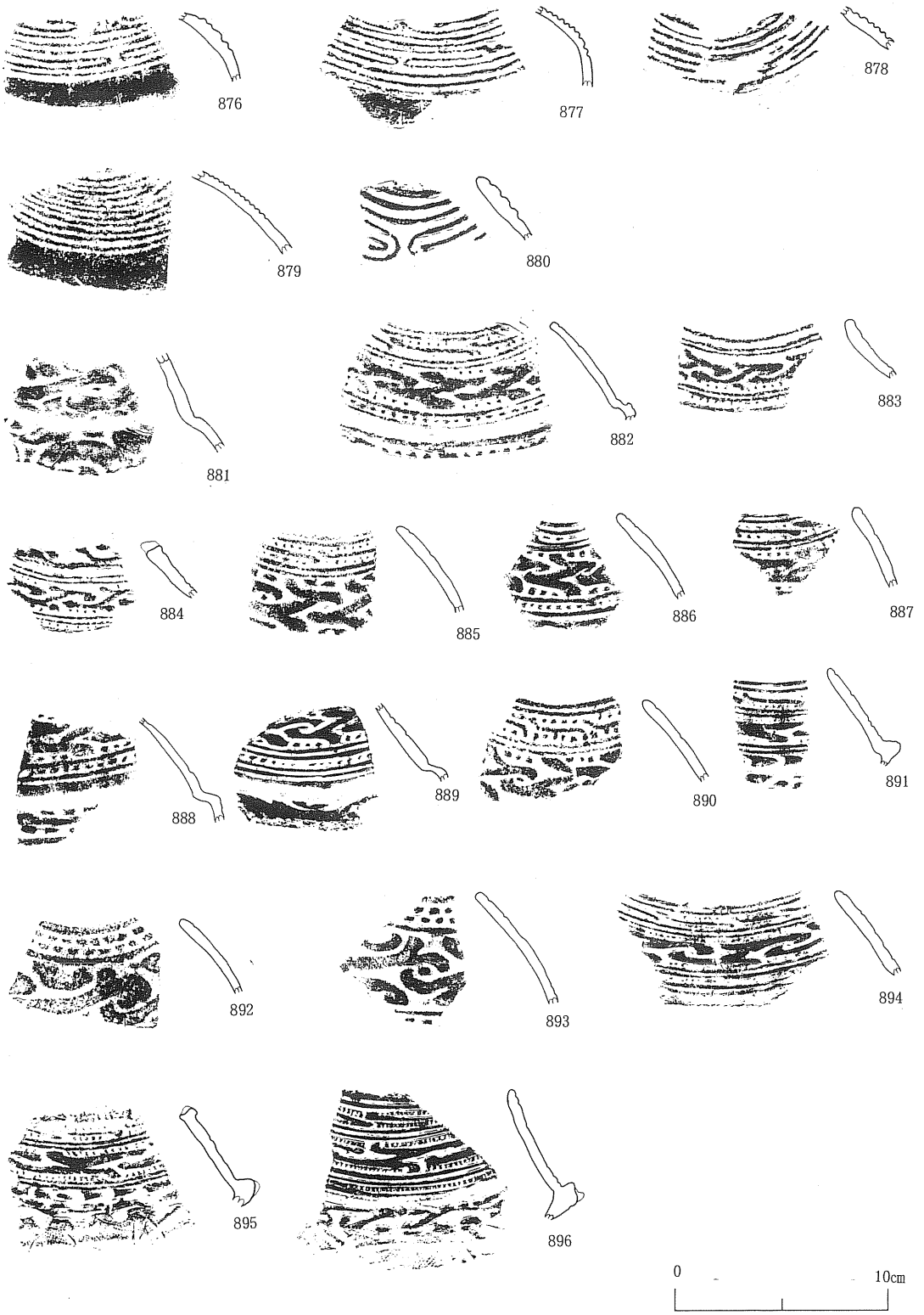
第160図　遺構外出土土器



第161図　遺構外出土土器

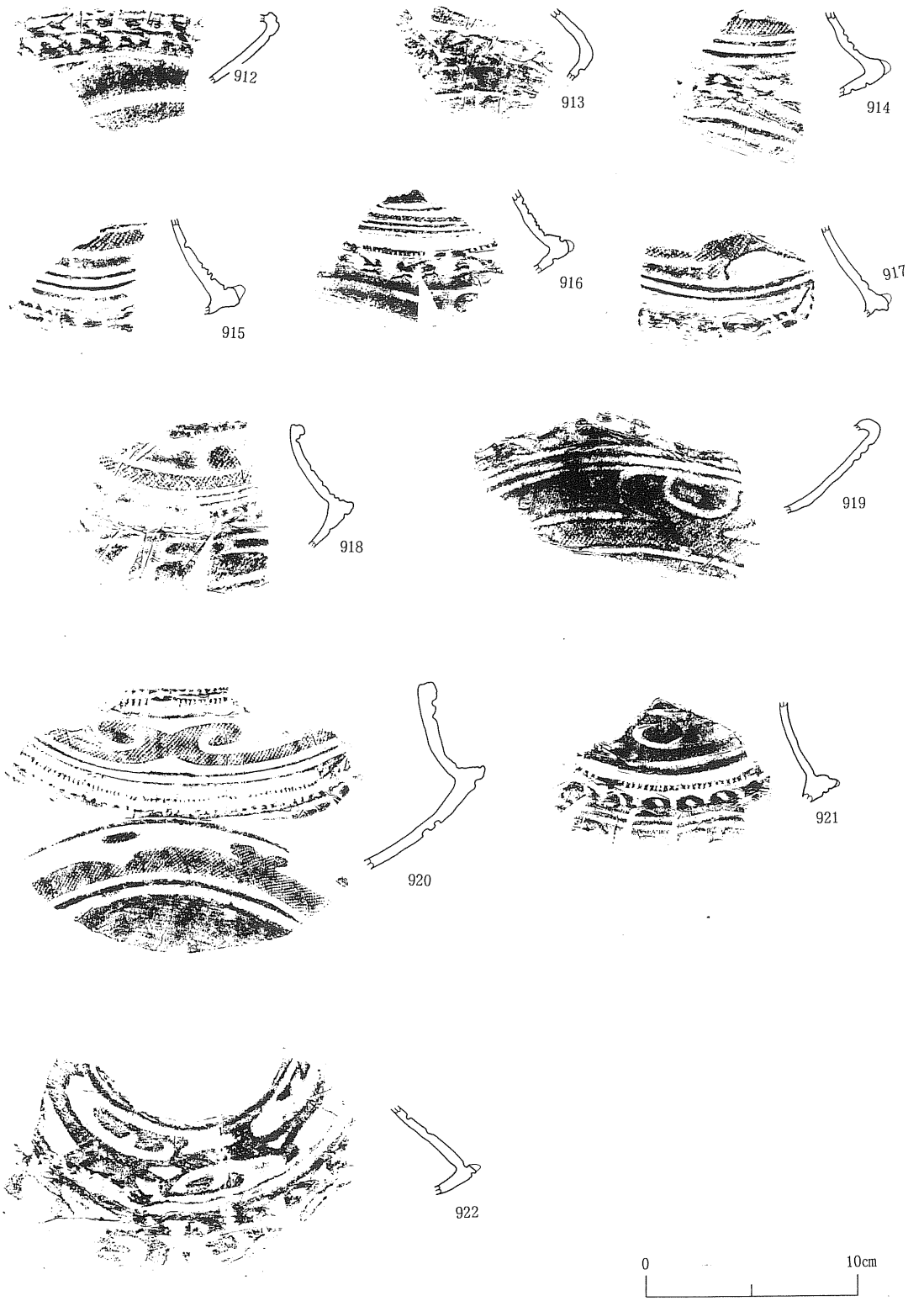


第162図　遺構外出土土器



第163図　遺構外出土土器

第164図　遺構外出土土器



第165図　遺構外出土土器

骨文・x 字文などが展開する。

e 類（326～335・337・338・340～342・809～821）

口縁は平縁が多いが、小波状・山形口縁をなすものもある。口縁部には２～３条の平行沈線文がめぐり、体部は無文のものである。

Ⅴ類土器：台付浅鉢形土器を本類とした。施文様からａ～ｃ類に分類できる。

a 類（339）

口縁部に連続刻目文がめぐり、体部は地文の単節斜縄文である。

b 類（336）

小波状口縁をなし、体部には三叉文・磨消し縄文による雲形文・Ｃ字文などが展開する。

c 類（343）

小波状口縁をなし、２条の平行沈線文がめぐる。体部は地文の単節斜縄文である。

Ⅵ類土器：皿形土器を本類とした。施文様からａ～ｃ類に分類できる。

a 類（346・849）

口縁部に退化した羊歯状文が一列に平行線化し、間に連続刻目文が施される。体部全面に磨消し縄文様が展開する。

b 類（347・348・842・843）

小波状口縁をなし、口縁部に２～３条の平行沈線がめぐる。体部は磨消し縄文により、雲形文・x 字文・横に長いＣ字状文などが展開する。

c 類（349～352・833～841・844～848・850～852）

平縁で口縁部に２～３条の平行沈線がめぐる。体部は磨消し縄文により雲形文・x 字文などが展開する。833～835・840・841などは文様が底部にまで描かれる。

Ⅶ類土器：壺形土器を本類とした。

a 類（262～268）

頸部は無文帯で体部全面に単節斜縄文が施されるものである。

b 類（860・861・863・864・866）

平行沈線間に連続刻目文が施される。口縁部、体部には磨消し縄文により雲形文・x 字文などが展開する。

c 類（293～298・862・865・867・868）

器全面に磨消し縄文による雲形文・Ｃ字文・x 字文などが施されるものである。

d 類（269～284・290）

頸部に２～３条の沈線がめぐり、口縁部、体部とも無文であり、よく磨かれるているものである

e 類（286～289・291・292）

頸部・肩部の４ヶ所に縦長の瘤を付し、隆線によって楕円状に４単位に区画される。口縁部、体

部は無文でよく磨れている。

第４群土器（第125図244・第138図410～436・第150図646～662・666・第162図869～875）

大同Ｃ$_2$式土器を本群とした。器種には深鉢・鉢・壺形土器がある。

Ⅰ類土器：深鉢形土器を本類とした。施文様からａ～ｅ類に分類できる。

ａ類（414～421）

口縁部に文様帯がある。沈線により、弧線を描くものである。

ｂ類（422～427）

口縁部に文様帯がある。沈線により弧線と菱形文が施されるものである。地文は単節斜縄文である。

ｃ類（428～435）

口縁部に文様帯がある。平行沈線間に矢羽根状・綾杉状の文様が施される。地文は単節斜縄文である。

ｄ類（412・413）

沈線文・連続したＣ字文が施される。

ｅ類（410・411）

山形口縁をなし、口縁直下、頸部に沈線文がめぐり、瘤状の突起が付く。他は無文でよく磨かれている。

Ⅱ類土器：鉢形土器を本類とした。施文様からａ～ｄ類に分類できる。

ａ類（244）

平行沈線で区画した間に沈線により矢羽根状の文様が展開するものである。

ｂ類（640・645）

山形口縁をなし、頸部は磨消し無文帯である。体部は磨消し縄文によるx字文・Ｃ字文が横に長く展開する。

ｃ類（647～658・662）

平縁で口縁に連続刻目文・沈線文が施される。沈線で区画した間には瘤状の突起を有し、メガネ状の区画文・背中合わせのＣ字文などが施される。

ｄ類（659～661）

平縁で平行沈線で区画した間に背中合わせのＣ字文が連続して展開するものである。

Ⅲ類土器（869～875）：壺形土器を本類とした。平縁で２～３段の平行沈線文がめぐり、それを連絡するように縦に２～３条の沈線文で区画されるものである。

第５群土器（第151図663～665・667～680・第163図876～880）

大洞Ａ式土器を本群とした。器種には鉢形土器・壺形土器がある。

Ⅰ類土器（663～665・667～680）：鉢形土器を本類とした。口縁部に工字文が展開するものであ

る。668は細長いメガネ状の区画文がみられる。

Ⅱ類土器（876～880）：壺形土器を本類とした。肩部に工字文が展開するものである。

多孔底土器（第168図）

２点出土した。77は口縁部がわずかに欠損するが、形状からみてほぼ６cm程の高さのようであり火熱を受け、部分的に赤変し、もろくなっている。78は底部の破片である。77、78とも径７～８mmの穿孔が多数行われている。孔は内側から外側に向って穿たれており、外側に出た粘土は指で押しつぶして整形している。深鉢形土器などとセットで「甑（こしき）」のような機能を有すると考えられている。

土製品

ミニチュア土器（第166、167図50～53）

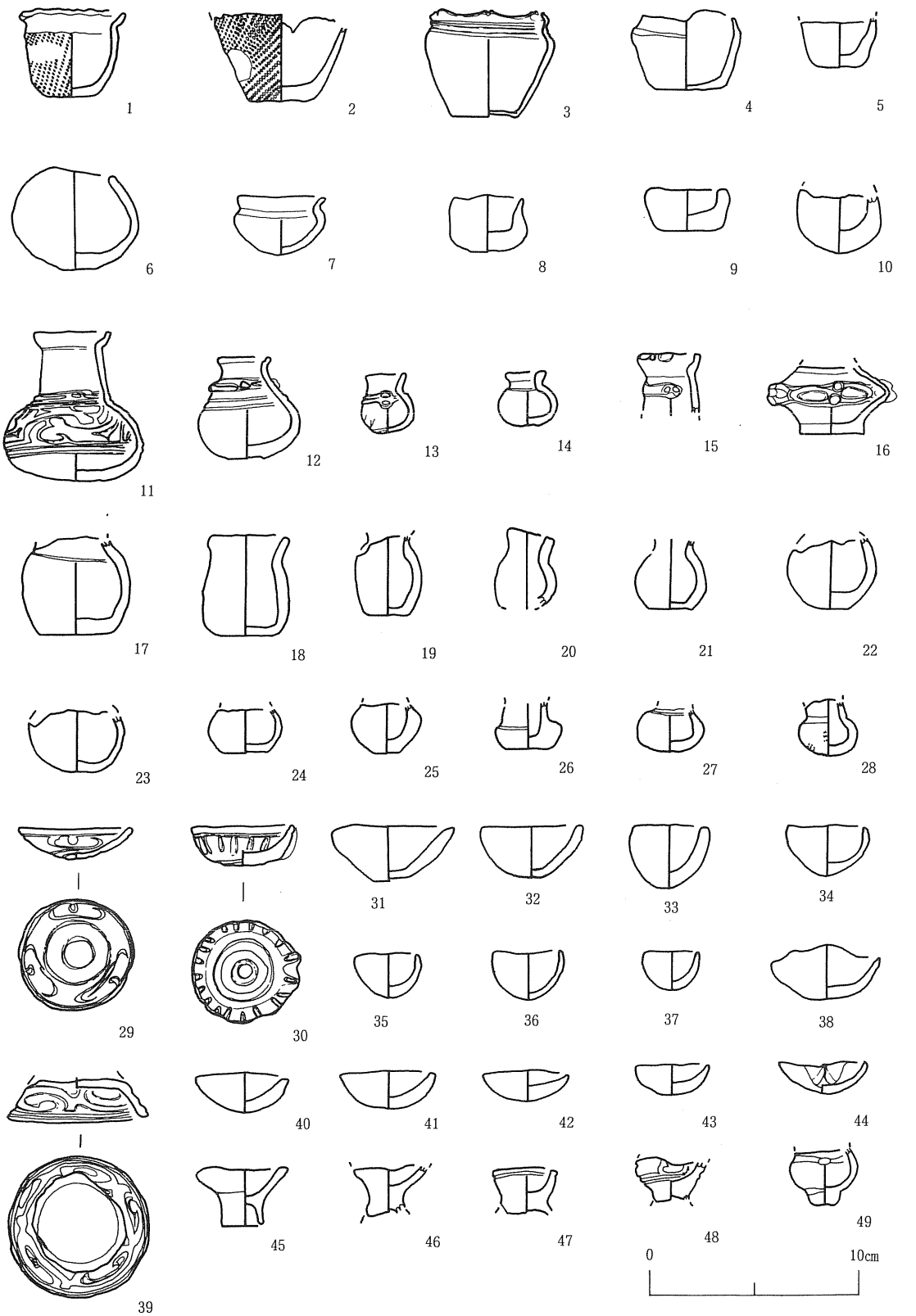
小形で手ずくねの土器が大部分である。器種は、鉢、浅鉢、皿、台付皿、壺形土器、注口土器とバラエテイーにとんでいる。一般に無文の土器に作りの雑なものが多い。３、11、16、29、30、50～53は文様も施され、作りもていねいである。

土偶・土面（第169図～175図）

調査区内で出土した土偶総数は、頭部・胴部・腕部等を含めて、164点である。これらは、主に遺物包含物から出土した。

79は左手・左足が欠損している。体部に比べ頭部が異様に大きく作り出されており、押圧によって眼窩および口をくぼませて表現している。後頭部には粘土紐を貼り付けて、髷状に表現している。80～90は遮光器土偶である。中空のもの（82～90）は透し彫りによって頭部の装飾を表現している。また頭部にはベンガラが塗布されている。88の頭部装飾はアスファルトによって接着されている。91・92は板状の土偶で、顔は抽象的に作られている。また胸部は粘土貼付けによって表現している93～102は頭部の土偶で、沈線および細い粘土紐によって眉・鼻・口等を表現している。94の頬部には沈線によって渦巻状の文様が描かれている。103～105は沈線によって入組文状の文様が施されている板状の土偶であるが、いずれも磨滅が激しい。106～113は胸部から胴部にかけての土偶である。110は中空のもので頸部より体部中央にかけては磨消し縄文による縦方向の文様が、さらに肩部および腰部には沈線による渦巻文が施されている。下部には女性性徴がみられる。121～139は肩部から胴部にかけての土偶で、125～139のように簡素な作りのものや、沈線によって渦巻文等が施されるもの、また刺突文を施しているものなどがある。114～120は腕部で連続した刻目文を施して羊歯状文に類似する文様の効果を表すものもみられる。140～149は肩部から手腕部で、半截竹管状工具による刺突文や、細かく浅い刺突文を施すものなどがみられる。152～169は板状の土偶で、頭部・手腕部・脚部などが抽象的に表現されている、胴部には沈線による三叉状の陰刻文や竹管状工具による刺突文等が施されている。頭部の隆線は髪を表現したものであろうか。171～194は脚および足部である。171～173・175～179は中空である。刻み目を入れ指を表現しているものもある。

土面：170は土面である。縦11.5cm、厚さ9mmの浅い椀形を呈する。顔の表情は遮光器文様のタイ

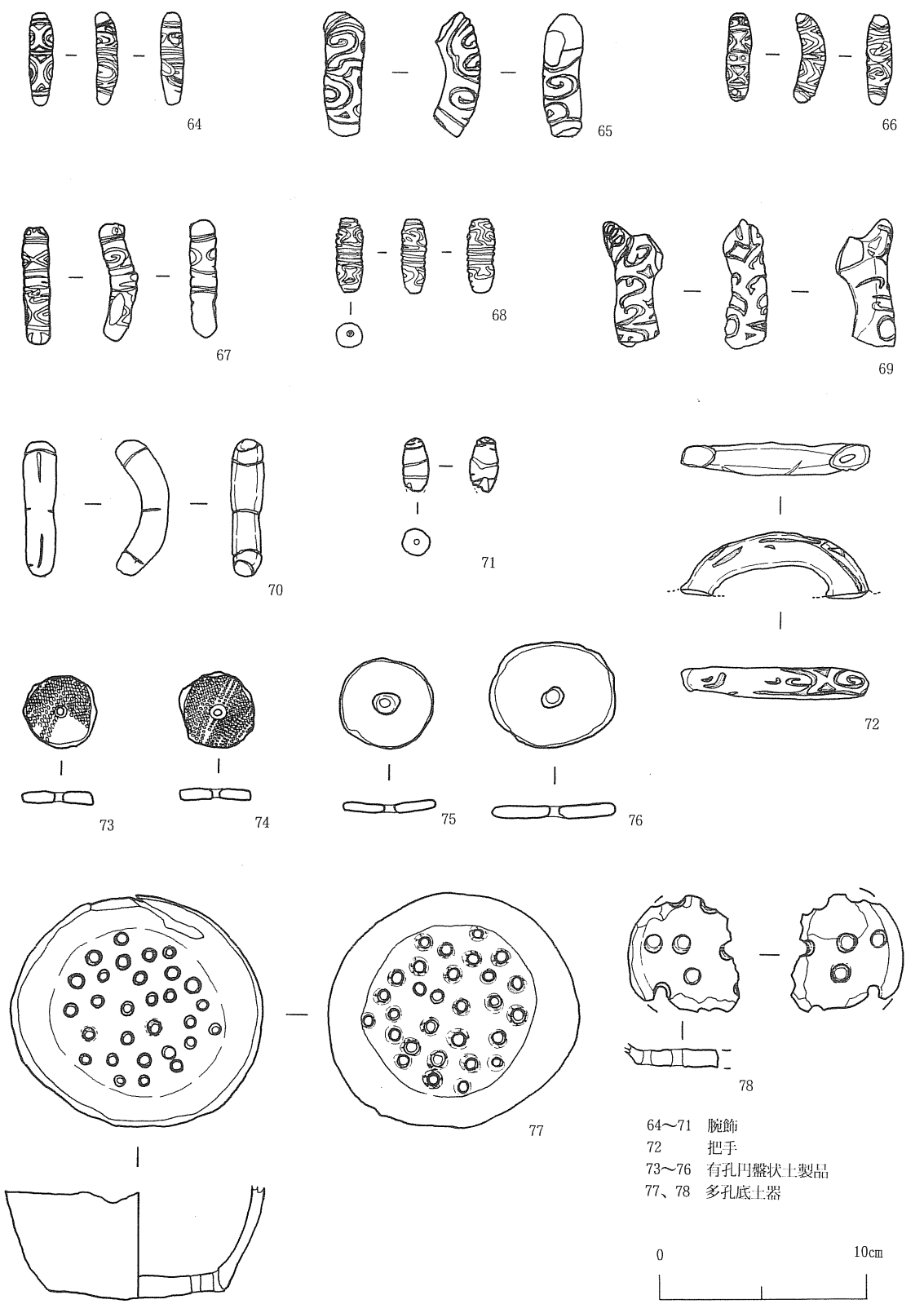


第166図　遺構外出土ミニチュア土器

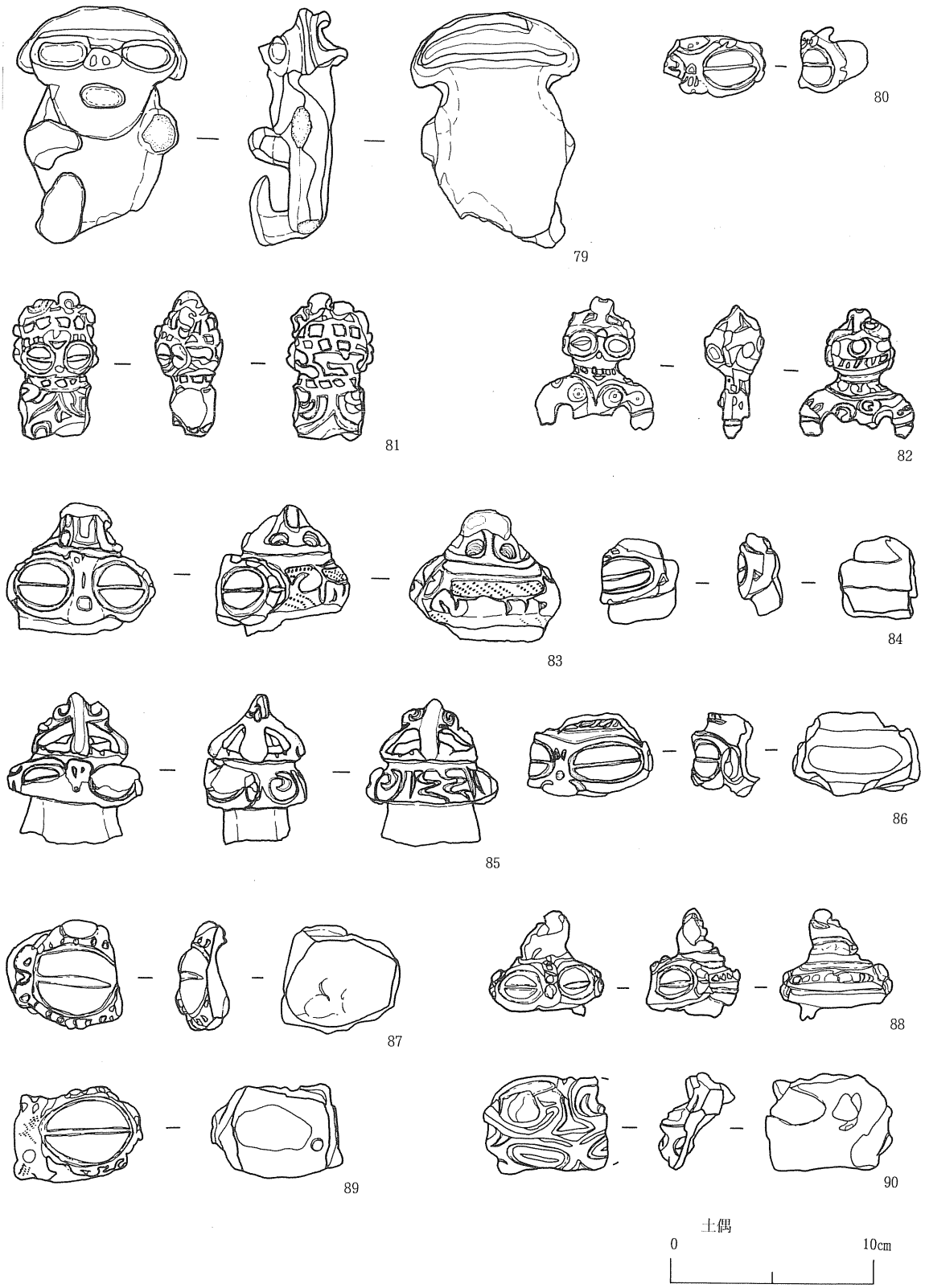
50〜53　ミニチュア土器
54〜63　土製品

0　10cm

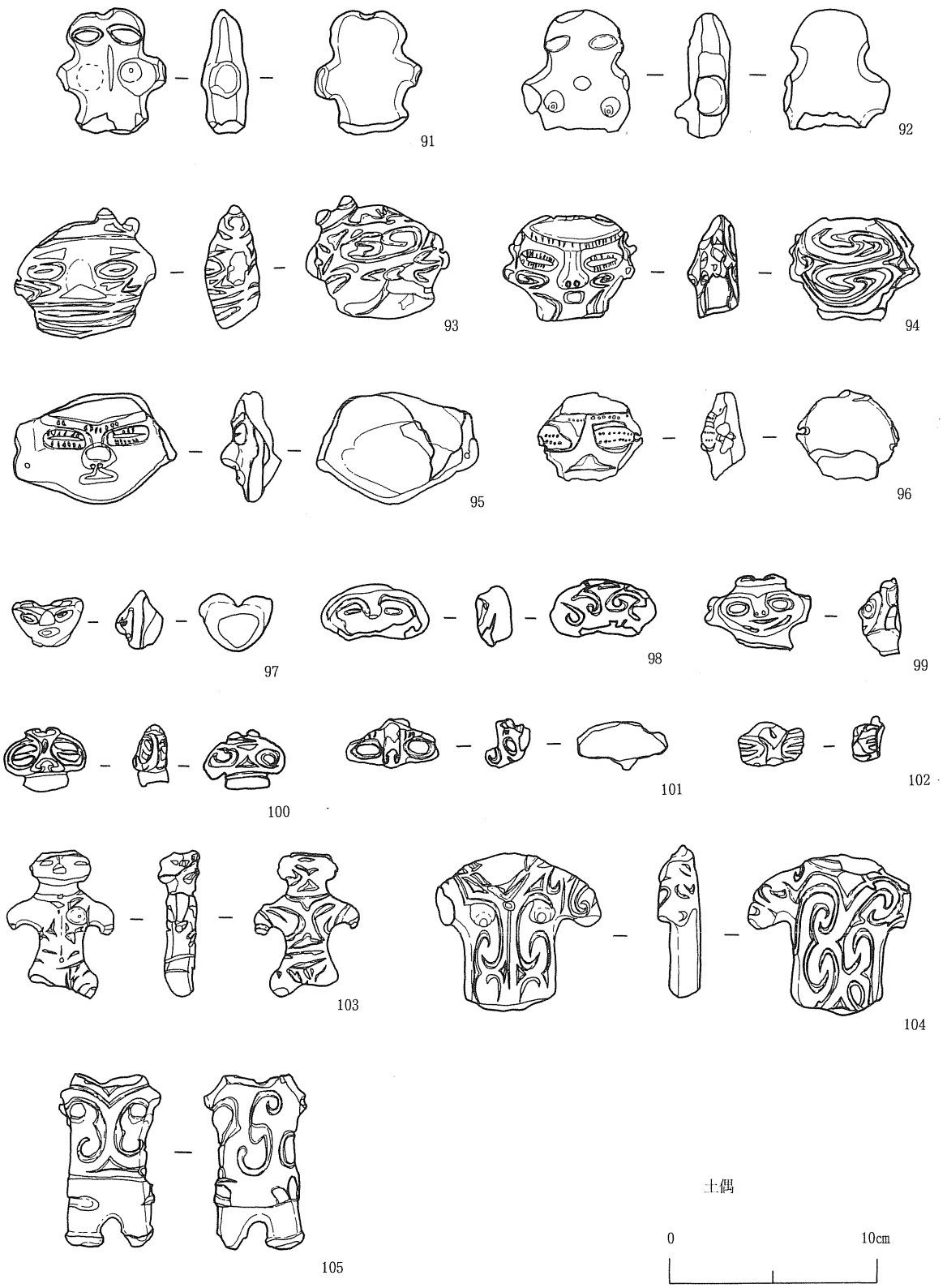
第167図　遺構外出土土製品



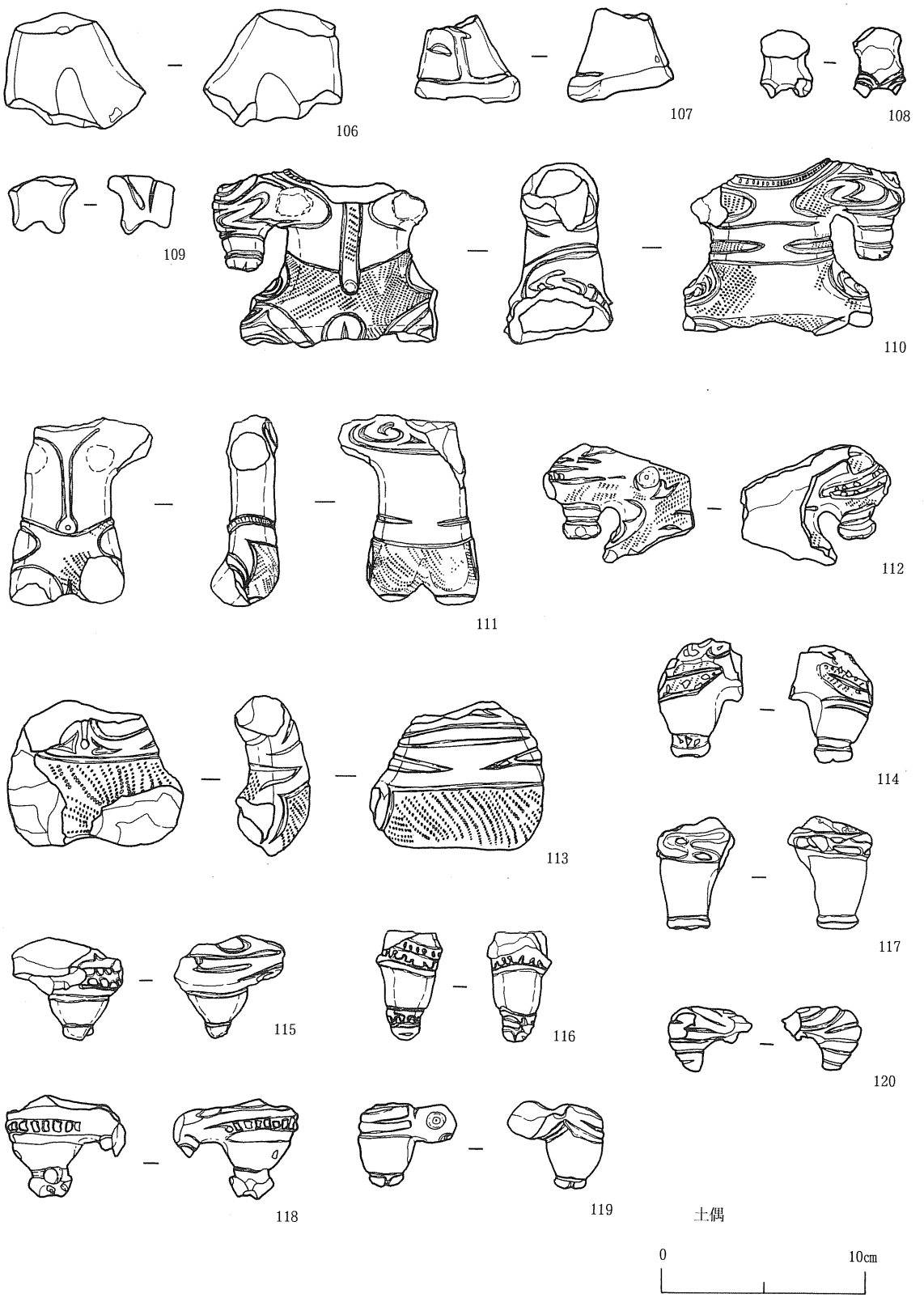
第168図　遺構外出土土製品



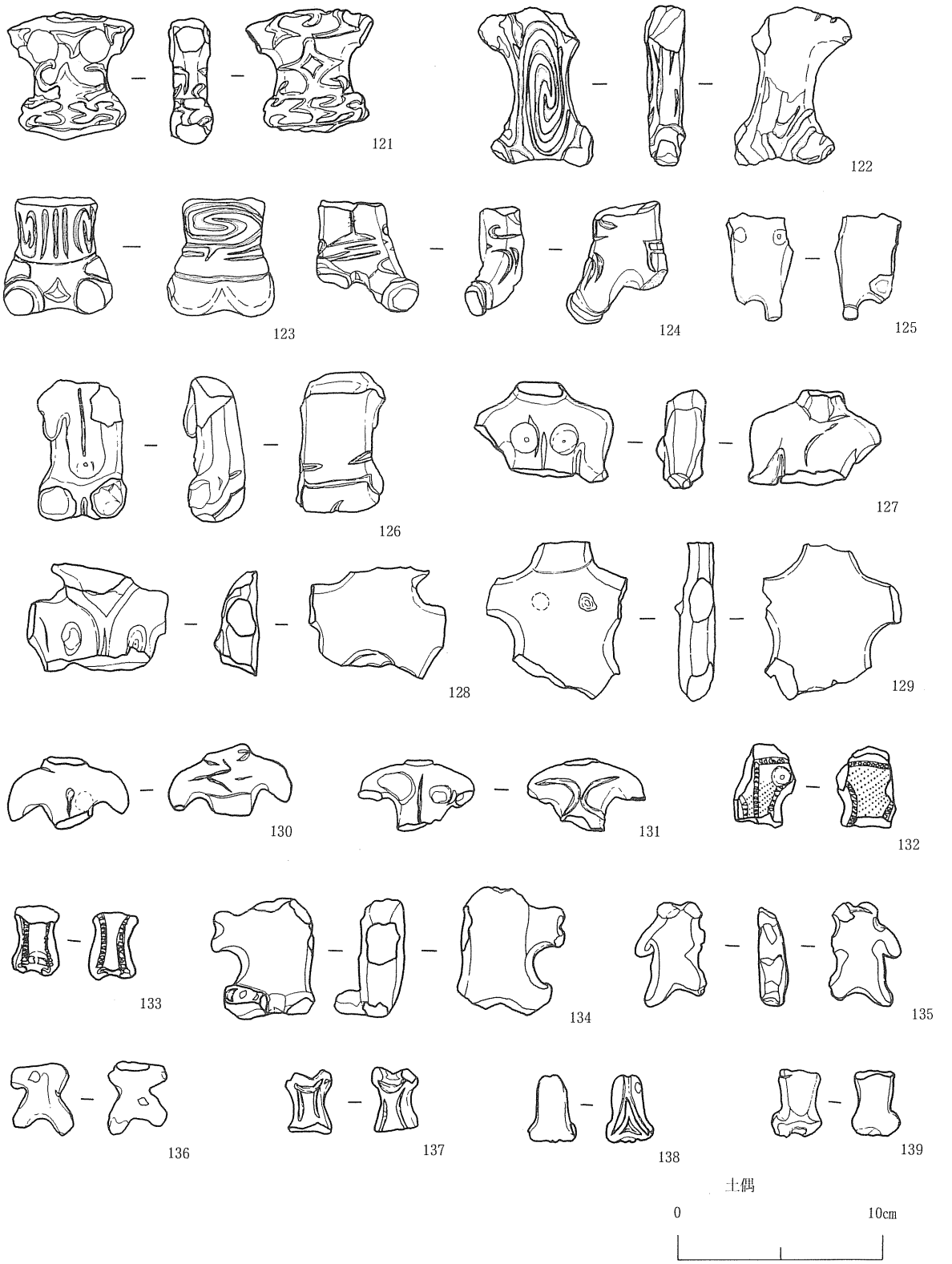
第169図　遺構外出土土製品



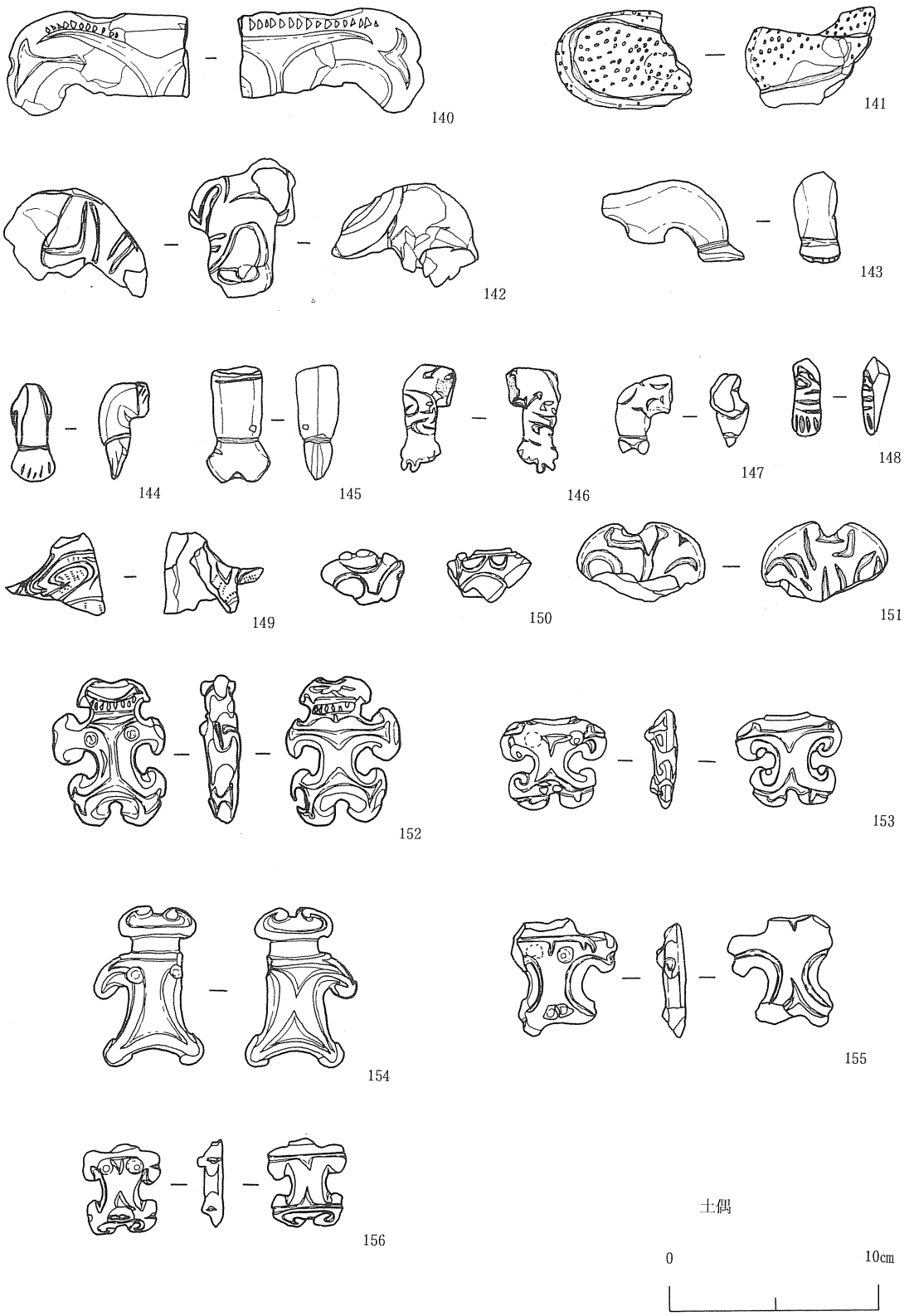
第170図　遺構外出土土製品



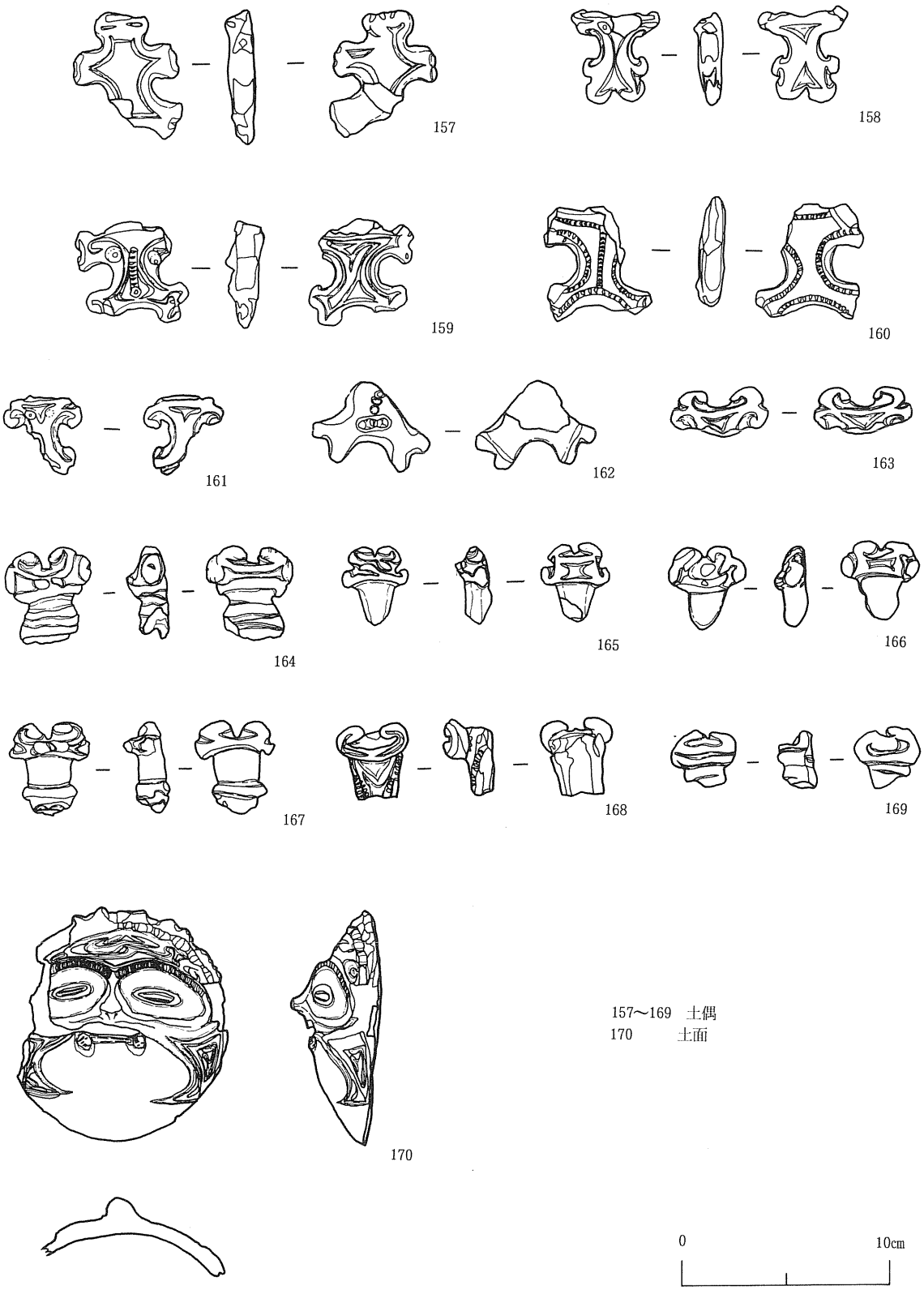
第171図　遺構外出土土製品



第172図　遺構外出土土製品

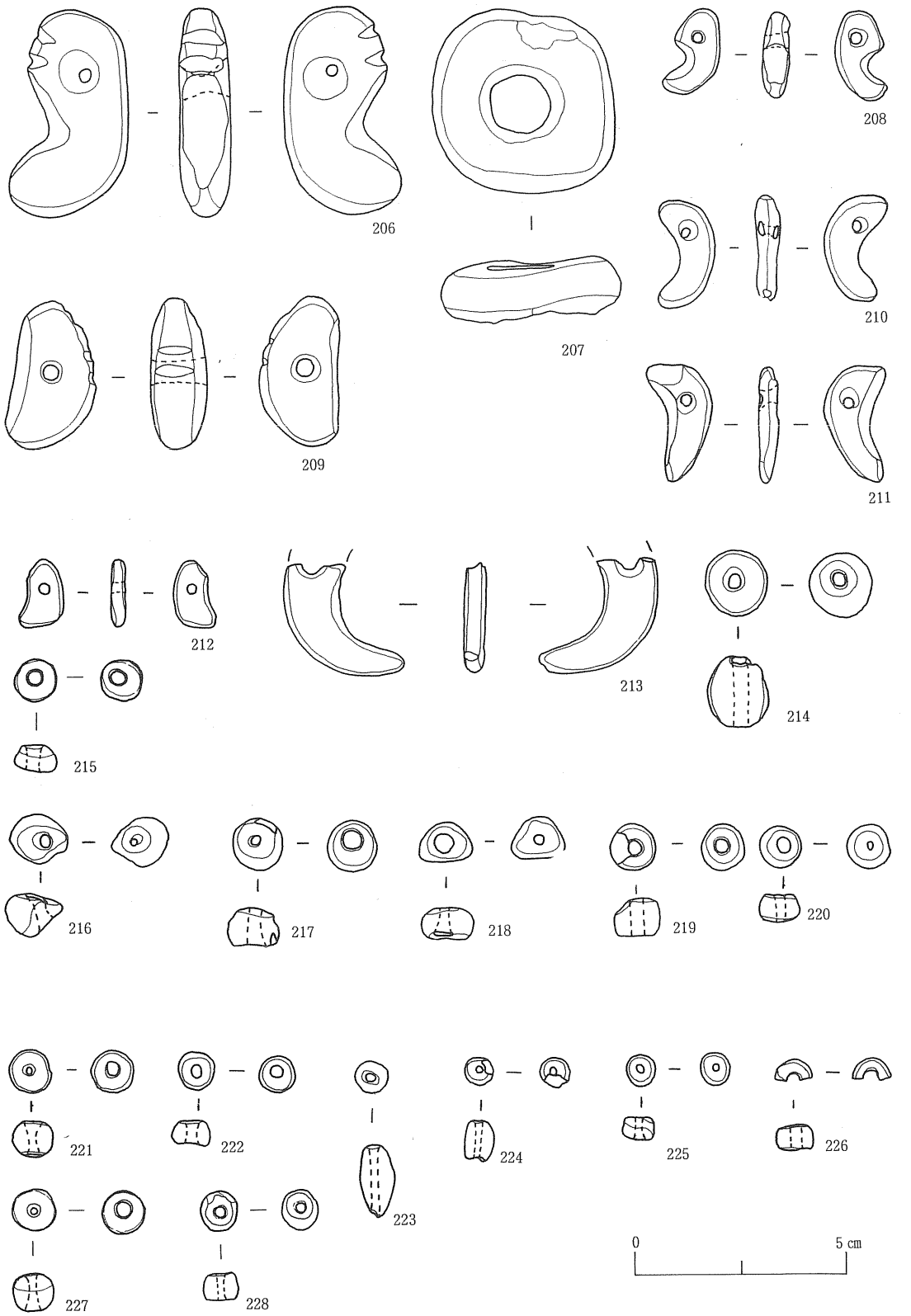


第173図　遺構外出土土製品



第174図　遺構外出土土製品

第175図　遺構外出土土製品



第176図　遺構外出土石製品

プに属するものと考えられる。頭部には細い粘土紐貼り付けにより波状の文様を作り出している。額部には沈線による文様が描かれている。眼窩のまわりは、粘土紐貼り付けによる隆帯に刺突文様によって眉を表現している。目と口は横一文字に閉じており、口の両端には細かい刺突文が施されている。また頬から下顎にかけては、沈線による三叉状の文様が施されている。

スタンプ状土製品（第167図）

55は径５cmを計る。上部にツマミ状の突起を有し穿孔がある。上面に細いヘラ状工具による文様が施されている。60は径3.6cmを計る。

土笛（第167図）

54は径４cmを計る中空の球状の土製品である。中央に小さな穴、やや横にそれよりは少し大きな穴が穿たれている。空洞内には鳴子と思われる小さな土の塊まりが入っている。

腕輪状土製品（第168図）

８点程出土している。共通している点はゆるく弧状を呈し、両端に１～２余の沈線による溝が切られたり、中心部に穿孔されたりすることである。沈線により文様が描かれる。両端の溝や、穿孔部に「ひも」を通して腕輪にしたと考えられる。

有孔円盤状土製品（第168図）

土器片を丸く打ち欠いて中央部に穿孔した土製品である。紡錘車としての機能が考えられる。

耳飾り（第177図）

２種類ある。径1.3cm前後で中央部に穿孔、全面にベンガラが塗布される鼓状を呈するもの（235～238）や最大幅2～2.5cmで側面からみると「キノコ」状を呈するものがある。（234・240）

不明土製品（第167・177図）

形・機能の不明なものを一括して不明土製品とした。56・57は粘土を盤状に手でまるめたものである。58は正面からみると亀形に見え、首・手足がついている。背の部分に沈線による文様がみられる。59は魚状に見え、中は空洞で側面に小穴が穿孔されている。土笛とも考えられる。62は小さな刺突が全面に施されている。

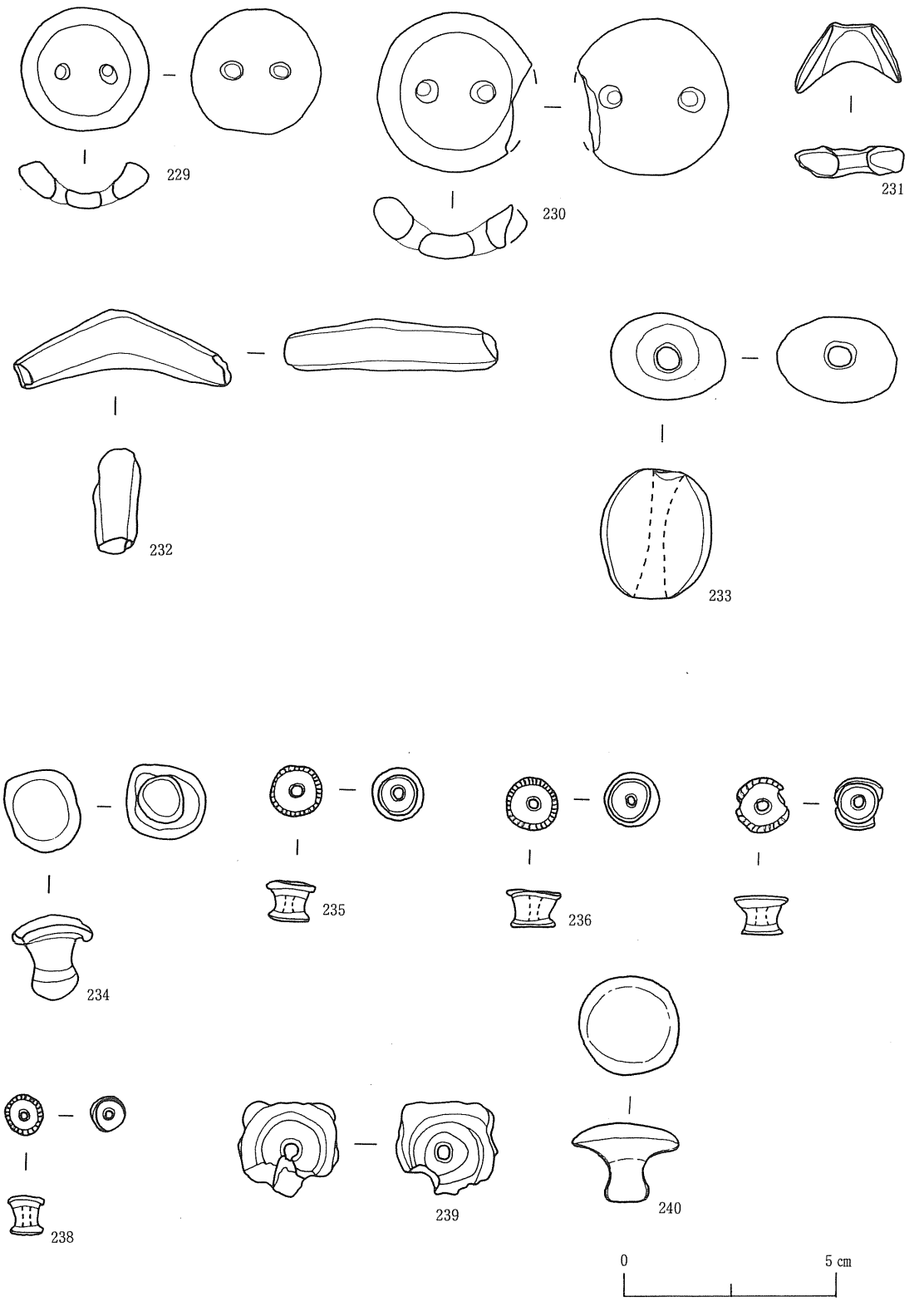
石製品（第176・177図）

遺構外出土の石製品は大部分が遺物の包含層から出土した。

勾玉：７点出土している。最大の206は長さ5.1cmを計る。２条刻みを施し、両面から穿孔している。212は最小で、長さ1.8cmである。

小玉：15点出土している。径８cm～1.6cmまでバラエティーがある。最も集中するのは径1cm前後である。223・224は管玉状を呈している。

ボタン状石製品：２点出土している。224は径3.1cm、230は径3.9cmを計る。きれいに磨かれており、２個並列に穴が穿たれている。



第177図　遺構外出土石製品・土製品

不明石製品：231・232は山形を呈する石製品である。233は楕円形を呈する緑色凝灰岩の中心部に両面から穿孔を施している。

遺構外出土石器

調査区内から出土したフレイクを除く石器は、総数2,349点を数え、そのうち最も多いのが石鏃と石匙で以下、磨製石斧・石錐・石槍・石剣・くぼみ石等である。

石鏃（第178・179図）

総数1,047点を数え、出土石器中約45％を占める。形態的にはⅠ類無茎鏃、Ⅱ類有茎鏃、Ⅲ類尖基鏃に分けられ、Ⅱ類が全体の93％を占める。

Ⅰ類

A：基部に抉入があるもので、抉入が浅いもの。

B：基部に抉入があり、曲線的なもの。

C：基部に抉入があり、抉入が深いもの。

D：基部が直線的なもの。

Ⅱ類

A：基部が直線的なもの。

B：基部が突出するもの。

C：基部が丸味をおびているもの。

Ⅲ類

形態的には石錐に類似しているが、断面形が石錐とは異なり楕円形を呈している。

分類	ⅠA	ⅠB	ⅠC	ⅠD	ⅡA	ⅡB	ⅡC	Ⅲ
アスファルト付着	2	8				1	55	6
点数	11	40	5	12	4	1	149	28
総点数	13	48	5	12	4	2	204	34

石錐（第179・180図）

石錐は179点出土している。形態的には次のように分類される。

Ⅰ類：つまみ部と棒状の錐部からなり、錐部が比較的長いもの

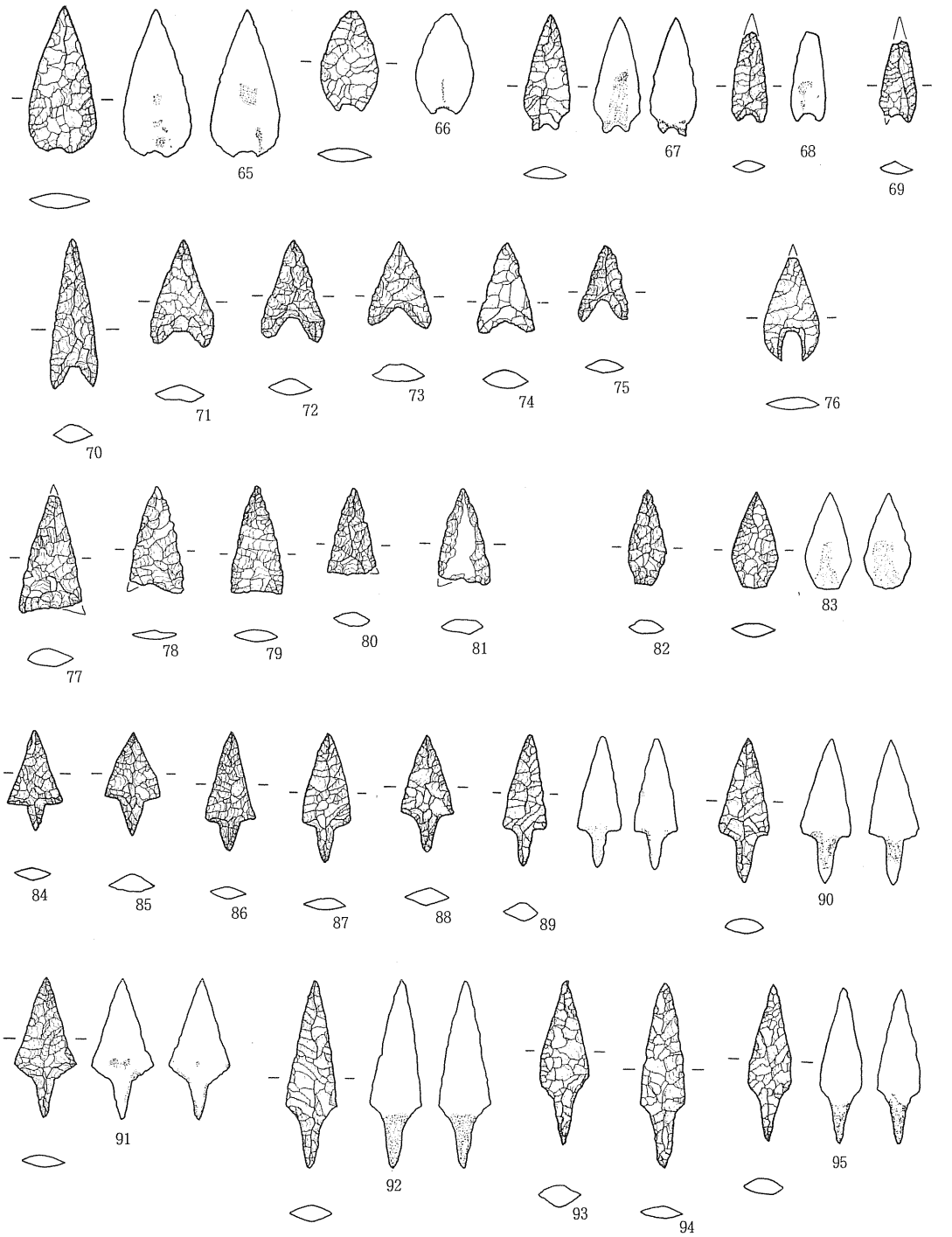
Ⅱ類：つまみ部と短い錐部からなるもの。

ⅢA類：細身の棒状からなるもの

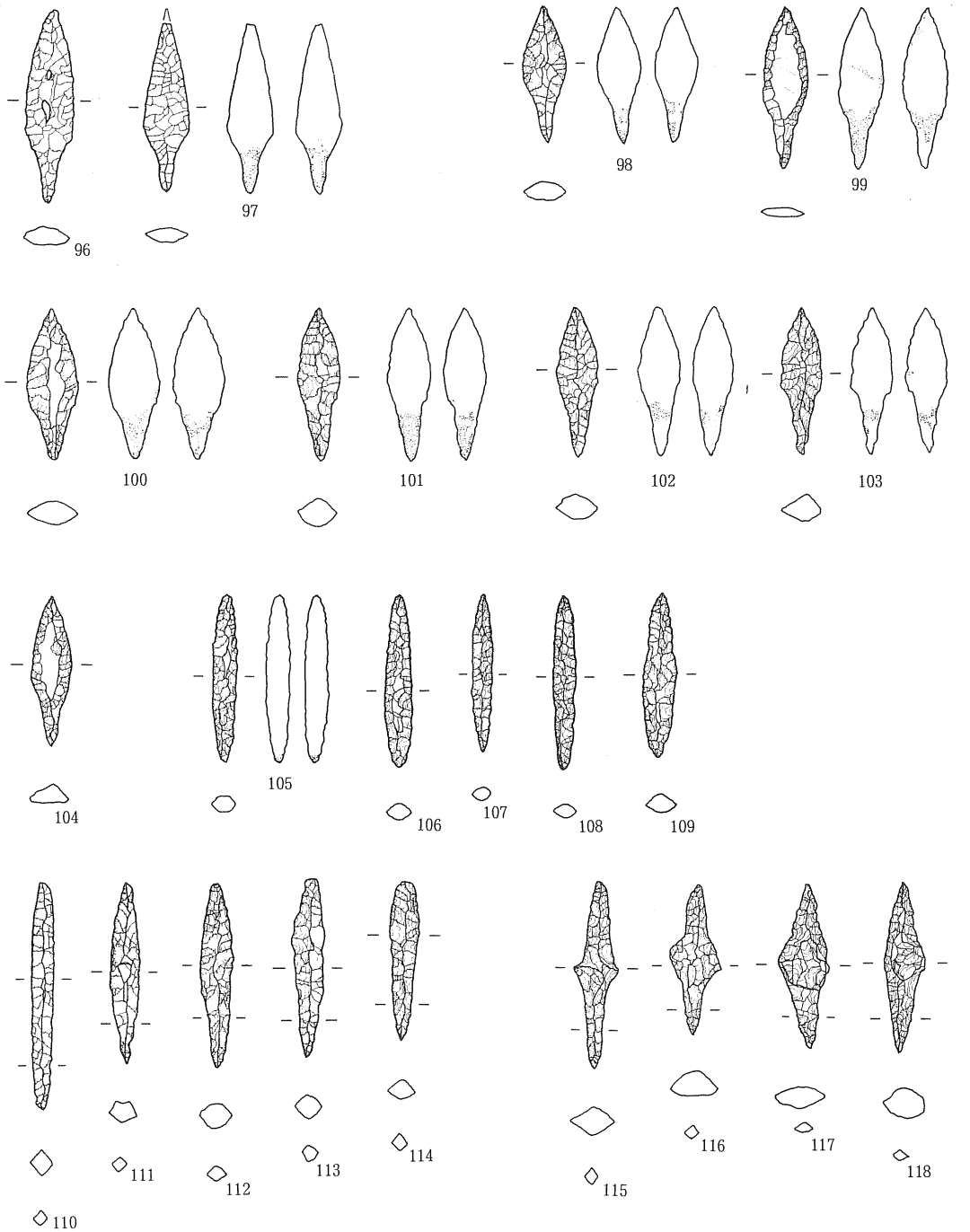
ⅢB類：棒状のもので中央部に突起を有しているもの。

石匙（第180～183図）

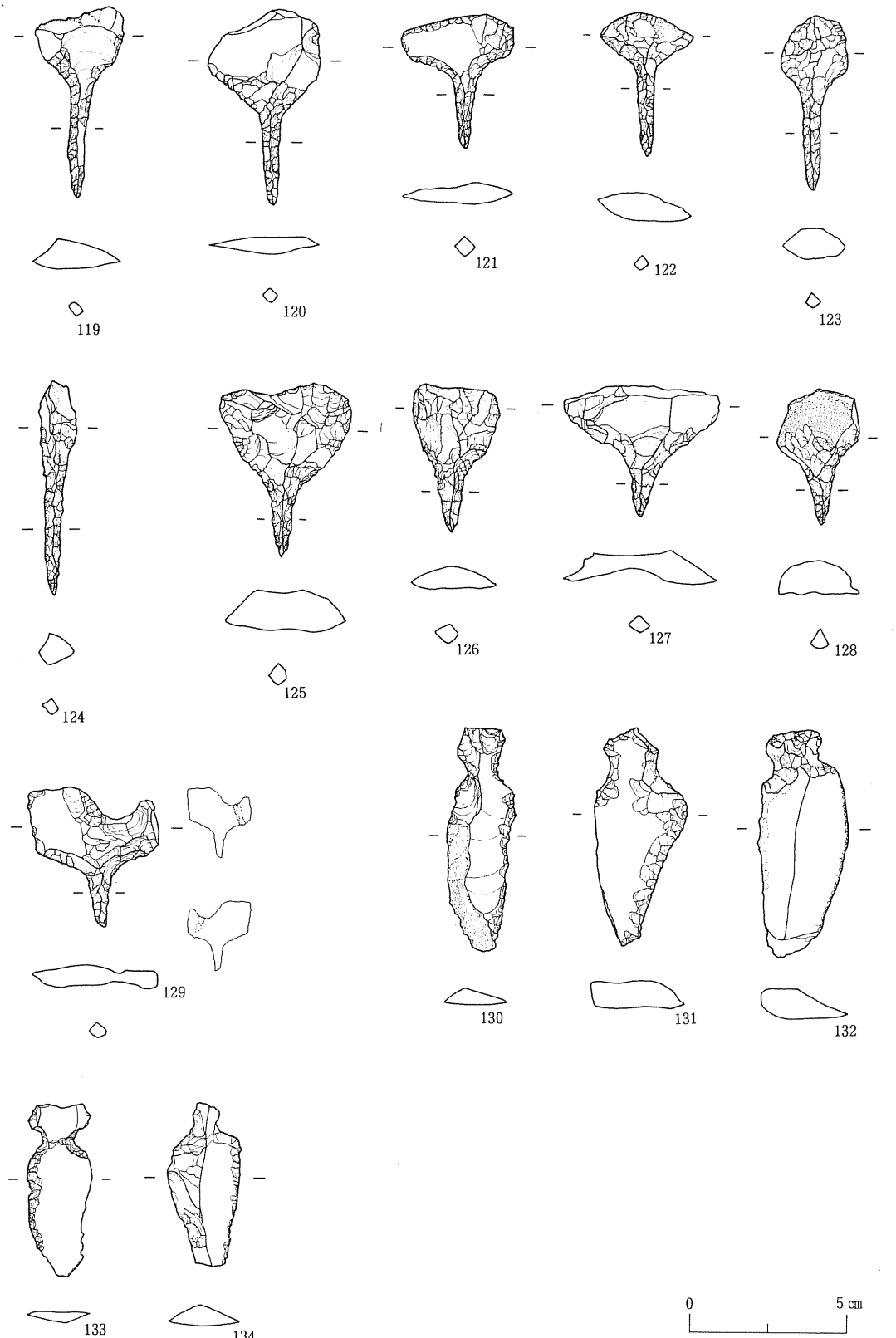
石匙は322点出土しており、そのうち横型が206点で64％を占めている。形態的には**Ⅰ類**：縦型石



第178図　遺構外出土石器



第179図　遺構外出土石器



第180図　遺構外出土石器

	Ⅰ	Ⅱ	ⅢA	ⅢB
アスファルト付着	5			
点　　数	98	39	33	4
総　点　数	103	39	33	4

分類模式図								
分類	ⅠA	ⅠB_1	ⅠB_2	ⅠC	ⅠD	ⅡB	ⅡC	Ⅲ
アスファルト付着	2			3	23	96	37	7
点　　数	3	17	1	14	93	397	293	59
総　点　数	5	17	1	17	116	493	330	68

匙、**Ⅱ類**：横型石匙、**Ⅲ類**：Ⅰ・Ⅱ類の中間型態のもの、に分類され、刃部の構成により細分される。

ⅠA類：背面と主要剝離面に、第1次剝離面を残し、刃部の片方だけに調整を施すもの

ⅠB_1類：刃部が2縁辺からなるもの

ⅠB_2類：刃部の一端が鋭く尖がるもの

ⅠC類：刃部が3縁辺からなるもの

ⅠD類：上記以外のもの

ⅡB類：刃部が2縁辺からなるもの

ⅡC類：刃部が3縁辺からなるもの

石槍（第184図）

石槍は131点出土した。形態的には基部に茎を作り出しているものと、木葉形を呈するものの2つに分類される。

Ⅰ類（178～180）

基部に茎を作り出しているもので13点出土している。

Ⅱ類（181～185）：木葉形を呈するもので118点出土している。

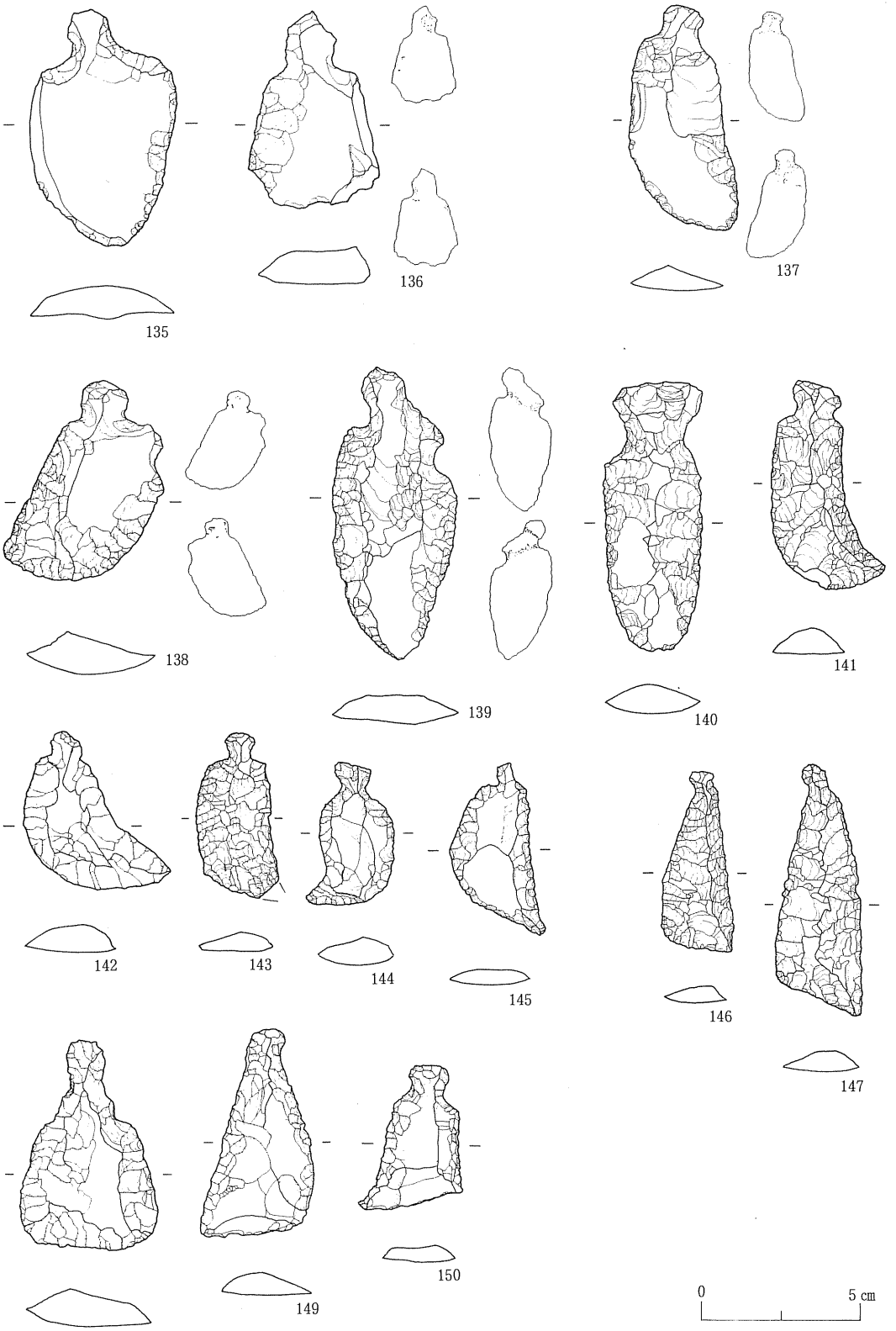
撥形状石器（第184図）

平面形が撥形を呈し、一端に刃部を作り出している石器で、小形のものを含めて18点出土している。小形撥形状石器は大きさが1.5～2.0cmのもので4点出土している。

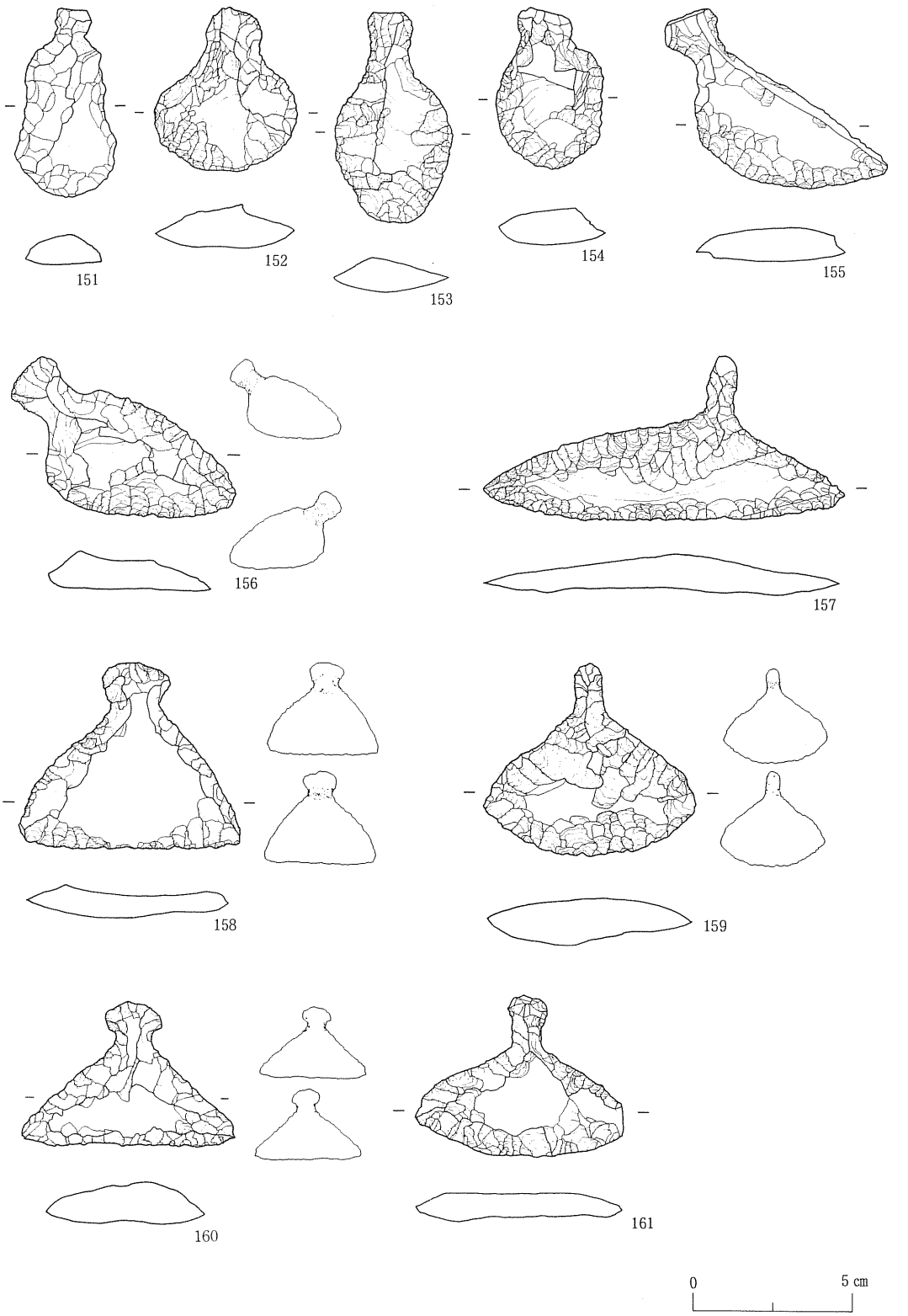
ヘラ状石器（第185図）

平面形が撥形あるいは短冊形を呈し、一端に刃部をつくりだす石器である。15点出土している。

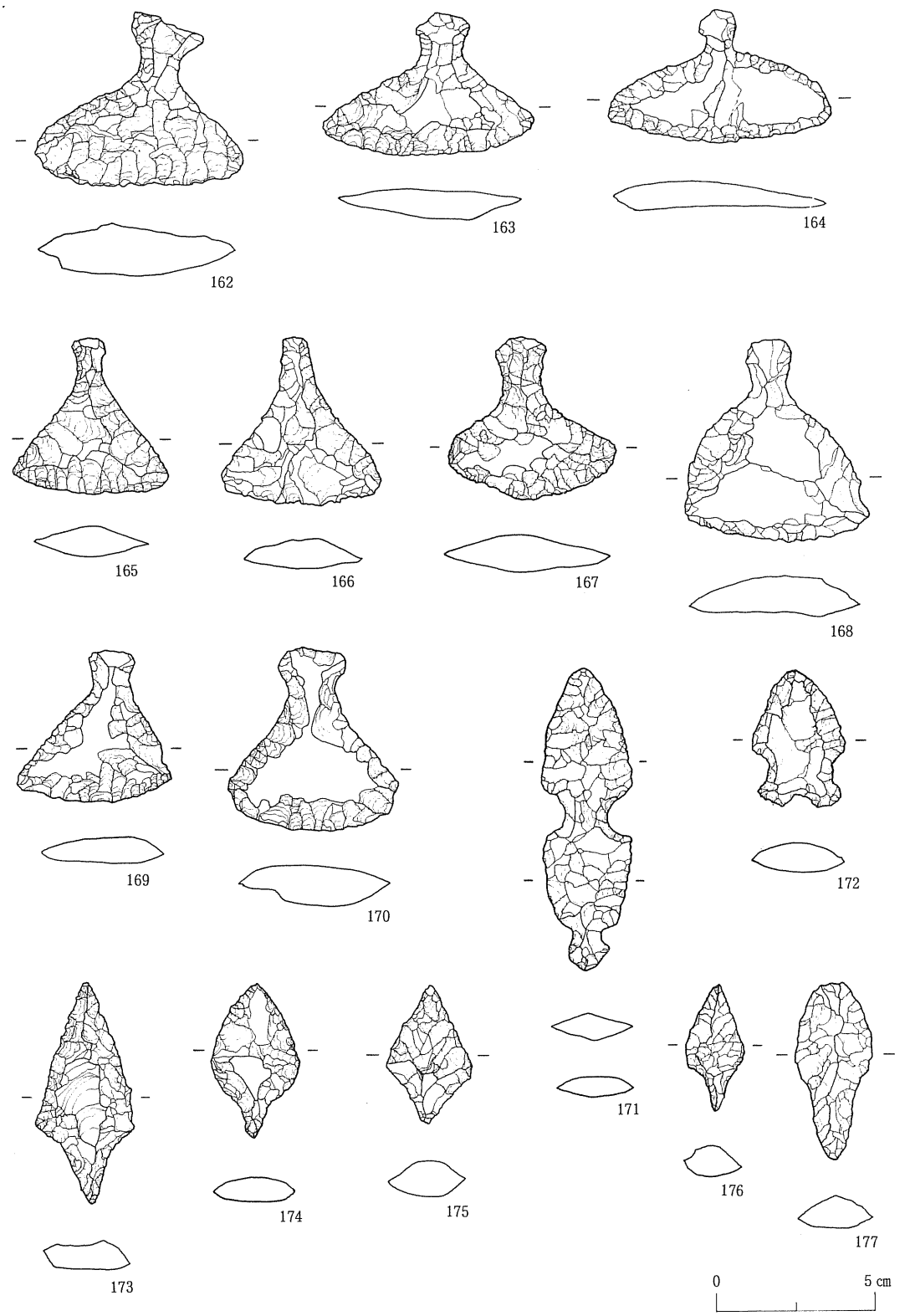
掻器・削器（第185図）



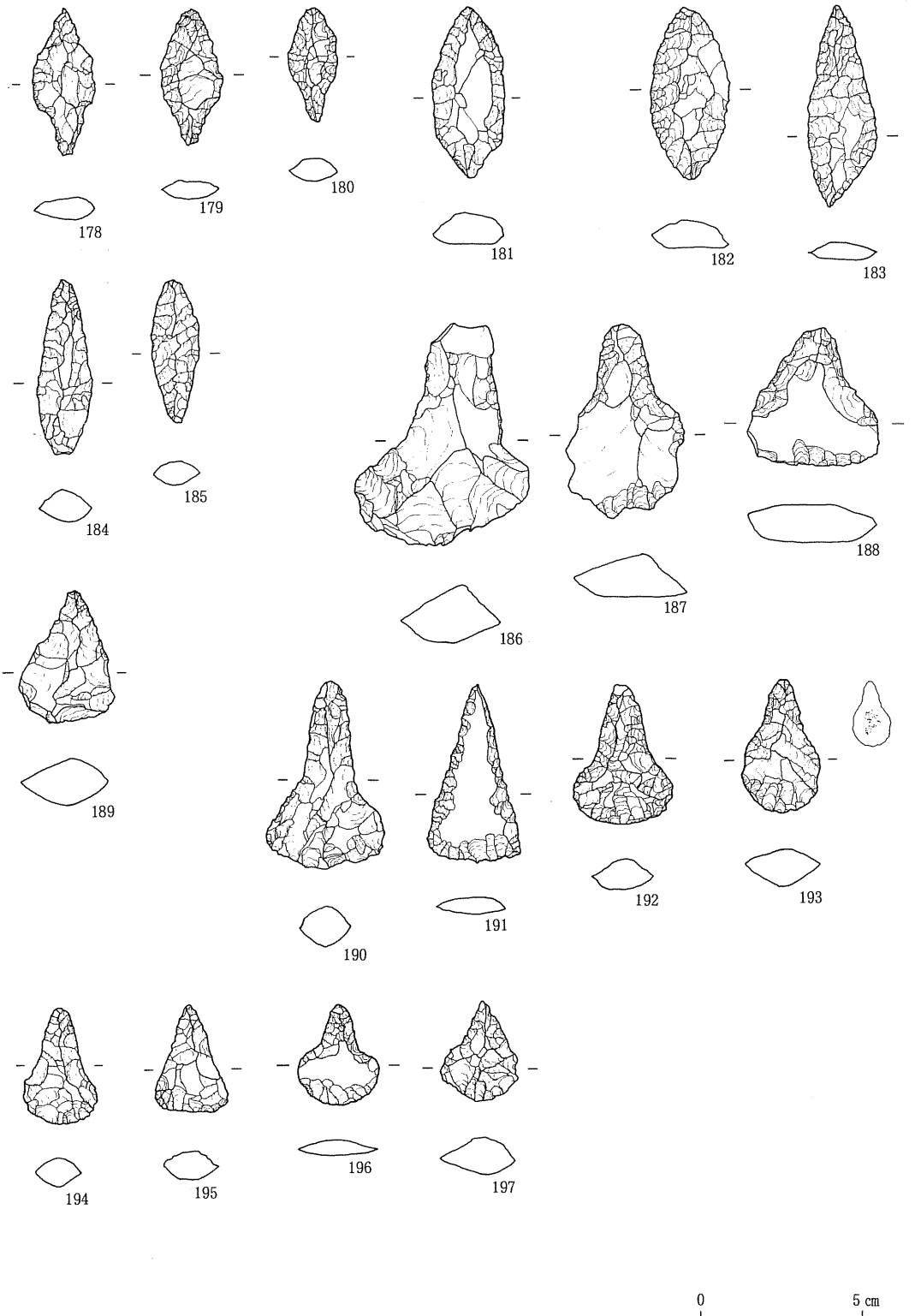
第181図　遺構外出土石器



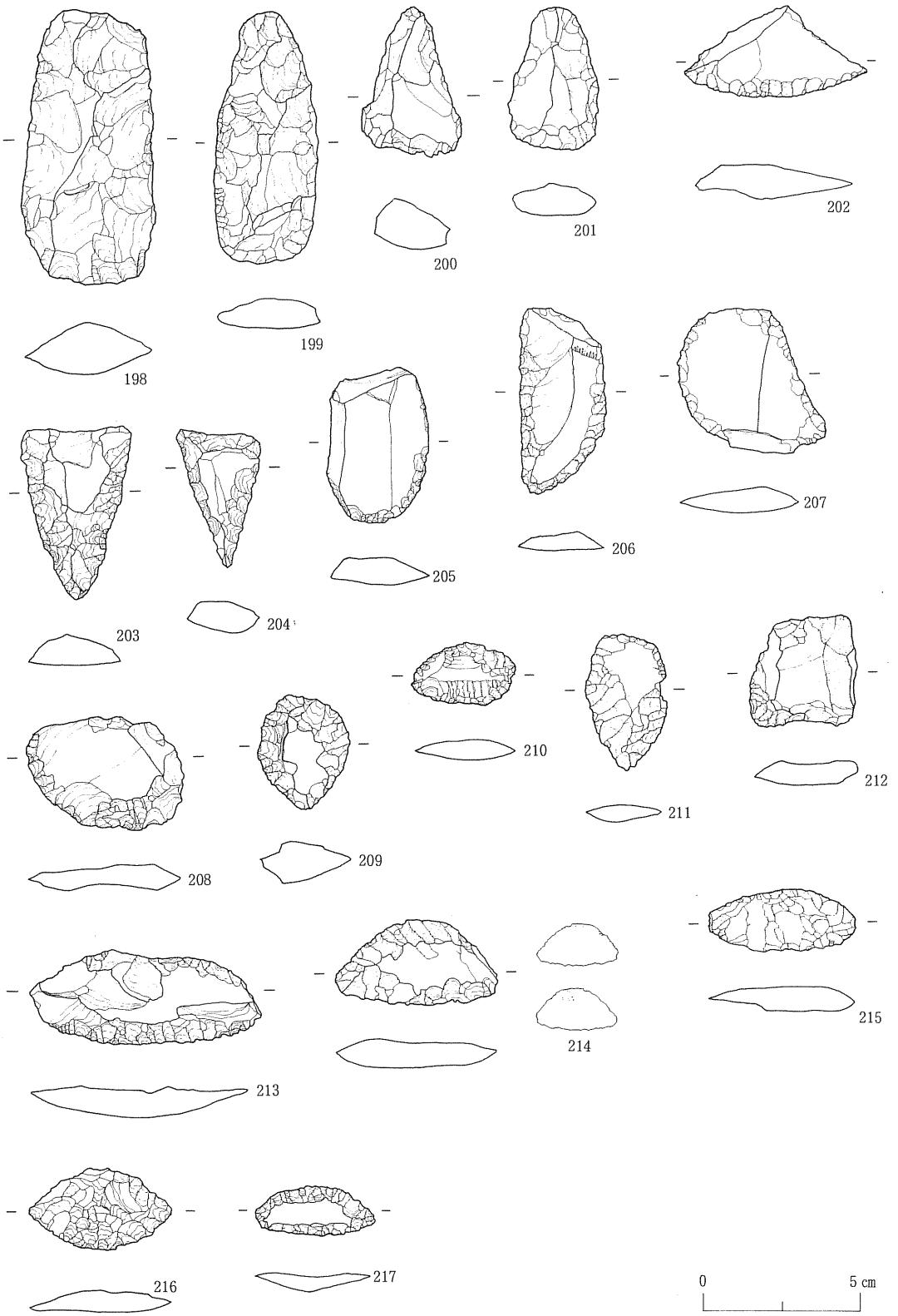
第182図　遺構外出土石器



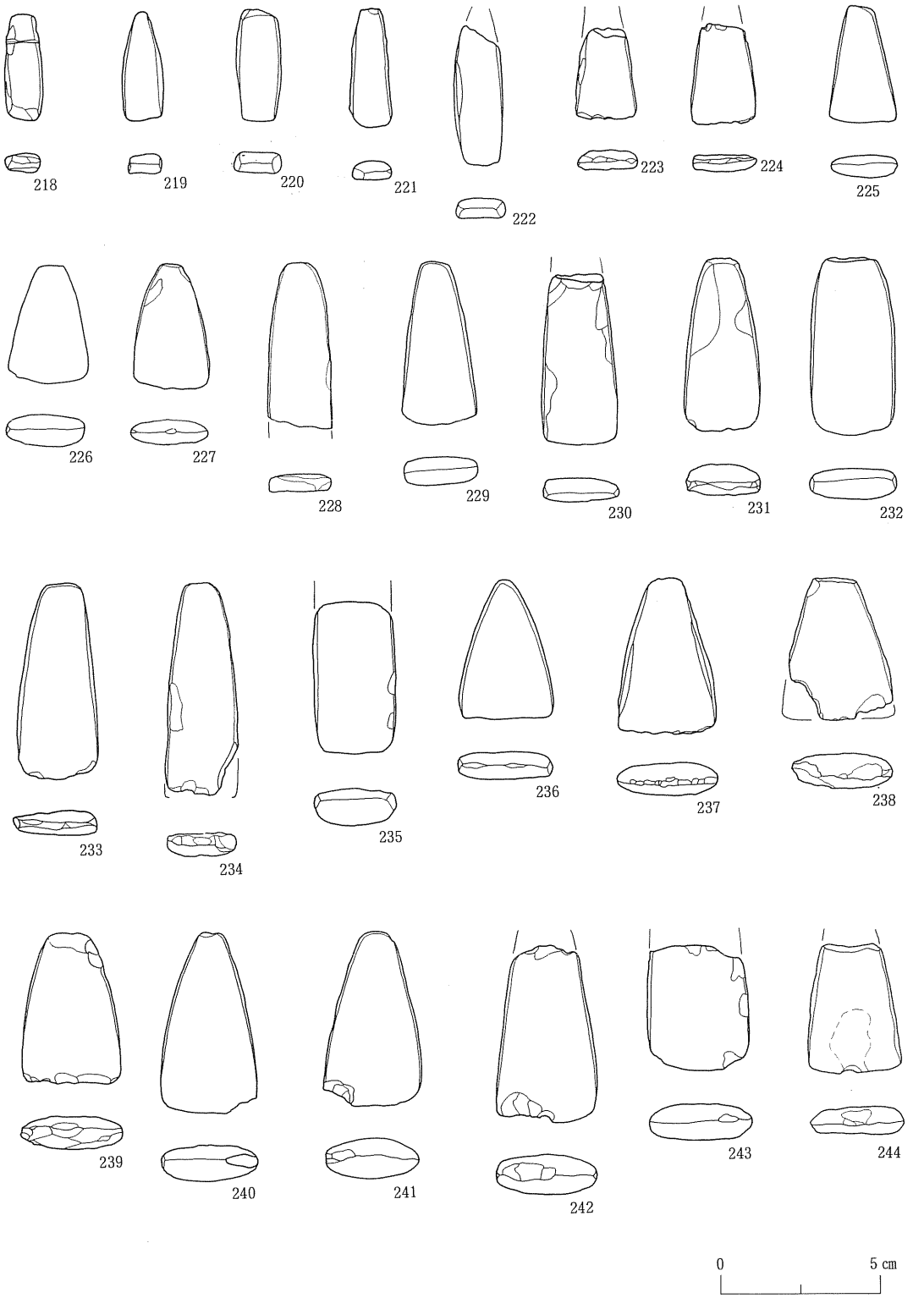
第183図　遺構外出土石器



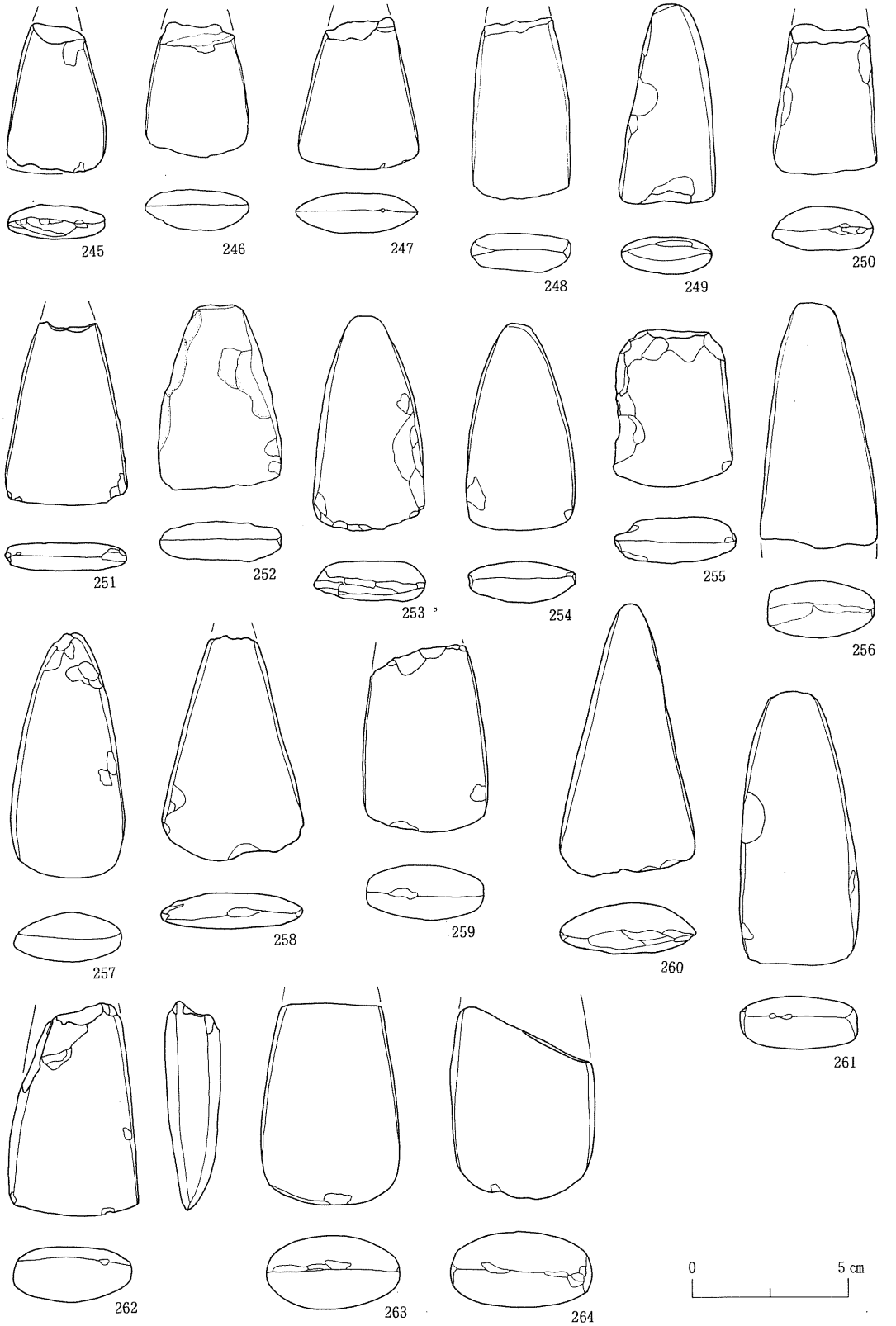
第184図　遺構外出土石器



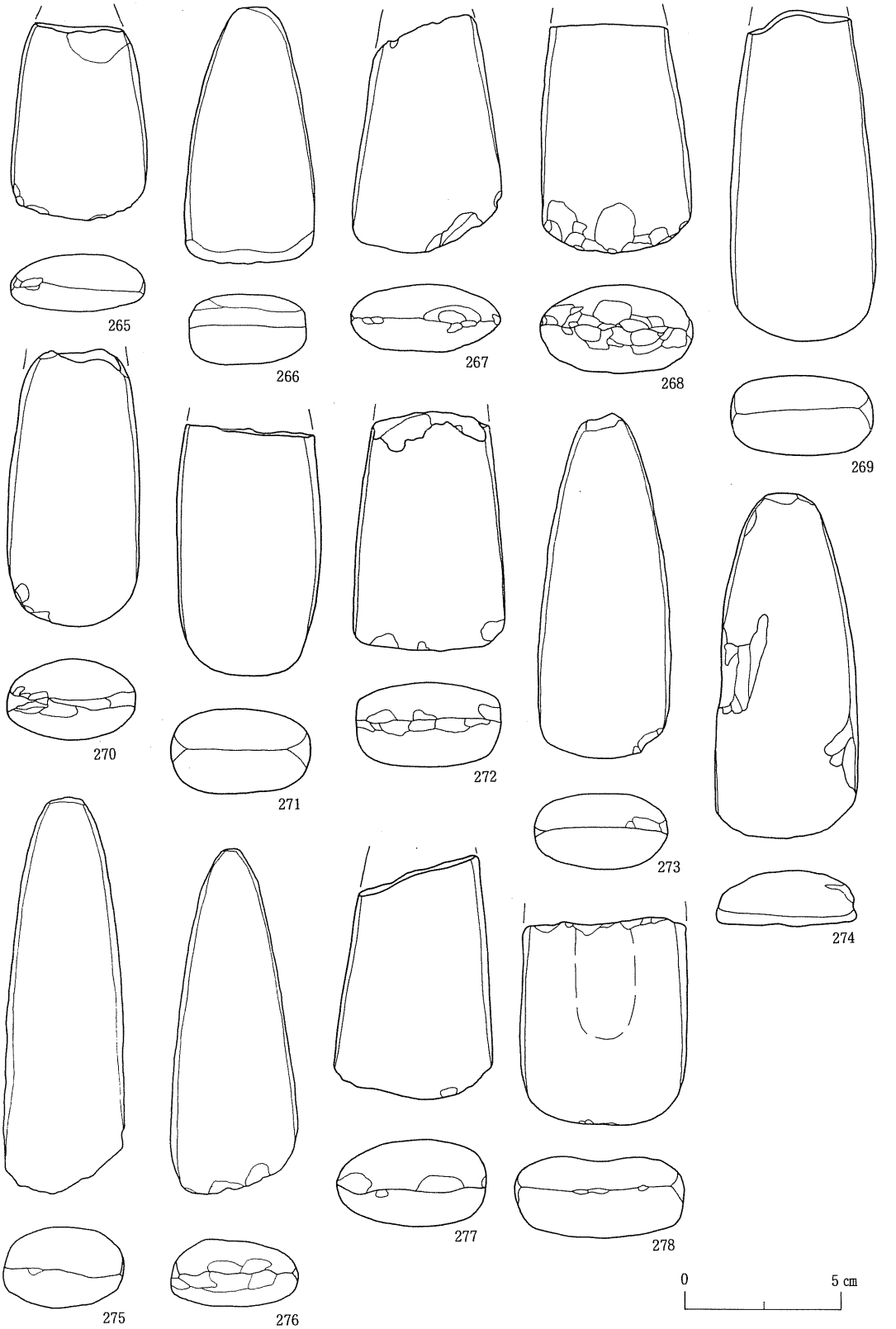
第185図　遺構外出土石器



第186図　遺構外出土石器

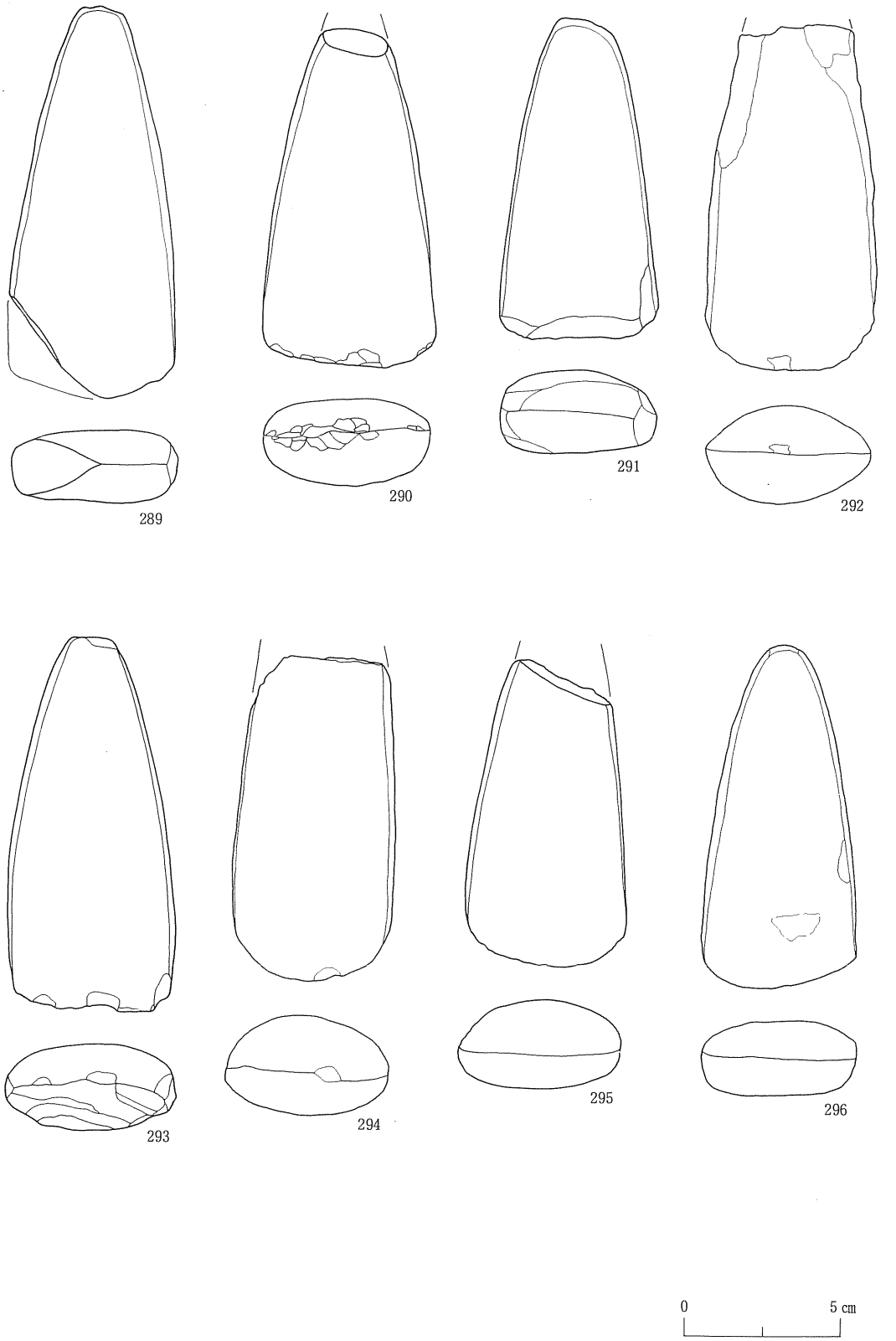


第187図　遺構外出土石器

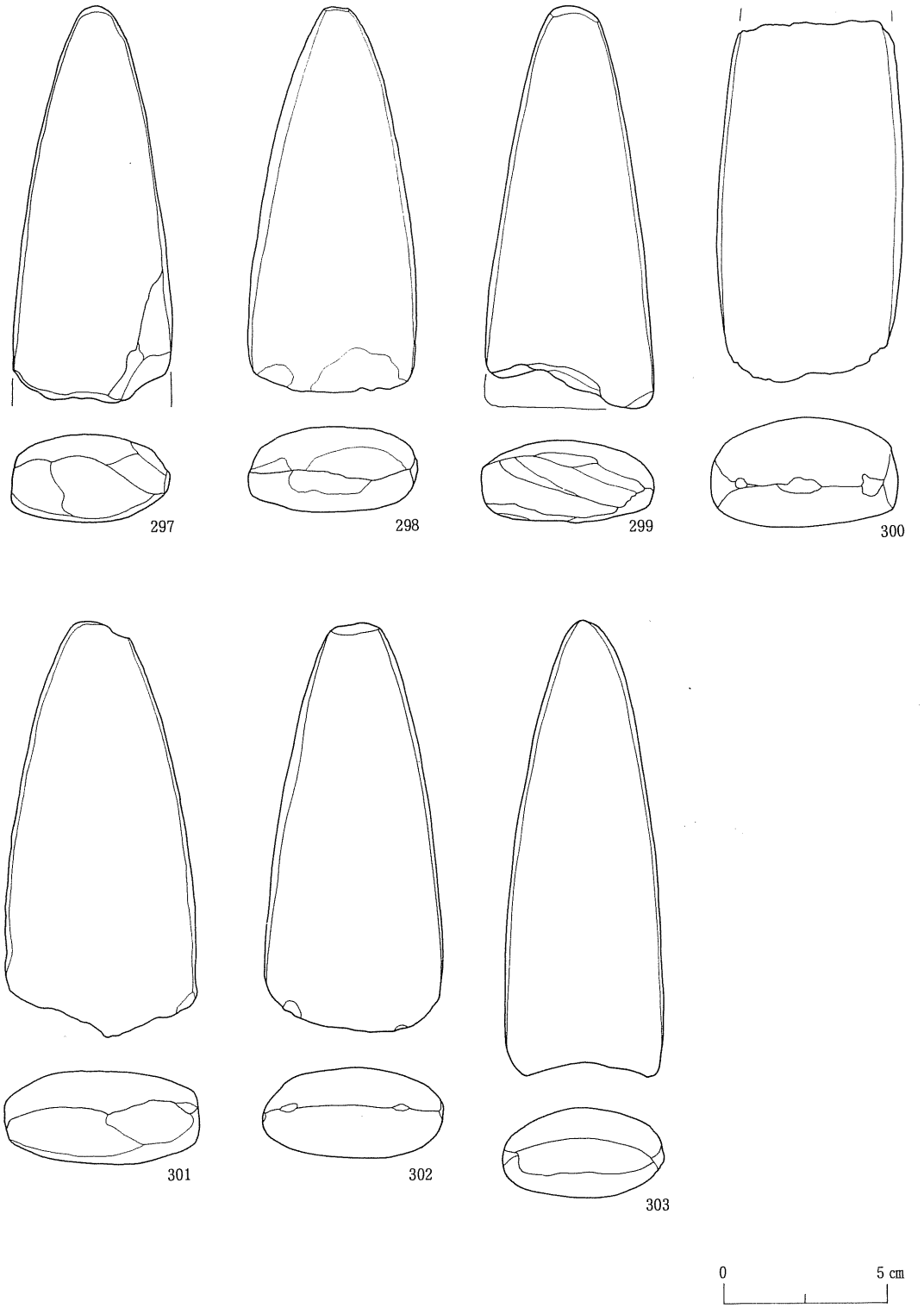


第188図　遺構外出土石器

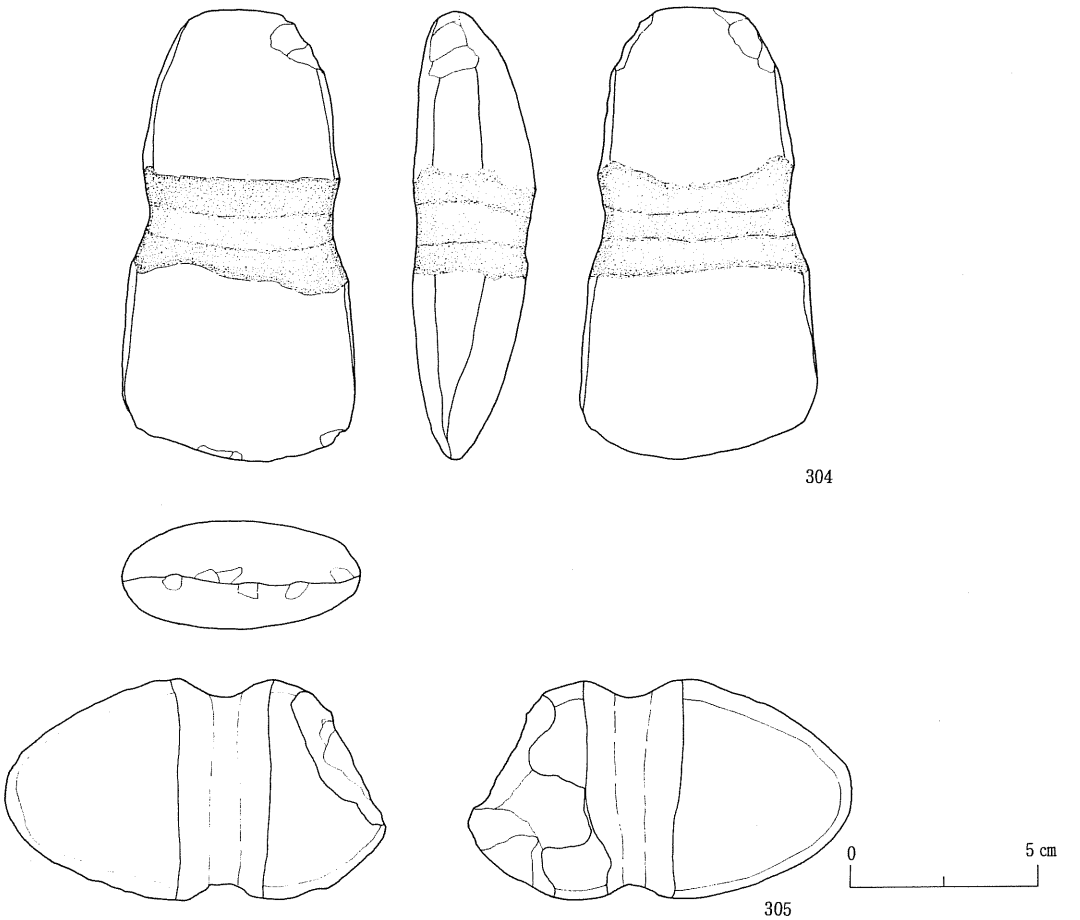
第189図　遺構外出土石器



第190図　遺構外出土石器



第191図　遺構外出土石器



第192図　遺構外出土石器

掻器・掻器状石器および削器・削器状石器は63点出土している。

鋸歯縁石器（第185図）

半月状をなすもので、両面加工である。上半にアスファルトが付着しているものもある。９点出土している。

磨製石斧（第186～191図）

長さ３cm前後から５cm前後の小形磨製石斧44点、長さ８cm前後から15cm前後のものが172点、総数21点出土している。大部分が両刃であり、片刃のものはわずかしかない。

打製石斧（第193図）

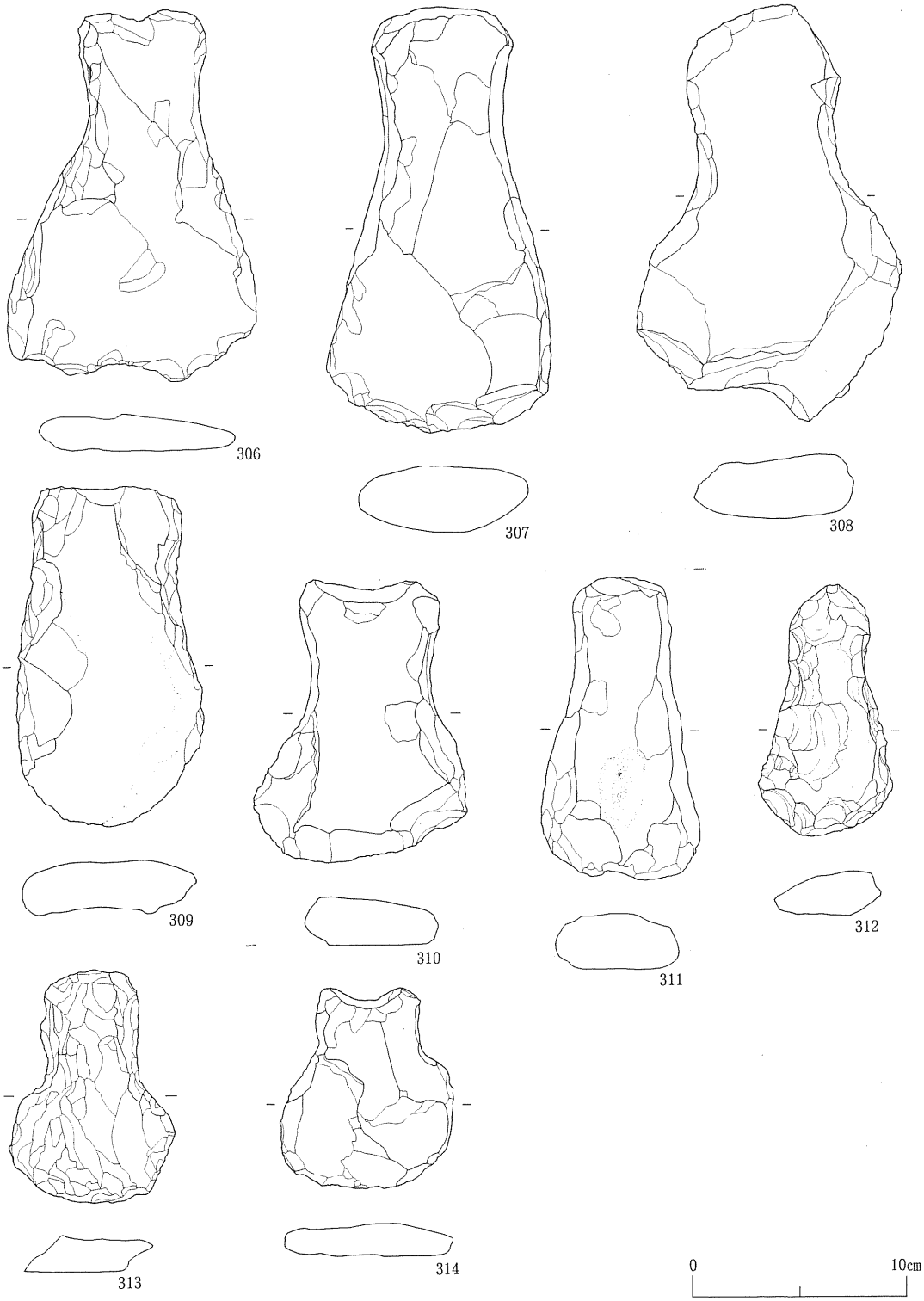
打製石斧は16点出土している。撥形および短冊形を呈している。

独鈷石（192図）

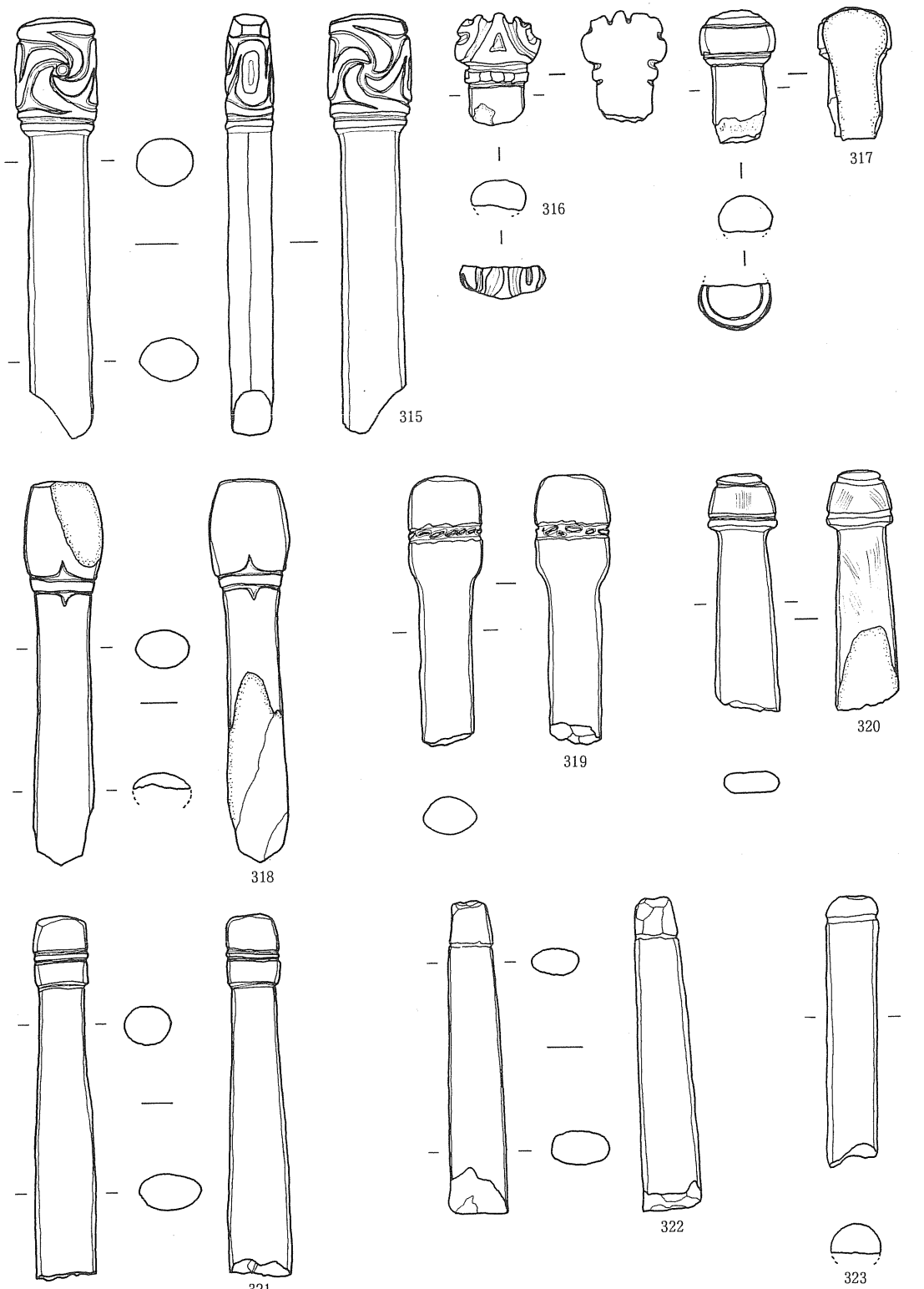
１点出土している。破損品である。重量480g

石剣（第194～197図）

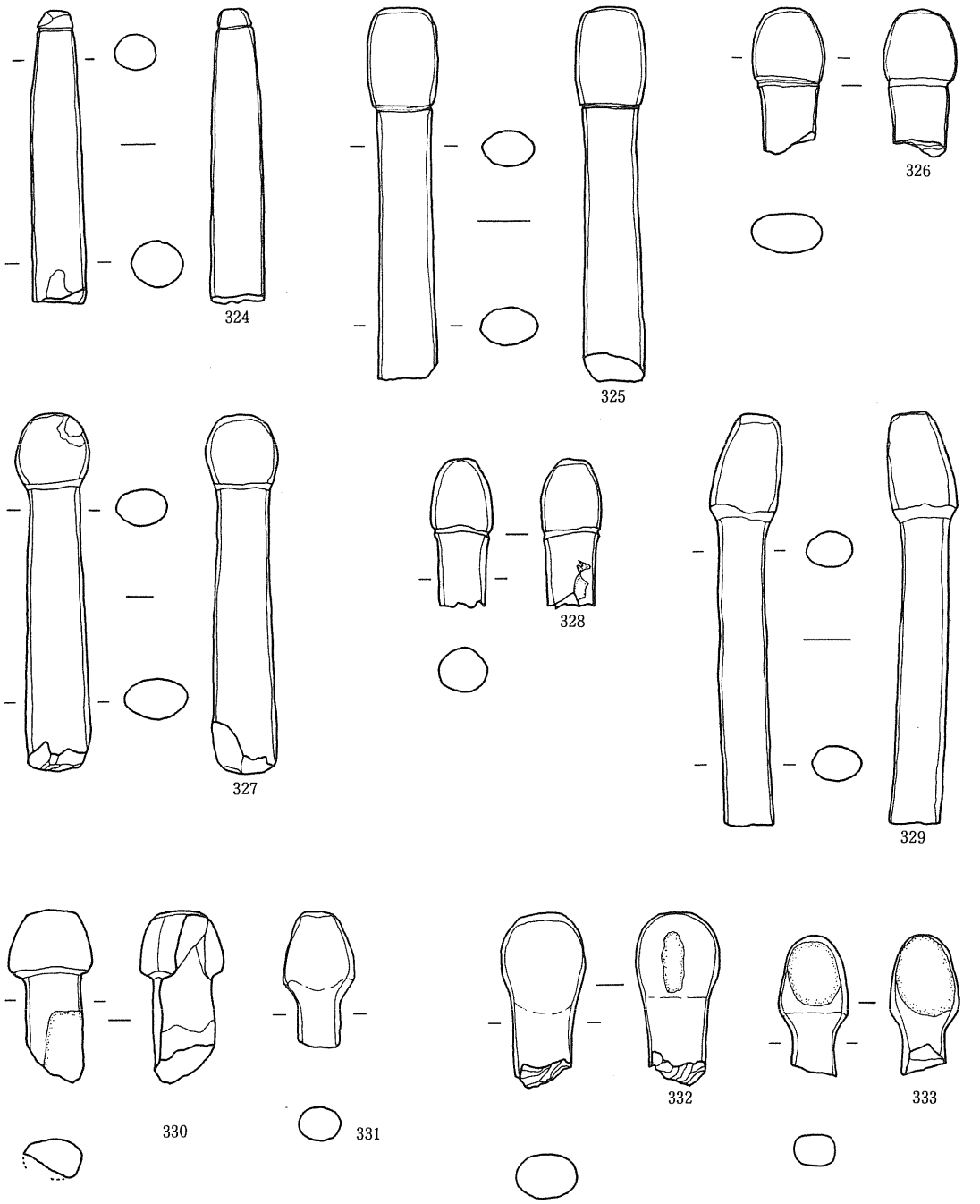
石剣は189点出土しているが、完形品はない。把部を有するものの中には、刻線（沈線）によっ



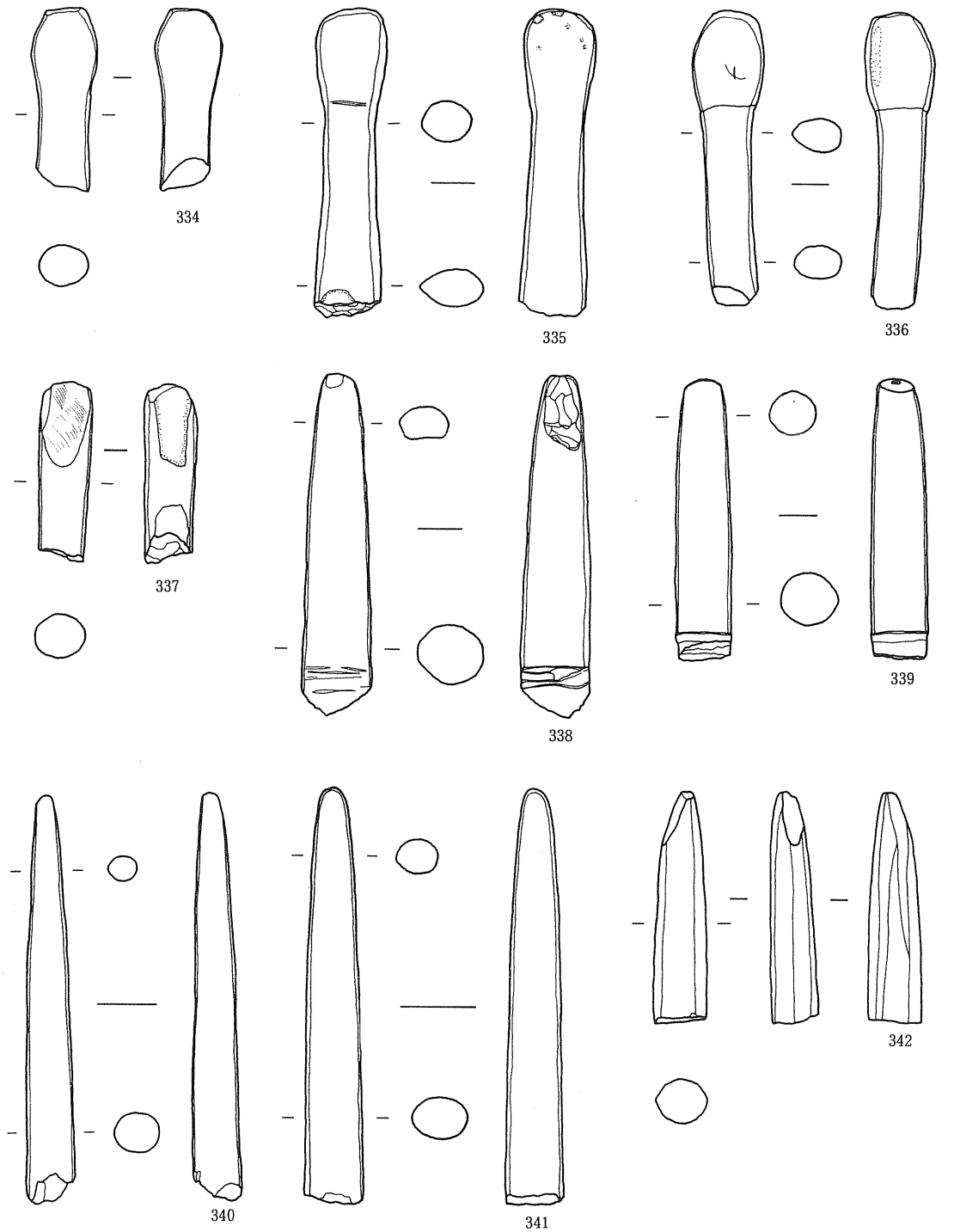
第193図　遺構外出土石器



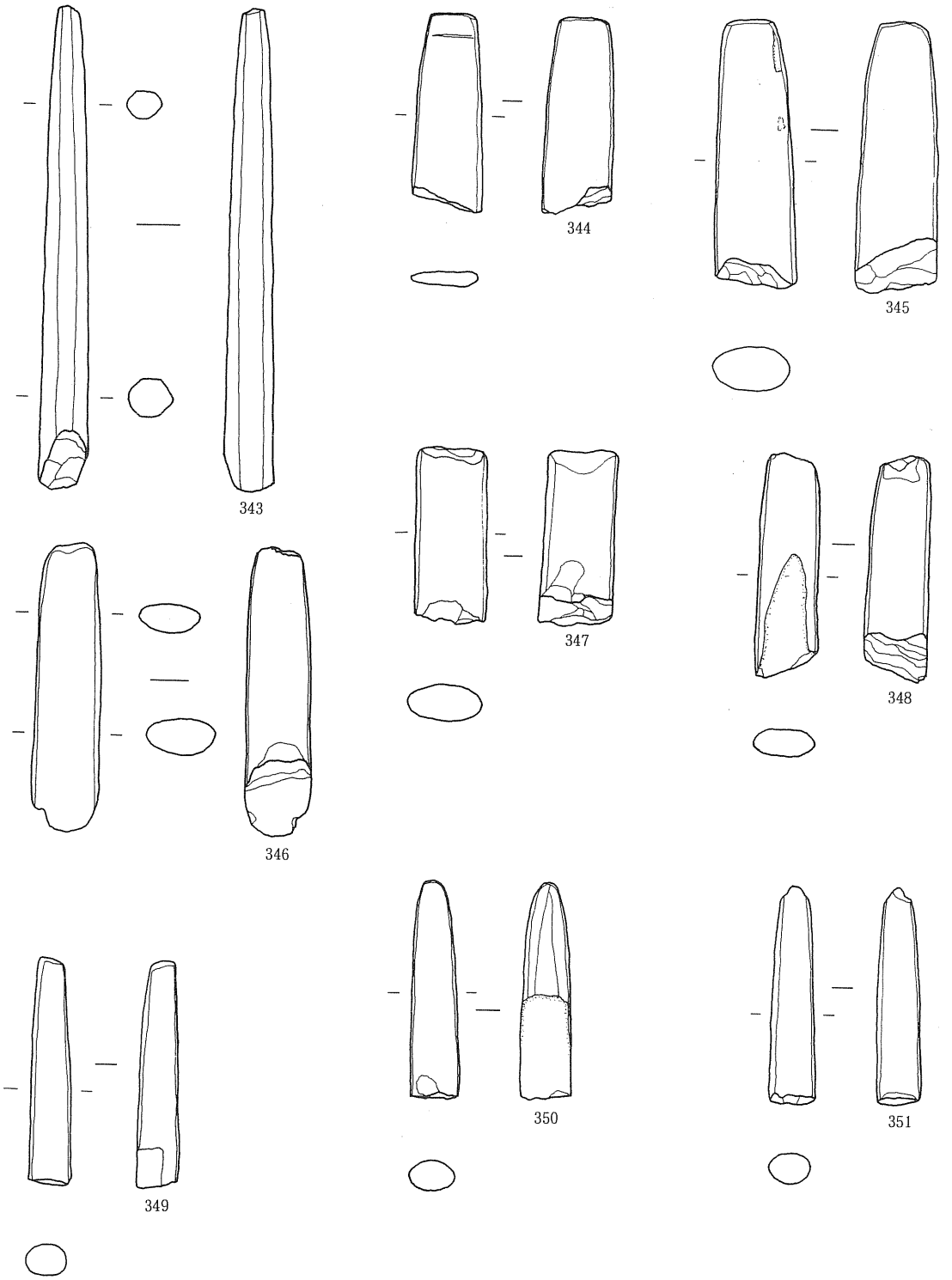
第194図　遺構外出土石器



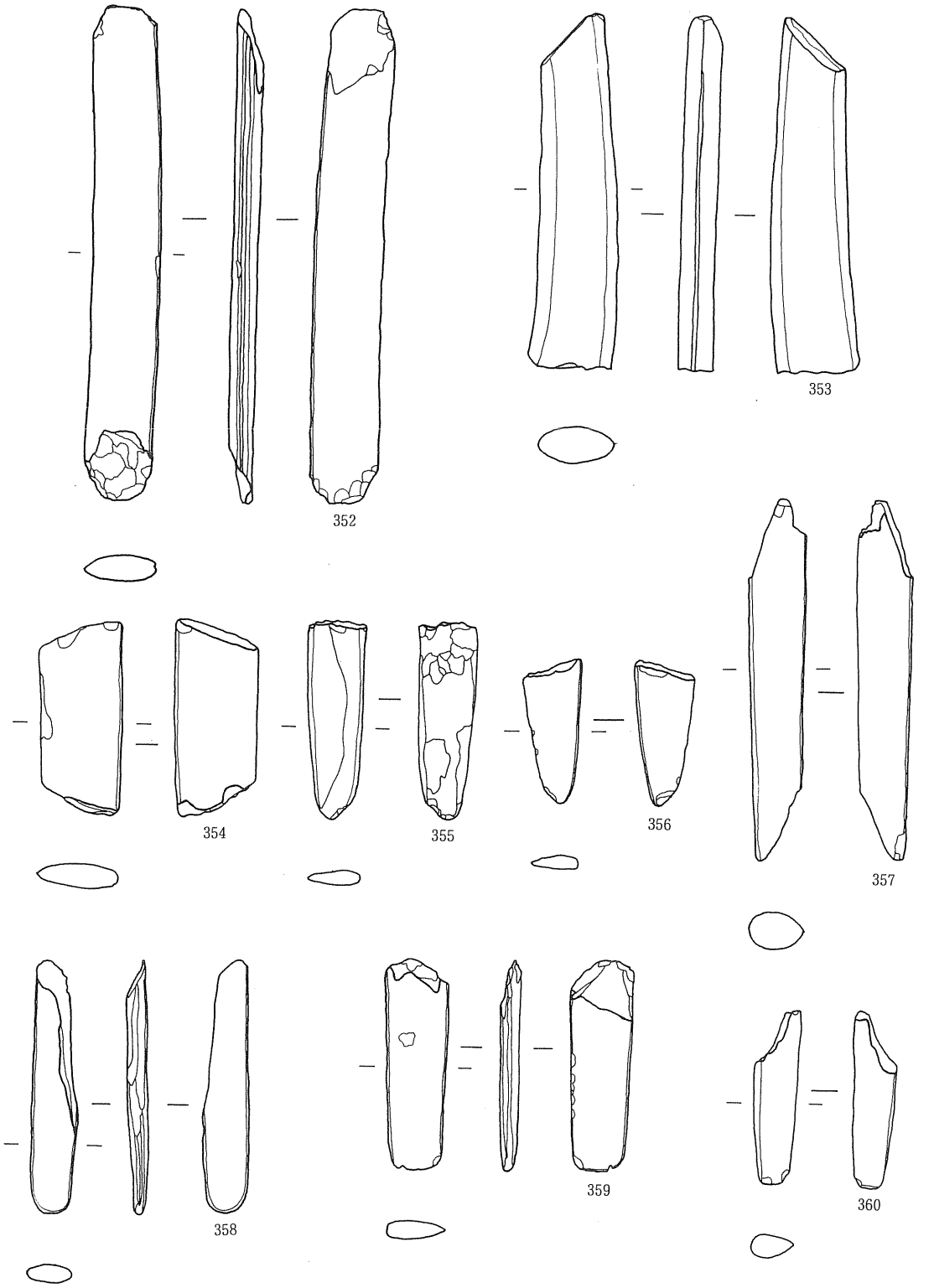
第195図　遺構外出土石器



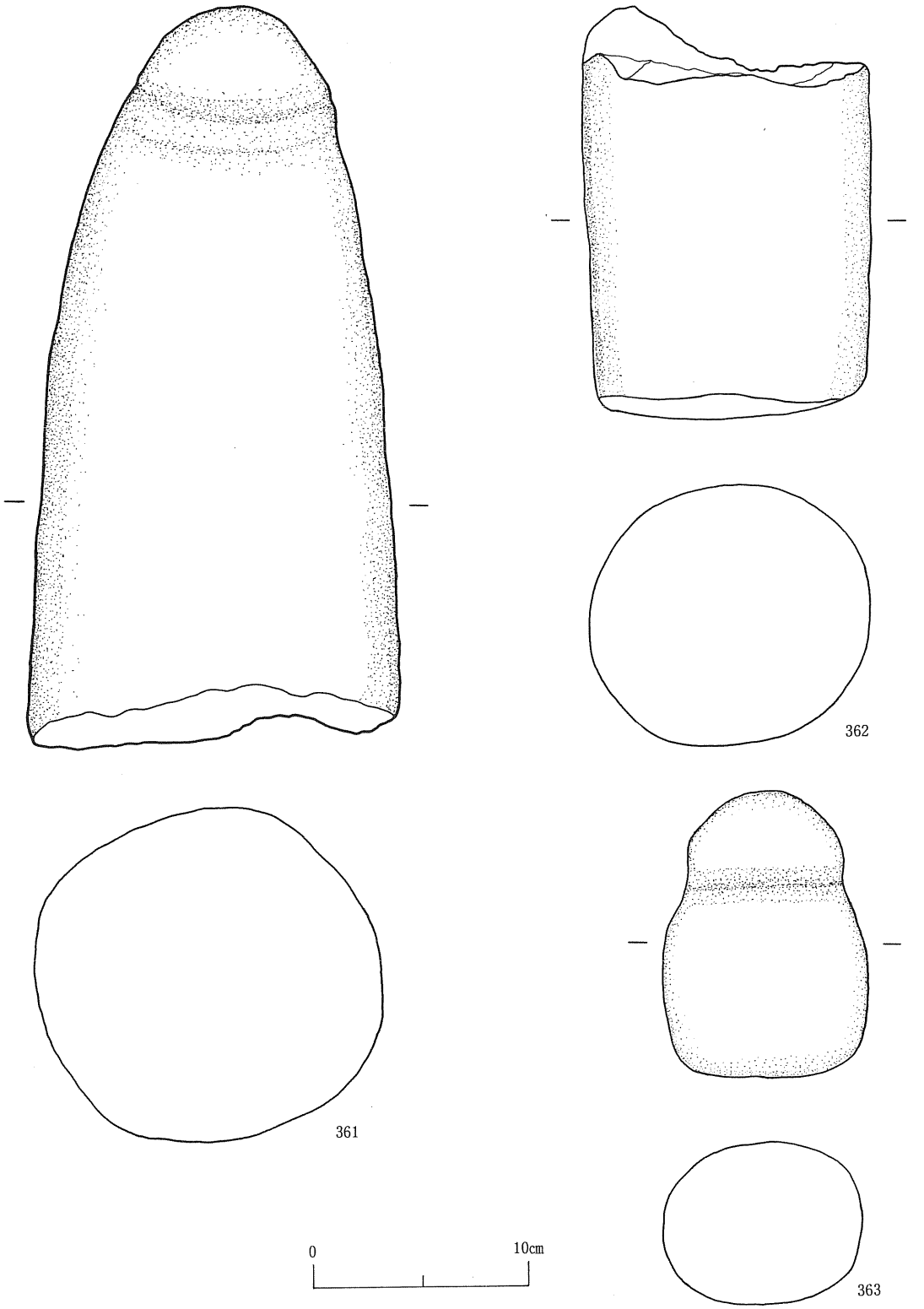
第196図　遺構外出土石器



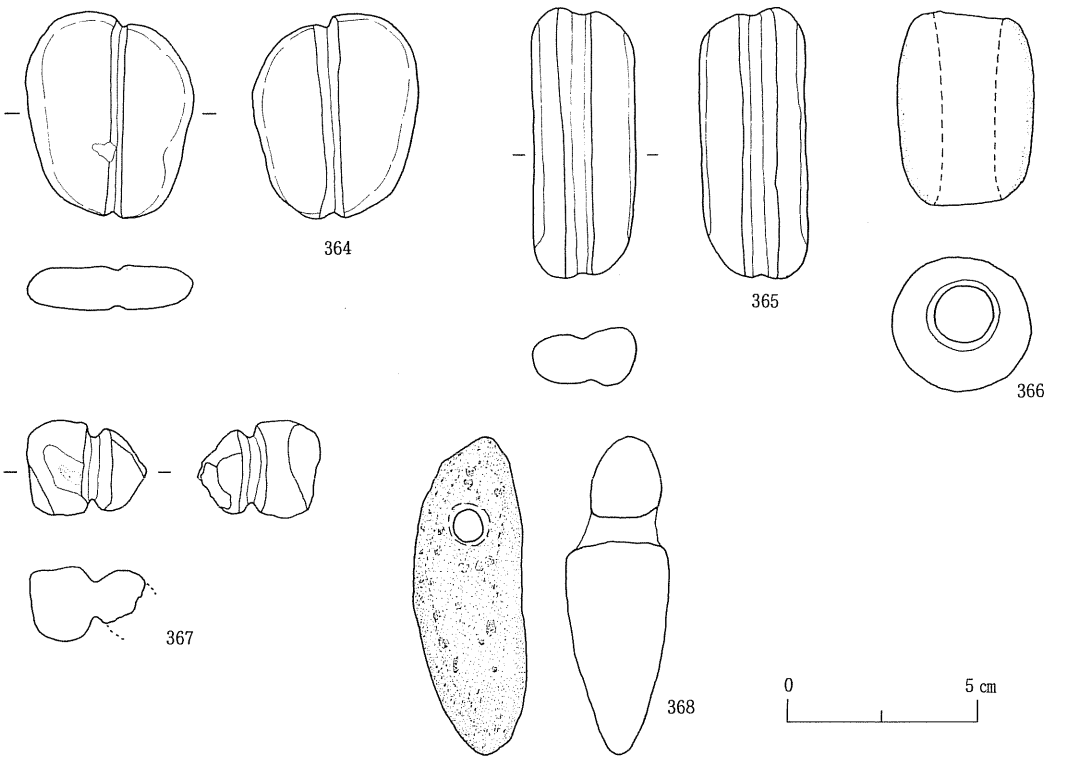
第197図　遺構外出土石器



第198図　遺構外出土石器



第199図　遺構外出土石器



第200図　　遺構外出土石器

て文様を作り出しているものがある。

石刀（第198図）

1側縁が刃部をなし、断面が撿形を呈する。いずれも破損品で21点出土している。

石棒（第199図）

全長35cm以上、重量12kgをこえる大形のものを含め3点出土しているが、いずれも破損品である

石錘（第200図）

有溝石錘・管状石錘、合わせて4点出土している。

浮子状石器（第200図）

軽石を加工して、一方に孔を穿っている。重量12g

くぼみ石（第201～203図）

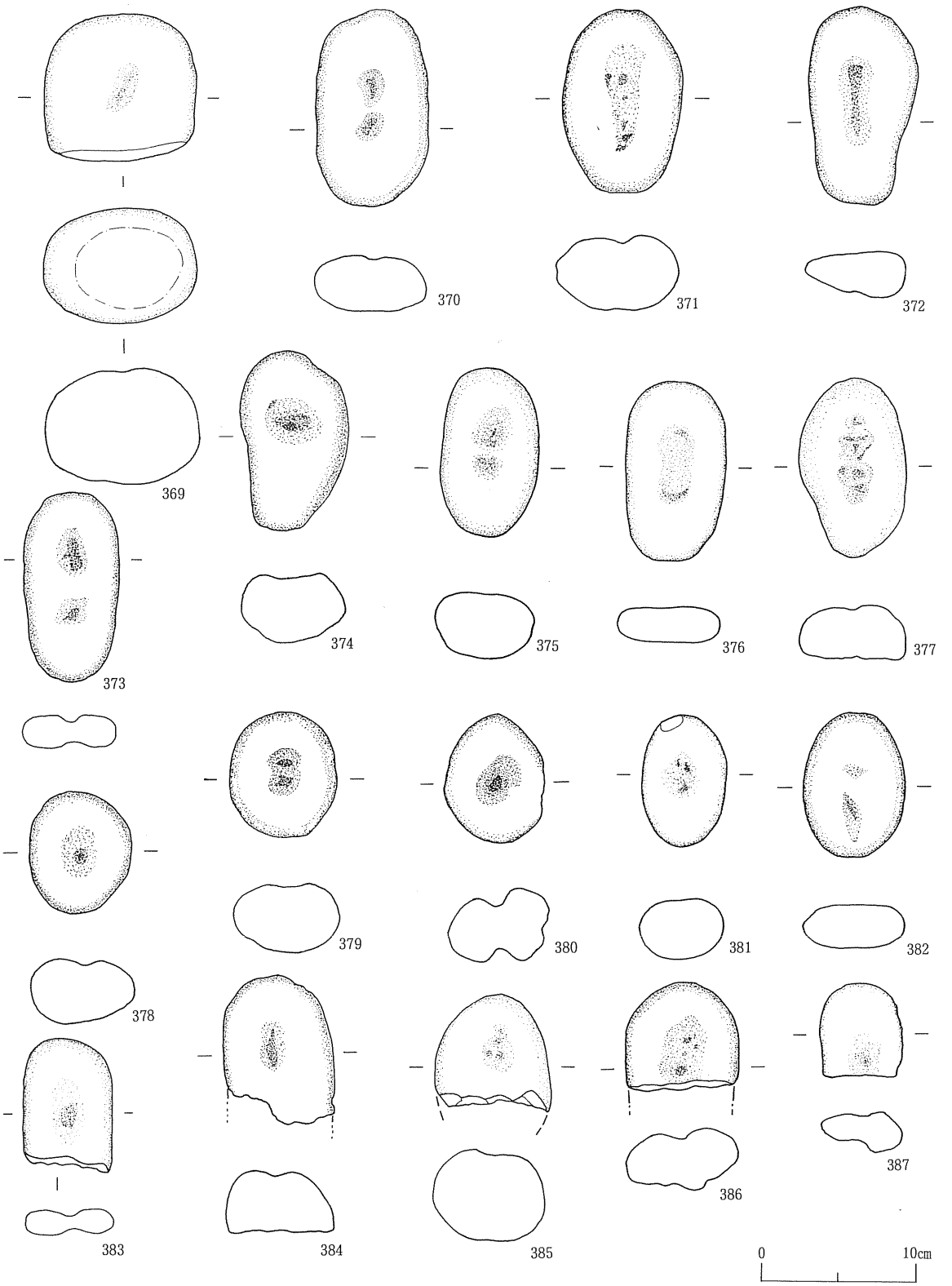
完形品、破損品あわせて49点出土している。くぼみ部が数ヶ所、片面のものがある。

磨石（第204・205図）

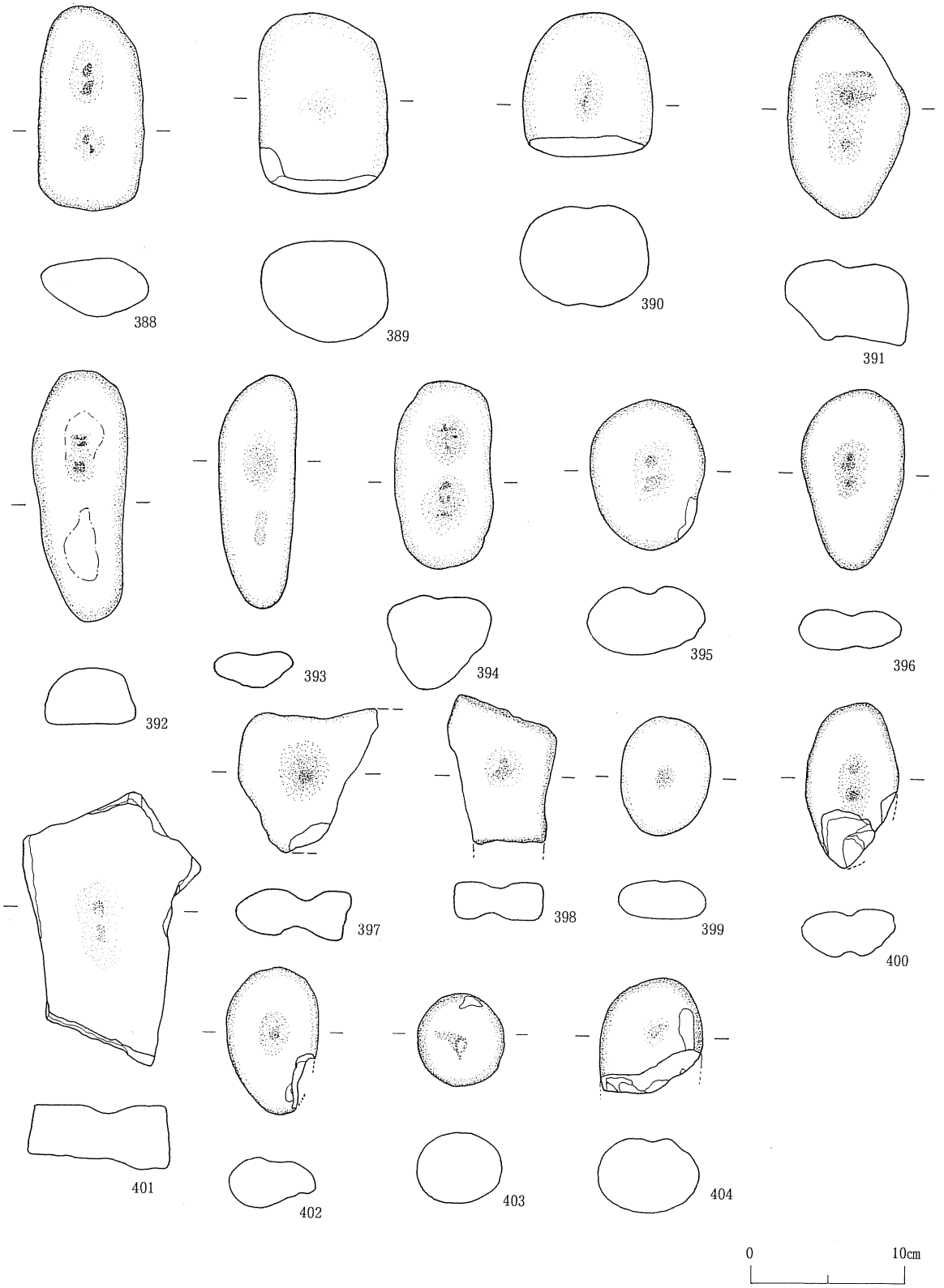
23点出土していゆ。磨面および側面の一部分にベンガラの付着しているものもみられる。

石皿（第207・208図）

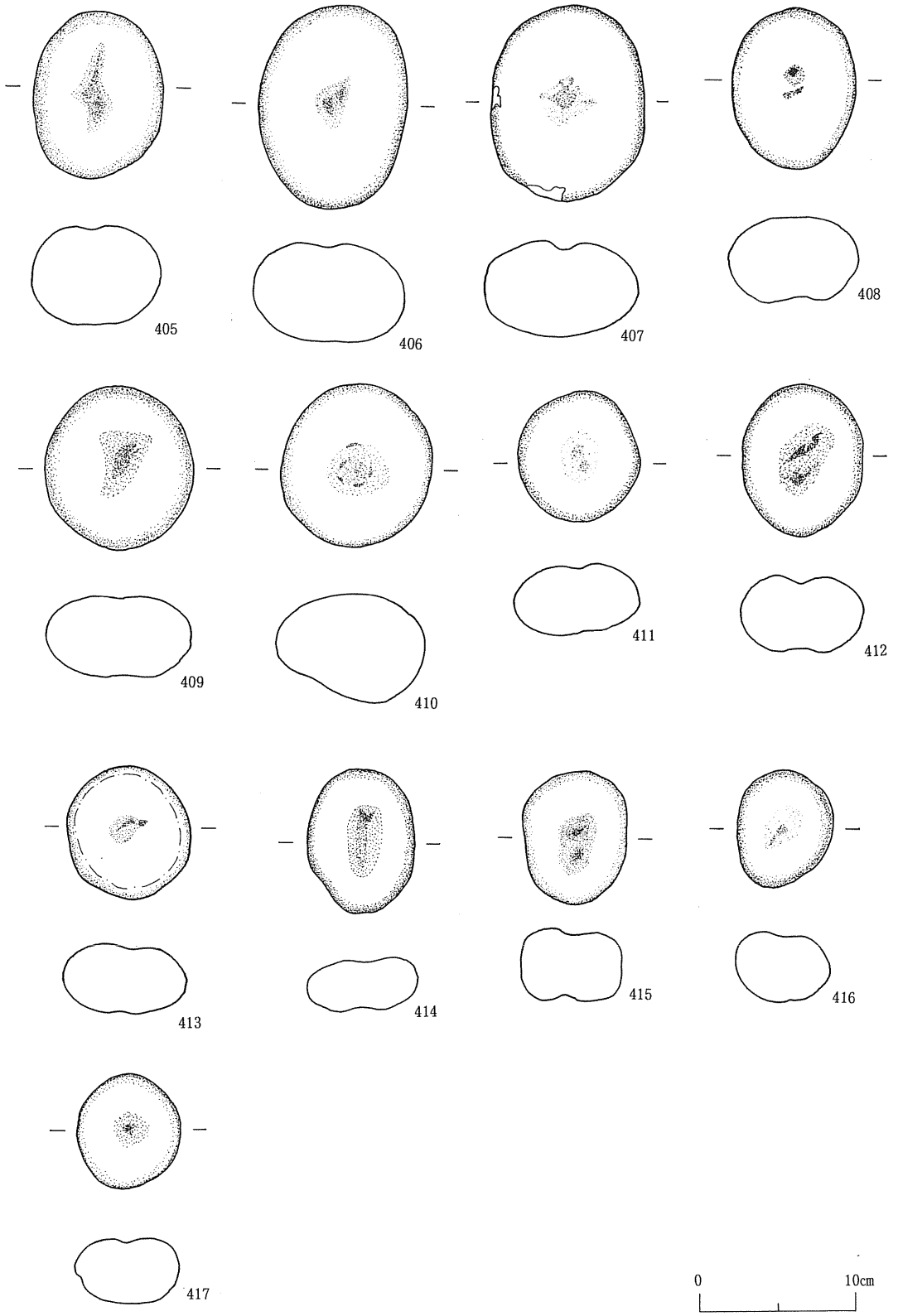
すべて破損品で、13点出土している。中央部がくぼみ、良く磨れている。中央部に二次的使用に



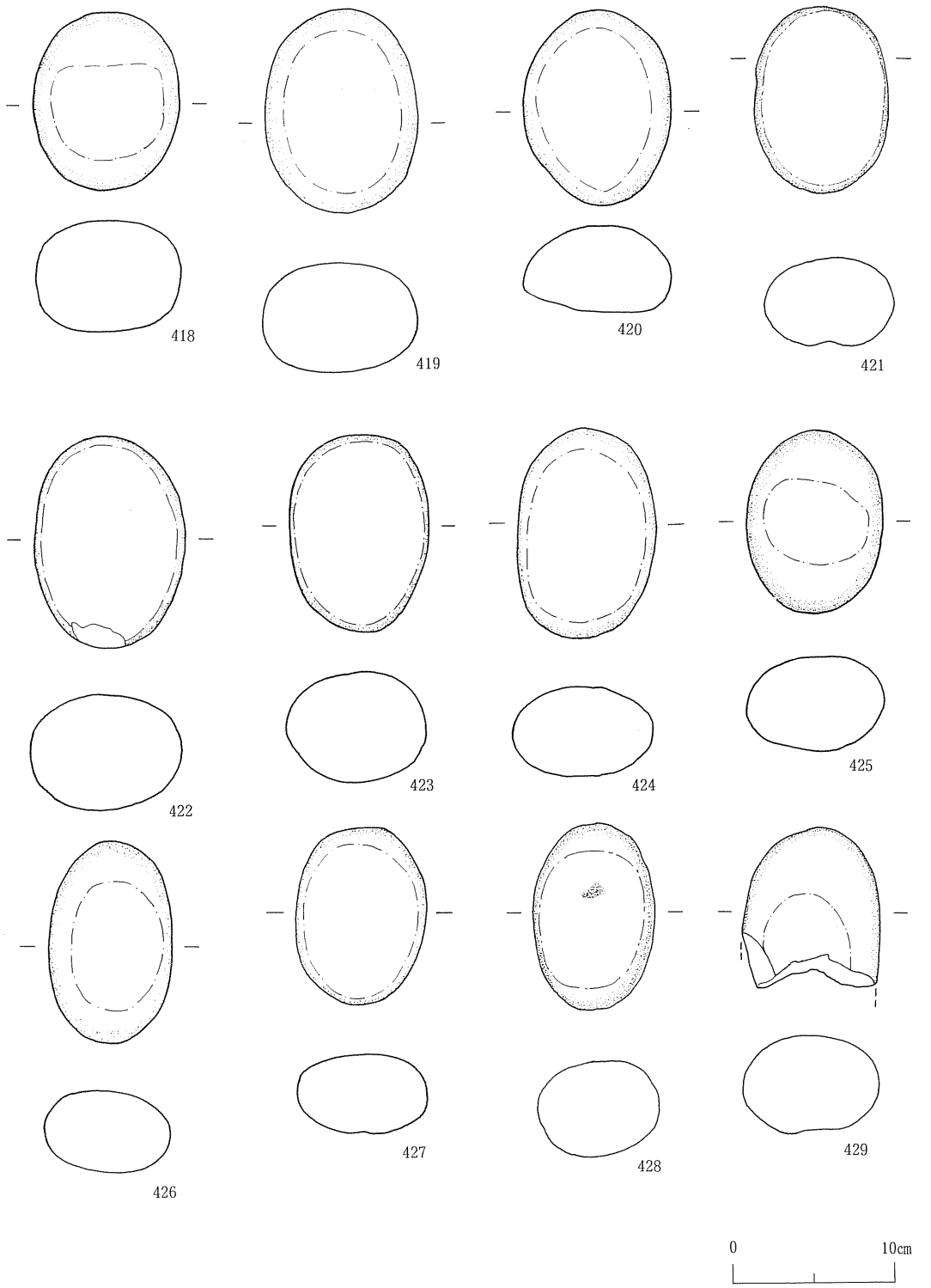
第201図　遺構外出土石器



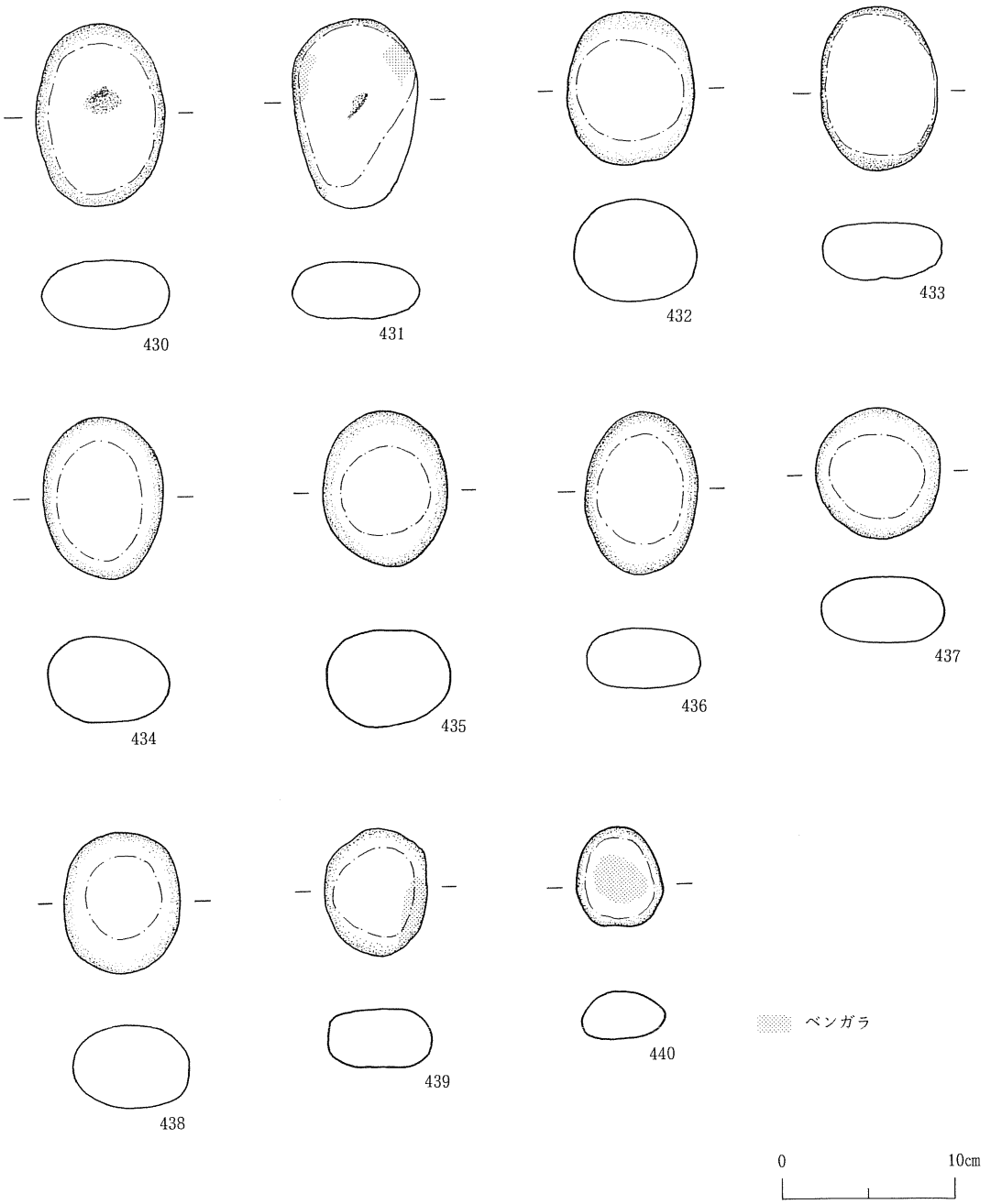
第202図　遺構外出土石器



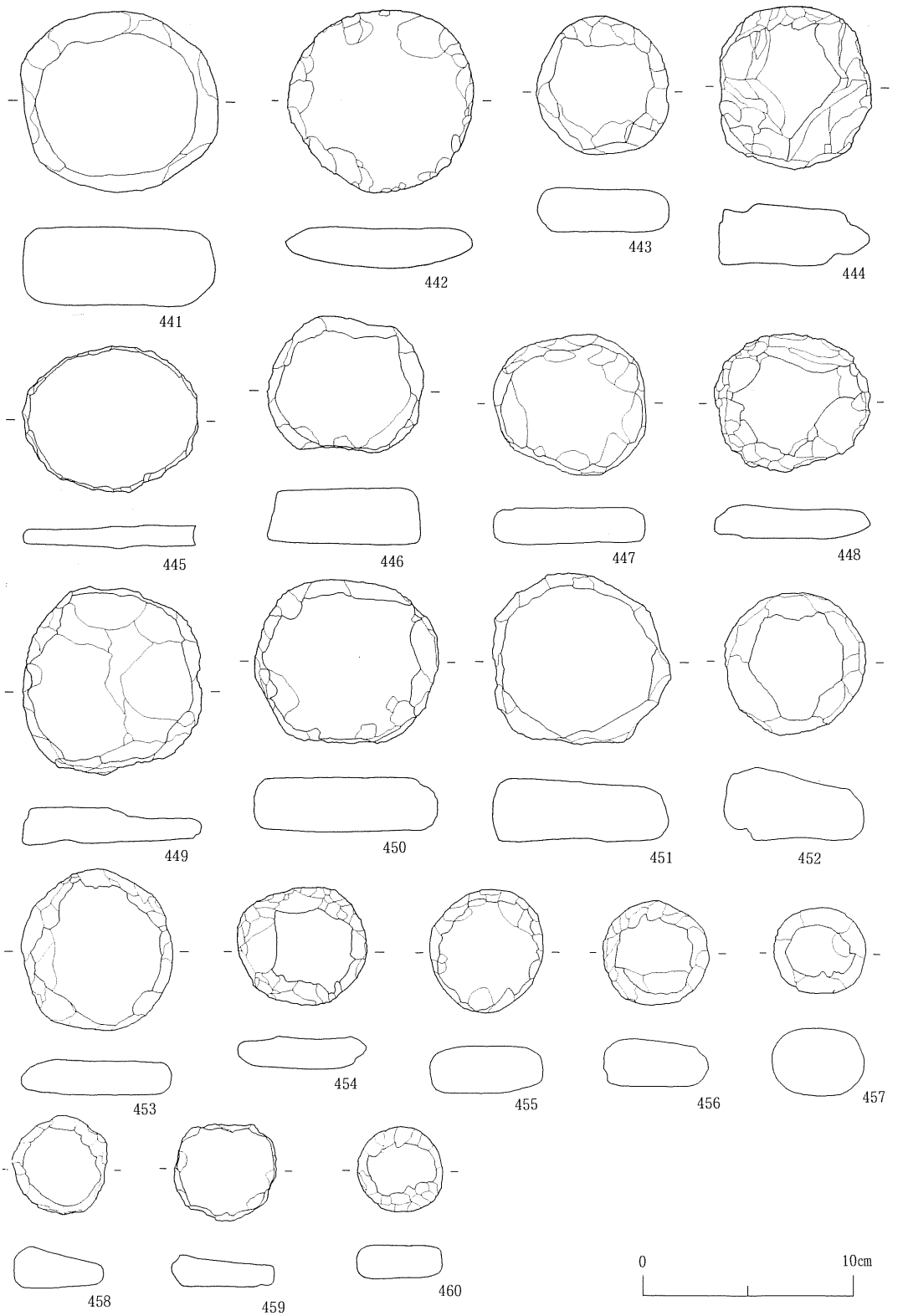
第203図　遺構外出土石器



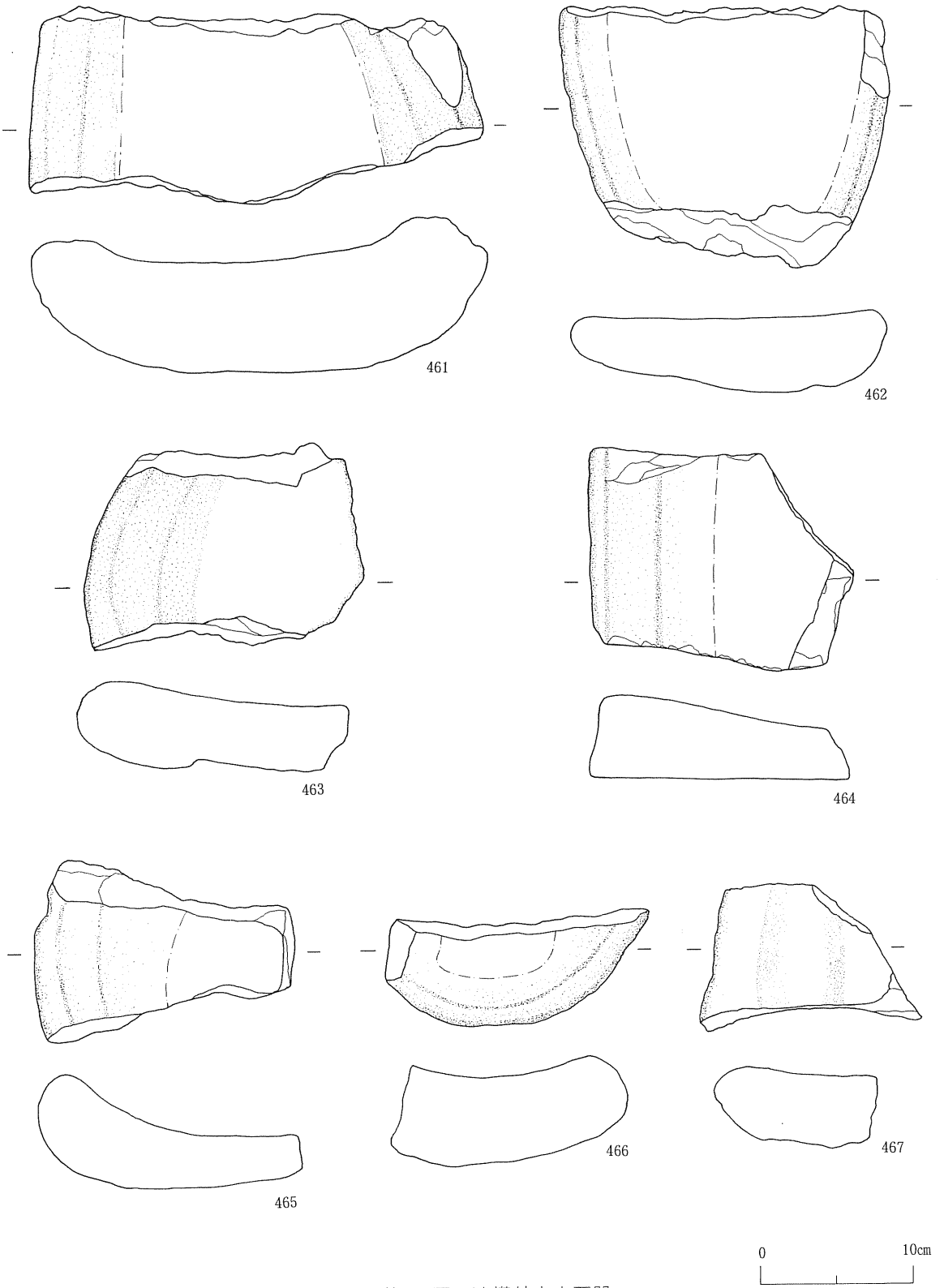
第204図　遺構外出土石器



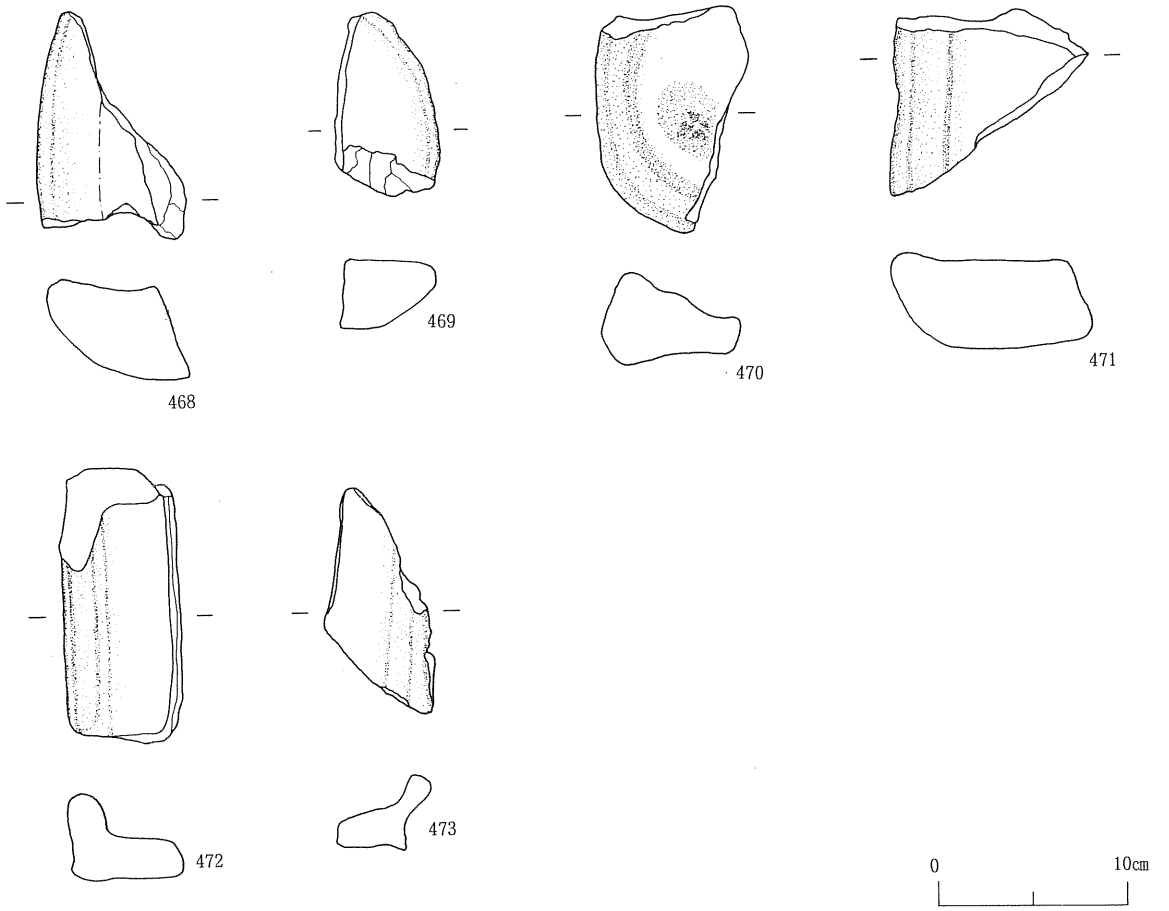
第205図　遺構外出土石器



第206図　遺構外出土石器



第207図　遺構外出土石器



第208図　遺構外出土石器

よって煤状炭化物が付着しているものもある。

円盤状石製品（第206図）

偏平な石を両面から荒く打ち欠いて円形に加工したもので、20点出土している。直径は4～8cmである。

まとめ

—縄文時代中期—

住居跡について

本遺跡では西から入り込んだ沢の南側台地の東端部に15軒の竪穴住居跡を検出したが、その大半は晩期の土坑墓によって壁、床面等がこわされている。住居跡は楕円形プランを呈するもの（1号・4号・5号・6号・7号・8号・9号・15号住居跡）が主体で、円形を呈するもの（2号・3号・13号住居跡）もある。10号・11号・12号・14号住居跡については晩期の土壙墓、削平によってこわされており不明である。15号住居跡を除いて住居内に炉が検出された。炉は石囲い炉（5号住居跡）と複式炉の形態の炉がある。複式炉は次の4タイプに分類される。

①石囲土器埋設部＋石組掘り込み部＋掘り込み部（1号・2号住居跡）

②石囲土器埋設部＋掘り込み部（8号・13号住居跡）

③石囲土器埋設部＋石組部（14号住居跡Ⅱ期炉）

④土器埋設部＋掘り込み部（3号・4号・6号・7号・9号・10号・11号・12号・13号）

1号・2・3号・4号・14号住居跡ではそれぞれ炉の作り替えが認められる。1号・2号住居跡では新旧二時期認められた。1号住居跡ではⅡ期めの炉をⅠ期の炉よりも拡張（埋設土器の位置を外側へ、掘り込み部を南側へ替えている）している。2号住居跡でもⅡ期めの炉をⅠ期の炉よりも拡張（埋設土器の位置を東側へ、掘り込み部も東側へ替えている）している。1号・2号住居跡ともⅡ期炉の拡張に伴い住居を一回り大きく拡張したものと考えられる。3号住居跡では新旧三時期の作り替えが認められた。いずれも炉の形態は同様のもので、Ⅰ期—中央やや北寄り、Ⅱ期—南側、Ⅲ期—埋設土器を北西に移行、と位置を変えている、4号住居跡では新旧二時期認められた。Ⅰ・Ⅱ期とも炉の形態は同じで、中央東側に位置していた旧炉の廃棄後、貼り床が施され新炉を南側に構築している。14号住居跡では新旧関係については不明であるが、形態を異にする二時期の炉が認められた。Ⅰ期—北東部に位置し、埋設土器と焼土が認められた。Ⅱ期—中央部に位置し、石囲い土器埋設部と石組部が認められた。本遺跡での住居跡の炉の作り替えは、少数例ではあるがこれまで台地上計画地域内の調査で確認されている炉の変遷、すなわち複式炉→石囲い炉、複式炉→石囲土器埋設炉、複式炉→土器埋設炉、土器埋設炉→石囲い炉（註1）という関係は把握できなかった。

炉埋設土器は1号・2号・3号・6号・7号・8号・10号・13号・14号住居跡で認められ、4号・5号・9号・11号・12号・15号住居跡では、晩期の土壙墓によってこわされたり、抜き取り等があり不明である。炉埋設土器および床面出土の土器を竪穴住居跡の時期決定の決め手とするならば、1号・2号・3号・6号・7号・8号・10号・13号・14号住居跡は大木10式期に位置づけられる。

出土土器について

本遺跡から出土した縄文時代中期の土器は数量にして整理用コンテナ5箱ほどである。ここでは

Ⅰ群土器、Ⅱ群土器について考えてみたい。

Ⅰ群土器は沈線区画の磨消し帯、あるいは隆線と磨消し帯による曲線的な文様をなす土器で「J」、逆「C」字状などが展開される。大木10式期に位置づけられる。

Ⅱ群土器1類は撚糸文による網目文様が展開することから十腰内Ⅰ式期に比定できるものである。(註2) 2類は櫛状工具による平行沈線で流水文を展開している土器で、地方遺跡の南西方向約1.7kmに位置する坂ノ上遺跡A地区(註3)でも同様の土器が出土している。関東地方における堀之内Ⅰ式期併行の土器(註4)と考えられる。

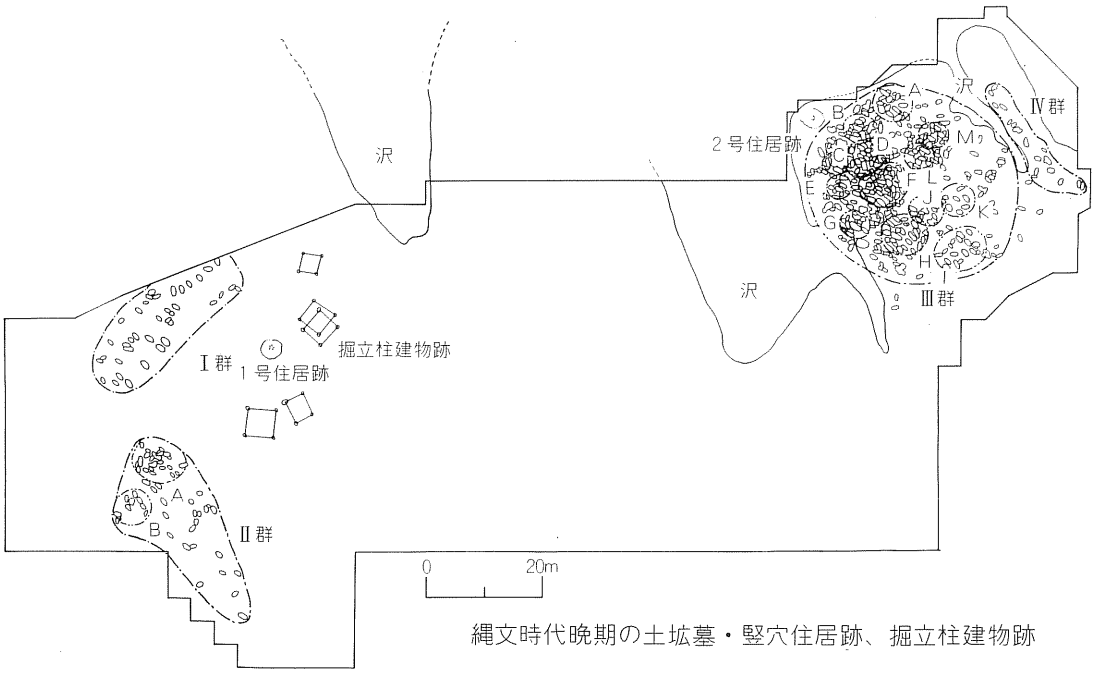
—晩期—

遺構について

地方遺跡の晩期の遺構は竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土坑墓、土坑がある。中でも土坑墓は総数559基と圧倒的に多い。ここでは主に土坑墓について概観し、さらに坑墓との関連から竪穴住居跡掘立柱建物跡についても若干触れてみたい。

本遺跡で発見された土坑墓は大きく東地区と西地区に分れる。分布する地区をみると遺跡の北側から南側に入ってくる3本の沢が立地に影響を与えていると思われる。土坑墓はⅠ群からⅣ群まで分けることが可能である。Ⅰ・Ⅱ群は遺跡の西側に位置し、北側から入る大きな沢の西側平坦地に造られている。Ⅰ群は北東、Ⅱ群は南東にのび楕円形を形成する。Ⅰ・Ⅱ群の間には空間地域がみられる。Ⅲ・Ⅳ群は東側に位置する。もともとは北側から南側に深く沢が入っており、沢の東側緩斜面から平坦地にかけてⅢ群、さらに東側にⅣ群が造られている。Ⅲ群は最も密集して土坑墓が発見され、その分布状態をみると円形を呈する。さらに細かくみるとところどころに空間領域がみられ、複雑に重複しているが20～50基位の単位でまとまりがいくつかあるように思われ便宜状A～Mまでの小群に分類してみた。

土坑墓の形態についてみるとⅠ～Ⅵ群とも共通している。プランは楕円形515基、隅丸長方形14基、不明26基で、楕円形を呈するものが圧倒的に多い。規模は長軸が50～194cm、短軸30～110cm、確認面からの深さ5～63cmの中に入り、平均値を求めると長軸119.5cm、短軸67.8cm、深さ27.3cmである。長軸方向はN20°W～N20°E—27基(北)、N20°W～N60°W—203基(北西)、N20°E～N60°E—86基(北東)、N60°W～N110°W—176基(西)、N60°E～N110°E—47基（東）であり、北西、西に長軸方向をもつものが非常に多いことがわかる。土坑墓内にベンガラが認められるものがある。Ⅰ・Ⅱ群99基中19基、Ⅲ群440基中95基にみられ、位置は土坑墓内の中央～西・北西部にあるものが多い。玉類、耳飾り、腕輪などの副葬品が出土する土坑墓はⅠ群—3基、Ⅱ群—4基、Ⅲ群—51基程認められる。また、ベンガラと副葬品が共にみられるものはⅠ群—2基、Ⅱ群—2基、Ⅲ群—13基ある。埋葬頭位については、ベンガラが頭部、胸部などにふりまかれたものであれば、西、北西、北頭位が多いことが考えられる。ただ人骨の出土がなく明確には不明である。(註5)



縄文時代晩期の土坑墓・竪穴住居跡、掘立柱建物跡

Ⅰ・Ⅲ群に竪穴住居跡が1軒ずつ土坑墓に隣接して検出されている。他に晩期の住居跡は発見されておらず、集落とは考えがたい。2号住居跡は床面が赤黒く3層にわたって焼面を形成している。これらは土坑墓と密接な関係にある施設と思われる。またⅠ群に隣接して5棟の1間×1間の掘立柱建物跡がありこれも土坑墓との関連で考えられるかも知れない。

土器について

地方遺跡晩期の出土遺物には土器、石器、土製品、石製品などがある。土器は土坑墓Ⅲ群の西側にある沢頭から集中して出土しており、沢は土器の捨場的な場所としての使用が考えられる。出土量は整理用コンテナで約600箱を数える。大洞B、B－C、C_1、C_2、A式の各型式が出土しているが、表1のように資料として抽出した土器についてみると大洞B、C_2、A式の出土量が非常に少なく、大洞B－C、C_1式が圧倒的に多い。中でも大洞C_2式は約3700片を数え最も多い。次に出土土器の器種をみると深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器などがある。器種別の出現率を出土量の多い大洞B－C、C_1式土器についてみると大洞B－C式では、鉢40.7%、浅鉢41.5%、壺5.5%、注口土器9.4%でこの4器種で90%以上を占める。大洞C_1式では、鉢47.1%、浅鉢42.2%、壺2.5%、注口土器が4%で大洞B－C式同様4器種で90%以上を占める。中でも鉢、浅鉢の出現率が大洞B－C、C_1式では全体の40%以上であり、圧倒的にこの2器種が多いことがわかる。

大洞B－C、C_1土器の鉢、浅鉢の口縁部文様帯に変化が認められる。第Ⅱ群土器Ⅱ類a～c類のようにいわゆる羊歯状文からE、F類の羊歯状文が簡素化され退化し、平行線となりその上下に連続刻目文が施されるものへと変化がみられる。大洞C_1式土器では第Ⅲ群Ⅱ類土器a～c類、Ⅳ類土

器ａ、ｂ類の平行沈線文と連続刻目文が施されるものと、Ⅱ類ｄ～ｆ類、Ⅳ類ｃ～ｅ類のように口縁部が無文、あるいは１～２条の平行沈線文が施されるものがある。このような変化が認められることは大洞Ｂ－Ｃ、C_1式土器編年を進める上で良好な資料になるものと思われる。

以上遺構と出土土器について事実関係に基づいて簡単にまとめてみた。地方遺跡は大洞Ｂ－Ｃ、C_1式期を中心とした墓地跡である。晩期の葬制については不明な部分が多く、本遺跡が提供する資料をさらに細かく検討してみたい。

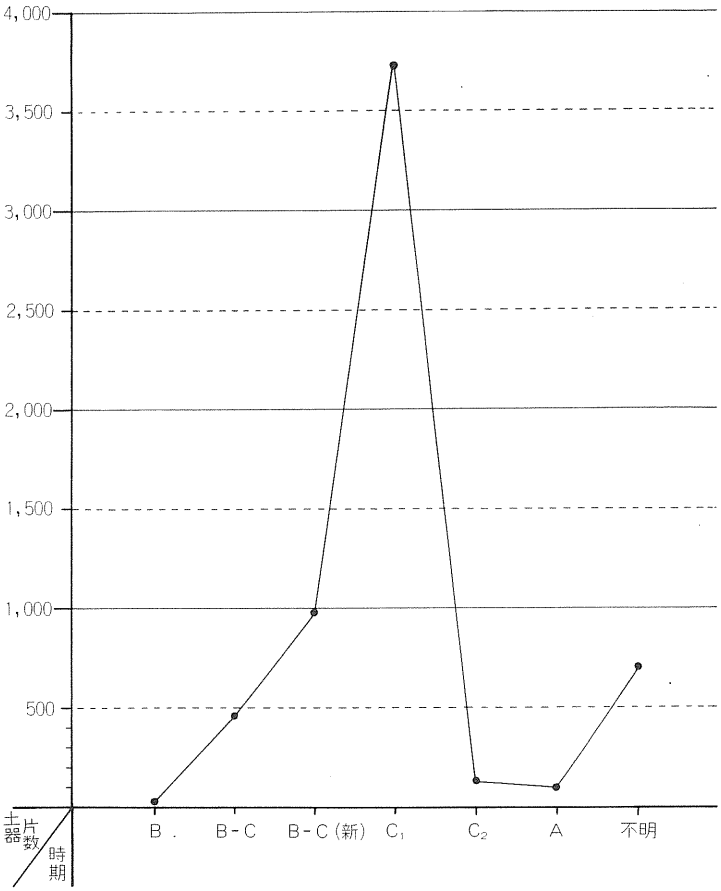


表１　地方遺跡における大洞式土器型式別出土表

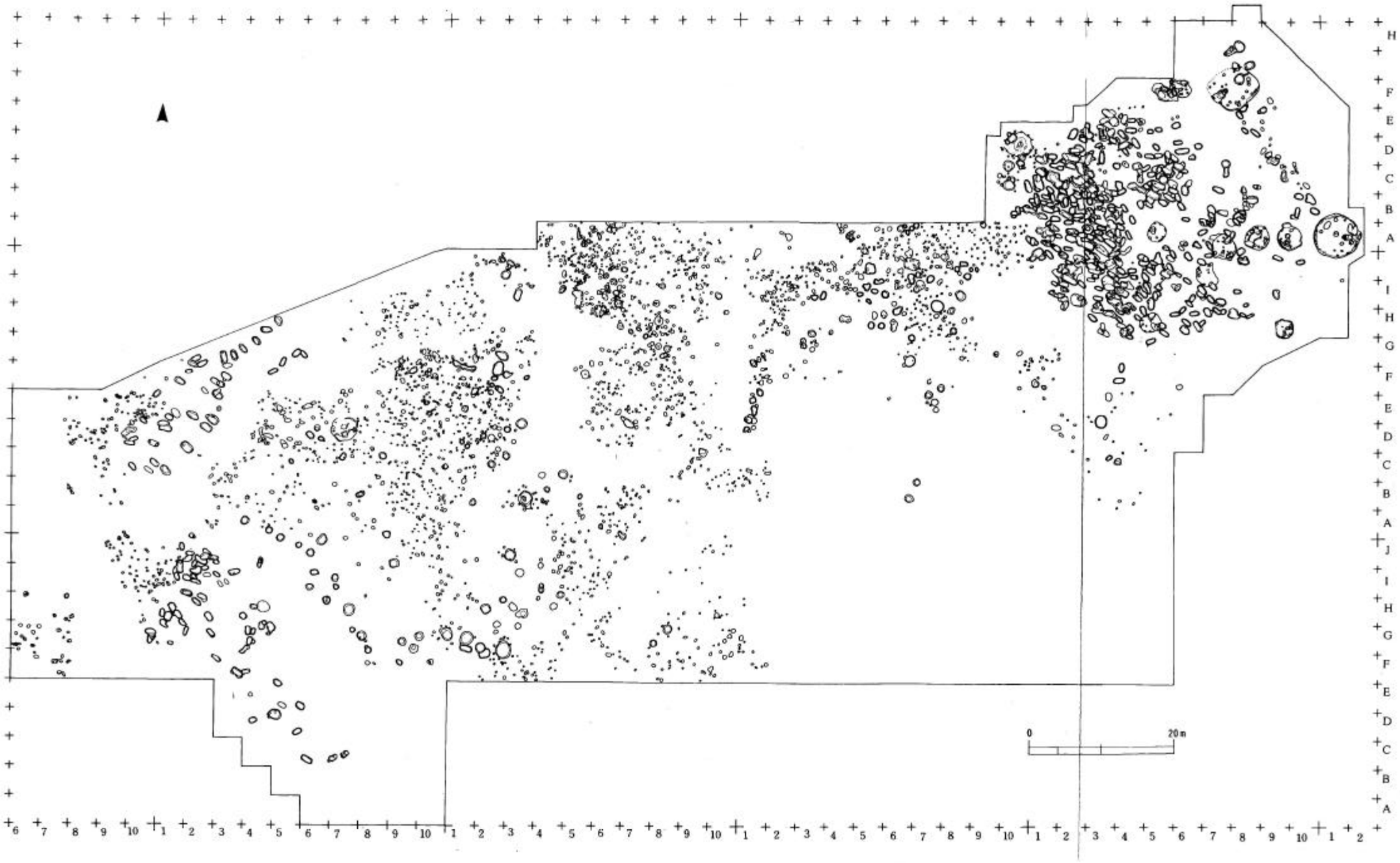
註１．「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書」地蔵田Ｂ遺跡、台Ａ遺跡、湯ノ沢Ⅰ遺跡、湯ノ沢Ｆ遺跡　1986年３月　秋田市教育委員会

註２．葛西　励「十腰内Ⅰ式土器の編年的細分」　1979年11月　北奥古代文化第11号

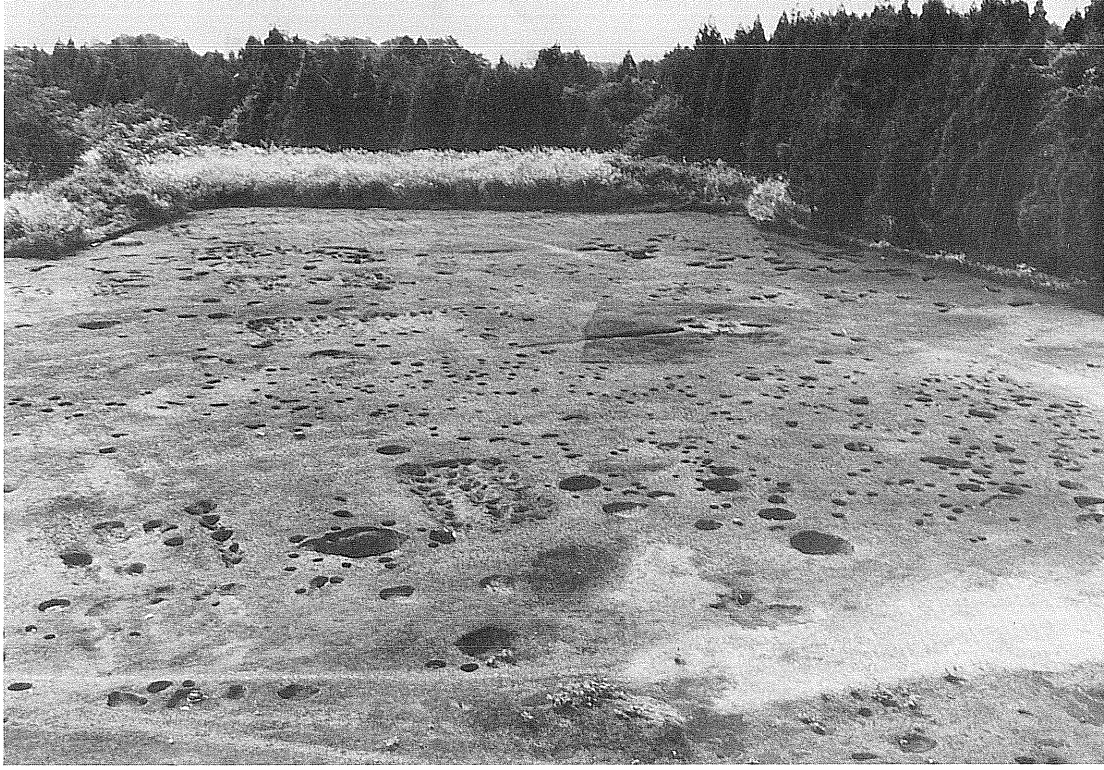
註３．「小阿地下堤遺跡・坂ノ上遺跡発掘調査報告書」　1976年３月　秋田市教育委員会

註４．野口　義磨編「縄文土器大成一後期」　1981年　講談社

註５．市毛　勲「赤色の呪術」　1984年11月　季刊考古学第９号



第209図　遺構配置図



西側遠景

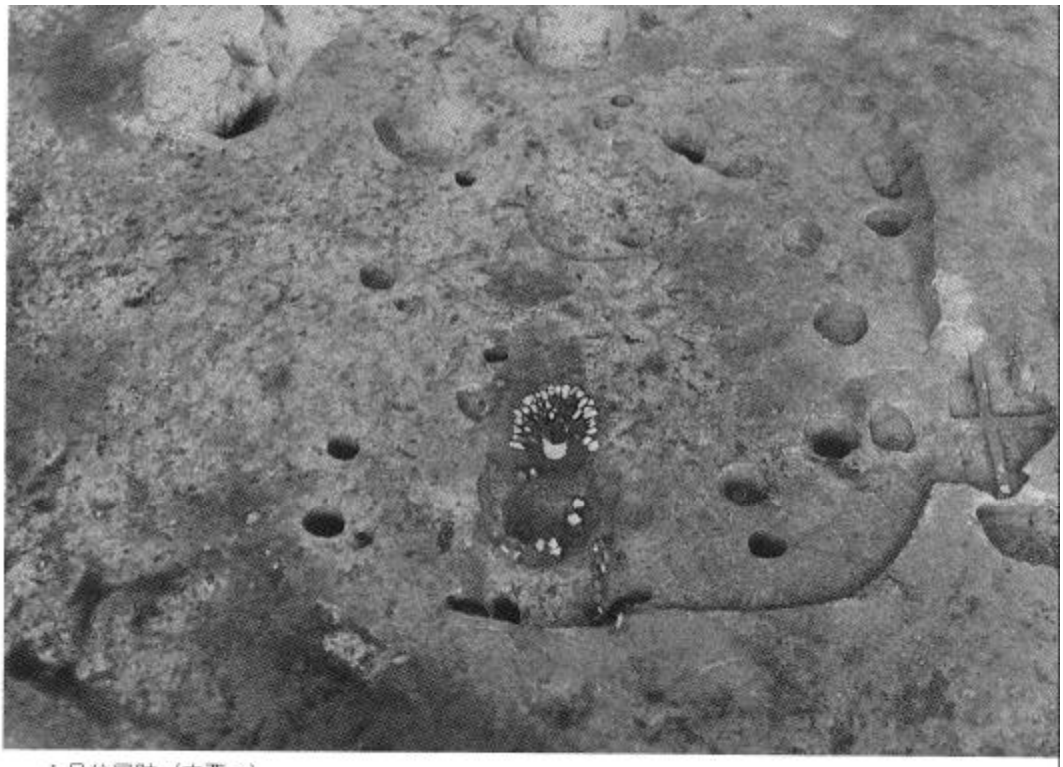
西側近景

図版 1

東側遠景

東側近景

図版 2



1号住居跡（南西→）

2号住居跡（南→）

図版 3

縄文時代中期